

芦屋市
子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

令和6年3月

芦 屋 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	就学前保護者	2
(1)	お住まいの地域について	2
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	3
(3)	こどもの育ちをめぐる環境について	5
(4)	お子さんの保護者の就労状況について	16
(5)	お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向について	27
(6)	お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	52
(7)	お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）	57
(8)	お子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について	65
(9)	お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について	79
(10)	お子さんが5歳以上の保護者の方への設問	88
(11)	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	102
(12)	こどもの権利について	111
(13)	芦屋市の今後の子育て施策について	113
2	小学生保護者	124
(1)	お住まいの地域について	124
(2)	封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	125
(3)	こどもの育ちをめぐる環境について	128
(4)	お子さんの保護者の就労状況について	144
(5)	お子さんの病気の際の対応について	154
(6)	すべての方に、お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について	163
(7)	お子さんの放課後の過ごし方について	173
(8)	こどもの権利について	192
(9)	すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策について	194

3	小学生本人（4年生～6年生）	204
	（1）あなたのふだんの生活について	204
	（2）学校について	211
	（3）放課後のすごしかたについて	218
	（4）あなたの考えについて	225
	（5）こどもの権利について	232
4	中学生保護者	237
	（1）お住まいの地域について	237
	（2）封筒の宛名のお子さんご家族の状況について	238
	（3）こどもの育ちをめぐる環境について	240
	（4）お子さんの保護者の就労状況について	255
	（5）お子さんの放課後の過ごし方について	264
	（6）こどもの権利について	271
	（7）芦屋市の今後の子育て施策について	273
5	中学生本人	283
	（1）あなたのふだんの生活について	283
	（2）学校について	290
	（3）放課後の過ごし方について	299
	（4）あなたの考えについて	309
	（5）こどもの権利について	316
Ⅲ	調査結果のまとめ	322
1	育ちをめぐる環境について	322
2	保護者の就労状況について	323
3	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	323
4	子どもの病気の際の対応について	323
5	不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について	324
6	地域の子育て支援事業の利用状況について	324
7	放課後の過ごし方について	324
8	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	325
9	芦屋市の今後の子育て施策について	325
10	子ども本人の回答について	326
Ⅳ	自由意見	328
1	就学前保護者	328
2	小学生保護者	341
3	小学生本人	348
4	中学生保護者	351
5	中学生本人	359

V	調査票.....	362
1	就学前保護者.....	362
2	小学生保護者.....	374
3	小学生.....	383
4	中学生保護者.....	388
5	中学生.....	396

I 調査の概要

1 調査の目的

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

2 調査対象

市内に在住する就学前児童保護者
小学生保護者と本人（4年生～6年生）
中学生保護者と本人

3 調査期間

令和5年11月28日～令和6年1月12日

4 調査方法

インターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前保護者	2,785 通	1,171 通	42.0%
小学生保護者	2,818 通	922 通	32.7%
中学生保護者	1,263 通	428 通	33.9%
小学生本人	1,408 通	207 通	14.7%
中学生本人	1,263 通	211 通	16.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

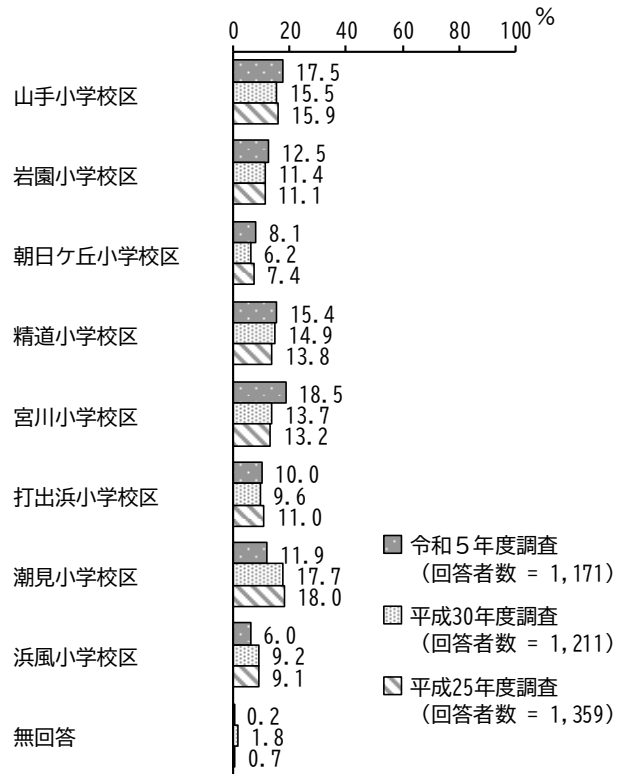
II 調査結果

1 就学前保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

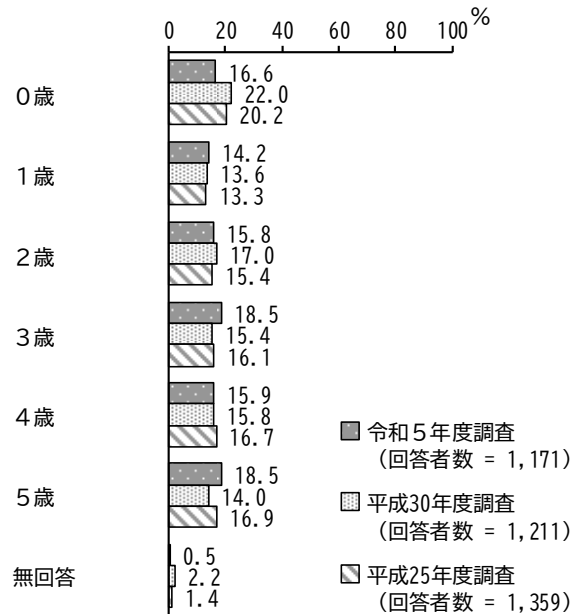
「宮川小学校区」の割合が18.5%と最も高く、次いで「山手小学校区」の割合が17.5%、「精道小学校区」の割合が15.4%となっています。



(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

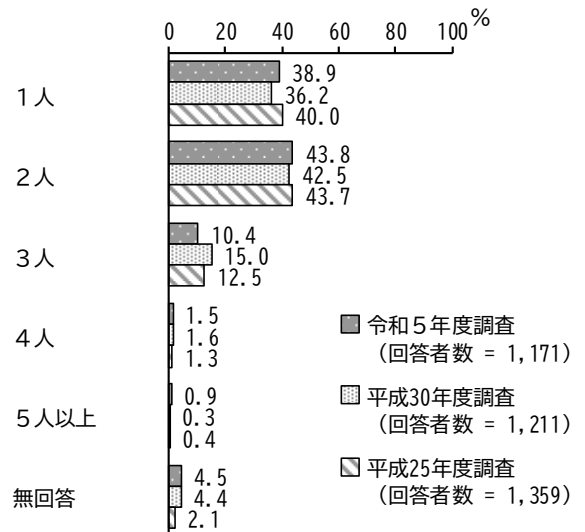
問2 お子さんの生年月をご記入ください。

「3歳」、「5歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「0歳」の割合が16.6%となっています。



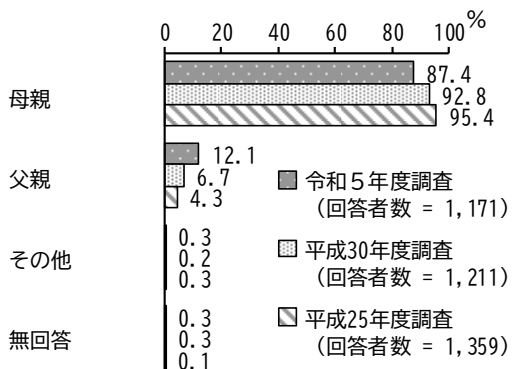
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

「2人」の割合が43.8%と最も高く、次いで「1人」の割合が38.9%、「3人」の割合が10.4%となっています。



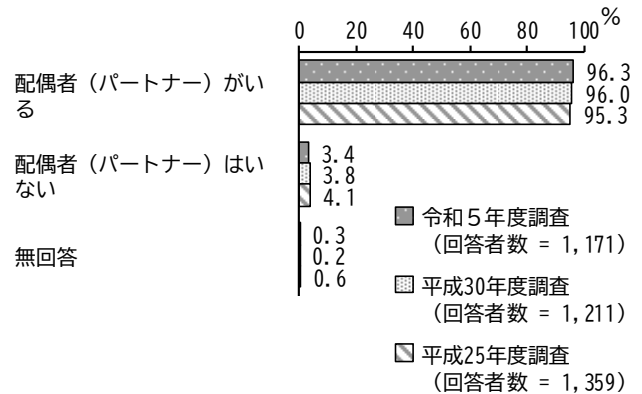
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が87.4%、「父親」の割合が12.1%となっています。



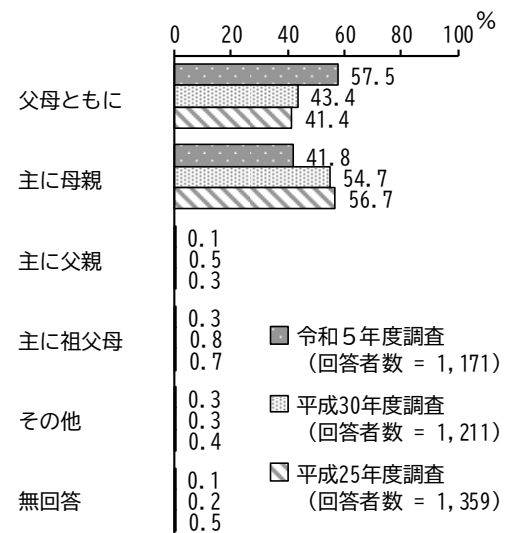
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者(パートナー)がいる」の割合が96.3%、
「配偶者(パートナー)はいない」の割合が3.4%
となっています。



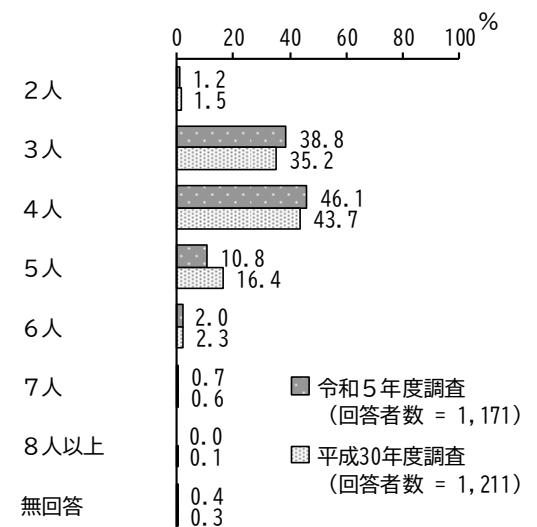
問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」の割合が57.5%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が41.8%となっています。



問7 何人家族ですか。

「4人」の割合が46.1%と最も高く、次いで「3人」の割合が38.8%、「5人」の割合が10.8%となっています。



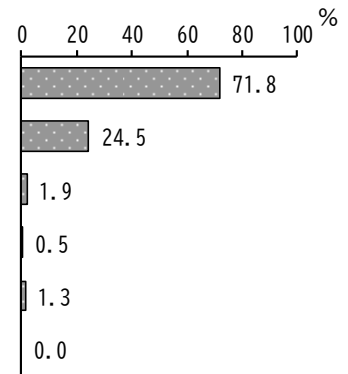
(3) こどもの育ちをめぐる環境について

問8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」の割合が71.8%と最も高く、次いで「楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい」の割合が24.5%となっています。

回答者数 = 1,171

楽しいと感じることが多い
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい
辛いと感じることの方が多い
わからない
その他
無回答

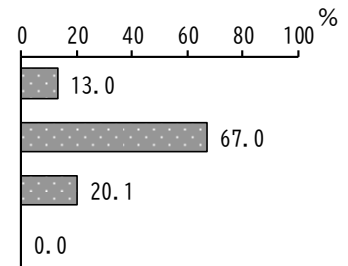


問9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。

「少しある」の割合が67.0%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が20.1%、「すごくある」の割合が13.0%となっています。

回答者数 = 1,171

すごくある
少しある
ほとんどない
無回答

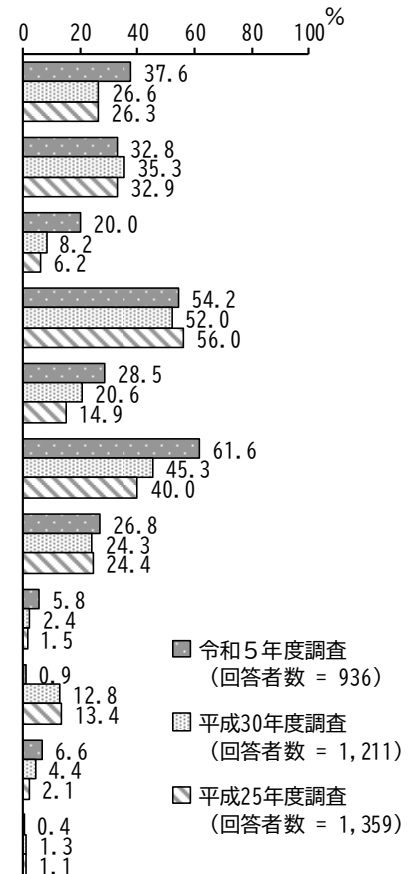


問10 問9で「1. すごくある」「2. 少しある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) こどもに関すること

「こどもの教育・保育に関すること」の割合が61.6%と最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」の割合が54.2%、「病気や発達に関すること」の割合が37.6%となっています。

病気や発達に関すること
食事や栄養に関すること
子育て支援サービスのこと
こどものしつけに関すること
子どもと過ごす時間が十分に取れないこと
こどもの教育・保育に関すること
こどもの友だちづきあいに関すること
こどもの登所・登園拒否など
特にな
その他
無回答



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、全ての就労状況で「こどものしつけに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	こどものしつけに関すること	こどもと過ごす時間が十分に取れないこと	こどもの教育・保育に関すること	こどもの友だちつきあいに関すること	こどもの登所・登園拒否など	特にない	その他	無回答
全体	936	37.6	32.8	20.0	54.2	28.5	61.6	26.8	5.8	0.9	6.6	0.4
フルタイム	444	37.8	32.7	22.7	55.2	44.4	65.3	23.0	5.6	0.7	7.2	0.2
パート・アルバイト等	227	33.0	29.1	17.2	53.3	22.5	62.6	29.1	4.8	1.3	7.5	0.9
未就労	258	41.5	36.4	17.1	53.9	7.4	54.7	32.2	7.0	0.8	5.0	0.4

【子育ての環境や支援への満足度別】

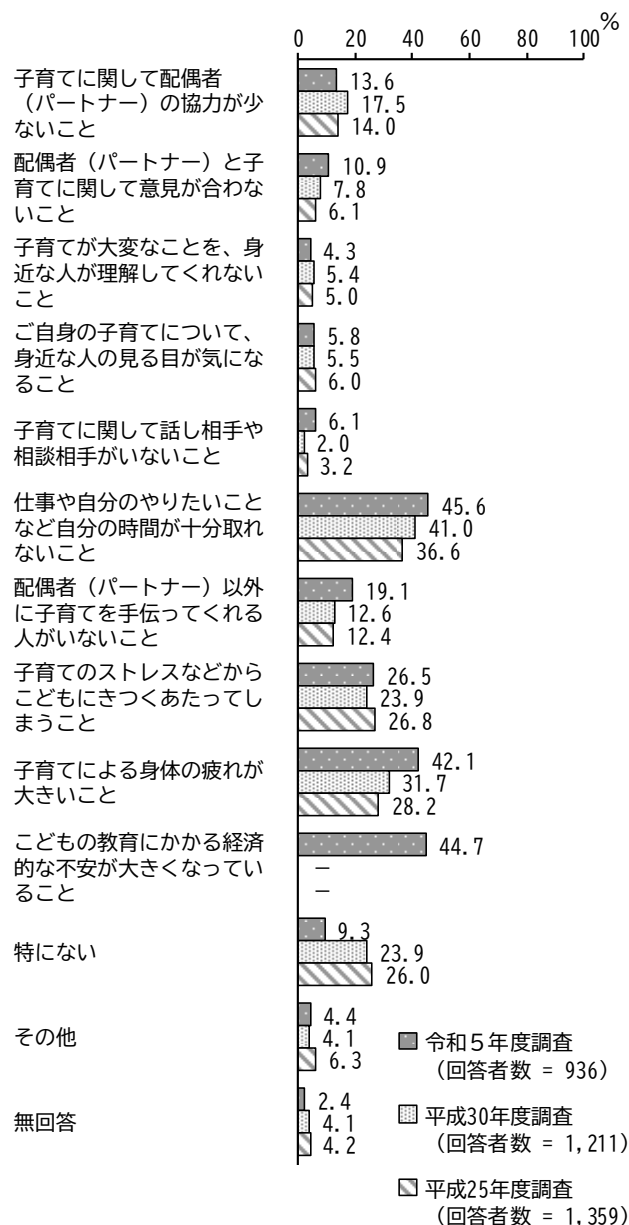
子育ての環境や支援への満足度別にみると、1（満足度が低い）で「子育て支援サービスのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	こどものしつけに関すること	こどもと過ごす時間が十分に取れないこと	こどもの教育・保育に関すること	こどもの友だちつきあいに関すること	こどもの登所・登園拒否など	特にない	その他	無回答
全体	936	37.6	32.8	20.0	54.2	28.5	61.6	26.8	5.8	0.9	6.6	0.4
1↑(満足度が低い)	149	43.6	34.2	36.9	51.7	30.2	72.5	30.9	7.4	—	10.7	—
2	223	35.9	32.3	27.4	52.5	33.2	65.0	25.6	4.5	0.4	8.5	0.9
3	350	36.0	31.7	15.7	54.0	26.6	60.9	23.7	7.1	1.1	4.9	0.3
4	169	36.7	30.8	6.5	57.4	27.2	53.8	30.2	4.1	1.2	5.9	0.6
5↓(満足度が高い)	42	42.9	47.6	11.9	61.9	19.0	45.2	33.3	2.4	2.4	—	—

(2) ご自身に関すること

「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が45.6%と最も高く、次いで「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が44.7%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が42.1%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	伝ってくれる人がいないこと	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどからこどもにつきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全体	936	13.6	10.9	4.3	5.8	6.1	45.6	19.1	26.5	42.1	44.7	9.3	4.4	2.4	
フルタイム	444	11.7	10.6	3.2	4.7	5.9	48.9	21.8	27.0	40.8	47.3	7.9	4.1	2.7	
パート・アルバイト等	227	15.0	11.9	5.7	8.8	4.4	45.8	12.3	26.4	41.4	49.8	9.7	4.8	1.3	
未就労	258	15.5	10.5	5.0	5.0	8.1	40.3	20.9	26.4	45.3	36.0	10.9	4.7	2.3	

【子育ての環境や支援への満足度別】

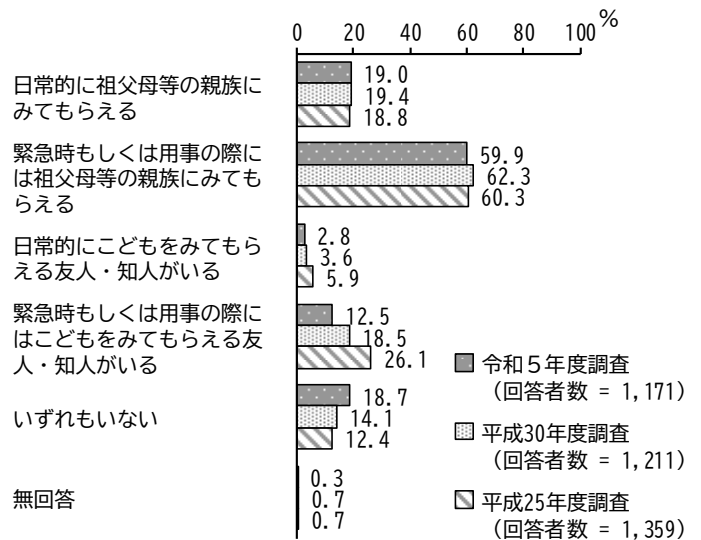
子育ての環境や支援への満足度別にみると、1（満足度が低い）で「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	伝ってくれる人がいないこと	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどからこどもにつきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特にない	その他	無回答
全体	936	13.6	10.9	4.3	5.8	6.1	45.6	19.1	26.5	42.1	44.7	9.3	4.4	2.4	
1↑(満足度が低い)	149	18.1	12.1	6.7	4.0	10.7	54.4	21.5	34.9	49.7	55.0	6.0	2.0	2.7	
2	223	16.6	12.1	7.2	6.7	5.4	49.3	21.5	27.8	48.9	44.8	5.8	5.4	2.2	
3	350	13.1	10.0	2.6	6.3	6.0	44.0	17.4	24.3	37.1	43.1	11.1	4.0	2.3	
4	169	7.1	9.5	3.0	5.9	3.0	41.4	20.1	24.3	39.6	42.6	8.9	5.9	3.0	
5↓(満足度が高い)	42	11.9	14.3	—	2.4	7.1	28.6	9.5	16.7	28.6	28.6	23.8	4.8	—	

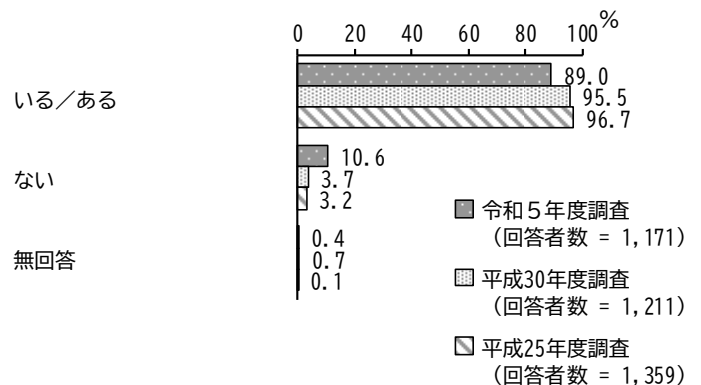
問11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が59.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が19.0%、「いずれもない」の割合が18.7%となっています。



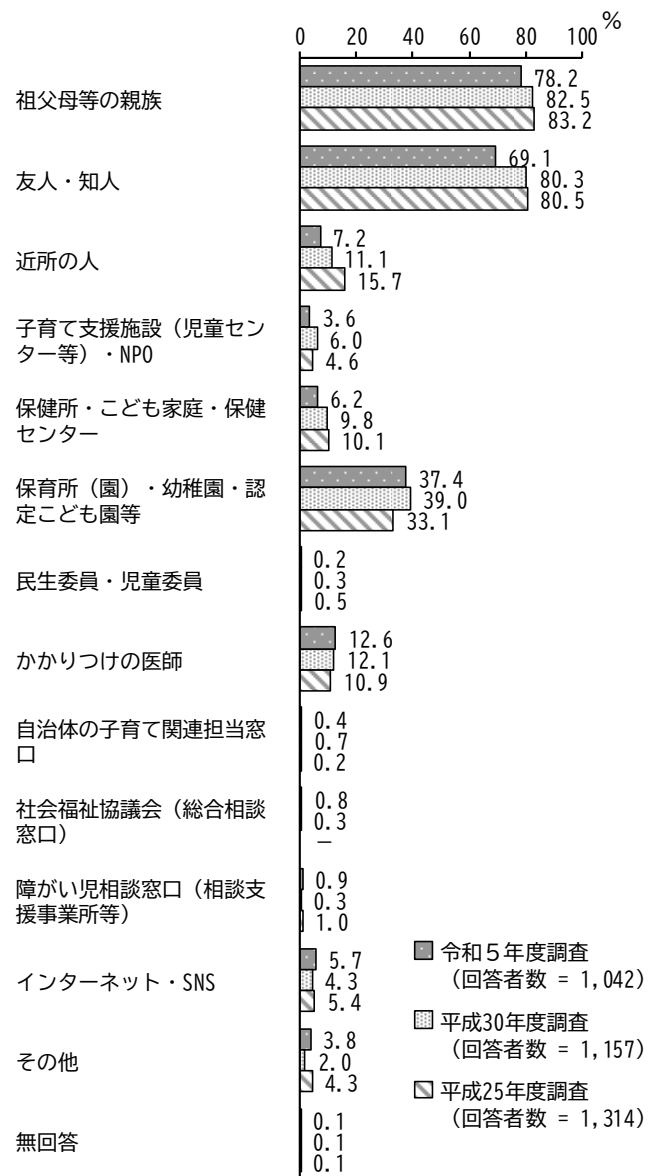
問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が89.0%、「ない」の割合が10.6%となっています。



問12-1 問12で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」の割合が78.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が69.1%、「保育所（園）・幼稚園・認定こども園等」の割合が37.4%となっています。

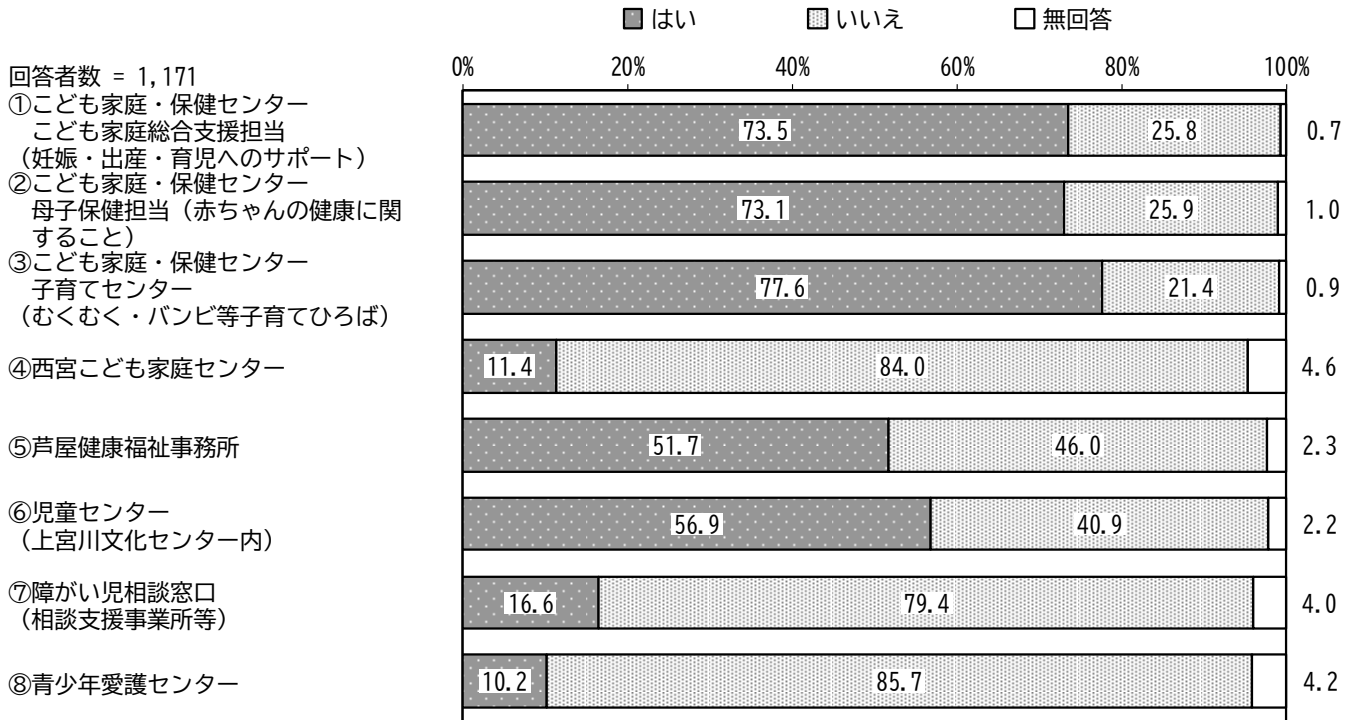


※平成25年度調査では、「社会福祉協議会（総合相談窓口）」の選択肢はありませんでした。

問 13 下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

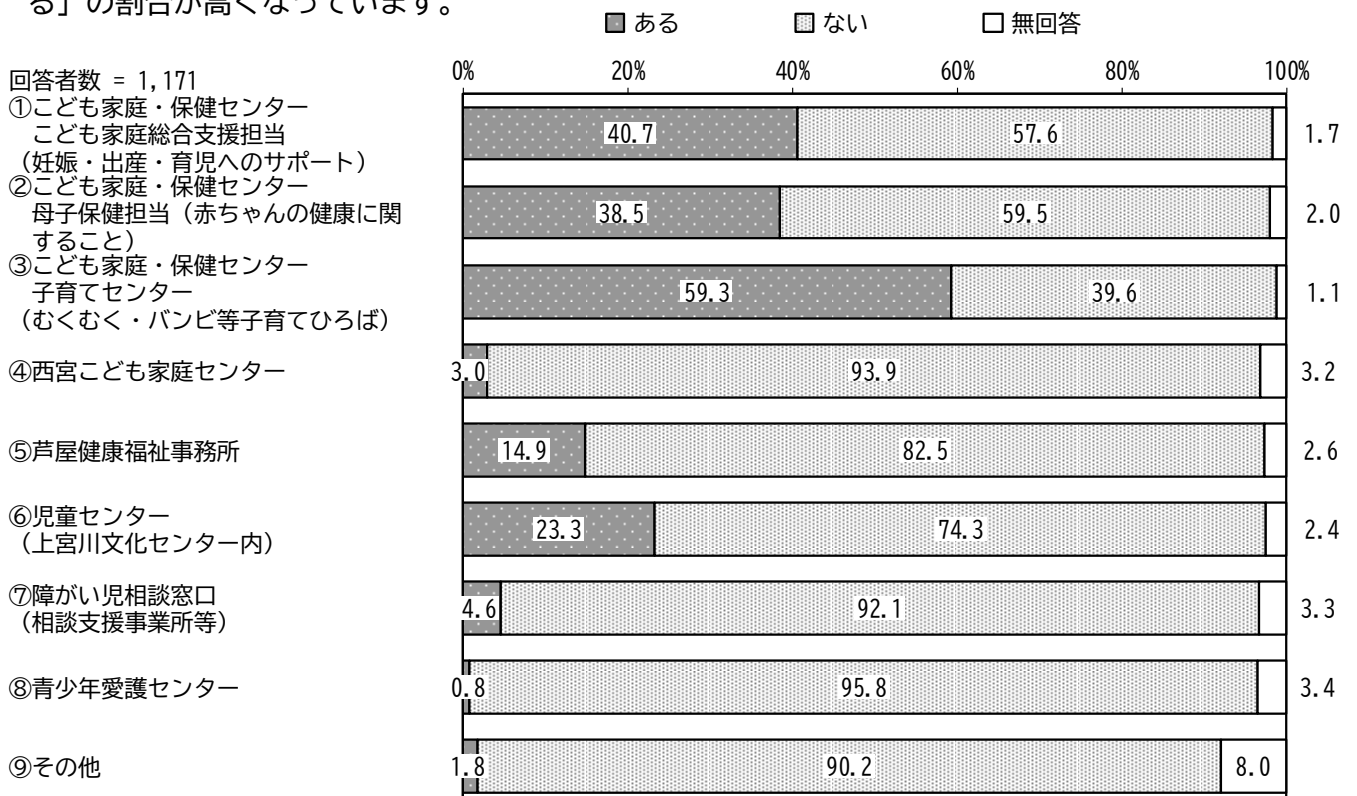
A 知っている

『④西宮子ども家庭センター』『⑦障がい児相談窓口（相談支援事業所等）』『⑧青少年愛護センター』で「はい」の割合が低くなっています。



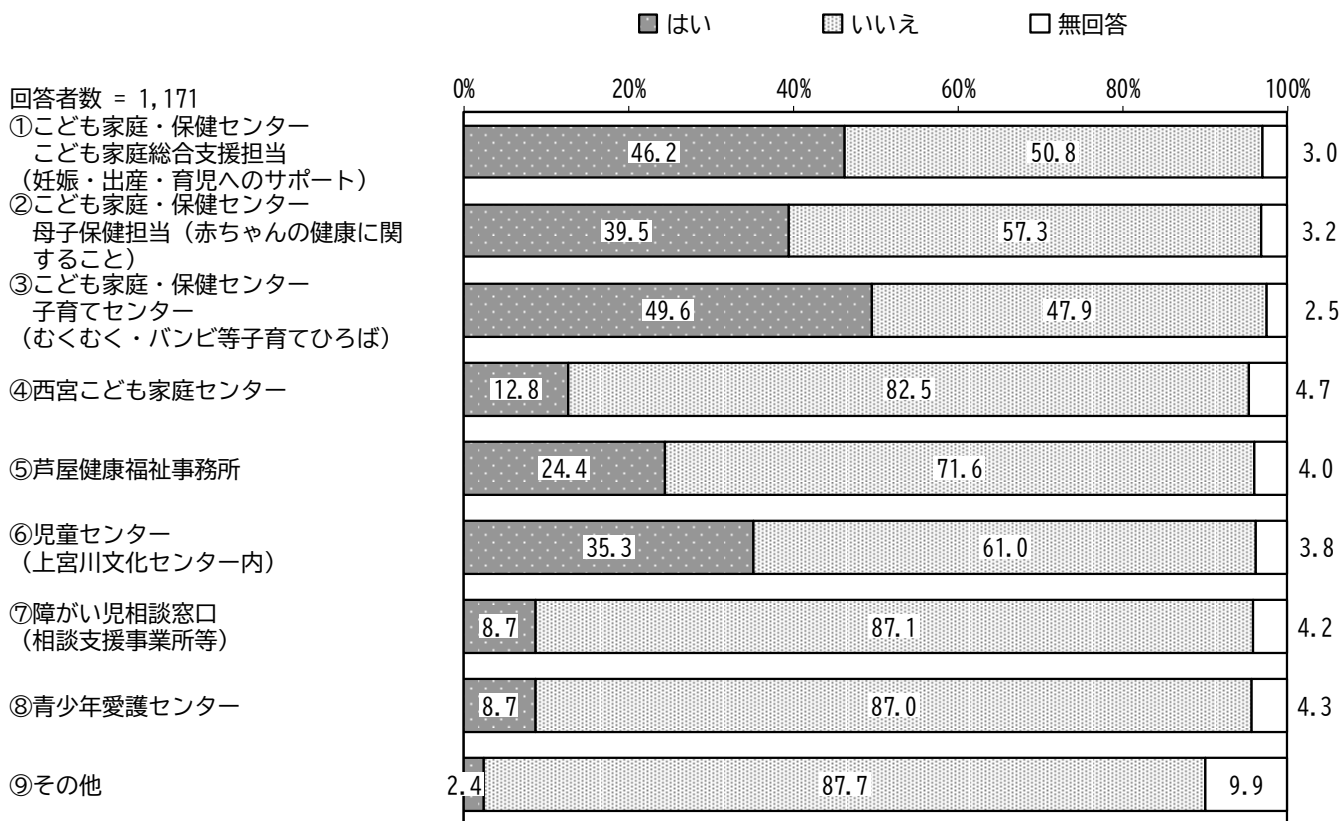
B 利用したことがある

『③子ども家庭・保健センター 子育てセンター (むくむく・バンビ等子育てひろば)』で「ある」の割合が高くなっています。



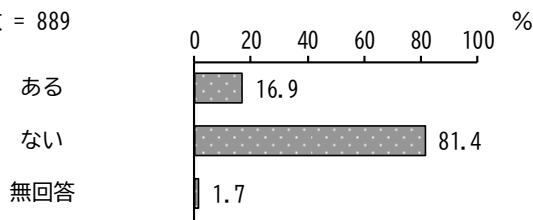
C 今後利用したい

『①こども家庭・保健センター こども家庭総合支援担当（妊娠・出産・育児へのサポート）』
 『③こども家庭・保健センター 子育てセンター（むくむく・バンビ等子育てひろば）』で「はい」の割合が高くなっています。



問 13-1 あなたは問 13で「利用したことがある」と選択した相談機関に対して、不満をもったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「ある」の割合が 16.9%、「ない」の割合が 81.4%となっています。 回答者数 = 889

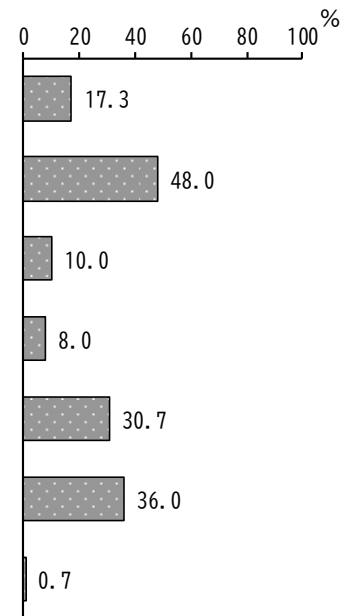


問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）」の割合が 30.7%、「スタッフの対応（態度、話しかけにくい等）」の割合が 17.3%となっています。

回答者数 = 150

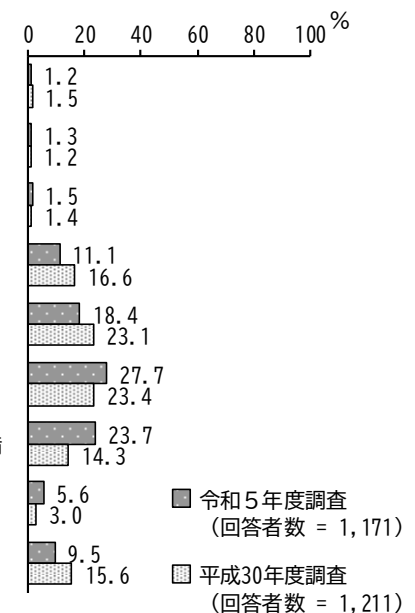
スタッフの対応（態度、話しかけにくい等）
 サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）
 雰囲気（全体の雰囲気がじめない、汚れている、暗いなど）
 他の利用者（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
 その他
 無回答



問 14 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

「700万円～1,000万円未満」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「1,000万円～2,000万円未満」の割合が 23.7%、「500万円～700万円未満」の割合が 18.4%となっています。

100万円未満
 100万円～200万円未満
 200万円～300万円未満
 300万円～500万円未満
 500万円～700万円未満
 700万円～1,000万円未満
 1,000万円～2,000万円未満
 2,000万円以上
 無回答

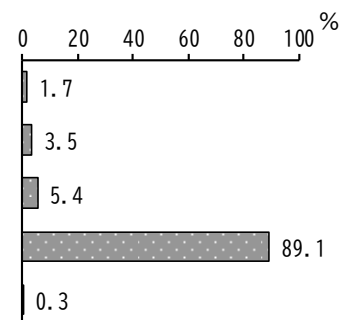


問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が89.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,171

よくあった
ときどきあった
まれにあった
まったくなかった
無回答

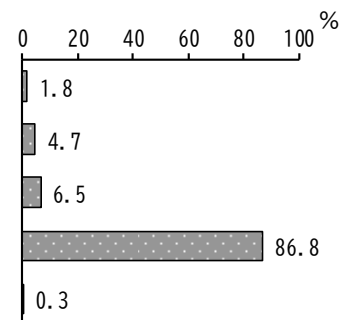


問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が86.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,171

よくあった
ときどきあった
まれにあった
まったくなかった
無回答

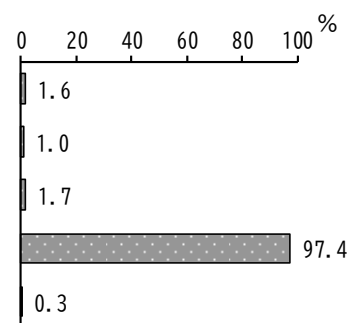


問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「いずれもあてはまらない」の割合が97.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,171

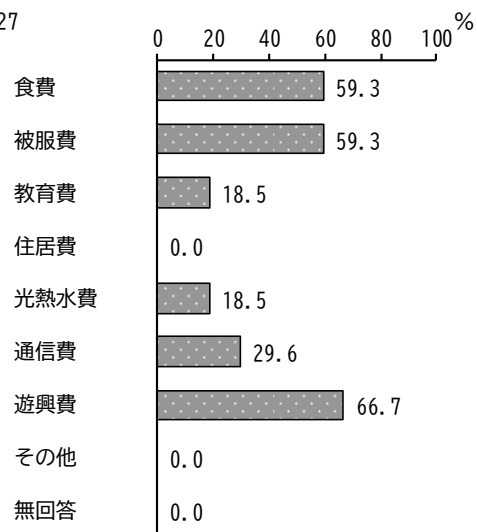
1. 電気料金
2. ガス料金
3. 水道料金
4. いずれもあてはまらない
無回答



問18 問17で「1. 電気料金」～「3. 水道料金」に○をつけた方にうかがいます。
あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「遊興費」の割合が66.7%と最も高く、次いで「食費」、「被服費」の割合が59.3%となっています。

回答者数 = 27

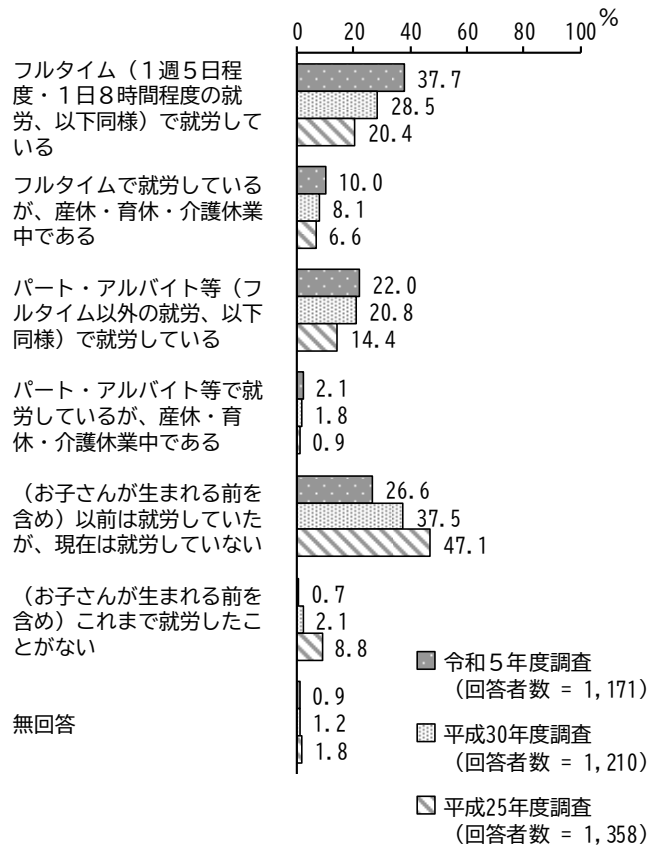


(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 19 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が37.7%と最も高く、次いで「（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が26.6%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している」の割合が22.0%となっています。



【子どもの年齢別】

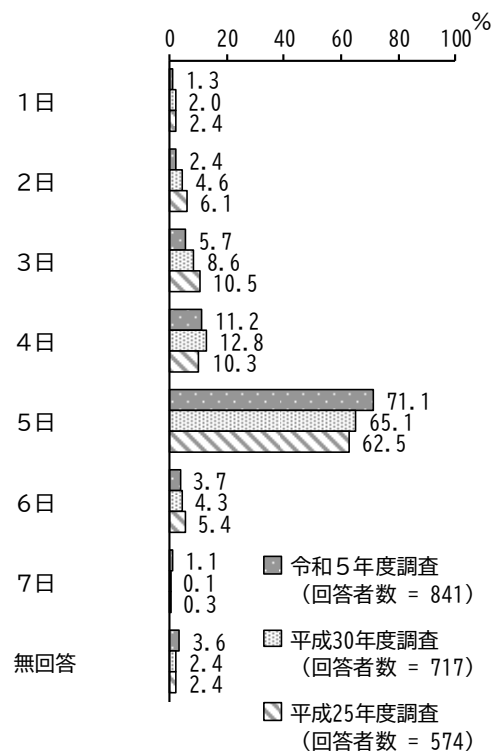
子どもの年齢別にみると、0歳で「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない	（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない	無回答
全 体	1,171	37.7	10.0	22.0	2.1	26.6	0.7	0.9
0歳	194	22.7	34.0	11.3	5.7	25.8	0.5	—
1歳	166	40.4	9.6	24.1	1.2	24.1	—	0.6
2歳	185	43.2	8.1	18.9	1.6	28.1	—	—
3歳	217	44.2	4.1	20.3	1.8	26.7	0.9	1.8
4歳	186	38.2	4.3	26.9	1.1	26.3	1.6	1.6
5歳	217	36.9	1.4	30.4	1.4	28.1	0.9	0.9

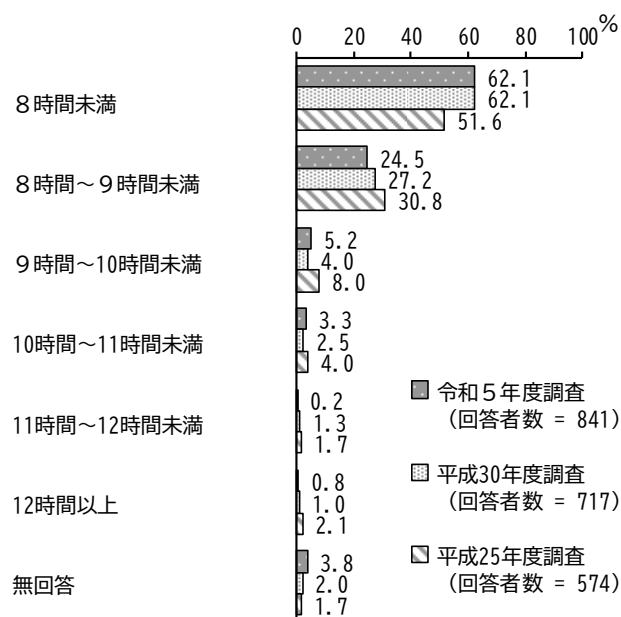
1週当たり就労日数

「5日」の割合が71.1%と最も高く、次いで「4日」の割合が11.2%となっています。



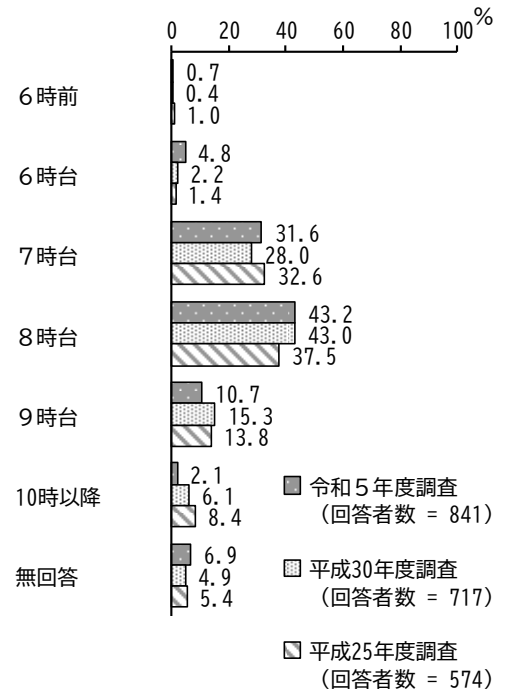
1日当たり就労時間

「8時間未満」の割合が62.1%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が24.5%となっています。



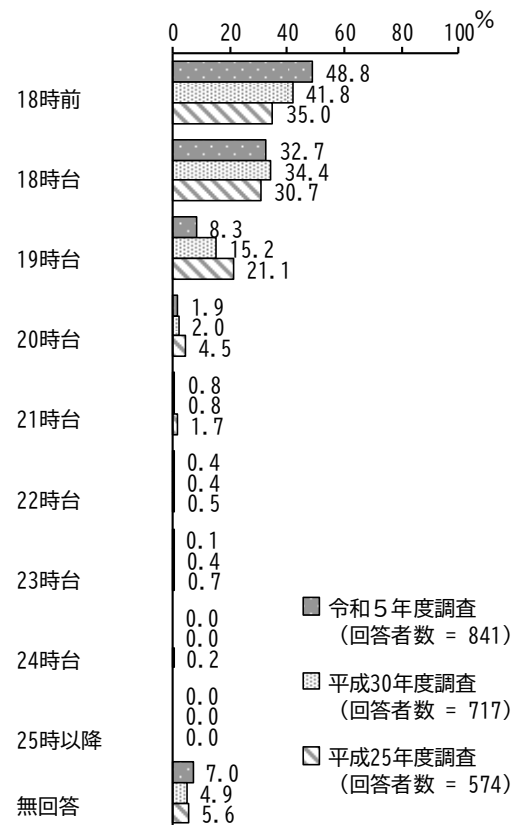
家を出る時間

「8時台」の割合が43.2%と最も高く、次いで「7時台」の割合が31.6%、「9時台」の割合が10.7%となっています。



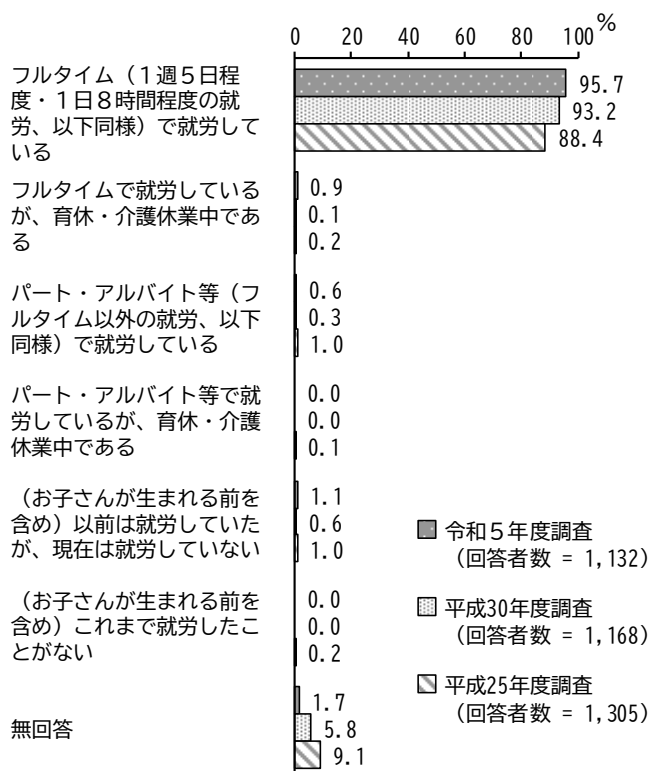
帰宅時間

「18時前」の割合が48.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が32.7%となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が95.7%と最も高くなっています。



【子どもの年齢別】

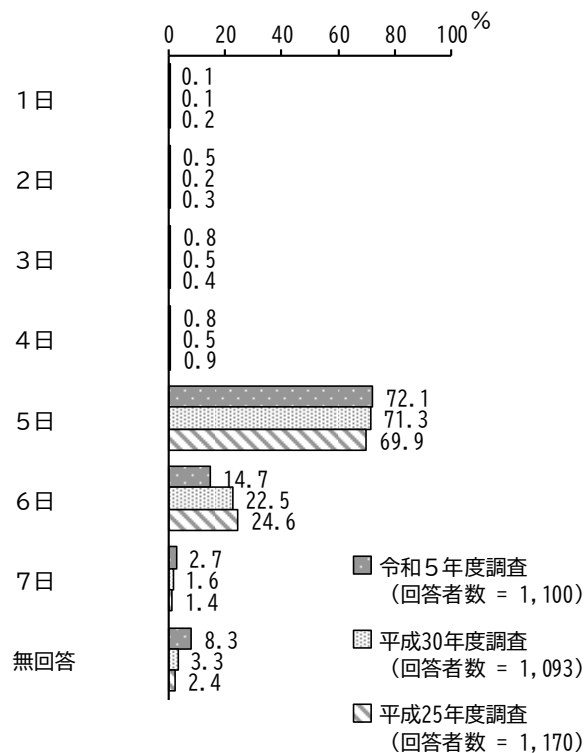
子どもの年齢別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している	フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない	（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない	無回答
全体	1,132	95.7	0.9	0.6	—	1.1	—	1.7
0歳	189	94.7	2.1	0.5	—	1.1	—	1.6
1歳	163	95.7	1.8	0.6	—	—	—	1.8
2歳	180	97.2	0.6	—	—	2.2	—	—
3歳	209	97.1	0.5	0.5	—	1.0	—	1.0
4歳	178	96.1	—	1.1	—	1.7	—	1.1
5歳	207	94.2	0.5	1.0	—	0.5	—	3.9

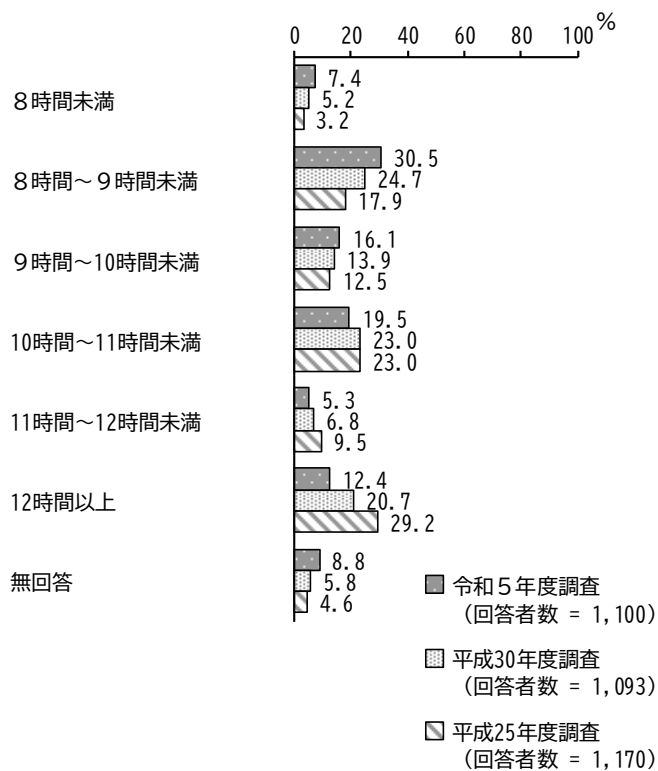
1週当たり就労日数

「5日」の割合が72.1%と最も高く、次いで「6日」の割合が14.7%となっています。



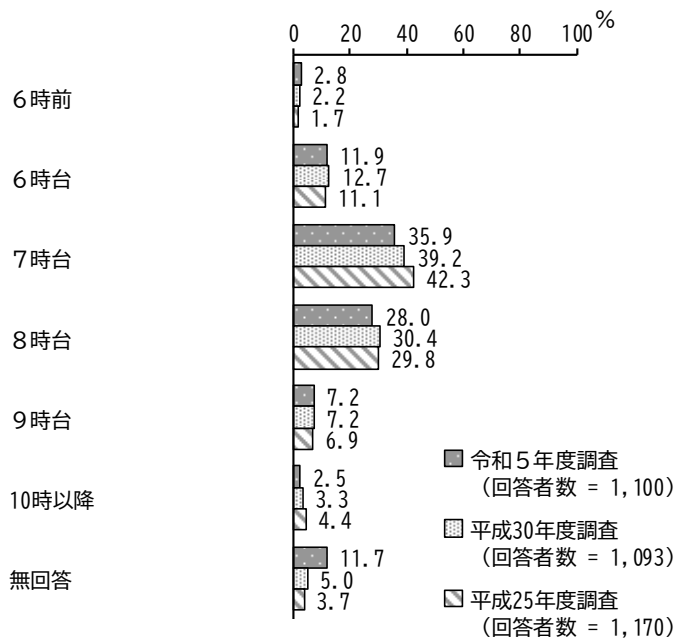
1日当たり就労時間

「8時間～9時間未満」の割合が30.5%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が19.5%、「9時間～10時間未満」の割合が16.1%となっています。



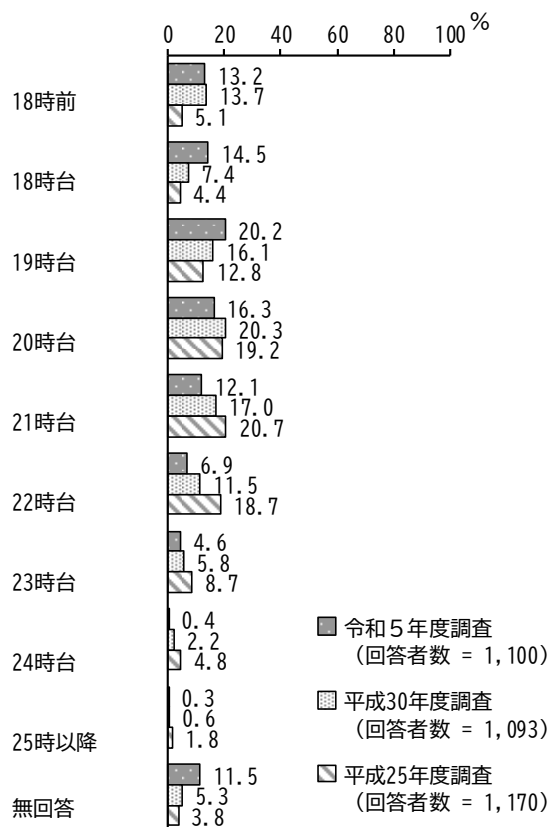
家を出る時間

「7時台」の割合が35.9%と最も高く、次いで「8時台」の割合が28.0%、「6時台」の割合が11.9%となっています。



帰宅時間

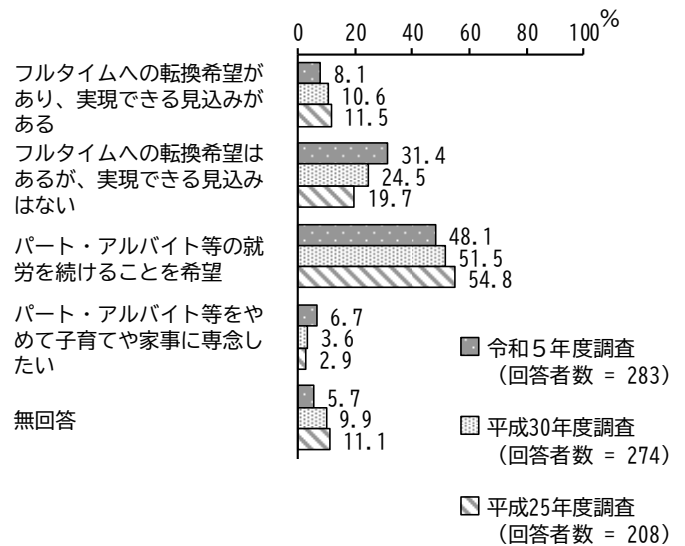
「19時台」の割合が20.2%と最も高く、次いで「20時台」の割合が16.3%、「18時台」の割合が14.5%となっています。



問20 問19の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労、以下同様)で就労している」「4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問22へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が48.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が31.4%となっています。



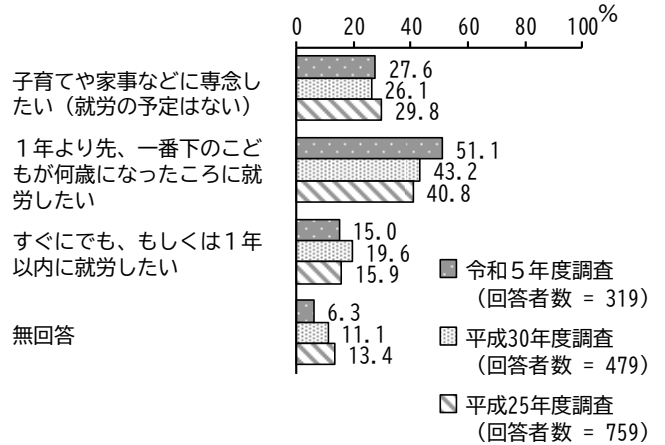
(2) 父親

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が3件となっています。「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2件となっています。

問21 問19の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問23へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

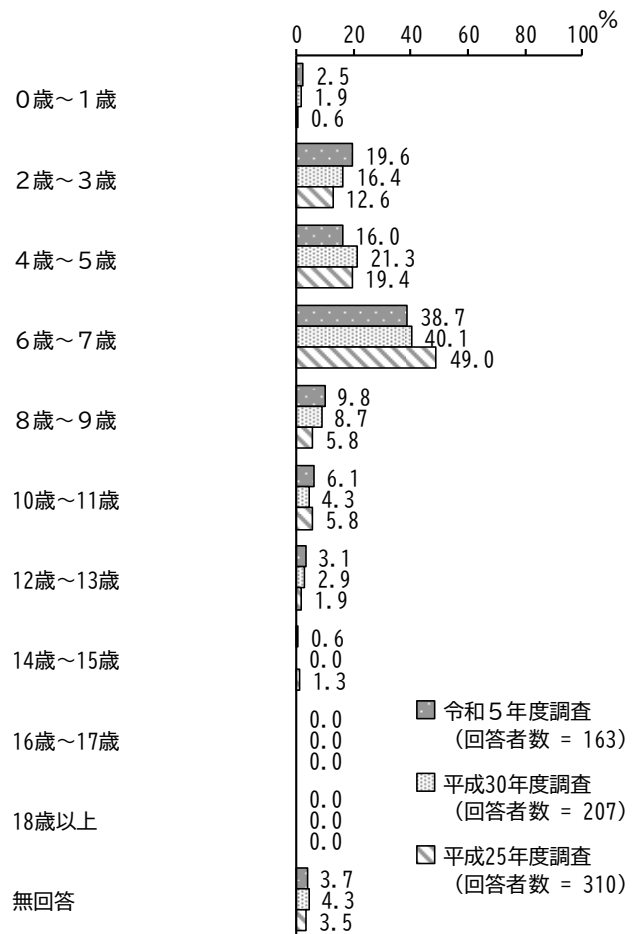
(1) 母親

「1年より先、一番下のこどもが何歳になったころに就労したい」の割合が51.1%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が27.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が15.0%となっています。



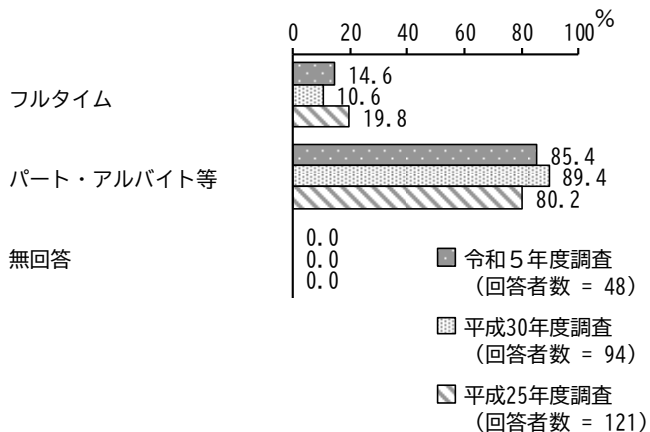
就労したい時期の末子の年齢

「6歳～7歳」の割合が38.7%と最も高く、次いで「2歳～3歳」の割合が19.6%、「4歳～5歳」の割合が16.0%となっています。



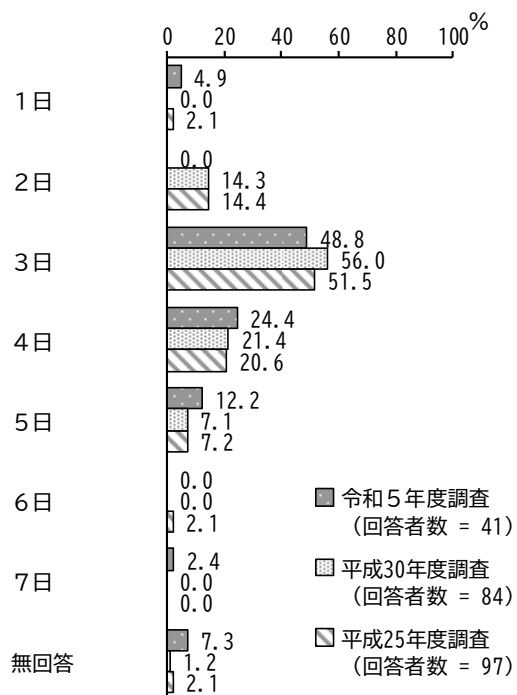
希望する就労形態

「フルタイム」の割合が14.6%、「パート・アルバイト等」の割合が85.4%となっています。



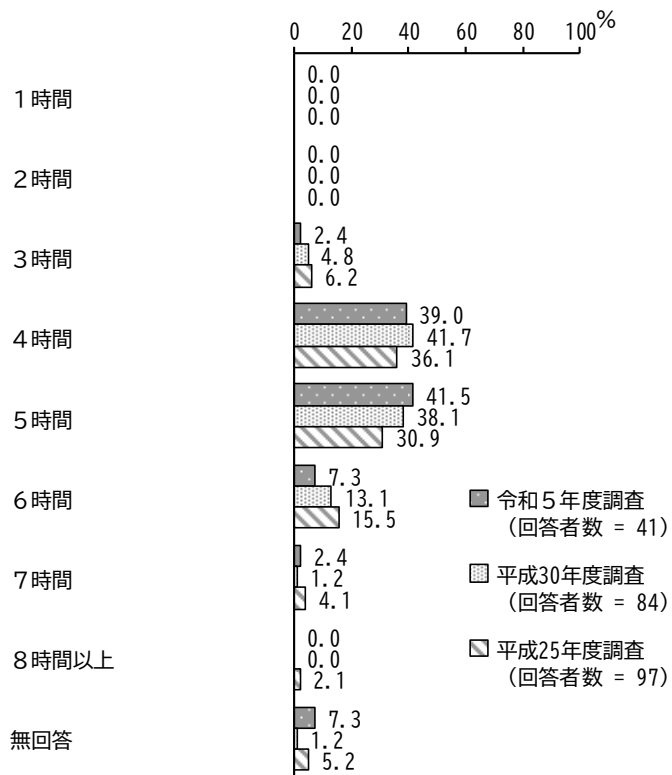
パート・アルバイト等 1週当たり希望就労日数

「3日」の割合が48.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が24.4%、「5日」の割合が12.2%となっています。



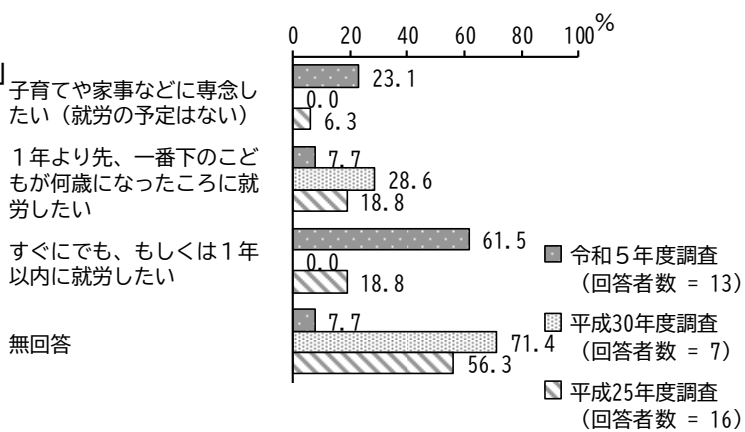
パート・アルバイト等 1日当たり希望就労時間

「5時間」の割合が41.5%と最も高く、次いで
「4時間」の割合が39.0%となっています。



(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が61.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が23.1%となっています。



就労したい時期の末子の年齢

「6歳～7歳」が1件となっています。

希望する就労形態

「フルタイム」が5件、「パート・アルバイト等」が2件となっています。

パート・アルバイト等 1週当たり希望就労日数

「3日」が1件となっています。

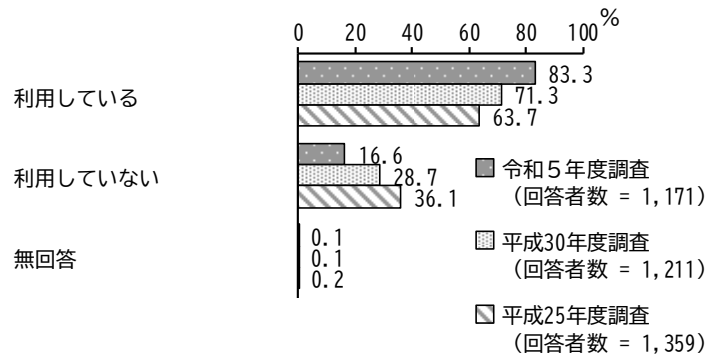
パート・アルバイト等 1日当たり希望就労時間

「5時間」が1件となっています。

(5) お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向について

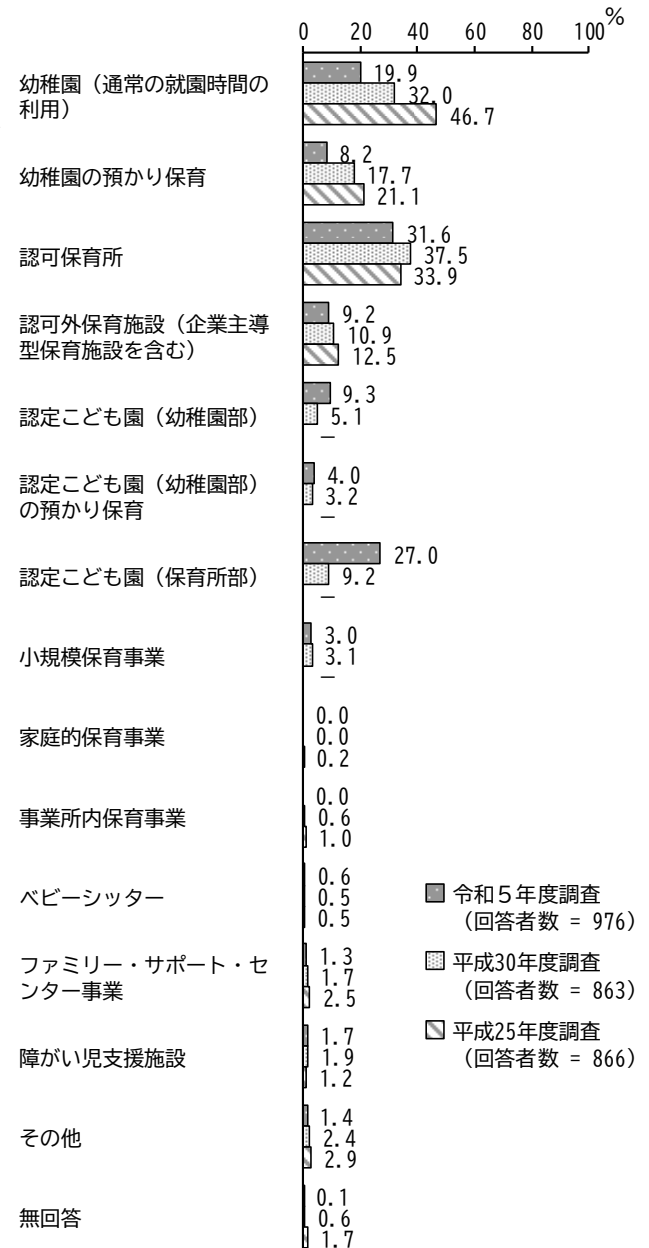
問 22 すべての方にうかがいます。お子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用している」の割合が83.3%、「利用していない」の割合が16.6%となっています。



問 22-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」の割合が31.6%と最も高く、次いで「認定こども園(保育所部)」の割合が27.0%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が19.9%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「認定こども園（保育所部）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）	認定こども園（幼稚園部）	認定こども園（幼稚園部）の預かり保育	認定こども園（保育所部）	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	976	19.9	8.2	31.6	9.2	9.3	4.0	27.0	3.0	—	—	0.6	1.3	1.7	1.4	0.1
山手	365	32.3	13.7	33.4	15.3	1.4	0.5	15.3	2.7	—	—	1.6	1.9	1.1	1.6	0.3
精道	429	12.4	4.9	33.6	6.3	14.7	6.5	29.4	3.7	—	—	—	1.2	2.8	1.2	—
潮見	181	12.7	5.0	23.2	3.9	12.7	5.0	44.8	1.7	—	—	—	0.6	0.6	1.7	—

【利用している教育・保育事業の実施場所別】

利用している教育・保育事業の実施場所別にみると、神戸市で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）	認定こども園（幼稚園部）	認定こども園（幼稚園部）の預かり保育	認定こども園（保育所部）	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	976	19.9	8.2	31.6	9.2	9.3	4.0	27.0	3.0	—	—	0.6	1.3	1.7	1.4	0.1
芦屋市内	865	15.5	7.2	35.0	7.3	9.5	4.0	30.3	2.9	—	—	0.6	1.4	1.8	0.9	—
芦屋市外	99	54.5	17.2	4.0	27.3	7.1	2.0	—	3.0	—	—	1.0	1.0	1.0	6.1	1.0
神戸市	37	59.5	13.5	8.1	21.6	5.4	—	—	2.7	—	—	—	—	2.7	5.4	—
西宮市	52	53.8	17.3	1.9	28.8	9.6	3.8	—	1.9	—	—	1.9	—	—	7.7	—
その他	3	—	33.3	—	66.7	—	—	—	33.3	—	—	—	33.3	—	—	—

【利用している教育・保育事業への通園手段別】

利用している教育・保育事業への通園手段別にみると、通園バスで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」の割合が高くなっています。

単位：％

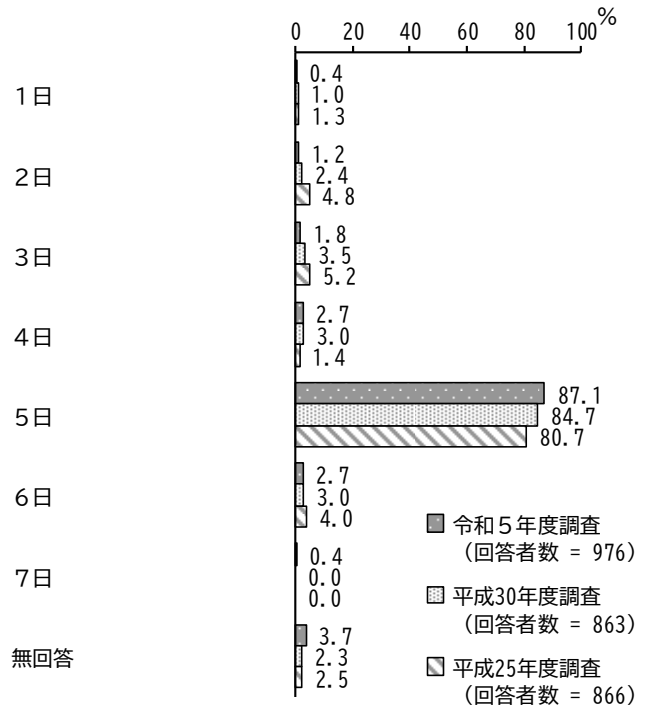
区分	回答者数（件）	幼稚園（通常の就園時間の利用）	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）	認定こども園（幼稚園部）	認定こども園（幼稚園部）の預かり保育	認定こども園（保育所部）	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	976	19.9	8.2	31.6	9.2	9.3	4.0	27.0	3.0	—	—	0.6	1.3	1.7	1.4	0.1
徒歩	254	23.6	10.2	28.7	7.1	12.6	3.9	27.6	2.8	—	—	—	2.0	2.0	—	—
自転車	433	10.9	5.8	40.2	4.6	10.9	5.3	29.3	3.5	—	—	0.2	0.9	1.4	0.9	—
自動車	230	20.0	10.0	24.3	19.1	3.5	1.7	27.4	3.0	—	—	2.2	1.7	1.7	3.9	—
通園バス	46	82.6	13.0	4.3	15.2	6.5	2.2	—	—	—	—	—	—	4.3	2.2	—
路線バス	4	—	—	50.0	—	25.0	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	—	—
電車	2	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—

問 22-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。 に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

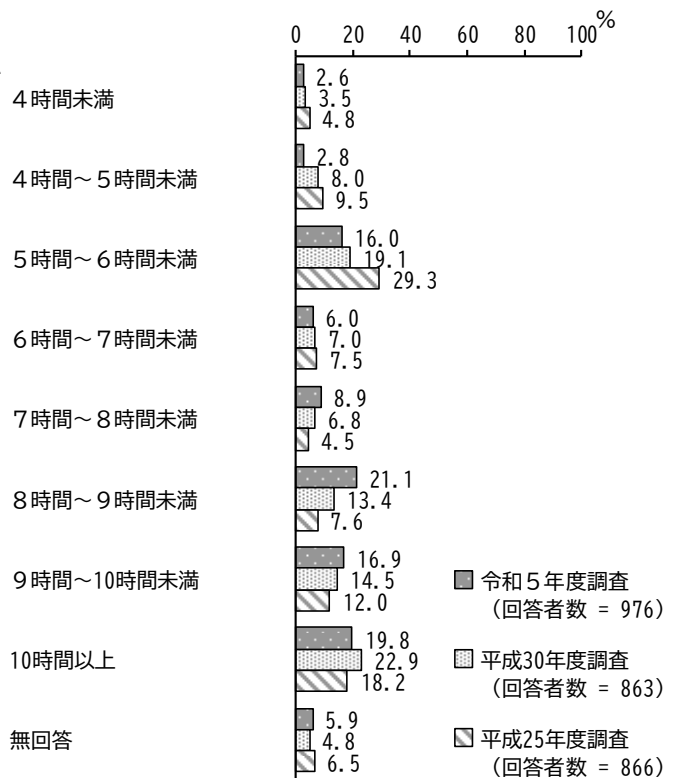
1週当たり利用日数

「5日」の割合が87.1%と最も高くなっています。



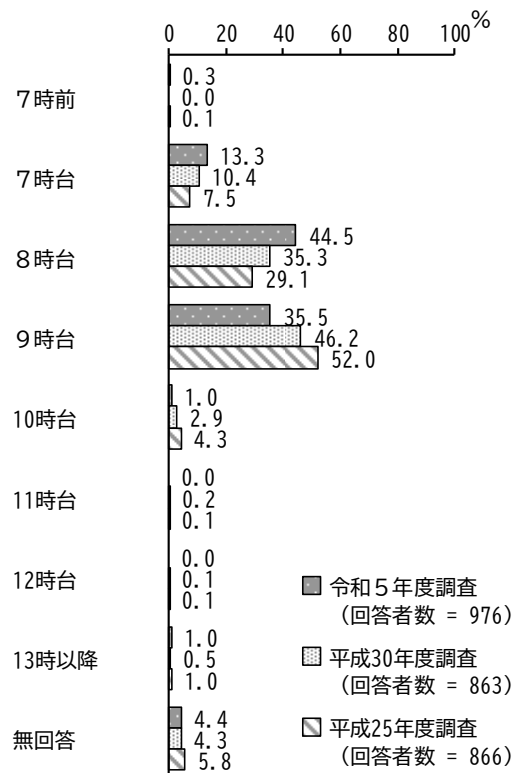
1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が21.1%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が16.9%、「5時間～6時間未満」の割合が16.0%となっています。



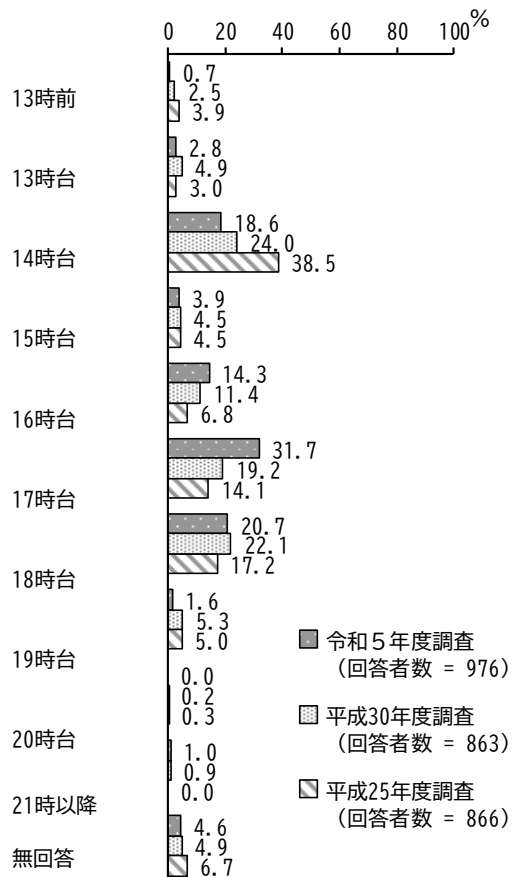
利用開始時間

「8時台」の割合が44.5%と最も高く、次いで「9時台」の割合が35.5%、「7時台」の割合が13.3%となっています。



利用終了時間

「17時台」の割合が31.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が20.7%、「14時台」の割合が18.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「14時台」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.7	2.8	18.6	3.9	14.3	31.7	20.7	1.6	—	1.0	4.6
0歳	90	1.1	1.1	4.4	2.2	26.7	40.0	16.7	2.2	—	—	5.6
1歳	123	0.8	2.4	5.7	2.4	12.2	43.9	26.0	1.6	—	0.8	4.1
2歳	146	3.4	—	8.2	3.4	17.8	36.3	25.3	0.7	—	2.7	2.1
3歳	212	—	5.7	21.2	3.3	11.3	32.5	21.7	0.9	—	0.5	2.8
4歳	185	—	5.4	23.8	4.9	10.8	28.1	18.4	1.6	—	0.5	6.5
5歳	215	—	0.5	32.1	5.6	14.4	19.5	17.2	2.8	—	1.4	6.5

【中学校区別】

中学校区別にみると、すべての地区で「17時台」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.7	2.8	18.6	3.9	14.3	31.7	20.7	1.6	—	1.0	4.6
山手	365	1.4	1.6	23.8	5.2	10.4	27.1	24.7	0.8	—	0.8	4.1
精道	429	0.2	4.4	15.6	2.8	17.7	34.0	17.0	1.9	—	1.6	4.7
潮見	181	0.6	1.1	15.5	3.9	14.4	34.8	21.5	2.8	—	—	5.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「14時台」の割合が高くなっています。

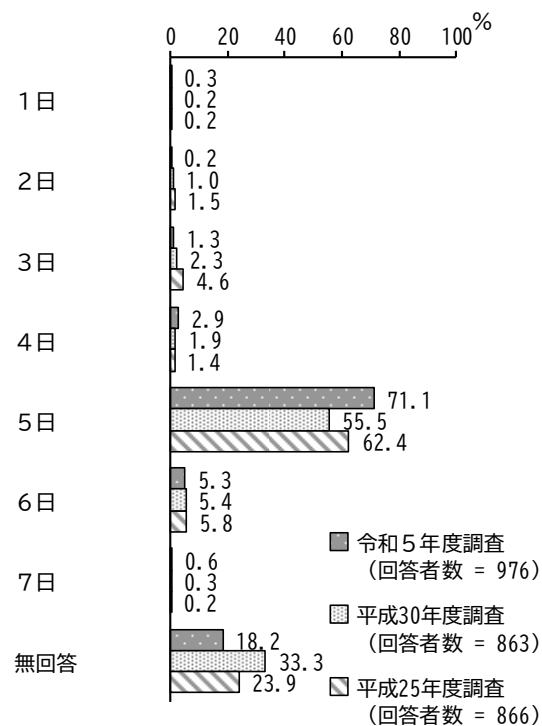
単位：％

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.7	2.8	18.6	3.9	14.3	31.7	20.7	1.6	—	1.0	4.6
フルタイム	489	0.2	0.4	1.2	0.8	10.8	45.2	36.6	2.9	—	0.4	1.4
パート・アルバイト等	267	—	1.5	21.0	6.0	27.7	28.8	7.9	0.4	—	0.4	6.4
未就労	211	2.8	10.0	54.5	8.5	6.2	3.3	0.9	0.5	—	3.3	10.0

(2) 希望

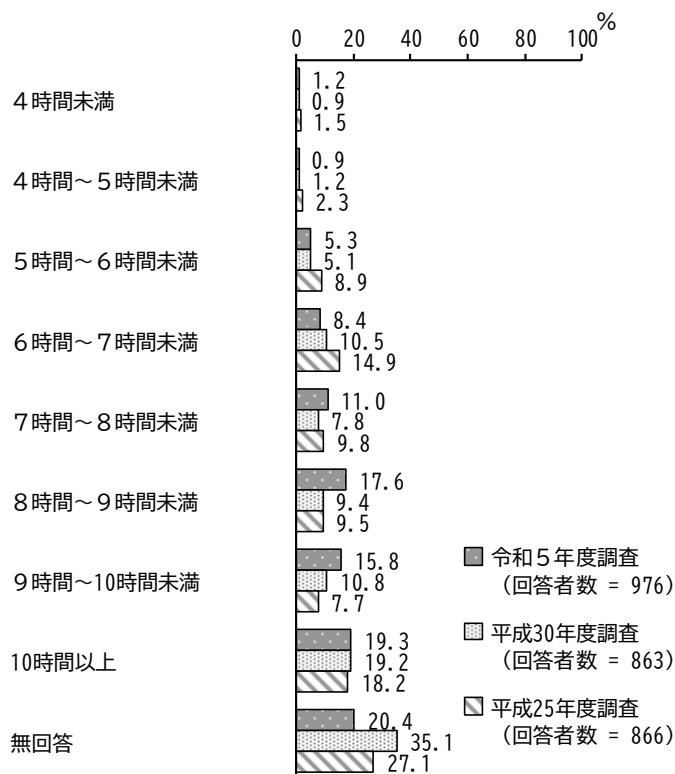
1週当たり利用日数

「5日」の割合が71.1%と最も高くなっています。



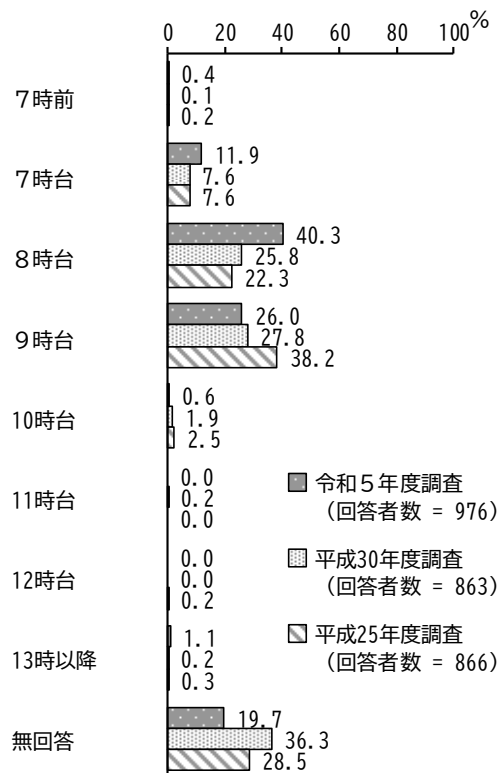
1日当たり利用時間

「8時間～9時間未満」の割合が17.6%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が15.8%、「10時間以上」の割合が19.3%となっています。



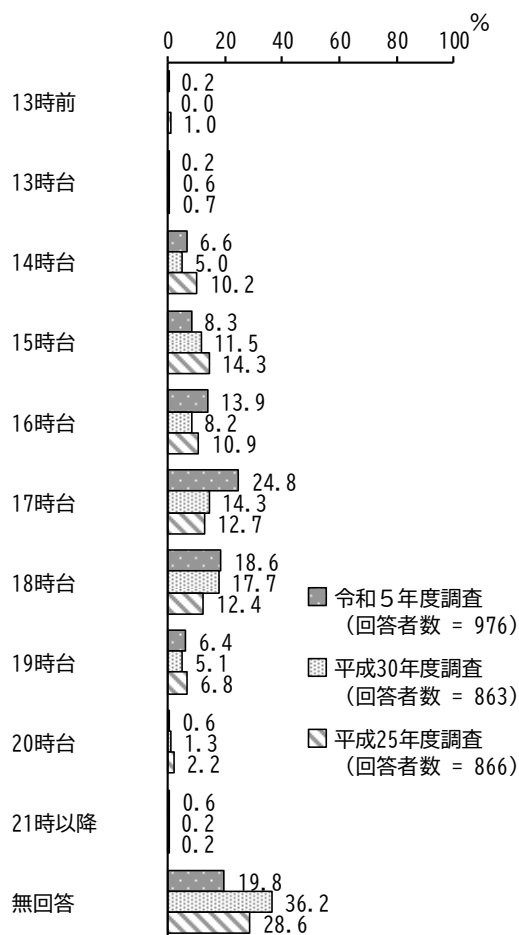
利用開始時間

「8時台」の割合が40.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が26.0%、「7時台」の割合が11.9%となっています。



利用終了時間

「17時台」の割合が24.8%と最も高く、次いで「18時台」の割合が18.6%、「16時台」の割合が13.9%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「17時台」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.2	0.2	6.6	8.3	13.9	24.8	18.6	6.4	0.6	0.6	19.8
0歳	90	—	—	2.2	1.1	16.7	33.3	21.1	7.8	—	1.1	16.7
1歳	123	—	0.8	2.4	7.3	13.0	32.5	17.1	6.5	0.8	0.8	18.7
2歳	146	0.7	—	4.1	6.2	9.6	24.7	22.6	11.6	—	1.4	19.2
3歳	212	0.5	—	7.5	7.5	15.1	27.8	14.2	4.7	0.9	—	21.7
4歳	185	—	0.5	7.6	11.4	14.6	23.8	20.5	3.2	1.1	—	17.3
5歳	215	—	—	10.2	10.7	14.9	14.9	19.1	6.0	0.5	0.9	22.8

【中学校区別】

中学校区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.2	0.2	6.6	8.3	13.9	24.8	18.6	6.4	0.6	0.6	19.8
山手	365	0.3	—	6.0	12.1	12.3	19.5	21.9	5.2	0.8	1.1	20.8
精道	429	0.2	0.2	6.3	6.3	17.0	27.7	16.6	6.5	0.7	0.5	17.9
潮見	181	—	0.6	8.3	5.5	9.9	28.7	17.1	8.3	—	—	21.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「18時台」の割合が高くなっています。

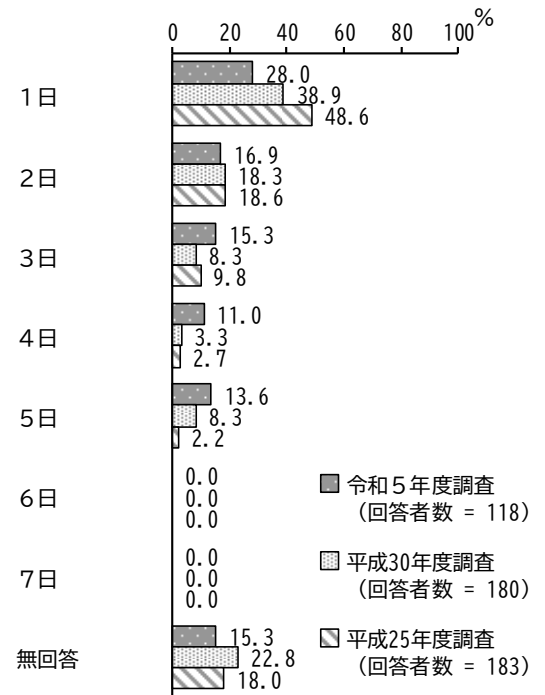
単位：%

区分	回答者数 (件)	13 時前	13 時台	14 時台	15 時台	16 時台	17 時台	18 時台	19 時台	20 時台	21 時以降	無 回答
全 体	976	0.2	0.2	6.6	8.3	13.9	24.8	18.6	6.4	0.6	0.6	19.8
フルタイム	489	—	0.2	1.4	1.2	10.0	29.0	29.7	11.9	0.8	0.8	14.9
パート・アルバイト等	267	—	—	6.0	7.5	20.6	28.8	12.4	1.1	—	0.4	23.2
未就労	211	0.9	0.5	18.5	25.6	15.2	9.0	1.9	0.5	0.9	0.5	26.5

問 22-3 問 22-1 で「2. 幼稚園の預かり保育」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」に をつけた方にうかがいます。どのくらい利用していますか。 に具体的な数字でご記入ください。

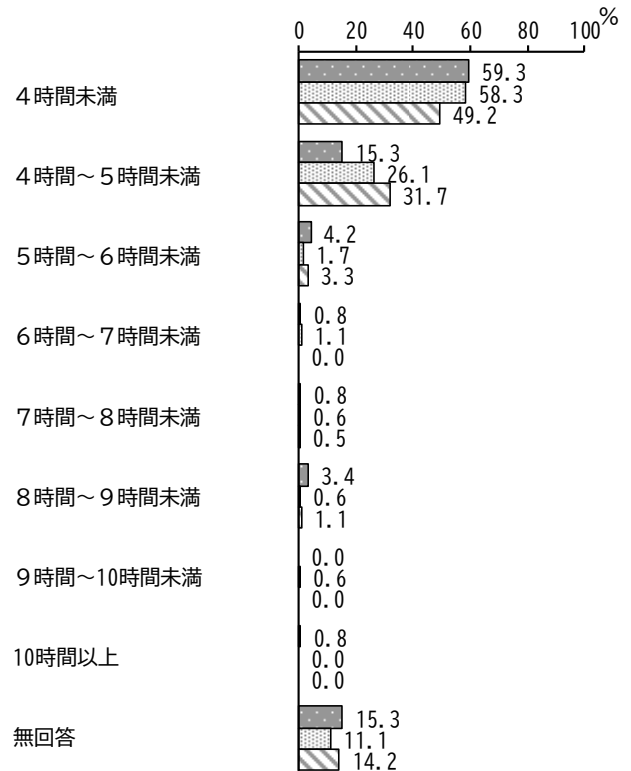
1 週当たり利用日数

「1日」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が 16.9%、「3日」の割合が 15.3%となっています。



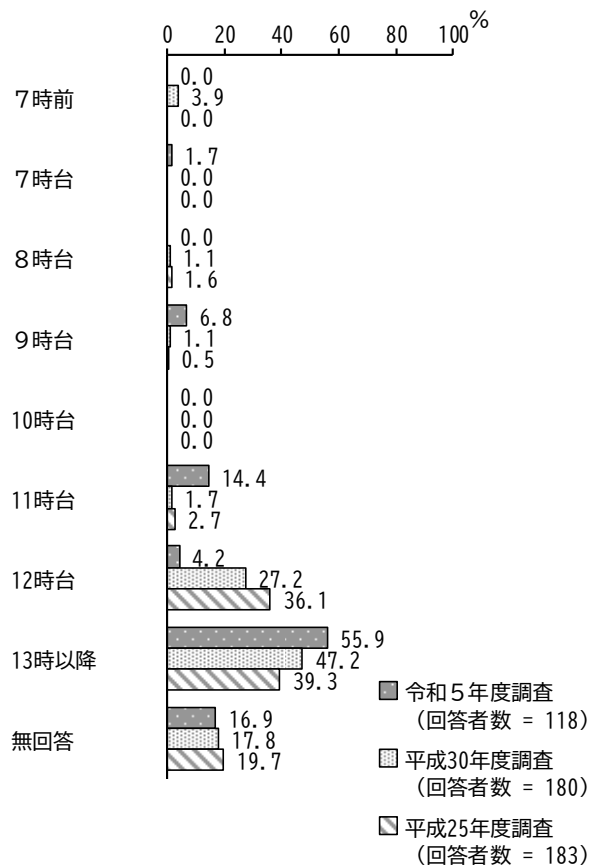
1日当たり利用時間

「4時間未満」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「4時間～5時間未満」の割合が 15.3%となっています。



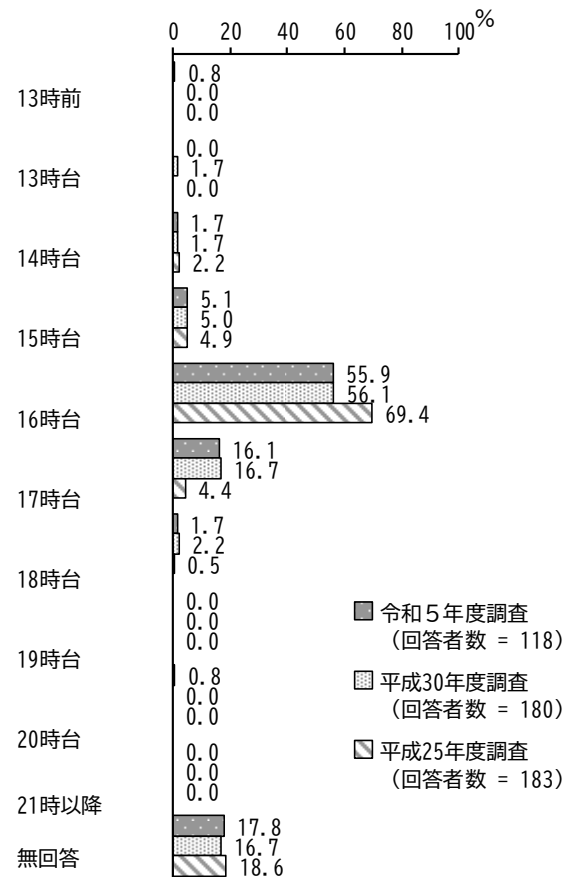
利用開始時間

「13時以降」の割合が55.9%と最も高く、次いで「11時台」の割合が14.4%となっています。



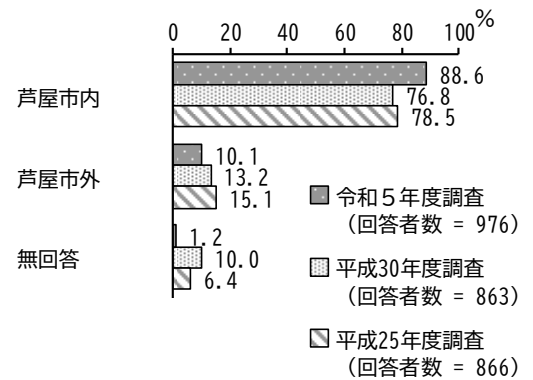
利用終了時間

「16時台」の割合が55.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が16.1%となっています。



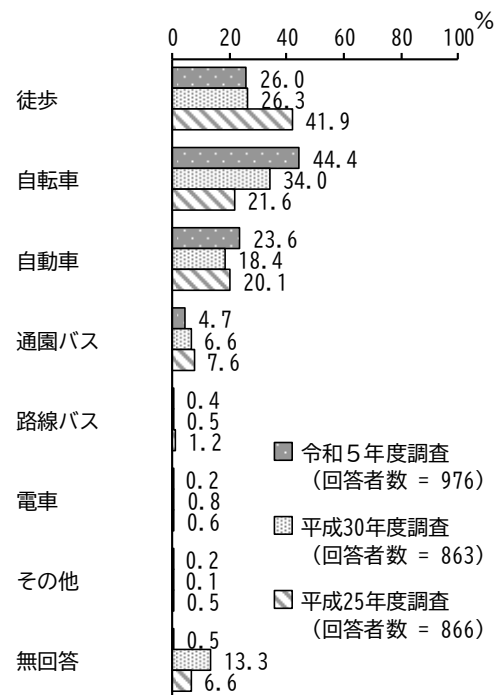
問 22-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

「芦屋市内」の割合が88.6%、「芦屋市外」の割合が10.1%となっています。



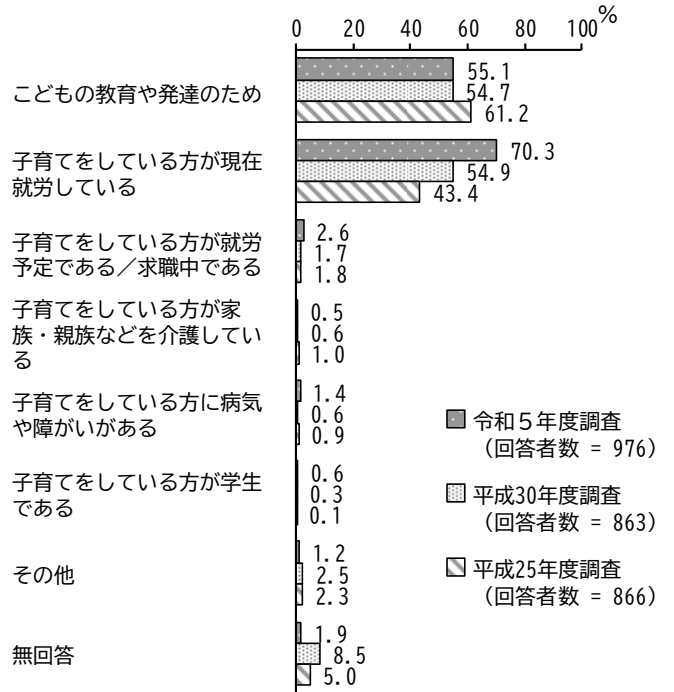
問 22-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通う主な手段についてうかがいます。主な手段を1つに○をつけてください。

「自転車」の割合が44.4%と最も高く、次いで「徒歩」の割合が26.0%、「自動車」の割合が23.6%となっています。



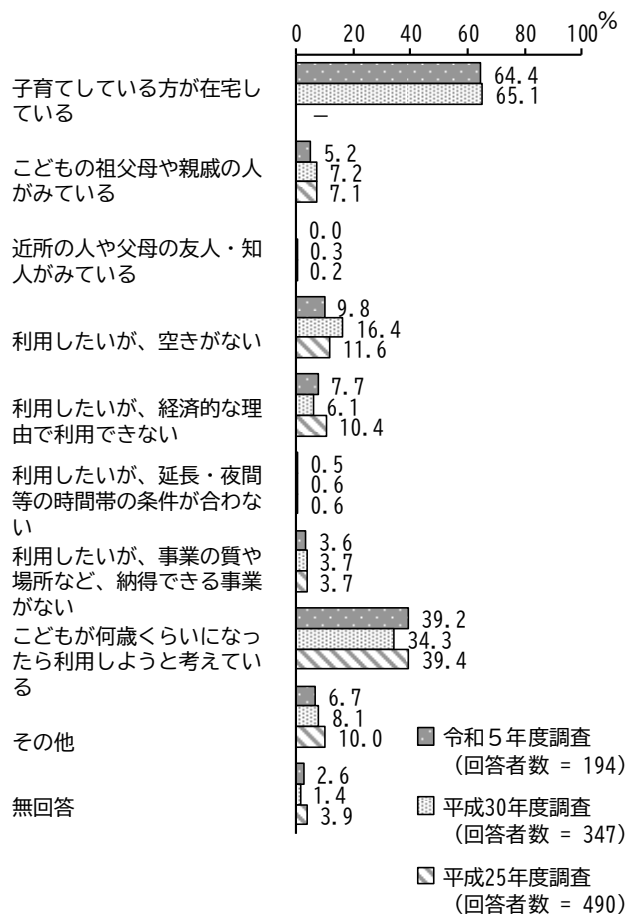
問 22-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てをしている方が現在就労している」の割合が70.3%と最も高く、次いで「こどもの教育や発達のため」の割合が55.1%となっています。



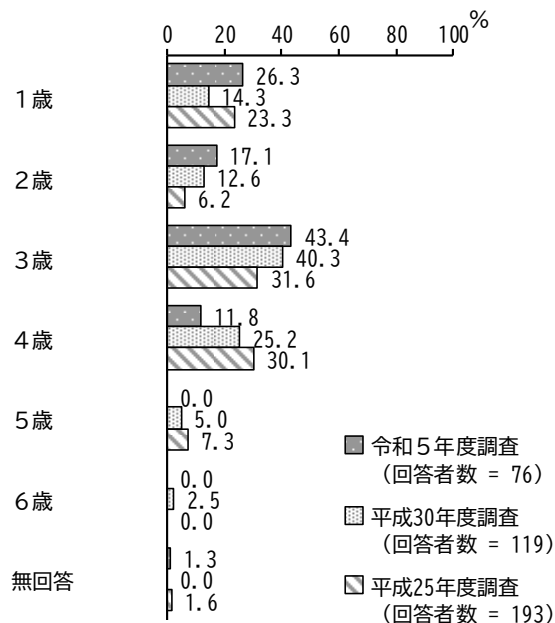
問 22-7 問 22 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てしている方が在宅している」の割合が64.4%と最も高く、次いで「こどもが何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が39.2%となっています。



教育・保育サービスを利用したい子どもの年齢

「3歳」の割合が43.4%と最も高く、次いで「1歳」の割合が26.3%、「2歳」の割合が17.1%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、1歳で「子育てしている方が在宅している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てしている方が在宅している	こどもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	時間帯の条件が合わない	利用したいが、延長・夜間等の	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	194	64.4	5.2	—	9.8	7.7	0.5	3.6	39.2	6.7	2.6	
0歳	104	59.6	—	—	12.5	8.7	1.0	1.9	42.3	7.7	1.9	
1歳	43	74.4	14.0	—	7.0	9.3	—	4.7	27.9	4.7	4.7	
2歳	39	61.5	7.7	—	7.7	5.1	—	5.1	41.0	7.7	2.6	
3歳	5	100.0	—	—	—	—	—	20.0	60.0	—	—	
4歳	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
5歳	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—	

【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「子育てしている方が在宅している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てしている方が在宅している	こどもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	194	64.4	5.2	—	9.8	7.7	0.5	3.6	39.2	6.7	2.6
山手	81	60.5	7.4	—	9.9	11.1	1.2	6.2	35.8	7.4	2.5
精道	85	63.5	2.4	—	10.6	5.9	—	—	45.9	7.1	2.4
潮見	27	77.8	7.4	—	7.4	3.7	—	7.4	29.6	3.7	3.7

【母親の就労状況別】

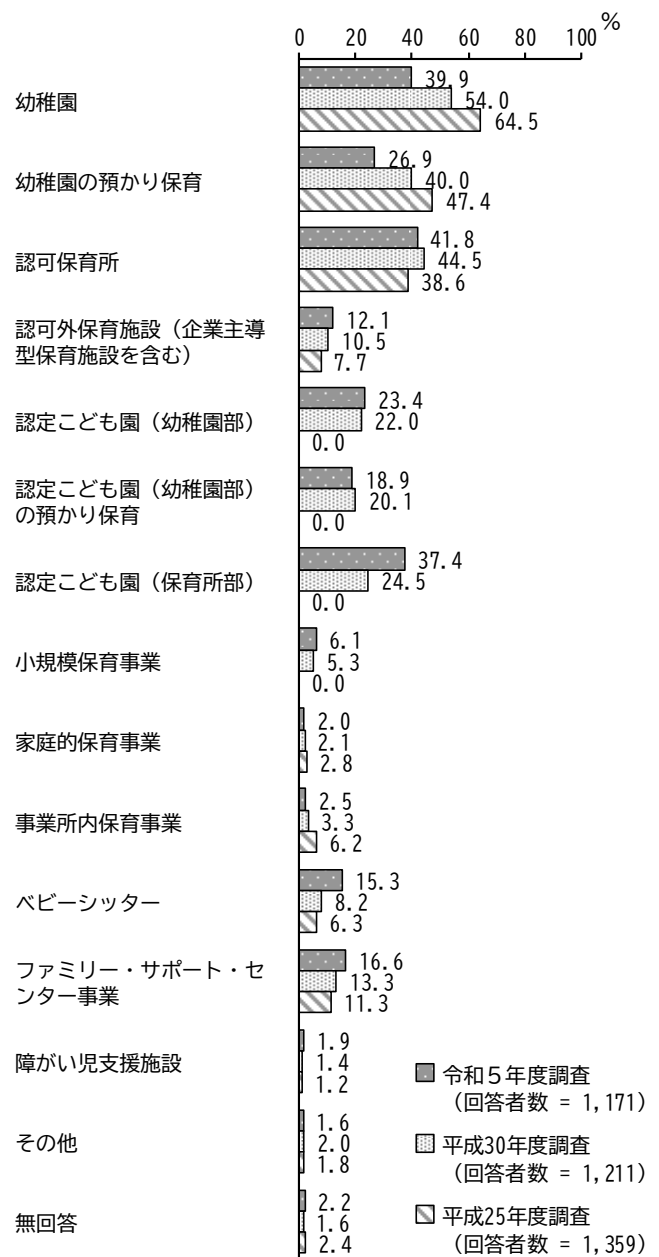
母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てしている方が在宅している	こどもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、空きがない	利用したいが、経済的な理由で利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えている	その他	無回答
全体	194	64.4	5.2	—	9.8	7.7	0.5	3.6	39.2	6.7	2.6
フルタイム	69	62.3	2.9	—	15.9	5.8	—	2.9	37.7	4.3	1.4
パート・アルバイト等	16	25.0	25.0	—	25.0	—	—	6.3	56.3	6.3	—
未就労	108	72.2	3.7	—	3.7	10.2	0.9	3.7	38.0	8.3	2.8

問 23 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する事業もあります。

「認可保育所」の割合が41.8%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が39.9%、「認定こども園（保育所部）」の割合が37.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「認可保育所」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	認定こども園(幼稚園部)	認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	認定こども園(保育所部)	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1,171	39.9	26.9	41.8	12.1	23.4	18.9	37.4	6.1	2.0	2.5	15.3	16.6	1.9	1.6	2.2
0歳	194	38.7	30.4	57.2	20.1	28.9	21.1	50.0	14.4	2.1	3.6	18.0	16.5	1.0	2.6	2.1
1歳	166	36.7	25.3	45.2	16.3	32.5	27.7	44.0	11.4	4.8	4.8	15.7	13.3	2.4	0.6	4.2
2歳	185	36.2	18.9	43.8	8.6	20.0	15.1	42.7	6.5	1.6	1.6	15.7	22.2	1.6	2.2	1.6
3歳	217	37.8	28.1	38.7	9.7	19.4	19.4	35.9	2.3	0.9	2.3	17.1	18.4	1.4	4.1	2.3
4歳	186	40.3	22.6	30.6	8.6	20.4	15.1	30.1	2.2	1.1	1.6	13.4	15.1	1.6	—	0.5
5歳	217	47.9	34.6	36.4	10.6	21.7	16.6	25.3	1.8	1.8	1.4	12.0	13.8	3.2	—	2.3

【中学校区別】

中学校区別にみると、山手で「幼稚園」の割合が高く、精道、潮見で「認定こども園(保育所部)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	認定こども園(幼稚園部)	認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	認定こども園(保育所部)	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1,171	39.9	26.9	41.8	12.1	23.4	18.9	37.4	6.1	2.0	2.5	15.3	16.6	1.9	1.6	2.2
山手	446	51.6	35.4	41.5	18.2	15.9	14.8	26.5	6.3	2.0	3.1	21.1	16.8	1.1	1.6	1.3
精道	514	32.1	21.6	44.4	9.3	29.4	22.6	43.6	6.0	1.9	1.9	11.3	15.6	2.7	1.0	2.3
潮見	209	33.5	22.0	36.8	6.2	24.4	18.7	45.5	6.2	1.9	2.4	12.9	18.7	1.4	3.3	3.8

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「幼稚園」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	認定こども園(幼稚園部)	認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	認定こども園(保育所部)	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1,171	39.9	26.9	41.8	12.1	23.4	18.9	37.4	6.1	2.0	2.5	15.3	16.6	1.9	1.6	2.2
フルタイム	558	24.9	16.5	59.3	15.8	15.4	13.4	51.1	6.5	2.0	3.4	20.1	20.8	1.4	1.6	2.3
パート・アルバイト等	283	36.0	29.7	43.1	13.4	24.7	20.1	38.9	6.7	1.8	1.8	11.3	14.5	2.1	1.4	2.1
未就労	319	69.0	42.3	10.7	5.0	36.4	27.3	12.5	5.3	2.2	1.6	11.0	11.6	2.5	1.9	1.9

【定期的な教育・保育事業の利用の有無別】

定期的な教育・保育事業の利用の有無別にみると、利用していないで「認定こども園(幼稚園部)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	認定こども園(幼稚園部)	認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	認定こども園(保育所部)	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	1,171	39.9	26.9	41.8	12.1	23.4	18.9	37.4	6.1	2.0	2.5	15.3	16.6	1.9	1.6	2.2
利用している	976	36.7	25.0	43.1	12.2	19.9	16.8	37.4	4.8	1.7	2.5	16.1	16.9	2.0	1.6	2.3
利用していない	194	56.2	36.6	35.6	11.9	41.2	29.4	37.6	12.9	3.1	2.6	11.3	14.9	1.0	1.5	1.5

【母親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望別】

母親のパート・アルバイト等からフルタイムへの転換希望別にみると、パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したいで「認定こども園（保育所部）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）	認定こども園（幼稚園部）	認定こども園（幼稚園部）の預かり保育	認定こども園（保育所部）	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	283	36.0	29.7	43.1	13.4	24.7	20.1	38.9	6.7	1.8	1.8	11.3	14.5	2.1	1.4	2.1
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	23	4.3	13.0	60.9	17.4	8.7	4.3	43.5	8.7	—	—	8.7	13.0	—	—	—
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	89	43.8	33.7	42.7	9.0	29.2	22.5	44.9	7.9	4.5	3.4	15.7	18.0	4.5	2.2	3.4
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	136	36.8	32.4	41.9	15.4	25.0	22.1	30.9	5.1	—	0.7	11.0	13.2	1.5	1.5	1.5
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	19	36.8	31.6	42.1	21.1	36.8	21.1	57.9	10.5	—	—	—	10.5	—	—	5.3

【未就労の母親の就労希望別】

未就労の母親の就労希望別にみると、すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいで「認定こども園（保育所部）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）	認定こども園（幼稚園部）	認定こども園（幼稚園部）の預かり保育	認定こども園（保育所部）	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	319	69.0	42.3	10.7	5.0	36.4	27.3	12.5	5.3	2.2	1.6	11.0	11.6	2.5	1.9	1.9
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	88	76.1	35.2	1.1	1.1	28.4	17.0	1.1	3.4	—	—	5.7	5.7	1.1	2.3	3.4
1年より先、一番下のこどもが何歳になったら就労したい	163	70.6	47.9	9.8	3.1	39.3	32.5	12.9	4.9	2.5	1.8	13.5	16.0	2.5	1.8	0.6
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	48	58.3	43.8	27.1	10.4	47.9	33.3	31.3	8.3	4.2	2.1	8.3	8.3	6.3	—	—

【利用している定期的な教育・保育事業別】

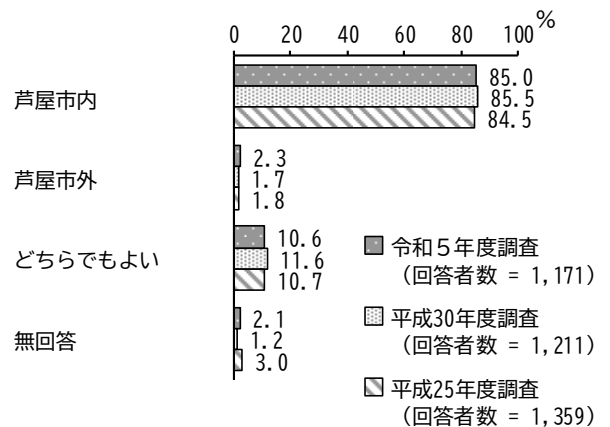
利用している定期的な教育・保育事業別にみると、現在、「幼稚園」、「幼稚園の預かり保育」、「認可保育所」及び「ファミリー・サポート・センター事業」を利用している人は、利用希望も同一の施設を回答している割合が8割を超えています。

単位：％

区分	回答者数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	認定こども園(幼稚園部)	認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	認定こども園(保育所部)	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター事業	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	976	36.7	25.0	43.1	12.2	19.9	16.8	37.4	4.8	1.7	2.5	16.1	16.9	2.0	1.6	2.3
幼稚園(通常の就園時間の利用)	194	94.8	59.3	8.2	7.2	9.8	9.8	6.2	3.6	1.0	1.0	13.9	14.9	2.6	0.5	0.5
幼稚園の預かり保育	80	90.0	86.3	11.3	7.5	7.5	8.8	8.8	2.5	1.3	1.3	17.5	20.0	2.5	—	—
認可保育所	308	20.1	16.2	88.6	8.4	13.0	11.0	26.9	3.9	1.0	2.3	18.5	18.2	1.3	0.6	1.9
認可外保育施設(企業主導型保育施設を含む)	90	42.2	34.4	42.2	72.2	20.0	23.3	26.7	3.3	1.1	2.2	27.8	20.0	1.1	1.1	2.2
認定こども園(幼稚園部)	91	29.7	19.8	8.8	—	79.1	59.3	18.7	2.2	1.1	—	6.6	9.9	3.3	2.2	2.2
認定こども園(幼稚園部)の預かり保育	39	23.1	20.5	15.4	5.1	66.7	74.4	28.2	2.6	—	—	7.7	10.3	7.7	—	5.1
認定こども園(保育所部)	264	14.4	9.1	30.3	7.2	14.4	11.7	84.1	5.7	3.0	4.2	15.5	18.6	0.8	2.7	3.4
小規模保育事業	29	41.4	20.7	62.1	10.3	27.6	17.2	34.5	31.0	6.9	3.4	13.8	20.7	3.4	—	6.9
家庭的保育事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
事業所内保育事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベビーシッター	6	33.3	33.3	16.7	33.3	—	16.7	16.7	—	—	—	66.7	33.3	—	—	—
ファミリー・サポート・センター事業	13	23.1	15.4	38.5	38.5	15.4	7.7	30.8	—	—	—	61.5	92.3	—	—	—
障がい児支援施設	17	52.9	29.4	11.8	—	23.5	23.5	17.6	—	—	—	5.9	29.4	64.7	—	5.9
その他	14	50.0	28.6	21.4	21.4	28.6	21.4	28.6	7.1	—	—	14.3	—	—	21.4	—

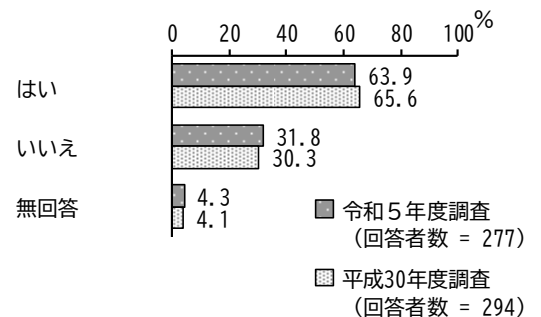
問 23-1 すべての方にうかがいます。教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「芦屋市内」の割合が85.0%と最も高く、次いで「どちらでもよい」の割合が10.6%となっています。



問 23-2 問 23 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ 3. 認可保育所、4. 認可外保育施設、7. 認定こども園（保育所部）～14. その他にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が63.9%、「いいえ」の割合が31.8%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	277	63.9	31.8	4.3
山手	129	72.1	22.5	5.4
精道	103	59.2	36.9	3.9
潮見	44	50.0	47.7	2.3

【母親の就労状況別】

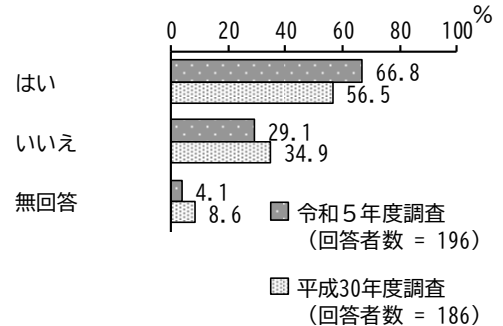
母親の就労状況別にみると、未就労で「はい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全 体	277	63.9	31.8	4.3
フルタイム	129	58.1	35.7	6.2
パート・アルバイト等	70	55.7	38.6	5.7
未就労	77	80.5	19.5	—

問23-3 問23で「5. 認定こども園（幼稚園部）」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」に○をつけ、かつ3. 認可保育所、4. 認可外保育施設、7. 認定こども園（保育所部）～14. その他にも○をつけた方にうかがいます。特に認定こども園（幼稚園部）（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」の割合が66.8%、「いいえ」の割合が29.1%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「いいえ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	196	66.8	29.1	4.1
山手	64	70.3	25.0	4.7
精道	95	68.4	27.4	4.2
潮見	37	56.8	40.5	2.7

【母親の就労状況別】

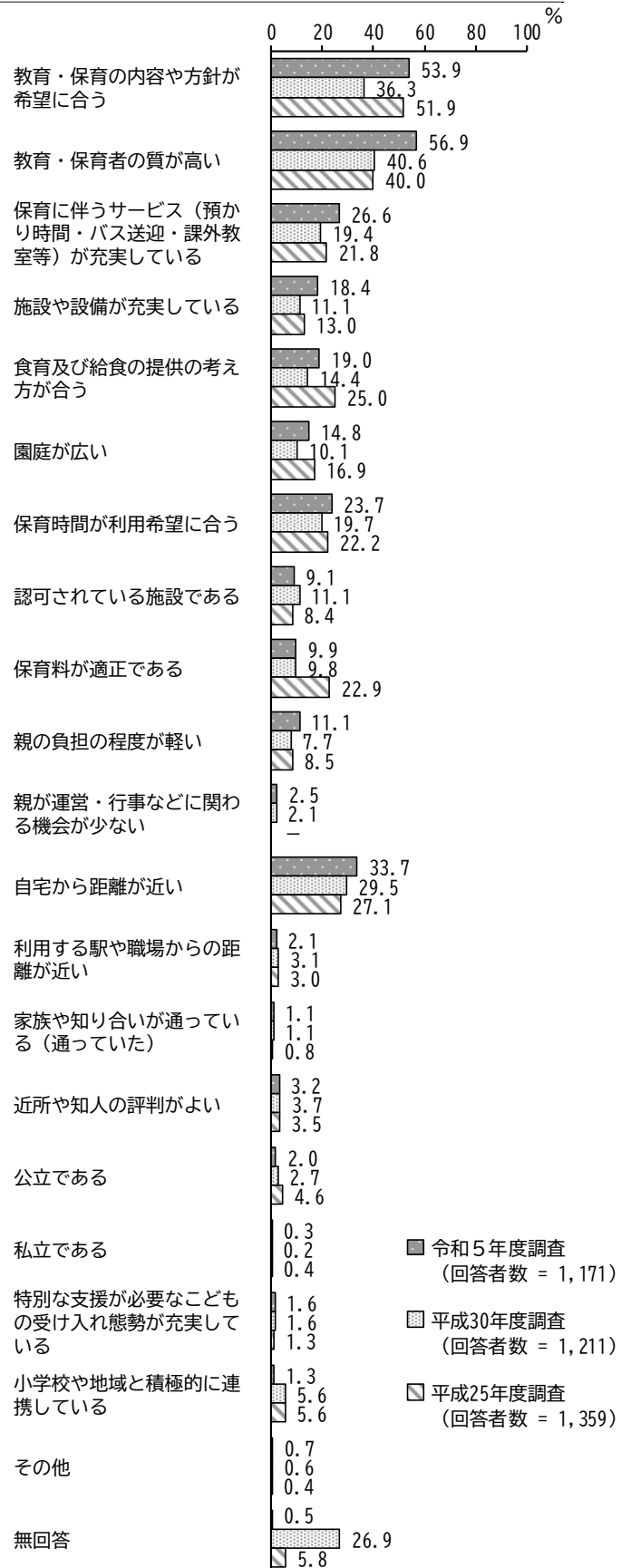
母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	はい	いいえ	無回答
全体	196	66.8	29.1	4.1
フルタイム	93	65.6	30.1	4.3
パート・アルバイト等	55	67.3	30.9	1.8
未就労	47	68.1	25.5	6.4

問 23-4 すべての方にうかがいます。今後、新たに教育・保育事業を選ぶことを想定した場合、重視することはどのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育者の質が高い」の割合が56.9%と最も高く、次いで「教育・保育の内容や方針が希望に合う」の割合が53.9%、「自宅から距離が近い」の割合が33.7%となっています。



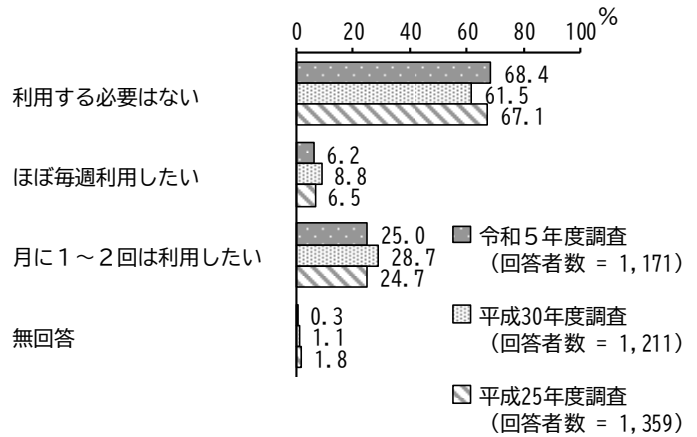
※平成 25 年度調査では、「親が運営・行事などに関わる機会が少ない」の選択肢はありませんでした。

(6) お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 24 すべての方にうかがいます。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

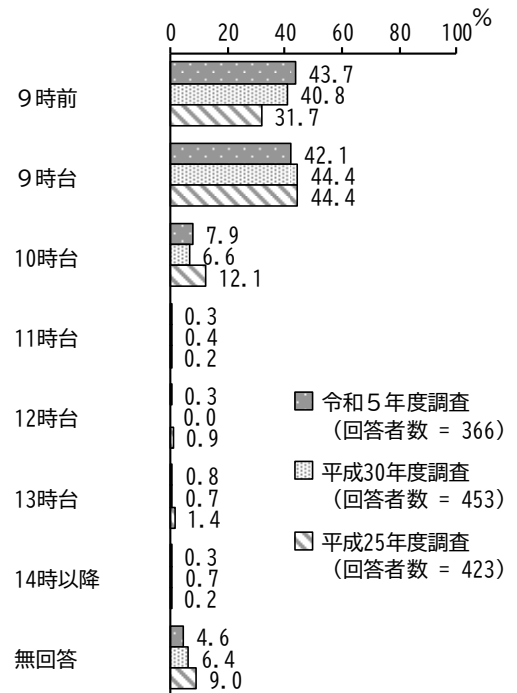
(1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が68.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が25.0%となっています。



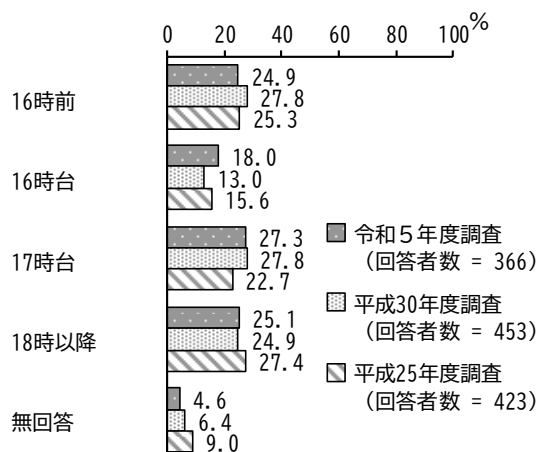
利用開始時間

「9時前」の割合が43.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が42.1%となっています。



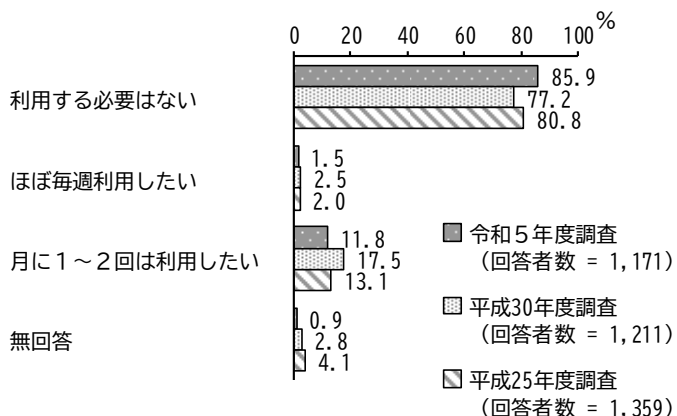
利用終了時間

「17時台」の割合が27.3%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が25.1%、「16時前」の割合が24.9%となっています。



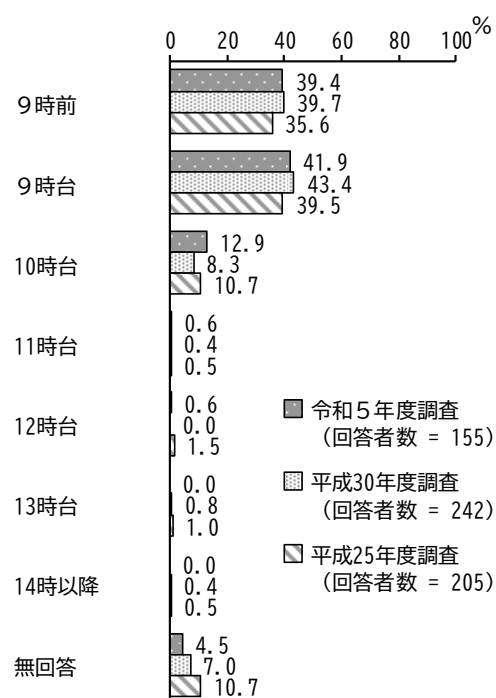
(2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が85.9%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が11.8%となっています。



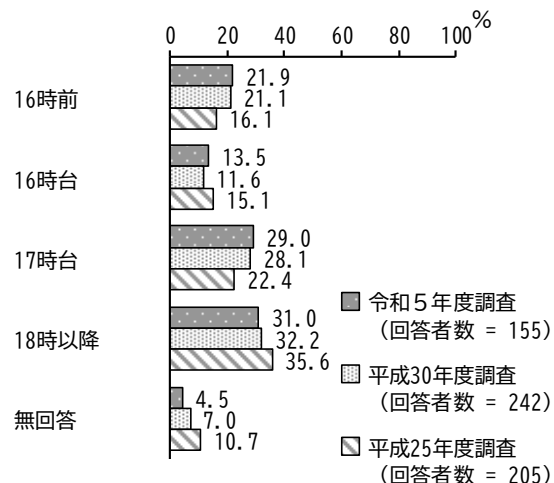
利用開始時間

「9時台」の割合が41.9%と最も高く、次いで「9時前」の割合が39.4%、「10時台」の割合が12.9%となっています。



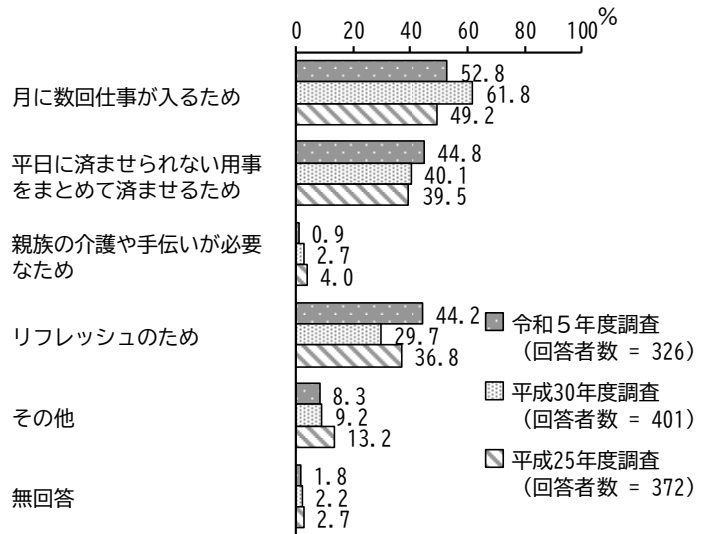
利用終了時間

「18時以降」の割合が31.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.0%、「16時前」の割合が21.9%となっています。



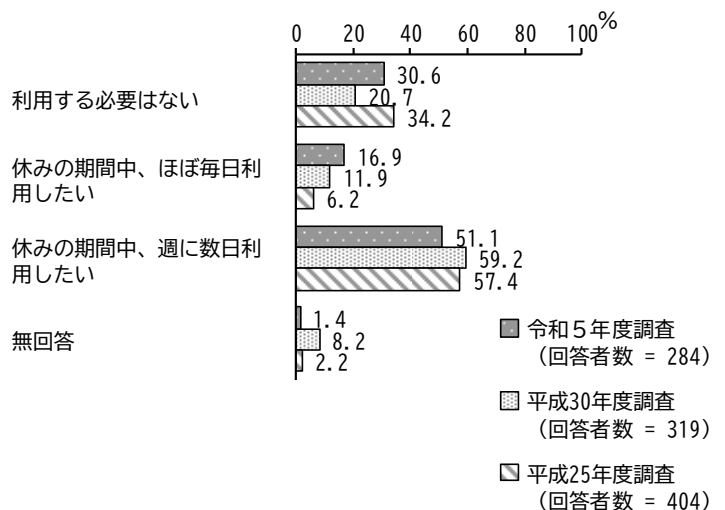
問 24-1 問 24 の (1) または (2) で、「3. 月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、月に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 44.8%、「リフレッシュのため」の割合が 44.2%となっています。



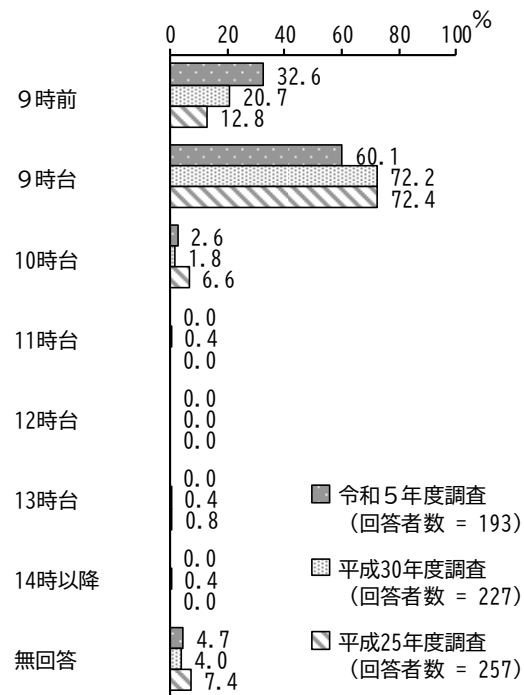
問 25 「幼稚園」または「認定こども園（幼稚園部）」を利用されている方にうかがいます。お子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけ、該当する には数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が 30.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が 16.9%となっています。



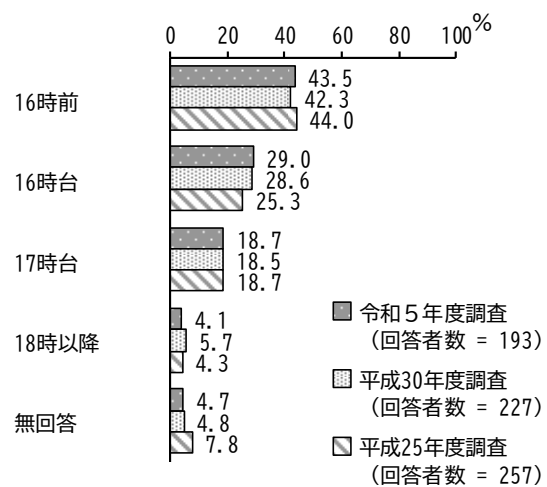
利用開始時間

「9時台」の割合が60.1%と最も高く、次いで「9時前」の割合が32.6%となっています。



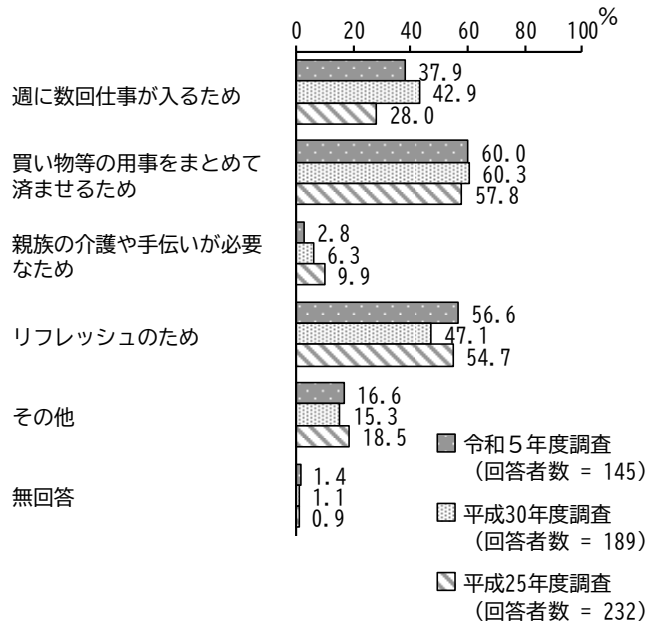
利用終了時間

「16時前」の割合が43.5%と最も高く、次いで「16時台」の割合が29.0%、「17時台」の割合が18.7%となっています。



問 25-1 問 25 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にかがいます。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

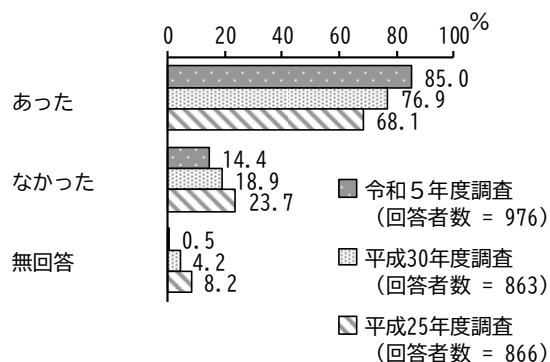
「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」の割合が 56.6%、「週に数回仕事が入るため」の割合が 37.9%となっています。



(7) お子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 26 問 22 で現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」を「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「あった」の割合が85.0%、「なかった」の割合が14.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「あった」の割合が高くなっています。

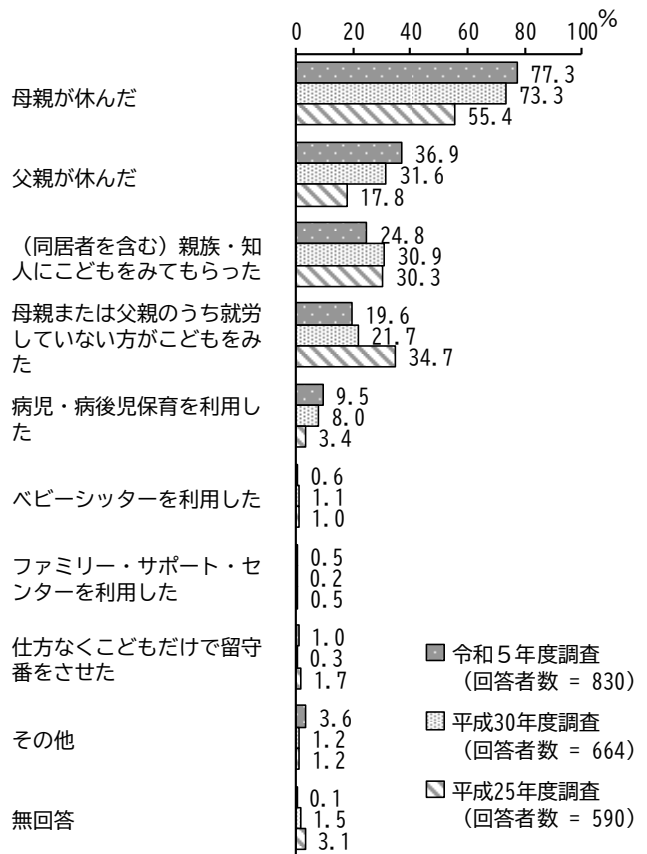
単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	976	85.0	14.4	0.5
0歳	90	82.2	16.7	1.1
1歳	123	87.0	12.2	0.8
2歳	146	87.0	13.0	—
3歳	212	82.5	16.0	1.4
4歳	185	85.9	14.1	—
5歳	215	85.6	14.4	—

問 26-1 問 26 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。

(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が77.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が36.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が24.8%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

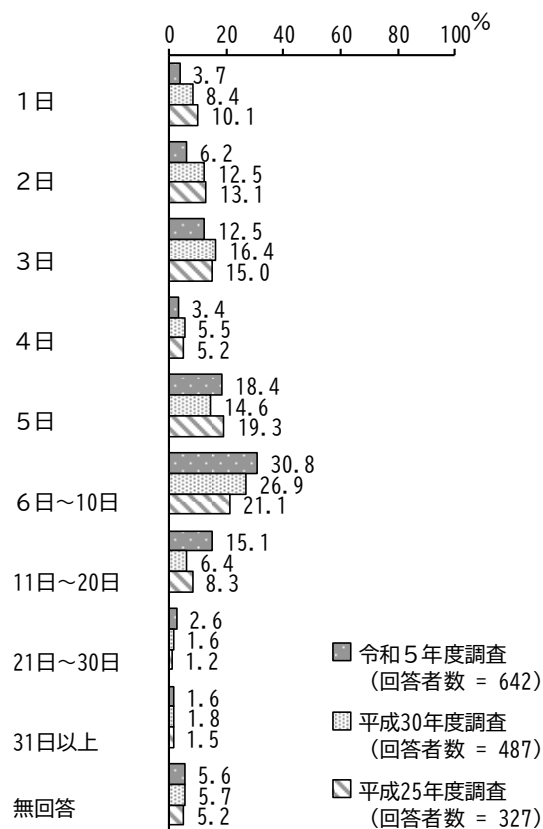
単位：%

区分	回答者数(件)	母親が休んだ	父親が休んだ	同居者を含む親族・知人に子どもをみてもらった	母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	830	77.3	36.9	24.8	19.6	9.5	0.6	0.5	1.0	3.6	0.1
0歳	74	83.8	45.9	33.8	12.2	16.2	1.4	2.7	1.4	1.4	-
1歳	107	87.9	43.0	29.9	9.3	12.1	0.9	-	-	4.7	-
2歳	127	86.6	46.5	25.2	11.8	10.2	-	0.8	-	3.9	-
3歳	175	76.0	34.3	23.4	22.3	13.1	0.6	0.6	0.6	2.3	-
4歳	159	69.8	29.6	21.4	28.3	5.7	-	-	0.6	4.4	-
5歳	184	69.6	32.1	22.3	23.4	4.9	1.1	-	2.7	4.3	0.5

対応した日数

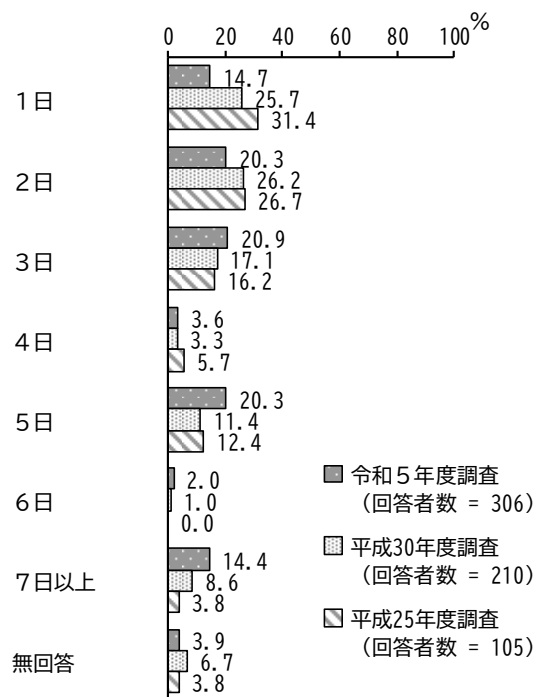
1. 母親が休んだ

「6日～10日」の割合が30.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が18.4%、「11日～20日」の割合が15.1%となっています。



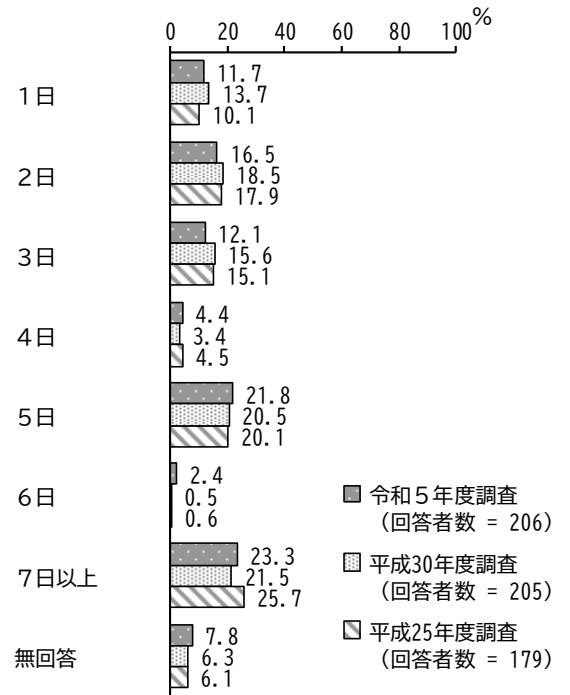
2. 父親が休んだ

「3日」の割合が20.9%と最も高く、次いで「2日」、「5日」の割合が20.3%となっています。



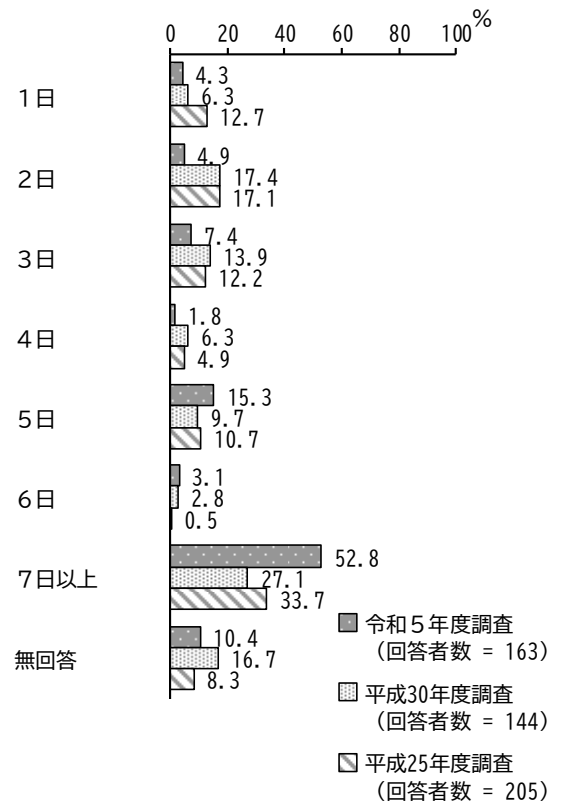
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった

「7日以上」の割合が23.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が21.8%、「2日」の割合が16.5%となっています。



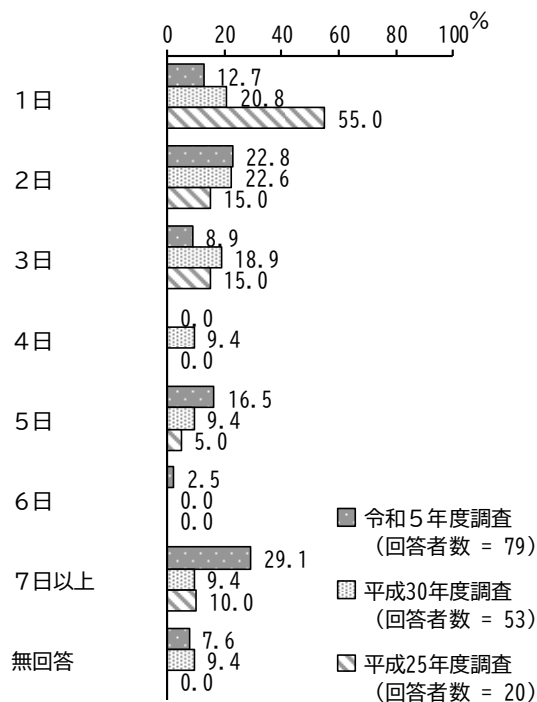
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた

「7日以上」の割合が52.8%と最も高く、次いで「5日」の割合が15.3%となっています。



5. 病児・病後児保育を利用した

「7日以上」の割合が29.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.8%、「5日」の割合が16.5%となっています。



6. ベビーシッターを利用した

「3日」が2件となっています。「2日」、「5日」が1件となっています。

7. ファミリー・サポート・センターを利用した

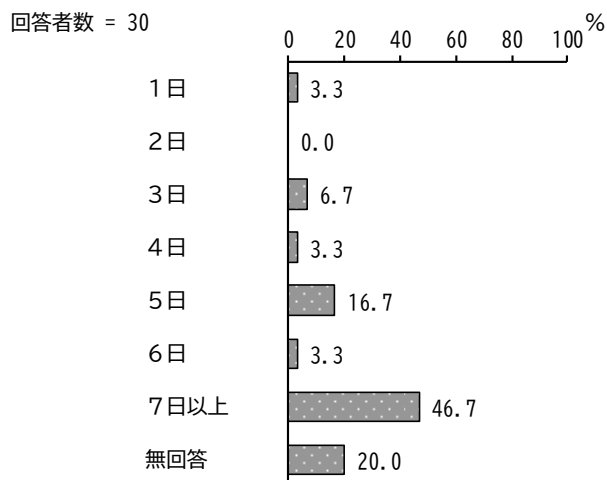
「1日」が2件となっています。「7日以上」が1件となっています。

8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「2日」が3件となっています。「1日」、「3日」が2件となっています。

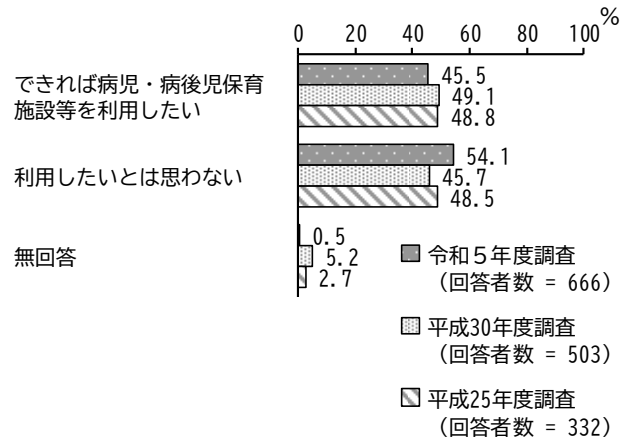
9. その他

「7日以上」の割合が46.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が16.7%となっています。



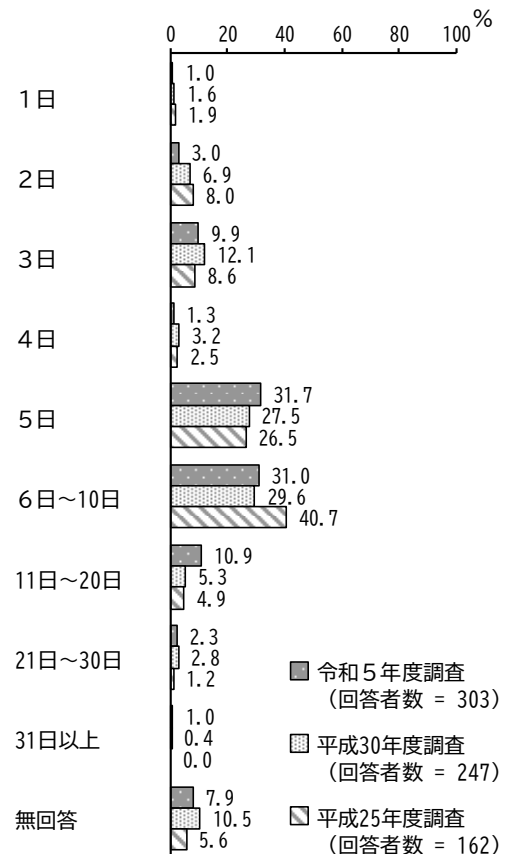
問26-2 問26-1で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が45.5%、「利用したいとは思わない」の割合が54.1%となっています。



病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「5日」の割合が31.7%と最も高く、次いで「6～10日」の割合が31.0%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、4歳で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	利用したい できれば病児・病後 児保育施設等を利 用したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	666	45.5	54.1	0.5
0歳	67	55.2	44.8	—
1歳	97	48.5	50.5	1.0
2歳	112	53.6	45.5	0.9
3歳	138	52.2	47.8	—
4歳	114	33.3	66.7	—
5歳	134	35.1	64.2	0.7

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	利用したい できれば病児・病後 児保育施設等を利 用したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	666	45.5	54.1	0.5
フルタイム	414	50.7	49.0	0.2
パート・アルバイト等	209	37.3	62.2	0.5
未就労	40	37.5	60.0	2.5

問 27 すべての方にかがいます。病児・病後児保育について、利用したことがある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「どうしても仕事を休めないときに、こどもを預けられる」の割合が 54.6%と最も高く、次いで「申し込みや支払い方法等、利用手続きが煩雑」の割合が 40.5%、「看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる」の割合が 39.5%となっています。

回答者数 = 1,171

どうしても仕事を休めないときに、こどもを預けられる
安心してこどもを預けられる人（祖父母など）がいないときに利用できる

1日だけでも利用できる

看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる

こどもの負担が大きい

初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある

自宅近くにない

利用料が高い

申し込みや支払い方法等、利用手続きが煩雑

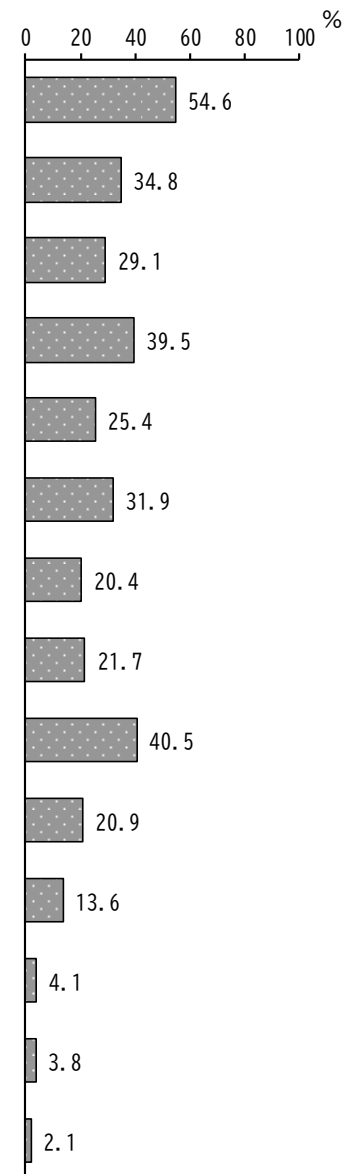
申込みをしても定員がいっぱいで断られることが多い

家族や親族等で対応できる

その他

特になし

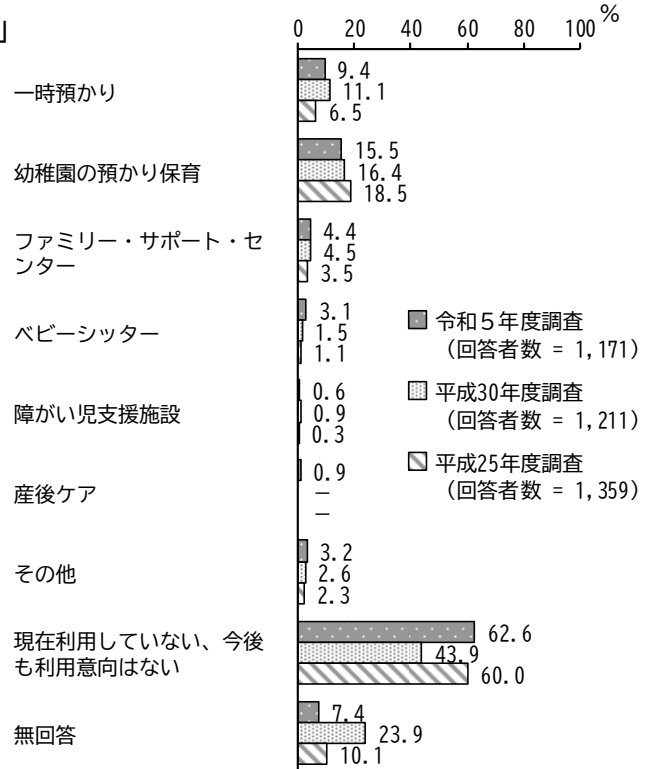
無回答



(8) お子さんの不規則の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について

問 28 お子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が62.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が15.5%となっています。



※「現在利用していない、今後も利用意向はない」について、平成25年度調査では、「利用していない」としています。

【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、5歳で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	産後ケア	その他	現在利用していない、今後も利用意向	無回答
全体	1,171	9.4	15.5	4.4	3.1	0.6	0.9	3.2	62.6	7.4
0歳	194	16.5	9.3	6.2	6.2	—	1.5	4.6	55.7	9.8
1歳	166	10.2	5.4	6.0	4.2	1.2	1.8	4.8	68.1	7.2
2歳	185	6.5	7.0	5.4	3.2	1.1	0.5	2.2	73.5	7.0
3歳	217	7.4	17.1	3.7	3.2	0.5	0.9	2.8	65.4	5.1
4歳	186	9.1	23.1	3.8	1.1	0.5	0.5	1.6	62.9	5.4
5歳	217	7.4	28.1	2.3	0.9	0.5	—	3.2	52.1	9.7

【中学校区別】

中学校区別にみると、全ての地区で「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	産後ケア	その他	現在利用していない、 今後も利用意向はない	無回答
全 体	1,171	9.4	15.5	4.4	3.1	0.6	0.9	3.2	62.6	7.4
山手	446	11.7	19.7	4.0	4.9	0.2	0.7	4.0	56.5	7.4
精道	514	8.2	14.2	4.5	1.8	1.0	0.8	3.1	66.5	5.8
潮見	209	7.2	9.6	5.3	2.4	0.5	1.4	1.4	66.0	11.5

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっています。

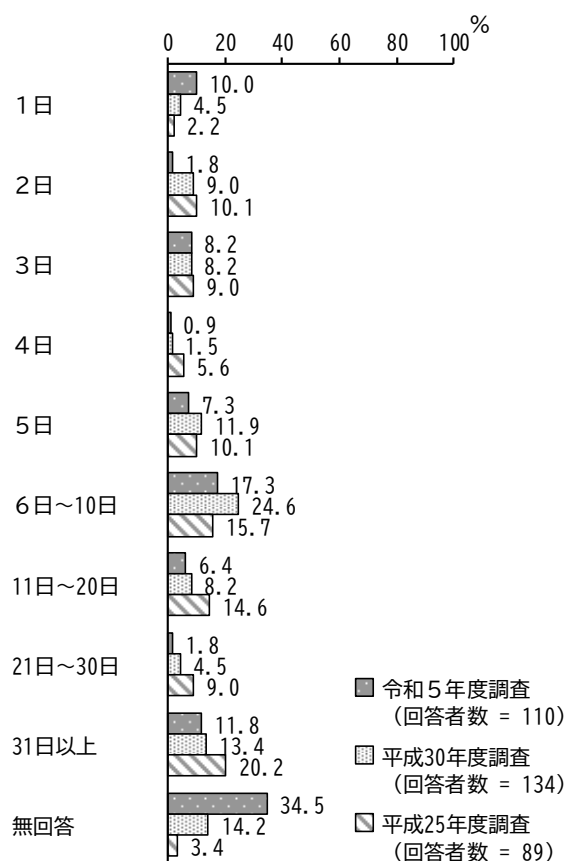
単位：％

区分	回答者数(件)	一時預かり	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	障がい児支援施設	産後ケア	その他	現在利用していない、 今後も利用意向はない	無回答
全 体	1,171	9.4	15.5	4.4	3.1	0.6	0.9	3.2	62.6	7.4
フルタイム	558	7.5	3.8	7.3	3.6	0.5	1.3	3.0	70.8	8.4
パート・アルバイト等	283	8.5	15.9	1.4	2.5	0.4	1.1	3.2	65.4	7.1
未就労	319	13.5	35.1	2.2	2.8	0.9	—	3.4	46.4	6.0

年間の利用日数

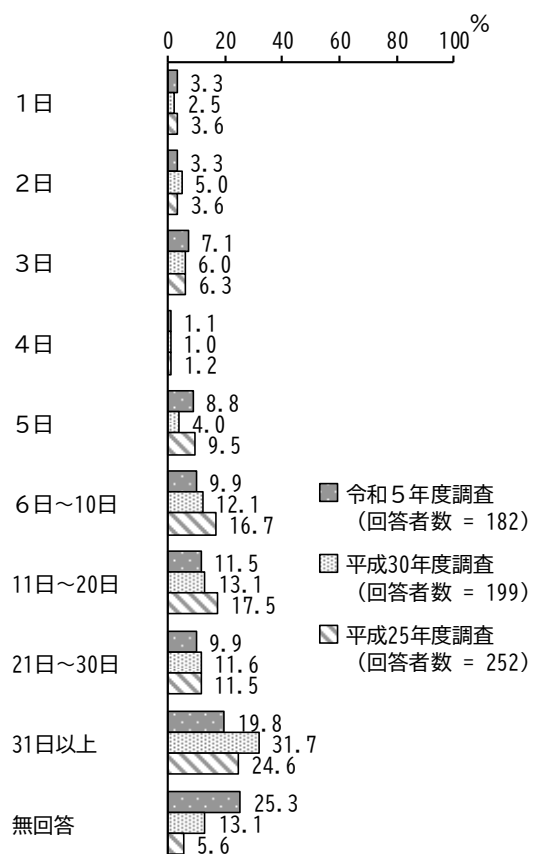
1. 一時預かり

「6日～10日」の割合が17.3%と最も高く、次いで「31日以上」の割合が11.8%、「1日」の割合が10.0%となっています。



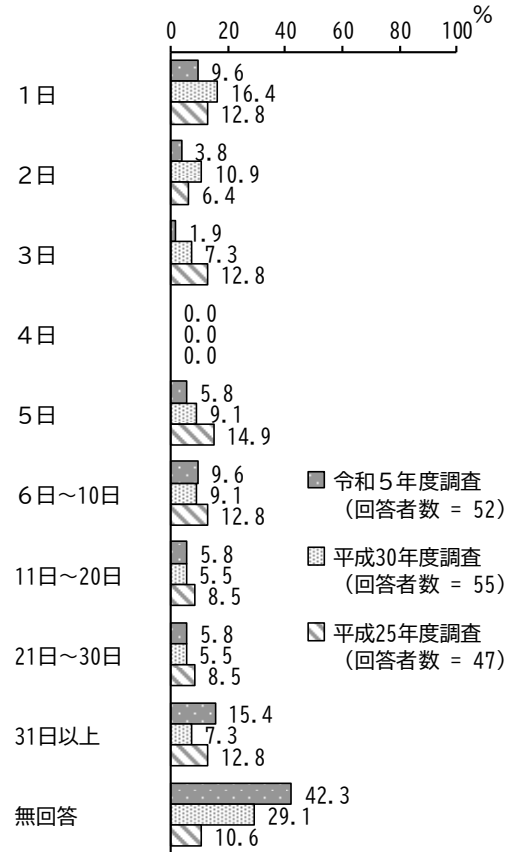
2. 幼稚園の預かり保育

「31日以上」の割合が19.8%と最も高く、次いで「11日～20日」の割合が11.5%となっています。



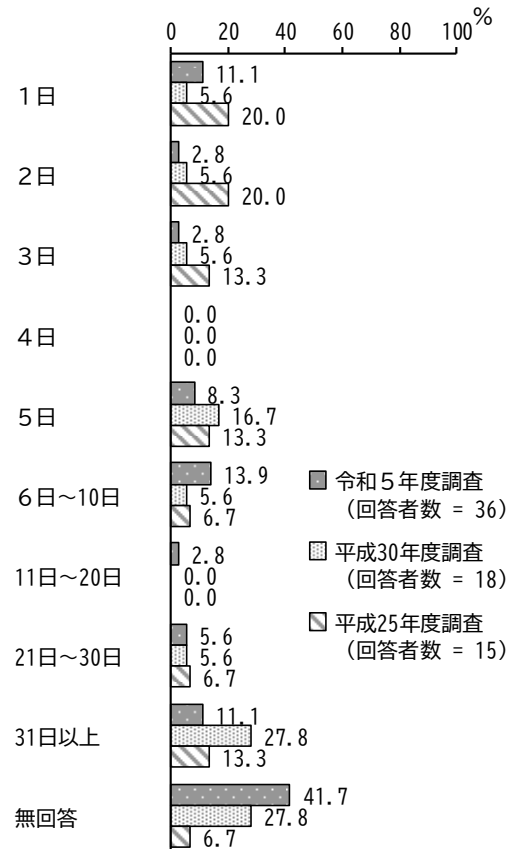
3. ファミリー・サポート・センター

「31日以上」の割合が15.4%と最も高くなっています。



4. ベビーシッター

「6日~10日」の割合が13.9%と最も高く、次いで「1日」、「31日以上」の割合が11.1%となっています。



5. 障がい児支援施設

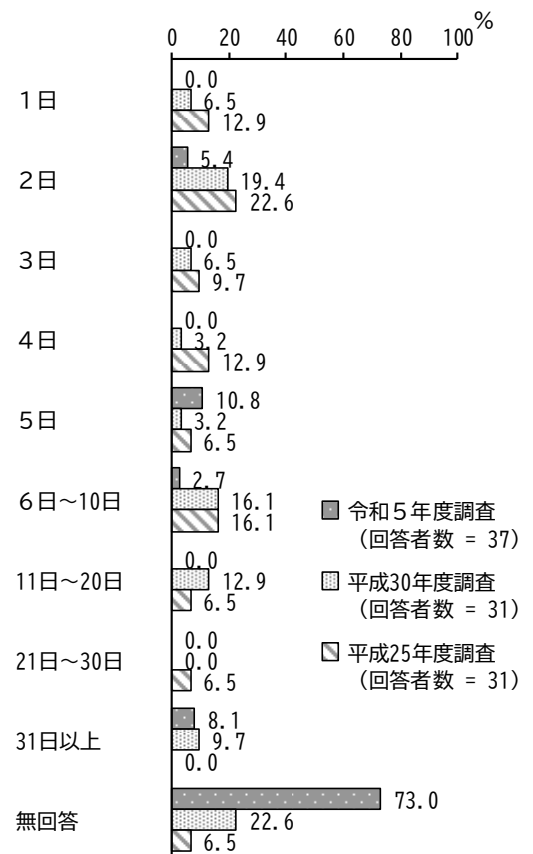
「31日以上」が4件となっています。

6. 産後ケア

「11日～20日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が20.0%、「3日」の割合が10.0%となっています。

7. その他

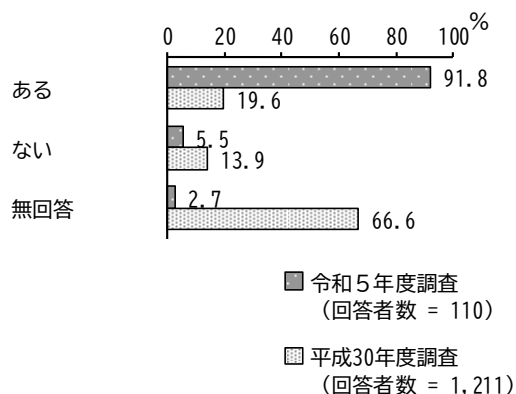
「5日」の割合が10.8%と最も高くなっています。



今後の利用意向

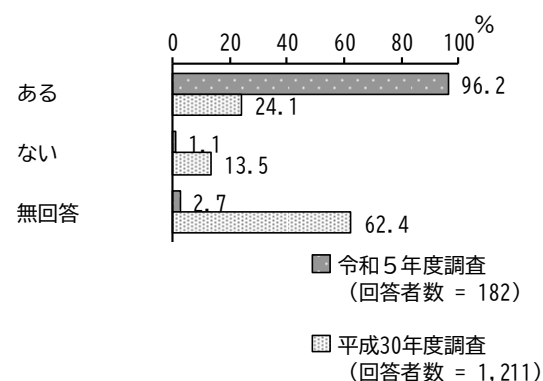
1. 一時預かり

「ある」の割合が 91.8%、「ない」の割合が 5.5%となっています。



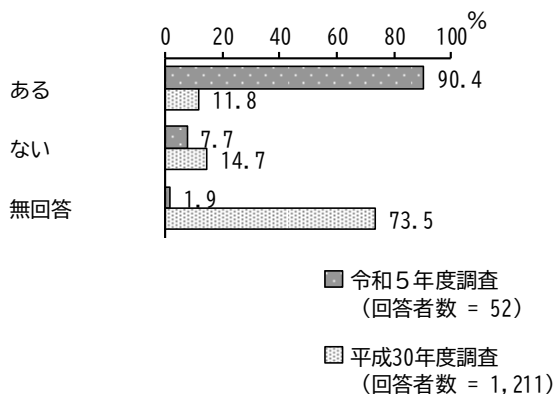
2. 幼稚園の預かり保育

「ある」の割合が 96.2%、「ない」の割合が 1.1%となっています。



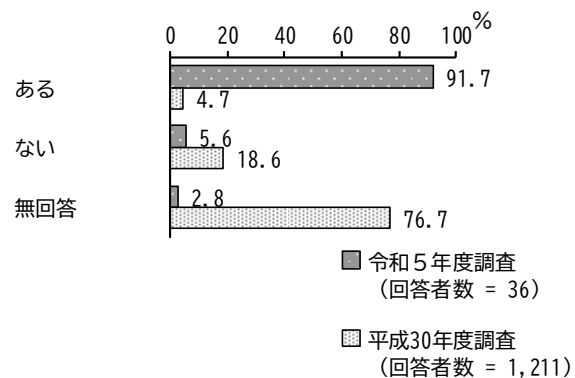
3. ファミリー・サポート・センター

「ある」の割合が 90.4%、「ない」の割合が 7.7%となっています。



4. ベビーシッター

「ある」の割合が 91.7%、「ない」の割合が 5.6%となっています。



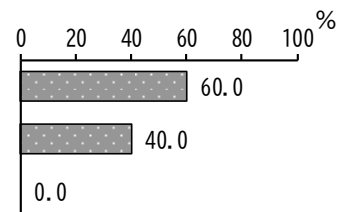
5. 障がい児支援施設

「ある」が6件、「ない」が1件となっています。

6. 産後ケア

「ある」の割合が60.0%、「ない」の割合が40.0%となっています。 回答者数 = 10

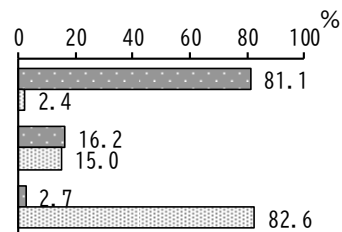
ある
ない
無回答



7. その他

「ある」の割合が81.1%、「ない」の割合が16.2%となっています。

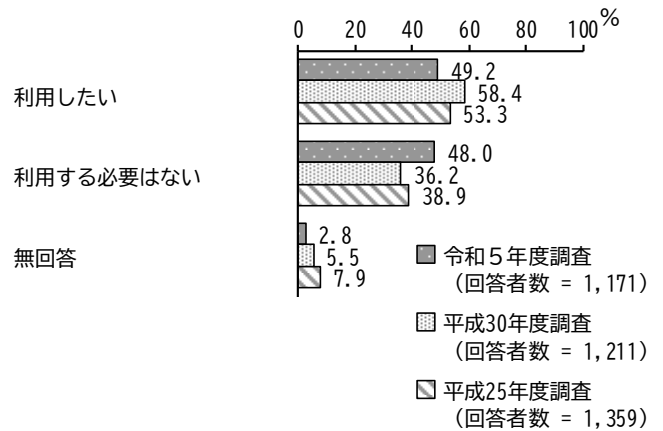
ある
ない
無回答



■ 令和5年度調査
(回答者数 = 37)
■ 平成30年度調査
(回答者数 = 1,211)

問 29 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が49.2%、「利用する必要はない」の割合が48.0%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「利用したい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用したい (%)	利用する必要はない (%)	無回答 (%)
全 体	1,171	49.2	48.0	2.8
フルタイム	558	46.2	51.4	2.3
パート・アルバイト等	283	45.2	51.9	2.8
未就労	319	58.9	37.6	3.4

利用したい目的

「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が76.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院」の割合が60.2%、「不定期の就労」の割合が30.7%となっています。

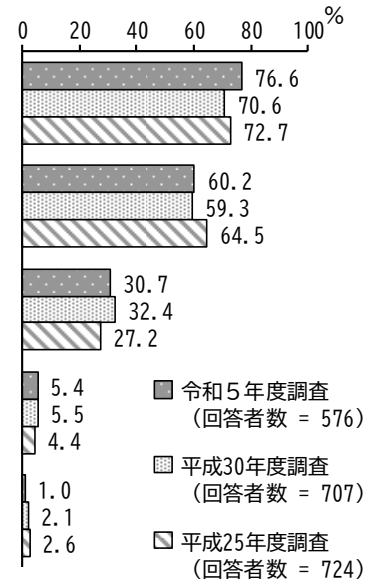
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）

冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院

不定期の就労

その他

無回答



必要な合計日数

「7日以上」の割合が55.9%と最も高く、次いで「5日」の割合が11.5%となっています。

1日

2日

3日

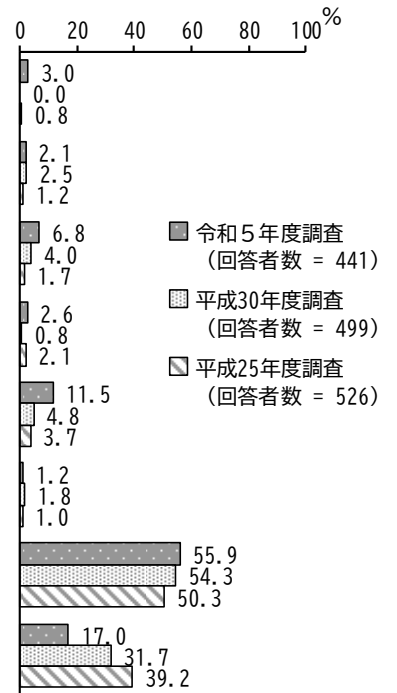
4日

5日

6日

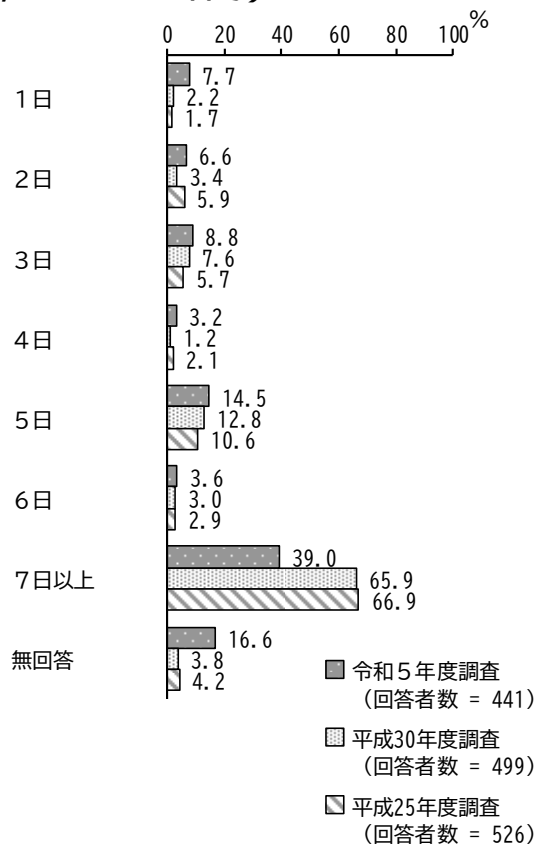
7日以上

無回答



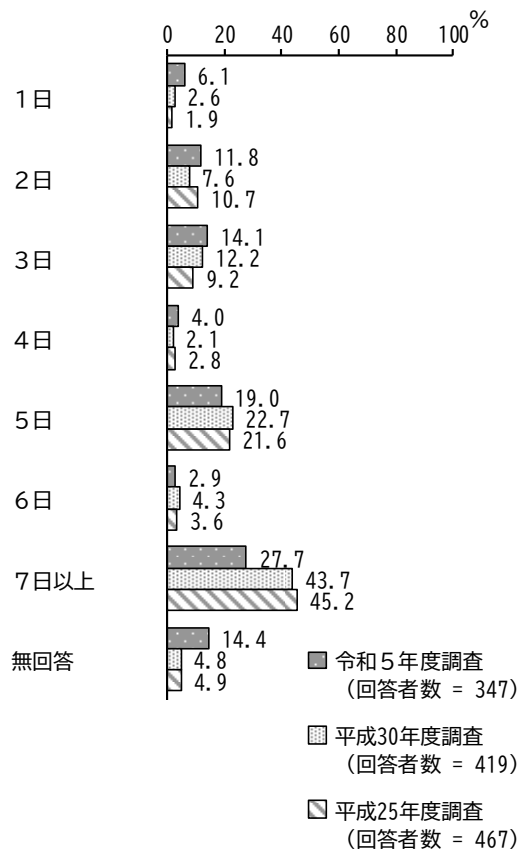
ア 私用（買物，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など，リフレッシュ目的）

「7日以上」の割合が39.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が14.5%となっています。



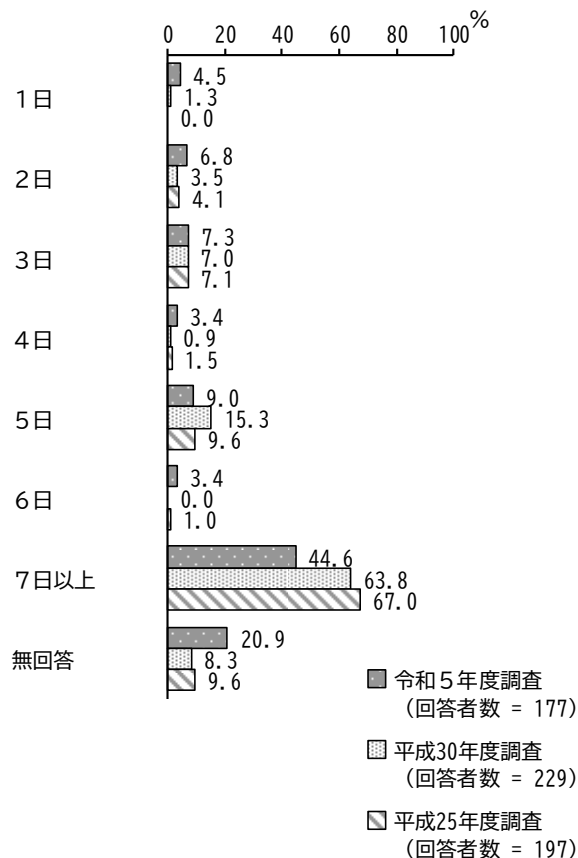
イ 冠婚葬祭，学校行事，子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院

「7日以上」の割合が27.7%と最も高く、次いで「5日」の割合が19.0%、「3日」の割合が14.1%となっています。



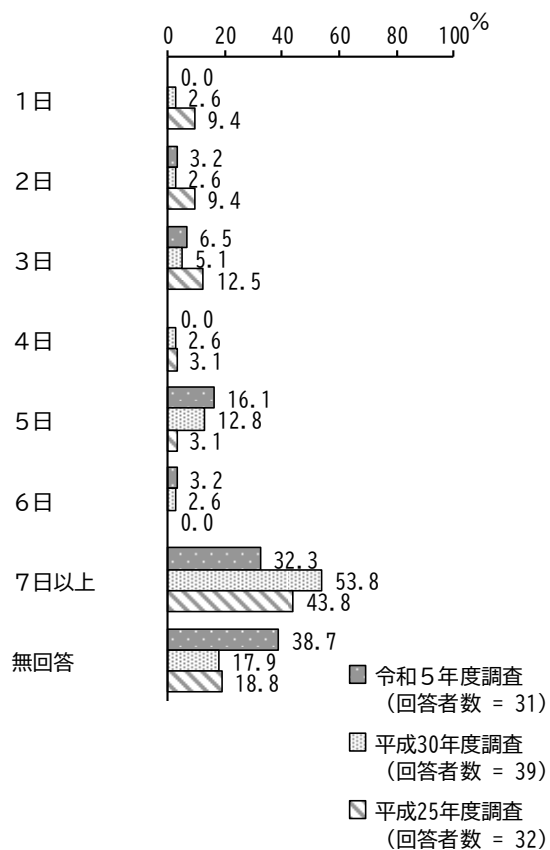
ウ 不定期の就労

「7日以上」の割合が44.6%と最も高くなっています。



エ その他

「7日以上」の割合が32.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が16.1%となっています。

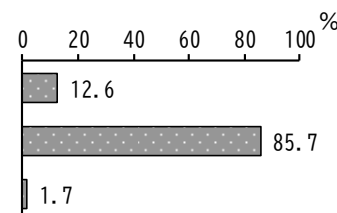


問 30 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が 12.6%、「利用する必要はない」の割合が 85.7%となっています。

回答者数 = 1,171

利用したい
利用する必要はない
無回答



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

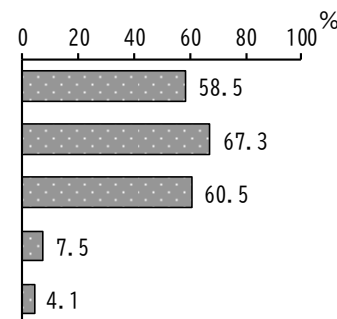
区分	回答者数 (件)	利用したい	利用する必要はない	無回答
全体	1,171	12.6	85.7	1.7
フルタイム	558	13.4	85.3	1.3
パート・アルバイト等	283	11.7	86.6	1.8
未就労	319	11.9	85.9	2.2

利用したい目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が 60.5%、「冠婚葬祭」の割合が 58.5%となっています。

回答者数 = 147

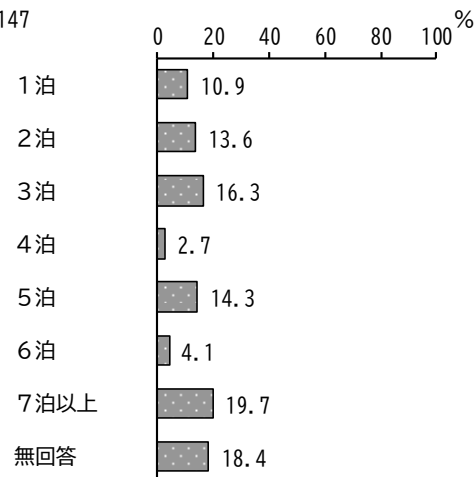
冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答



必要な合計泊数

「7泊以上」の割合が19.7%と最も高く、次いで「3泊」の割合が16.3%、「5泊」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 147

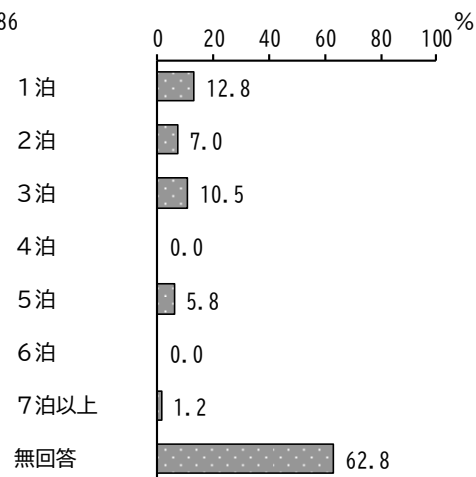


目的別の必要な泊数

ア 冠婚葬祭

「1泊」の割合が12.8%と最も高く、次いで「3泊」の割合が10.5%となっています。

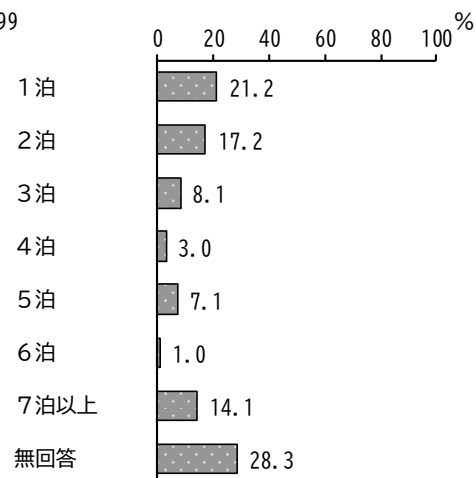
回答者数 = 86



イ 保護者や家族の育児疲れ・不安

「1泊」の割合が21.2%と最も高く、次いで「2泊」の割合が17.2%、「7泊以上」の割合が14.1%となっています。

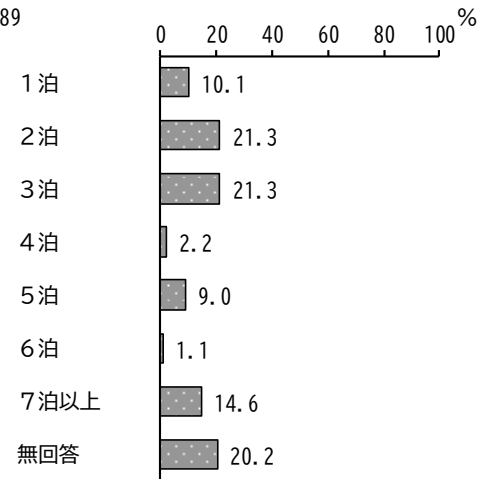
回答者数 = 99



ウ 保護者や家族の病気

「2泊」、「3泊」の割合が21.3%と最も高く、次いで「7泊以上」の割合が14.6%となっています。

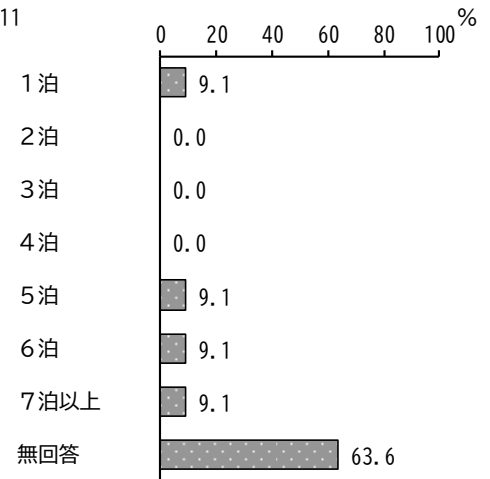
回答者数 = 89



エ その他

「1泊」、「5泊」、「6泊」、「7泊以上」の割合が9.1%と最も高くなっています。

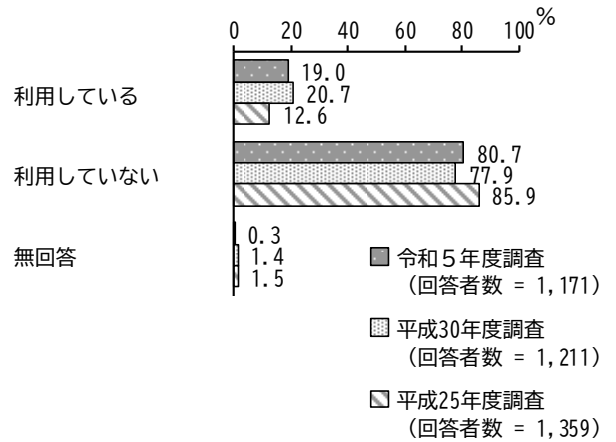
回答者数 = 11



(9) お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問31 お子さんは、現在、子育てのひろば（むくむく・バンビ・キオラクラブ・ひとしお・ももこ・プチアンジュ・小槌ひろば・西山ひろば）を利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

「利用している」の割合が19.0%、「利用していない」の割合が80.7%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、0歳で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,171	19.0	80.7	0.3
0歳	194	40.2	59.8	—
1歳	166	36.1	63.3	0.6
2歳	185	25.4	74.6	—
3歳	217	10.6	88.9	0.5
4歳	186	2.7	97.3	—
5歳	217	4.1	95.4	0.5

【中学校区別】

中学校区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全 体	1,171	19.0	80.7	0.3
山手	446	18.8	80.9	0.2
精道	514	19.1	80.7	0.2
潮見	209	18.7	80.4	1.0

【母親の就労状況別】

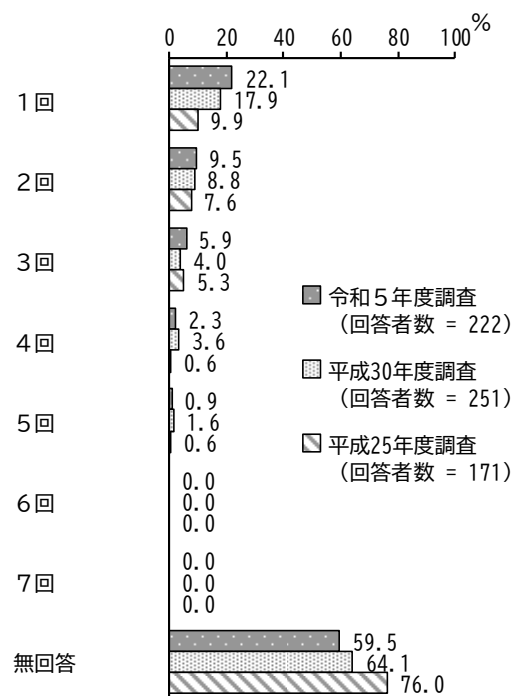
母親の就労状況別にみると、未就労で「利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	利用 している	利用 していない	無 回答
全 体	1,171	19.0	80.7	0.3
フルタイム	558	16.7	83.0	0.4
パート・アルバイト等	283	12.4	87.3	0.4
未就労	319	29.5	70.5	—

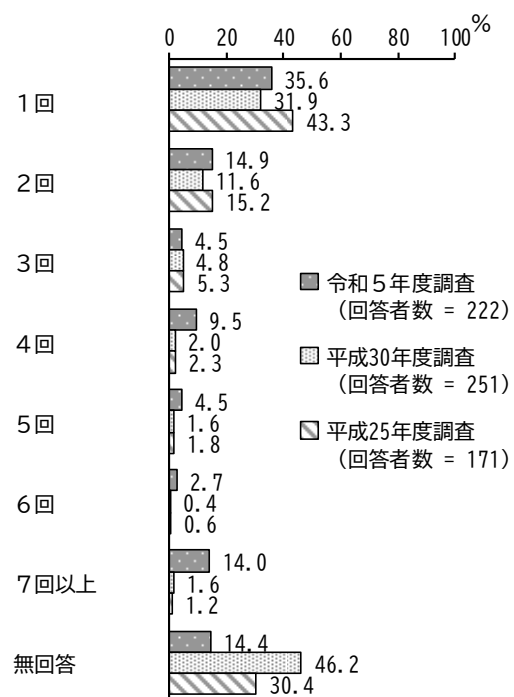
1週間あたりでの利用回数

「1回」の割合が22.1%と最も高くなっています。



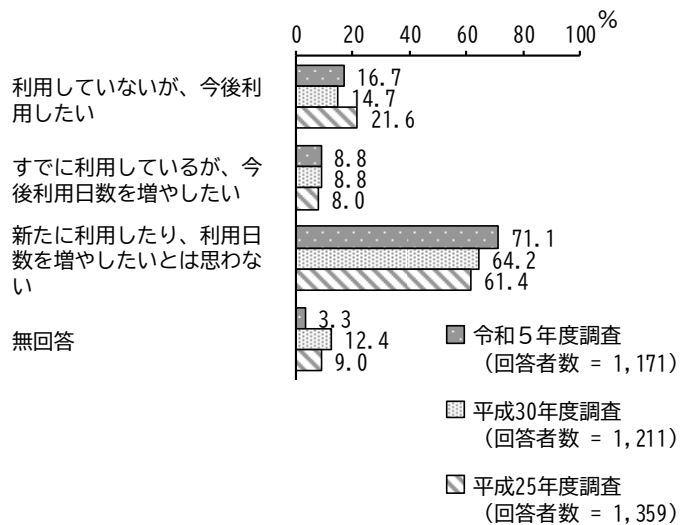
1か月あたりでの利用回数

「1回」の割合が35.6%と最も高く、次いで「2回」の割合が14.9%、「7回以上」の割合が14.0%となっています。



問 32 問 31 の子育てのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する には数字をご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 71.1%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 16.7%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、4歳で「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	1,171	16.7	8.8	71.1	3.3
0歳	194	26.3	22.2	49.5	2.1
1歳	166	25.9	13.9	54.2	6.0
2歳	185	17.3	12.4	68.6	1.6
3歳	217	16.1	2.8	77.9	3.2
4歳	186	8.1	1.1	89.2	1.6
5歳	217	8.3	2.3	84.3	5.1

【中学校区別】

中学校区別にみると、大きな差はみられません。

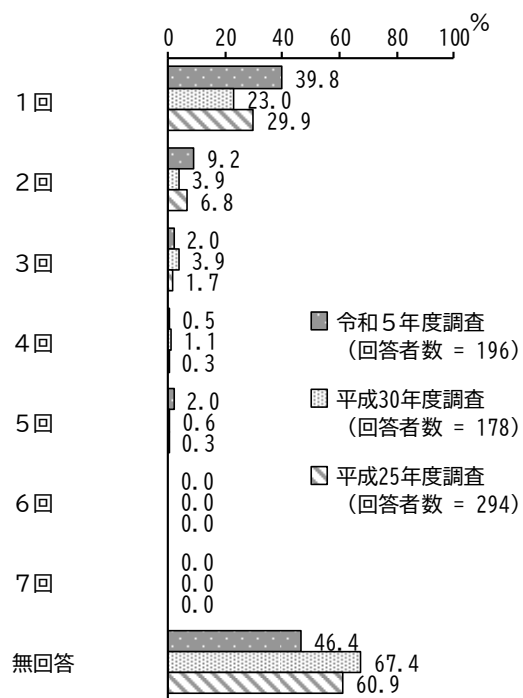
単位：%

区分	回答者数 (件)	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体	1,171	16.7	8.8	71.1	3.3
山手	446	19.7	9.6	67.7	2.9
精道	514	15.0	7.4	74.9	2.7
潮見	209	14.4	10.0	69.9	5.7

1. 利用していないが、今後利用したい

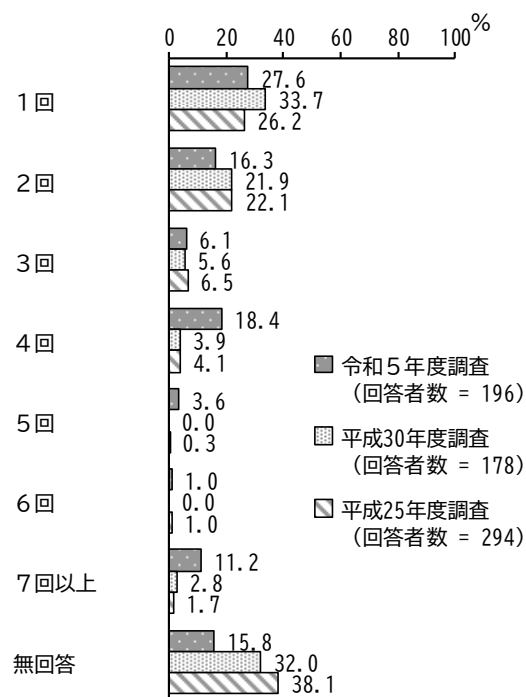
1週間あたりでの利用回数

「1回」の割合が39.8%と最も高くなっています。



1か月あたりでの利用回数

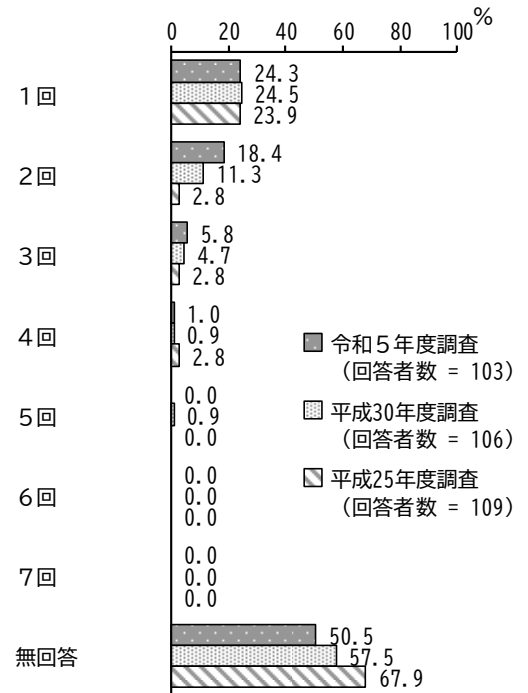
「1回」の割合が27.6%と最も高く、次いで「4回」の割合が18.4%、「2回」の割合が16.3%となっています。



2.すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

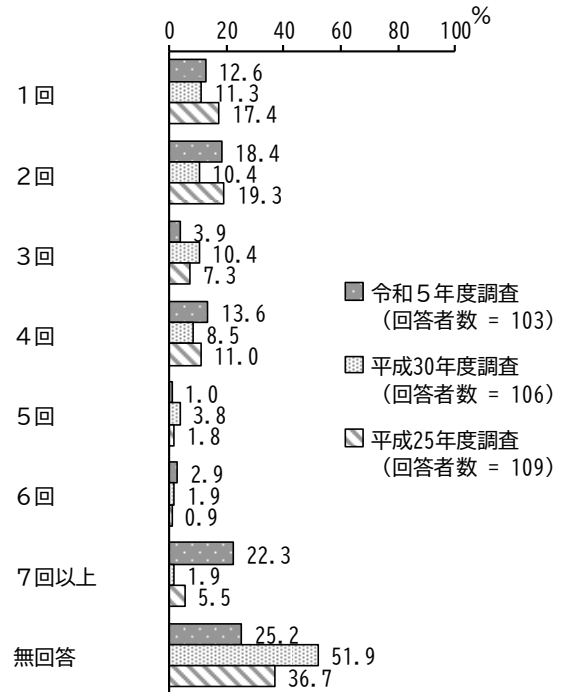
1週間あたりでの利用回数

「1回」の割合が24.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.4%となっています。



1か月あたりでの利用回数

「7回以上」の割合が22.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が18.4%、「4回」の割合が13.6%となっています。

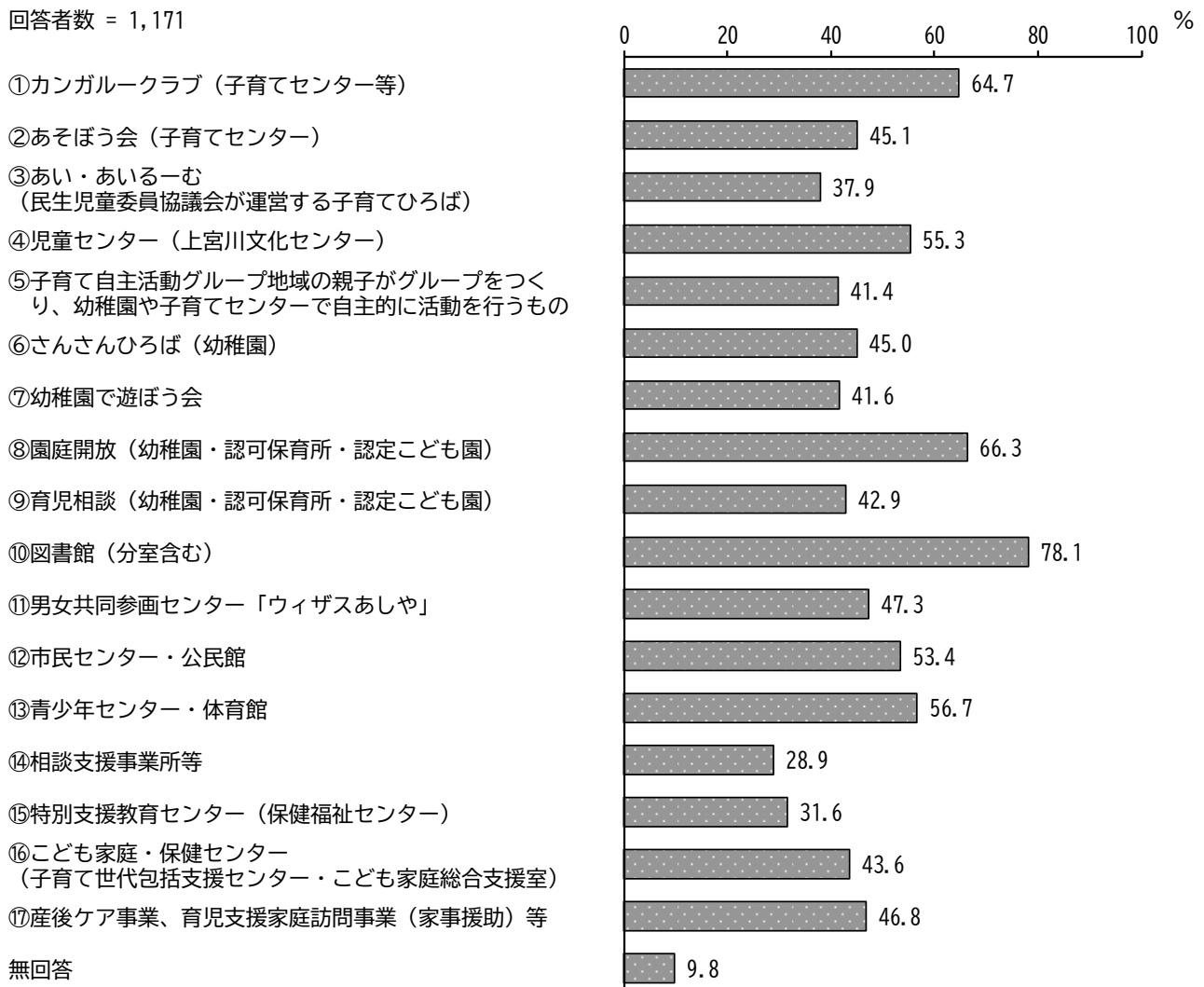


問 33 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑰の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

A 知っている

『⑩図書館（分室含む）』で「知っている」の割合が高くなっています。

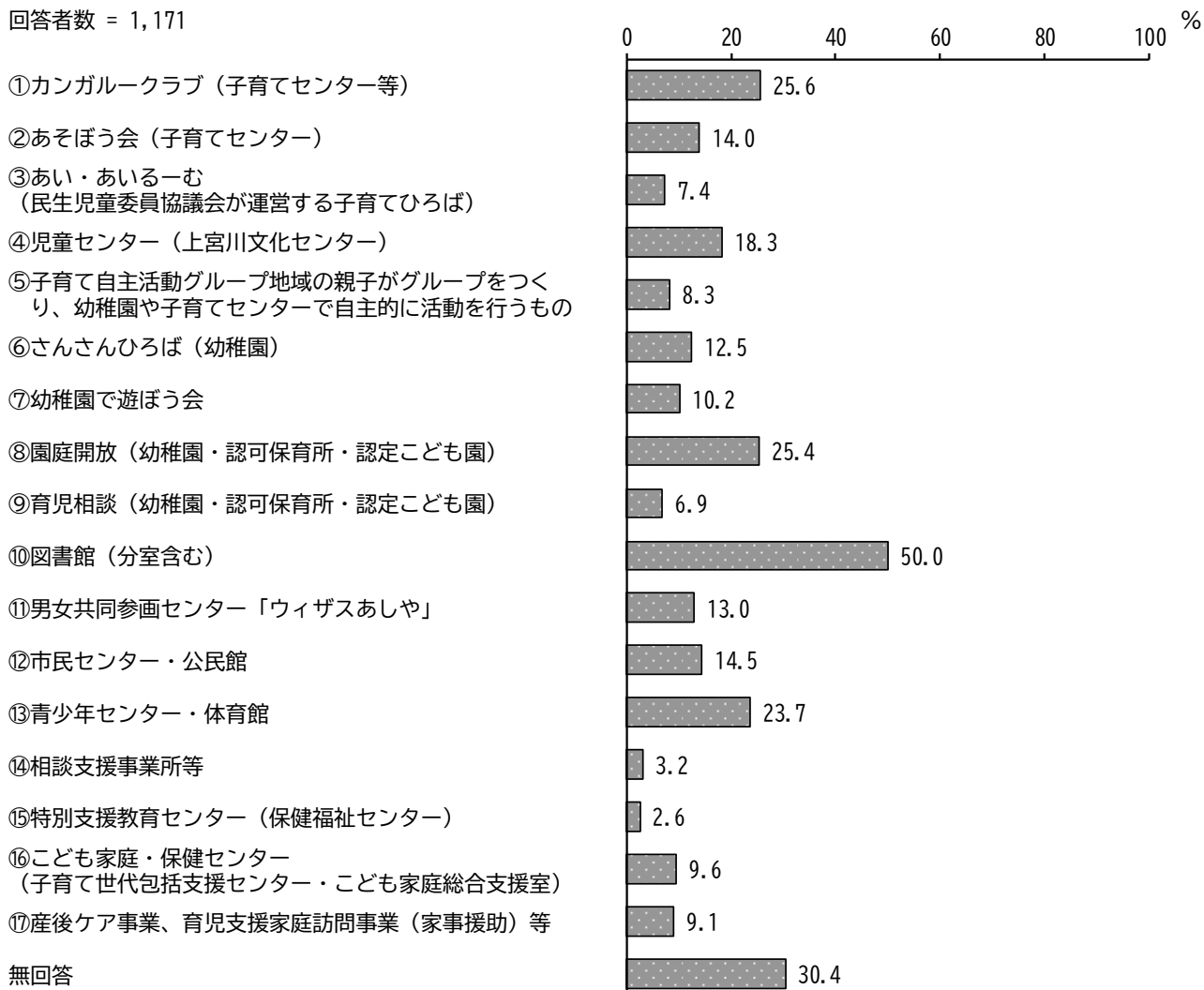
回答者数 = 1,171



B 利用したことがある

『⑩図書館（分室含む）』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。

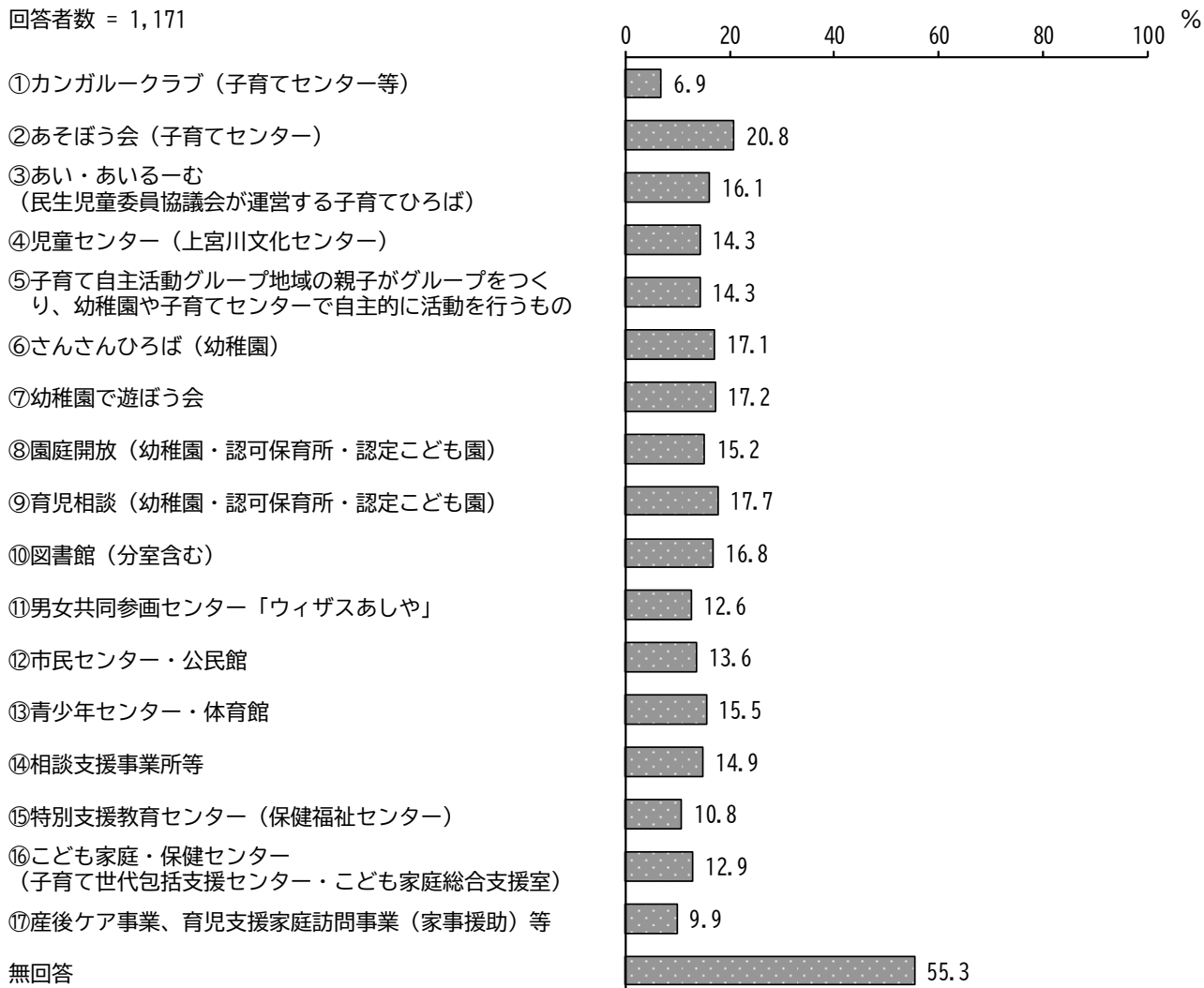
回答者数 = 1,171



C 今後利用したい

『②あそぼう会（子育てセンター）』で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

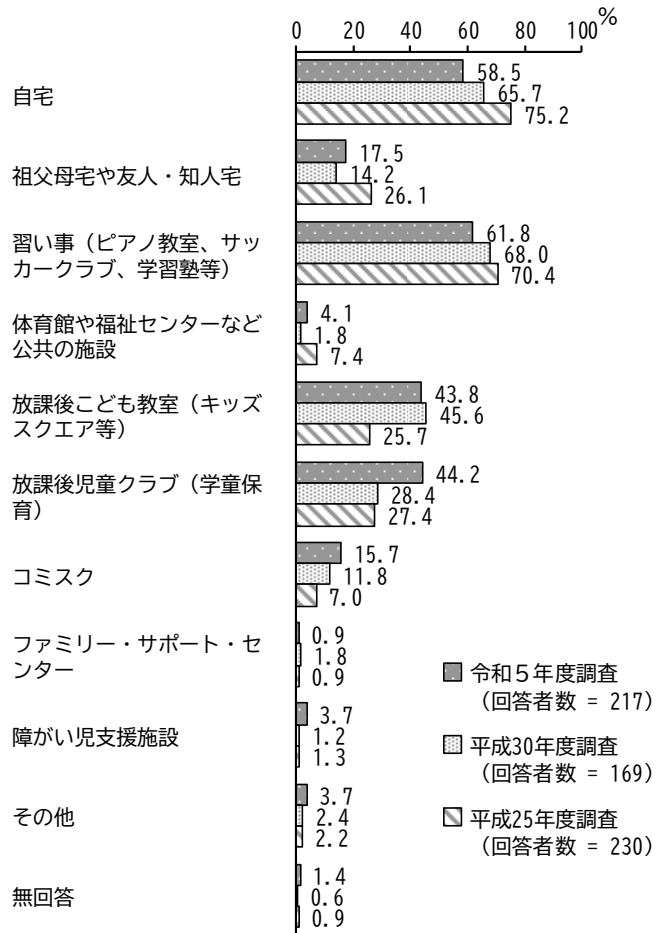
回答者数 = 1,171



(10) お子さんが5歳以上の保護者の方への設問

問 34 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が61.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が58.5%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が44.2%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、山手で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が高くなっています。

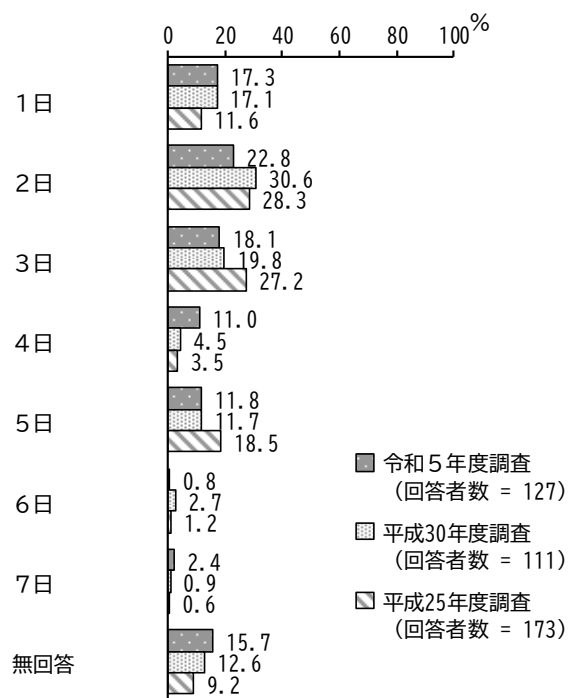
単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室（キッズスクエア等）	放課後児童クラブ（学童保育）	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	217	58.5	17.5	61.8	4.1	43.8	44.2	15.7	0.9	3.7	3.7	1.4
山手	80	60.0	18.8	68.8	2.5	50.0	36.3	21.3	2.5	1.3	5.0	1.3
精道	92	60.9	17.4	64.1	5.4	40.2	48.9	15.2	—	6.5	4.3	—
潮見	45	51.1	15.6	44.4	4.4	40.0	48.9	6.7	—	2.2	—	4.4

週あたりの利用日数

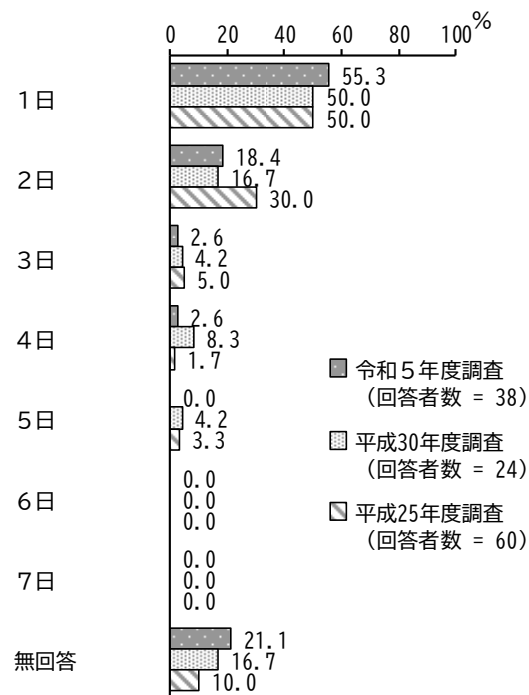
1. 自宅

「2日」の割合が22.8%と最も高く、次いで「3日」の割合が18.1%、「1日」の割合が17.3%となっています。



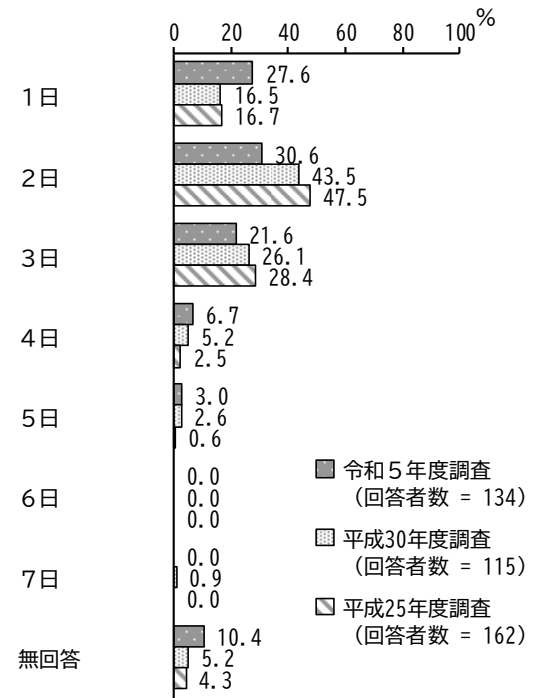
2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が55.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.4%となっています。



3. 習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾等）

「2日」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が 27.6%、「3日」の割合が 21.6%となっています。

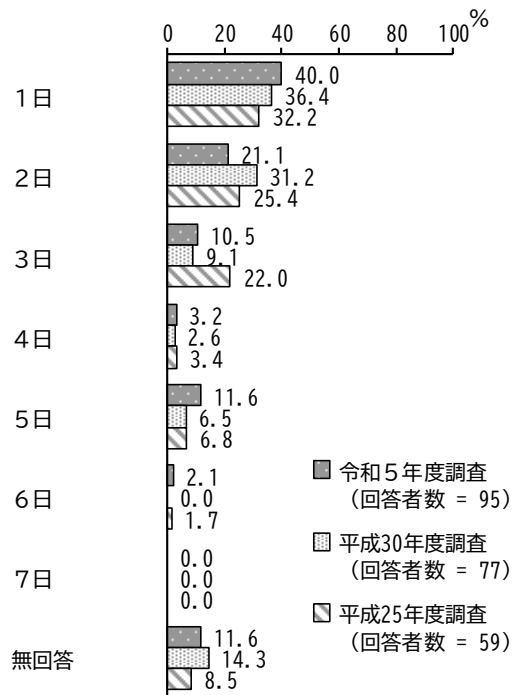


4. 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」が5件となっています。「2日」、「5日」が1件となっています。

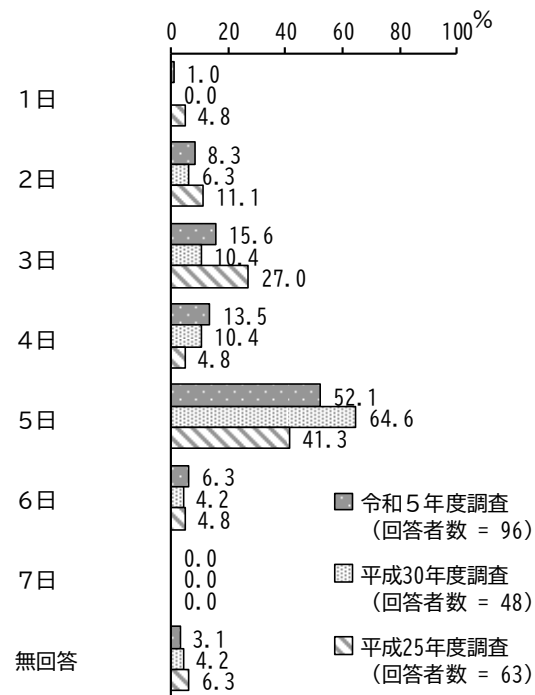
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等）

「1日」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が21.1%、「5日」の割合が11.6%となっています。



6. 放課後児童クラブ（学童保育）

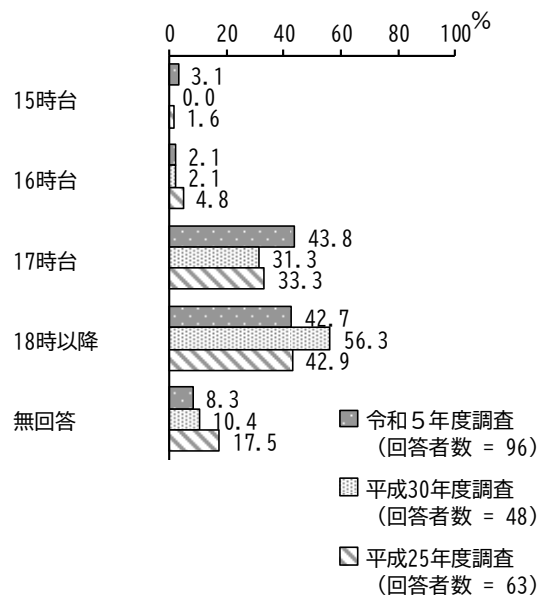
「5日」の割合が52.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が15.6%、「4日」の割合が13.5%となっています。



利用終了時刻

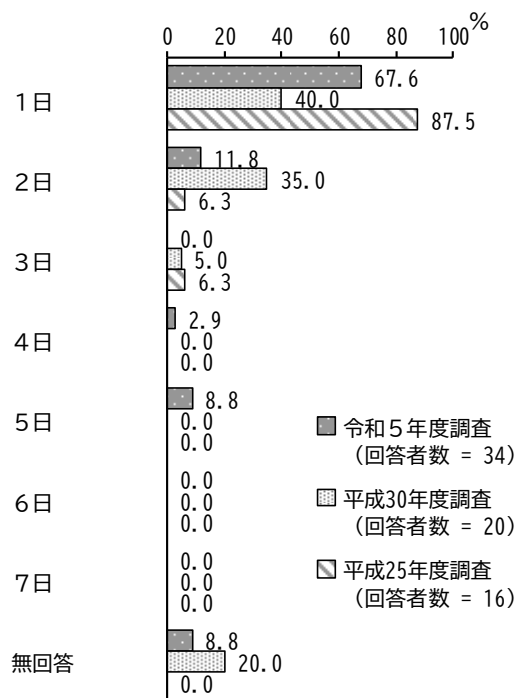
6. 放課後児童クラブ(学童保育)

「17時台」の割合が43.8%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が42.7%となっています。



7. コミスク

「1日」の割合が67.6%と最も高く、次いで「2日」の割合が11.8%となっています。



8 . ファミリー・サポート・センター

「1日」が2件となっています。

9 . 障がい児支援施設

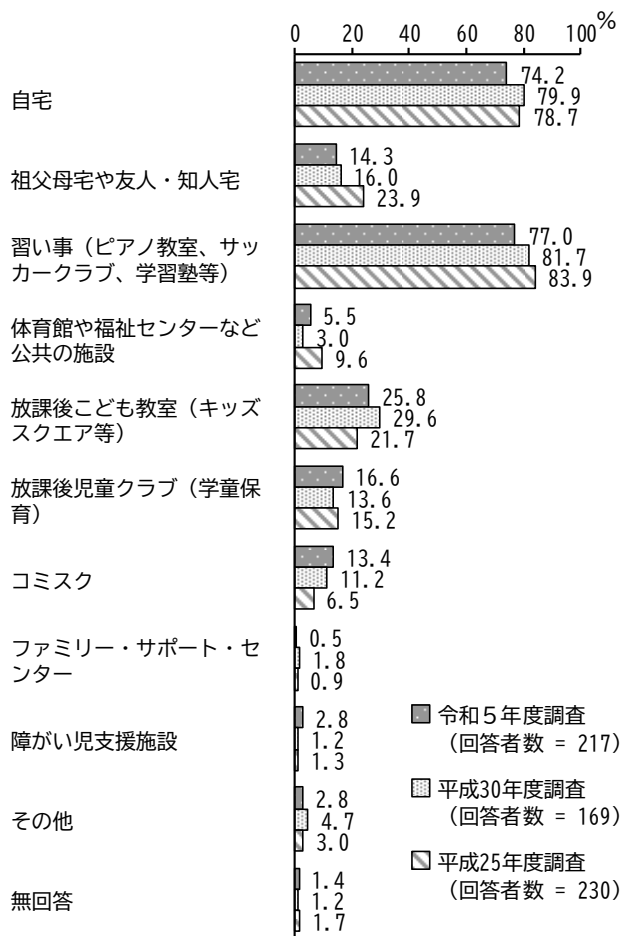
「2日」が4件となっています。「3日」が3件、「1日」が1件となっています。

10 . その他

「3日」、「5日」が2件となっています。「4日」が1件となっています。

問 35 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が77.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が74.2%、「放課後こども教室（キッズスクエア等）」の割合が25.8%となっています。



【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が高くなっています。

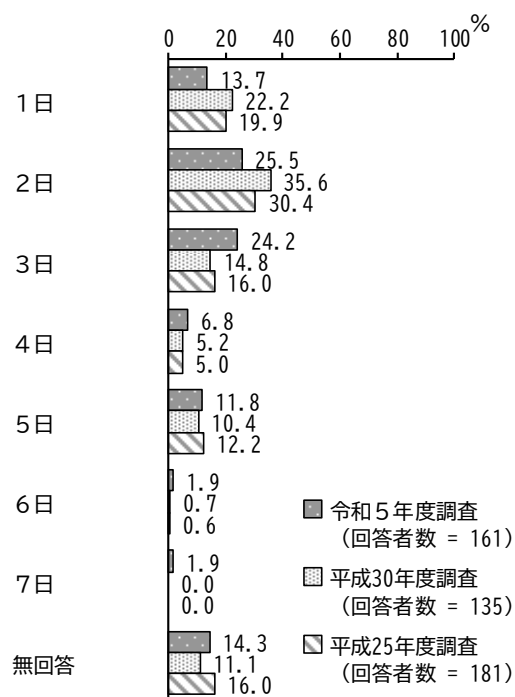
単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後こども教室(キッズスクエア等)	放課後児童クラブ(学童保育)	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	217	74.2	14.3	77.0	5.5	25.8	16.6	13.4	0.5	2.8	2.8	1.4
山手	80	66.3	13.8	76.3	6.3	30.0	16.3	17.5	1.3	1.3	3.8	1.3
精道	92	80.4	15.2	83.7	5.4	22.8	13.0	12.0	—	4.3	3.3	—
潮見	45	75.6	13.3	64.4	4.4	24.4	24.4	8.9	—	2.2	—	4.4

週あたりの利用日数

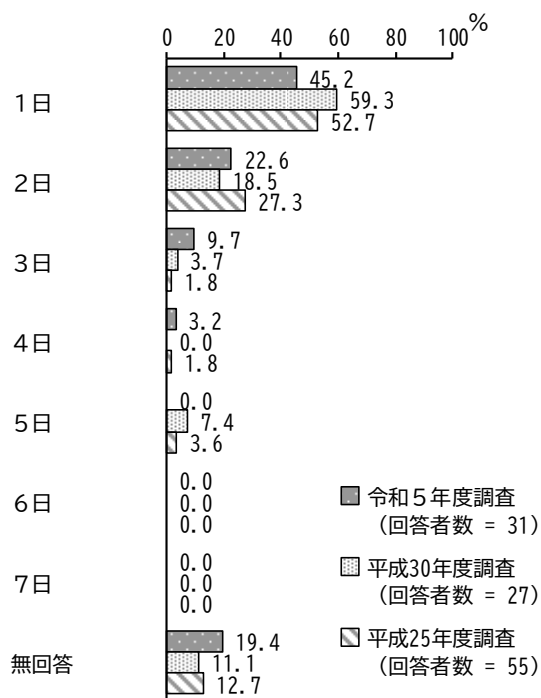
1. 自宅

「2日」の割合が25.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が24.2%、「1日」の割合が13.7%となっています。



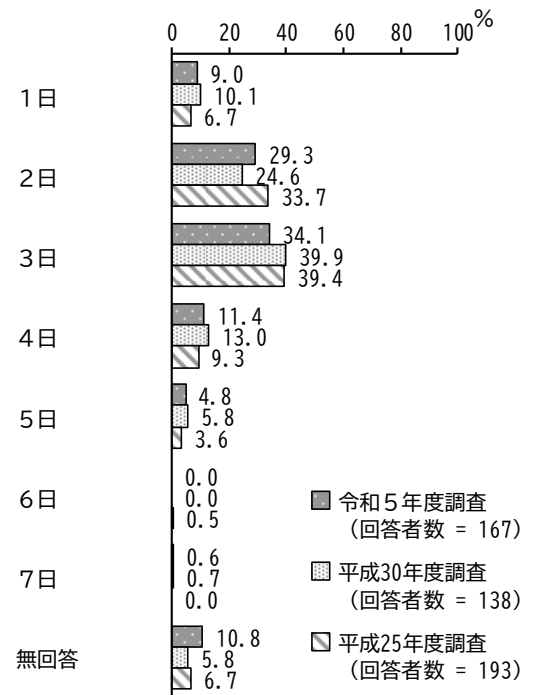
2. 祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が45.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が22.6%となっています。



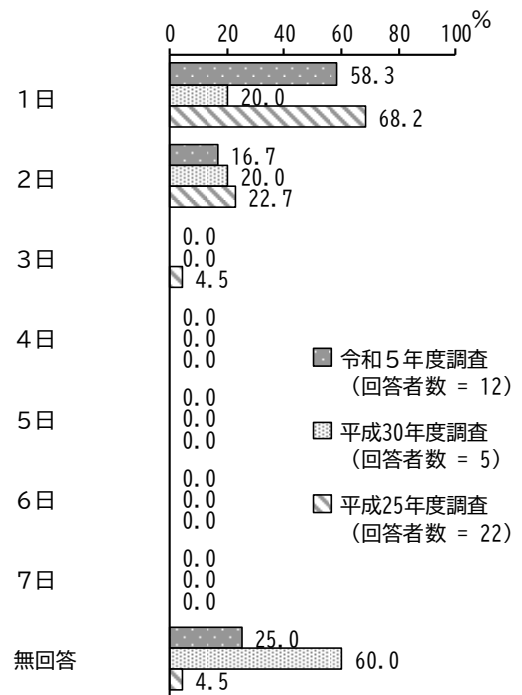
3. 習い事（ピアノ教室，サッカークラブ，学習塾等）

「3日」の割合が34.1%と最も高く、次いで「2日」の割合が29.3%、「4日」の割合が11.4%となっています。



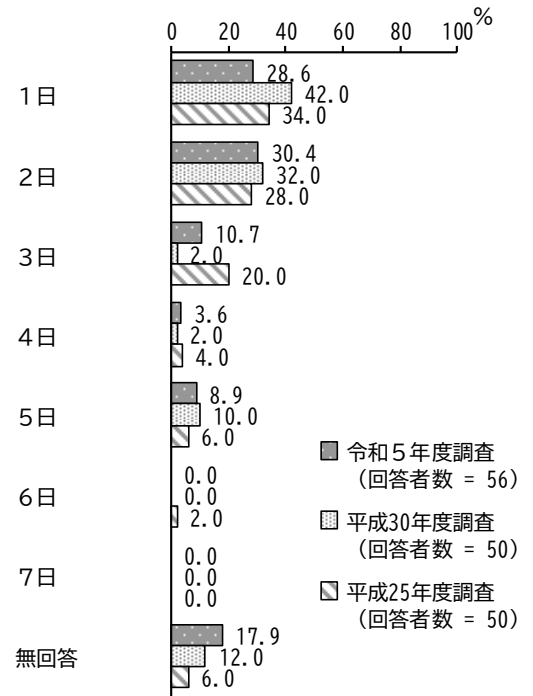
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が58.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が16.7%となっています。



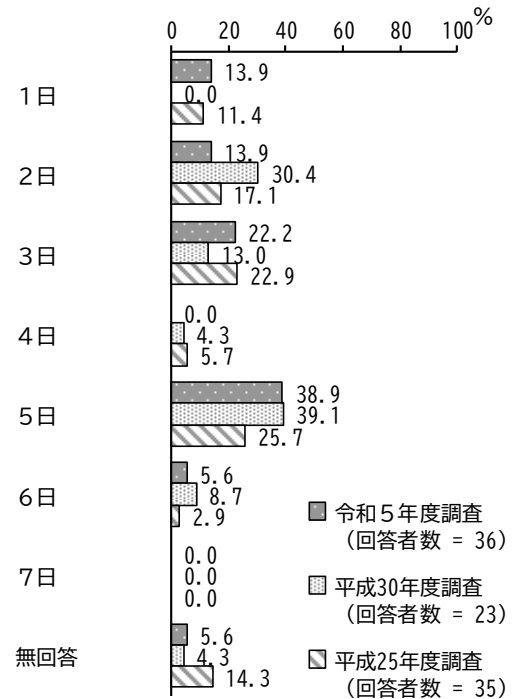
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等）

「2日」の割合が30.4%と最も高く、次いで「1日」の割合が28.6%、「3日」の割合が10.7%となっています。



6. 放課後児童クラブ（学童保育）

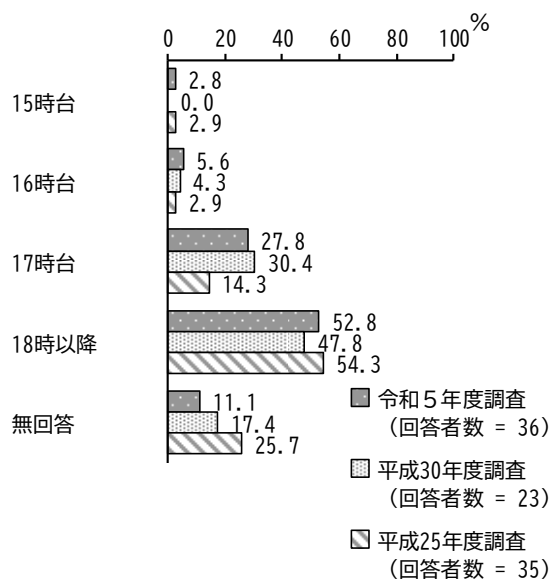
「5日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.2%、「1日」、「2日」の割合が13.9%となっています。



利用終了時刻

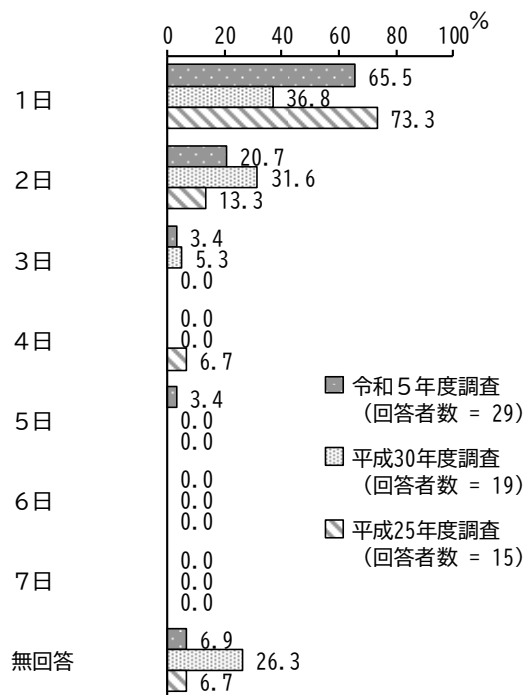
6. 放課後児童クラブ(学童保育)

「18時以降」の割合が52.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.8%となっています。



7. コミスク

「1日」の割合が65.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.7%となっています。



8 . ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

9 . 障がい児支援施設

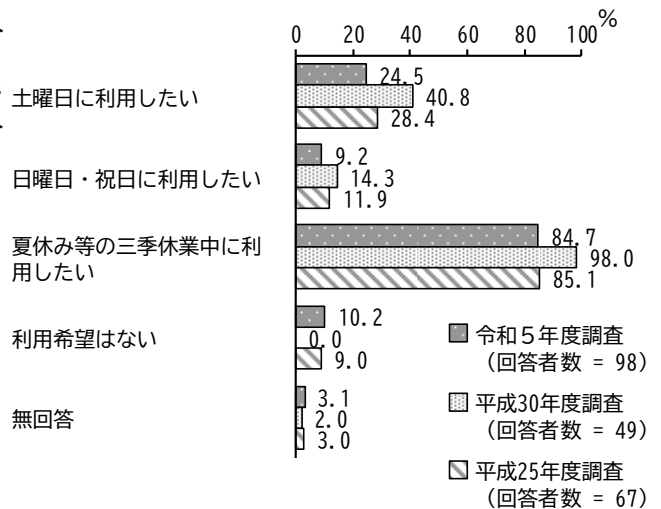
「2日」が4件となっています。「3日」が2件となっています。

10 . その他

「2日」、「4日」、「5日」が1件となっています。

問 36 問 34 または問 35 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方がいます。該当しない方は、問 37 へお進みください。土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

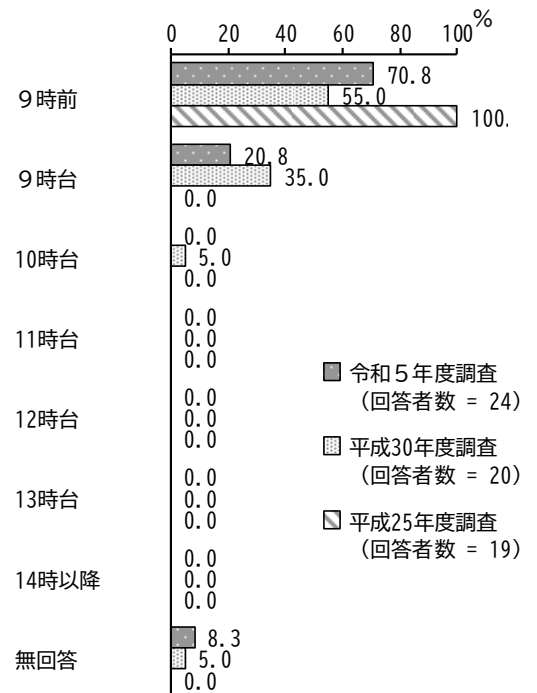
「夏休み等の三季休業中に利用したい」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「土曜日に利用したい」の割合が 24.5%、「利用希望はない」の割合が 10.2%となっています。



(1) 土曜日

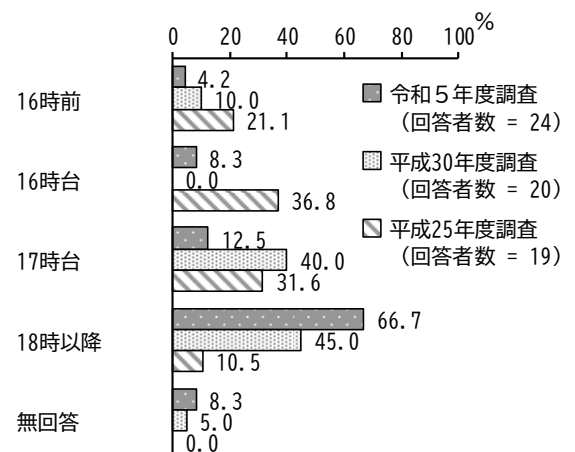
利用開始時間

「9時前」の割合が 70.8%と最も高く、次いで「9時台」の割合が 20.8%となっています。



利用終了時間

「18時以降」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「17時台」の割合が 12.5%となっています。



(2) 日曜日・祝日

利用開始時間

「9時前」が5件となっています。「9時台」が3件となっています。

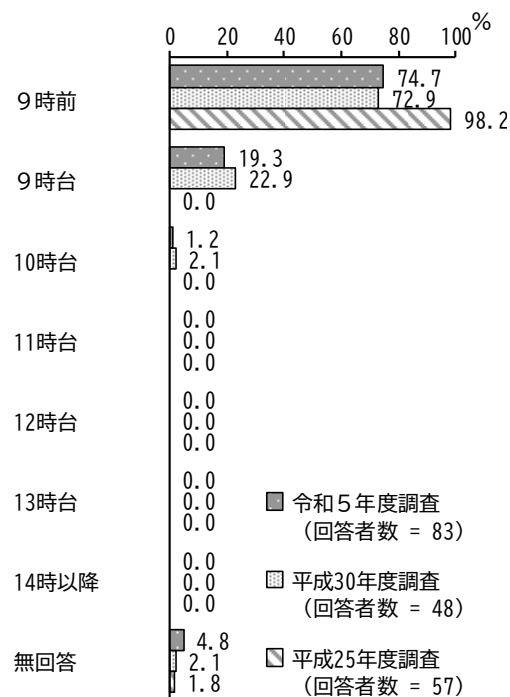
利用終了時間

「18時以降」が7件となっています。「16時台」が1件となっています。

(3) 夏休み等の三季休業中

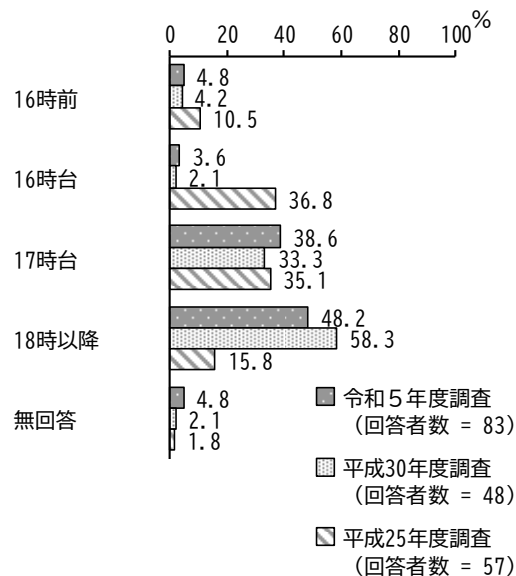
利用開始時間

「9時前」の割合が74.7%と最も高く、次いで「9時台」の割合が19.3%となっています。



利用終了時間

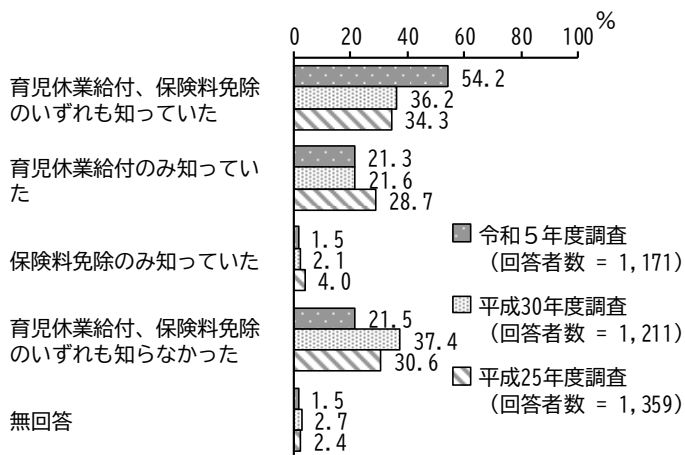
「18時以降」の割合が48.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が38.6%となっています。



(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 37 育児休業給付が支給される仕組みや期間（平成 29 年から最長 2 年間となっている）、こどもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

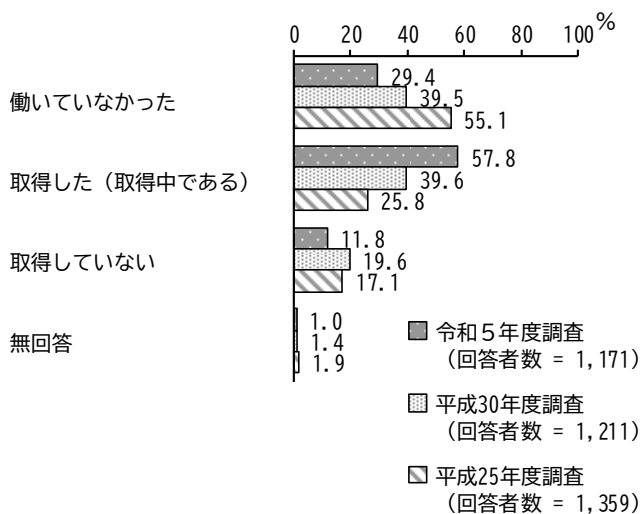
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が 21.5%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が 21.3%となっています。



問 38 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

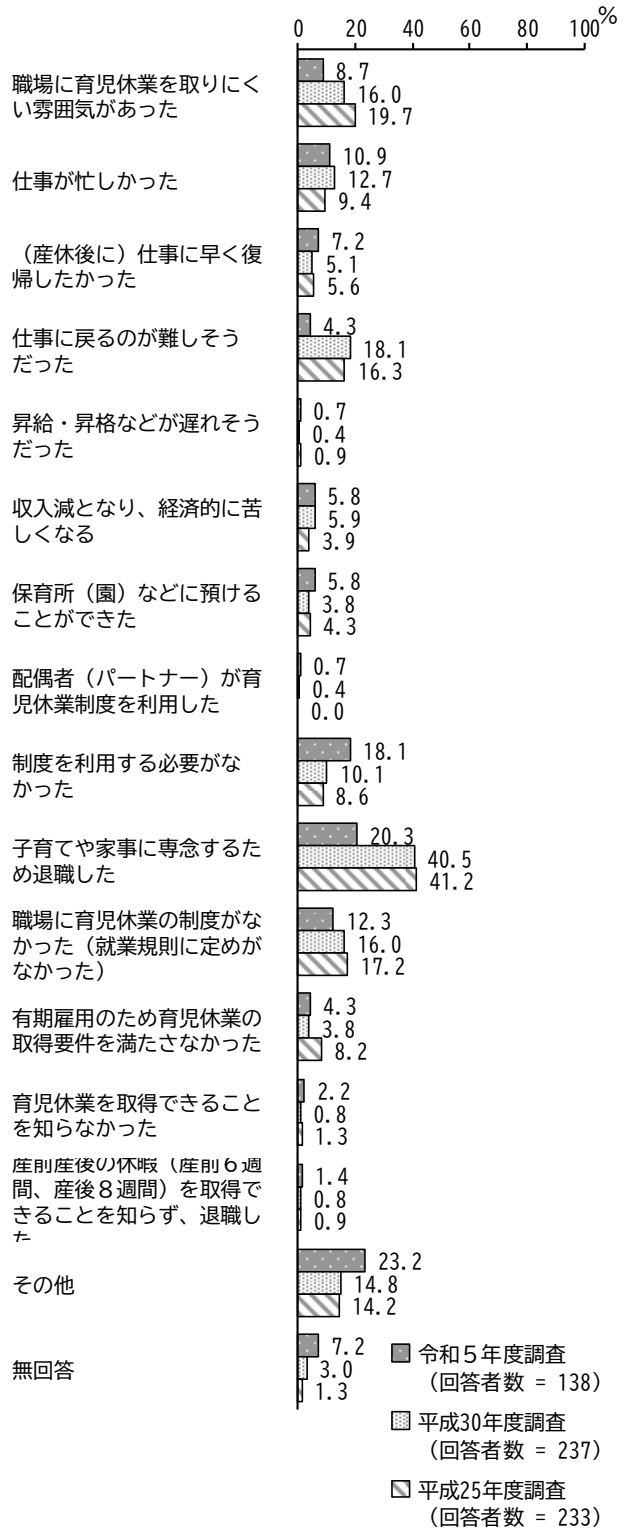
(1) 母親

「取得した（取得中である）」の割合が 57.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 29.4%、「取得していない」の割合が 11.8%となっています。



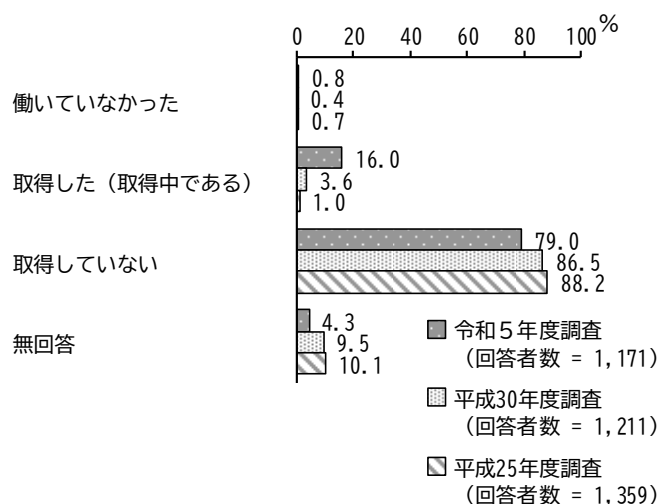
取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください。）

「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が20.3%と最も高く、次いで「制度を利用する必要がなかった」の割合が18.1%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」の割合が12.3%となっています。



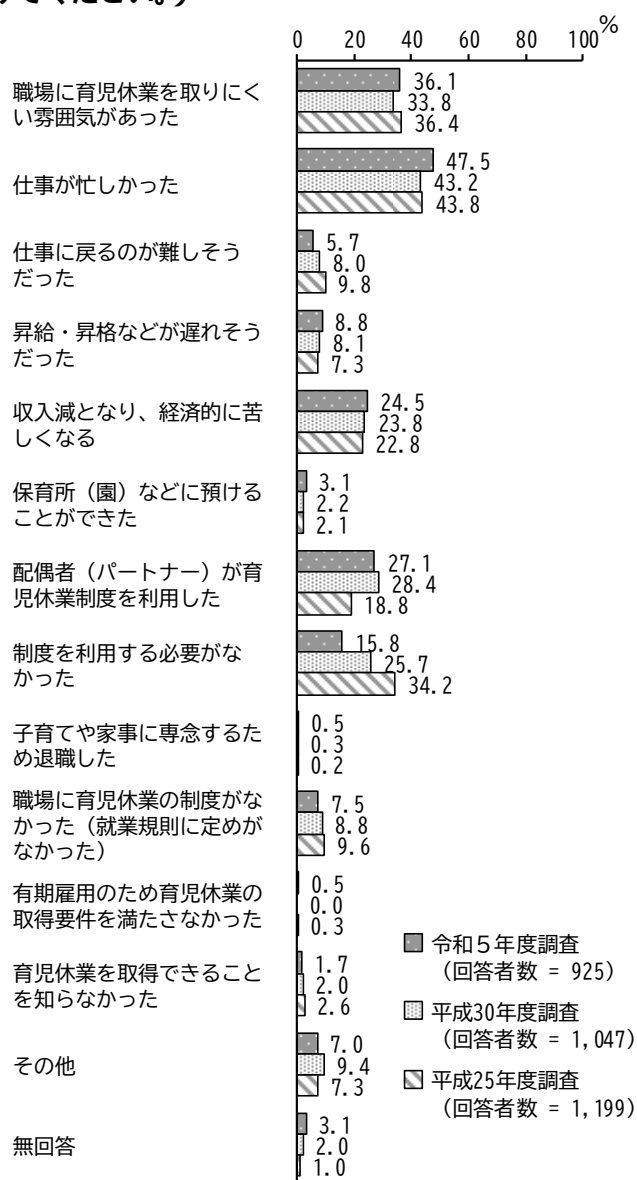
(2) 父親

「取得していない」の割合が79.0%と最も高く、次いで「取得した(取得中である)」の割合が16.0%となっています。



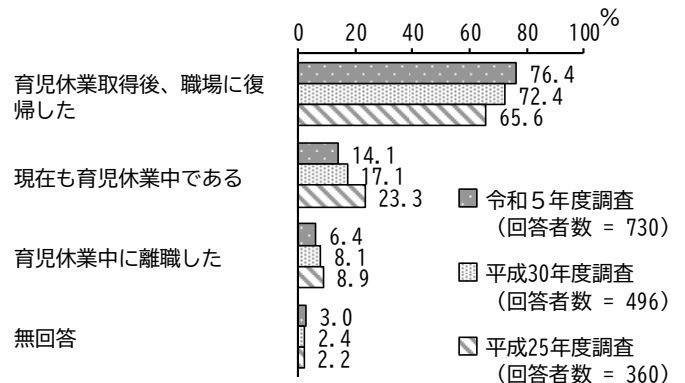
取得していない理由(当てはまる番号すべてに○をつけてください。)

「仕事が忙しかった」の割合が47.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が36.1%、「配偶者(パートナー)が育児休業制度を利用した」の割合が27.1%となっています。



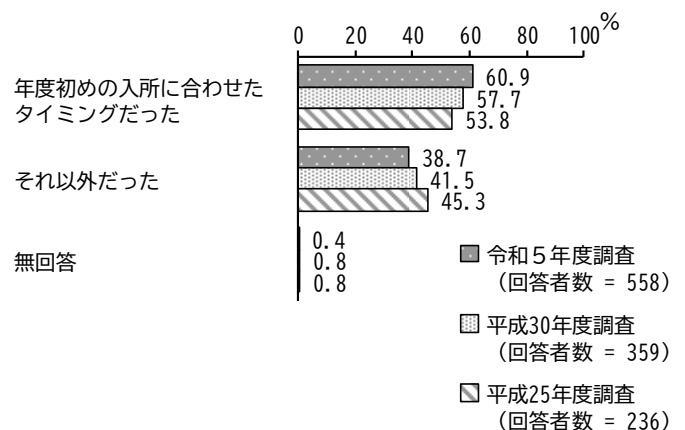
問 38-1 問 38 で母親または父親が、「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方にうかがいます。なお、母親または父親のうち、どちらか育児休業期間を長く取得した方についてお答えください。該当しない方は、問 39 へお進みください。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が 14.1%となっています。



問 38-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）の入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

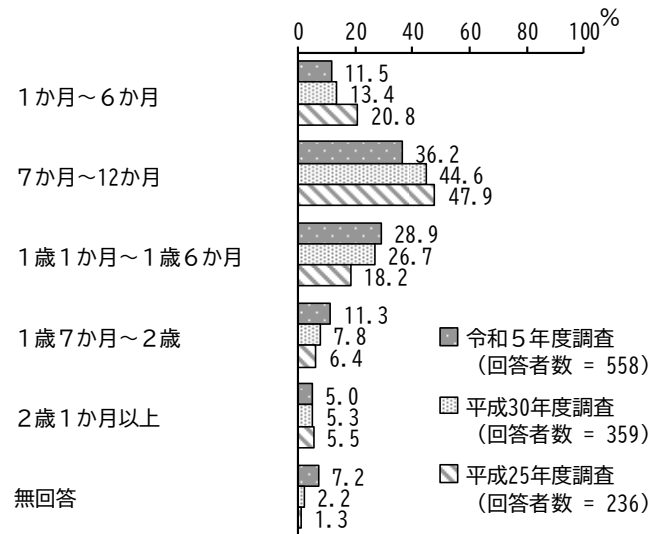
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が 60.9%、「それ以外だった」の割合が 38.7%となっています。



問 38-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。該当する___には数字をご記入ください。

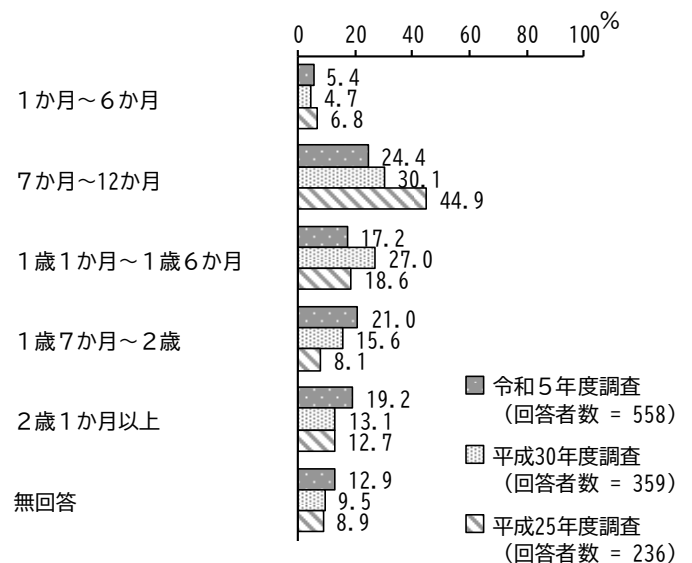
実際の取得期間

「7か月～12か月」の割合が36.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が28.9%、「1か月～6か月」の割合が11.5%となっています。



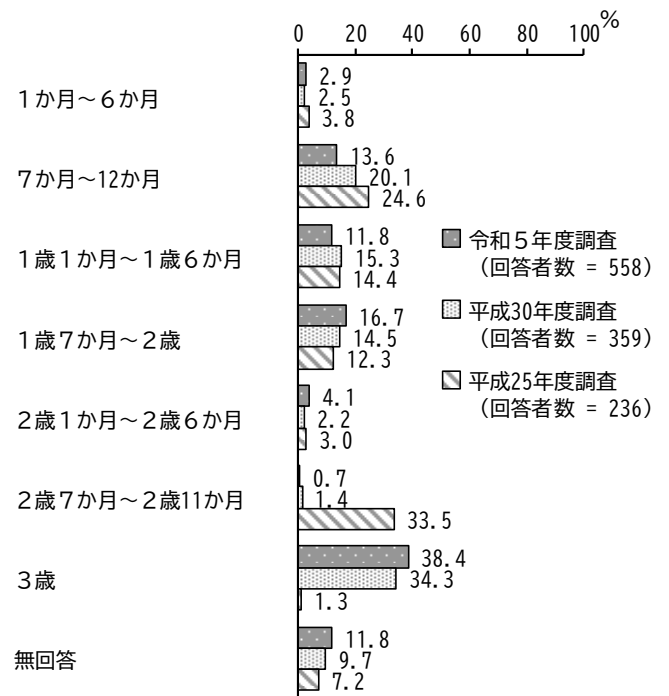
希望の取得期間

「7か月～12か月」の割合が24.4%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が21.0%、「2歳1か月以上」の割合が19.2%となっています。



問 38-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。該当する__には数字をご記入ください。

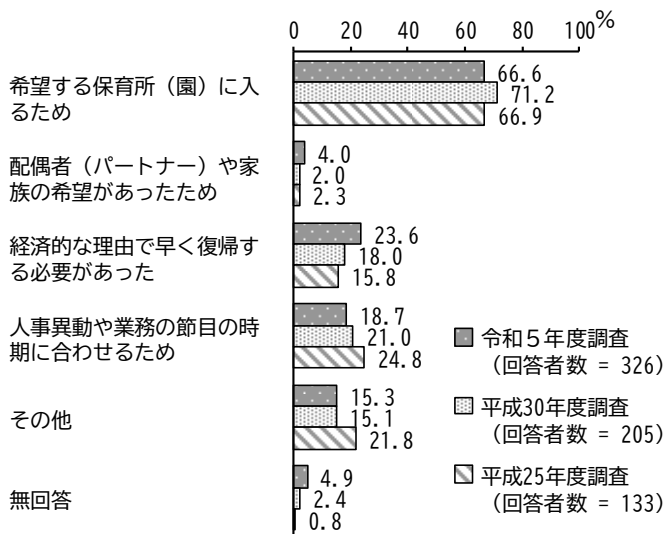
「3歳」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」の割合が 16.7%、「7か月～12か月」の割合が 13.6%となっています。



問 38-5 問 38-3で「実際」の復帰と「希望」が異なる方に向かってうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

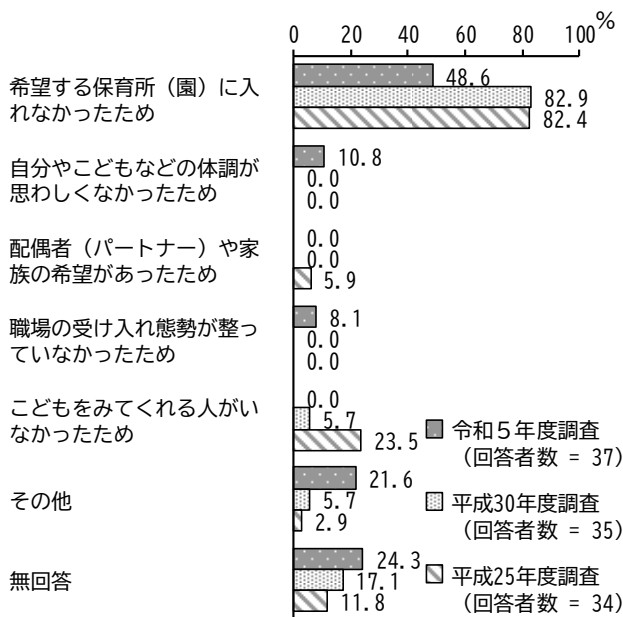
(1) 「希望」より早く復帰した方

「希望する保育所（園）に入るため」の割合が66.6%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が23.6%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が18.7%となっています。



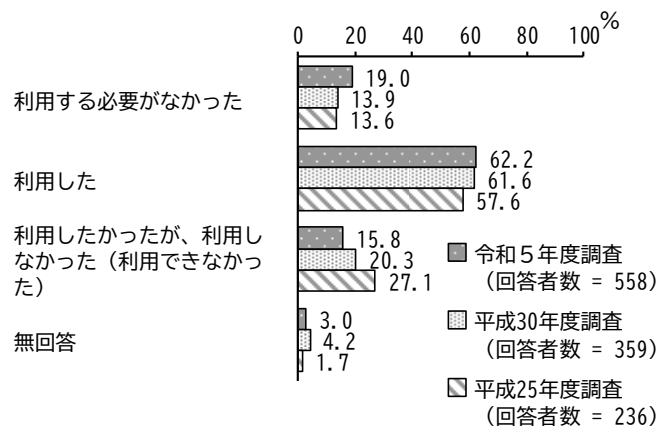
(2) 「希望」より遅く復帰した方

「希望する保育所（園）に入れなかったため」の割合が48.6%と最も高く、次いで「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」の割合が10.8%となっています。



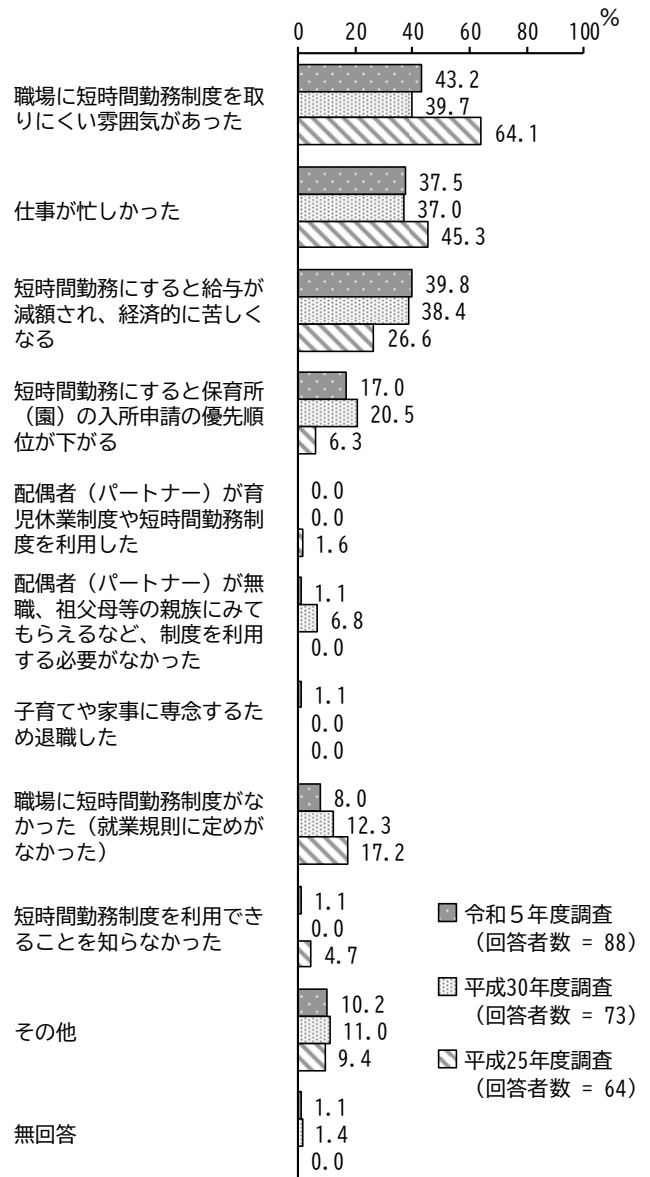
問 38-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「利用した」の割合が62.2%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった」の割合が19.0%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」の割合が15.8%となっています。



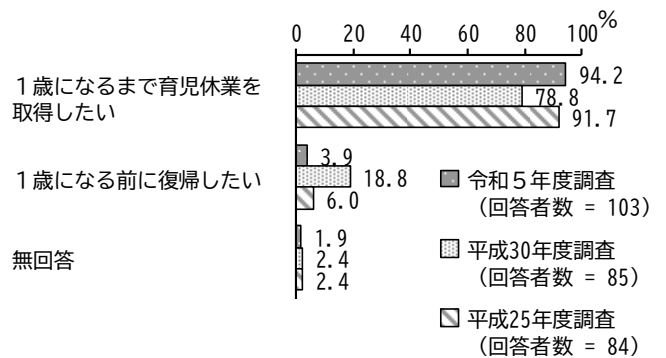
問 38-7 問 38-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が43.2%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」の割合が39.8%、「仕事が忙しかった」の割合が37.5%となっています。



問 38-8 問 38-1 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にかがいます。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が94.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が3.9%となっています。



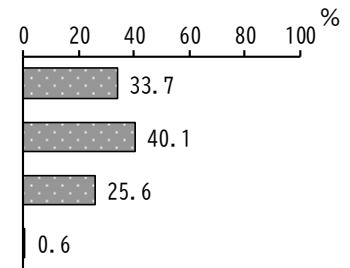
(12) こどもの権利について

問 39 あなたは、『こどもの権利』を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が40.1%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が33.7%、「知らなかった」の割合が25.6%となっています。

回答者数 = 1,171

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

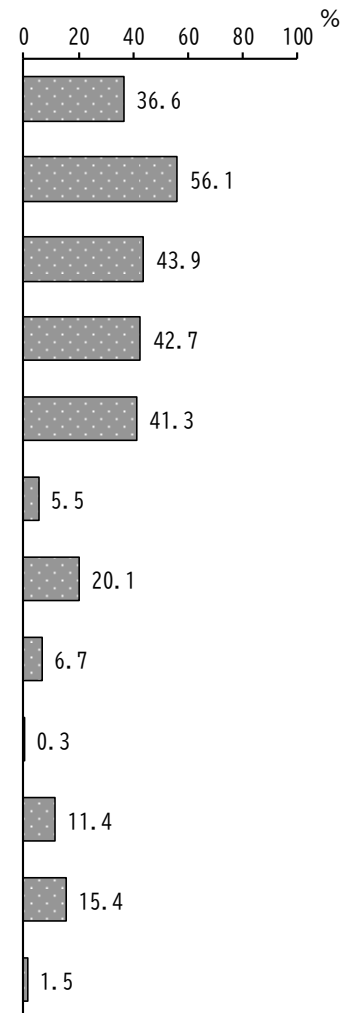


問 40 こどもの権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください)

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が56.1%と最も高く、次いで「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が43.9%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が42.7%となっています。

回答者数 = 1,171

人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
保護者から世話をされること(食事、洗濯他)
無回答

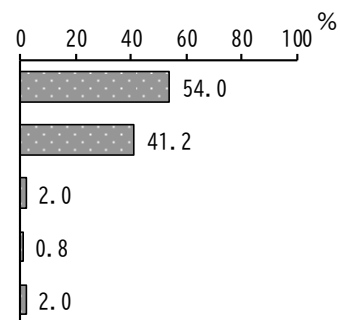


問41 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が54.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が41.2%となっています。

回答者数 = 1,171

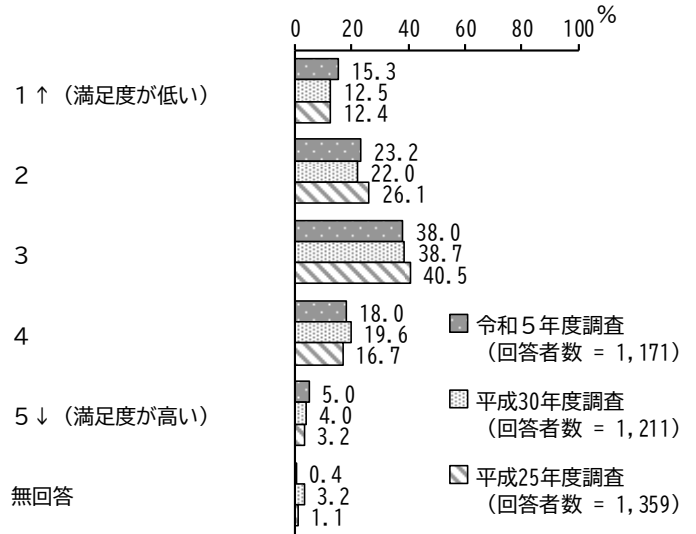
常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答



(13) 芦屋市の今後の子育て施策について

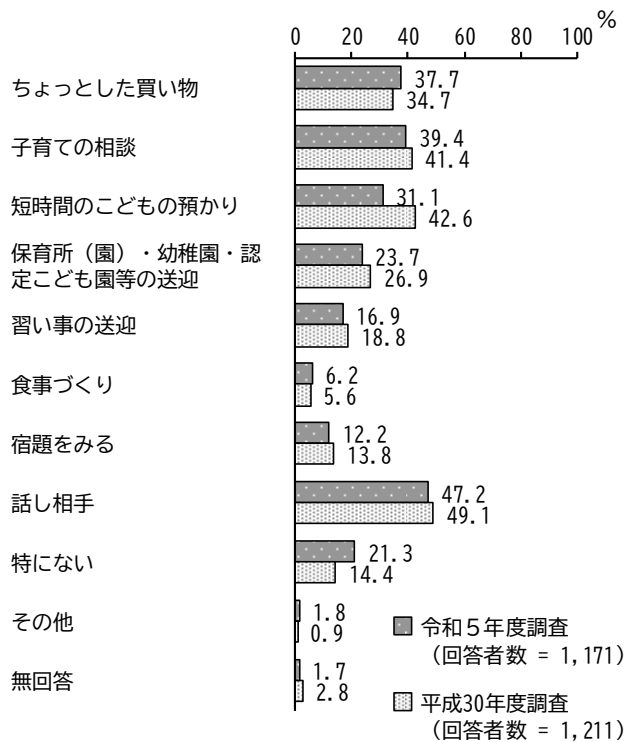
問 42 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が38.0%と最も高く、次いで「2」の割合が23.2%、「4」の割合が18.0%となっています。



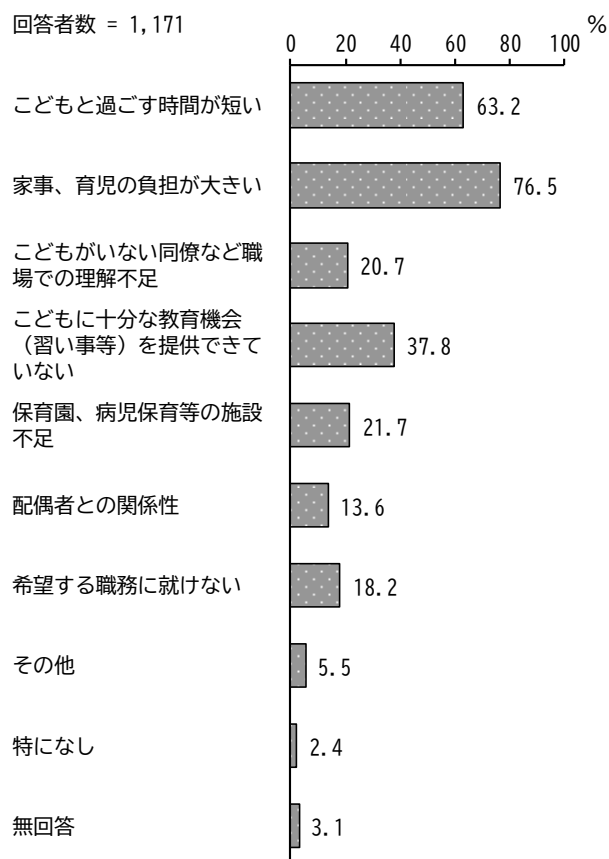
問 43 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思うことはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「話し相手」の割合が47.2%と最も高く、次いで「子育ての相談」の割合が39.4%、「ちょっとした買い物」の割合が37.7%となっています。



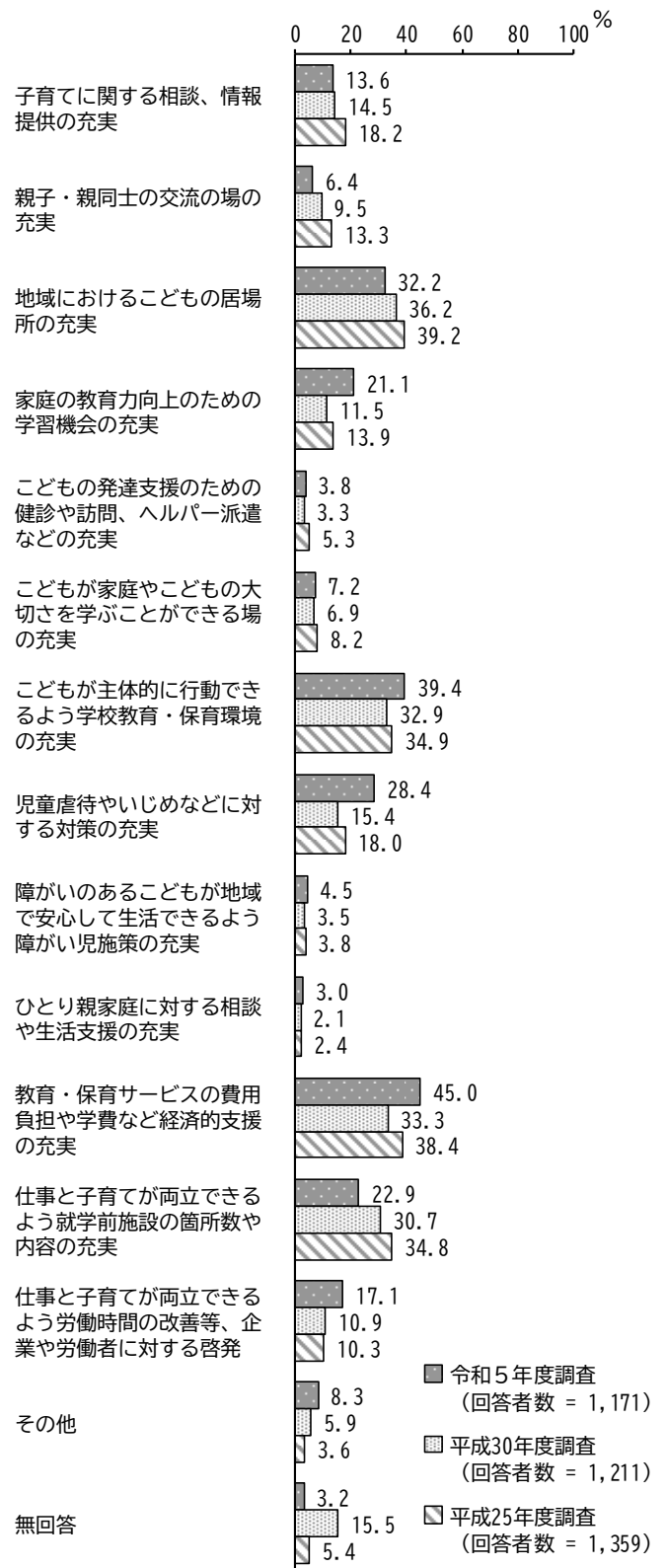
問 44 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家事、育児の負担が大きい」の割合が 76.5% と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 63.2%、「子どもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない」の割合が 37.8% となっています。



問 45 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が45.0%と最も高く、次いで「こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が39.4%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が32.2%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「児童虐待やいじめなどに対する対策の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域におけるこどもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	こどもが家庭やこどもの大切さを学ぶことができる場の充実	こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
全体	1,171	13.6	6.4	32.2	21.1	3.8	7.2	39.4
フルタイム	558	11.6	5.9	34.6	21.3	3.2	6.3	38.2
パート・アルバイト等	283	12.4	4.2	28.6	21.9	4.2	5.3	39.6
未就労	319	18.2	9.1	31.7	19.7	4.7	10.3	41.1

区分	児童虐待やいじめなどに対する対策の充実	障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	その他	無回答
全体	28.4	4.5	3.0	45.0	22.9	17.1	8.3	3.2
フルタイム	24.4	4.7	3.4	48.6	28.7	21.5	9.1	1.6
パート・アルバイト等	29.7	4.9	2.8	44.2	21.9	17.0	7.1	4.6
未就労	34.8	3.8	2.5	39.8	14.4	10.0	8.2	4.4

【世帯収入別】

世帯収入別にみると、200 万円～300 万円未満で「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域におけることもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	子どもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	こどもが家庭やこともの大切さを学ぶことができる場の充実	こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
全 体	1,171	13.6	6.4	32.2	21.1	3.8	7.2	39.4
100 万円未満	14	14.3	7.1	14.3	14.3	—	7.1	28.6
100 万円～200 万円未満	15	6.7	—	20.0	33.3	6.7	6.7	26.7
200 万円～300 万円未満	18	11.1	16.7	22.2	5.6	5.6	16.7	16.7
300 万円～500 万円未満	130	15.4	9.2	29.2	19.2	1.5	6.2	31.5
500 万円～700 万円未満	215	15.8	5.1	32.6	18.6	3.3	6.5	36.7
700 万円～1,000 万円未満	324	11.7	4.0	32.7	22.2	5.2	6.8	43.5
1,000 万円～2,000 万円未満	278	10.4	7.9	32.4	23.0	3.6	7.9	45.0
2,000 万円以上	66	12.1	7.6	30.3	16.7	6.1	10.6	40.9

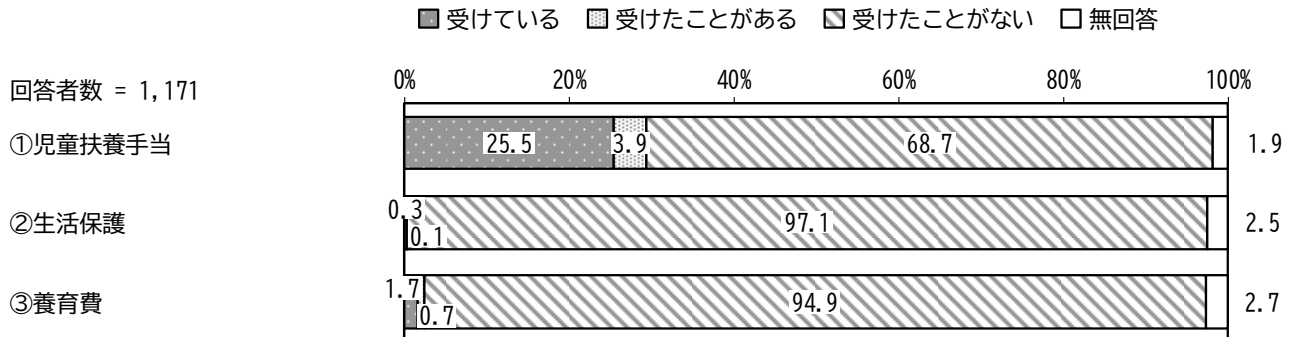
単位：%

区分	児童虐待やいじめなどに対する 対策の充実	障がいのある子どもが地域で安 心して生活できるよう障がい児 施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生 活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担 や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう 就学前施設の箇所数や内容の充 実	仕事と子育てが両立できるよう 労働時間の改善等、企業や労働 者に対する啓発	その他	無回答
全 体	28.4	4.5	3.0	45.0	22.9	17.1	8.3	3.2
100 万円未満	35.7	—	21.4	21.4	7.1	21.4	14.3	21.4
100 万円～200 万 円未満	40.0	6.7	60.0	26.7	6.7	—	—	6.7
200 万円～300 万 円未満	16.7	5.6	33.3	61.1	27.8	16.7	—	—
300 万円～500 万 円未満	24.6	3.1	3.8	51.5	20.8	18.5	10.0	3.8
500 万円～700 万 円未満	34.0	5.1	1.4	49.8	26.5	23.7	1.9	1.4
700 万円～1,000 万円未満	28.1	5.9	1.5	48.5	24.1	16.7	9.3	1.9
1,000 万円～2,000 万円未満	28.4	2.5	0.4	40.6	21.9	16.2	12.2	2.5
2,000 万円以上	31.8	7.6	3.0	36.4	18.2	9.1	13.6	1.5

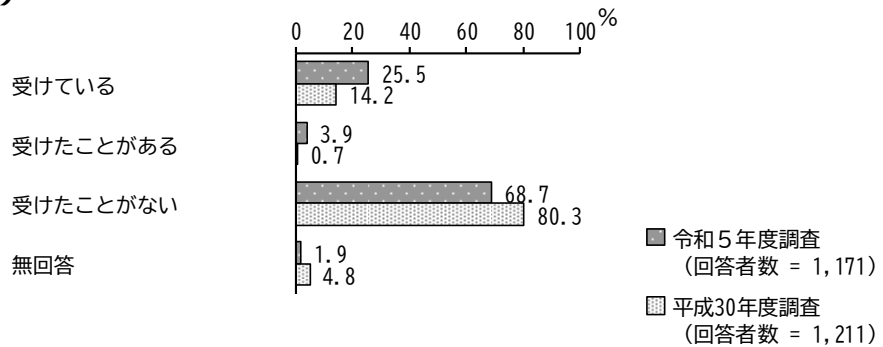
(前ページ 表の続き)

問 46 過去1年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。①～③のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

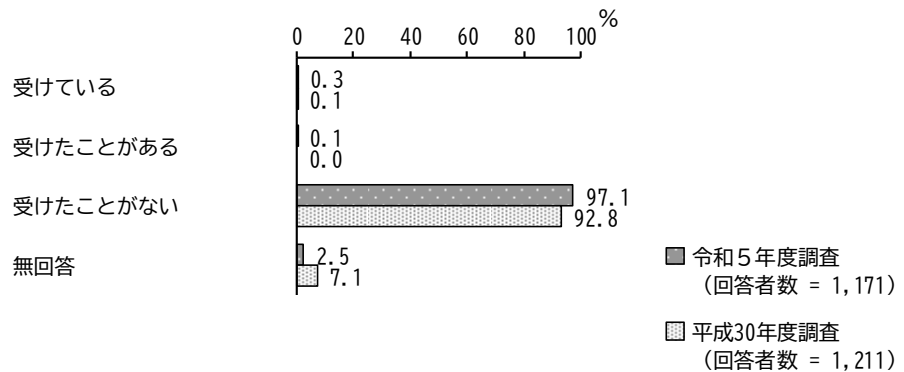
『①児童扶養手当』で「受けている」の割合が高くなっています。



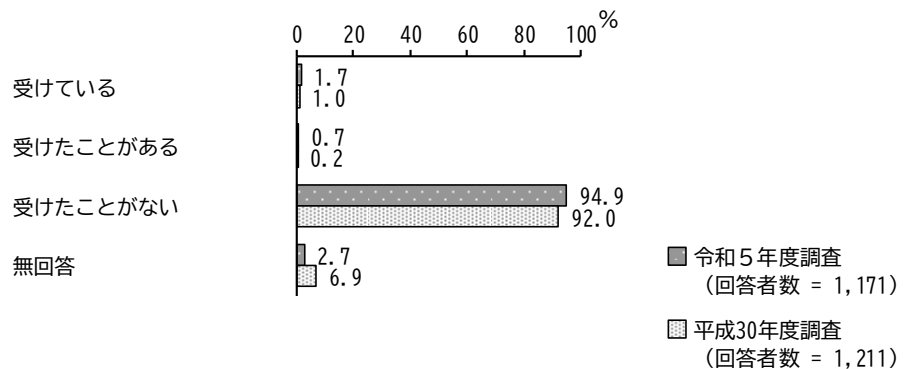
児童扶養手当（経年比較）



生活保護（経年比較）



養育費（経年比較）

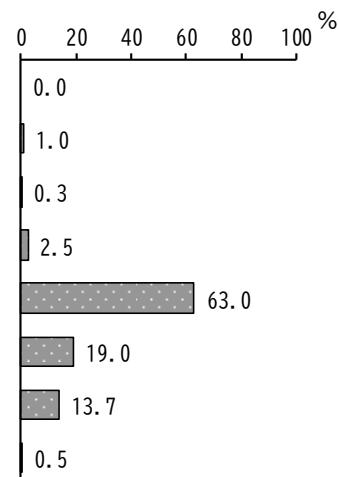


問 47 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか（留学を含む）。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「大学またはそれ以上」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上（海外）」の割合が 19.0%、「まだわからない」の割合が 13.7%となっています。

回答者数 = 1,171

- 1. 中学まで
- 2. 高校まで
- 3. 高校まで（海外）
- 4. 短大・高専・専門学校まで
- 5. 大学またはそれ以上
- 6. 大学またはそれ以上（海外）
- 7. まだわからない
- 無回答

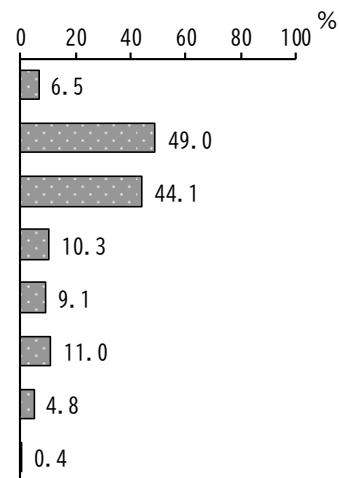


問 48 問 47 で「1. 中学まで」～「6. 大学またはそれ以上（海外）」に○をつけた方
 にうかがいます。その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけて
 ください。

「お子さんが幸せになれると思うから」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が 44.1%、「お子さんの学力から考えて」の割合が 10.3%となっています。

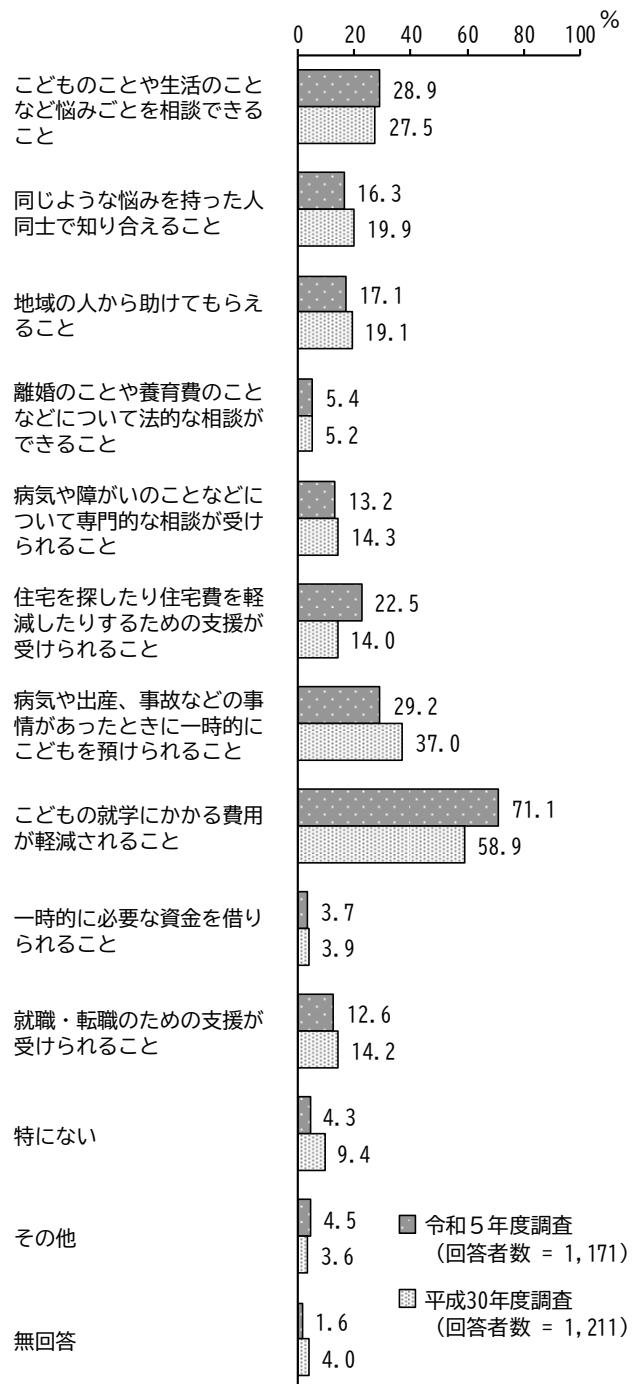
回答者数 = 1,004

- お子さんがそう希望しているから
- お子さんが幸せになれると思うから
- 一般的な進路だと思うから
- お子さんの学力から考えて
- 家庭の経済的な状況から考えて
- その他
- 特に理由はない
- 無回答



問 49 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「こどもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が71.1%と最も高く、次いで「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること」の割合が29.2%、「こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が28.9%となっています。



【世帯収入別】

世帯収入別にみると、100万円～200万円未満で「病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どものことや生活のことなど悩み ことを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知 り合えること	地域の人から助けってもらえること	離婚のことや養育費のことなどにつ いて法的な相談ができること	病気や障がいのことなどについて専 門的な相談が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したり するための支援が受けられること
全 体	1,171	28.9	16.3	17.1	5.4	13.2	22.5
100万円未満	14	21.4	7.1	14.3	14.3	14.3	28.6
100万円～200万円未満	15	40.0	13.3	—	6.7	40.0	33.3
200万円～300万円未満	18	38.9	38.9	16.7	11.1	5.6	38.9
300万円～500万円未満	130	35.4	20.8	15.4	9.2	13.1	35.4
500万円～700万円未満	215	28.4	17.2	17.2	5.1	14.9	26.5
700万円～1,000万円未満	324	33.3	14.8	15.1	3.7	16.0	22.2
1,000万円～2,000万円未満	278	25.5	15.1	22.3	4.3	6.8	16.2
2,000万円以上	66	21.2	18.2	15.2	9.1	18.2	7.6

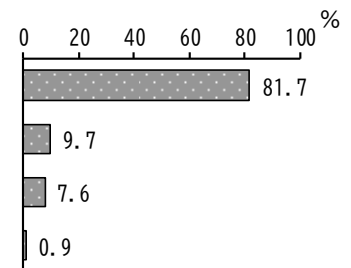
区分	病気や出産、事故などの事情があつ たときに一時的に子どもを預けられ ること	子どもの就学にかかる費用が軽減さ れること	一時的に必要な資金を借りられるこ と	就職・転職のための支援が受けられ ること	特 に な い	そ の 他	無 回 答
全 体	29.2	71.1	3.7	12.6	4.3	4.5	1.6
100万円未満	28.6	57.1	—	7.1	14.3	14.3	7.1
100万円～200万円未満	13.3	73.3	6.7	13.3	—	—	—
200万円～300万円未満	16.7	72.2	22.2	27.8	—	—	—
300万円～500万円未満	33.1	72.3	10.8	20.0	2.3	3.1	3.8
500万円～700万円未満	30.7	72.6	2.3	17.7	3.7	2.8	1.4
700万円～1,000万円未満	33.6	75.9	4.3	11.4	2.5	3.1	0.9
1,000万円～2,000万円未満	26.3	69.4	0.7	9.0	4.7	7.9	—
2,000万円以上	33.3	48.5	—	6.1	15.2	6.1	—

問 50 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が81.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,171

言葉も内容も知っている
言葉は聞いたことがある
知らない
無回答

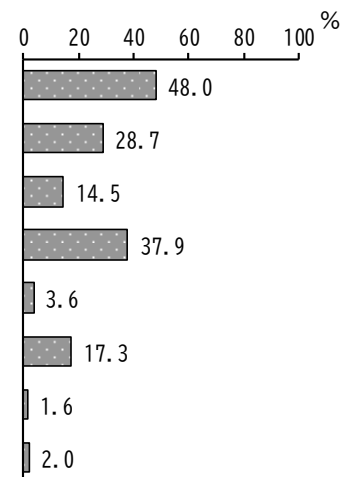


問 51 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が48.0%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が37.9%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が28.7%となっています。

回答者数 = 1,171

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答

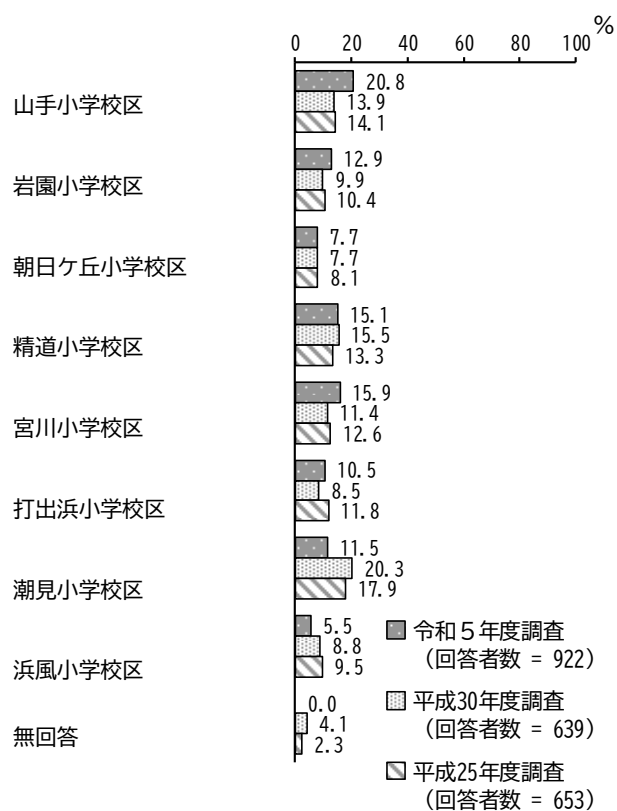


2 小学生保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

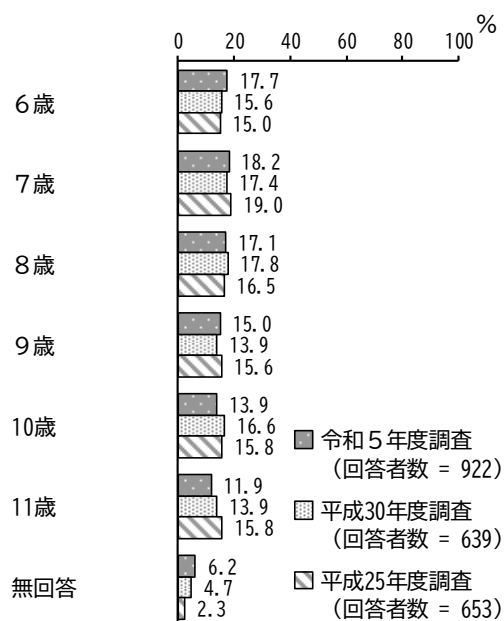
「山手小学校区」の割合が20.8%と最も高く、次いで「宮川小学校区」の割合が15.9%、「精道小学校区」の割合が15.1%となっています。



(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

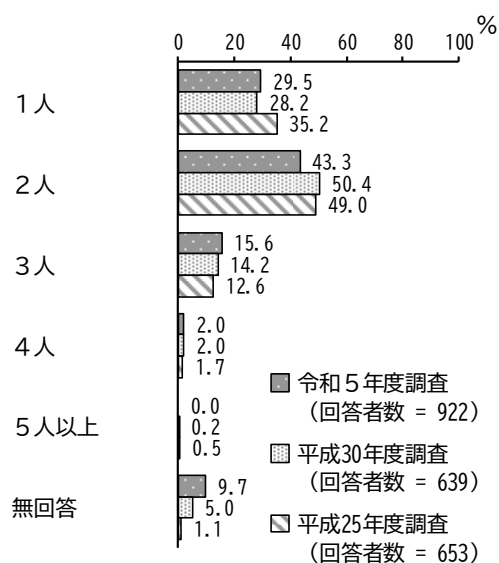
問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

「7歳」の割合が18.2%と最も高く、次いで「6歳」の割合が17.7%、「8歳」の割合が17.1%となっています。



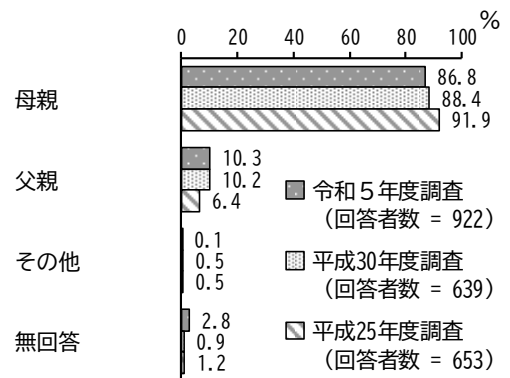
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

「2人」の割合が43.3%と最も高く、次いで「1人」の割合が29.5%、「3人」の割合が15.6%となっています。



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

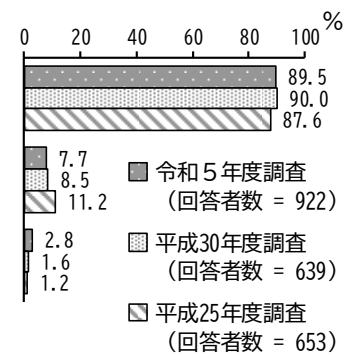
「母親」の割合が 86.8%、「父親」の割合が 10.3%となっています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者(パートナー)がいる」の割合が 89.5%、「配偶者(パートナー)はいない」の割合が 7.7%となっています。

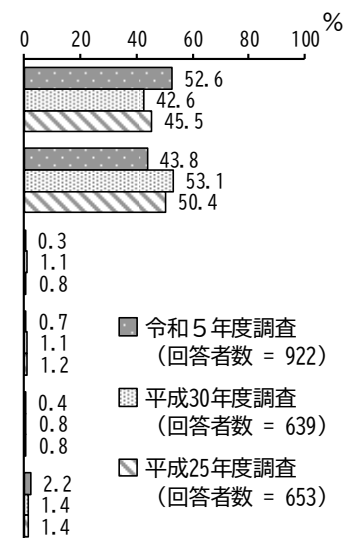
配偶者(パートナー)がいる
配偶者(パートナー)はいない
無回答



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

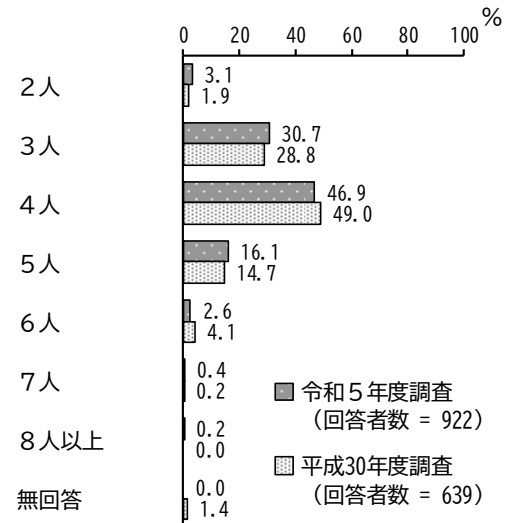
「父母ともに」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「主に母親」の割合が 43.8%となっています。

父母ともに
主に母親
主に父親
主に祖父母
その他
無回答



問7 何人家族ですか。

「4人」の割合が46.9%と最も高く、次いで「3人」の割合が30.7%、「5人」の割合が16.1%となっています。



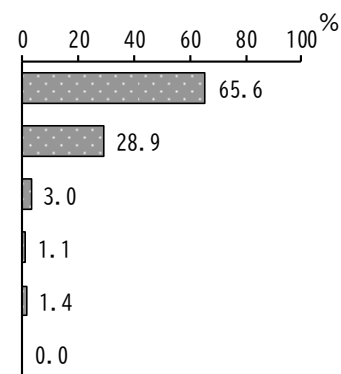
(3) こどもの育ちをめぐる環境について

問8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」の割合が65.6%と最も高く、次いで「楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい」の割合が28.9%となっています。

回答者数 = 922

楽しいと感じることが多い
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい
辛いと感じることが多い
わからない
その他
無回答

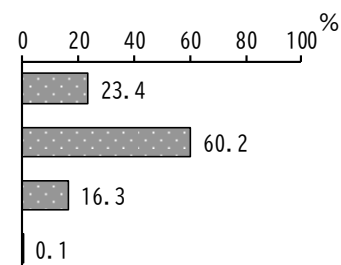


問9 あなたは、子育てをしながら、不安や悩みなどがありますか。

「少しある」の割合が60.2%と最も高く、次いで「すごくある」の割合が23.4%、「ほとんどない」の割合が16.3%となっています。

回答者数 = 922

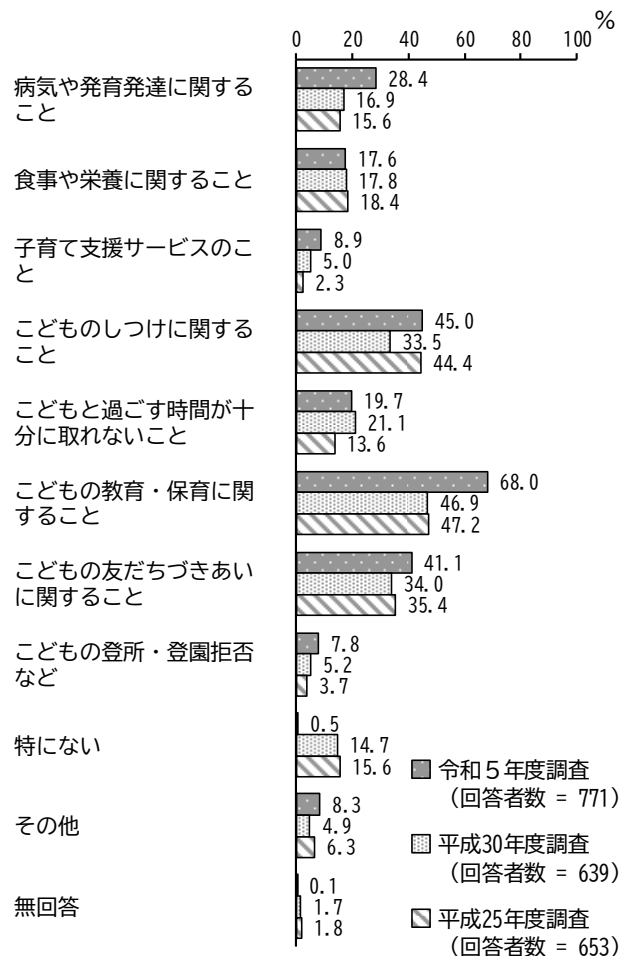
すごくある
少しある
ほとんどない
無回答



問10 問9で「1. すごくある」「2. 少しある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) こどもに関すること

「こどもの教育・保育に関すること」の割合が68.0%と最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」の割合が45.0%、「こどもの友だちづきあいに関すること」の割合が41.1%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「こどもと過ごす時間が十分に取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関する こと	食事や栄養に関するこ と	子育て支援サービスの こと	こどものしつけに関す ること	こどもと過ごす時間が 十分に取れないこと	こどもの教育・保育に 関すること	こどもの友だちづきあ いに関すること	こどもの登所・登園拒 否など	特にな い	その他	無回 答
全 体	771	28.4	17.6	8.9	45.0	19.7	68.0	41.1	7.8	0.5	8.3	0.1
フルタイム	265	26.0	17.7	7.5	44.5	37.7	65.7	38.1	8.7	1.1	7.9	0.4
パート・アル バイト等	281	23.1	13.9	7.1	44.5	13.5	71.9	40.9	7.5	0.4	7.8	—
未就労	201	36.8	20.4	11.9	46.3	4.0	65.7	43.8	6.5	—	9.5	—

【子育てを楽しい・つらいと感じる状況別】

子育てを楽しい・つらいと感じる状況別にみると、辛いと感じることの方が多いで「こどものしつけに関すること」の割合が高くなっています。

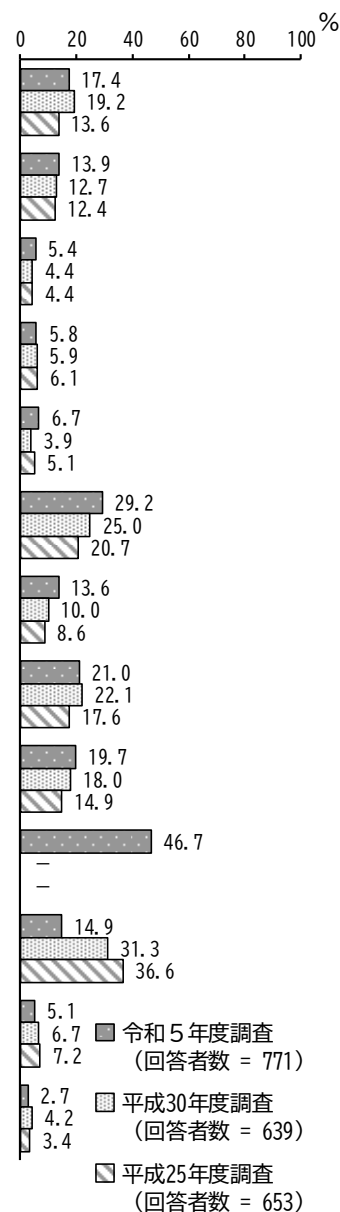
単位：%

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	こどものしつけに関すること	こどもと過ごす時間が十分に取れないこと	こどもの教育・保育に関すること	こどもの友だちつきあいにすること	こどもの登所・登園拒否など	特にない	その他	無回答
全体	771	28.4	17.6	8.9	45.0	19.7	68.0	41.1	7.8	0.5	8.3	0.1
楽しいと感じることが多い	467	22.9	17.1	6.6	39.8	19.3	68.5	37.9	4.3	0.6	8.6	—
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい	256	35.5	17.6	12.5	50.0	19.9	66.8	44.9	12.1	0.4	5.5	0.4
辛いと感じることの方が多い	28	57.1	25.0	14.3	78.6	28.6	75.0	46.4	21.4	—	17.9	—
わからない	8	12.5	25.0	12.5	50.0	—	50.0	50.0	25.0	—	12.5	—
その他	12	33.3	16.7	8.3	58.3	25.0	66.7	66.7	8.3	—	33.3	—

(2) ご自身に関すること

「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が46.7%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が29.2%、「子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと」の割合が21.0%となっています。

子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
 子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと
 ご自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること
 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと
 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
 子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
 子育てによる身体の疲れが大きいこと
 こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
 特にな
 その他
 無回答



※平成30年度調査、平成25年度調査では、「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の選択肢はありませんでした。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特になし	その他	無回答
全体	771	17.4	13.9	5.4	5.8	6.7	29.2	13.6	21.0	19.7	46.7	14.9	5.1	2.7
フルタイム	265	15.8	10.9	7.2	4.9	6.0	36.2	12.1	19.2	18.1	47.2	14.7	5.3	1.9
パート・アルバイト等	281	19.6	19.6	4.6	5.3	7.5	31.3	13.9	25.3	17.4	53.4	10.7	5.0	2.5
未就労	201	16.9	10.0	3.5	8.0	7.0	15.9	14.9	16.9	25.4	35.8	20.4	5.0	4.0

【子育てを楽しい・つらいと感じる状況別】

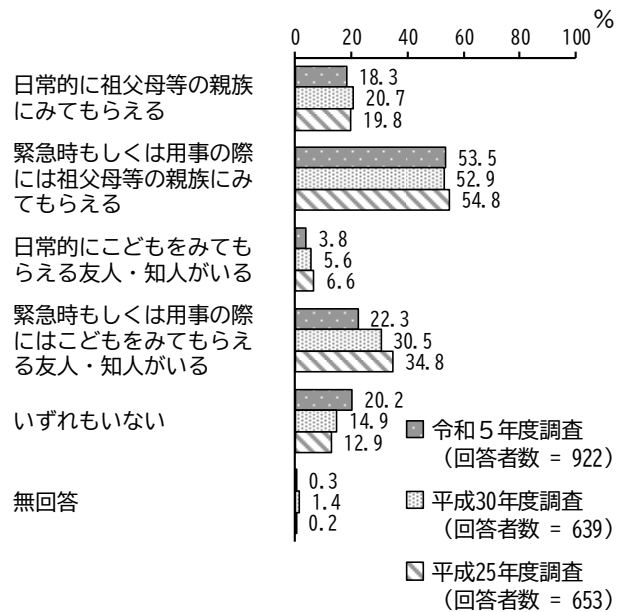
子育てを楽しい・つらいと感じる状況別にみると、辛いと感じることの方が多いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関して話し相手や相談相手がないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと	子育てによる身体の疲れが大きいこと	子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること	特になし	その他	無回答
全体	771	17.4	13.9	5.4	5.8	6.7	29.2	13.6	21.0	19.7	46.7	14.9	5.1	2.7
楽しいと感じることが多い	467	12.6	10.9	2.6	3.4	3.0	24.4	10.9	15.0	14.8	43.3	20.6	4.7	3.9
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい	256	22.3	17.6	10.5	8.6	10.9	35.2	18.4	28.5	25.0	52.3	6.3	4.7	0.8
辛いと感じることの方が多い	28	46.4	32.1	10.7	25.0	21.4	50.0	21.4	53.6	53.6	53.6	—	3.6	3.6
わからない	8	25.0	12.5	—	—	12.5	25.0	—	12.5	—	37.5	37.5	—	—
その他	12	25.0	8.3	—	—	25.0	41.7	8.3	25.0	33.3	50.0	—	33.3	—

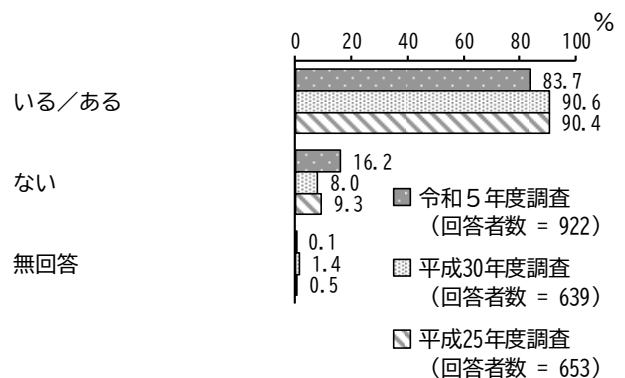
問11 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が53.5%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が22.3%、「いずれもない」の割合が20.2%となっています。



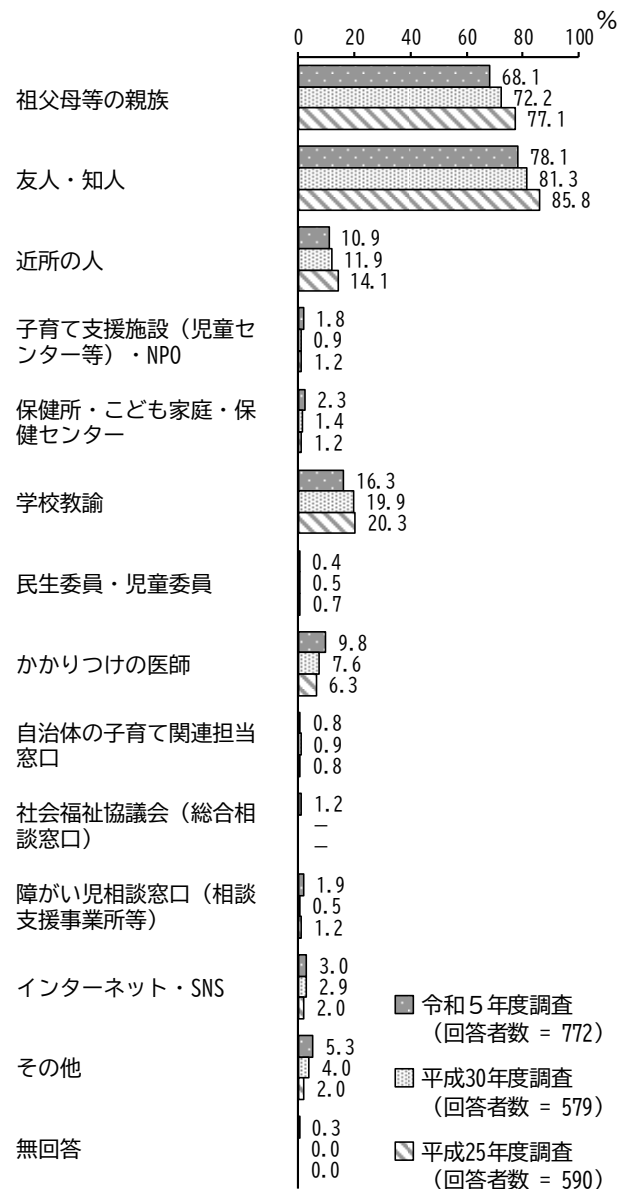
問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いる／ある」の割合が83.7%、「ない」の割合が16.2%となっています。



問12-1 問12で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人」の割合が78.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が68.1%、「学校教諭」の割合が16.3%となっています。

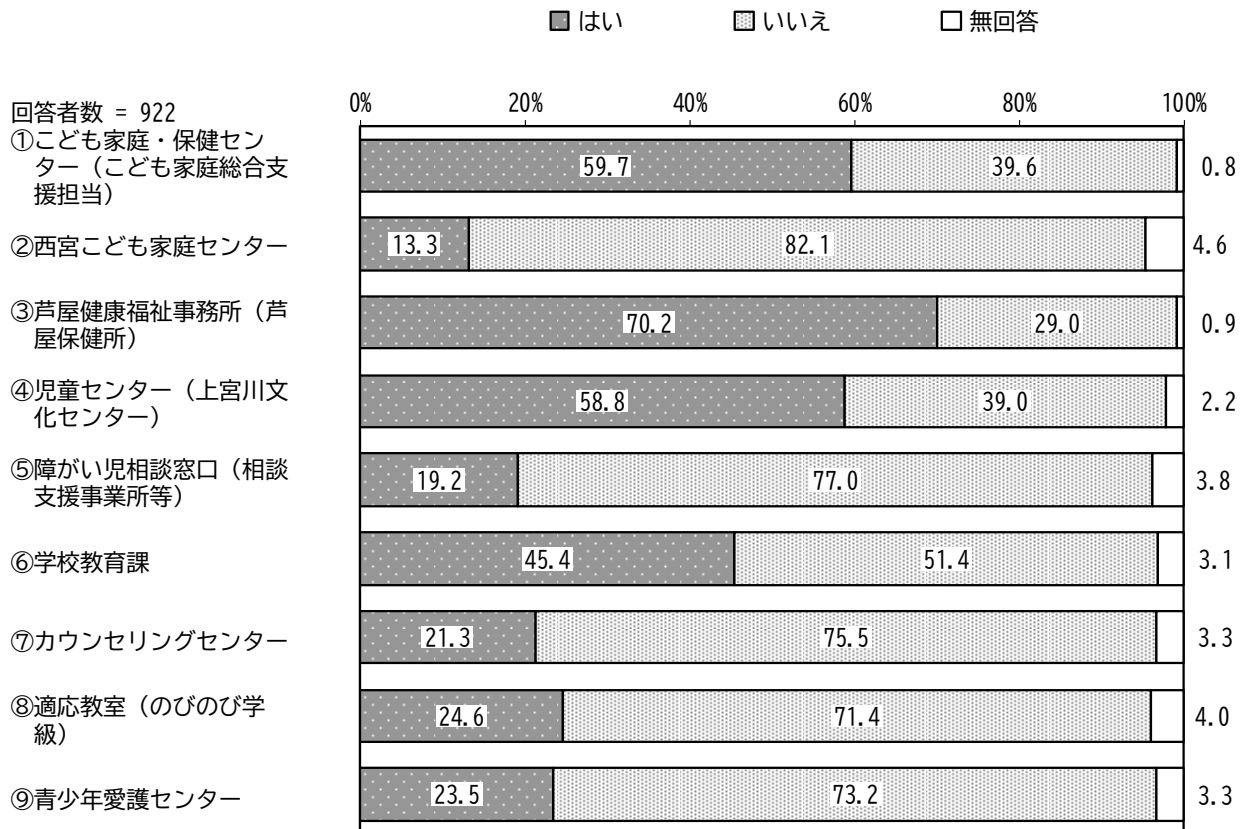


※平成30年度調査、平成25年度調査では、「社会福祉協議会（総合相談窓口）」の選択肢はありませんでした。

問 13 すべての方にうかがいます。下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

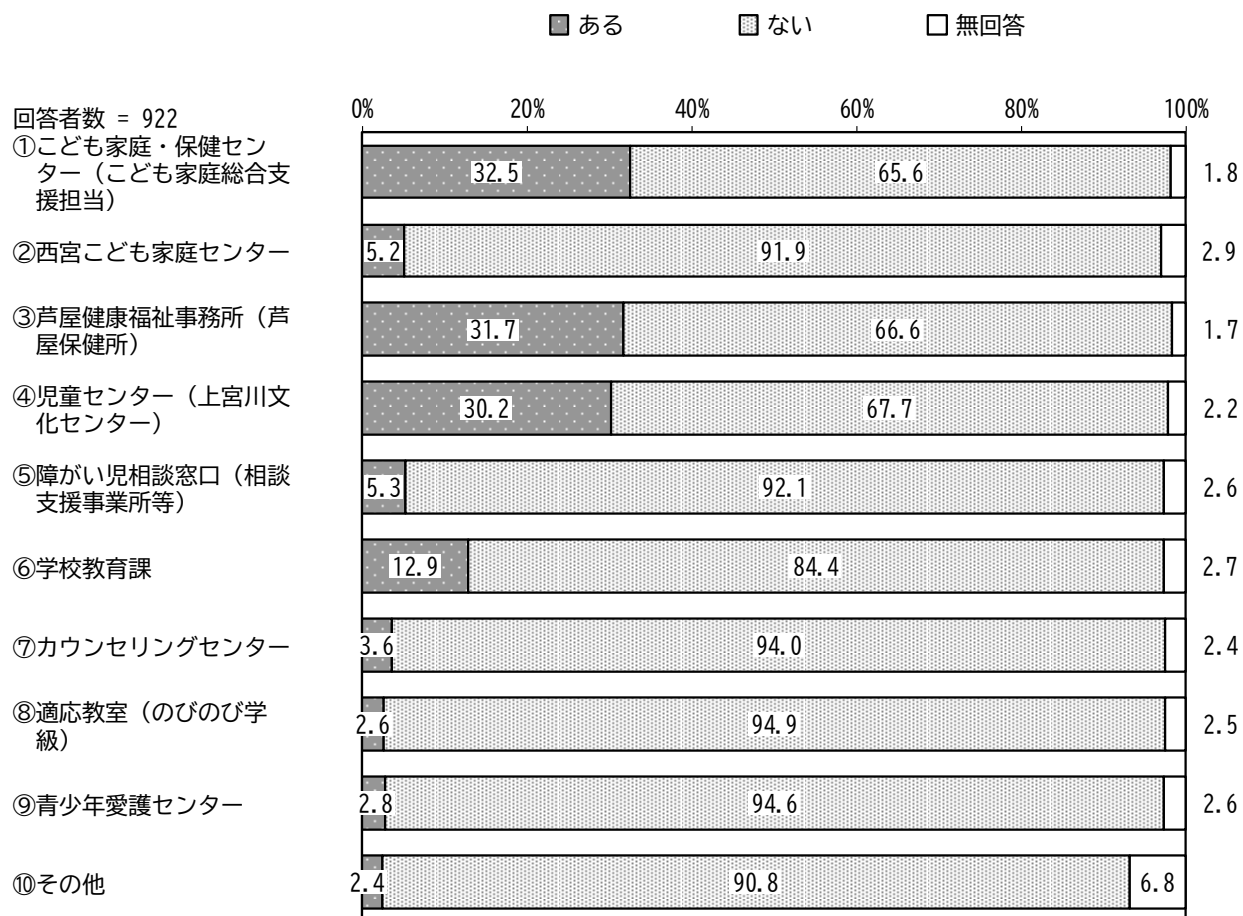
A 知っている

『②西宮こども家庭センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、『③芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）』で「はい」の割合が高くなっています。



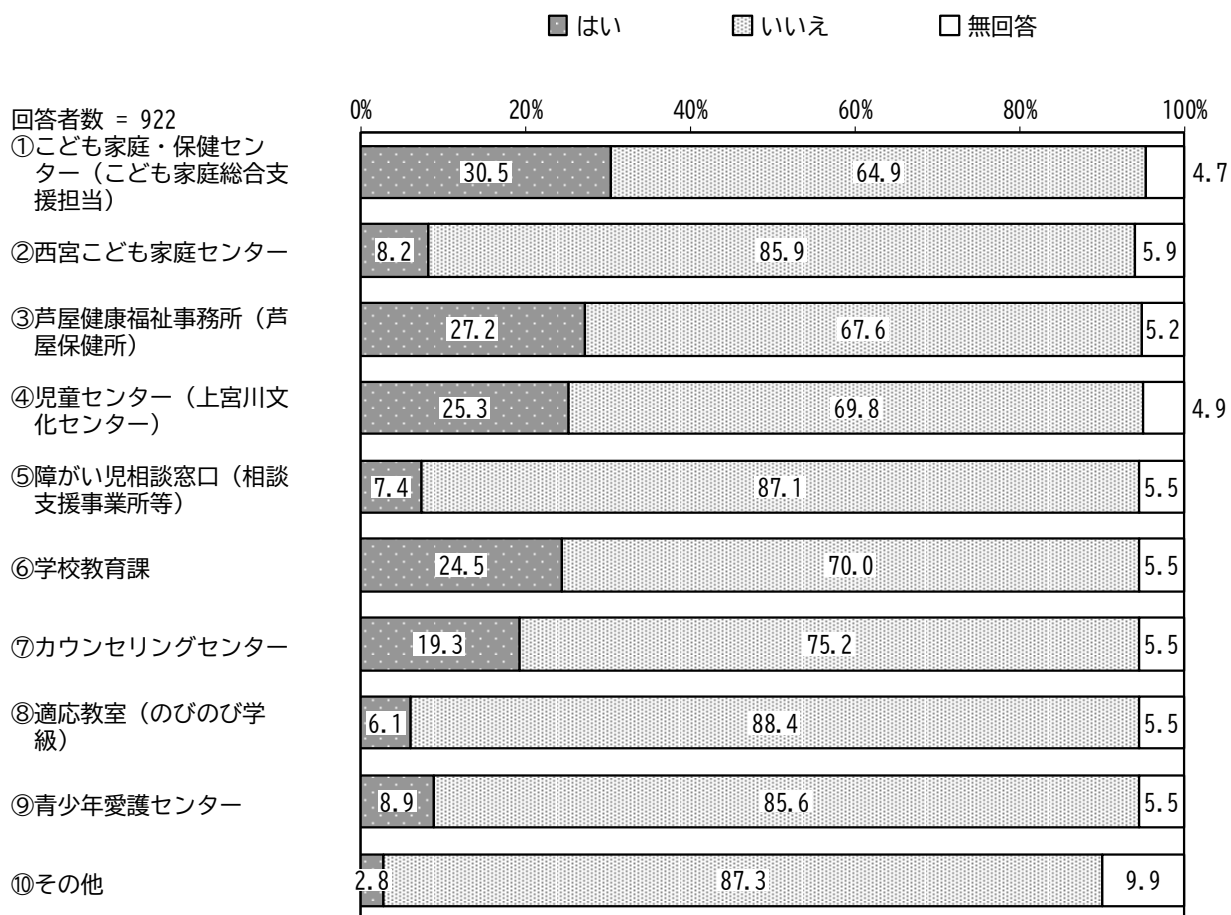
B 利用したことがある

『①こども家庭・保健センター（こども家庭総合支援担当）』で「ある」の割合が高くなっています。一方、『⑧適応教室（のびのび学級）』で「ない」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

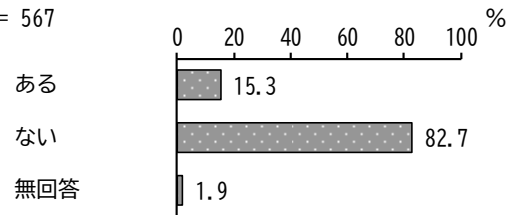
『①こども家庭・保健センター（こども家庭総合支援担当）』で「はい」の割合が高くなっています。一方、『⑧適応教室（のびのび学級）』で「いいえ」の割合が高くなっています。



問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ある」の割合が 15.3%、「ない」の割合が 82.7%となっています。

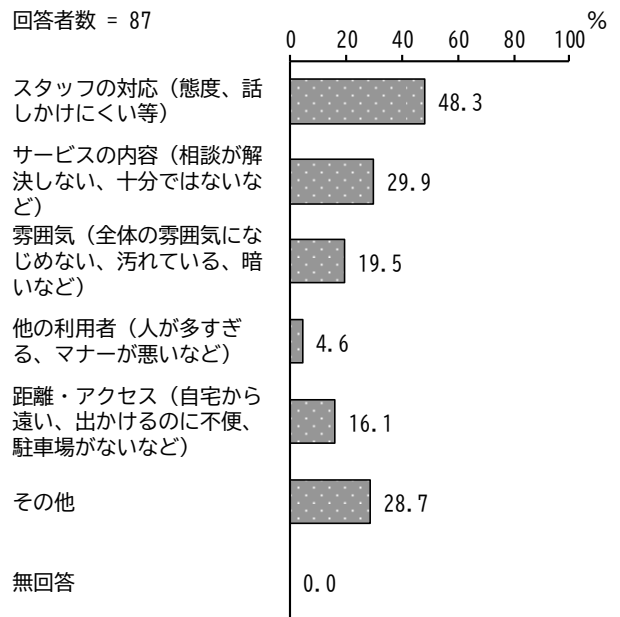
回答者数 = 567



問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

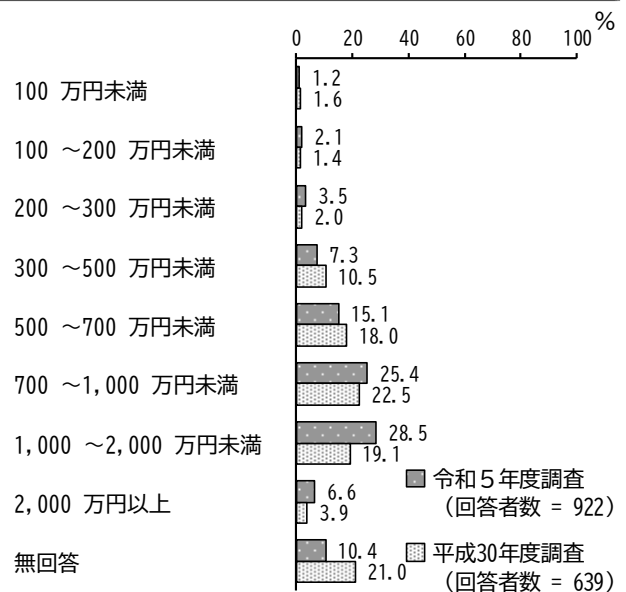
「スタッフの対応(態度、話しかけにくい等)」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「サービスの内容(相談が解決しない、十分ではないなど)」の割合が 29.9%、「雰囲気(全体の雰囲気になじめない、汚れている、暗いなど)」の割合が 19.5%となっています。

回答者数 = 87



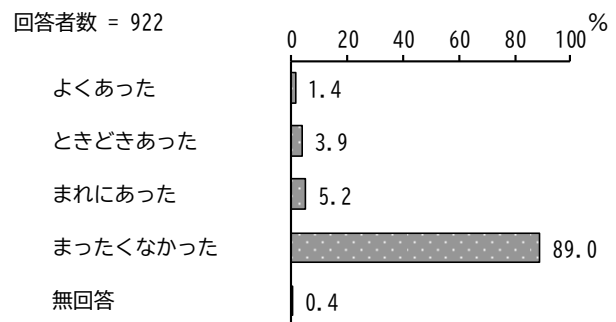
問 14 すべての方にうかがいます。ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年1年間（令和4年1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

「1,000～2,000万円未満」の割合が28.5%と最も高く、次いで「700～1,000万円未満」の割合が25.4%、「500～700万円未満」の割合が15.1%となっています。



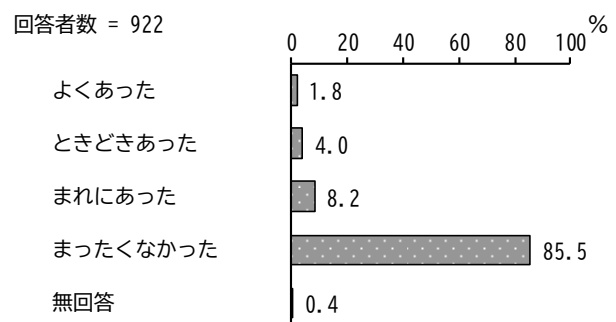
問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が89.0%と最も高くなっています。



問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

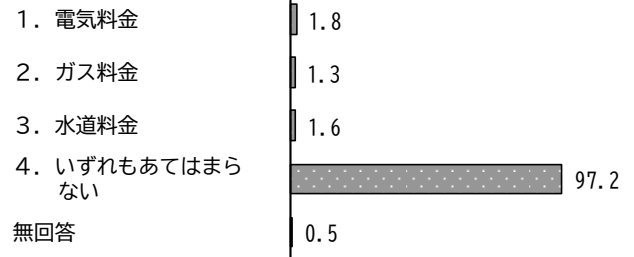
「まったくなかった」の割合が85.5%と最も高くなっています。



問17 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

「いずれもあてはまらない」の割合が97.2%と最も高くなっています。

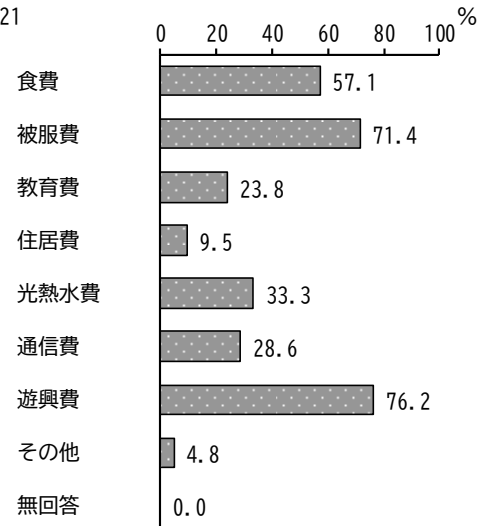
回答者数 = 922



問18 問17で「1. 電気料金」～「3. 水道料金」に○をつけた方にうかがいます。あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

「遊興費」の割合が76.2%と最も高く、次いで「被服費」の割合が71.4%、「食費」の割合が57.1%となっています。

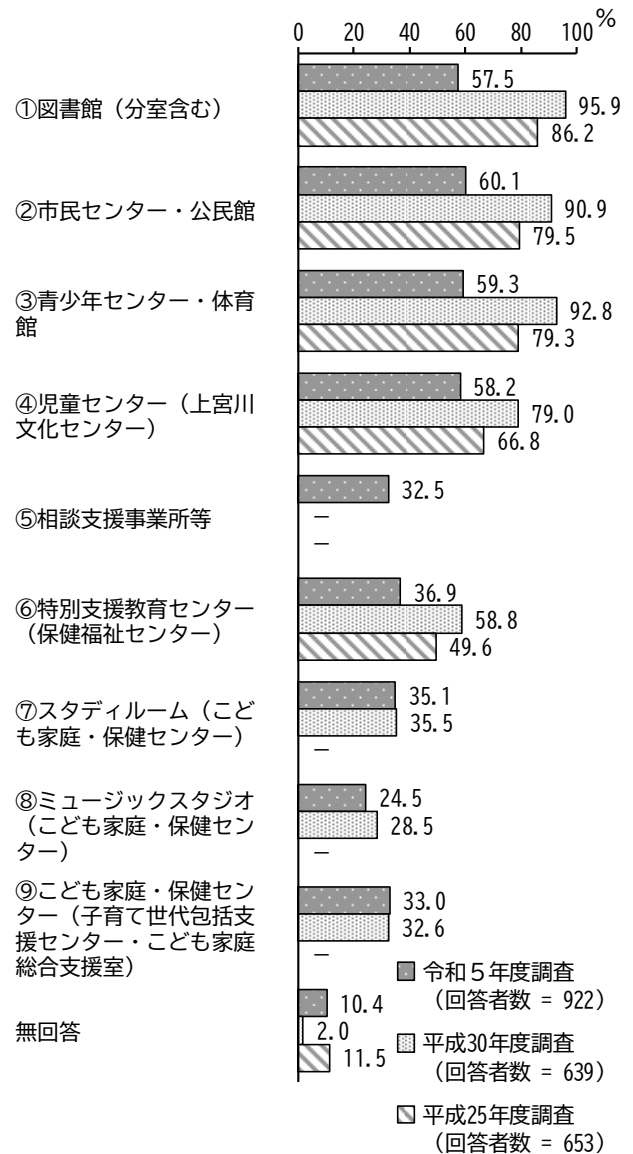
回答者数 = 21



問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

A知っている

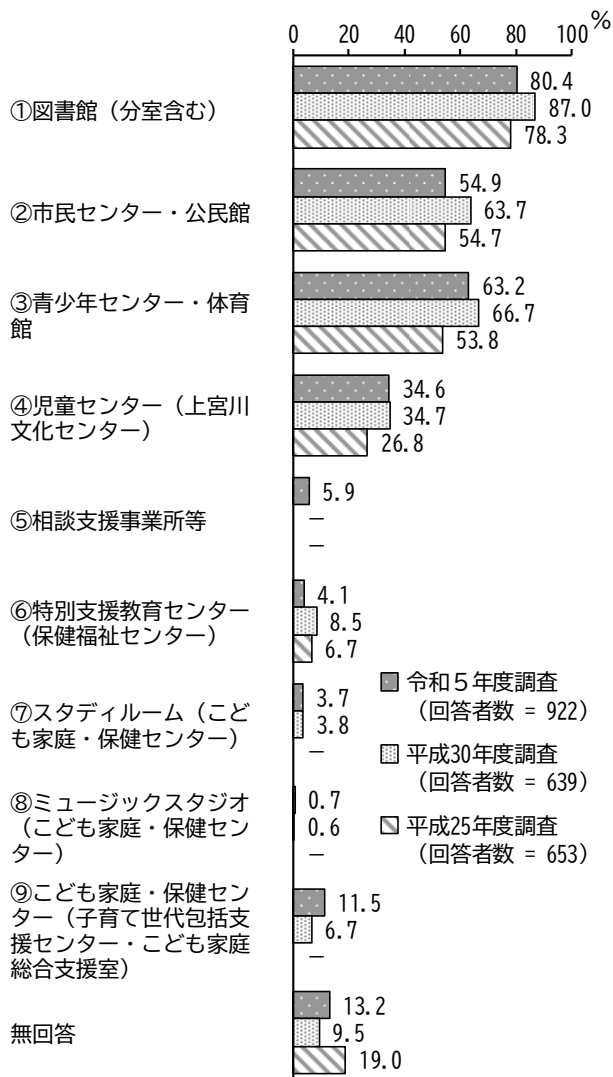
「市民センター・公民館」の割合が60.1%と最も高く、次いで「青少年センター・体育館」の割合が59.3%、「児童センター（上宮川文化センター）」の割合が58.2%となっています。



※平成 30 年度調査では、「⑤相談支援事業所等」の選択肢はありませんでした。平成 25 年度調査では、「⑤相談支援事業所等」、「⑦スタディールーム（こども家庭・保健センター）」、「⑧ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）」、「⑨こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室）」の選択肢はありませんでした。

B 利用したことがある

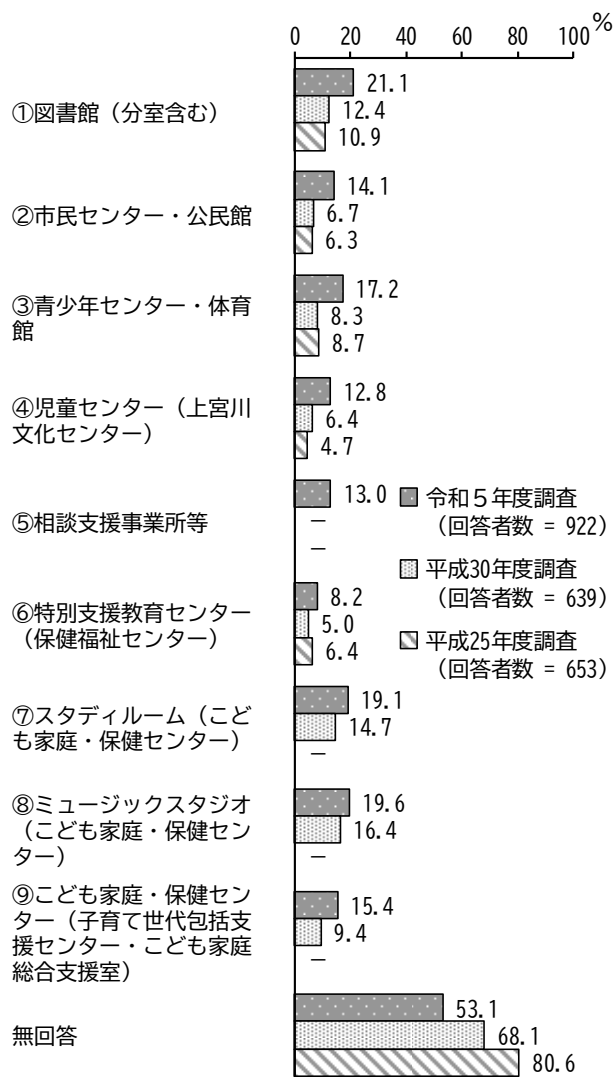
「図書館（分室含む）」の割合が 80.4%と最も高く、次いで「青少年センター・体育館」の割合が 63.2%、「市民センター・公民館」の割合が 54.9%となっています。



※平成 30 年度調査では、「⑤相談支援事業所等」の選択肢はありませんでした。平成 25 年度調査では、「⑤相談支援事業所等」、「⑦スタディールーム（こども家庭・保健センター）」、「⑧ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）」、「⑨こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室）」の選択肢はありませんでした。

C 今後利用したい

「図書館（分室含む）」の割合が21.1%と最も高く、次いで「ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）」の割合が19.6%、「スタディールーム（こども家庭・保健センター）」の割合が19.1%となっています。



※平成30年度調査では、「⑤相談支援事業所等」の選択肢はありませんでした。平成25年度調査では、「⑤相談支援事業所等」、「⑦スタディールーム（こども家庭・保健センター）」、「⑧ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）」、「⑨こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室）」の選択肢はありませんでした。

(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 20 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が 33.3%、「（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 26.5%となっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している

フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である

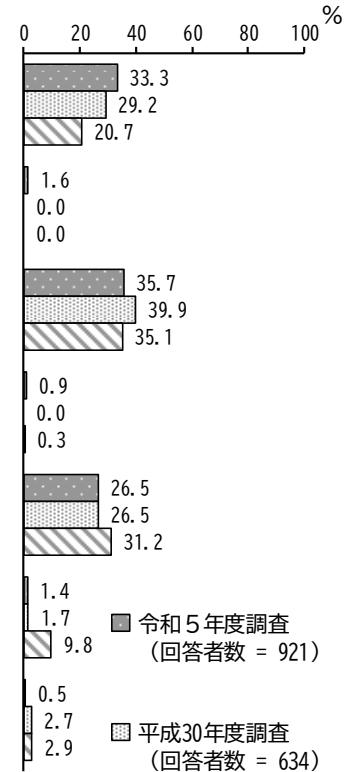
パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している

パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない

（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない

無回答



1日当たりの就労日数

「5日」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「4日」の割合が 15.8%、「3日」の割合が 14.1%となっています。

1日

2日

3日

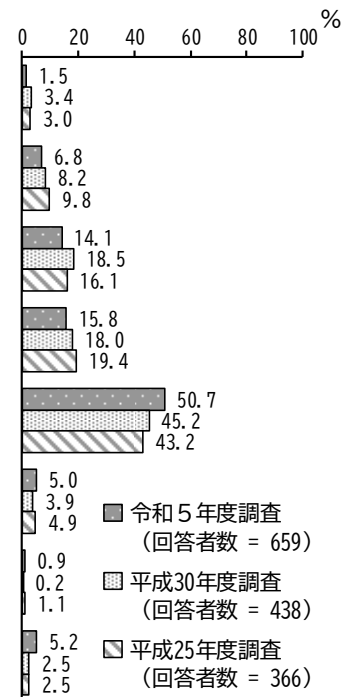
4日

5日

6日

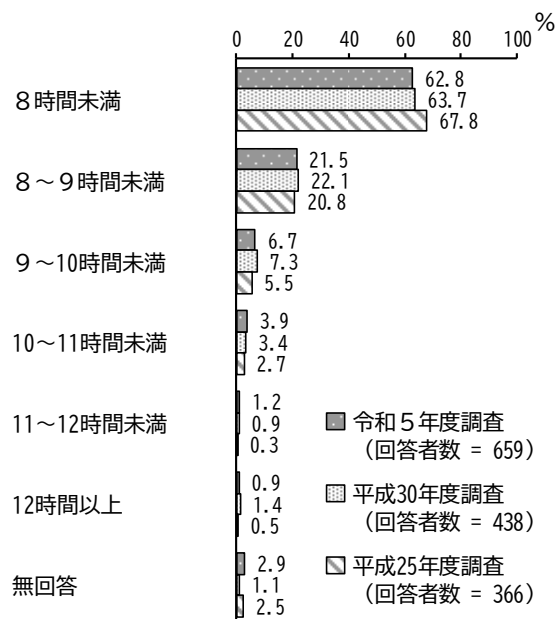
7日

無回答



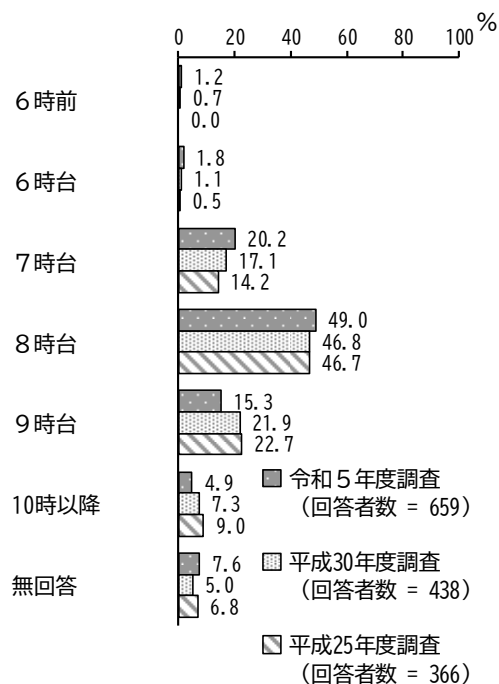
1日当たりの就労時間

「8時間未満」の割合が62.8%と最も高く、次いで「8～9時間未満」の割合が21.5%となっています。



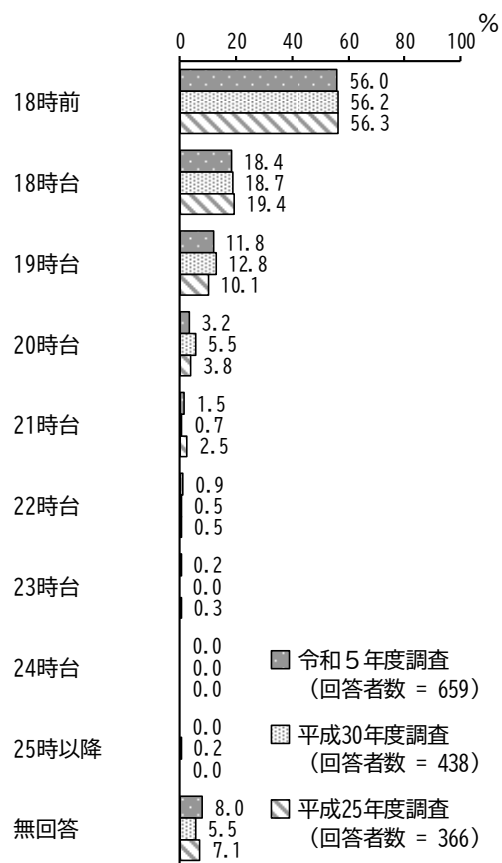
家を出る時間

「8時台」の割合が49.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が20.2%、「9時台」の割合が15.3%となっています。



帰宅時間

「18 時前」の割合が 56.0%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 18.4%、「19 時台」の割合が 11.8%となっています。



(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が95.7%と最も高くなっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している

フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

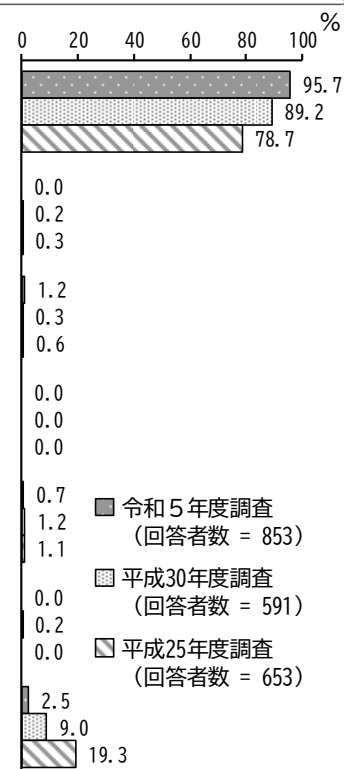
パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している

パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない

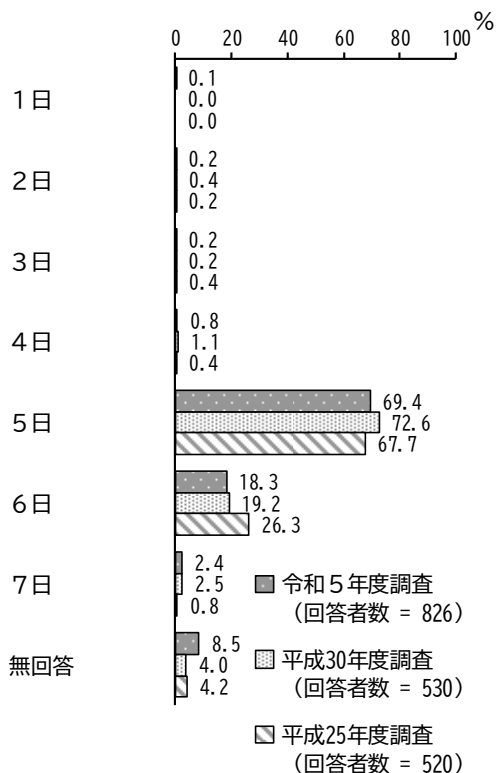
（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない

無回答



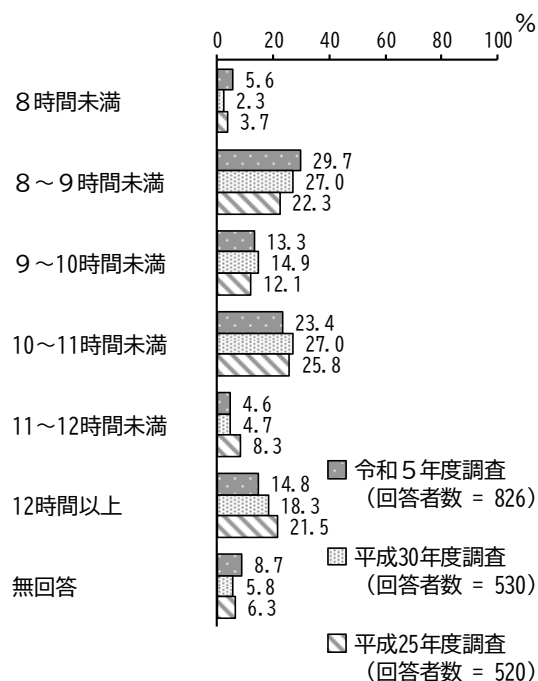
1日当たりの就労日数

「5日」の割合が69.4%と最も高く、次いで「6日」の割合が18.3%となっています。



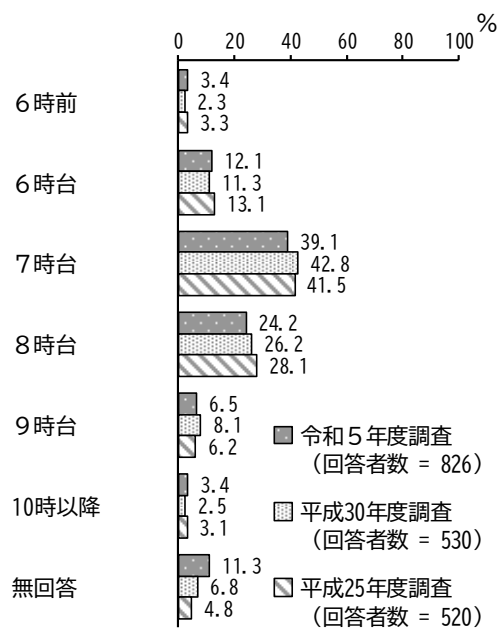
1日当たりの就労時間

「8～9時間未満」の割合が29.7%と最も高く、次いで「10～11時間未満」の割合が23.4%、「12時間以上」の割合が14.8%となっています。



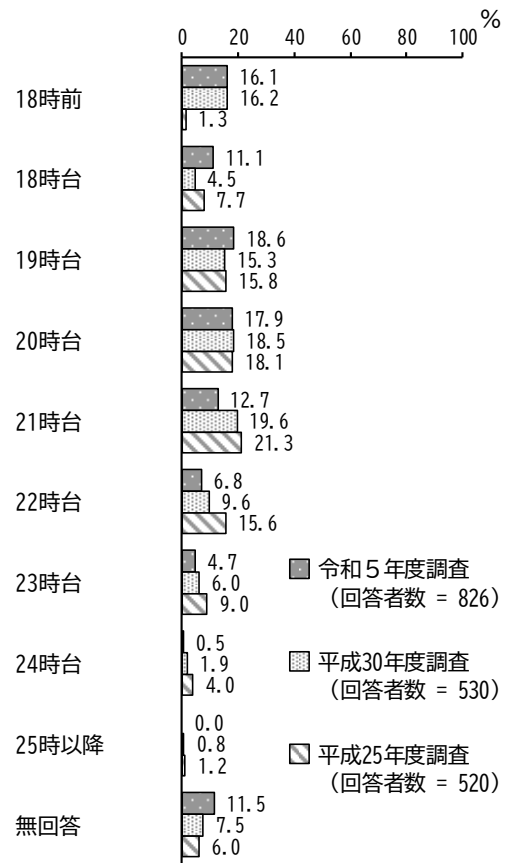
家を出る時間

「7時台」の割合が39.1%と最も高く、次いで「8時台」の割合が24.2%、「6時台」の割合が12.1%となっています。



帰宅時間

「19 時台」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「20 時台」の割合が 17.9%、「18 時前」の割合が 16.1%となっています。

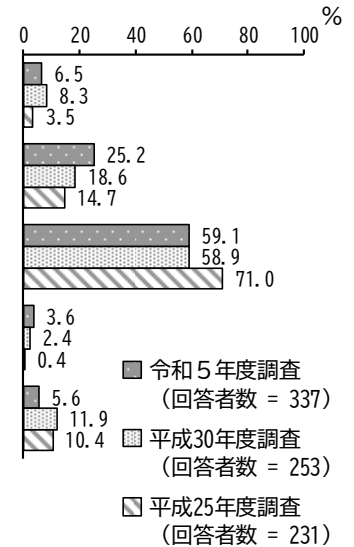


問21 問20の(1)または(2)で「3.パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労, 以下同様)で就労している」「4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問22へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が59.1%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が25.2%となっています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
 無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が最も高くなっています。

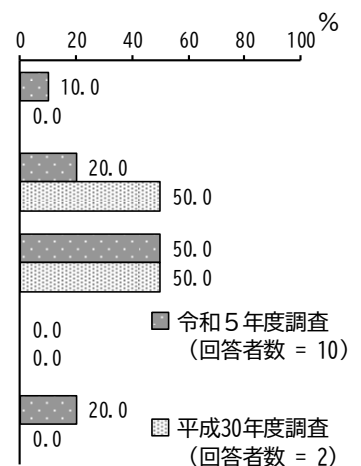
単位：%

区分	回答者数(件)	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	無回答
全体	337	6.5	25.2	59.1	3.6	5.6
6歳	46	10.9	28.3	54.3	4.3	2.2
7歳	52	1.9	28.8	57.7	3.8	7.7
8歳	70	5.7	22.9	60.0	2.9	8.6
9歳	56	10.7	23.2	57.1	3.6	5.4
10歳	44	2.3	27.3	59.1	6.8	4.5
11歳	44	11.4	20.5	63.6	-	4.5

(2) 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が50.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が20.0%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が10.0%となっています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
 無回答



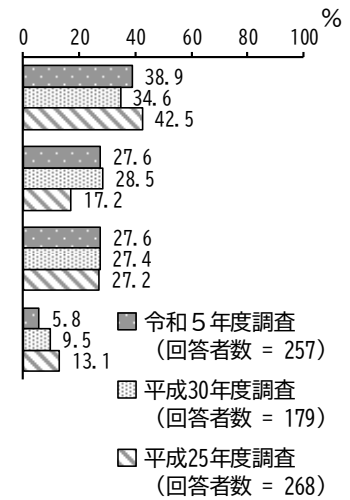
問22 問20の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にかがいます。該当しない方は、問23へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する____には数字をご記入ください。

(1) 母親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が38.9%と最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が27.6%となっています。

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい
 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

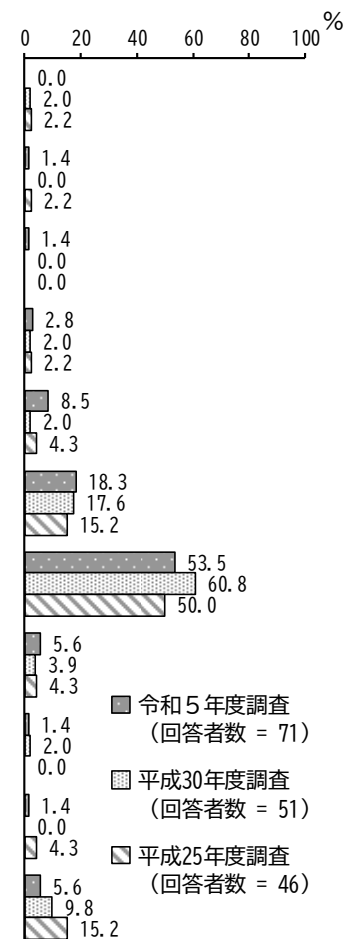
無回答



就労したい時期の一番下の子どもの年齢

「12~13歳」の割合が53.5%と最も高く、次いで「10~11歳」の割合が18.3%となっています。

0~1歳
 2~3歳
 4~5歳
 6~7歳
 8~9歳
 10~11歳
 12~13歳
 14~15歳
 16~17歳
 18歳以上
 無回答



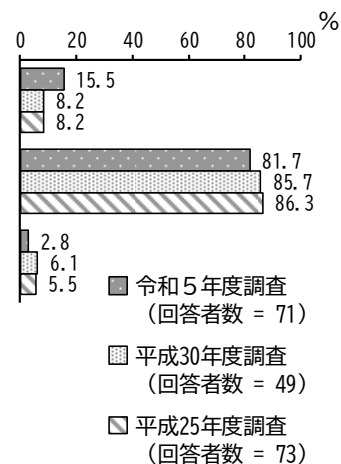
希望する就労形態

「フルタイム」の割合が15.5%、「パート・アルバイト等」の割合が81.7%となっています。

フルタイム

パート・アルバイト等

無回答



パート・アルバイト等の1週当たりの希望就労日数

「3日」の割合が56.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が20.7%、「2日」の割合が17.2%となっています。

1日

2日

3日

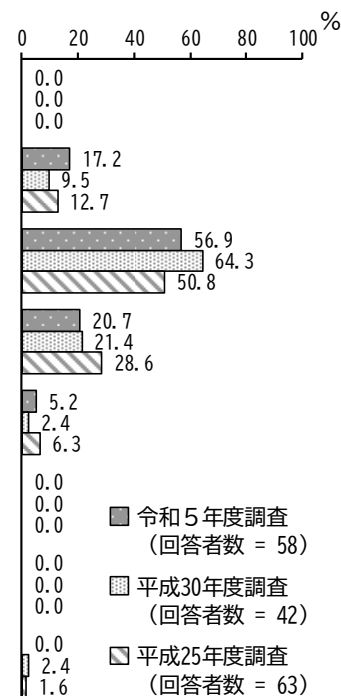
4日

5日

6日

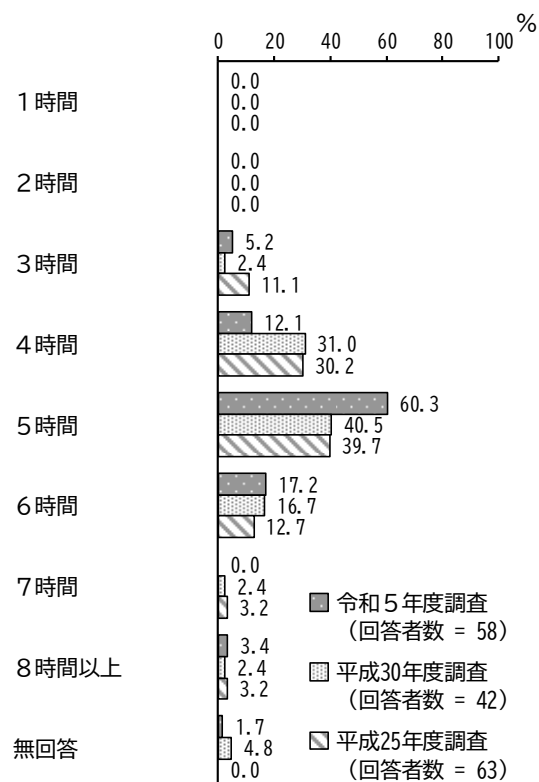
7日

無回答



パート・アルバイト等の1日当たり希望就労時間

「5時間」の割合が60.3%と最も高く、次いで「6時間」の割合が17.2%、「4時間」の割合が12.1%となっています。



(2) 父親

「1年より先、一番下のこどもが何歳になったころに就労したい」が3件となっています。「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

就労したい時期の一番下の子どもの年齢

「12~13歳」が2件となっています。「14~15歳」が1件となっています。

希望する就労形態

「フルタイム」が1件となっています。

パート・アルバイト等の1週当たりの希望就労日数

有効回答がありませんでした。

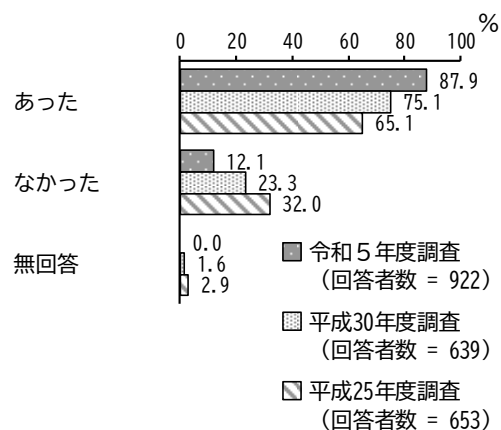
パート・アルバイト等の1日当たり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの病気の際の対応について

問 23 すべての方にうかがいます。この1年間に、お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

「あった」の割合が87.9%、「なかった」の割合が12.1%となっています。



【子どもの年齢別】

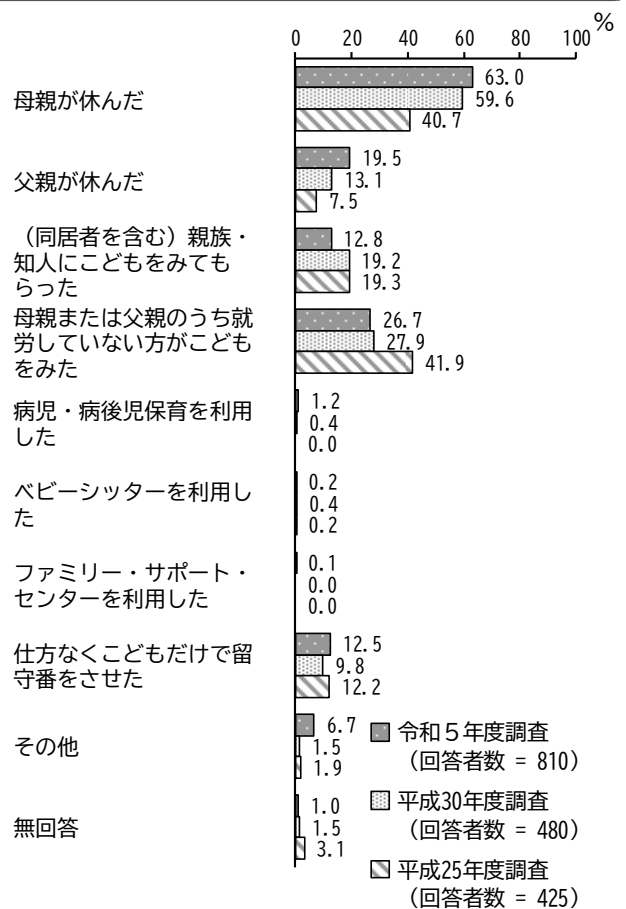
子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「あった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あった	なかった	無回答
全 体	922	87.9	12.1	—
6 歳	163	87.7	12.3	—
7 歳	168	92.9	7.1	—
8 歳	158	89.9	10.1	—
9 歳	138	88.4	11.6	—
10 歳	128	85.2	14.8	—
11 歳	110	83.6	16.4	—

問23-1 問23で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)

「母親が休んだ」の割合が63.0%と最も高く、次いで「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が26.7%、「父親が休んだ」の割合が19.5%となっています。



【子どもの年齢別】

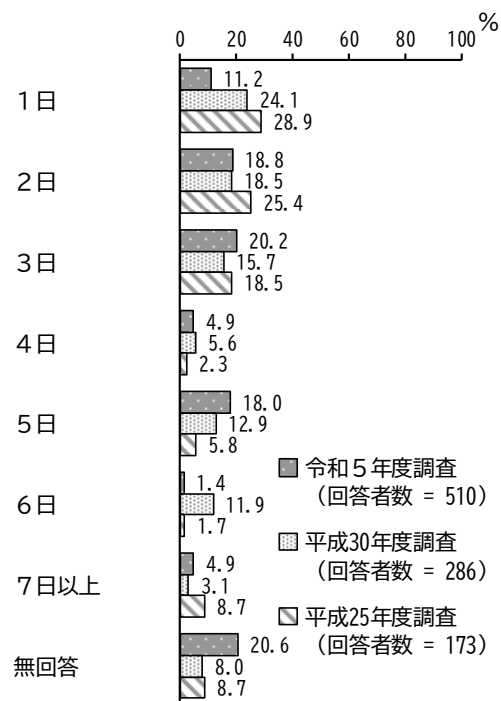
子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「母親が休んだ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	母親が休んだ	父親が休んだ	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	810	63.0	19.5	12.8	26.7	1.2	0.2	0.1	12.5	6.7	1.0
6歳	143	67.8	25.9	10.5	28.0	2.8	-	0.7	4.9	6.3	0.7
7歳	156	69.2	20.5	14.7	25.0	1.9	-	-	12.2	5.8	-
8歳	142	66.9	22.5	14.8	18.3	1.4	-	-	14.8	7.0	-
9歳	122	62.3	22.1	13.9	24.6	-	0.8	-	12.3	4.9	2.5
10歳	109	55.0	11.0	11.9	33.9	-	-	-	13.8	5.5	2.8
11歳	92	56.5	15.2	9.8	29.3	-	-	-	15.2	13.0	1.1

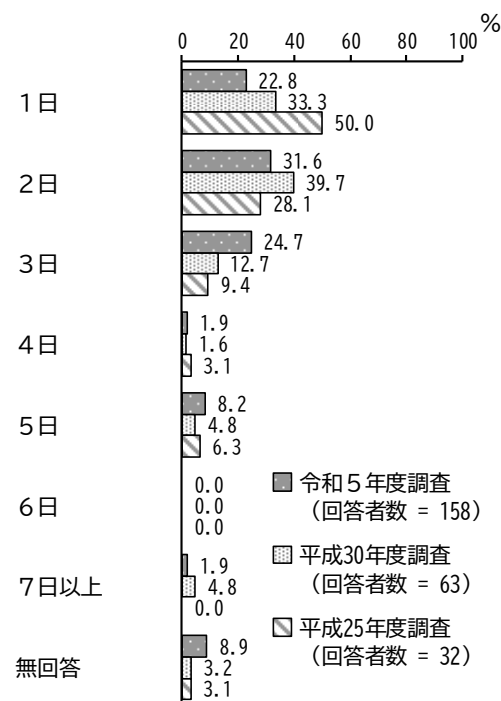
1. 母親が休んだ日数

「3日」の割合が20.2%と最も高く、次いで「2日」の割合が18.8%、「5日」の割合が18.0%となっています。



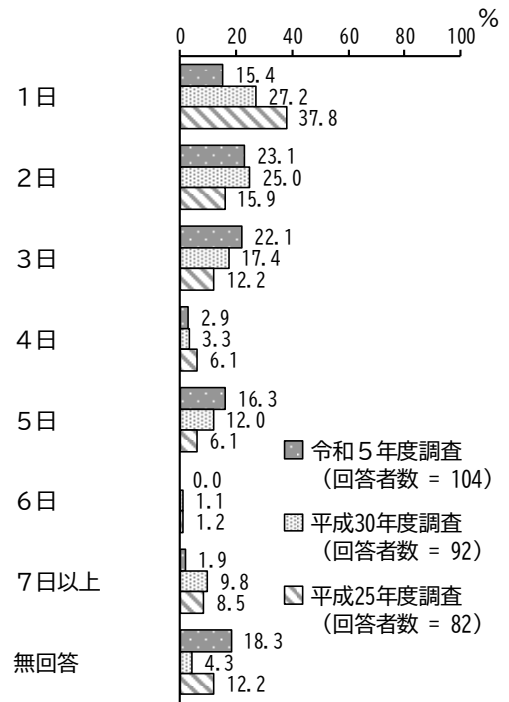
2. 父親が休んだ日数

「2日」の割合が31.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が24.7%、「1日」の割合が22.8%となっています。



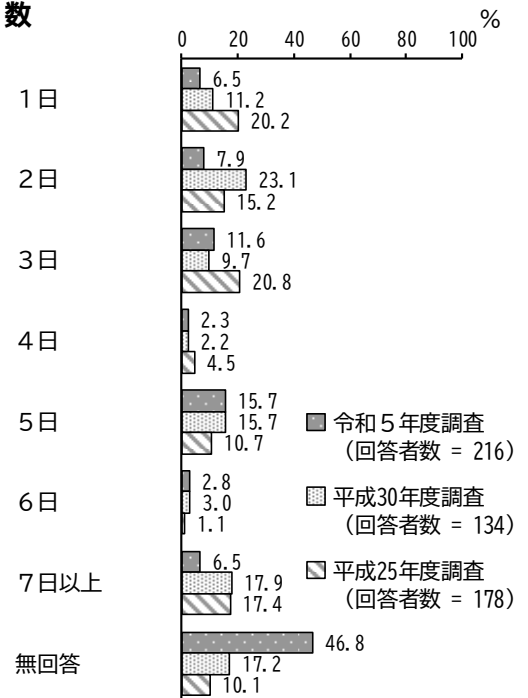
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数

「2日」の割合が23.1%と最も高く、次いで「3日」の割合が22.1%、「5日」の割合が16.3%となっています。



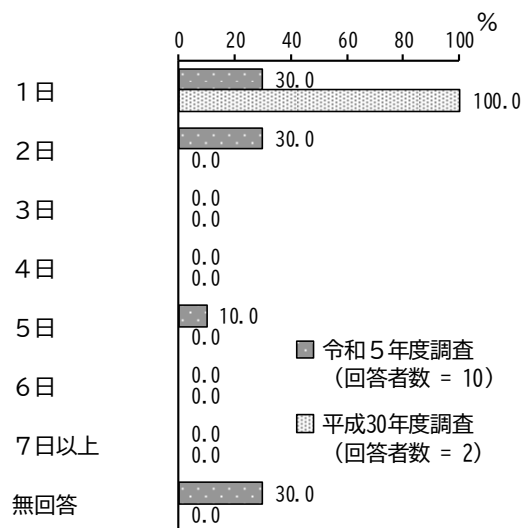
4. 母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた日数

「5日」の割合が15.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.6%となっています。



5. 病児・病後児保育を利用した日数

「1日」、「2日」の割合が30.0%と最も高く、次いで「5日」の割合が10.0%となっています。



6. ベビーシッターを利用した日数

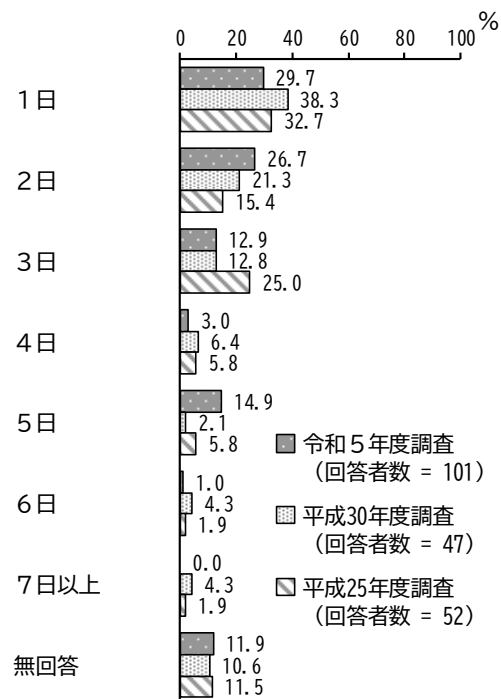
「2日」が1件となっています。

7. ファミリー・サポート・センターを利用した日数

有効回答がありませんでした。

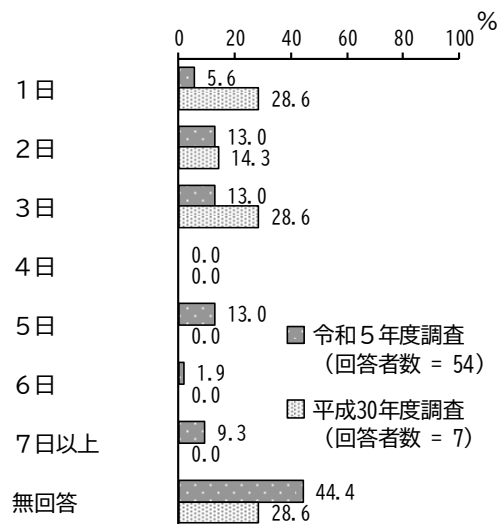
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数

「1日」の割合が29.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.7%、「5日」の割合が14.9%となっています。



9. その他の日数

「2日」、「3日」、「5日」の割合が13.0%と最も高くなっています。



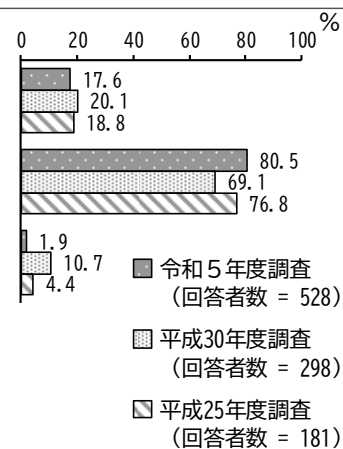
問23-2 問23-1で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が17.6%、「利用したいとは思わない」の割合が80.5%となっています。

できれば病児・病後児保育施設等を利用したい

利用したいとは思わない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利 用したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	528	17.6	80.5	1.9
6歳	98	22.4	76.5	1.0
7歳	111	19.8	80.2	—
8歳	97	19.6	76.3	4.1
9歳	84	10.7	88.1	1.2
10歳	61	21.3	73.8	4.9
11歳	54	5.6	94.4	—

【母親の就労状況別】

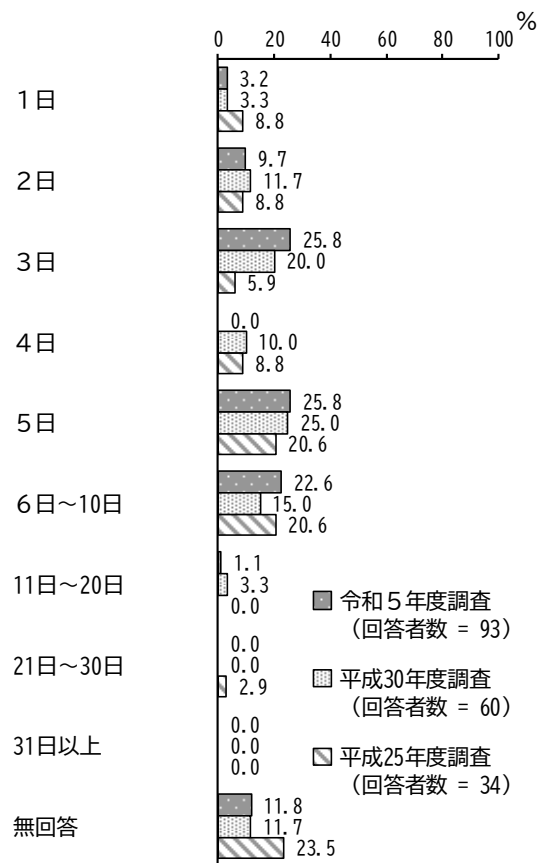
母親の就労状況別にみると、パート・アルバイト等で「利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	できれば病児・病後 児保育施設等を利 用したい	利用したいと思 わない	無回答
全 体	528	17.6	80.5	1.9
フルタイム	228	21.9	76.3	1.8
パート・アルバイト等	245	12.7	85.7	1.6
未就労	39	17.9	76.9	5.1

病児・病後児保育施設等を利用したい日数

「3日」、「5日」の割合が25.8%と最も高く、次いで「6日～10日」の割合が22.6%となっています。



問 24 すべての方にかがいます。病児・病後児保育について、利用したことある、なしに関わらず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「どうしても仕事を休めないときに、子どもを預けられる」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「申し込みや支払い方法等、利用手続きが煩雑」の割合が 34.6%、「看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる」の割合が 33.7%となっています。

回答者数 = 922

どうしても仕事を休めないときに、子どもを預けられる
安心して子どもを預けられる人（祖父母など）がいないときに利用できる

1日だけでも利用できる

看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる

子どもの負担が大きい

初めての場所で知らないスタッフの保育を受けさせることに抵抗がある

自宅近くにない

利用料が高い

申し込みや支払い方法等、利用手続きが煩雑

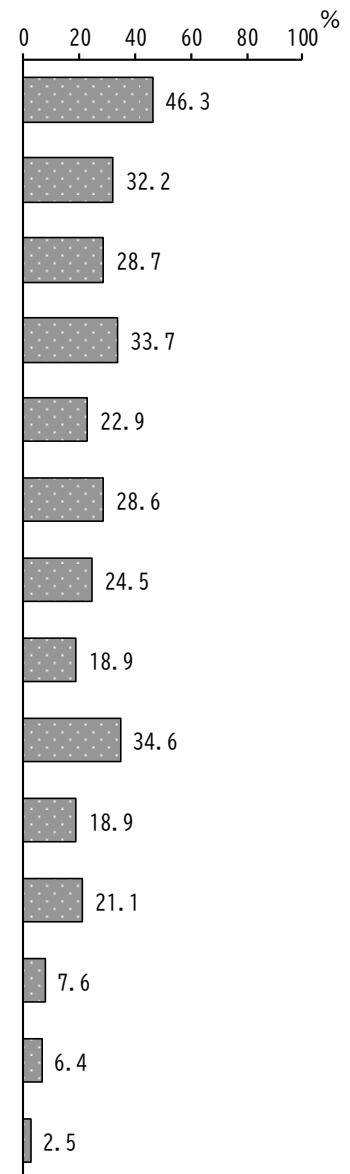
申込みをしても定員がいっぱいで断られることが多い

家族や親族等で対応できる

その他

特になし

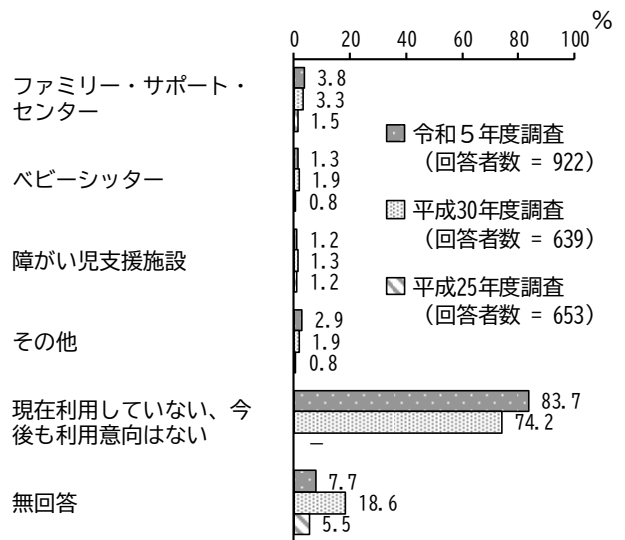
無回答



(6) すべての方に、お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用について

問 25 お子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数をご記入ください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

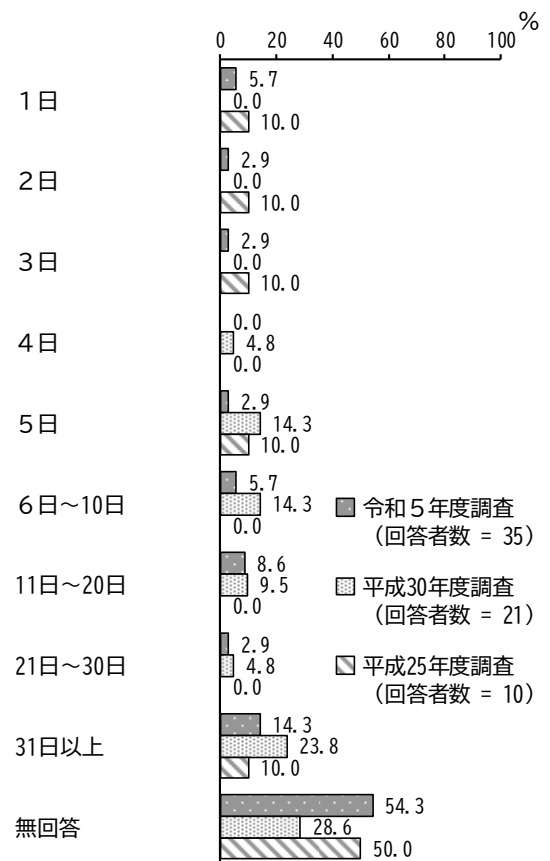
「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が 83.7%と最も高くなっています。



利用している事業・日数(年間)

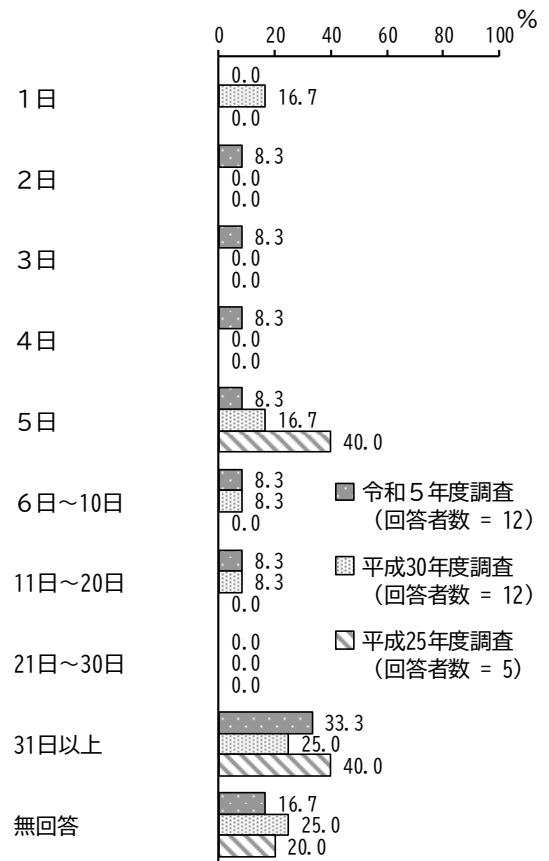
ファミリー・サポート・センター

「31日以上」の割合が 14.3%と最も高くなっています。



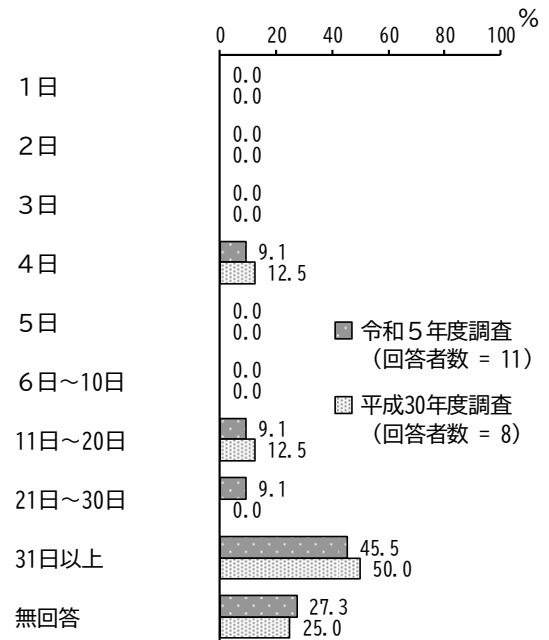
ベビーシッター

「31日以上」の割合が33.3%と最も高くなっています。



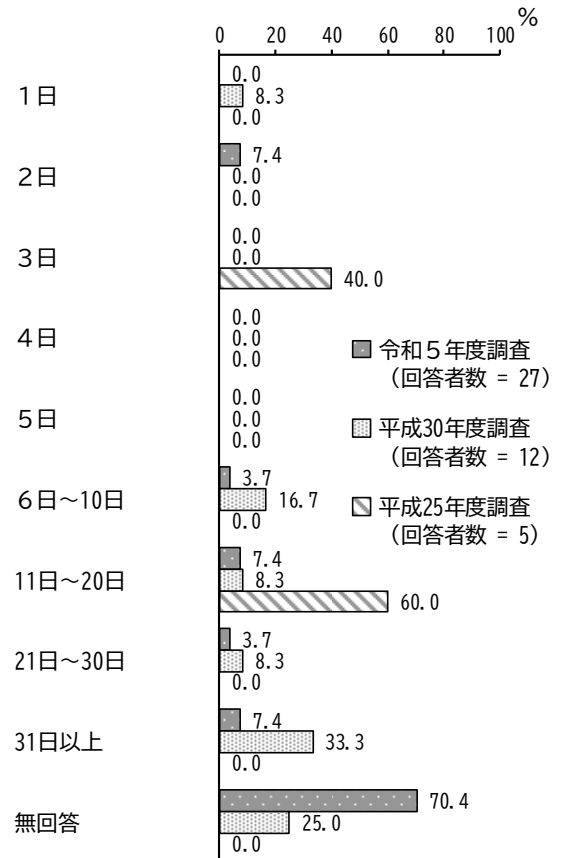
障がい児支援施設

「31日以上」の割合が45.5%と最も高くなっています。



その他

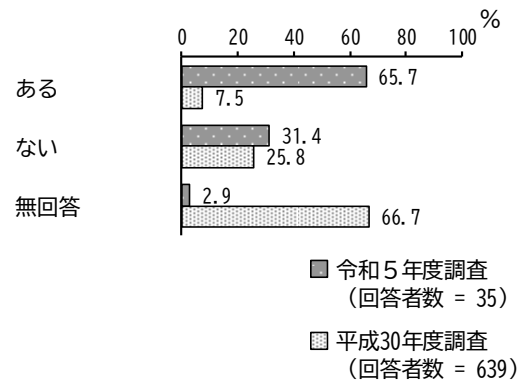
「2日」、「11日～20日」、「31日以上」の割合が7.4%と最も高くなっています。



今後の利用意向

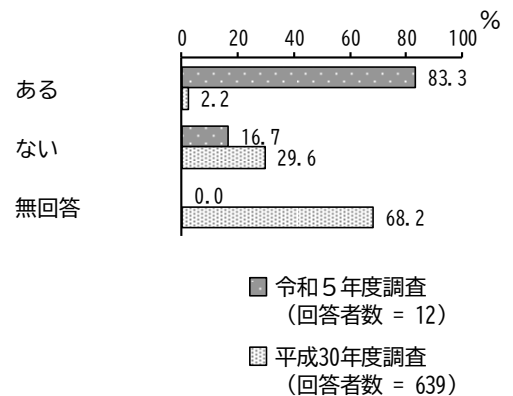
ファミリー・サポート・センター

「ある」の割合が65.7%、「ない」の割合が31.4%となっています。



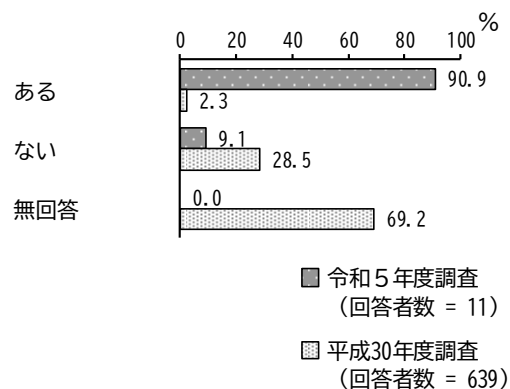
ベビーシッター

「ある」の割合が83.3%、「ない」の割合が16.7%となっています。



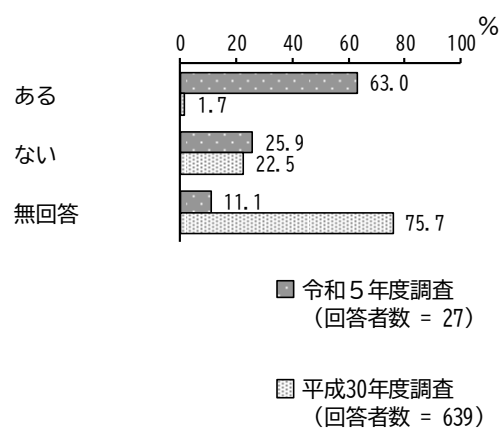
障がい児支援施設

「ある」の割合が 90.9%、「ない」の割合が 9.1%となっています。



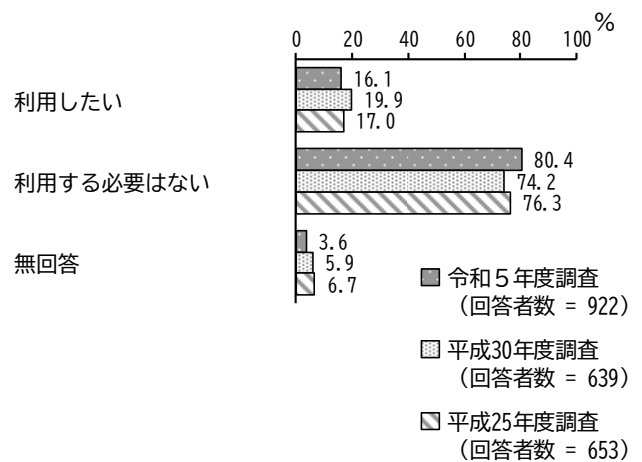
その他

「ある」の割合が 63.0%、「ない」の割合が 25.9%となっています。



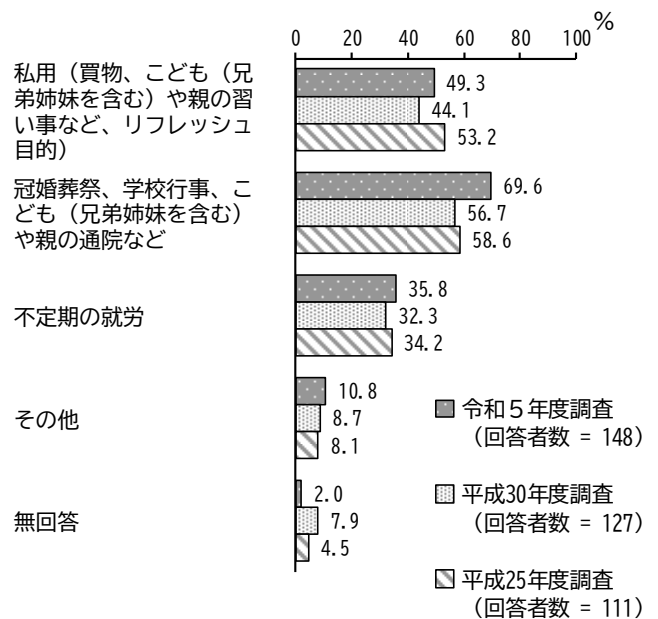
問 26 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が16.1%、「利用する必要はない」の割合が80.4%となっています。



利用したい目的

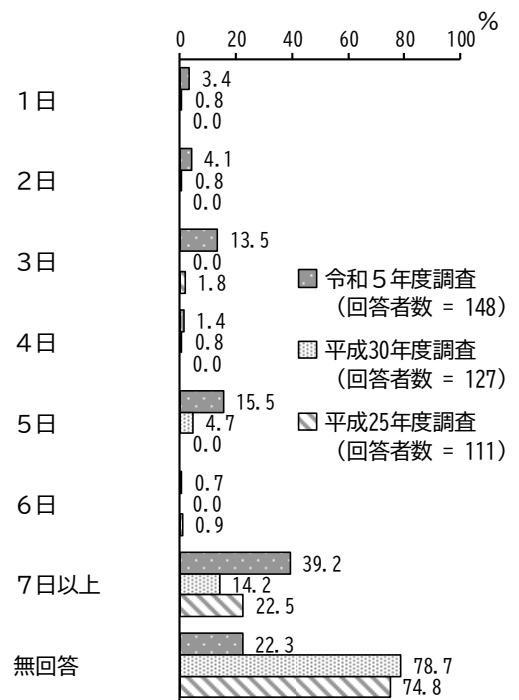
「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」の割合が69.6%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）」の割合が49.3%、「不定期の就労」の割合が35.8%となっています。



利用したい日数

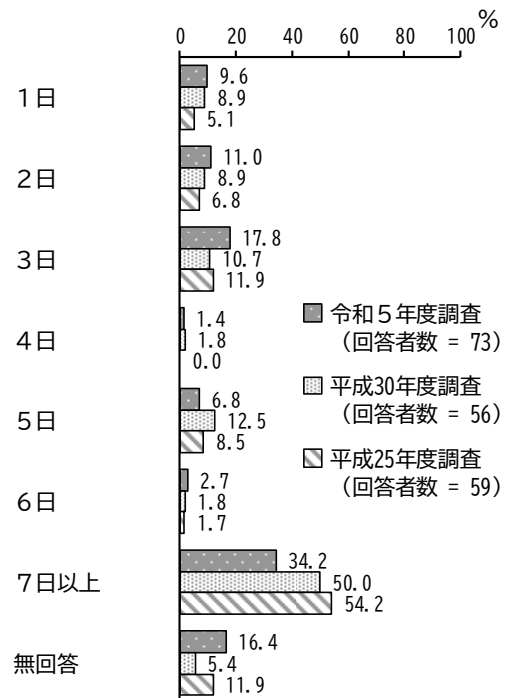
合計

「7日以上」の割合が39.2%と最も高く、次いで「5日」の割合が15.5%、「3日」の割合が13.5%となっています。



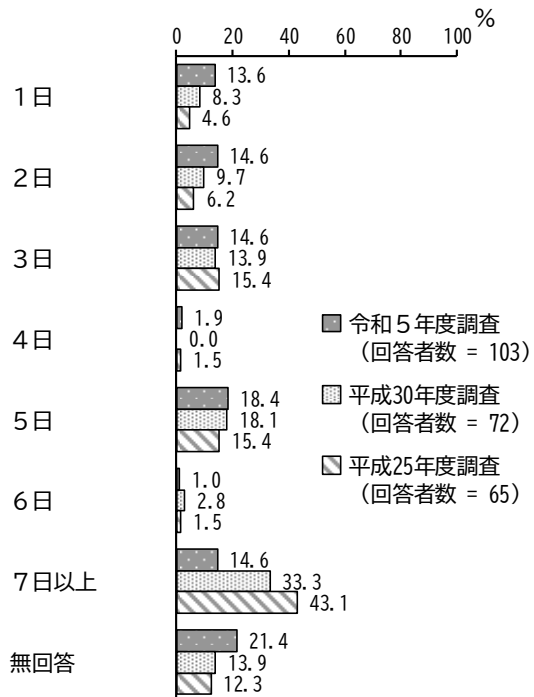
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など、リフレッシュ目的）

「7日以上」の割合が34.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.8%、「2日」の割合が11.0%となっています。



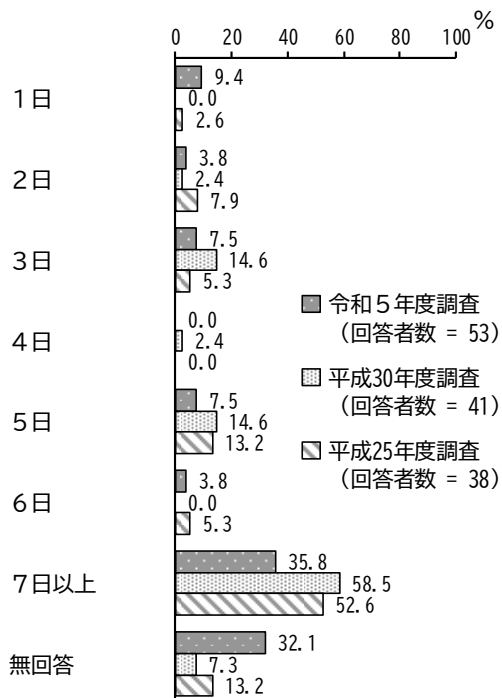
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など

「5日」の割合が18.4%と最も高く、次いで「2日」、「3日」、「7日以上」の割合が14.6%となっています。



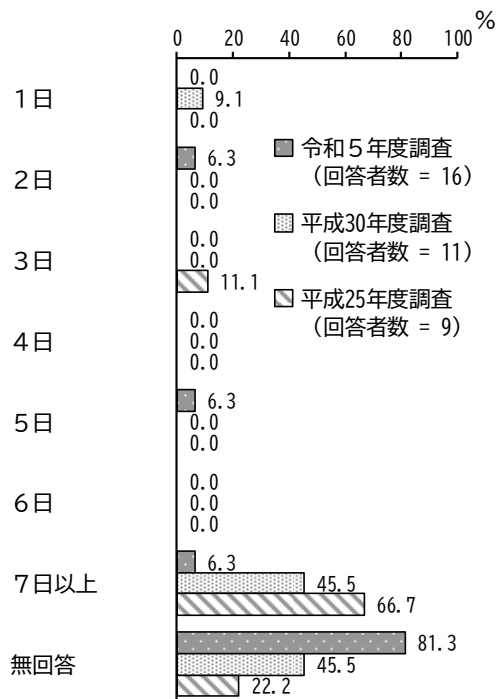
不定期の就労

「7日以上」の割合が35.8%と最も高くなっています。



その他

「2日」、「5日」、「7日以上」の割合が6.3%と最も高くなっています。

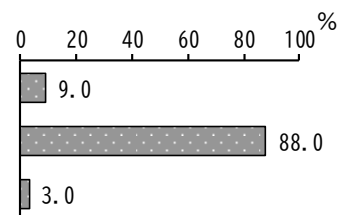


問 27 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、こどもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字でご記入ください）。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

「利用したい」の割合が9.0%、「利用する必要はない」の割合が88.0%となっています。

回答者数 = 922

利用したい
利用する必要はない
無回答

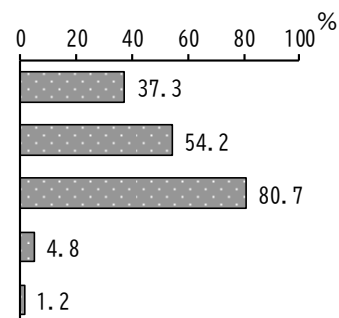


利用したい目的

「保護者や家族の病気」の割合が80.7%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が54.2%、「冠婚葬祭」の割合が37.3%となっています。

回答者数 = 83

冠婚葬祭
保護者や家族の育児疲れ・不安
保護者や家族の病気
その他
無回答

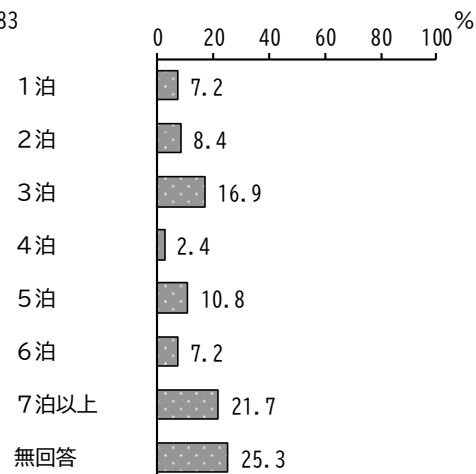


必要な泊数

合計

「7泊以上」の割合が21.7%と最も高く、次いで「3泊」の割合が16.9%、「5泊」の割合が10.8%となっています。

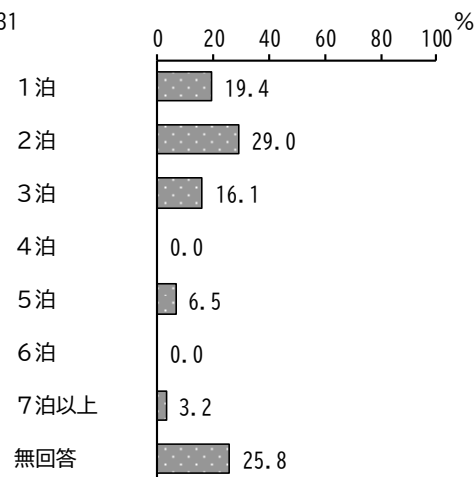
回答者数 = 83



冠婚葬祭

「2泊」の割合が29.0%と最も高く、次いで「1泊」の割合が19.4%、「3泊」の割合が16.1%となっています。

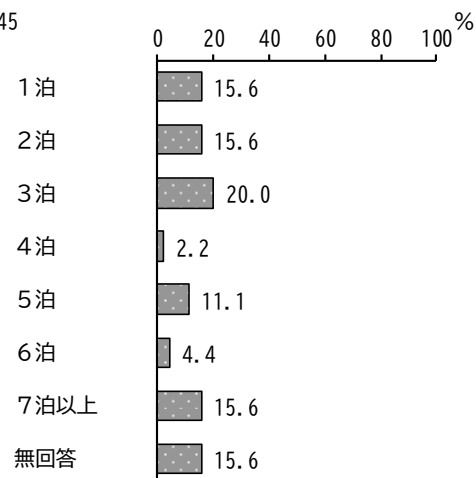
回答者数 = 31



保護者や家族の育児疲れ・不安

「3泊」の割合が20.0%と最も高く、次いで「1泊」、「2泊」、「7泊以上」の割合が15.6%となっています。

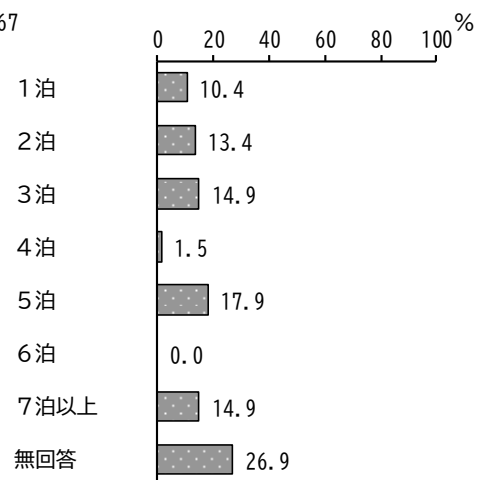
回答者数 = 45



保護者や家族の病気

「5泊」の割合が17.9%と最も高く、次いで「3泊」、「7泊以上」の割合が14.9%となっています。

回答者数 = 67



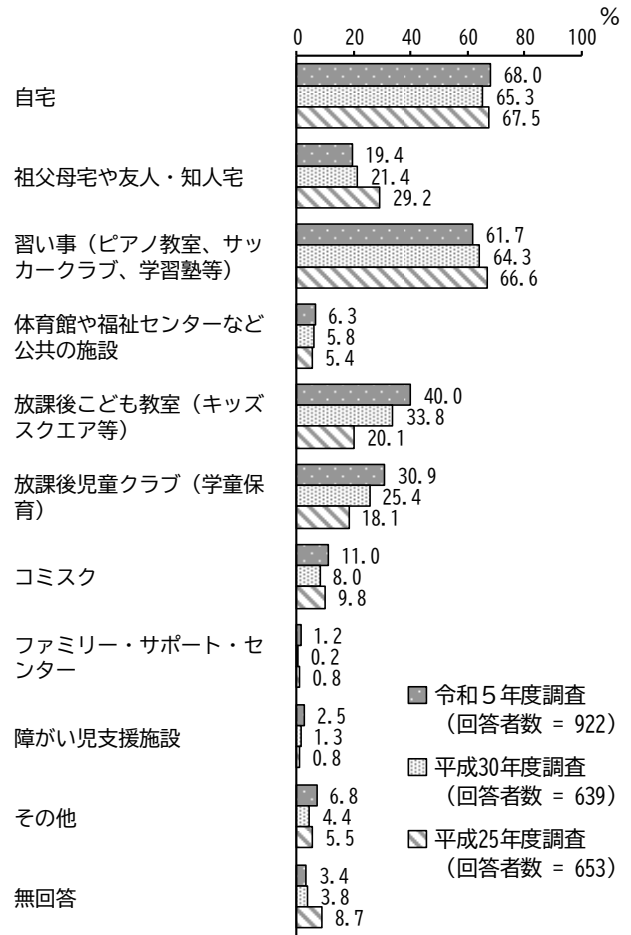
その他

「2泊」、「3泊」、「6泊」が1件となっています。

(7) お子さんの放課後の過ごし方について

問 28 すべての方にうかがいます。お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「自宅」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が 61.7%、「放課後こども教室（キッズスクエア等）」の割合が 40.0%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、6歳で「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後こども教室（キッズスクエア等）	放課後児童クラブ（学童保育）	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	922	68.0	19.4	61.7	6.3	40.0	30.9	11.0	1.2	2.5	6.8	3.4
6歳	163	67.5	15.3	67.5	7.4	45.4	40.5	7.4	0.6	3.7	6.1	—
7歳	168	67.9	16.1	58.9	3.0	42.9	37.5	13.1	0.6	2.4	4.8	—
8歳	158	69.6	23.4	65.8	7.0	34.8	28.5	10.8	0.6	3.2	8.2	0.6
9歳	138	65.2	26.8	58.0	6.5	44.2	29.0	15.9	2.2	2.9	4.3	7.2
10歳	128	68.8	18.8	56.3	3.1	38.3	23.4	11.7	—	1.6	7.0	10.9
11歳	110	66.4	19.1	60.9	8.2	36.4	20.9	4.5	1.8	0.9	12.7	5.5

【中学校区別】

中学校区別にみると、潮見で「放課後こども教室（キッズスクエア等）」の割合が高くなっています。

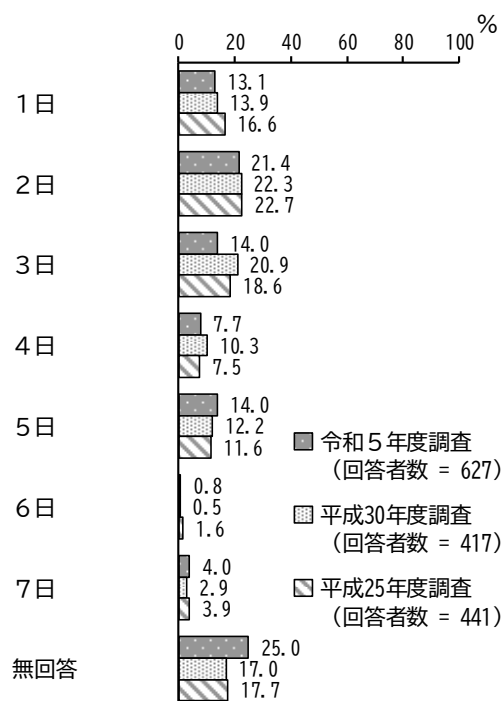
単位：％

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後こども教室(キッズスクエア等)	放課後児童クラブ(学童保育)	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	922	68.0	19.4	61.7	6.3	40.0	30.9	11.0	1.2	2.5	6.8	3.4
山手	382	70.4	19.9	66.2	5.0	32.5	28.5	15.2	0.5	1.6	5.5	2.4
精道	383	65.5	18.3	60.1	7.6	43.1	32.9	7.8	1.6	2.9	8.1	3.9
潮見	157	68.2	21.0	54.8	6.4	51.0	31.8	8.3	1.9	3.8	7.0	4.5

利用したい日数(週間)

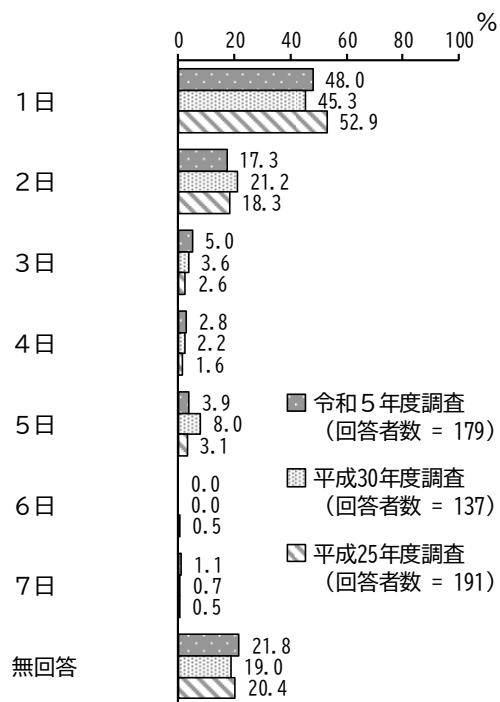
自宅

「2日」の割合が21.4%と最も高く、次いで「3日」、「5日」の割合が14.0%となっています。



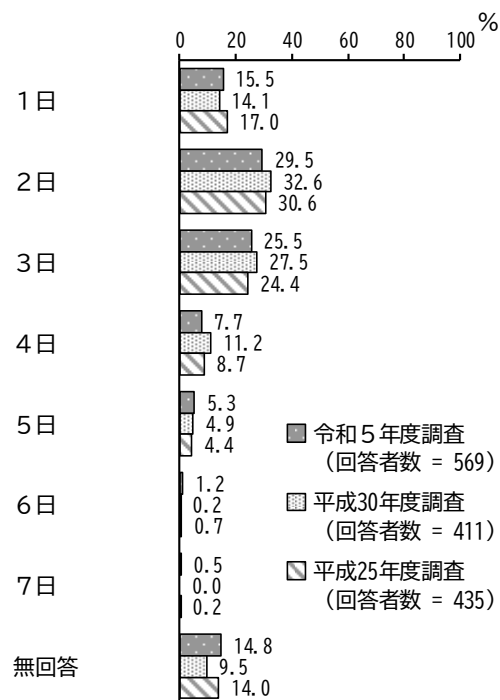
祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が48.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.3%となっています。



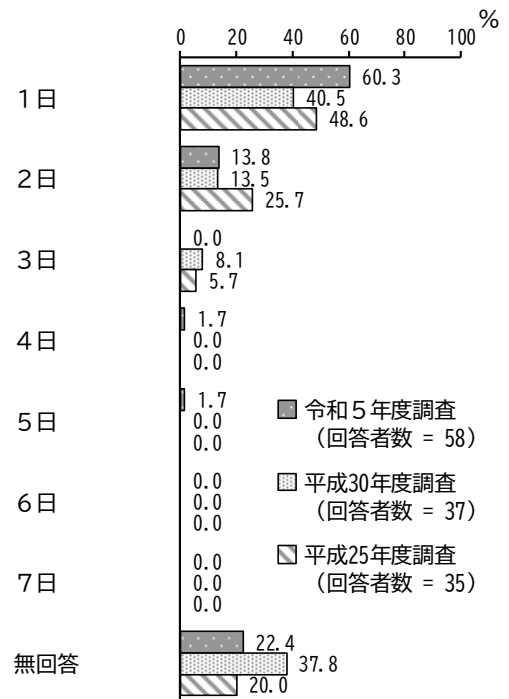
習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾等)

「2日」の割合が29.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.5%、「1日」の割合が15.5%となっています。



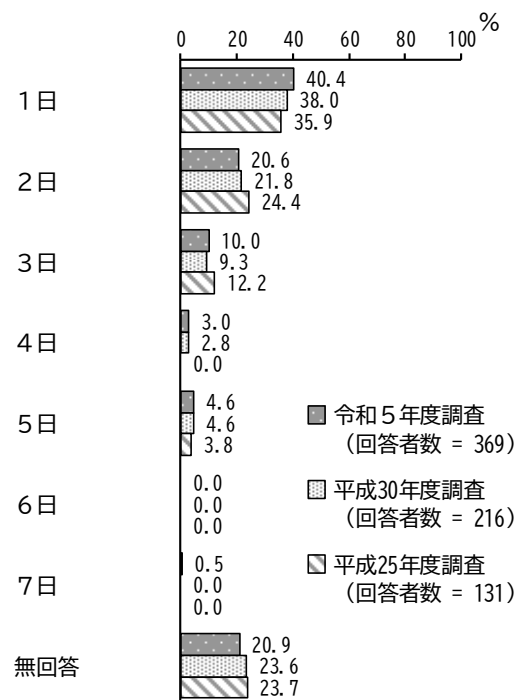
体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 13.8%となっています。



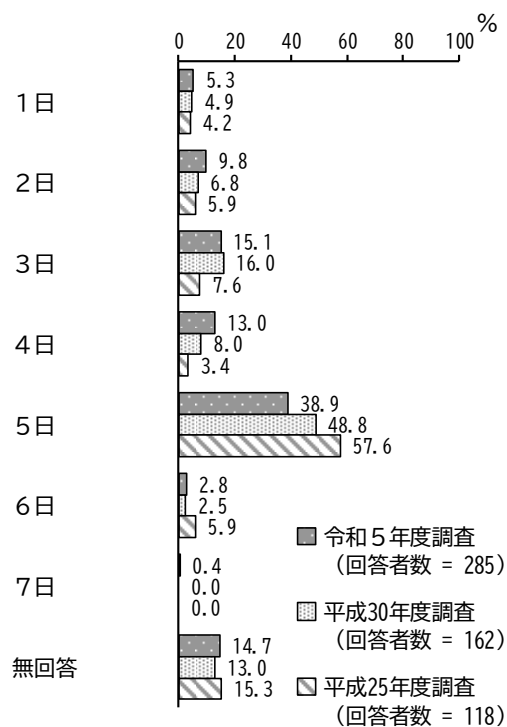
放課後子ども教室（キッズスクエア等）

「1日」の割合が 40.4%と最も高く、次いで「2日」の割合が 20.6%、「3日」の割合が 10.0%となっています。



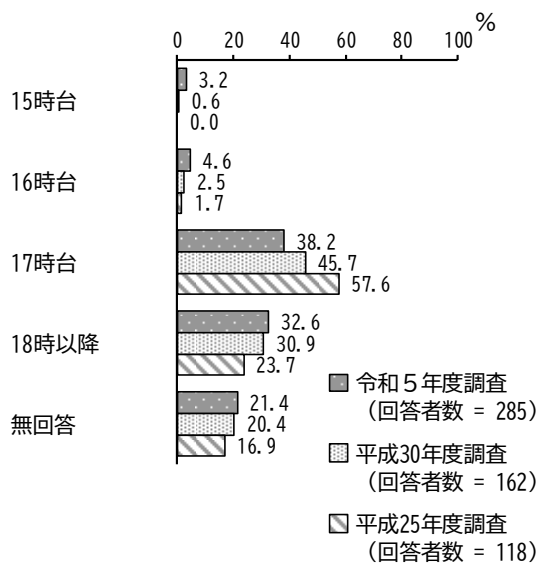
放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が15.1%、「4日」の割合が13.0%となっています。



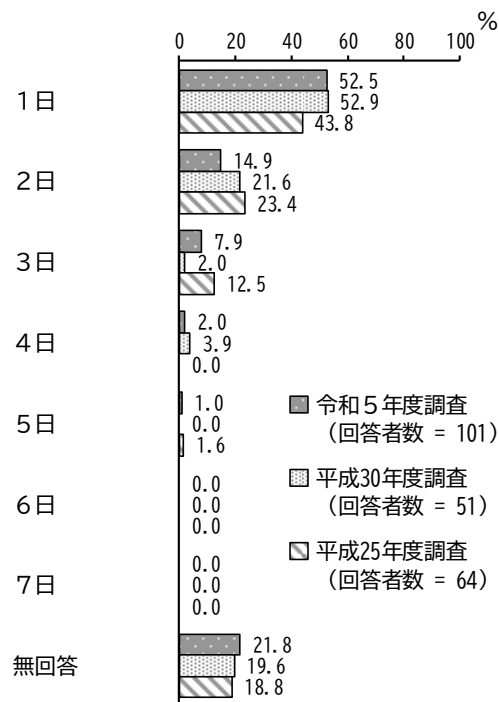
放課後児童クラブ（学童保育）利用終了時刻

「17時台」の割合が38.2%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が32.6%となっています。



コミスク

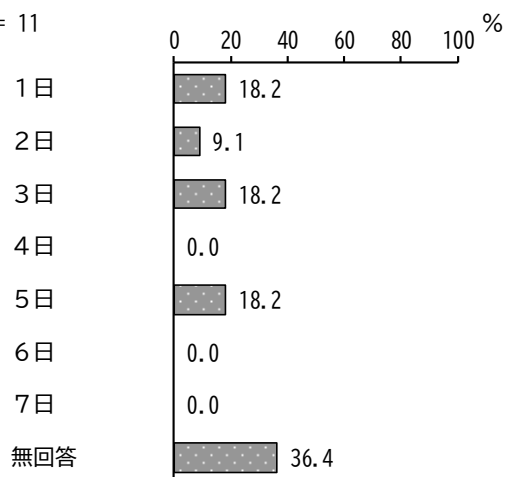
「1日」の割合が52.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が14.9%となっています。



ファミリー・サポート・センター

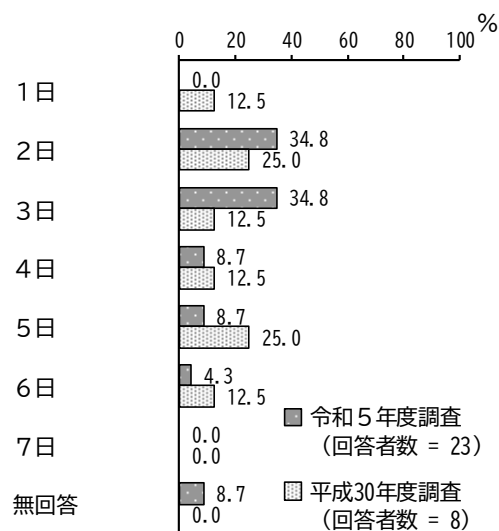
「1日」、「3日」、「5日」の割合が18.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 11



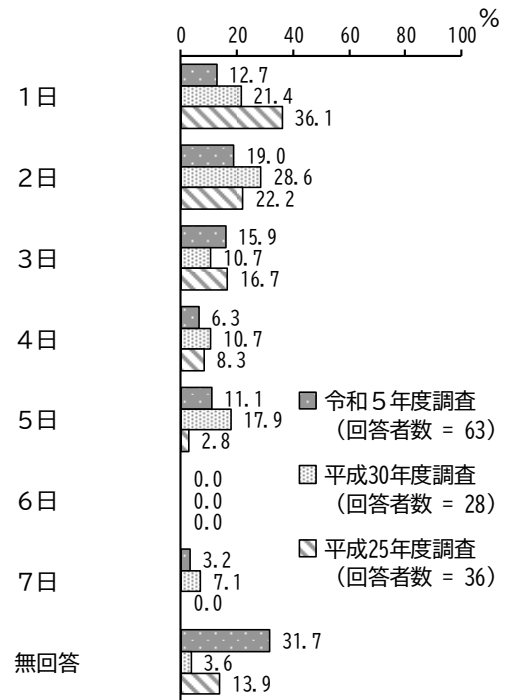
障がい児支援施設

「2日」、「3日」の割合が34.8%と最も高くなっています。



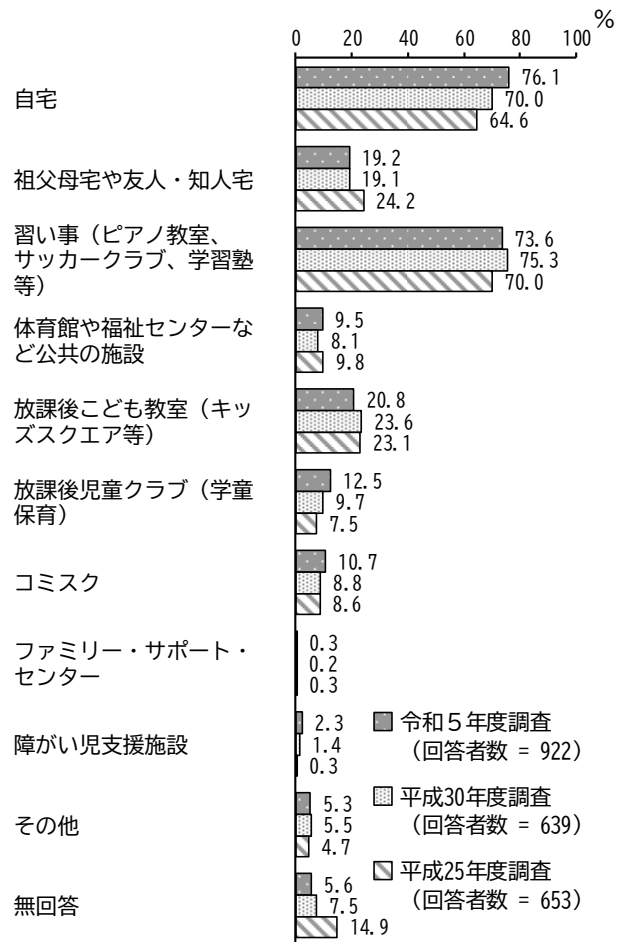
その他

「2日」の割合が19.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が15.9%、「1日」の割合が12.7%となっています。



問 29 すべての方にうかがいます。お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

「自宅」の割合が76.1%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」の割合が73.6%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が20.8%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、9歳で「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室（キッズスクエア等）	放課後児童クラブ（学童保育）	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	922	76.1	19.2	73.6	9.5	20.8	12.5	10.7	0.3	2.3	5.3	5.6
6歳	163	68.7	17.8	78.5	8.6	30.7	20.2	8.6	—	3.7	6.1	7.4
7歳	168	73.2	16.1	67.9	7.1	22.0	19.0	13.7	—	1.2	3.0	8.9
8歳	158	67.7	15.2	67.7	12.0	21.5	13.9	8.9	0.6	3.2	2.5	9.5
9歳	138	84.8	31.9	76.1	10.1	22.5	7.2	15.9	—	3.6	4.3	2.2
10歳	128	87.5	18.0	78.9	6.3	10.2	3.9	10.9	—	0.8	10.9	—
11歳	110	82.7	20.9	79.1	11.8	12.7	8.2	8.2	1.8	0.9	7.3	0.9

【中学校区別】

中学校区別にみると、全ての地区で「自宅」の割合が最も高くなっています。

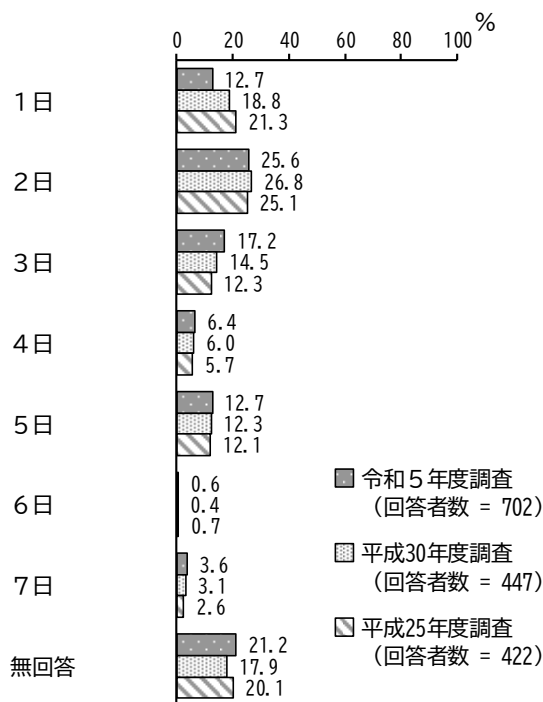
単位：％

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	体育館や福祉センターなど公共の施設	放課後子ども教室(キッズスクエア等)	放課後児童クラブ(学童保育)	コミスク	ファミリー・サポート・センター	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	922	76.1	19.2	73.6	9.5	20.8	12.5	10.7	0.3	2.3	5.3	5.6
山手	382	76.2	19.1	73.6	7.1	18.1	12.0	12.0	0.3	1.6	3.4	5.8
精道	383	75.5	19.1	73.9	11.2	23.0	13.8	9.1	0.3	2.3	7.8	5.5
潮見	157	77.7	19.7	73.2	11.5	22.3	10.2	11.5	0.6	3.8	3.8	5.7

利用したい日数(週間)

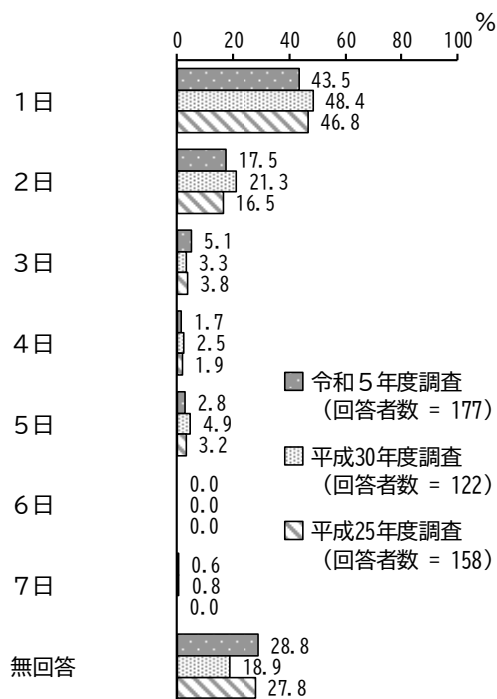
自宅

「2日」の割合が25.6%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.2%、「1日」、「5日」の割合が12.7%となっています。



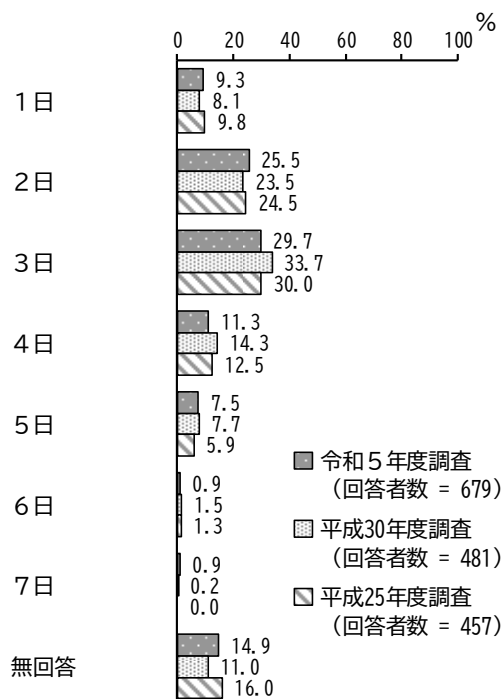
祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が43.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が17.5%となっています。



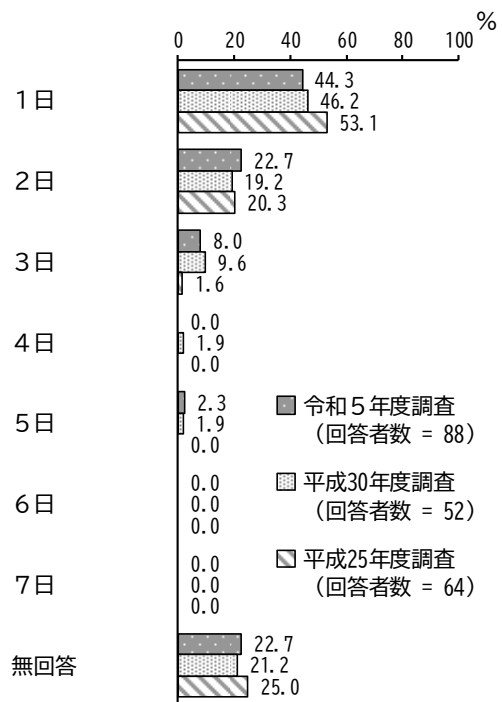
習い事(ピアノ教室, サッカークラブ, 学習塾等)

「3日」の割合が29.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が25.5%、「4日」の割合が11.3%となっています。



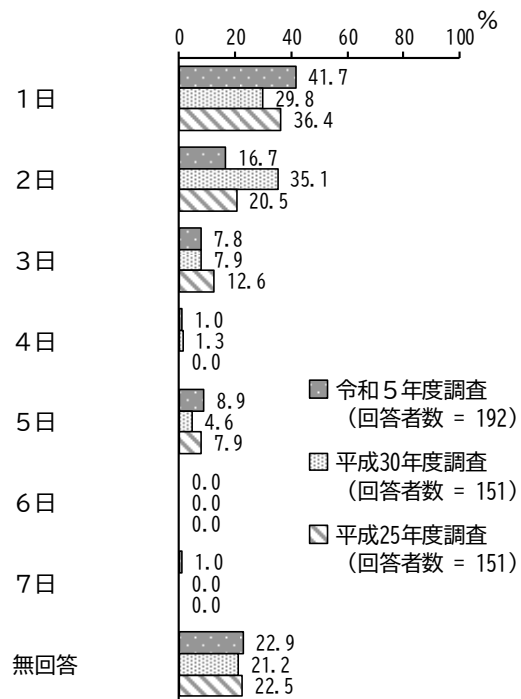
体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が 22.7%となっています。



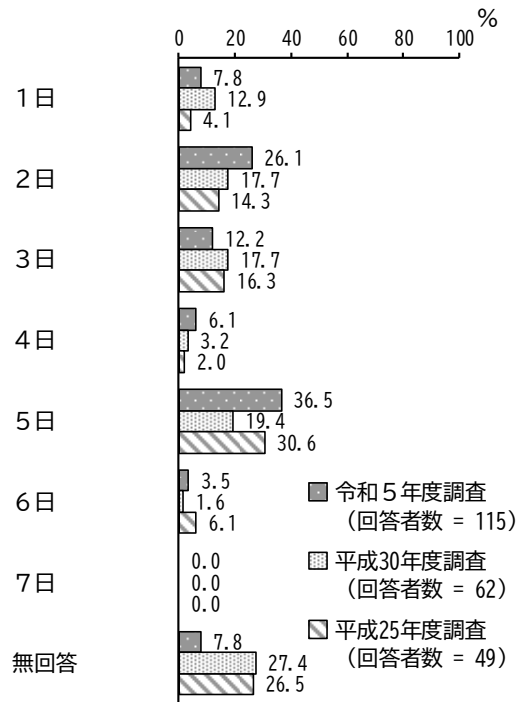
放課後子ども教室（キッズスクエア等）

「1日」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「2日」の割合が 16.7%となっています。



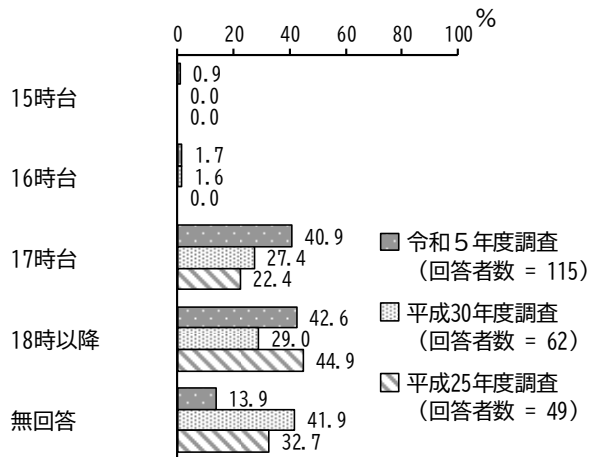
放課後児童クラブ（学童保育）

「5日」の割合が36.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が26.1%、「3日」の割合が12.2%となっています。



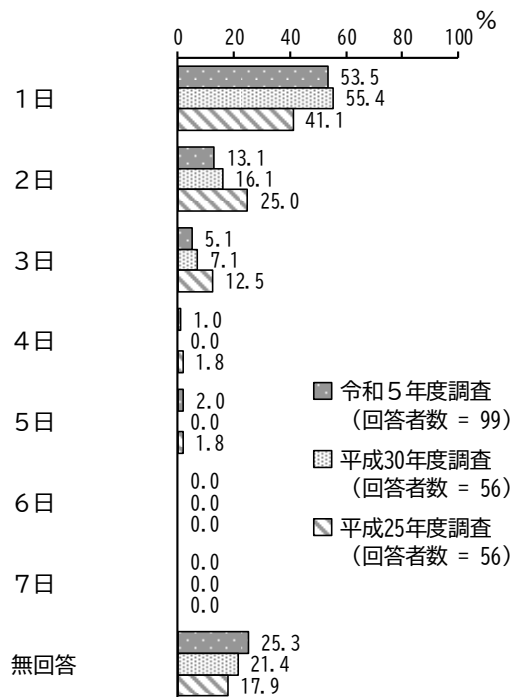
放課後児童クラブ（学童保育）利用終了時刻

「18時以降」の割合が42.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が40.9%となっています。



コミスク

「1日」の割合が53.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.1%となっています。

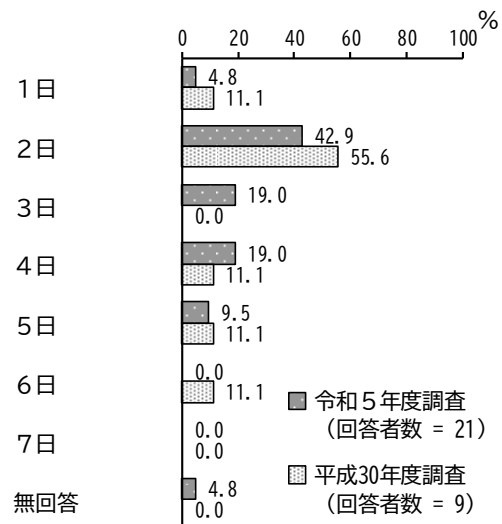


ファミリー・サポート・センター

「2日」が1件となっています。

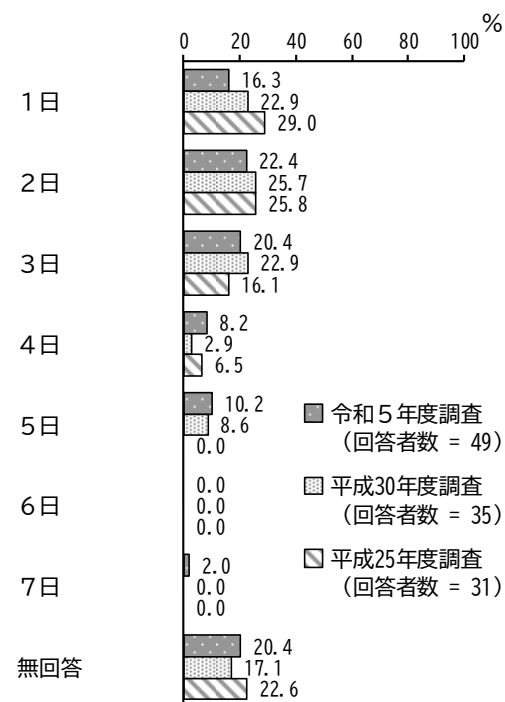
障がい児支援施設

「2日」の割合が42.9%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が19.0%となっています。



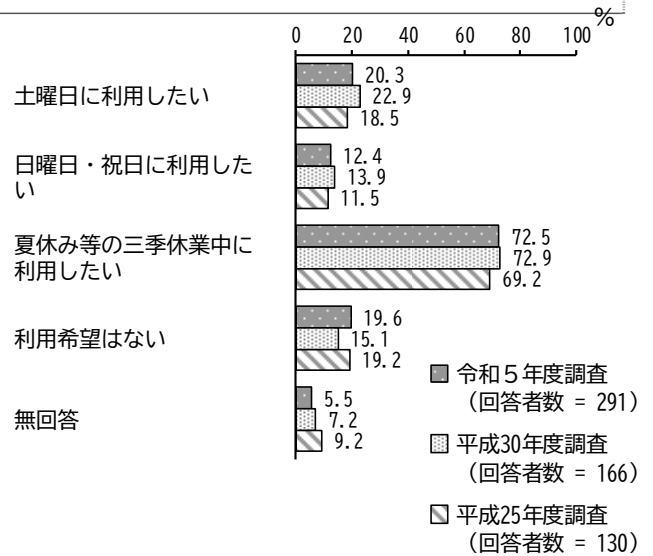
その他

「2日」の割合が22.4%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.4%、「1日」の割合が16.3%となっています。



問30 問28または問29で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方がいます。該当しない方は、問31へお進みください。土曜日、日曜日・祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

「夏休み等の三季休業中に利用したい」の割合が72.5%と最も高く、次いで「土曜日に利用したい」の割合が20.3%、「利用希望はない」の割合が19.6%となっています。

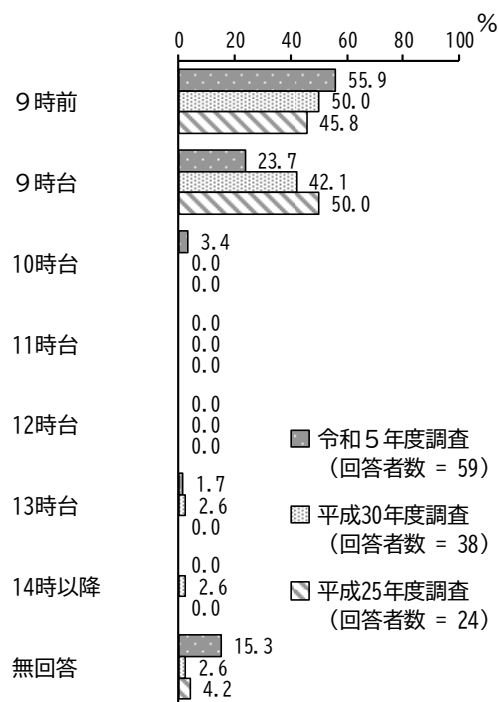


※「放課後児童クラブ（学童保育）」については、平成25年度調査の「留守家庭児童会（学童保育）」と比較して表記しています。（以下、(1)～(3)も同様）

(1) 土曜日

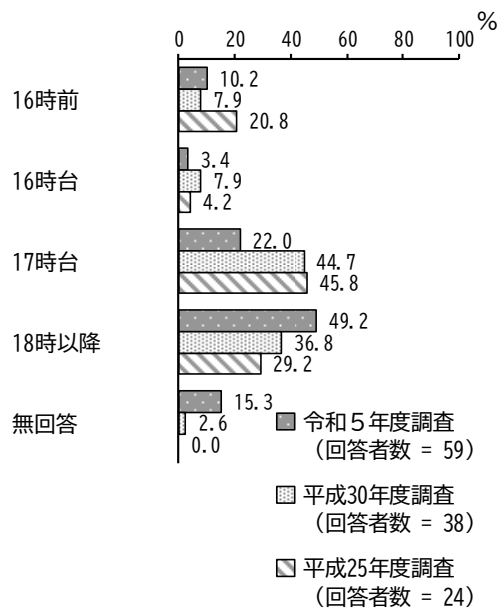
利用希望開始時間

「9時前」の割合が55.9%と最も高く、次いで「9時台」の割合が23.7%となっています。



利用希望終了時間

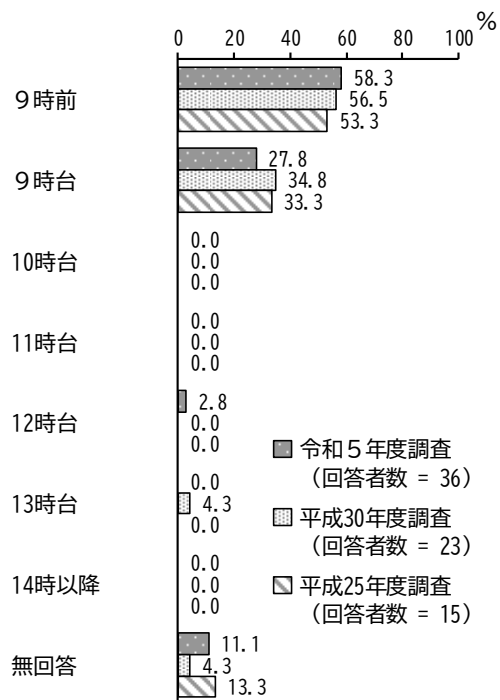
「18時以降」の割合が49.2%と最も高く、次いで「17時台」の割合が22.0%、「16時前」の割合が10.2%となっています。



(2) 日曜日・祝日

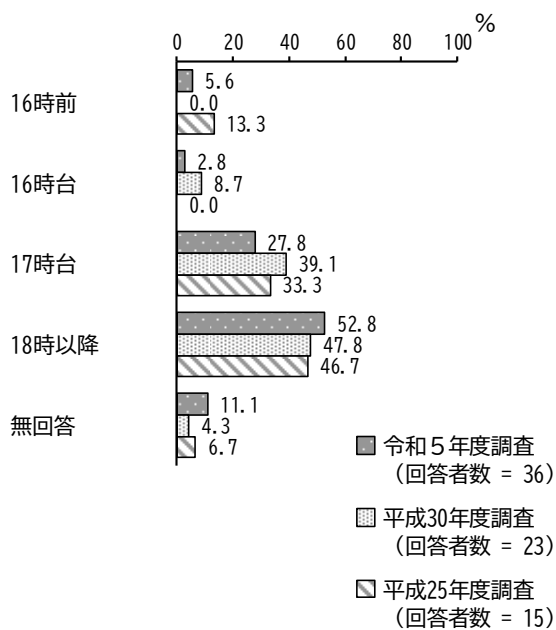
利用希望開始時間

「9時前」の割合が58.3%と最も高く、次いで「9時台」の割合が27.8%となっています。



利用希望終了時間

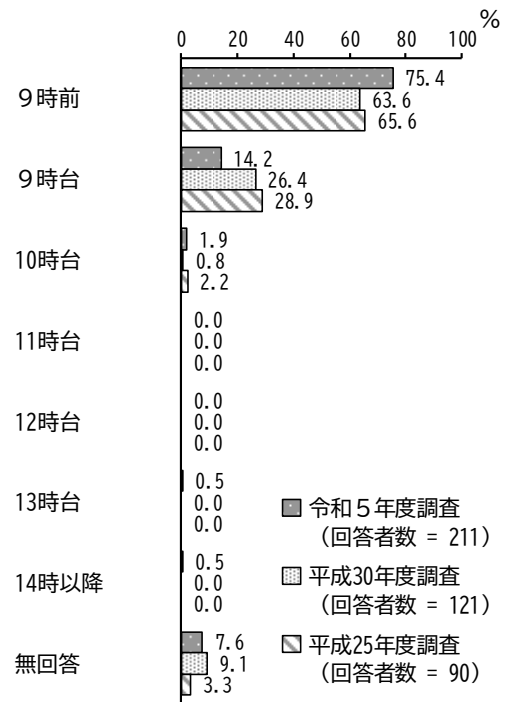
「18時以降」の割合が52.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が27.8%となっています。



(3) 夏休み等の三季休業中

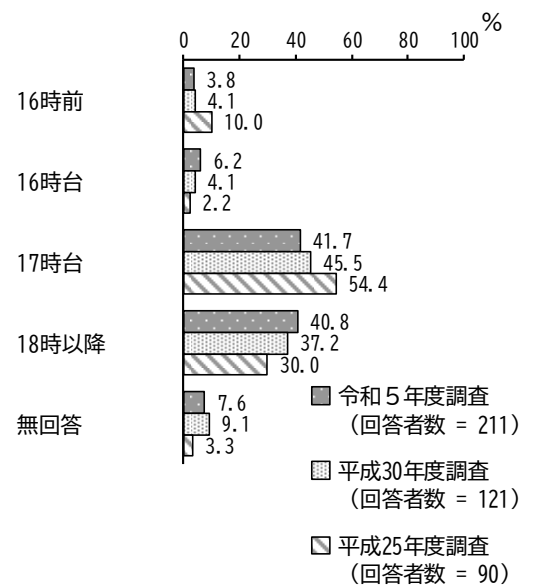
利用希望開始時間

「9時前」の割合が75.4%と最も高く、次いで「9時台」の割合が14.2%となっています。



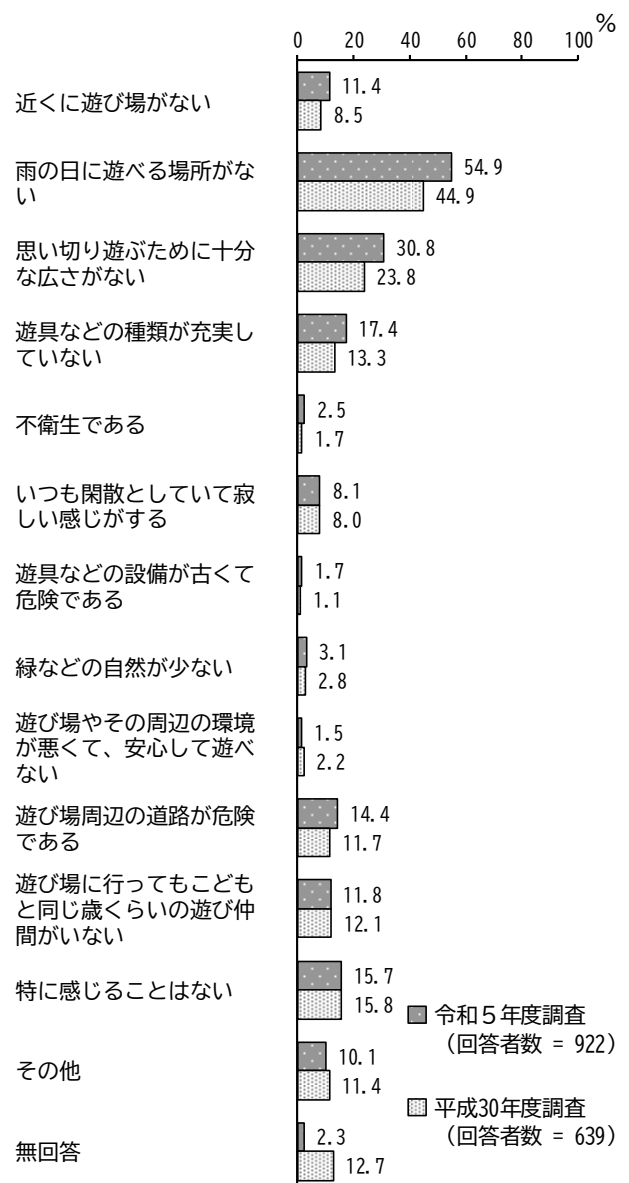
利用希望終了時間

「17時台」の割合が41.7%と最も高く、次いで「18時以降」の割合が40.8%となっています。



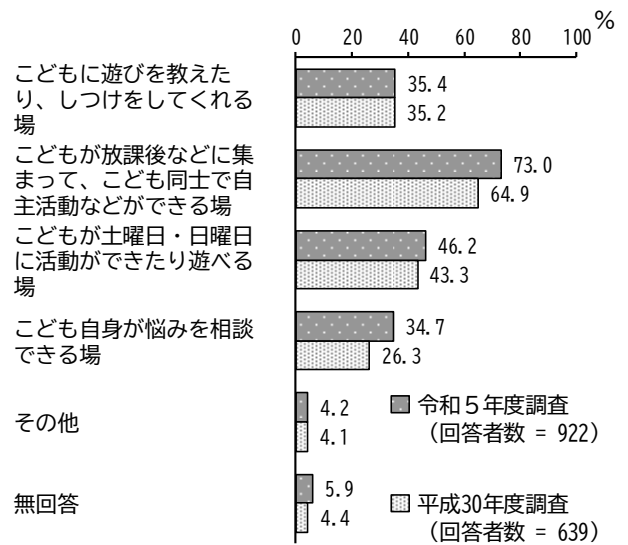
問 31 すべての方にうかがいます。家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が 30.8%、「遊具などの種類が充実していない」の割合が 17.4%となっています。



問 32 すべての方にうかがいます。身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が73.0%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が46.2%、「子どもに遊びを教えたり、しつけをしてくれる場」の割合が35.4%となっています。



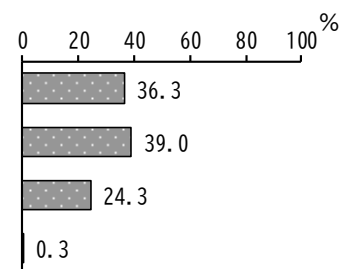
(8) こどもの権利について

問 33 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が 36.3%、「知らなかった」の割合が 24.3%となっています。

回答者数 = 922

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

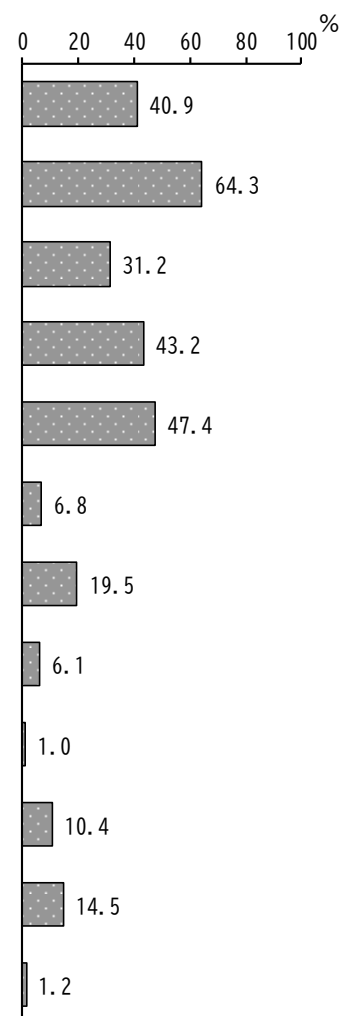


問 34 こどもの権利の中で必要だと思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください。)

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が 64.3%と最も高く、次いで「人と違う自分らしさが認められること」の割合が 47.4%、「自分の考えを自由に言えること」の割合が 43.2%となっています。

回答者数 = 922

人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
保護者から世話をされること(食事、洗濯他)
無回答

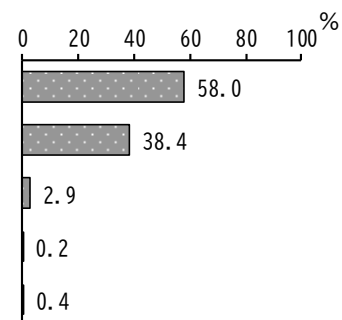


問 35 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 38.4%となっています。

回答者数 = 922

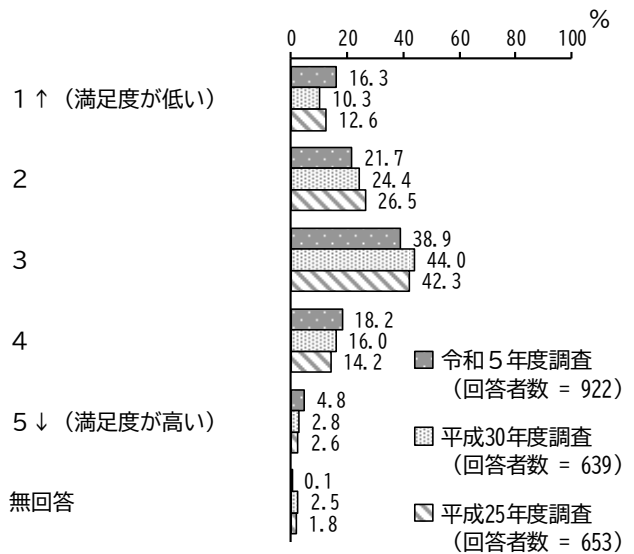
常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答



(9) すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策について

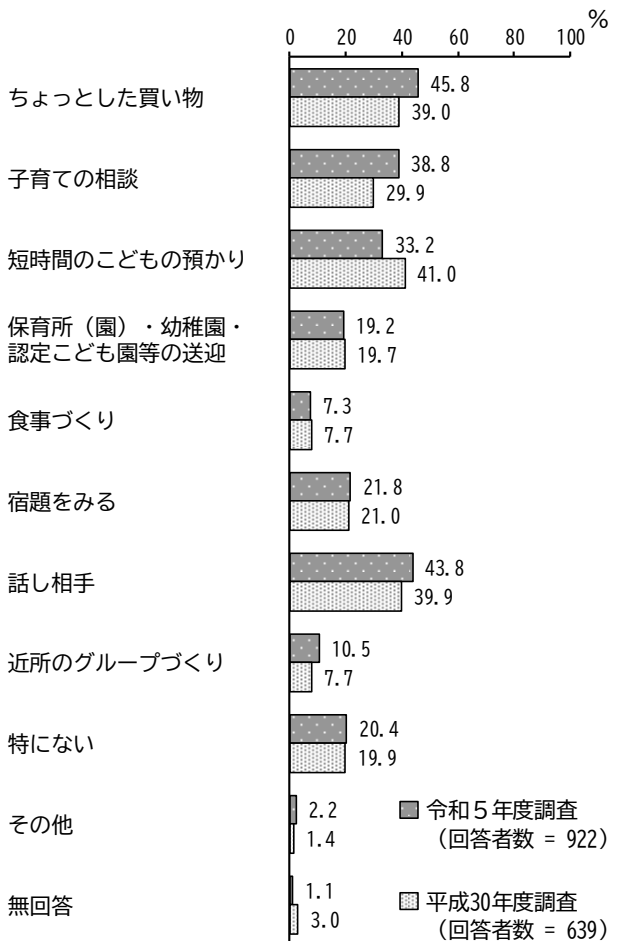
問 36 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が38.9%と最も高く、次いで「2」の割合が21.7%、「4」の割合が18.2%となっています。



問 37 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

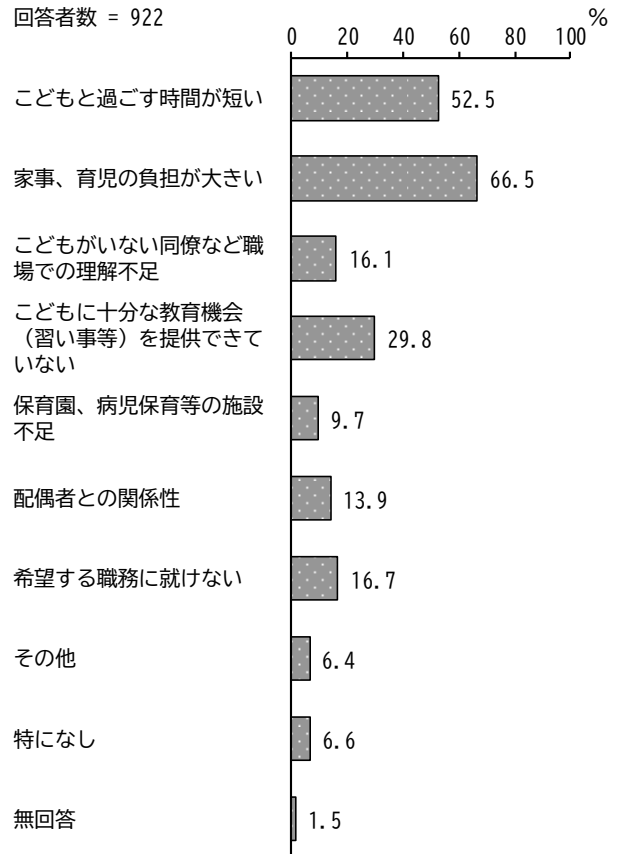
「ちょっとした買い物」の割合が45.8%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が43.8%、「子育ての相談」の割合が38.8%となっています。



問 38 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

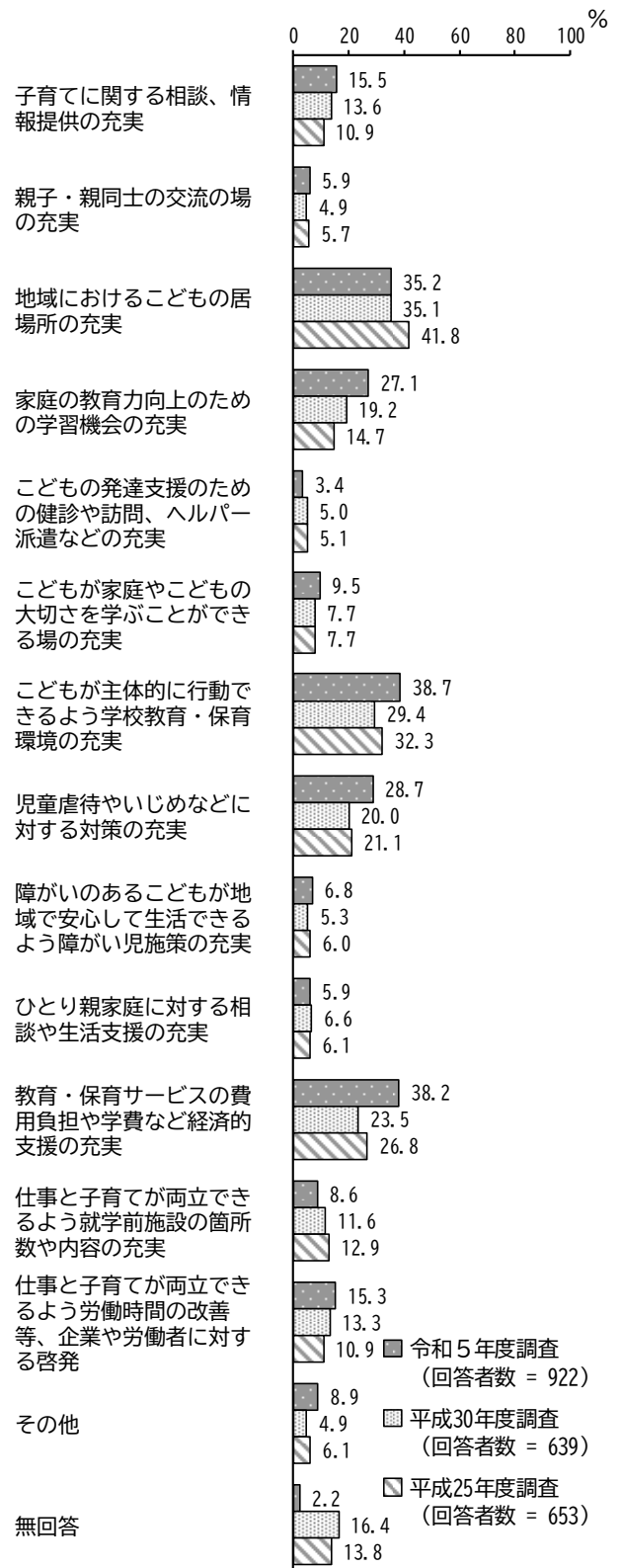
「家事、育児の負担が大きい」の割合が 66.5%と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 52.5%、「子どもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない」の割合が 29.8%となっています。

回答者数 = 922



問 39 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が38.7%と最も高く、次いで「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が38.2%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が35.2%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「子育てに関する相談、情報提供の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域におけるこどもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	こどもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	こどもが家庭やこどもの大切さを学ぶことができる場の充実	こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
全体	922	15.5	5.9	35.2	27.1	3.4	9.5	38.7
フルタイム	307	11.4	5.9	40.7	27.4	3.6	9.1	41.7
パート・アルバイト等	329	13.7	5.8	34.7	28.9	2.7	10.0	35.3
未就労	257	23.0	5.4	29.6	24.9	4.3	10.5	39.7

区分	児童虐待やいじめなどに対する対策の充実	障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	その他	無回答
全体	28.7	6.8	5.9	38.2	8.6	15.3	8.9	2.2
フルタイム	27.7	6.8	8.8	38.4	10.1	18.6	7.8	1.0
パート・アルバイト等	27.4	5.5	4.9	43.2	8.2	17.3	8.5	2.7
未就労	32.3	8.9	3.5	30.7	6.6	9.3	10.5	1.9

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、100万円未満で「家庭の教育力向上のための学習機会の充実」の割合が高くなっています。

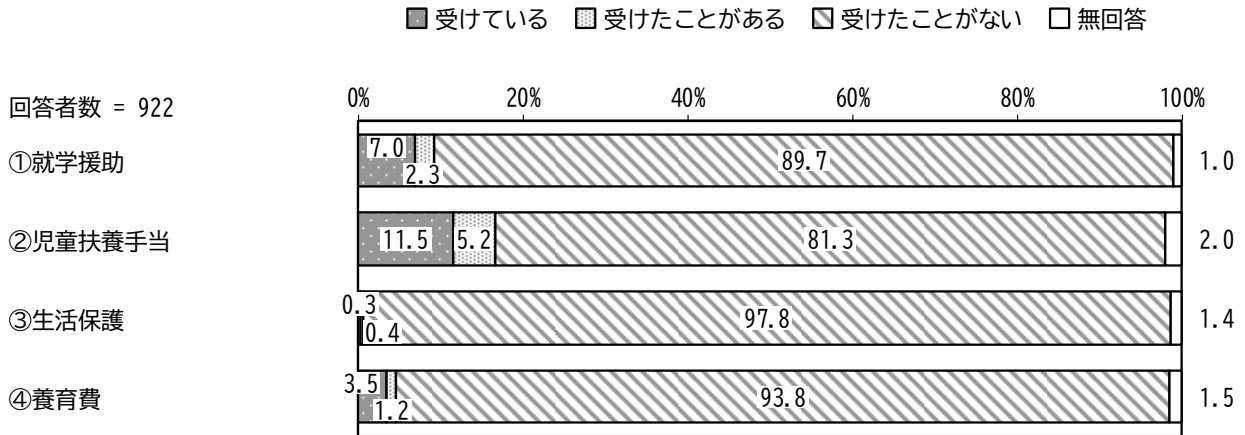
単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域におけるこどもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	こどもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	こどもが家庭やこどもの大切さを学ぶことができる場の充実	こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
全体	922	15.5	5.9	35.2	27.1	3.4	9.5	38.7
100万円未満	11	9.1	—	45.5	45.5	9.1	9.1	36.4
100～200万円未満	19	21.1	5.3	21.1	36.8	—	5.3	21.1
200～300万円未満	32	6.3	3.1	31.3	15.6	12.5	6.3	37.5
300～500万円未満	67	6.0	4.5	35.8	23.9	—	9.0	29.9
500～700万円未満	139	15.8	4.3	33.1	33.1	4.3	10.1	40.3
700～1,000万円未満	234	15.4	6.4	36.3	29.1	3.4	8.5	43.2
1,000～2,000万円未満	263	17.1	5.7	36.5	23.6	3.0	9.5	41.4
2,000万円以上	61	19.7	11.5	42.6	21.3	1.6	9.8	32.8

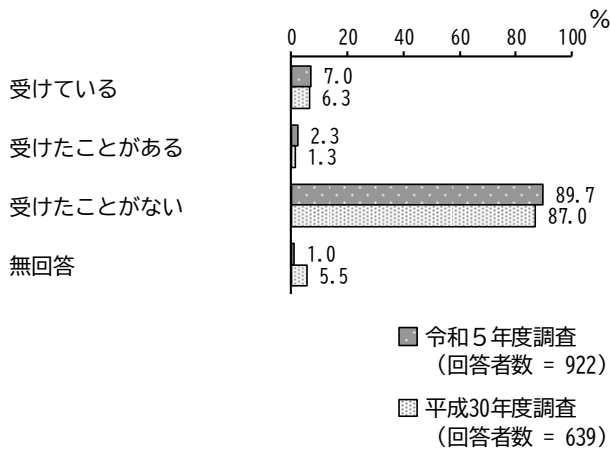
区分	児童虐待やいじめなどに対する対策の充実	障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるように就学前施設の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	その他	無回答
全体	28.7	6.8	5.9	38.2	8.6	15.3	8.9	2.2
100万円未満	36.4	—	27.3	45.5	—	18.2	9.1	—
100～200万円未満	26.3	21.1	52.6	31.6	5.3	10.5	10.5	5.3
200～300万円未満	25.0	9.4	34.4	56.3	9.4	12.5	—	—
300～500万円未満	43.3	4.5	9.0	52.2	9.0	19.4	9.0	1.5
500～700万円未満	28.8	7.2	2.9	41.0	5.8	21.6	4.3	1.4
700～1,000万円未満	28.6	7.3	3.0	38.0	6.4	14.1	7.7	1.7
1,000～2,000万円未満	27.8	6.8	2.7	36.9	11.8	11.8	13.7	1.1
2,000万円以上	23.0	6.6	1.6	18.0	11.5	11.5	9.8	4.9

問 40 過去1年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

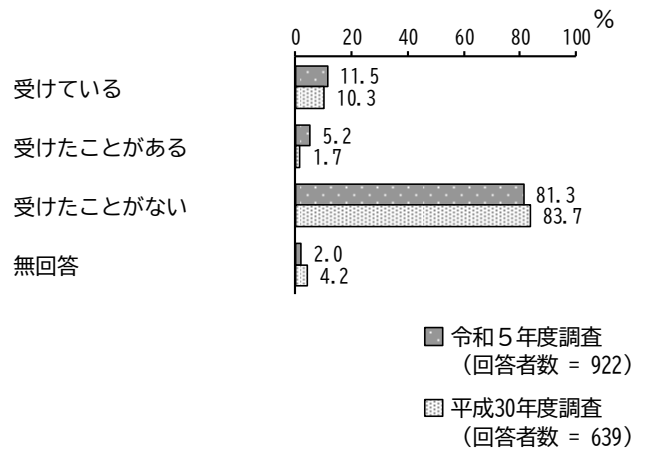
『②児童扶養手当』で「受けている」「受けたことがある」の割合が高くなっています。また、『③生活保護』で「受けたことがない」の割合が高くなっています。



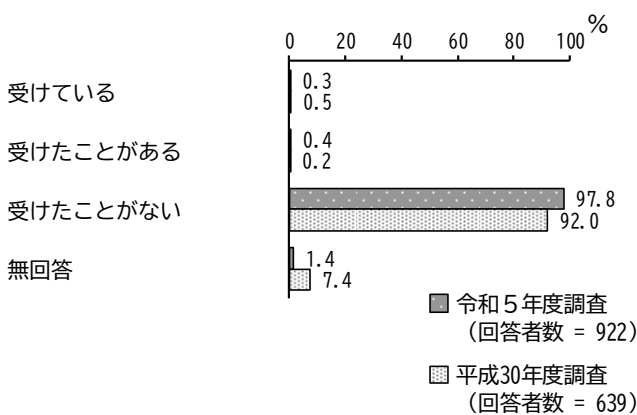
①就学援助



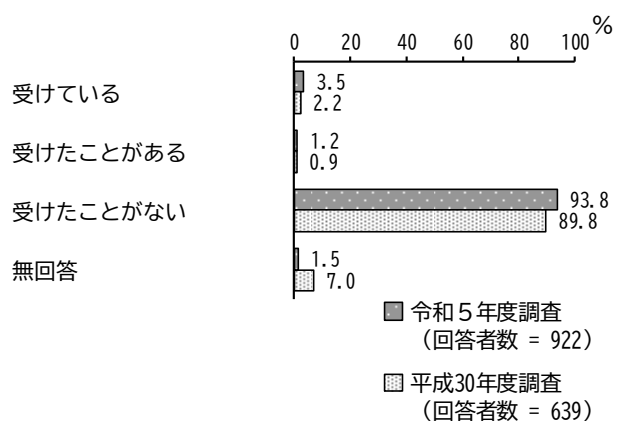
②児童扶養手当



③生活保護

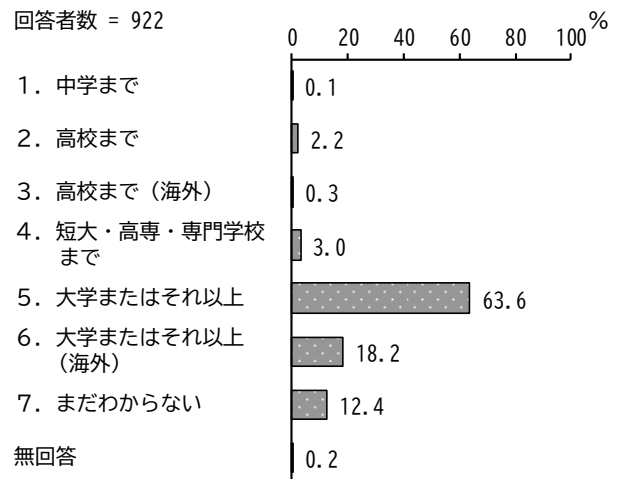


④養育費



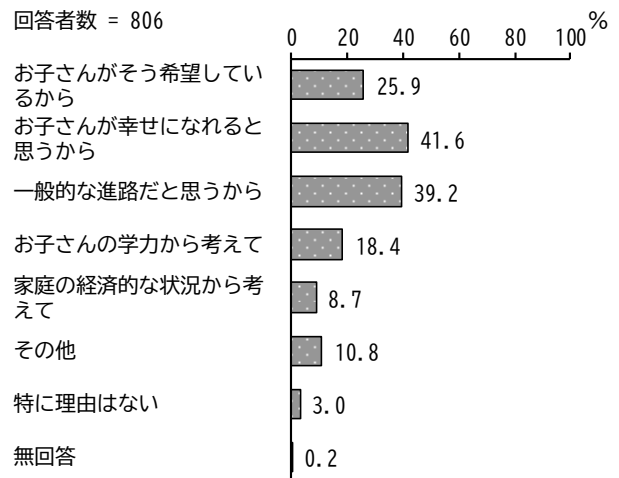
問 41 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか（留学を含む）。
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「大学またはそれ以上」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上（海外）」の割合が 18.2%、「まだわからない」の割合が 12.4%となっています。



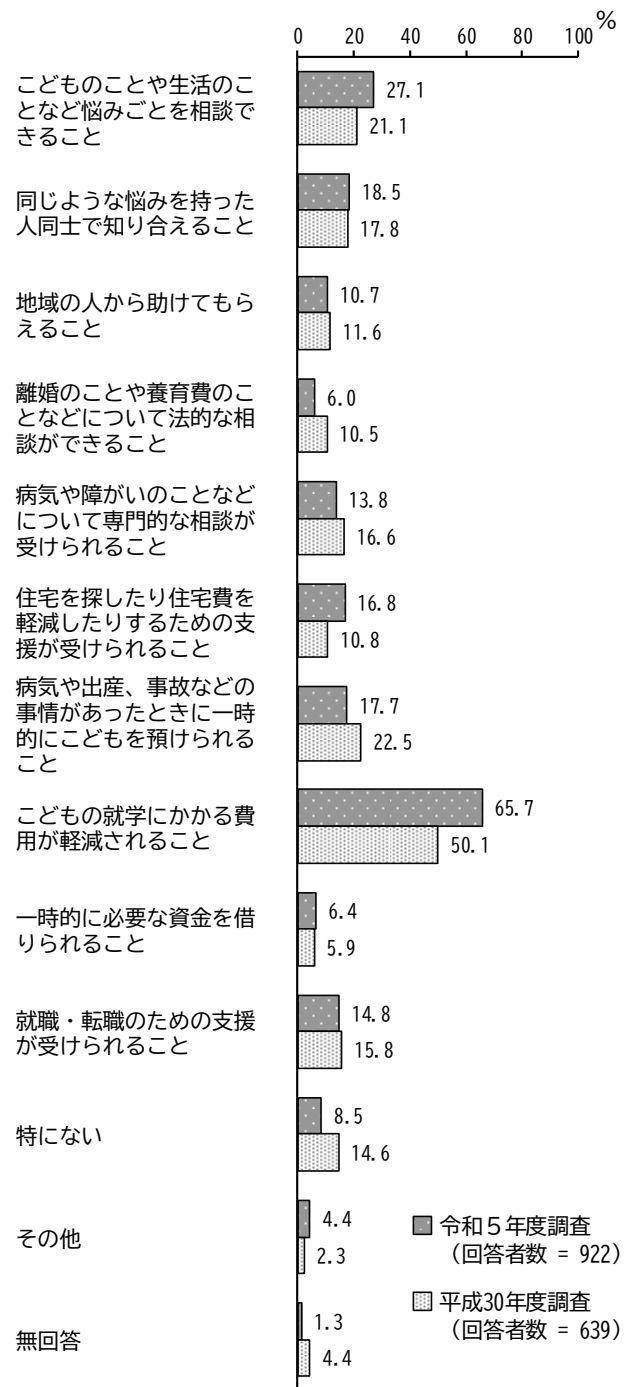
問 42 問 41 で「1. 中学まで」～「6. 大学またはそれ以上（海外）」に○をつけた方
 にうかがいます。その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけて
 ください。

「お子さんが幸せになれると思うから」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」の割合が 39.2%、「お子さんがそう希望しているから」の割合が 25.9%となっています。



問 43 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「こどもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が 27.1%、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」の割合が 18.5%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、200～300万円未満で「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

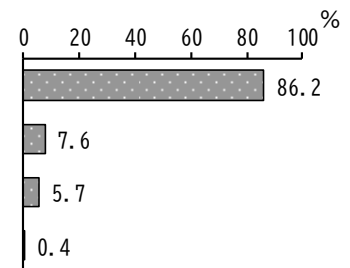
区分	回答者数(件)	このものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	地域の人から助けてもらえること	離婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること	病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	このもの就学にかかる費用が軽減されること	一時的に必要な資金を借りられること	就職・転職のための支援が受けられること	特になし	その他	無回答
全体	922	27.1	18.5	10.7	6.0	13.8	16.8	17.7	65.7	6.4	14.8	8.5	4.4	1.3
100万円未満	11	36.4	18.2	9.1	9.1	—	45.5	18.2	81.8	—	45.5	—	9.1	—
100～200万円未満	19	26.3	15.8	21.1	10.5	21.1	42.1	31.6	68.4	21.1	15.8	5.3	10.5	—
200～300万円未満	32	18.8	12.5	18.8	6.3	9.4	59.4	21.9	90.6	15.6	12.5	—	—	—
300～500万円未満	67	29.9	17.9	4.5	6.0	10.4	16.4	16.4	77.6	13.4	16.4	6.0	7.5	1.5
500～700万円未満	139	29.5	19.4	6.5	10.1	18.7	25.2	16.5	76.3	7.2	18.7	5.0	2.2	0.7
700～1,000万円未満	234	30.3	18.4	12.8	6.4	13.7	15.0	15.4	66.7	4.7	16.2	6.0	4.7	1.3
1,000～2,000万円未満	263	23.6	18.6	9.5	3.8	11.8	10.3	18.3	60.5	4.6	12.2	12.2	4.9	1.5
2,000万円以上	61	24.6	23.0	13.1	4.9	9.8	4.9	21.3	36.1	1.6	8.2	16.4	4.9	—

問 44 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が86.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 922

言葉も内容も知っている
言葉は聞いたことがある
知らない
無回答

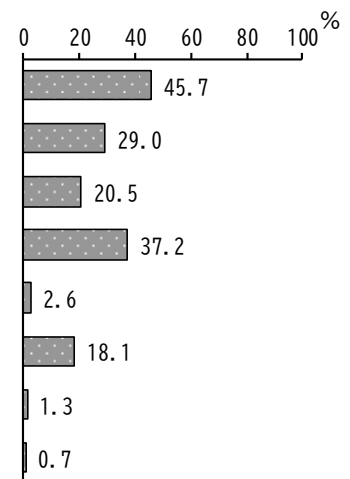


問 45 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「本人に様子を聞く」の割合が45.7%と最も高く、次いで「関係機関に相談する」の割合が37.2%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が29.0%となっています。

回答者数 = 922

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答

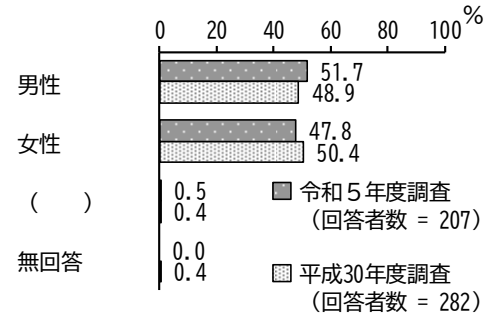


3 小学生本人（4年生～6年生）

（1）あなたのふだんの生活について

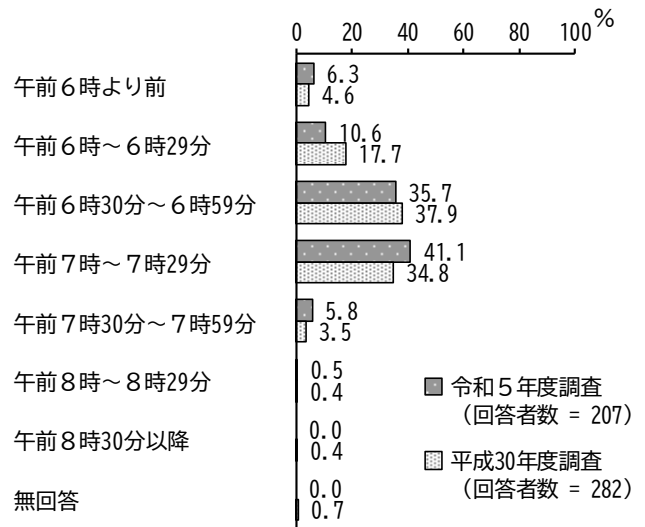
問1 あなた自身が思う性別をお答えください。（1つに○）

「男性」の割合が 51.7%、「女性」の割合が 47.8%となっています。



問2 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。（1つに○）

「午前7時～7時29分」の割合が 41.1%と最も高く、次いで「午前6時30分～6時59分」の割合が 35.7%、「午前6時～6時29分」の割合が 10.6%となっています。



【世帯の収入別】

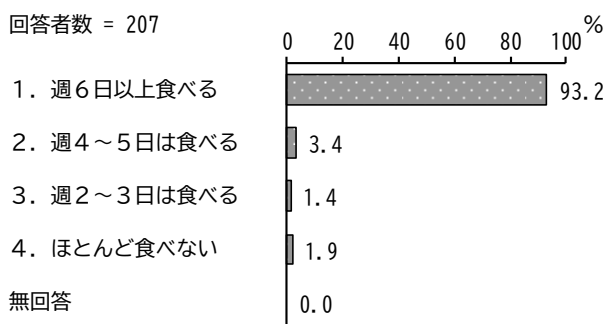
世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「午前6時30分～6時59分」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	午前6時より前	午前6時～6時29分	午前6時30分～6時59分	午前7時～7時29分	午前7時30分～7時59分	午前8時～8時29分	午前8時30分以降	無回答
全体	207	6.3	10.6	35.7	41.1	5.8	0.5	—	—
100万円未満	2	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	—	—	66.7	33.3	—	—	—	—
200～300万円未満	7	14.3	14.3	14.3	57.1	—	—	—	—
300～500万円未満	11	—	9.1	45.5	27.3	18.2	—	—	—
500～700万円未満	23	8.7	4.3	30.4	43.5	13.0	—	—	—
700～1,000万円未満	51	7.8	11.8	33.3	39.2	5.9	2.0	—	—
1,000～2,000万円未満	63	4.8	7.9	41.3	41.3	4.8	—	—	—
2,000万円以上	10	20.0	10.0	40.0	20.0	10.0	—	—	—

問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

「週6日以上食べる」の割合が93.2%と最も高くなっています。 回答者数 = 207



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「週6日以上食べる」の割合が最も高くなっています。

単位：%

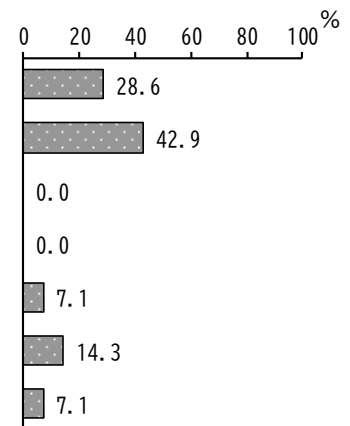
区分	回答者数(件)	週6日以上食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全 体	207	93.2	3.4	1.4	1.9	—
100 万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	100.0	—	—	—	—
200 ～300 万円未満	7	100.0	—	—	—	—
300 ～500 万円未満	11	90.9	—	9.1	—	—
500 ～700 万円未満	23	91.3	4.3	4.3	—	—
700 ～1,000 万円未満	51	92.2	2.0	2.0	3.9	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	95.2	3.2	—	1.6	—
2,000 万円以上	10	90.0	—	—	10.0	—

問4 問3で「2. 週4～5日は食べる」～「4. ほとんど食べない」に○をした人におきします。あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのはなぜですか。
(1つに○)

「食べたくないから（食欲がないから）」の割合が42.9%と最も高く、次いで「食べる時間がないから」の割合が28.6%となっています。

回答者数 = 14

食べる時間がないから
食べたくないから（食欲がないから）
太りたくないから
朝ごはんの用意がないから
おうちの人も朝ごはんを食べていないから
その他
無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

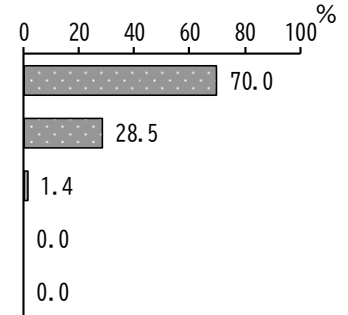
区分	回答者数 (件)	食べる時間がないから	食べたくないから (食欲がないから)	太りたくないから	朝ごはんの用意がないから	おうちの人も朝ごはんを食べていないから	その他	無回答
全体	14	28.6	42.9	—	—	7.1	14.3	7.1
100万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—
300～500万円未満	1	—	100.0	—	—	—	—	—
500～700万円未満	2	—	50.0	—	—	—	50.0	—
700～1,000万円未満	4	—	50.0	—	—	—	25.0	25.0
1,000～2,000万円未満	3	33.3	33.3	—	—	33.3	—	—
2,000万円以上	1	100.0	—	—	—	—	—	—

問5 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(1つに○)

「1日2回以上歯みがきをする」の割合が70.0%と最も高く、次いで「1日1回歯みがきをする」の割合が28.5%となっています。

回答者数 = 207

- 1日2回以上歯みがきをする
- 1日1回歯みがきをする
- 全く歯みがきをしない日が週に1～4日ある
- 全く歯みがきをしない日が週に5日以上ある
- 無回答



【世帯の収入別】

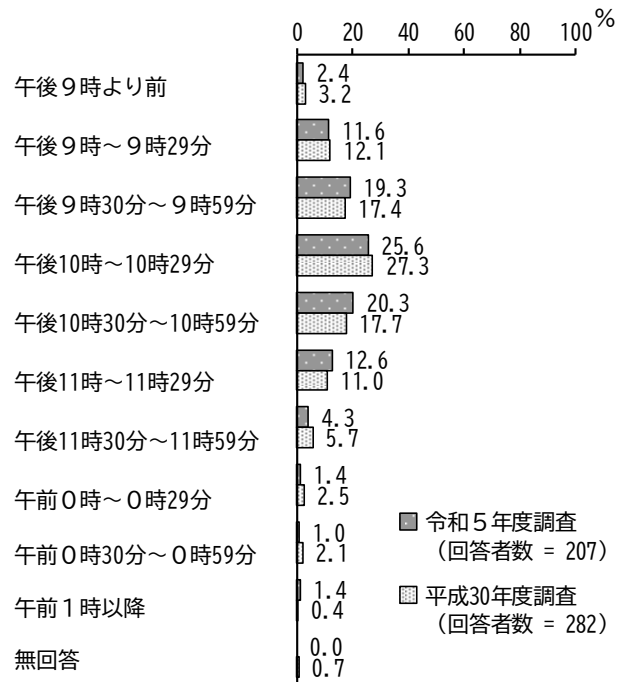
世帯の収入別にみると、全ての区分で「1日2回以上歯みがきをする」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	1日2回以上歯みがきをする	1日1回歯みがきをする	全く歯みがきをしない日が週に1～4日ある	全く歯みがきをしない日が週に5日以上ある	無回答
全体	207	70.0	28.5	1.4	—	—
100万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	66.7	33.3	—	—	—
200～300万円未満	7	85.7	14.3	—	—	—
300～500万円未満	11	54.5	36.4	9.1	—	—
500～700万円未満	23	56.5	43.5	—	—	—
700～1,000万円未満	51	72.5	25.5	2.0	—	—
1,000～2,000万円未満	63	76.2	23.8	—	—	—
2,000万円以上	10	50.0	50.0	—	—	—

問6 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。(1つに○)

「午後10時～10時29分」の割合が25.6%と最も高く、次いで「午後10時30分～10時59分」の割合が20.3%、「午後9時30分～9時59分」の割合が19.3%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「午後11時～11時29分」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	午後9時より前	午後9時～9時29分	午後9時30分～9時59分	午後10時～10時29分	午後10時30分～10時59分	午後11時～11時29分	午後11時30分～11時59分	午前0時～0時29分	午前0時30分～0時59分	午前1時以降	無回答
全体	207	2.4	11.6	19.3	25.6	20.3	12.6	4.3	1.4	1.0	1.4	—
100万円未満	2	—	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	7	14.3	—	14.3	28.6	28.6	—	14.3	—	—	—	—
300～500万円未満	11	—	9.1	27.3	9.1	18.2	27.3	—	—	—	9.1	—
500～700万円未満	23	—	13.0	17.4	13.0	34.8	13.0	4.3	4.3	—	—	—
700～1,000万円未満	51	2.0	11.8	21.6	27.5	21.6	7.8	3.9	3.9	—	—	—
1,000～2,000万円未満	63	1.6	11.1	20.6	20.6	19.0	19.0	4.8	—	1.6	1.6	—
2,000万円以上	10	—	10.0	10.0	40.0	30.0	—	10.0	—	—	—	—

【放課後に過ごす場所別】

放課後に過ごす場所別にみると、じゅくや習いごとで「午後11時～11時29分」の割合が高くなっています。

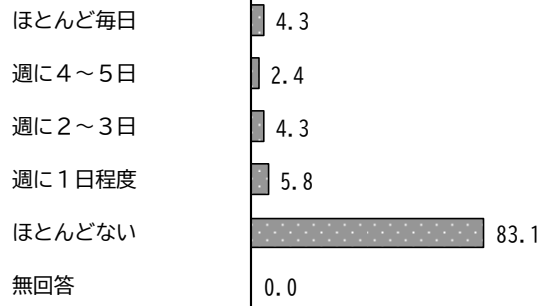
単位：%

区分	回答者数(件)	午後9時より前	午後9時～9時29分	午後9時30分～9時59分	午後10時～10時29分	午後10時30分～10時59分	午後11時～11時29分	午後11時30分～11時59分	午前0時～0時29分	午前0時30分～0時59分	午前1時以降	無回答
全 体	207	2.4	11.6	19.3	25.6	20.3	12.6	4.3	1.4	1.0	1.4	—
自分の家	106	1.9	13.2	17.9	26.4	22.6	11.3	3.8	0.9	—	1.9	—
友だちの家	3	—	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	—	—	—
じゅくや習いごと	50	4.0	4.0	14.0	20.0	16.0	26.0	10.0	4.0	2.0	—	—
学校	8	—	—	37.5	37.5	25.0	—	—	—	—	—	—
キッズスクエア	2	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
学童保育	8	12.5	25.0	25.0	37.5	—	—	—	—	—	—	—
公共施設	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
公園	25	—	20.0	32.0	24.0	20.0	—	—	—	4.0	—	—
お店	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	4	—	—	25.0	—	50.0	25.0	—	—	—	—	—

問7 あなたは、夕ごはんをこどもだけ（一人だけを含む）で食べることがありますか。（1つに○）

「ほとんどない」の割合が83.1%と最も高くなっています。

回答者数 = 207



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

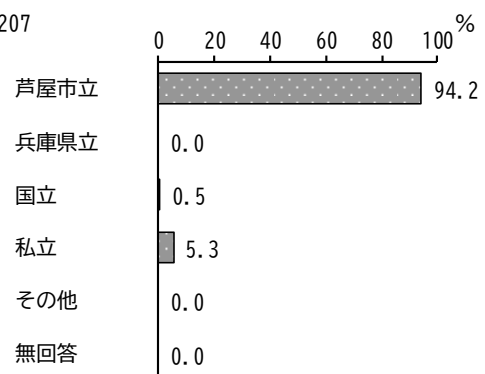
区分	回答者数(件)	ほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全体	207	4.3	2.4	4.3	5.8	83.1	—
100万円未満	2	50.0	—	—	—	50.0	—
100~200万円未満	3	—	—	—	—	100.0	—
200~300万円未満	7	—	14.3	14.3	—	71.4	—
300~500万円未満	11	—	—	9.1	9.1	81.8	—
500~700万円未満	23	4.3	4.3	—	13.0	78.3	—
700~1,000万円未満	51	7.8	2.0	3.9	3.9	82.4	—
1,000~2,000万円未満	63	—	1.6	4.8	7.9	85.7	—
2,000万円以上	10	—	10.0	10.0	10.0	70.0	—

(2) 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○)

「芦屋市立」の割合が94.2%と最も高くなっています。

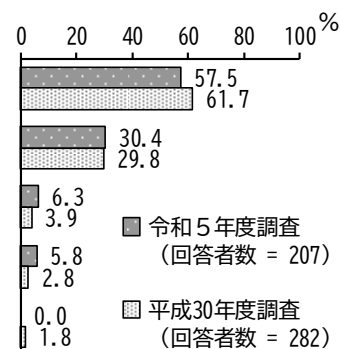
回答者数 = 207



問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が57.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が30.4%となっています。

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	無回答
全体	207	57.5	30.4	6.3	5.8	—
100万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	66.7	—	—	33.3	—
200～300万円未満	7	42.9	42.9	—	14.3	—
300～500万円未満	11	36.4	54.5	9.1	—	—
500～700万円未満	23	47.8	30.4	13.0	8.7	—
700～1,000万円未満	51	56.9	35.3	5.9	2.0	—
1,000～2,000万円未満	63	60.3	31.7	3.2	4.8	—
2,000万円以上	10	90.0	—	10.0	—	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

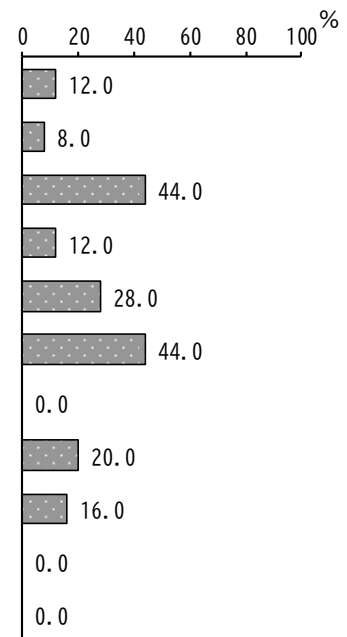
区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	無回答
全体	207	57.5	30.4	6.3	5.8	—
芦屋市立	195	56.9	30.8	6.2	6.2	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	—	—	—	—
私立	11	63.6	27.3	9.1	—	—
その他	—	—	—	—	—	—

問10 問9で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききます。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「いやな友だちがいるから」、「なんでも自由
できないから」の割合が44.0%と最も高く、次
いで「学校のきまり（校則）がきびしいから」の割
合が28.0%となっています。

回答者数 = 25

- 授業がわからないから
- 友だちがいないから
- いやな友だちがいるから
- 先生が悩みや意見を聞いてくれないから
- 学校のきまり（校則）がきびしいから
- なんでも自由にできないから
- 家で心配なことがあって、集中できないから
- 夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから
- その他
- 特にない
- 無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

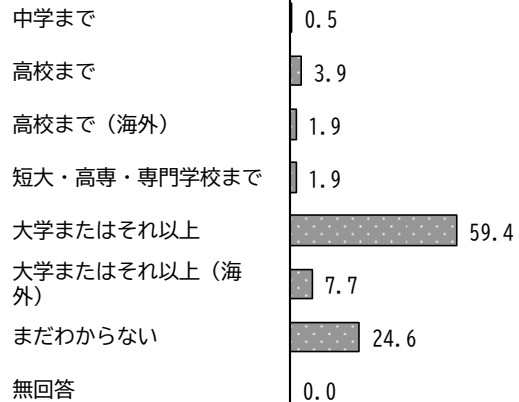
単位：%

区分	回答者数(件)	授業がわからないから	友だちがいないから	いやな友だちがいるから	先生が悩みや意見を聞いてくれないから	学校のきまり（校則）がきびしいから	なんでも自由にできないから	家で心配なことがあって、集中できないから	夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから	その他	特にない	無回答
全 体	25	12.0	8.0	44.0	12.0	28.0	44.0	—	20.0	16.0	—	—
芦屋市立	24	12.5	8.3	45.8	12.5	25.0	41.7	—	20.8	16.7	—	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私立	1	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

「大学またはそれ以上」の割合が 59.4%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 207



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「大学またはそれ以上」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学まで	高校まで	高校まで (海外)	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	大学またはそれ以上 (海外)	まだわからない	無回答
全 体	207	0.5	3.9	1.9	1.9	59.4	7.7	24.6	—
100 万円未満	2	—	—	—	—	—	—	100.0	—
100 ～200 万円未満	3	—	—	—	—	33.3	33.3	33.3	—
200 ～300 万円未満	7	—	—	14.3	—	57.1	—	28.6	—
300 ～500 万円未満	11	—	—	—	—	63.6	9.1	27.3	—
500 ～700 万円未満	23	—	4.3	4.3	4.3	52.2	4.3	30.4	—
700 ～1,000 万円未満	51	2.0	3.9	—	2.0	66.7	5.9	19.6	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	—	6.3	1.6	—	61.9	11.1	19.0	—
2,000 万円以上	10	—	—	—	—	90.0	—	10.0	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	中学まで	高校まで	高校まで (海外)	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	大学またはそれ以上 (海外)	まだわからない	無回答
全 体	207	0.5	3.9	1.9	1.9	59.4	7.7	24.6	—
芦屋市立	195	0.5	3.1	1.5	2.1	59.5	7.7	25.6	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国立	1	—	—	—	—	100.0	—	—	—
私立	11	—	18.2	9.1	—	54.5	9.1	9.1	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問12 問11で選択したその理由について、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「希望する学校や職業があるから」の割合が48.3%と最も高く、次いで「とくに理由はない」の割合が25.6%、「自分の成績から考えて」の割合が11.1%となっています。

回答者数 = 207

希望する学校や職業があるから

自分の成績から考えて

親がそう言っているから

兄・姉がそうしているから

まわりの先輩や友達がそうしているから

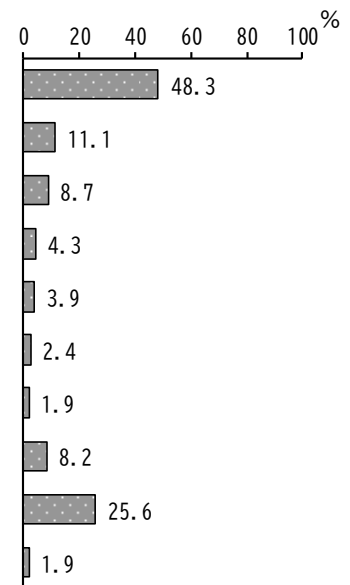
家にお金がないと思うから

早く働く必要があるから

その他

とくに理由はない

無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「希望する学校や職業があるから」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体	207	48.3	11.1	8.7	4.3	3.9	2.4	1.9	8.2	25.6	1.9
100万円未満	2	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	50.0
100～200万円未満	3	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
200～300万円未満	7	71.4	14.3	14.3	—	—	—	—	14.3	14.3	—
300～500万円未満	11	36.4	18.2	9.1	—	—	—	—	—	36.4	—
500～700万円未満	23	47.8	8.7	8.7	8.7	4.3	4.3	—	13.0	21.7	4.3
700～1,000万円未満	51	51.0	9.8	5.9	2.0	5.9	2.0	7.8	5.9	21.6	2.0
1,000～2,000万円未満	63	46.0	17.5	12.7	6.3	6.3	1.6	—	11.1	25.4	—
2,000万円以上	10	50.0	20.0	30.0	—	—	—	—	—	10.0	10.0

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立で「希望する学校や職業があるから」の割合が高くなっています。

単位：％

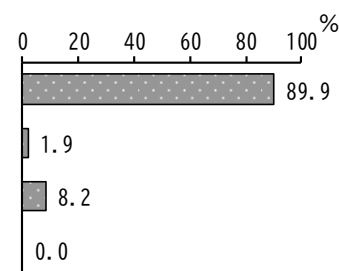
区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全 体	207	48.3	11.1	8.7	4.3	3.9	2.4	1.9	8.2	25.6	1.9
芦屋市立	195	47.7	11.3	7.2	4.6	4.1	2.6	1.5	8.7	27.2	1.5
兵庫県立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
私立	11	54.5	—	36.4	—	—	—	9.1	—	—	9.1
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 13 あなたは将来働きたいと思いますか。(1つに○)

「働きたいと思う」の割合が 89.9%と最も高くなっています。

回答者数 = 207

- 働きたいと思う
- 働きたいと思わない
- わからない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「働きたいと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	働きたいと思う	働きたいと思わない	わからない	無回答
全 体	207	89.9	1.9	8.2	—
100 万円未満	2	100.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	66.7	—	33.3	—
200 ～300 万円未満	7	100.0	—	—	—
300 ～500 万円未満	11	90.9	9.1	—	—
500 ～700 万円未満	23	91.3	—	8.7	—
700 ～1,000 万円未満	51	86.3	—	13.7	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	87.3	3.2	9.5	—
2,000 万円以上	10	100.0	—	—	—

問 14 問 13 を選択した理由 (抜粋)

① 「働きたいと思う」を選択した理由

- ・ やりたい仕事があるから。
- ・ お金をためるため。
- ・ 自分でお金を稼ぎたい。
- ・ 働かないと食べていけないから。
- ・ 生きていくためと、好きな仕事をしたら面白そうだから。
- ・ 大人になって1人でもお金に困らないようにしたいと思ったからです。
- ・ 幸せになりたいから。
- ・ 楽しそうだから。
- ・ なりたい職業がたくさんあるから。
- ・ お金を稼がないと、生活ができないから。
- ・ 親を助けてあげたいから。
- ・ 世の中の役に立ちたい。
- ・ 働いた方が、良い人間になるかもしれないから。
- ・ 働いたら仕事の仲間が増えるし、生きがいを感じられるから。

② 「働きたいと思わない」を選択した理由

- ・ やりたい仕事があるから。
- ・ 単純にめんどくさいからって理由もあるけれどこの世には過労死という言葉があるくらいブラック企業が多いからです。
- ・ 働くのがめんどくさいから。
- ・ 面倒くさい。ずっと家でゴロゴロして寝ていたいから。

③ 「わからない」を選択した理由

- ・ やりたい仕事があるから。
- ・ まだまだ先が長いから。
- ・ まだわからない。
- ・ 働けるものがあれば働きたいが、何ができるかわからない。
- ・ まだ決めていないから。
- ・ どんな職業につけるかわからないから。
- ・ まだイメージがわからないから。
- ・ 私は大工さんになりたいけど女性は100に1人だからです。

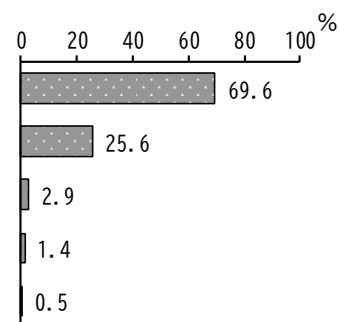
(3) 放課後のすごしかたについて

問 15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 25.6%となっています。

回答者数 = 207

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

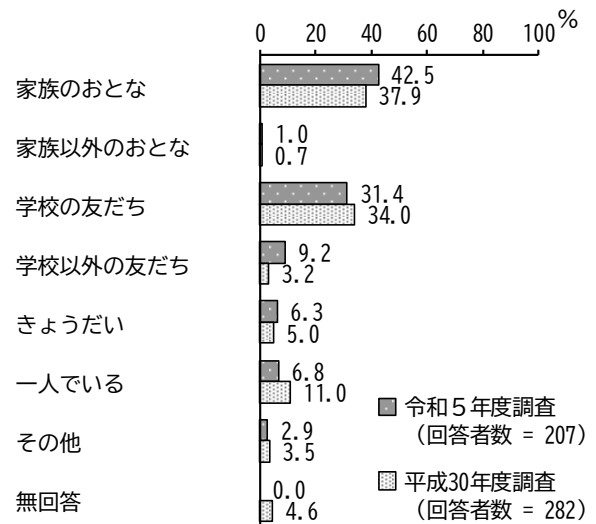
区分	回答者数(件)	楽しい	楽しい どちらか といえば	楽しくない どちらか といえば	楽しくない	無回答
全 体	207	69.6	25.6	2.9	1.4	0.5
100 万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	100.0	—	—	—	—
200 ～300 万円未満	7	42.9	42.9	—	14.3	—
300 ～500 万円未満	11	100.0	—	—	—	—
500 ～700 万円未満	23	65.2	34.8	—	—	—
700 ～1,000 万円未満	51	66.7	31.4	—	2.0	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	63.5	30.2	6.3	—	—
2,000 万円以上	10	80.0	10.0	—	—	10.0

問 16 問 15 で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「一緒にいる友だちがいないから」、「なんでも自由にできないから」が 2 件となっています。

問 17 あなたは放課後に、だれとすごすことが一番多いですか。(1つに○)

「家族のおとな」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 31.4%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「学校の友だち」の割合が高くなっています。

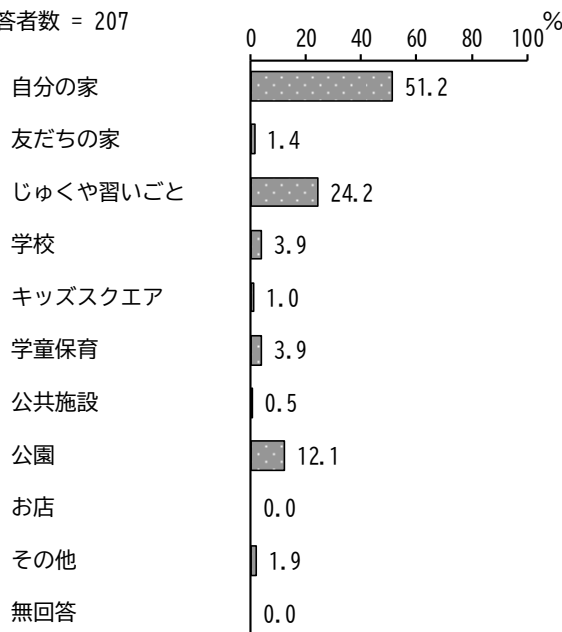
単位：%

区分	回答者数 (件)	家族のおとな	家族以外のおとな	学校の友だち	学校以外の友だち	きょうだい	一人でいる	その他	無回答
全 体	207	42.5	1.0	31.4	9.2	6.3	6.8	2.9	—
100 万円未満	2	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	33.3	—	33.3	33.3	—	—	—	—
200 ～300 万円未満	7	28.6	—	42.9	—	14.3	14.3	—	—
300 ～500 万円未満	11	27.3	—	45.5	—	27.3	—	—	—
500 ～700 万円未満	23	34.8	4.3	34.8	4.3	8.7	4.3	8.7	—
700 ～1,000 万円未満	51	39.2	—	31.4	11.8	3.9	11.8	2.0	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	47.6	1.6	30.2	12.7	3.2	3.2	1.6	—
2,000 万円以上	10	40.0	—	10.0	10.0	10.0	20.0	10.0	—

問 18 あなたは放課後に、どこで過ごすことが一番多いですか。(1つに○)

「自分の家」の割合が51.2%と最も高く、次いで「じゅくや習いごと」の割合が24.2%、「公園」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 207



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「自分の家」の割合が高くなっています。

単位：%

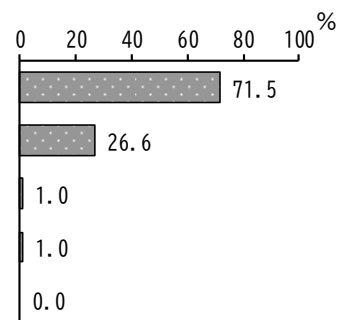
区分	回答者数 (件)	自分の家	友だちの家	じゅくや習いごと	学校	キッズスクエア	学童保育	公共施設	公園	お店	その他	無回答
全 体	207	51.2	1.4	24.2	3.9	1.0	3.9	0.5	12.1	-	1.9	-
100 万円未満	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-
100 ～200 万円未満	3	33.3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-
200 ～300 万円未満	7	42.9	-	28.6	-	14.3	-	-	14.3	-	-	-
300 ～500 万円未満	11	54.5	-	9.1	-	-	-	9.1	27.3	-	-	-
500 ～700 万円未満	23	52.2	8.7	17.4	-	-	4.3	-	13.0	-	4.3	-
700 ～1,000 万円未満	51	47.1	2.0	21.6	5.9	2.0	5.9	-	13.7	-	2.0	-
1,000 ～2,000 万円未満	63	50.8	-	31.7	4.8	-	4.8	-	6.3	-	1.6	-
2,000 万円以上	10	70.0	-	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-

問 19 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が71.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が26.6%となっています。

回答者数 = 207

- 1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	無回答
全 体	207	71.5	26.6	1.0	1.0	—
100万円未満	2	50.0	50.0	—	—	—
100～200万円未満	3	66.7	33.3	—	—	—
200～300万円未満	7	57.1	42.9	—	—	—
300～500万円未満	11	81.8	18.2	—	—	—
500～700万円未満	23	82.6	17.4	—	—	—
700～1,000万円未満	51	74.5	19.6	3.9	2.0	—
1,000～2,000万円未満	63	63.5	34.9	—	1.6	—
2,000万円以上	10	90.0	10.0	—	—	—

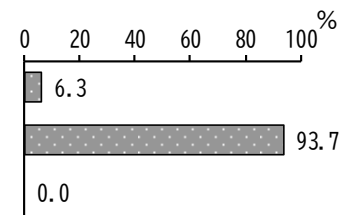
問 20 問 19 で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「特にない」が 2 件となっています。「家族にいやなことを言われるから」、「好きなことができない時間がないから」が 1 件となっています。

問 21 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(1つに○)

「いる」の割合が 6.3%、「いない」の割合が 93.7%となっています。 回答者数 = 207

- 1. いる
- 2. いない
- 無回答



【世帯の収入別】

単位：%

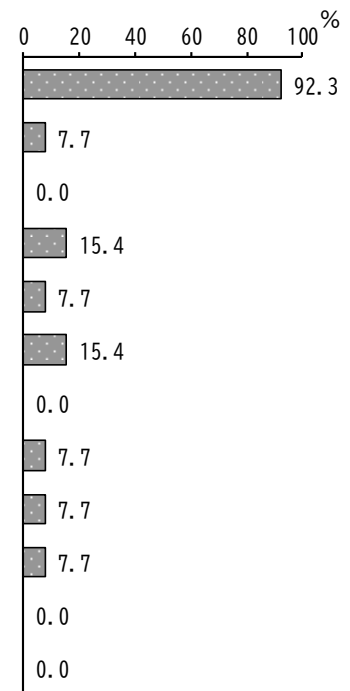
区分	回答者数(件)	いる	いない	無回答
全 体	207	6.3	93.7	—
100 万円未満	2	100.0	—	—
100 ～200 万円未満	3	—	100.0	—
200 ～300 万円未満	7	14.3	85.7	—
300 ～500 万円未満	11	18.2	81.8	—
500 ～700 万円未満	23	4.3	95.7	—
700 ～1,000 万円未満	51	5.9	94.1	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	4.8	95.2	—
2,000 万円以上	10	—	100.0	—

問22 問21で「1. いる」に○をした人におききします。あなたはどのようなお世話をしていますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「家事」の割合が92.3%と最も高く、次いで「病院や買い物、散歩と一緒にいき、手助けをする」、「見守り」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

- 家事
- きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え
- 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
- 病院や買い物、散歩と一緒にいき、手助けをする
- 困りごとを聞く、話し相手になる
- 見守り
- 通訳
- 家のお金の管理
- 薬の管理
- 家計のサポート
- その他
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

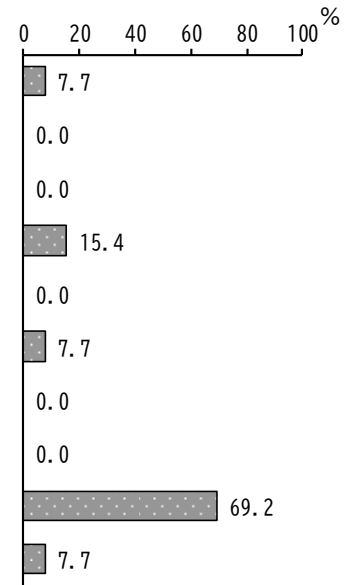
区分	回答者数(件)	家事	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩と一緒にいき、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる	見守り	通訳	家のお金の管理	薬の管理	家計のサポート	その他	無回答
全体	13	92.3	7.7	—	15.4	7.7	15.4	—	7.7	7.7	7.7	—	—
100万円未満	2	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	1	100.0	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
300～500万円未満	2	100.0	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0	50.0	—	—
500～700万円未満	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
700～1,000万円未満	3	66.7	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—
1,000～2,000万円未満	3	100.0	—	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—
2,000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問23 問21で「1. いる」に○をした人におききします。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「特にない」の割合が69.2%と最も高く、次いで「眠る時間が足りない」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

- 学校を休んでしまう
- 遅刻や早退をしてしまう
- 宿題など勉強をする時間がない
- 眠る時間が足りない
- 友だちと遊ぶことができない
- 習い事ができない
- 自分の時間が取れない
- その他
- 特にない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

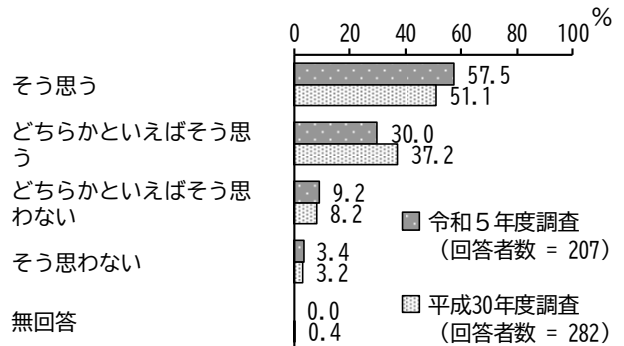
区分	回答者数(件)	学校を休んでしま	う	遅刻や早退をしてしま	つ	宿題など勉強をする時間がない	い	眠る時間が足りない	が	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	ない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全 体	13	7.7	-	-	-	15.4	-	7.7	-	-	-	-	-	-	69.2	7.7
100 万円未満	2	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
100 ～200 万円未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
200 ～300 万円未満	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
300 ～500 万円未満	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
500 ～700 万円未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
700 ～1,000 万円未満	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
1,000 ～2,000 万円未満	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
2,000 万円以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) あなたの考えについて

問 24 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

(1) 自分にはよいところがある

「そう思う」の割合が57.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が30.0%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全 体	207	57.5	30.0	9.2	3.4	—
100万円未満	2	50.0	50.0	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	66.7	—	—	—
200～300万円未満	7	—	28.6	42.9	28.6	—
300～500万円未満	11	27.3	54.5	9.1	9.1	—
500～700万円未満	23	52.2	39.1	4.3	4.3	—
700～1,000万円未満	51	60.8	31.4	3.9	3.9	—
1,000～2,000万円未満	63	68.3	20.6	9.5	1.6	—
2,000万円以上	10	60.0	30.0	10.0	—	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立で「そう思う」の割合が高くなっています。

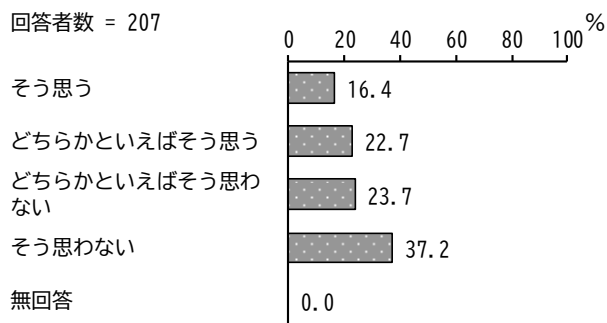
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全 体	207	57.5	30.0	9.2	3.4	—
芦屋市立	195	56.9	30.8	8.7	3.6	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	—	—	—	—
私立	11	63.6	18.2	18.2	—	—
その他	—	—	—	—	—	—

(2) 失敗すると前に進めないと思う

「そう思わない」の割合が37.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」の割合が23.7%、「どちらかといえばそう思う」の割合が22.7%となっています。

回答者数 = 207



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	16.4	22.7	23.7	37.2	—
100万円未満	2	—	50.0	—	50.0	—
100～200万円未満	3	33.3	—	—	66.7	—
200～300万円未満	7	14.3	42.9	14.3	28.6	—
300～500万円未満	11	9.1	45.5	27.3	18.2	—
500～700万円未満	23	21.7	30.4	17.4	30.4	—
700～1,000万円未満	51	19.6	21.6	23.5	35.3	—
1,000～2,000万円未満	63	15.9	17.5	25.4	41.3	—
2,000万円以上	10	—	10.0	30.0	60.0	—

【公立学校、私立学校別】

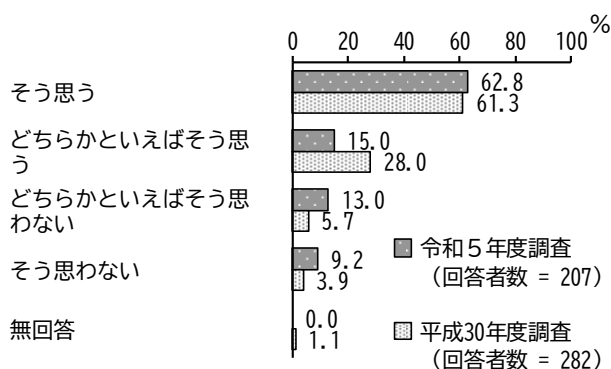
公立学校、私立学校別にみると、私立で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	16.4	22.7	23.7	37.2	—
芦屋市立	195	16.4	23.1	22.6	37.9	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	—	—	100.0	—	—
私立	11	18.2	18.2	36.4	27.3	—
その他	—	—	—	—	—	—

(3) 自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が62.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が15.0%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が13.0%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「そう思う」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	62.8	15.0	13.0	9.2	—
100万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	66.7	—	—	33.3	—
200～300万円未満	7	28.6	28.6	14.3	28.6	—
300～500万円未満	11	45.5	27.3	9.1	18.2	—
500～700万円未満	23	56.5	8.7	17.4	17.4	—
700～1,000万円未満	51	70.6	9.8	11.8	7.8	—
1,000～2,000万円未満	63	57.1	20.6	19.0	3.2	—
2,000万円以上	10	70.0	—	20.0	10.0	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立で「どちらかといえばそう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

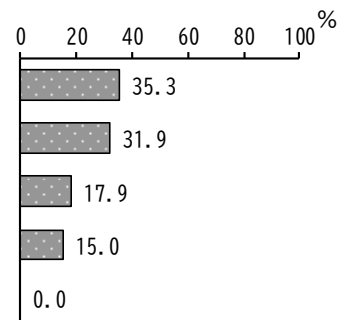
区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	62.8	15.0	13.0	9.2	—
芦屋市立	195	62.6	15.9	12.3	9.2	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	—	—	—	—
私立	11	63.6	—	27.3	9.1	—
その他	—	—	—	—	—	—

(4) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる

「そう思う」の割合が 35.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 31.9%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 17.9%となっています。

回答者数 = 207

そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない
 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500 万円未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全 体	207	35.3	31.9	17.9	15.0	—
100 万円未満	2	50.0	50.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	33.3	33.3	—	33.3	—
200 ～300 万円未満	7	14.3	57.1	14.3	14.3	—
300 ～500 万円未満	11	18.2	54.5	18.2	9.1	—
500 ～700 万円未満	23	39.1	21.7	13.0	26.1	—
700 ～1,000 万円未満	51	39.2	25.5	23.5	11.8	—
1,000 ～2,000 万円未満	63	38.1	34.9	15.9	11.1	—
2,000 万円以上	10	20.0	20.0	30.0	30.0	—

【公立学校、私立学校別】

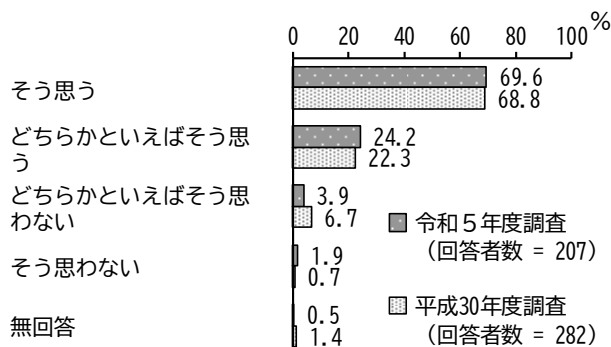
公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全 体	207	35.3	31.9	17.9	15.0	—
芦屋市立	195	34.9	31.8	17.9	15.4	—
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	—	—	—	—
私立	11	36.4	36.4	18.2	9.1	—
その他	—	—	—	—	—	—

(5) 頑張れば、いいことがある

「そう思う」の割合が69.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が24.2%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「そう思う」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	69.6	24.2	3.9	1.9	0.5
100万円未満	2	100.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	66.7	—	33.3	—	—
200～300万円未満	7	57.1	28.6	14.3	—	—
300～500万円未満	11	72.7	18.2	—	9.1	—
500～700万円未満	23	69.6	26.1	—	4.3	—
700～1,000万円未満	51	68.6	25.5	2.0	3.9	—
1,000～2,000万円未満	63	71.4	27.0	1.6	—	—
2,000万円以上	10	70.0	20.0	10.0	—	—

【公立学校、私立学校別】

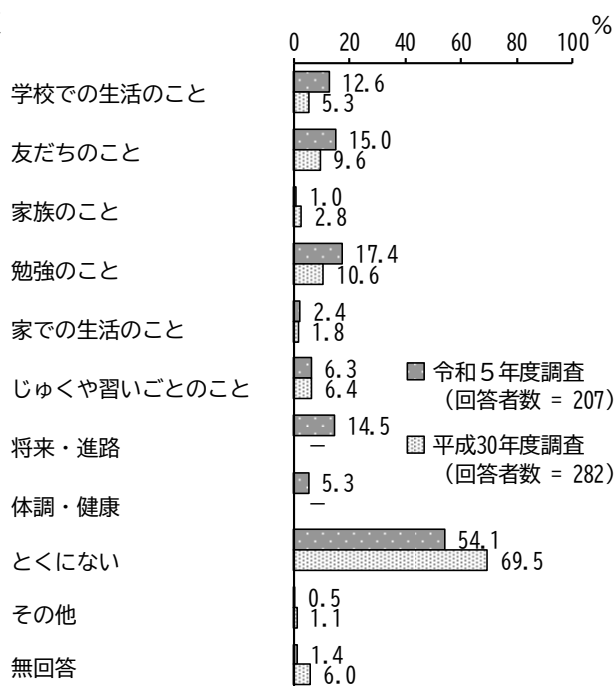
公立学校、私立学校別にみると、私立で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	207	69.6	24.2	3.9	1.9	0.5
芦屋市立	195	69.7	23.6	4.1	2.1	0.5
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	100.0	—	—	—	—
私立	11	63.6	36.4	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—

問 25 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「とくにない」の割合が54.1%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が17.4%、「友だちのこと」の割合が15.0%となっています。



※平成30年度調査では、「将来・進路」「体調・健康」の選択肢はありませんでした。

【世帯の収入別】

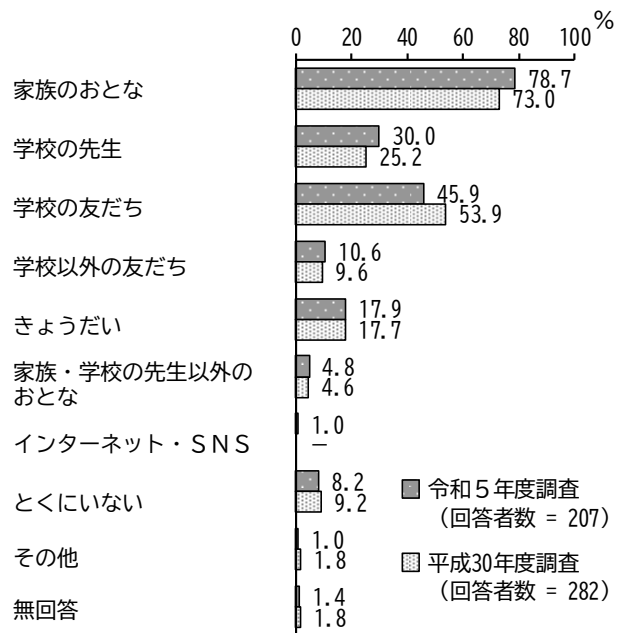
世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「勉強のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	じゅくや習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	とくにない	その他	無回答
全 体	207	12.6	15.0	1.0	17.4	2.4	6.3	14.5	5.3	54.1	0.5	1.4
100万円未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
100～200万円未満	3	-	33.3	-	-	-	-	33.3	33.3	66.7	-	-
200～300万円未満	7	14.3	28.6	-	42.9	-	14.3	42.9	-	42.9	-	-
300～500万円未満	11	18.2	18.2	-	36.4	-	9.1	18.2	9.1	18.2	-	-
500～700万円未満	23	26.1	30.4	-	13.0	4.3	4.3	-	-	56.5	-	4.3
700～1,000万円未満	51	11.8	7.8	-	17.6	3.9	3.9	7.8	7.8	58.8	-	-
1,000～2,000万円未満	63	9.5	14.3	3.2	15.9	3.2	9.5	12.7	6.3	60.3	-	3.2
2,000万円以上	10	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-	60.0	-	-

問 26 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の
中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「家族のおとな」の割合が 78.7%と最も高く、
次いで「学校の友だち」の割合が 45.9%、「学校の先生」の割合が 30.0%となっています。



※平成 30 年度調査では、「インターネット・SNS」の選択肢はありませんでした。

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500 万円未満で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族のおとな	学校の先生	学校の友だち	学校以外の友だち	きょうだい	家族・学校の先生以外のおとな	インターネット・SNS	とくにいない	その他	無回答
全 体	207	78.7	30.0	45.9	10.6	17.9	4.8	1.0	8.2	1.0	1.4
100 万円未満	2	100.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
100 ～200 万円未満	3	100.0	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-
200 ～300 万円未満	7	85.7	42.9	14.3	-	-	-	-	14.3	-	-
300 ～500 万円未満	11	90.9	45.5	54.5	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-
500 ～700 万円未満	23	73.9	26.1	47.8	4.3	17.4	-	-	21.7	-	-
700 ～1,000 万円未満	51	72.5	33.3	41.2	9.8	13.7	5.9	-	11.8	2.0	2.0
1,000 ～2,000 万円未満	63	77.8	31.7	50.8	11.1	23.8	9.5	-	6.3	-	1.6
2,000 万円以上	10	90.0	30.0	30.0	10.0	20.0	-	10.0	-	-	10.0

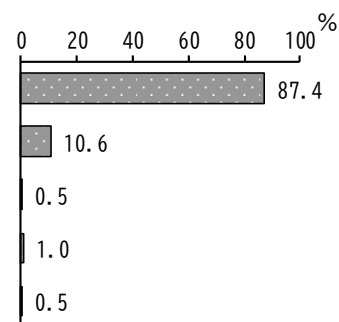
(5) こどもの権利について

問 27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(1つに○)

「そう思う」の割合が 87.4%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 10.6%となっています。

回答者数 = 207

1. そう思う
2. どちらかといえば
そう思う
3. どちらかといえば
そう思わない
4. そう思わない
- 無回答



問 27—1 問 27 で「3. どちらかといえばそう思わない」～「4. ばそう思わない」に○をした人におききします。それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

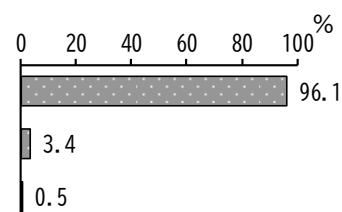
「大人から暴力を振るわれているから」、「自分のことを自分で決められないから」が 1 件となっています。

問 28 あなたは、親や家族の人にあなたの意見を聞いてもらっていますか。(1つに○)

「はい」の割合が 96.1%、「いいえ」の割合が 3.4%となっています。

回答者数 = 207

- はい
- いいえ
- 無回答



問 28—1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「学校での生活のこと」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が 62.8%、「勉強のこと」、「じゅくや習いごとのこと」の割合が 53.6%となっています。

回答者数 = 207

学校での生活のこと

友だちのこと

家族のこと

勉強のこと

家での生活のこと

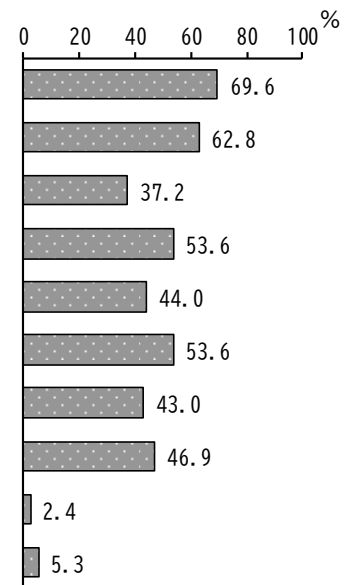
じゅくや習いごとのこと

将来・進路

体調・健康

その他

無回答



聞いてほしい意見では、先生に比べ、親や家族で「じゅくや習いごとのこと」の割合が高くなっています。

学校での生活のこと

友だちのこと

家族のこと

勉強のこと

家での生活のこと

じゅくや習いごとのこと

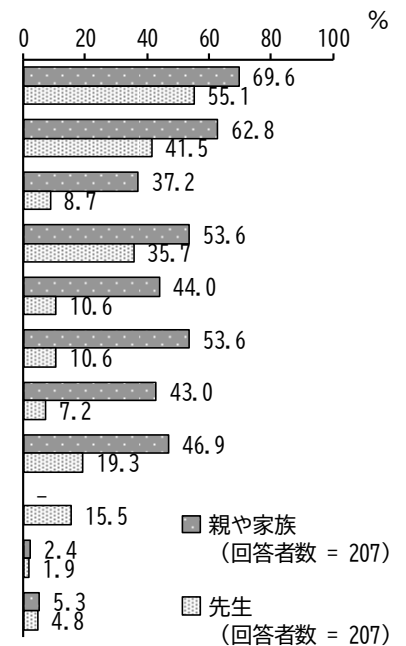
将来・進路

体調・健康

とくにない

その他

無回答



問 28—2 問 28 で「2. いいえ」に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○)

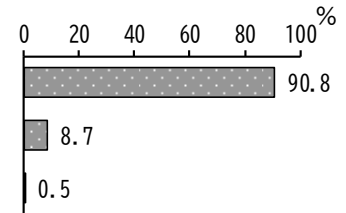
「あきらめた」が 4 件となっています。

問 29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらっていますか。(1つに○)

「はい」の割合が 90.8%、「いいえ」の割合が 8.7%となっています。

回答者数 = 207

はい
いいえ
無回答

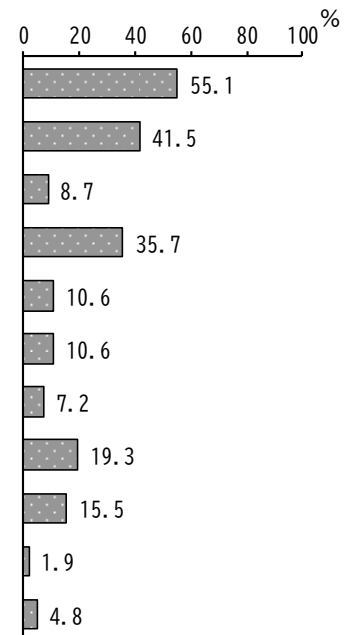


問 29—1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「学校での生活のこと」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「友だちのこと」の割合が 41.5%、「勉強のこと」の割合が 35.7%となっています。

回答者数 = 207

学校での生活のこと
友だちのこと
家族のこと
勉強のこと
家での生活のこと
じゅくや習いごとのこと
将来・進路
体調・健康
とくにな
その他
無回答

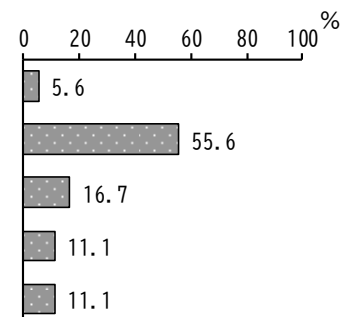


問 29—2 問 29 で「2. いいえ」に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○)

「あきらめた」の割合が 55.6%と最も高く、次いで「他の人に意見を言った」の割合が 16.7%となっています。

回答者数 = 18

引き続き意見を繰り返した
あきらめた
他の人に意見を言った
その他
無回答



問 30 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

「どちらもない」の割合が72.5%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が20.3%となっています。

回答者数 = 207

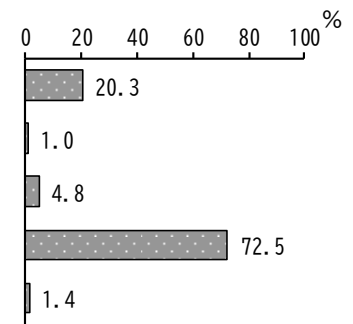
差別や暴力、いじめを受けた

差別や暴力、いじめをした

どちらもある

どちらもない

無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立で「どちらもない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	差別や暴力、いじめを受けた	差別や暴力、いじめをした	どちらもある	どちらもない	無回答
全 体	207	20.3	1.0	4.8	72.5	1.4
芦屋市立	195	21.5	1.0	4.1	71.8	1.5
兵庫県立	—	—	—	—	—	—
国立	1	—	—	—	100.0	—
私立	11	—	—	18.2	81.8	—
その他	—	—	—	—	—	—

問 31 子どもの権利の中で特に大切だと思うことはどれですか。
(最大3つまで○をつけてください。)

「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が56.5%と最も高く、次いで「人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと」の割合が48.8%、「家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと」の割合が34.8%となっています。

回答者数 = 207

人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと

暴力や言葉で傷つけられないこと

家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

自分のことは自分で決められること

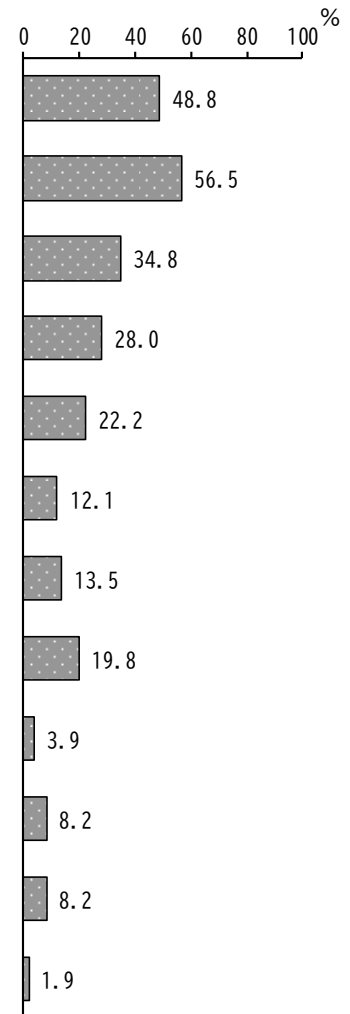
自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

保護者から世話を受けること

無回答

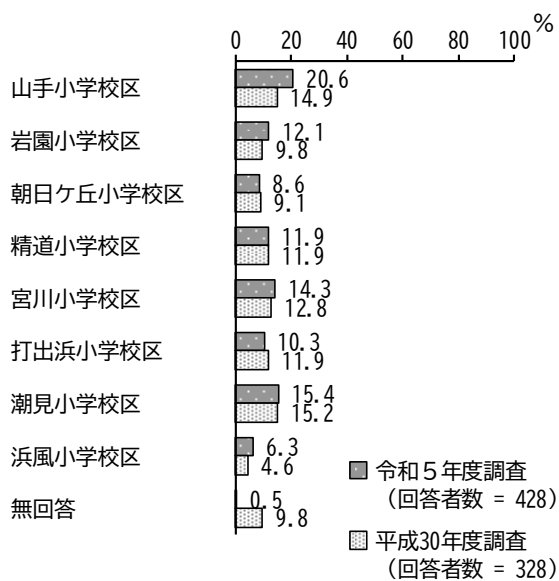


4 中学生保護者

(1) お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

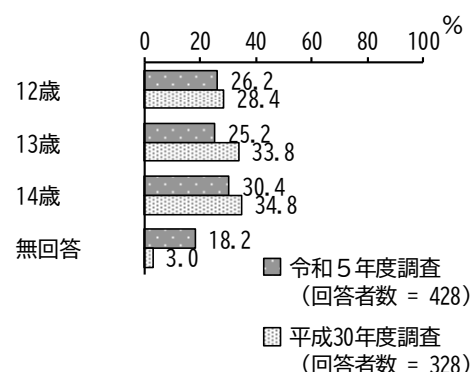
「山手小学校区」の割合が20.6%と最も高く、次いで「潮見小学校区」の割合が15.4%、「宮川小学校区」の割合が14.3%となっています。



(2) 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

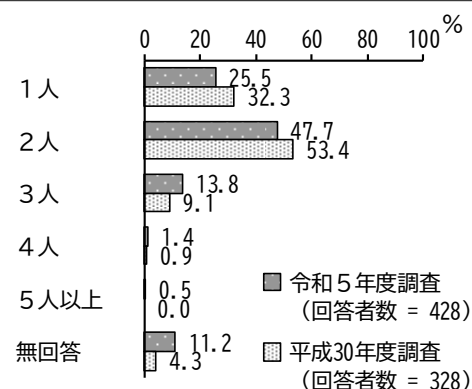
問2 お子さんの生年月をご記入ください。

「14歳」の割合が30.4%と最も高く、次いで「12歳」の割合が26.2%、「13歳」の割合が25.2%となっています。



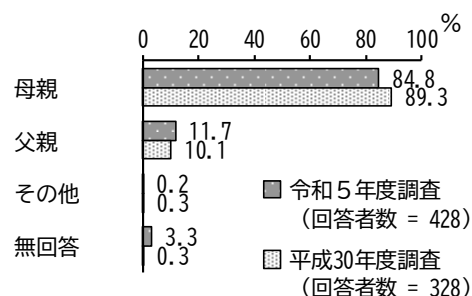
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数をご記入ください。

「2人」の割合が47.7%と最も高く、次いで「1人」の割合が25.5%、「3人」の割合が13.8%となっています。



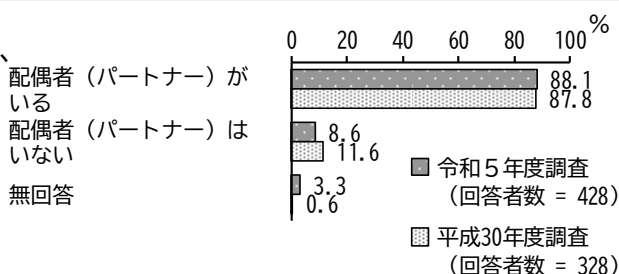
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の割合が84.8%、「父親」の割合が11.7%となっています。



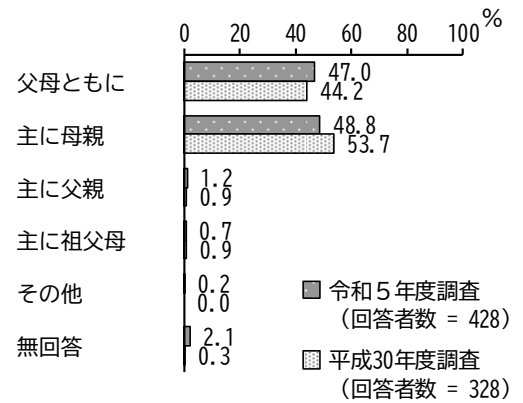
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「配偶者(パートナー)がいる」の割合が88.1%、「配偶者(パートナー)はいない」の割合が8.6%となっています。



問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

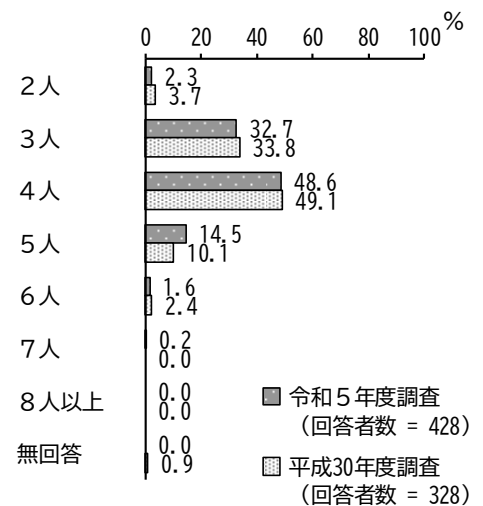
「主に母親」の割合が48.8%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が47.0%となっています。



問7 何人家族ですか。

※単身赴任・入院・入所の方など、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族の人数に含めて回答してください。

「4人」の割合が48.6%と最も高く、次いで「3人」の割合が32.7%、「5人」の割合が14.5%となっています。



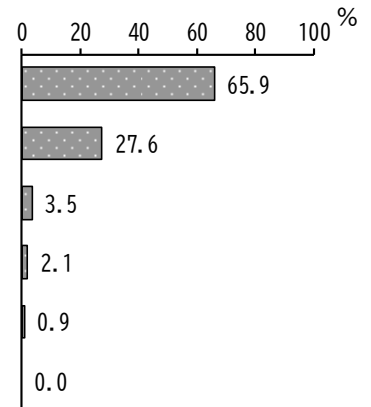
(3) こどもの育ちをめぐる環境について

問8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「楽しいと感じることが多い」の割合が65.9%と最も高く、次いで「楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい」の割合が27.6%となっています。

回答者数 = 428

楽しいと感じることが多い
 楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい
 辛いと感じることが多い
 わからない
 その他
 無回答

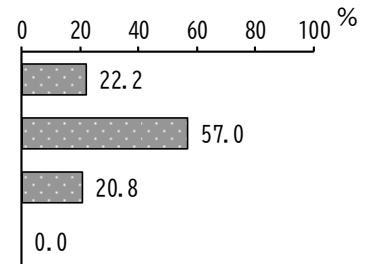


問9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。

「少しある」の割合が57.0%と最も高く、次いで「すごくある」の割合が22.2%、「ほとんどない」の割合が20.8%となっています。

回答者数 = 428

すごくある
 少しある
 ほとんどない
 無回答

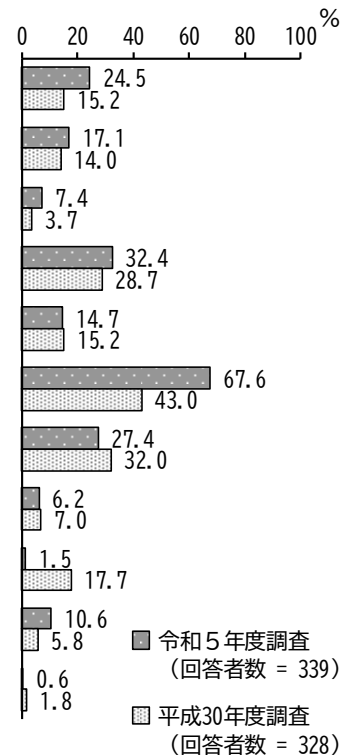


問10 問9で「1. すごくある」「2. 少しある」に○をつけた方にうかがいます。子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) こどもに関すること

「こどもの教育・保育に関すること」の割合が67.6%と最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」の割合が32.4%、「こどもの友だちづきあいに関すること」の割合が27.4%となっています。

病気や発育発達に関する
 こと
 食事や栄養に関する
 こと
 子育て支援サービスの
 こと
 こどものしつけに関する
 こと
 こどもと過ごす時間が十
 分取れないこと
 こどもの教育・保育に関
 すること
 こどもの友だちづきあい
 に関する
 こと
 こどもの登所・登園拒否
 など
 特にな
 い
 その他
 無回答



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「子どもと過ごす時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	拒否など	特になし	その他	無回答
全体	339	24.5	17.1	7.4	32.4	14.7	67.6	27.4	6.2	1.5	10.6	0.6
フルタイム	119	19.3	15.1	5.0	39.5	31.1	71.4	33.6	5.0	0.8	11.8	0.8
パート・アルバイト等	142	26.1	19.0	9.2	25.4	9.2	69.7	23.2	7.0	1.4	10.6	0.7
未就労	69	31.9	17.4	4.3	34.8	—	58.0	24.6	5.8	1.4	7.2	—

【子育てを楽しい・つらいと感じる状況別】

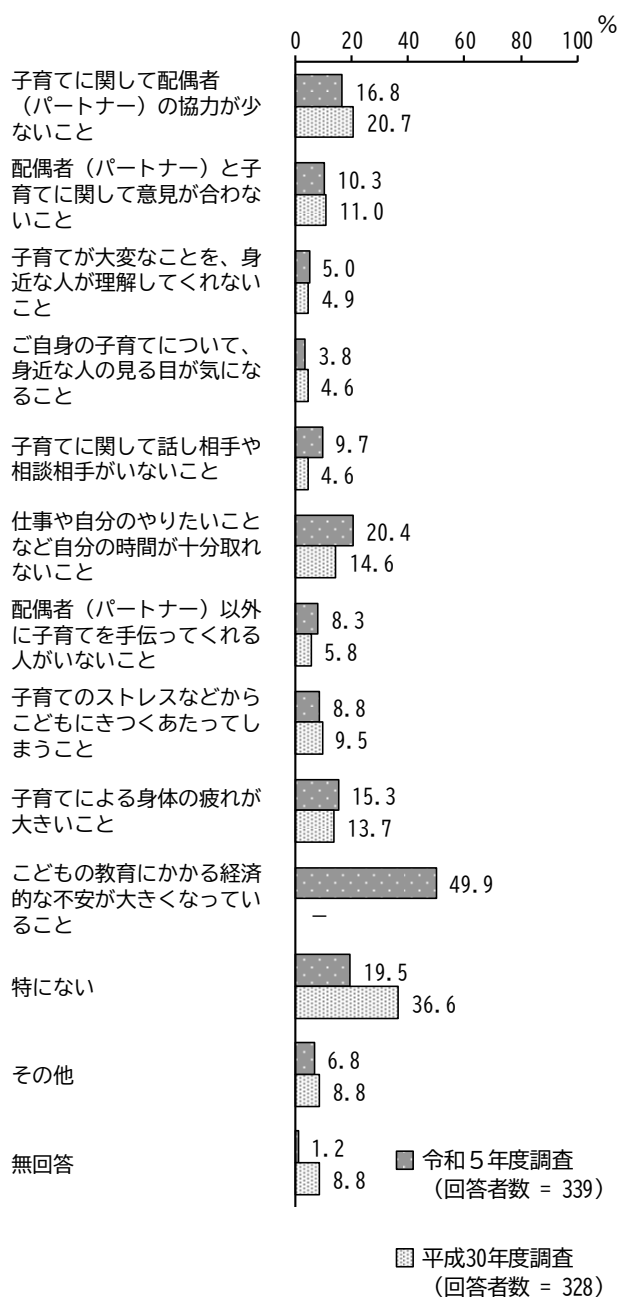
子育てを楽しい・つらいと感じる状況別にみると、辛いと感じることの方が多いで「病気や発育発達に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	病気や発育発達に関すること	食事や栄養に関すること	子育て支援サービスのこと	子どものしつけに関すること	子どもと過ごす時間が十分取れないこと	子どもの教育・保育に関すること	子どもの友だちづきあいに関すること	拒否など	特になし	その他	無回答
全体	339	24.5	17.1	7.4	32.4	14.7	67.6	27.4	6.2	1.5	10.6	0.6
楽しいと感じることが多い	198	18.7	16.7	5.6	26.3	14.1	67.7	25.8	2.0	2.0	11.1	1.0
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい	115	31.3	18.3	11.3	40.9	15.7	67.8	28.7	9.6	0.9	9.6	—
辛いと感じることの方が多い	15	40.0	6.7	6.7	33.3	13.3	73.3	33.3	33.3	—	20.0	—
わからない	8	25.0	—	—	50.0	—	62.5	25.0	—	—	—	—
その他	3	66.7	100.0	—	66.7	66.7	33.3	66.7	33.3	—	—	—

(2) ご自身に関すること

「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が49.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が20.4%、「特にない」の割合が19.5%となっています。



※平成30年度調査では、「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の選択肢はありませんでした。

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、フルタイムで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	自身の子育てについて、身近な人の見目が気になること	子育てに関して話し合いがないこと	仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
全体	339	16.8	10.3	5.0	3.8	9.7	20.4
フルタイム	119	16.8	11.8	4.2	5.0	11.8	29.4
パート・アルバイト等	142	14.1	9.2	4.9	2.8	7.7	17.6
未就労	69	23.2	11.6	5.8	2.9	8.7	11.6

区分	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスなどから、たまにきつくなることがあること	子育てによる身体への疲れが大きいこと	子どもの経済的な不安がかかること	特になし	その他	無回答
全体	8.3	8.8	15.3	49.9	19.5	6.8	1.2
フルタイム	10.1	9.2	16.0	52.9	19.3	5.0	0.8
パート・アルバイト等	8.5	11.3	14.1	53.5	16.2	8.5	0.7
未就労	5.8	2.9	17.4	39.1	26.1	5.8	2.9

【子育てを楽しい・つらいと感じる状況別】

子育てを楽しい・つらいと感じる状況別にみると、辛いと感じることの方が多いで「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が高くなっています。

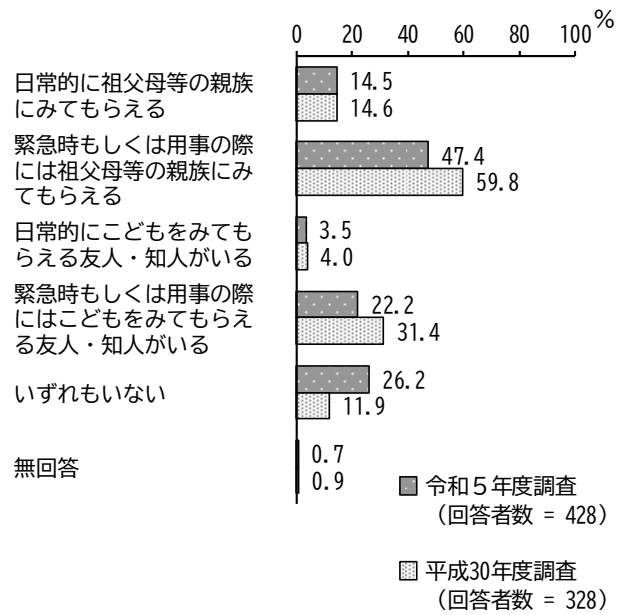
単位：%

区分	回答者数(件)	子育てに関する配偶者(パートナー)の協力が少ないこと	配偶者(パートナー)と子育てに関する意見が合わないこと	子育てが大変なことを、身近な人が理解してくれないこと	ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること	子育てに関する相談相手がいらないこと	仕事や自分のやり取りなどの取れない時間があること
全体	339	16.8	10.3	5.0	3.8	9.7	20.4
楽しいと感じることが多い	198	10.1	7.6	2.0	3.0	9.6	16.7
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい	115	25.2	14.8	8.7	5.2	7.0	27.0
辛いと感じることの方が多い	15	26.7	—	20.0	6.7	26.7	20.0
わからない	8	37.5	12.5	—	—	—	12.5
その他	3	33.3	66.7	—	—	66.7	33.3

区分	配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	子育てのストレスが大きいこと	子育てによる大きな身体への疲れ	経済的な不安が大きいこと	子どもの教育的な不安	特になし	その他	無回答
全体	8.3	8.8	15.3	49.9	19.5	6.8	1.2	
楽しいと感じることが多い	8.6	6.6	8.1	48.0	25.3	7.1	2.0	
楽しいことと辛いことと感じることが同じくらい	7.0	12.2	24.3	53.0	11.3	6.1	—	
辛いと感じることの方が多い	13.3	20.0	46.7	66.7	—	13.3	—	
わからない	12.5	—	12.5	12.5	25.0	—	—	
その他	—	—	—	66.7	33.3	—	—	

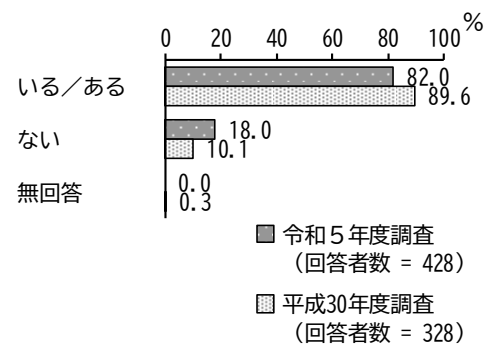
問11 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が47.4%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が26.2%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が22.2%となっています。



問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

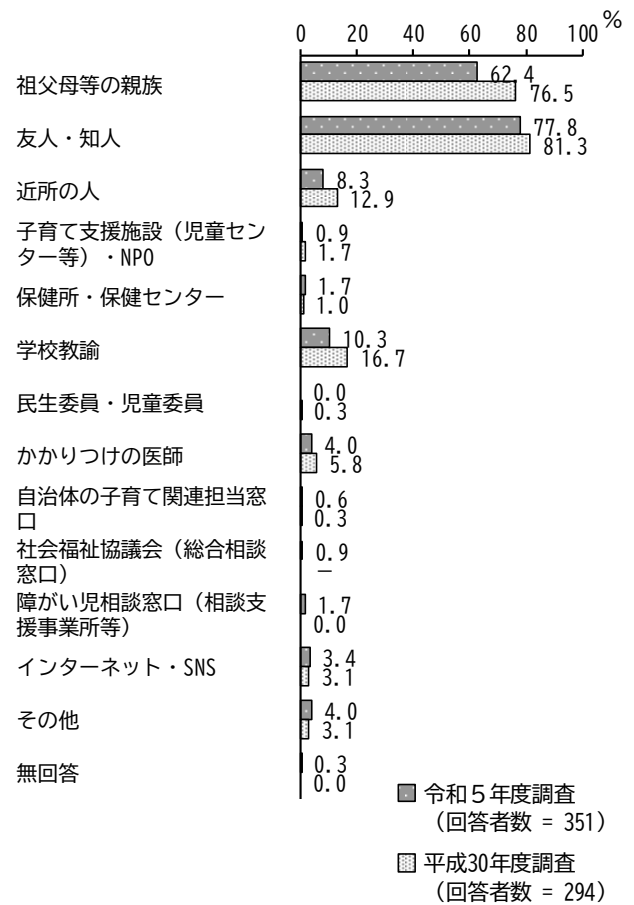
「いる／ある」の割合が82.0%、「ない」の割合が18.0%となっています。



問12-1 問12で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「友人・知人」の割合が77.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が62.4%、「学校教諭」の割合が10.3%となっています。

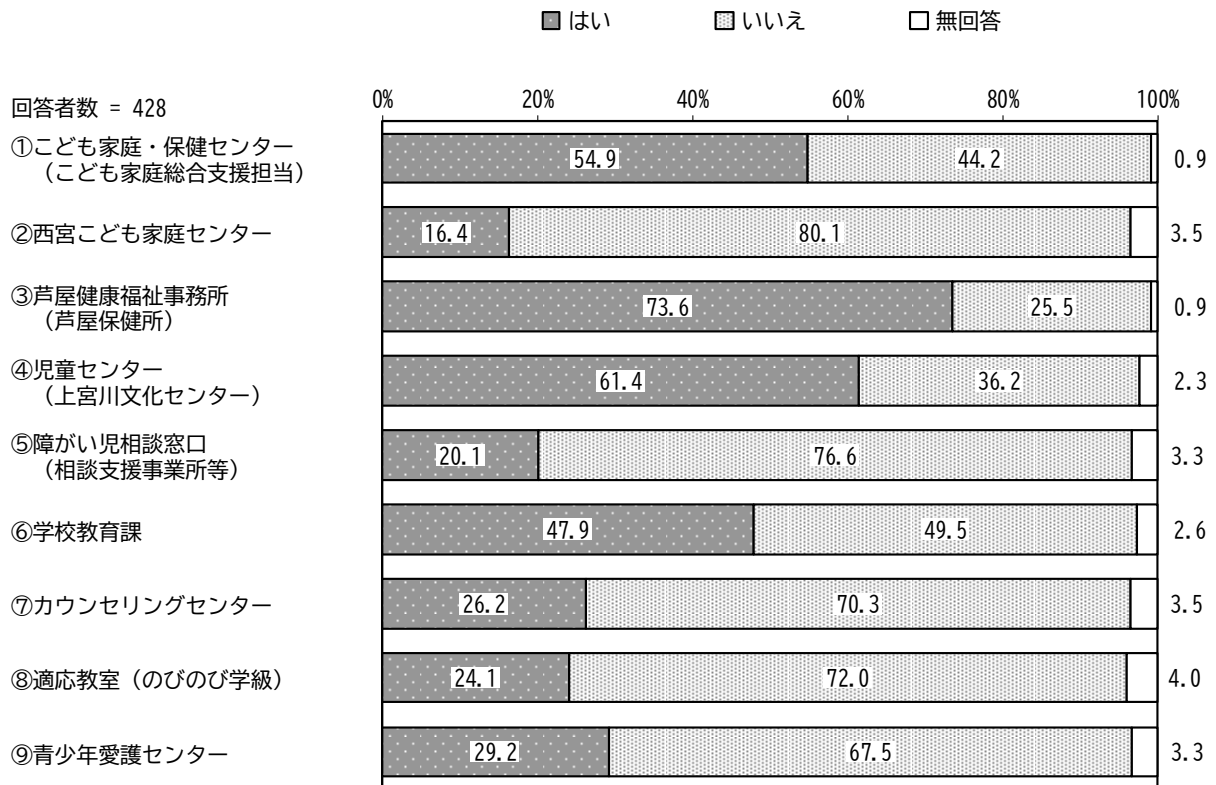


※平成30年度調査では、「社会福祉協議会（総合相談窓口）」の選択肢はありませんでした。

問 13 すべての方に向かがいます。下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

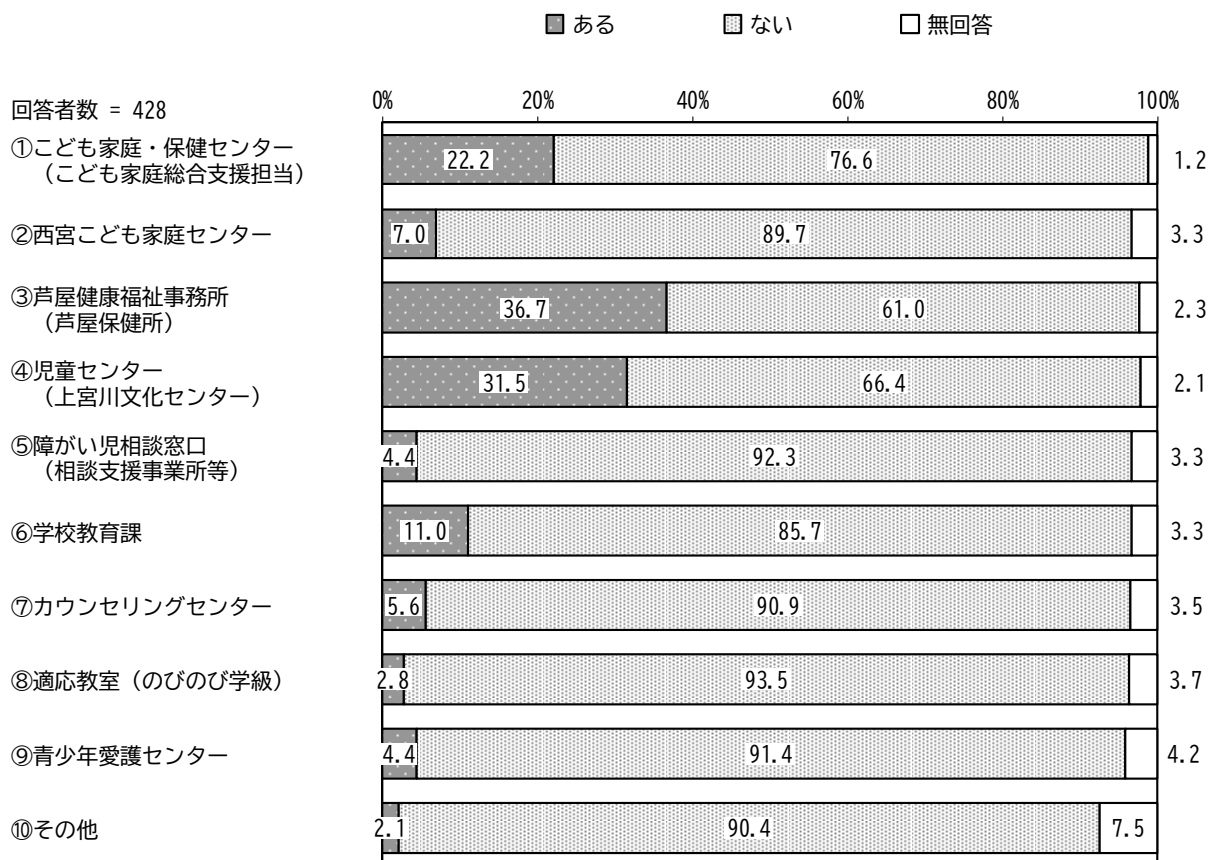
A 認知度

『③芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）』で「はい」の割合が高くなっています。また、『②西宮子ども家庭センター』で「いいえ」の割合が高くなっています。



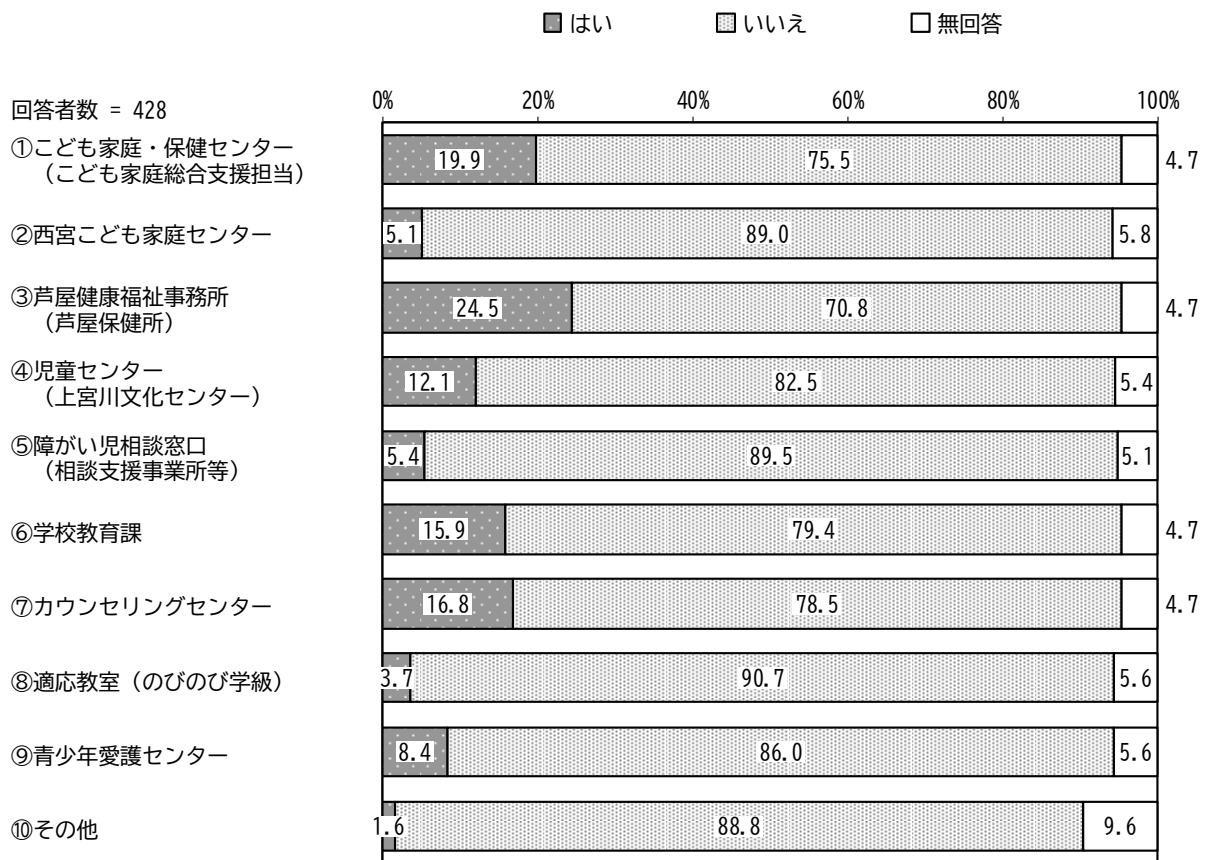
B 利用状況

『③芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）』で「ある」の割合が高くなっています。



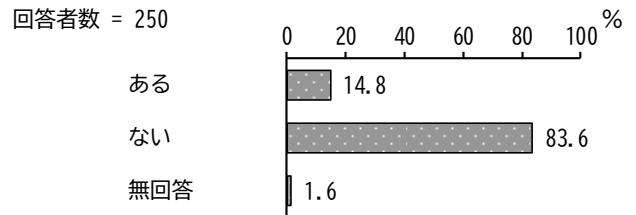
C 利用希望

『③芦屋健康福祉事務所（芦屋保健所）』で「はい」の割合が高くなっています。



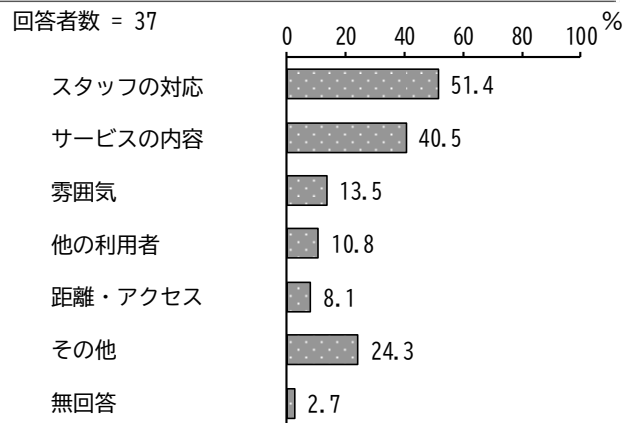
問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「ある」の割合が 14.8%、「ない」の割合が 83.6%となっています。



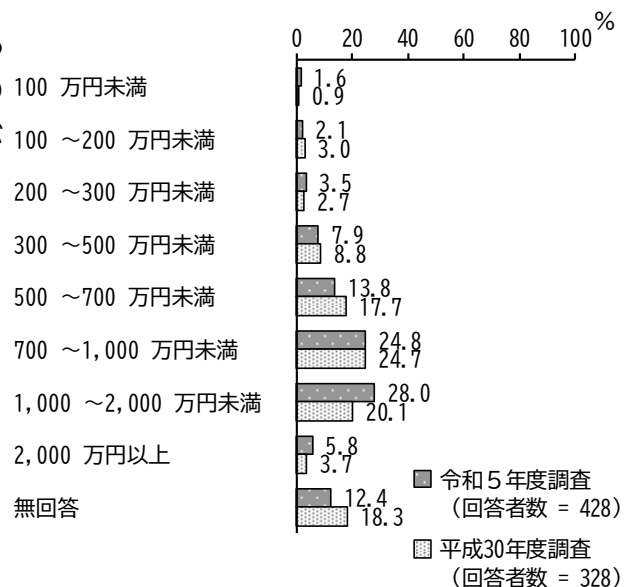
問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「スタッフの対応」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「サービスの内容」の割合が 40.5%、「雰囲気」の割合が 13.5%となっています。



問 14 すべての方にうかがいます。ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

「1,000 ～2,000 万円未満」の割合が 28.0%と最も高く、次いで「700 ～1,000 万円未満」の割合が 24.8%、「500 ～700 万円未満」の割合が 13.8%となっています。

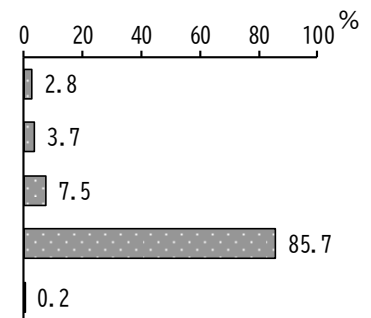


問 15 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が85.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 428

よくあった
ときどきあった
まれにあった
まったくなかった
無回答

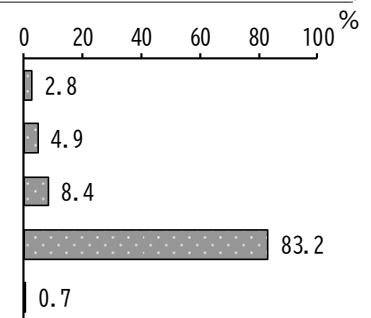


問 16 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「まったくなかった」の割合が83.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 428

よくあった
ときどきあった
まれにあった
まったくなかった
無回答

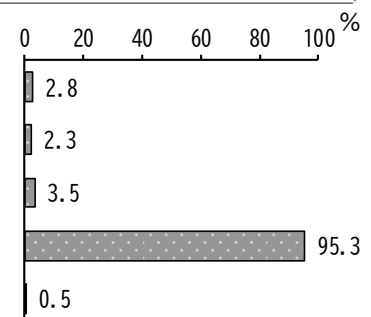


問 17 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「いずれもあてはまらない」の割合が95.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 428

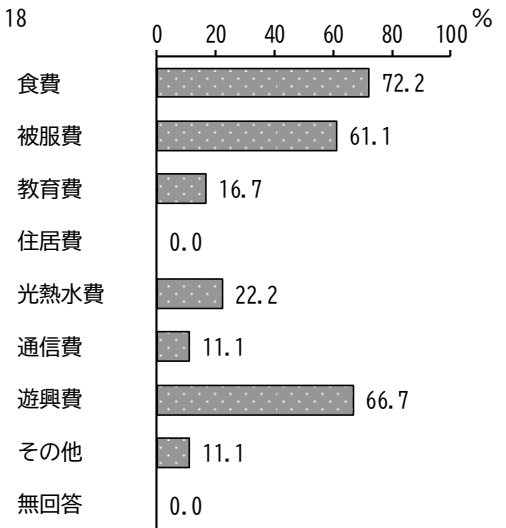
1. 電気料金
2. ガス料金
3. 水道料金
4. いずれもあてはまらない
無回答



問 18 問 17で「1.電気料金」～「3.水道料金」に○をつけた方にうかがいます。あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「食費」の割合が 72.2%と最も高く、次いで「遊興費」の割合が 66.7%、「被服費」の割合が 61.1%となっています。

回答者数 = 18

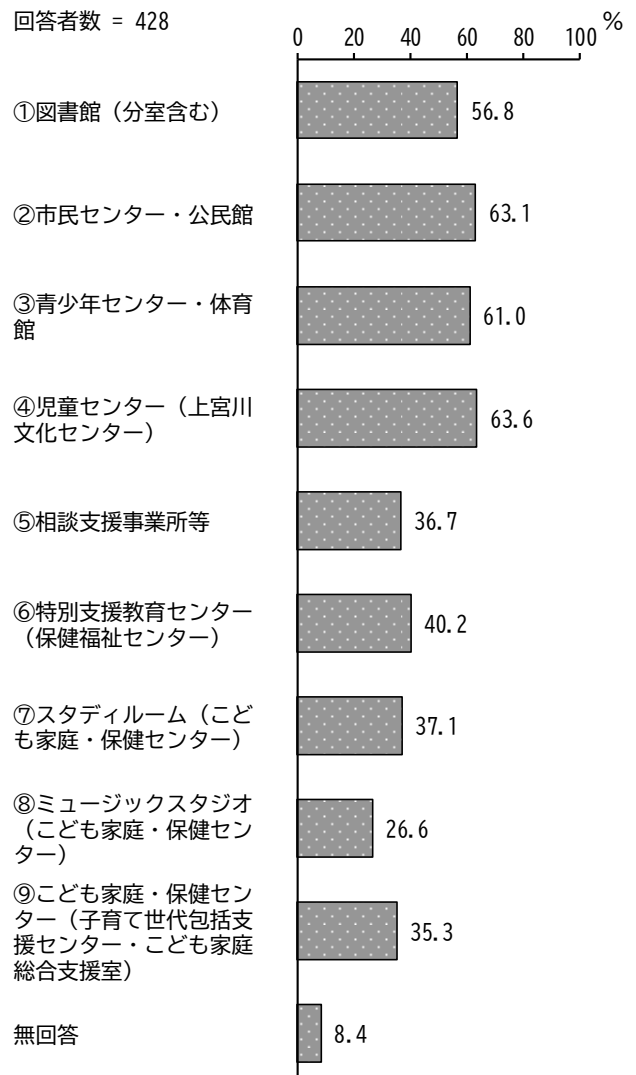


問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、「A 知っている」～「C 今後利用したい」のそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

A 認知度

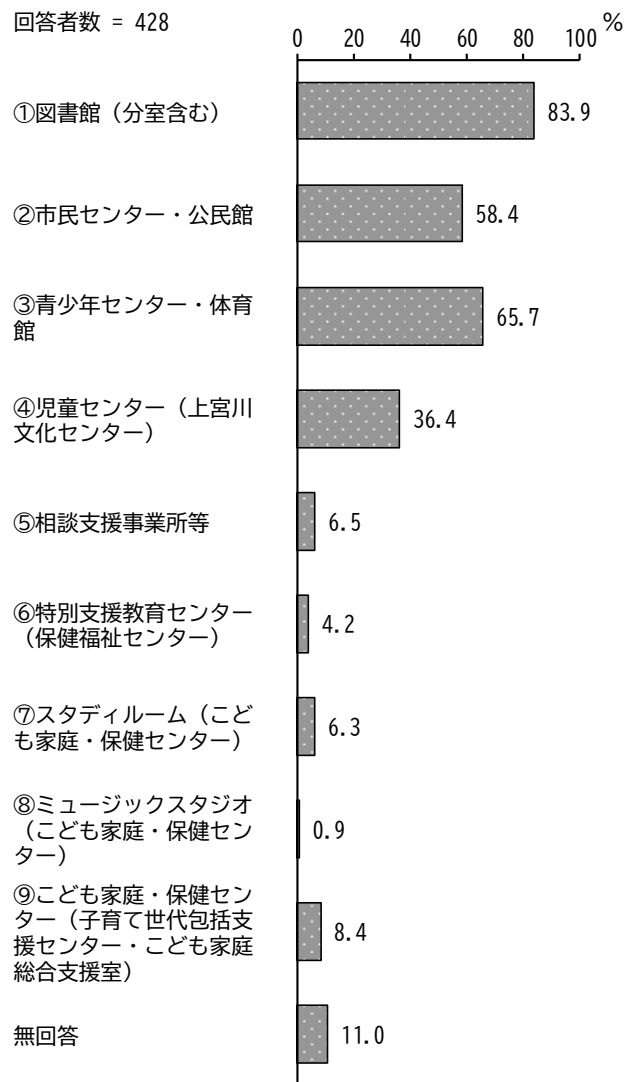
「④児童センター（上宮川文化センター）」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「②市民センター・公民館」の割合が 63.1%、「③青少年センター・体育館」の割合が 61.0%となっています。

回答者数 = 428



B 利用状況

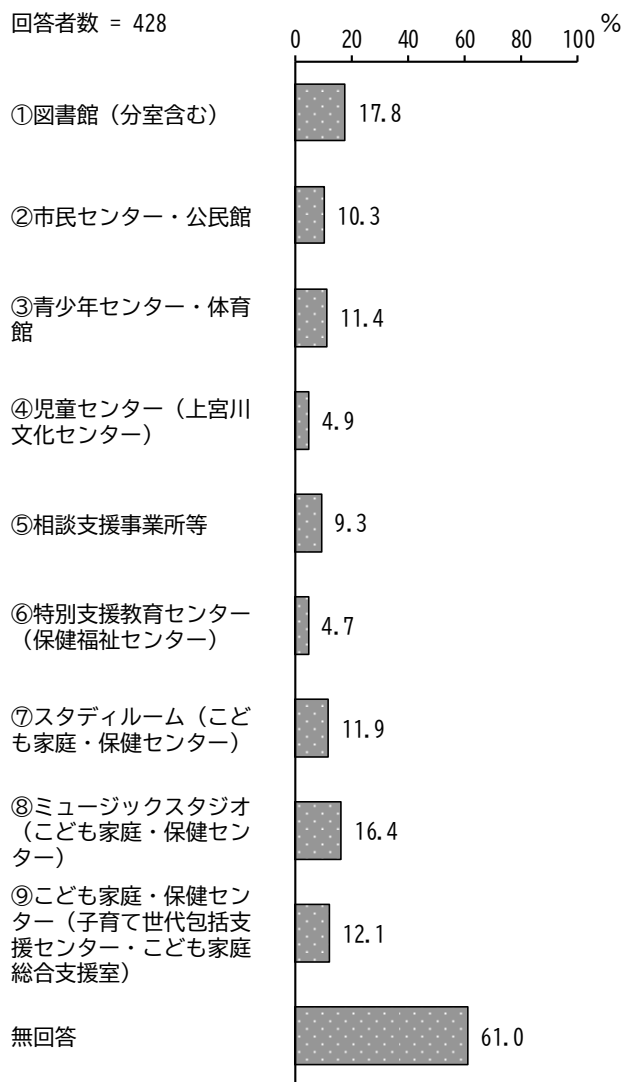
「①図書館（分室含む）」の割合が83.9%と最も高く、次いで「③青少年センター・体育館」の割合が65.7%、「②市民センター・公民館」の割合が58.4%となっています。



C 利用希望

「①図書館（分室含む）」の割合が17.8%と最も高く、次いで「⑧ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）」の割合が16.4%、「⑨こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室）」の割合が12.1%となっています。

回答者数 = 428

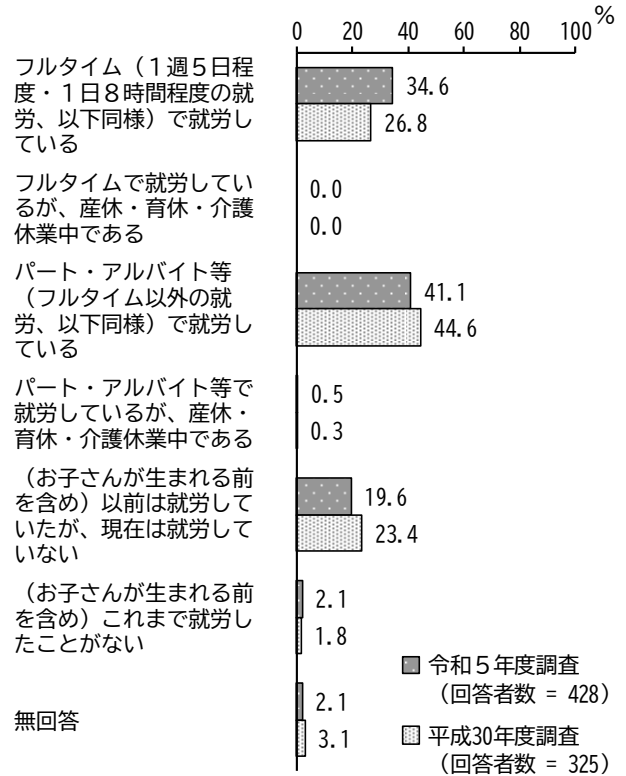


(4) お子さんの保護者の就労状況について

問 20 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している」の割合が41.1%と最も高く、次いで「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が34.6%、「（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が19.6%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、13歳で「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）で就労している	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない	（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない	無回答
全体	428	34.6	—	41.1	0.5	19.6	2.1	2.1
12歳	112	34.8	—	41.1	0.9	20.5	1.8	0.9
13歳	108	33.3	—	48.1	—	14.8	0.9	2.8
14歳	130	36.9	—	36.2	—	21.5	3.1	2.3

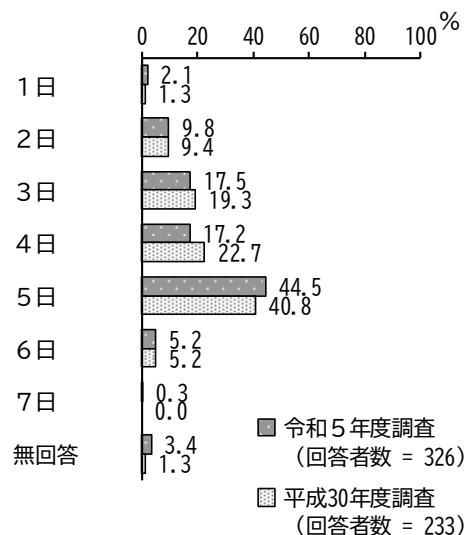
(1) - 1 (1) で「1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労, 以下同様) で就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが, 産休・育休・介護休業中である」(就労している) に○をつけた方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間 (残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

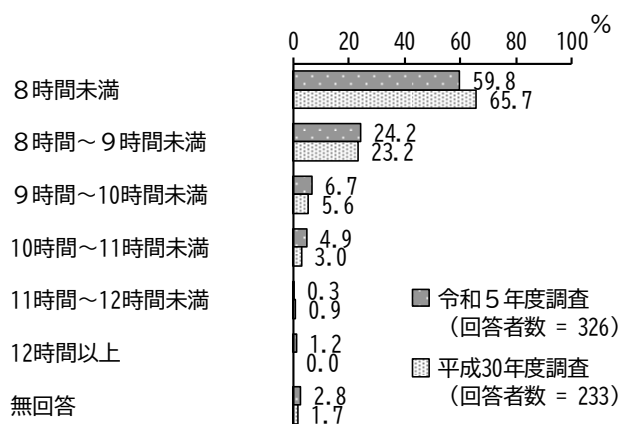
1週当たりの就労日数

「5日」の割合が44.5%と最も高く、次いで「3日」の割合が17.5%、「4日」の割合が17.2%となっています。



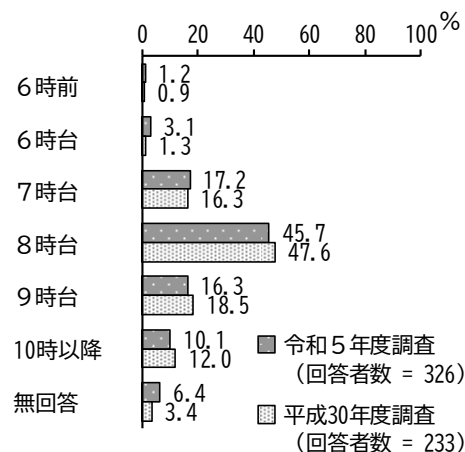
1日当たりの就労時間 (残業時間を含む)

「8時間未満」の割合が59.8%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が24.2%となっています。



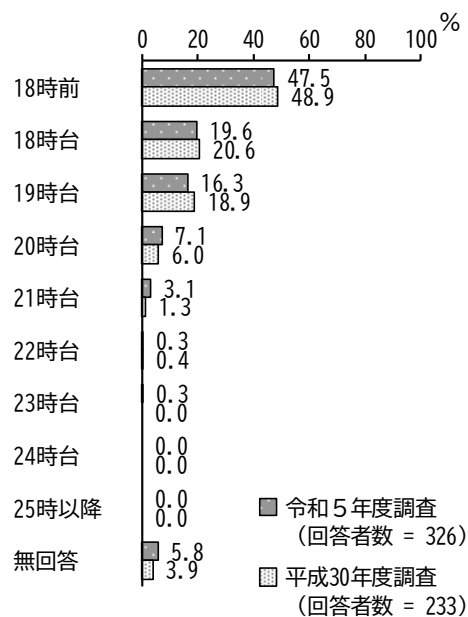
家を出る時間

「8時台」の割合が45.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が17.2%、「9時台」の割合が16.3%となっています。



帰宅時間

「18 時前」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 19.6%、「19 時台」の割合が 16.3%となっています。



(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つを選択してください。

「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が 84.6%と最も高くなっています。

フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している

フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である

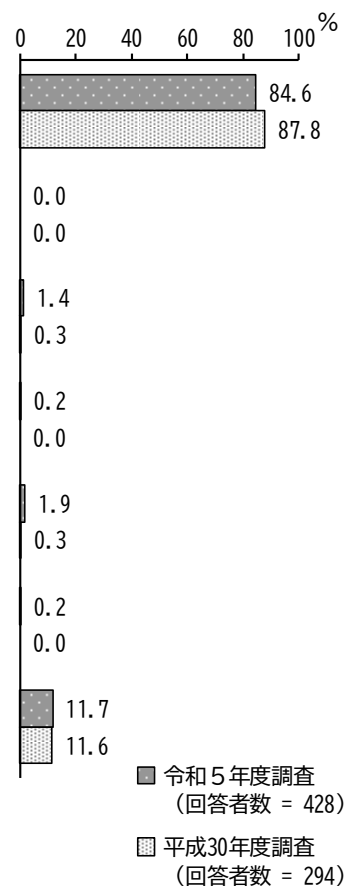
パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している

パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である

（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない

（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない

無回答



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	フルタイム（1週5日程度の就労、1日8時間程度で就労している）	パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	（お子さんが生まれる前を含め）以前は就労していたが、現在は就労していない	（お子さんが生まれる前を含め）これまで就労したことがない	無回答
全体	428	84.6	—	1.4	0.2	1.9	0.2	11.7
12歳	112	87.5	—	—	—	0.9	0.9	10.7
13歳	108	83.3	—	1.9	—	1.9	—	13.0
14歳	130	83.1	—	0.8	0.8	3.1	—	12.3

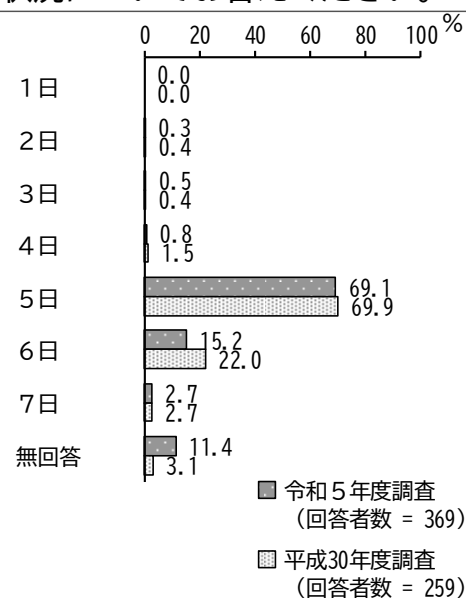
(2) - 1 (2) で「1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している」～「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）に○をつけた方にかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

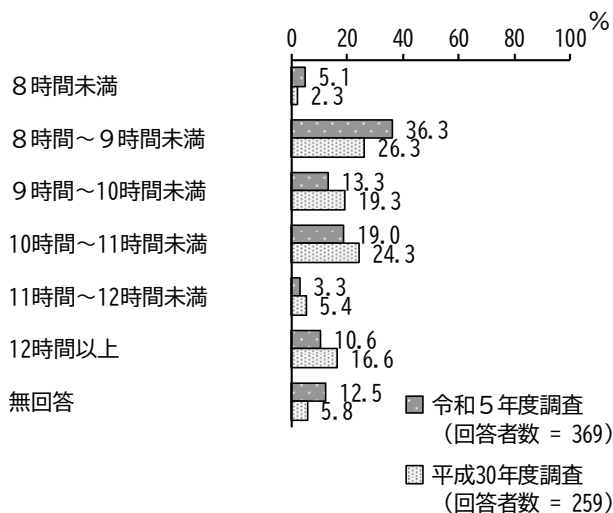
1週当たりの就労日数

「5日」の割合が69.1%と最も高く、次いで「6日」の割合が15.2%となっています。



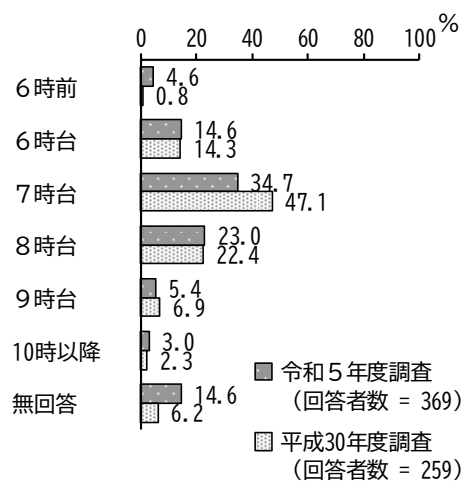
1日当たりの就労時間（残業時間を含む）

「8時間～9時間未満」の割合が36.3%と最も高く、次いで「10時間～11時間未満」の割合が19.0%、「9時間～10時間未満」の割合が13.3%となっています。



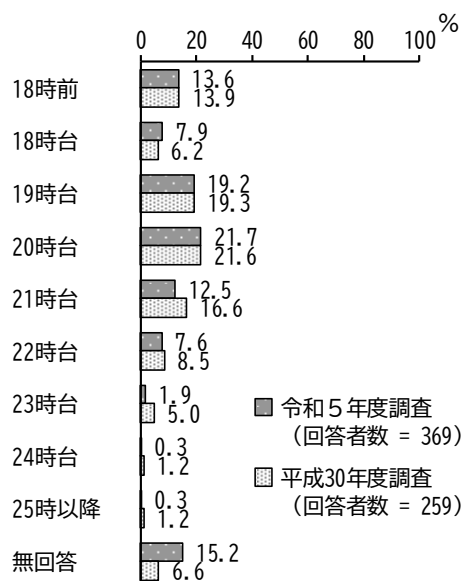
家を出る時間

「7時台」の割合が34.7%と最も高く、次いで「8時台」の割合が23.0%、「6時台」の割合が14.6%となっています。



帰宅時間

「20時台」の割合が21.7%と最も高く、次いで「19時台」の割合が19.2%、「18時台」の割合が13.6%となっています。

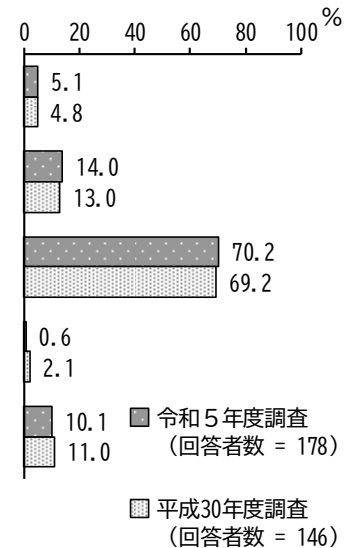


問21 問20の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労, 以下同様)で就労している」「4. パート・アルバイト等で就労しているが, 産休・育休・介護休業中である」に○をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が70.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が14.0%となっています。

フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
無回答



(2) 父親

「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が3件となっています。

問22 問20の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当するには数字をご記入ください。

(1) 母親

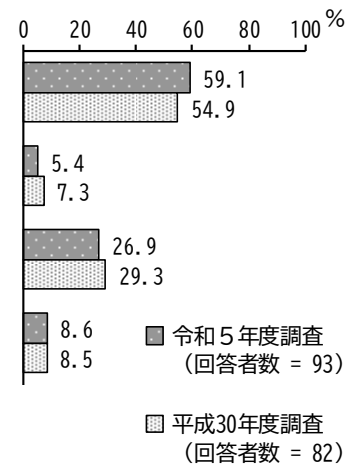
「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が59.1%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が26.9%となっています。

子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)

1年より先、一番下の子どもが何歳になったころに就労したい

すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

無回答



就労したい時期の一番下の子どもの年齢

「18歳以上」が3件となっています。「16歳～17歳」が1件となっています。

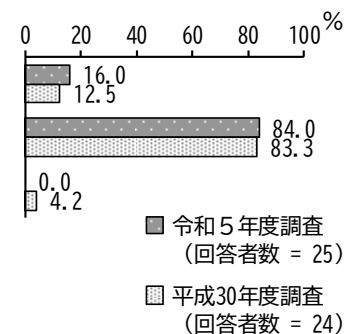
希望する就労形態

「フルタイム」の割合が16.0%、「パート・アルバイト等」の割合が84.0%となっています。

フルタイム

パート・アルバイト等

無回答



パート・アルバイト等 1週当たり希望就労時間

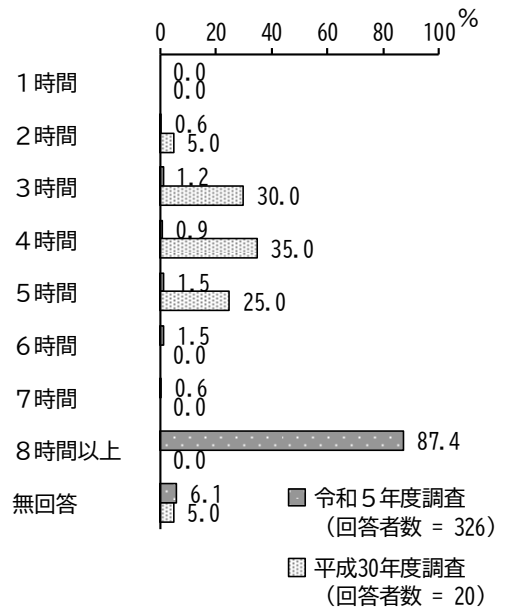
「30 時間以下」の割合が 95.2%と最も高くなっています。

回答者数 = 21



パート・アルバイト等 1日当たり希望就労時間

「8時間以上」の割合が 87.4%と最も高くなっています。



(2) 父親

「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が3件となっています。「1年より先、一番下のこどもが何歳になったところに就労したい」、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

就労したい時期の一番下の子どもの年齢

「16歳～17歳」が1件となっています。

希望する就労形態

「フルタイム」が1件となっています。

パート・アルバイト等 1週当たり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

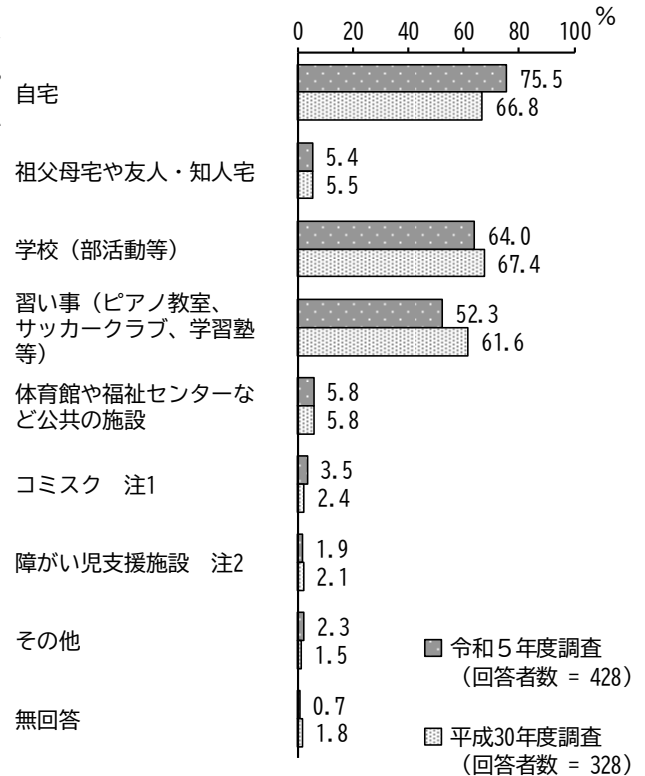
パート・アルバイト等 1日当たり希望就労時間

有効回答がありませんでした。

(5) お子さんの放課後の過ごし方について

問 23 お子さんについて、放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごしていましたか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は()もご記入ください。

「自宅」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「学校(部活動等)」の割合が 64.0%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)」の割合が 52.3%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、全ての年齢で「自宅」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	学校(部活動等)	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	体育館や福祉センターなど公共の施設	コミスク	障がい児支援施設	その他	無回答
全体	428	75.5	5.4	64.0	52.3	5.8	3.5	1.9	2.3	0.7
12歳	112	78.6	5.4	67.9	50.0	4.5	3.6	1.8	2.7	—
13歳	108	70.4	3.7	67.6	49.1	7.4	0.9	2.8	2.8	0.9
14歳	130	76.9	8.5	58.5	55.4	4.6	3.8	1.5	2.3	1.5

【中学校区別】

中学校区別にみると、全ての地区で「自宅」の割合が最も高くなっています。

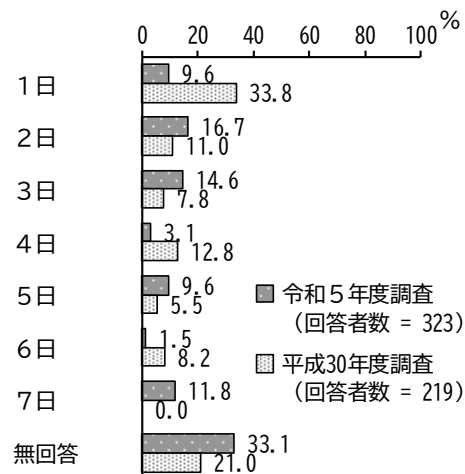
単位：％

区分	回答者数 (件)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	学校(部活動等)	習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)	体育館や福祉センターなど公共の施設	コミスク	障がい児支援施設	その他	無回答
全 体	428	75.5	5.4	64.0	52.3	5.8	3.5	1.9	2.3	0.7
山手	177	73.4	3.4	66.1	55.9	5.1	3.4	1.7	2.3	0.6
精道	156	76.9	6.4	64.1	54.5	6.4	1.9	1.3	1.9	0.6
潮見	93	77.4	7.5	59.1	40.9	5.4	6.5	3.2	3.2	1.1

1 週当たりの利用日数

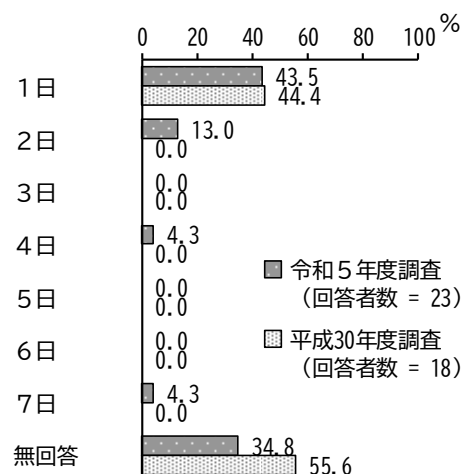
1．自宅

「2日」の割合が16.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が14.6%、「7日」の割合が11.8%となっています。



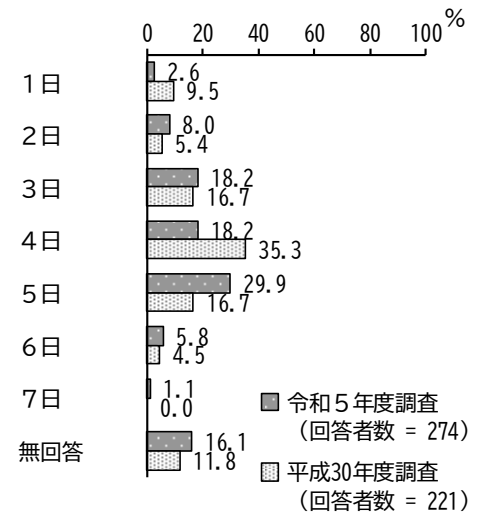
2．祖父母宅や友人・知人宅

「1日」の割合が43.5%と最も高く、次いで「2日」の割合が13.0%となっています。



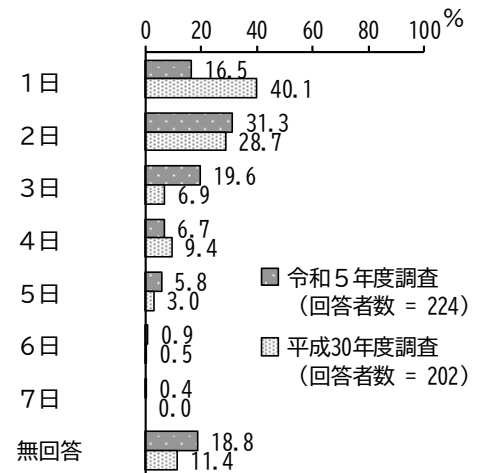
3. 学校（部活動等）

「5日」の割合が29.9%と最も高く、次いで「3日」、「4日」の割合が18.2%となっています。



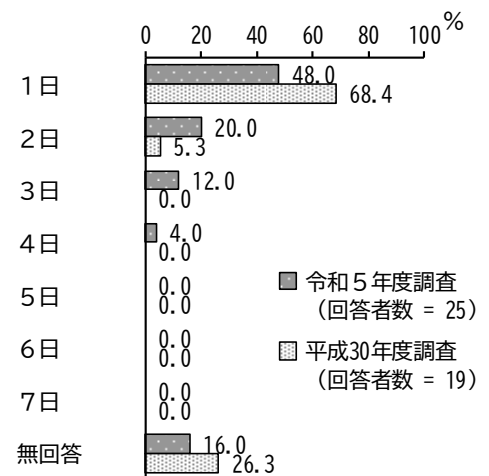
4. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）

「2日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が19.6%、「1日」の割合が16.5%となっています。



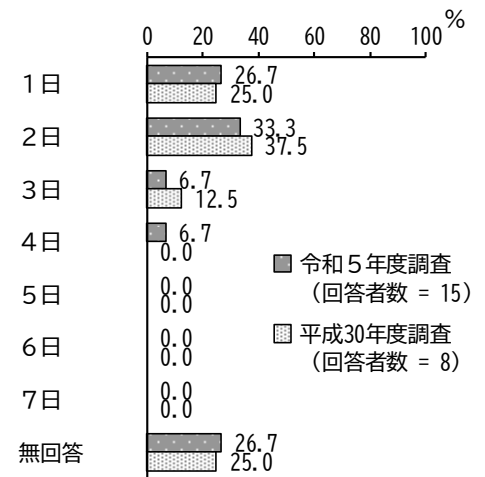
5. 体育館や福祉センターなど公共の施設

「1日」の割合が48.0%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%、「3日」の割合が12.0%となっています。



6. コミスク

「2日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が26.7%となっています。

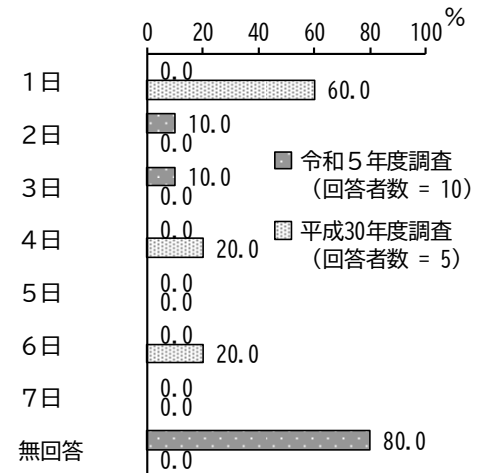


7. 障がい児支援施設

「5日」が2件となっています。「1日」、「2日」、「3日」、「4日」、「7日」が1件となっています。

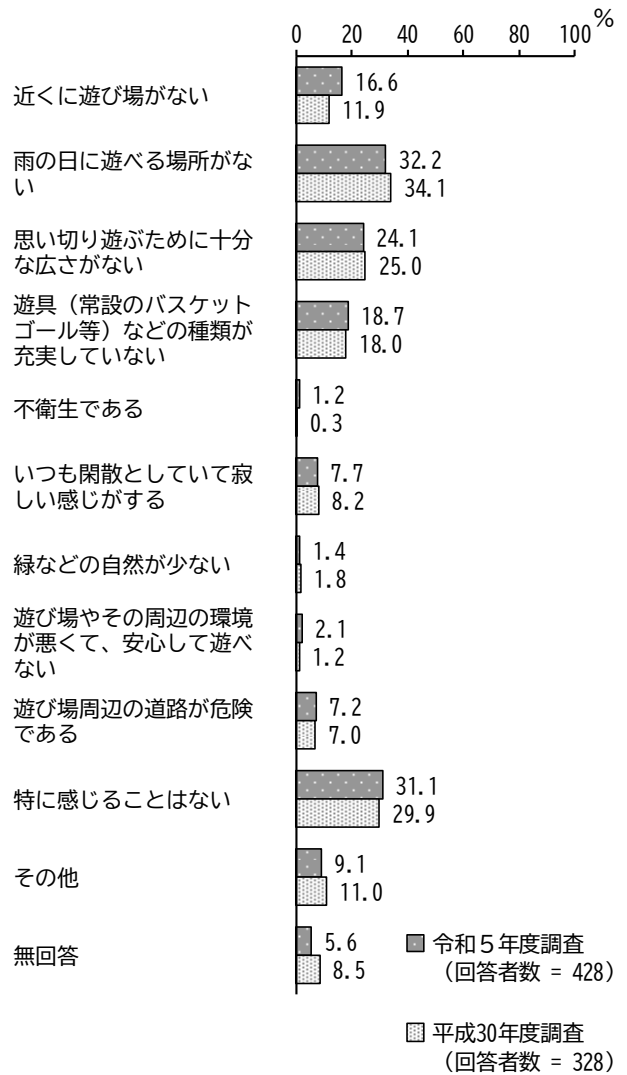
8. その他

「2日」、「3日」の割合が10.0%と最も高くなっています。



問 24 家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「雨の日に遊べる場所がない」の割合が 32.2%と最も高く、次いで「特に感じることはない」の割合が 31.1%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」の割合が 24.1%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別にみると、14歳で「特に感じることはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶために十分な広さがな	遊具(常設のバスケットボール等)などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散として寂しい感じがする
全体	428	16.6	32.2	24.1	18.7	1.2	7.7
12歳	112	17.9	37.5	24.1	23.2	0.9	5.4
13歳	108	14.8	37.0	21.3	15.7	1.9	9.3
14歳	130	13.8	25.4	25.4	16.2	—	6.9

区分	緑などの自然が少ない	遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	遊び場周辺の道路が危険である	特に感じることはない	その他	無回答
全体	1.4	2.1	7.2	31.1	9.1	5.6
12歳	1.8	1.8	8.0	27.7	12.5	6.3
13歳	—	2.8	7.4	27.8	6.5	6.5
14歳	0.8	0.8	5.4	41.5	10.8	3.1

【中学校区別】

中学校区別にみると、精道で「特に感じることはない」の割合が高くなっています。

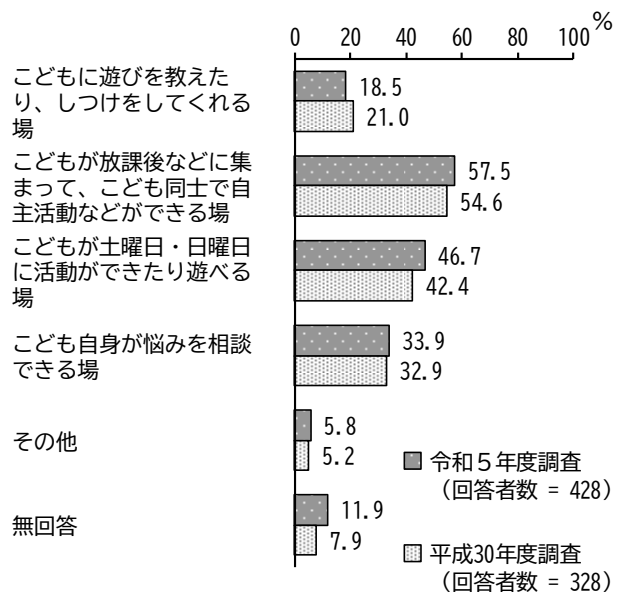
単位：％

区分	回答者数(件)	近くに遊び場がない	雨の日に遊べる場所がない	思い切り遊ぶための十分な広さが足りない	遊具(常設のバスケットゴール等)などの種類が充実していない	不衛生である	いつも閑散として寂しい感じがする
全体	428	16.6	32.2	24.1	18.7	1.2	7.7
山手	177	22.0	33.3	29.4	24.3	0.6	10.2
精道	156	12.2	32.1	25.0	15.4	2.6	4.5
潮見	93	12.9	31.2	12.9	12.9	—	8.6

区分	緑などの自然が少ない	遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	遊び場周辺の道路が危険である	特に感じることはない	その他	無回答
全体	1.4	2.1	7.2	31.1	9.1	5.6
山手	1.1	2.8	7.9	20.9	8.5	6.2
精道	2.6	1.9	10.3	38.5	7.1	4.5
潮見	—	1.1	1.1	37.6	12.9	6.5

問 25 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場」の割合が57.5%と最も高く、次いで「子どもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場」の割合が46.7%、「子ども自身が悩みを相談できる場」の割合が33.9%となっています。



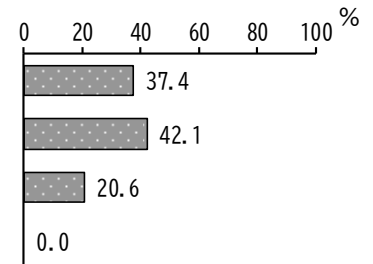
(6) こどもの権利について

問 26 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「名前は知っているが内容は知らなかった」の割合が42.1%と最も高く、次いで「名前も内容も知っている」の割合が37.4%、「知らなかった」の割合が20.6%となっています。

回答者数 = 428

名前も内容も知っている
名前は知っているが内容は知らなかった
知らなかった
無回答

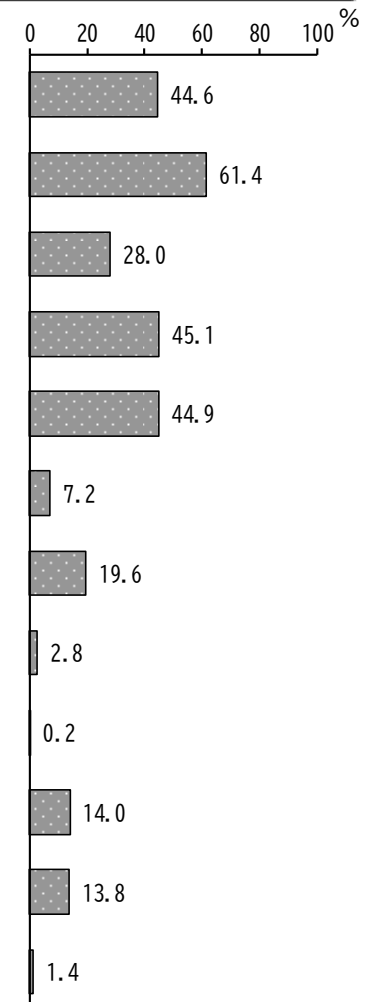


問 27 こどもの権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください。)

「暴力や言葉で傷つけないこと」の割合が61.4%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が45.1%、「人と違う自分らしさが認められること」の割合が44.9%となっています。

回答者数 = 428

人種、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
暴力や言葉で傷つけないこと
家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
自分の考えを自由に言えること
人と違う自分らしさが認められること
自分の秘密が守られること
自分のことは自分で決められること
自由な時間をもつこと
自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
保護者から世話をされること(食事、洗濯他)
無回答

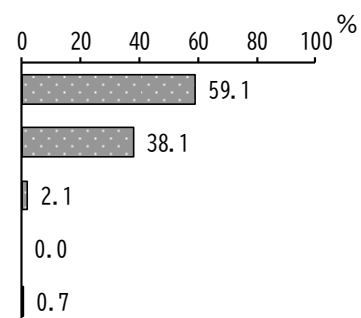


問 28 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「常にしている」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「ときどきしている」の割合が 38.1%となっています。

回答者数 = 428

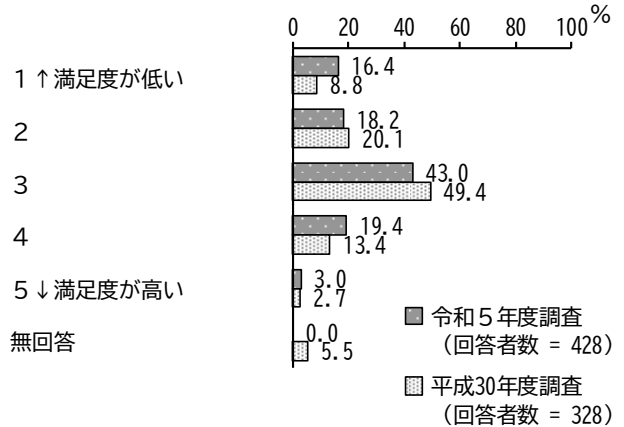
常にしている
ときどきしている
あまりしていない
まったくしたことがない
無回答



(7) 芦屋市の今後の子育て施策について

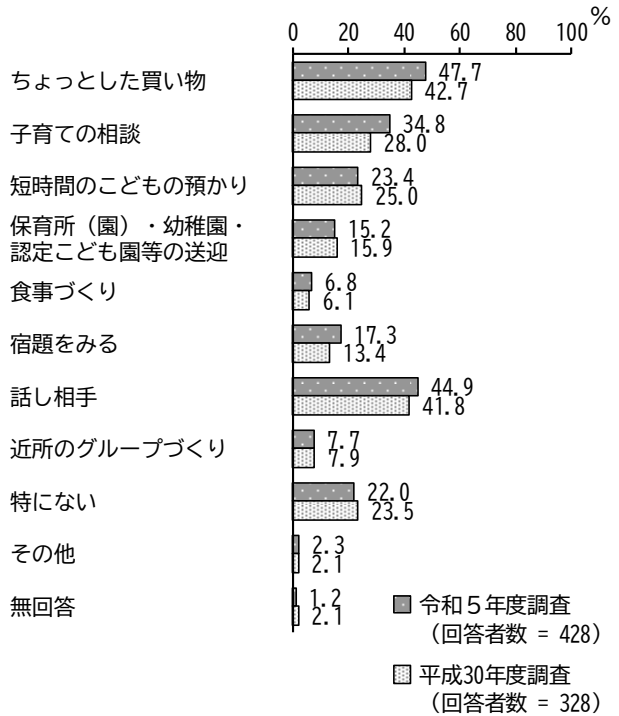
問 29 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

「3」の割合が43.0%と最も高く、次いで「4」の割合が19.4%、「2」の割合が18.2%となっています。



問 30 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思いますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「ちょっとした買い物」の割合が47.7%と最も高く、次いで「話し相手」の割合が44.9%、「子育ての相談」の割合が34.8%となっています。



問 31 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「家事、育児の負担が大きい」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「子どもと過ごす時間が短い」の割合が 42.3%、「子どもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない」の割合が 16.4%となっています。

回答者数 = 428

子どもと過ごす時間が短い

家事、育児の負担が大きい

子どもがいない同僚など職場での理解不足

子どもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない

保育園、病児保育等の施設不足

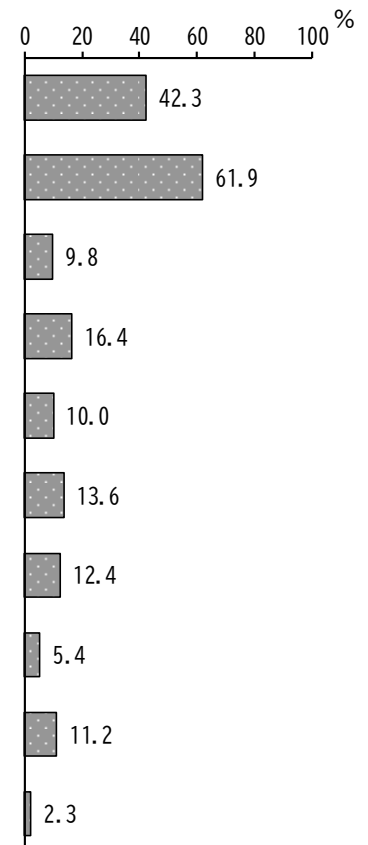
配偶者との関係性

希望する職務に就けない

その他

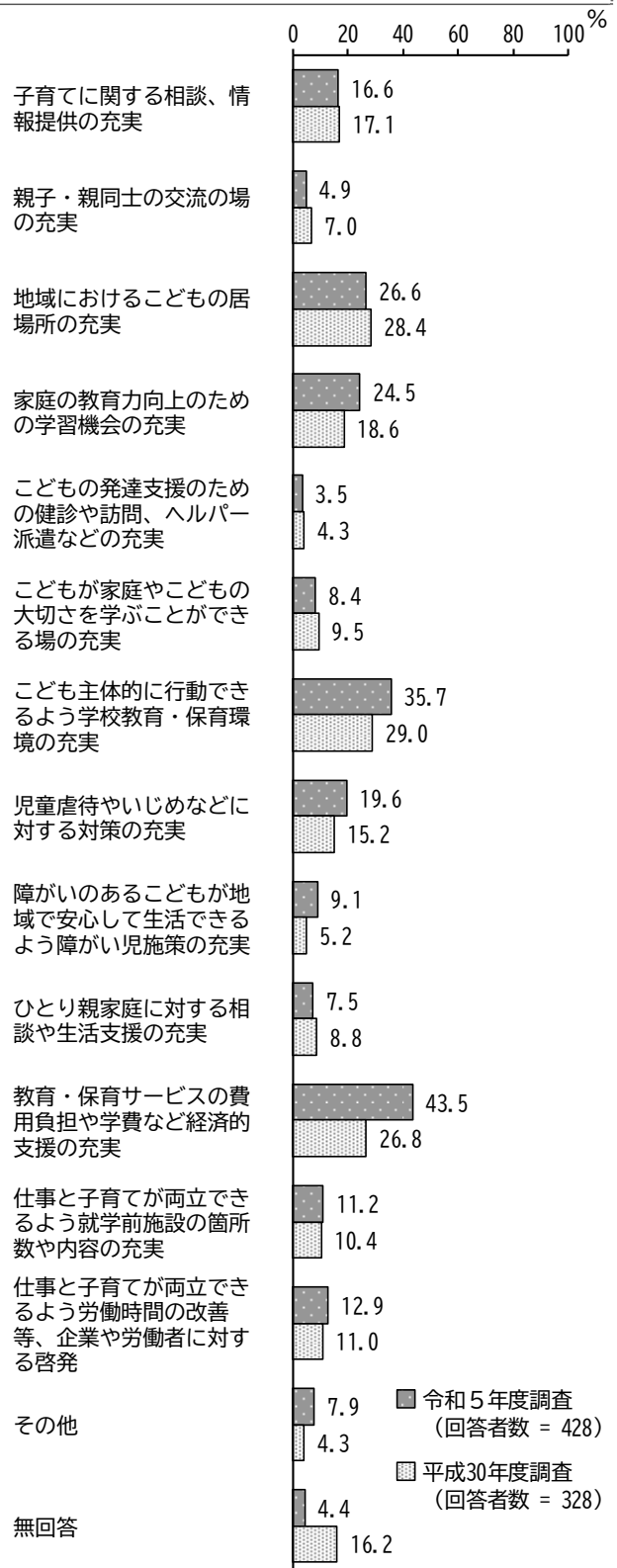
特になし

無回答



問 32 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が43.5%と最も高く、次いで「子ども主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が35.7%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が26.6%となっています。



【母親の就労状況別】

母親の就労状況別にみると、未就労で「児童虐待やいじめなどに対する対策の充実」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、情報提供の充実	親子・親同士の交流の場の充実	地域におけるこどもの居場所の充実	家庭の教育力向上のための学習機会の充実	こどもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実	こどもが家庭やこども園の大切さを学ぶことができる場の充実	こども主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実
全体	428	16.6	4.9	26.6	24.5	3.5	8.4	35.7
フルタイム	148	18.9	4.7	29.7	23.6	4.1	10.1	35.8
パート・アルバイト等	178	11.8	5.1	22.5	27.5	2.2	6.7	36.0
未就労	93	21.5	5.4	30.1	20.4	4.3	8.6	36.6

区分	児童虐待やいじめなどに対する対策の充実	障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施策の充実	ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実	仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	その他	無回答
全体	19.6	9.1	7.5	43.5	11.2	12.9	7.9	4.4
フルタイム	16.9	8.8	7.4	43.2	16.9	14.9	8.1	3.4
パート・アルバイト等	16.9	6.2	7.3	50.0	10.7	12.4	9.6	3.4
未就労	30.1	14.0	6.5	33.3	4.3	11.8	5.4	6.5

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、200～300万円未満で「子育てに関する相談、情報提供の充実」の割合が高くなっています。

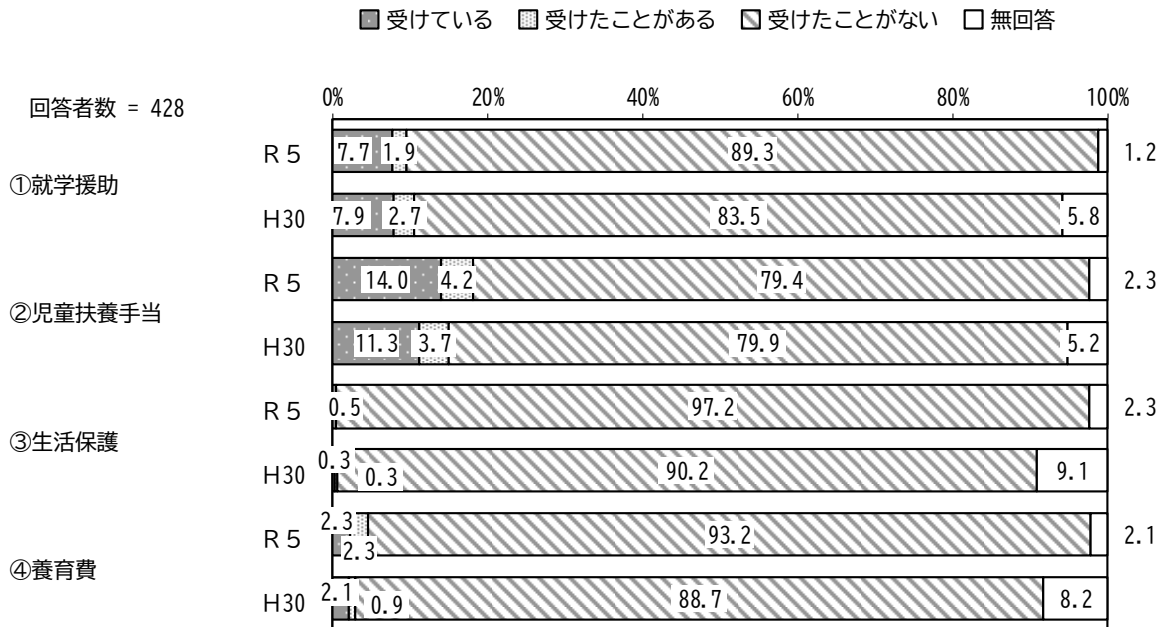
単位：％

区分	回答者数(件)	子育てに関する相談、 情報提供の充実	親子・親同士の交流の 場の充実	地域におけるこどもの 居場所の充実	家庭の教育力向上のた めの学習機会の充実	こどもの発達支援のた めの健診や訪問、ヘル パー派遣などの充実	こどもが家庭やこども の大切さを学ぶことが できる場の充実	こども主体的に行動で きるよう学校教育・保 育環境の充実
全 体	428	16.6	4.9	26.6	24.5	3.5	8.4	35.7
100万円未満	7	—	—	14.3	—	14.3	—	14.3
100～200万円未満	9	—	—	11.1	44.4	11.1	11.1	22.2
200～300万円未満	15	40.0	—	20.0	20.0	—	6.7	26.7
300～500万円未満	34	11.8	2.9	41.2	35.3	5.9	11.8	32.4
500～700万円未満	59	16.9	8.5	16.9	30.5	1.7	10.2	47.5
700～1,000万円未満	106	22.6	4.7	29.2	22.6	3.8	4.7	32.1
1,000～2,000万円未満	120	11.7	6.7	25.0	25.8	2.5	7.5	35.8
2,000万円以上	25	20.0	4.0	40.0	16.0	8.0	20.0	48.0

区分	児童虐待やいじめなど に対する対策の充実	障がいのあるこどもが 地域で安心して生活で きるよう障がい児施策 の充実	ひとり親家庭に対する 相談や生活支援の充実	教育・保育サービスの 費用負担や学費など経 済的支援の充実	仕事と子育てが両立で きるよう就学前施設の 箇所数や内容の充実	仕事と子育てが両立で きるよう労働時間の改 善等、企業や労働者に 対する啓発	その他	無回答
全 体	19.6	9.1	7.5	43.5	11.2	12.9	7.9	4.4
100万円未満	42.9	14.3	42.9	71.4	—	—	—	14.3
100～200万円未満	44.4	11.1	44.4	33.3	—	22.2	—	—
200～300万円未満	6.7	20.0	46.7	46.7	—	13.3	6.7	—
300～500万円未満	8.8	5.9	8.8	55.9	17.6	8.8	2.9	2.9
500～700万円未満	13.6	5.1	5.1	54.2	8.5	11.9	6.8	—
700～1,000万円未満	18.9	9.4	5.7	46.2	7.5	17.0	8.5	3.8
1,000～2,000万円未満	23.3	7.5	2.5	44.2	15.8	11.7	10.0	2.5
2,000万円以上	24.0	12.0	8.0	16.0	20.0	16.0	16.0	—

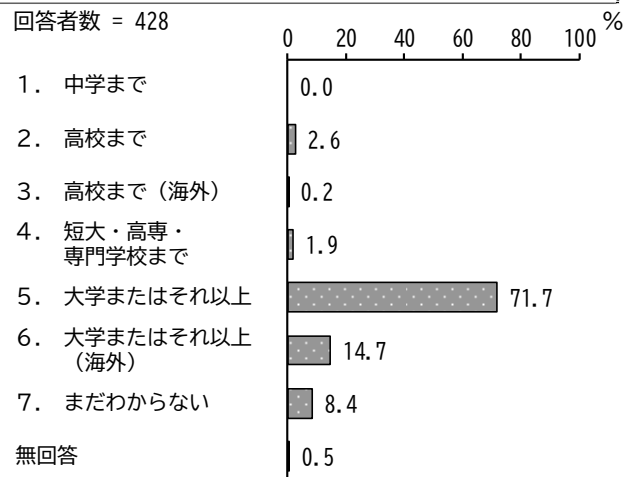
問 33 過去1年間に、次の手当や援助などを受けたことがありますか。①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

『②児童扶養手当』で「受けている」の割合が高くなっています。



問 34 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか(留学を含む)。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「大学またはそれ以上」の割合が71.7%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上(海外)」の割合が14.7%となっています。



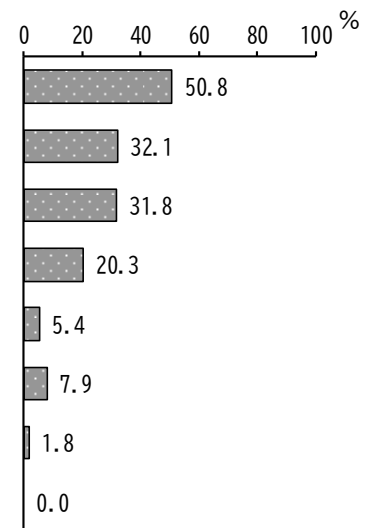
問 35 問 34 で「1. 中学まで」～「6. 大学またはそれ以上（海外）」に○をつけた方
にうかがいます。

その理由は何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「お子さんがそう希望しているから」の割合が
50.8%と最も高く、次いで「お子さんが幸せにな
れると思うから」の割合が 32.1%、「一般的な進
路だと思うから」の割合が 31.8%となっていま
す。

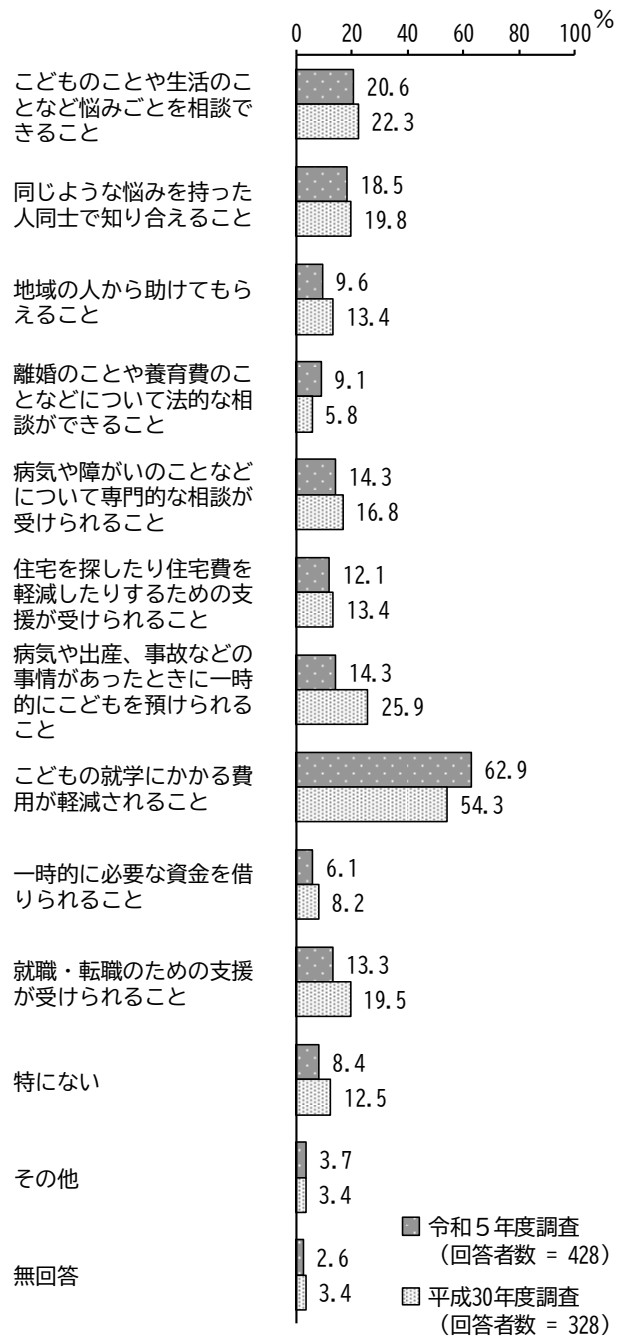
回答者数 = 390

お子さんがそう希望して
いるから
お子さんが幸せになれる
と思うから
一般的な進路だと思うか
ら
お子さんの学力から考え
て
家庭の経済的な状況から
考えて
その他
特に理由はない
無回答



問 36 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等は何のようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「こどもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が62.9%と最も高く、次いで「こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」の割合が20.6%、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」の割合が18.5%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「こどもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	同じような悩みを持った人同士で知り合えること	地域の人から助けをもらえること	離婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること	病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること	住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
全 体	428	20.6	18.5	9.6	9.1	14.3	12.1
100 万円未満	7	14.3	—	—	—	14.3	28.6
100 ～200 万円未満	9	33.3	11.1	—	22.2	11.1	44.4
200 ～300 万円未満	15	33.3	26.7	—	13.3	33.3	40.0
300 ～500 万円未満	34	23.5	20.6	17.6	11.8	14.7	8.8
500 ～700 万円未満	59	23.7	13.6	10.2	13.6	16.9	15.3
700 ～1,000 万円未満	106	25.5	17.9	9.4	5.7	11.3	6.6
1,000 ～2,000 万円未満	120	14.2	20.0	7.5	10.0	12.5	10.8
2,000 万円以上	25	8.0	20.0	16.0	—	12.0	8.0

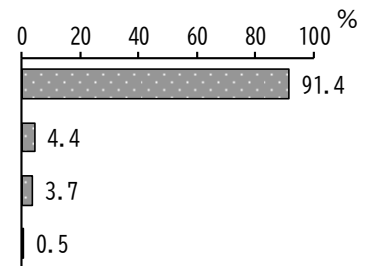
区分	病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること	こどもの就学にかかる費用が軽減されること	一時的に必要な資金を借りられること	就職・転職のための支援が受けられること	特にない	その他	無回答
全 体	14.3	62.9	6.1	13.3	8.4	3.7	2.6
100 万円未満	—	71.4	—	14.3	—	—	—
100 ～200 万円未満	—	77.8	33.3	33.3	—	—	—
200 ～300 万円未満	13.3	73.3	13.3	33.3	—	6.7	—
300 ～500 万円未満	17.6	88.2	5.9	11.8	2.9	2.9	2.9
500 ～700 万円未満	11.9	69.5	6.8	8.5	6.8	1.7	1.7
700 ～1,000 万円未満	8.5	64.2	7.5	13.2	6.6	4.7	1.9
1,000 ～2,000 万円未満	15.8	56.7	2.5	15.8	10.0	3.3	2.5
2,000 万円以上	24.0	36.0	4.0	8.0	16.0	8.0	—

問 37 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「言葉も内容も知っている」の割合が91.4%と最も高くなっています。

回答者数 = 428

言葉も内容も知っている
言葉は聞いたことがある
知らない
無回答

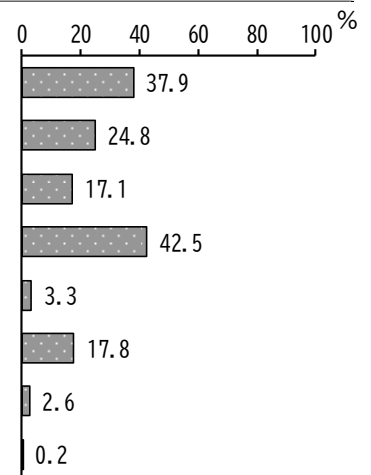


問 38 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「関係機関に相談する」の割合が42.5%と最も高く、次いで「本人に様子を聞く」の割合が37.9%、「家族、知人、友人に相談する」の割合が24.8%となっています。

回答者数 = 428

本人に様子を聞く
家族、知人、友人に相談する
先生や部活の顧問等に相談する
関係機関に相談する
何もしない
わからない
その他
無回答

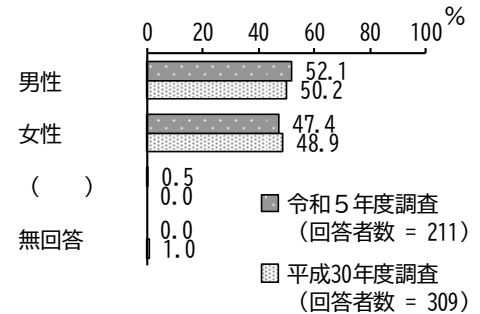


5 中学生本人

(1) あなたのふだんの生活について

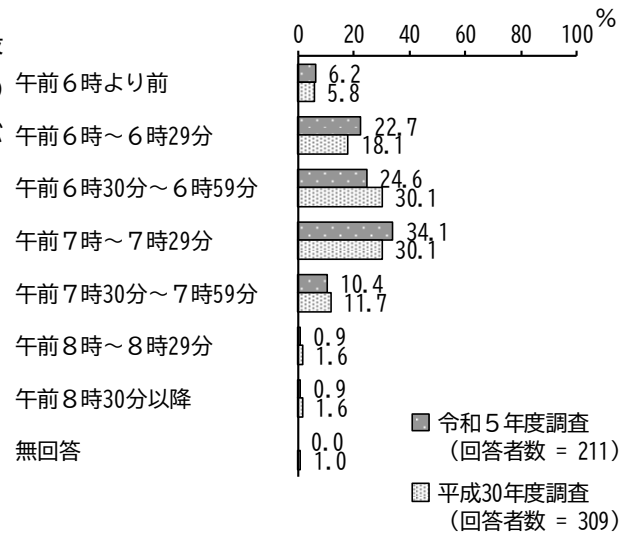
問1 あなたが自身が思う性別をお答えください。(1つに○)

「男性」の割合が 52.1%、「女性」の割合が 47.4%となっています。



問2 あなたは学校がある日はだいたい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

「午前7時～7時29分」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「午前6時30分～6時59分」の割合が 24.6%、「午前6時～6時29分」の割合が 22.7%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、1,000～2,000万円未満で「午前6時～6時29分」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	午前6時より前	分 午前6時～6時29	時59分 午前6時30分～6	分 午前7時～7時29	時59分 午前7時30分～7	分 午前8時～8時29	午前8時30分以降	無回答
全 体	211	6.2	22.7	24.6	34.1	10.4	0.9	0.9	—
100万円未満	5	—	40.0	—	40.0	20.0	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	—	—	66.7	—	—	—	—
200～300万円未満	6	—	16.7	16.7	50.0	16.7	—	—	—
300～500万円未満	17	—	29.4	29.4	23.5	17.6	—	—	—
500～700万円未満	24	8.3	12.5	16.7	41.7	12.5	8.3	—	—
700～1,000万円未満	59	6.8	16.9	23.7	40.7	10.2	—	1.7	—
1,000～2,000万円未満	52	5.8	44.2	17.3	25.0	5.8	—	1.9	—
2,000万円以上	10	—	10.0	30.0	50.0	10.0	—	—	—

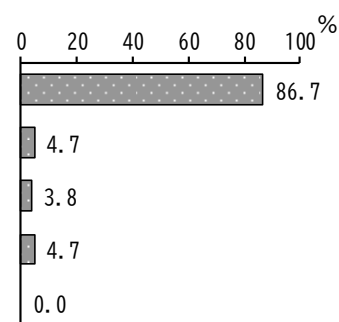
問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

「週6日以上食べる」の割合が86.7%と最も高くなっています。

回答者数 = 211

1. 週6日以上食べる
2. 週4～5日は食べる
3. 週2～3日は食べる
4. ほとんど食べない

無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「週6日以上食べる」の割合が最も高くなっています。

単位：％

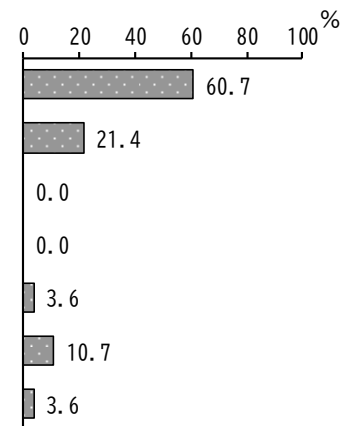
区分	回答者数(件)	週6日以上食べる	週4～5日は食べる	週2～3日は食べる	ほとんど食べない	無回答
全体	211	86.7	4.7	3.8	4.7	—
100万円未満	5	80.0	20.0	—	—	—
100～200万円未満	3	100.0	—	—	—	—
200～300万円未満	6	66.7	—	—	33.3	—
300～500万円未満	17	70.6	11.8	5.9	11.8	—
500～700万円未満	24	79.2	12.5	—	8.3	—
700～1,000万円未満	59	88.1	1.7	6.8	3.4	—
1,000～2,000万円未満	52	94.2	—	3.8	1.9	—
2,000万円以上	10	90.0	10.0	—	—	—

問4 問3で「2. 週4～5日は食べる」～「4. ほとんど食べない」に○をした人におききます。あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのはなぜですか。
(1つに○)

「食べる時間がないから」の割合が60.7%と最も高く、次いで「食べたくないから(食欲がないから)」の割合が21.4%となっています。

回答者数 = 28

- 食べる時間がないから
- 食べたくないから(食欲がないから)
- 太りたくないから
- 朝ごはんの用意がないから
- おうちの人も朝ごはんを食べていないから
- その他
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	食べる時間がないから	食べたくないから (食欲がないから)	太りたくないから	朝ごはんの用意がないから	おうちの人も朝ごはんを 食べていないから	その他	無回答
全 体	28	60.7	21.4	—	—	3.6	10.7	3.6
100 万円未満	1	100.0	—	—	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—
200 ～300 万円未満	2	50.0	—	—	—	50.0	—	—
300 ～500 万円未満	5	40.0	40.0	—	—	—	—	20.0
500 ～700 万円未満	5	80.0	—	—	—	—	20.0	—
700 ～1,000 万円未満	7	57.1	42.9	—	—	—	—	—
1,000 ～2,000 万円未満	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—
2,000 万円以上	1	100.0	—	—	—	—	—	—

問5 あなたは歯みがきをどのくらいしますか。(1つに○)

「1日2回以上歯みがきをする」の割合が65.4%と最も高く、次いで「1日1回歯みがきをする」の割合が29.9%となっています。

回答者数 = 211

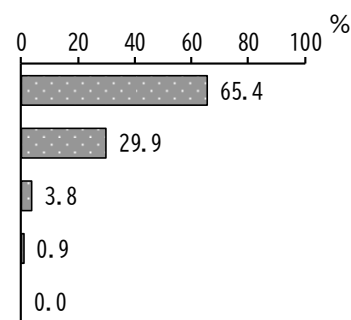
1日2回以上歯みがきをする

1日1回歯みがきをする

全く歯みがきをしない日が週に1～4日ある

全く歯みがきをしない日が週に5日以上ある

無回答



【世帯の収入別】

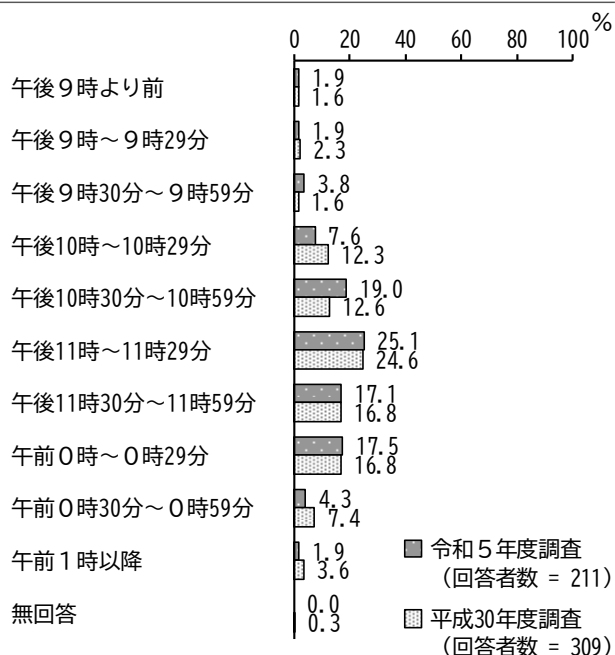
世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「1日1回歯みがきをする」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	1日2回以上歯みがきをする	1日1回歯みがきをする	4日ある ない日が週に1〜	全く歯みがきをし ない日が週に5日 以上ある	全く歯みがきをし ない日が週に5日 以上ある	無回答
全 体	211	65.4	29.9	3.8	0.9	—	
100万円未満	5	80.0	20.0	—	—	—	
100～200万円未満	3	33.3	66.7	—	—	—	
200～300万円未満	6	50.0	50.0	—	—	—	
300～500万円未満	17	70.6	23.5	—	5.9	—	
500～700万円未満	24	54.2	37.5	4.2	4.2	—	
700～1,000万円未満	59	64.4	30.5	5.1	—	—	
1,000～2,000万円未満	52	76.9	19.2	3.8	—	—	
2,000万円以上	10	50.0	50.0	—	—	—	

問6 あなたは、次の日に学校がある日はだいたい、何時ごろに寝ますか。(1つに○)

「午後11時～11時29分」の割合が25.1%と最も高く、次いで「午後10時30分～10時59分」の割合が19.0%、「午前0時～0時29分」の割合が17.5%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「午前0時～0時29分」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	午後9時より前	午後9時～9時29分	午後9時30分～9時59分	午後10時～10時29分	午後10時30分～10時59分	午後11時～11時29分	午後11時30分～11時59分	午前0時～0時29分	午前0時30分～0時59分	午前1時以降	無回答
全体	211	1.9	1.9	3.8	7.6	19.0	25.1	17.1	17.5	4.3	1.9	—
100万円未満	5	—	—	20.0	—	—	20.0	20.0	20.0	—	20.0	—
100～200万円未満	3	—	—	33.3	—	66.7	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	6	—	16.7	—	—	33.3	—	33.3	16.7	—	—	—
300～500万円未満	17	—	—	—	17.6	23.5	11.8	17.6	23.5	5.9	—	—
500～700万円未満	24	4.2	4.2	—	8.3	20.8	12.5	20.8	8.3	12.5	8.3	—
700～1,000万円未満	59	1.7	—	5.1	6.8	11.9	33.9	15.3	16.9	8.5	—	—
1,000～2,000万円未満	52	—	3.8	—	7.7	28.8	30.8	9.6	17.3	—	1.9	—
2,000万円以上	10	10.0	—	10.0	—	—	10.0	30.0	40.0	—	—	—

【放課後の過ごし方別】

放課後の過ごし方別にみると、じゅくや習いごとで「午後11時30分～11時59分」の割合が高くなっています。

単位：％

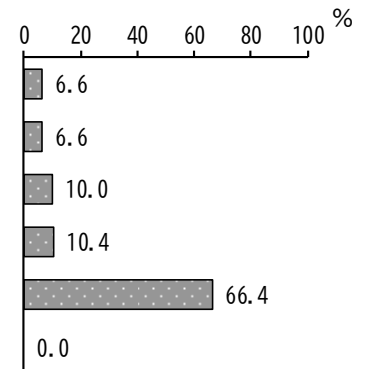
区分	回答者数(件)	午後9時より前	午後9時～9時29分	午後9時30分～9時59分	午後10時～10時29分	午後10時30分～10時59分	午後11時～11時29分	午後11時30分～11時59分	午前0時～0時29分	午前0時30分～0時59分	午前1時以降	無回答
全体	211	1.9	1.9	3.8	7.6	19.0	25.1	17.1	17.5	4.3	1.9	—
自分の家	107	1.9	2.8	3.7	4.7	20.6	23.4	15.9	19.6	5.6	1.9	—
友だちの家	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
じゅくや習いごと	23	—	—	—	4.3	4.3	39.1	34.8	13.0	—	4.3	—
学校	69	2.9	1.4	4.3	11.6	21.7	27.5	14.5	14.5	—	1.4	—
公共施設(図書館・児童センター・体育館など)	1	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
公園	7	—	—	—	14.3	14.3	—	—	28.6	42.9	—	—
お店	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	—	—	—	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—

問7 あなたは、夕ごはんを子どもだけ（一人だけを含む）で食べることがありますか。（1つに○）

「ほとんどない」の割合が66.4%と最も高く、次いで「週に1日程度」の割合が10.4%、「週に2～3日」の割合が10.0%となっています。

回答者数 = 211

ほとんど毎日
週に4～5日
週に2～3日
週に1日程度
ほとんどない
無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「ほとんどない」の割合が最も高くなっています。

単位：%

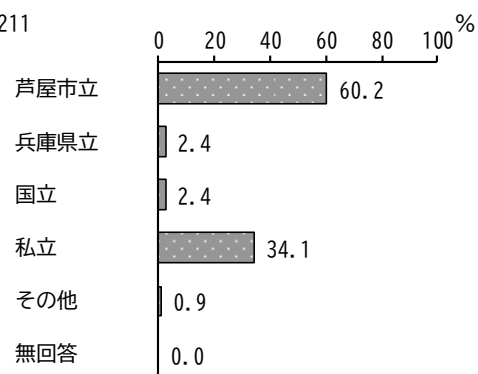
区分	回答者数 (件)	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	週に1日程度	ほとんどない	無回答
全体	211	6.6	6.6	10.0	10.4	66.4	—
100万円未満	5	—	20.0	40.0	—	40.0	—
100～200万円未満	3	—	—	33.3	—	66.7	—
200～300万円未満	6	—	16.7	33.3	—	50.0	—
300～500万円未満	17	11.8	11.8	5.9	—	70.6	—
500～700万円未満	24	16.7	8.3	4.2	—	70.8	—
700～1,000万円未満	59	3.4	5.1	8.5	20.3	62.7	—
1,000～2,000万円未満	52	3.8	7.7	11.5	7.7	69.2	—
2,000万円以上	10	10.0	—	—	10.0	80.0	—

(2) 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○)

「芦屋市立」の割合が60.2%と最も高く、次いで「私立」の割合が34.1%となっています。

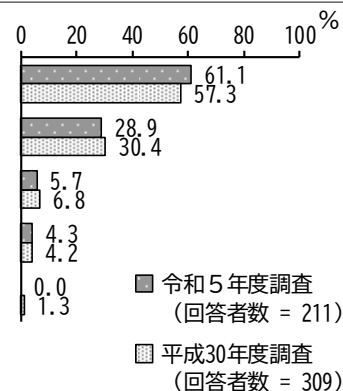
回答者数 = 211



問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が61.1%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が28.9%となっています。

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない
- 無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立学校で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位: %

区分	回答者数 (件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	無回答
全体	207	57.5	30.4	6.3	5.8	—
公立学校	195	56.9	30.8	6.2	6.2	—
私立学校	11	63.6	27.3	9.1	—	—

【世帯の収入別】

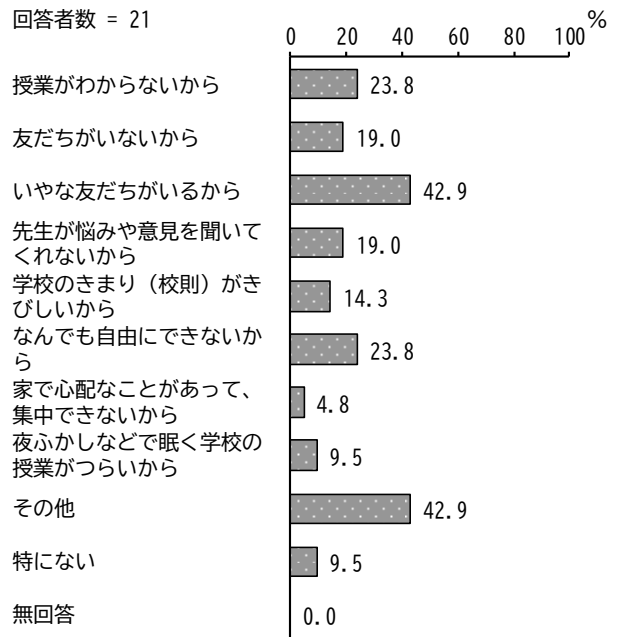
単位: %

区分	回答者数 (件)	楽しい	どちらかといえば楽しい	どちらかといえば楽しくない	楽しくない	無回答
全体	211	61.1	28.9	5.7	4.3	—
100万円未満	5	100.0	—	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	33.3	33.3	—	—
200～300万円未満	6	33.3	16.7	33.3	16.7	—
300～500万円未満	17	70.6	23.5	5.9	—	—
500～700万円未満	24	62.5	29.2	4.2	4.2	—
700～1,000万円未満	59	61.0	33.9	5.1	—	—
1,000～2,000万円未満	52	63.5	23.1	7.7	5.8	—
2,000万円以上	10	60.0	40.0	—	—	—

問10 問9で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「いやな友だちがいるから」の割合が42.9%と最も高く、次いで「授業がわからないから」、「なんでも自由にできないから」の割合が23.8%となっています。

回答者数 = 21



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	授業がわからないから	友だちがいないから	いやな友だちがいるから	先生が悩みや意見を聞いてくれないから	学校のきまり(校則)がきびしいから	なんでも自由にできないから	家で心配なことがあって、集中できないから	夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから	その他	特にない	無回答
全体	25	12.0	8.0	44.0	12.0	28.0	44.0	—	20.0	16.0	—	—
公立学校	24	12.5	8.3	45.8	12.5	25.0	41.7	—	20.8	16.7	—	—
私立学校	1	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	授業がわからないから	友だちがいないから	いやな友だちがいるから	先生が悩みや意見を聞いてくれないから	学校のきまり(校則)がきびしいから	なんでも自由にできないから	家で心配なことがあって、集中できないから	夜ふかしなどで眠く学校の授業がづらいから	その他	特にない	無回答
全体	21	23.8	19.0	42.9	19.0	14.3	23.8	4.8	9.5	42.9	9.5	—
100万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	1	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	3	—	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—	33.3	33.3	—
300～500万円未満	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
500～700万円未満	2	—	100.0	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—
700～1,000万円未満	3	—	—	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	33.3	33.3	—
1,000～2,000万円未満	7	57.1	14.3	28.6	28.6	—	28.6	—	14.3	57.1	—	—
2,000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

「大学またはそれ以上」の割合が67.3%と最も高く、次いで「まだわからない」の割合が11.8%、「大学またはそれ以上(海外)」の割合が11.4%となっています。

回答者数 = 211

中学まで

高校まで

高校まで(海外)

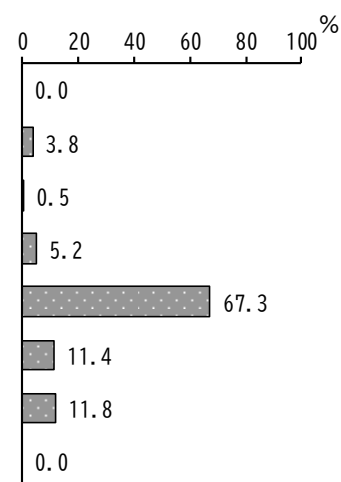
短大・高専・専門学校まで

大学またはそれ以上

大学またはそれ以上(海外)

まだわからない

無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学まで	高校まで	高校まで (海外)	短大・高専・専門学 校まで	上 大学またはそれ以 上	上 大学またはそれ以 (海外)	まだわからない	無回答
全 体	207	0.5	3.9	1.9	1.9	59.4	7.7	24.6	—
公立学校	195	0.5	3.1	1.5	2.1	59.5	7.7	25.6	—
私立学校	11	—	18.2	9.1	—	54.5	9.1	9.1	—

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	中学まで	高校まで	高校まで (海外)	校まで 短大・高専・専門学	上 大学またはそれ以 上	上 大学またはそれ以 (海外)	まだわからない	無回答
全 体	211	—	3.8	0.5	5.2	67.3	11.4	11.8	—
100 万円未満	5	—	40.0	—	20.0	40.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	—	—	—	—	33.3	—	66.7	—
200 ～300 万円未満	6	—	16.7	—	—	50.0	16.7	16.7	—
300 ～500 万円未満	17	—	5.9	—	5.9	70.6	5.9	11.8	—
500 ～700 万円未満	24	—	8.3	—	4.2	62.5	12.5	12.5	—
700 ～1,000 万円未満	59	—	3.4	—	3.4	69.5	10.2	13.6	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	—	—	—	1.9	71.2	13.5	13.5	—
2,000 万円以上	10	—	—	—	20.0	70.0	10.0	—	—

問12 問11で選択したその理由について、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「希望する学校や職業があるから」の割合が50.2%と最も高く、次いで「自分の成績から考えて」の割合が19.0%、「とくに理由はない」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 211

希望する学校や職業があるから

自分の成績から考えて

親がそう言っているから

兄・姉がそうしているから

まわりの先輩や友達がそうしているから

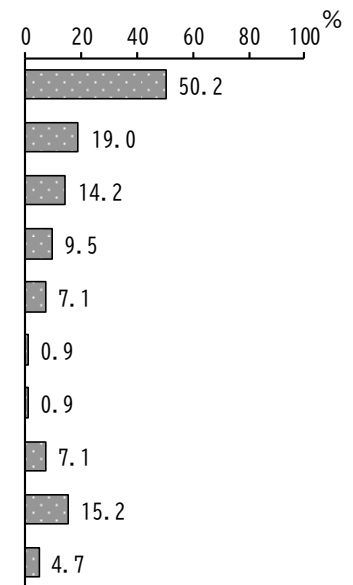
家にお金がないと思うから

早く働く必要があるから

その他

とくに理由はない

無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立学校で「希望する学校や職業があるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がそうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体	207	48.3	11.1	8.7	4.3	3.9	2.4	1.9	8.2	25.6	1.9
公立学校	195	47.7	11.3	7.2	4.6	4.1	2.6	1.5	8.7	27.2	1.5
私立学校	11	54.5	—	36.4	—	—	—	9.1	—	—	9.1

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、500～700万円未満で「とくに理由はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	希望する学校や職業があるから	自分の成績から考えて	親がそう言っているから	兄・姉がそうしているから	まわりの先輩や友達がつうしているから	家にお金がないと思うから	早く働く必要があるから	その他	とくに理由はない	無回答
全体	211	50.2	19.0	14.2	9.5	7.1	0.9	0.9	7.1	15.2	4.7
100万円未満	5	80.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	33.3
200～300万円未満	6	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	—	—	—	16.7	—
300～500万円未満	17	47.1	5.9	17.6	—	5.9	—	—	5.9	23.5	5.9
500～700万円未満	24	20.8	16.7	16.7	—	12.5	—	—	12.5	33.3	4.2
700～1,000万円未満	59	59.3	28.8	15.3	10.2	3.4	1.7	3.4	6.8	11.9	5.1
1,000～2,000万円未満	52	55.8	9.6	17.3	9.6	9.6	—	—	3.8	13.5	1.9
2,000万円以上	10	60.0	20.0	10.0	20.0	—	—	—	10.0	—	—

問 13 あなたは、将来、働きたいと思いますか。(1つに○)

「働きたいと思う」の割合が91.5%と最も高くなっています。

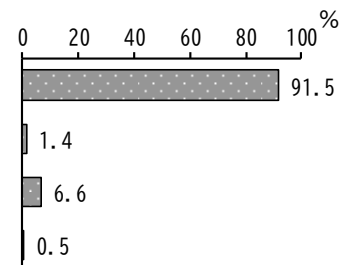
回答者数 = 211

働きたいと思う

働きたいと思わない

わからない

無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、私立学校で「働きたいと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	働きたいと思う	働きたいと思わない	わからない	無回答
全体	207	89.9	1.9	8.2	—
公立学校	195	89.2	2.1	8.7	—
私立学校	11	100.0	—	—	—

【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、全ての区分で「働きたいと思う」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	働きたいと思う	働きたいと思わな い	わからない	無回答
全 体	211	91.5	1.4	6.6	0.5
100 万円未満	5	100.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	66.7	—	—	33.3
200 ～300 万円未満	6	83.3	—	16.7	—
300 ～500 万円未満	17	94.1	—	5.9	—
500 ～700 万円未満	24	79.2	4.2	16.7	—
700 ～1,000 万円未満	59	93.2	—	6.8	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	96.2	—	3.8	—
2,000 万円以上	10	90.0	—	10.0	—

問 14 問 13 を選択した理由 (抜粋)

① 「働きたいと思う」を選択した理由

- ・社会に貢献したいから
- ・生きていくためには大事だと思うし、楽しそうだから
- ・自立して生活したいから。
- ・親以外頼れる人がいないため、親亡き後のためお金を貯める必要があるから
- ・目標のためにお金が必要だから。
- ・なるべく好きな職業に就いてお金を稼いで好きなものを買いたいから。
- ・自立した生活を送りたいから。
- ・働かない以外の選択肢はないと思う。働かざる者食うべからず。
- ・自分の生活するお金は何らかの方法で自分で稼ぎたいと考えているから。
- ・私達が通っている学校は社会に出るための練習だと考えているから。
- ・働かないと人生つまらないと思うから
- ・社会に出て色々な人と関わりたいから
- ・働いてないのはだらしがないし、世のためにならないから。

② 「働きたいと思わない」を選択した理由

- ・お金と生活のために働こうとは思っているが、できることならば働かずに楽しく生きていきたい。

③ 「わからない」を選択した理由

- ・就きたい職業がない。
- ・働きたくないが、生活保護を受ける以外、普通な生活をすることができないから。
- ・何が起こるか分からないから
- ・将来的のことをあまり考えないから。
- ・自分の心と身体を元気にして、自分の可能性を考えたいから
- ・自分のやりたいことが今はなにも見つかっておらず、なんとも言えない。自分のやりたいことがわかり、それができるなら働くことは楽しみなのかもしれない。

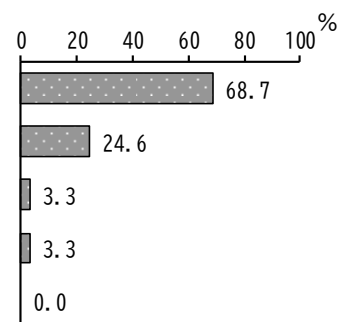
(3) 放課後の過ごし方について

問 15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が 24.6%となっています。

回答者数 = 211

1. 楽しい
 2. どちらかといえば楽しい
 3. どちらかといえば楽しくない
 4. 楽しくない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、700～1,000万円未満で「どちらかといえば楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

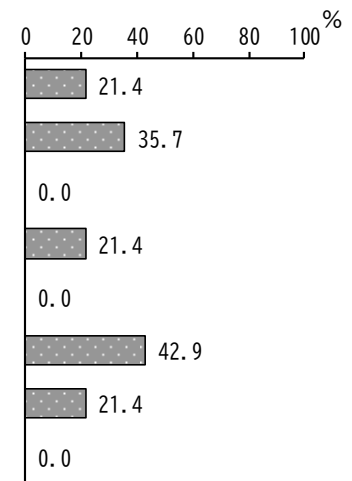
区分	回答者数(件)	楽しい	楽しい どちらか といえば	楽しくない どちらか といえば	楽しくない	無回答
全 体	211	68.7	24.6	3.3	3.3	—
100 万円未満	5	100.0	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	33.3	33.3	33.3	—	—
200 ～300 万円未満	6	66.7	33.3	—	—	—
300 ～500 万円未満	17	82.4	17.6	—	—	—
500 ～700 万円未満	24	75.0	20.8	—	4.2	—
700 ～1,000 万円未満	59	52.5	44.1	3.4	—	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	76.9	15.4	3.8	3.8	—
2,000 万円以上	10	80.0	10.0	10.0	—	—

問16 問15で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「いやな友だちがいるから」の割合が35.7%と最も高く、次いで「一緒にいる友だちがいないから」、「なんでも自由にできないから」、「特にない」の割合が21.4%となっています。

回答者数 = 14

- 一緒にいる友だちがいないから
- いやな友だちがいるから
- 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
- なんでも自由にできないから
- 家で心配なことがあって、集中できないから
- その他
- 特にない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

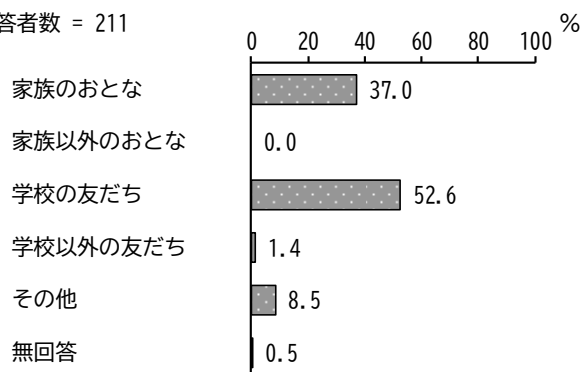
単位：%

区分	回答者数 (件)	一緒にいる友だちがいないから	いやな友だちがいるから	悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから	なんでも自由にできないから	家で心配なことがあって、集中できないから	その他	特にない	無回答
全体	14	21.4	35.7	—	21.4	—	42.9	21.4	—
100万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
300～500万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500～700万円未満	1	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—
700～1,000万円未満	2	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—
1,000～2,000万円未満	4	—	—	—	—	—	50.0	50.0	—
2,000万円以上	1	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—

問 17 あなたは放課後に、だれとすごすことが一番多いですか。(1つに○)

「学校の友だち」の割合が 52.6%と最も高く、次いで「家族のおとな」の割合が 37.0%となっています。

回答者数 = 211



【世帯の収入別】

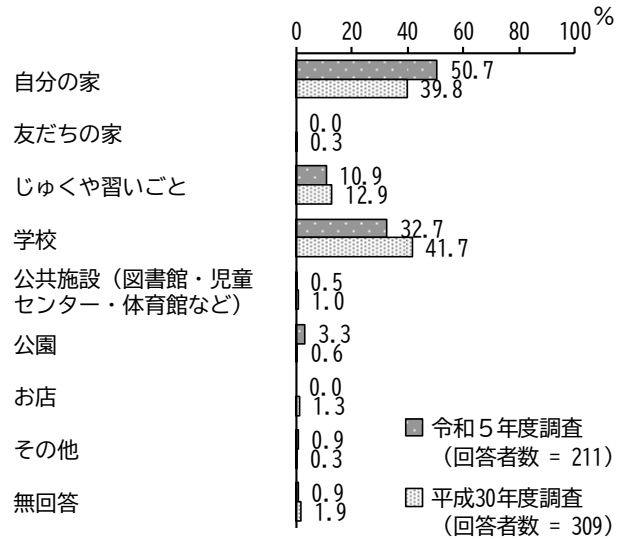
世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「学校の友だち」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族のおとな	家族以外のおとな	学校の友だち	学校以外の友だち	その他	無回答
全 体	211	37.0	—	52.6	1.4	8.5	0.5
100 万円未満	5	20.0	—	80.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	33.3	—	33.3	—	—	33.3
200 ～300 万円未満	6	16.7	—	50.0	—	33.3	—
300 ～500 万円未満	17	41.2	—	52.9	—	5.9	—
500 ～700 万円未満	24	29.2	—	54.2	4.2	12.5	—
700 ～1,000 万円未満	59	40.7	—	49.2	—	10.2	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	40.4	—	53.8	1.9	3.8	—
2,000 万円以上	10	30.0	—	60.0	—	10.0	—

問 18 あなたは放課後に、どこですごすことが一番多いですか。(1つに○)

「自分の家」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「学校」の割合が 32.7%、「じゅくや習いごと」の割合が 10.9%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「自分の家」の割合が高くなっています。

単位：%

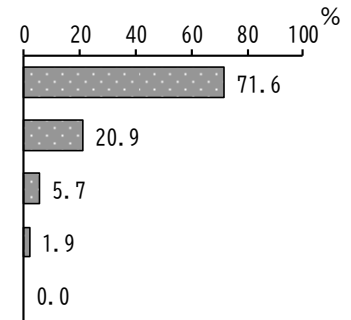
区分	回答者数 (件)	自分の家	友だちの家	じゅくや習いごと	学校	公共施設 (図書館・児童センター・体育館など)	公園	お店	その他	無回答
全 体	211	50.7	—	10.9	32.7	0.5	3.3	—	0.9	0.9
100 万円未満	5	40.0	—	20.0	40.0	—	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	66.7	—	—	—	—	33.3	—	—	—
200 ～300 万円未満	6	50.0	—	—	50.0	—	—	—	—	—
300 ～500 万円未満	17	47.1	—	17.6	23.5	—	11.8	—	—	—
500 ～700 万円未満	24	41.7	—	12.5	29.2	—	8.3	—	4.2	4.2
700 ～1,000 万円未満	59	54.2	—	8.5	30.5	—	3.4	—	1.7	1.7
1,000 ～2,000 万円未満	52	55.8	—	9.6	34.6	—	—	—	—	—
2,000 万円以上	10	60.0	—	20.0	20.0	—	—	—	—	—

問 19 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(1つに○)

「楽しい」の割合が71.6%と最も高く、次いで「どちらかといえば楽しい」の割合が20.9%となっています。

回答者数 = 211

- 1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「楽しい」の割合が高くなっています。

単位：%

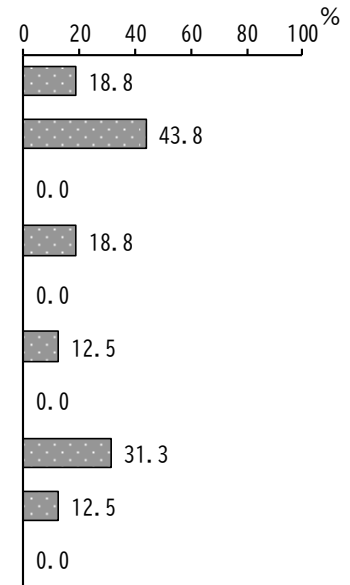
区分	回答者数(件)	楽しい	楽しい どちらか といえば	楽しくない どちらか といえば	楽しくない	無回答
全 体	211	71.6	20.9	5.7	1.9	—
100 万円未満	5	80.0	20.0	—	—	—
100 ～200 万円未満	3	33.3	66.7	—	—	—
200 ～300 万円未満	6	50.0	33.3	16.7	—	—
300 ～500 万円未満	17	76.5	23.5	—	—	—
500 ～700 万円未満	24	66.7	12.5	16.7	4.2	—
700 ～1,000 万円未満	59	67.8	27.1	1.7	3.4	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	80.8	15.4	3.8	—	—
2,000 万円以上	10	90.0	10.0	—	—	—

問20 問19で「3. どちらかといえば楽しくない」～「4. 楽しくない」に○をした人におききします。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「家族にいやなことを言われるから」の割合が43.8%と最も高く、次いで「いつも一人だから」、「悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから」の割合が18.8%となっています。

回答者数 = 16

いつも一人だから
 家族にいやなことを言われるから
 家族に暴力をふるわれることがあるから
 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから
 家事や自宅のことで自由がないから
 家で心配なことがあって、集中できないから
 普段から食事や洗濯などの世話をしてくれないから
 その他
 特にな
 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

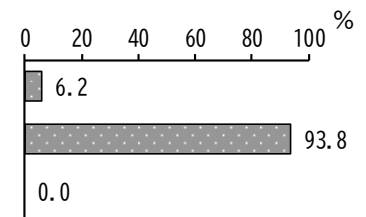
区分	回答者数(件)	いつも一人だから	家族にいやなことを言われるから	家族に暴力をふるわれることがあるから	悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから	家事や自宅のことで自由がないから	家で心配なことがあって、集中できないから	普段から食事や洗濯などの世話をしてくれないから	その他	特にな	無回答
全体	16	18.8	43.8	—	18.8	—	12.5	—	31.3	12.5	—
100万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100～200万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
200～300万円未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
300～500万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500～700万円未満	5	20.0	40.0	—	—	—	40.0	—	60.0	—	—
700～1,000万円未満	3	33.3	66.7	—	33.3	—	—	—	—	—	—
1,000～2,000万円未満	2	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
2,000万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問 21 家族の中にあなたがお世話している人はいますか。(ここで「お世話」とは、心
 づく大人が行うような家事や家族のお世話を指します。問 22 の囲みの中を参
 考にしてください。)(1つに○)

「いる」の割合が 6.2%、「いない」の割合が
 93.8%となっています。

回答者数 = 211

いる
 いない
 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000 万円以上で「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いる	いない	無回答
全 体	211	6.2	93.8	—
100 万円未満	5	—	100.0	—
100 ～200 万円未満	3	66.7	33.3	—
200 ～300 万円未満	6	16.7	83.3	—
300 ～500 万円未満	17	5.9	94.1	—
500 ～700 万円未満	24	4.2	95.8	—
700 ～1,000 万円未満	59	5.1	94.9	—
1,000 ～2,000 万円未満	52	5.8	94.2	—
2,000 万円以上	10	—	100.0	—

問22 問21で「1. いる」に○をした人におききします。あなたはどのようなお世話をしていますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「家事（食事の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など）」の割合が61.5%と最も高く、次いで「困りごとを聞く、話し相手になる」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

家事（食事の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など）

きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え

着替えや入浴、トイレの手伝いなど

病院や買い物、散歩に一緒に行き、手助けをする

困りごとを聞く、話し相手になる

見守り（転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど）

通訳（日本語の通訳や手話での通訳など）

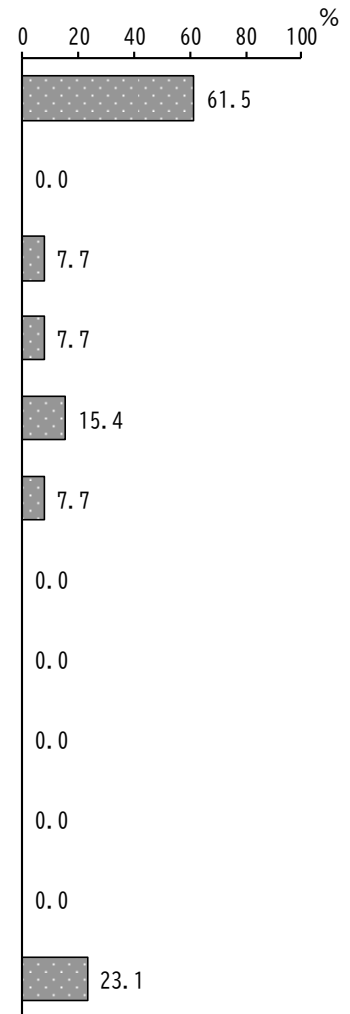
家のお金の管理（お金の使い道を考えたり、しはらったりするなど）

薬の管理（薬を飲んだか確認したり、渡したりするなど）

家計のサポート（家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること）

その他

無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

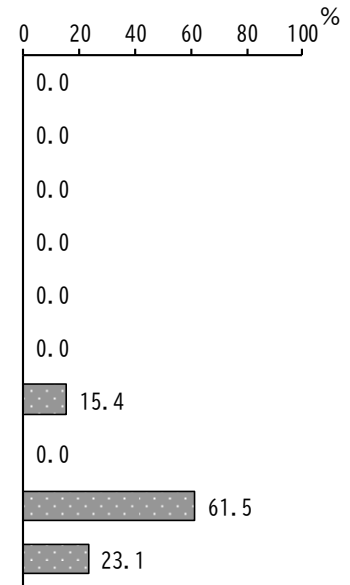
区分	回答者数(件)	家事(食事の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)	きょうだいのお世話や保育園などへの送り迎え	着替えや入浴、トイレの手伝いなど	病院や買い物、散歩に一緒に行き、手助けをする	困りごとを聞く、話し相手になる	見守り(転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)	通訳(日本語の通訳や手話での通訳など)	家のお金の管理(お金の使い道を考えたり、しはらったりするなど)	薬の管理(薬を飲んだか確認したり、渡したりするなど)	家計のサポート(家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)	その他	無回答
全 体	13	61.5	—	7.7	7.7	15.4	7.7	—	—	—	—	—	23.1
100 万円未満	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100 ～200 万円未満	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
200 ～300 万円未満	1	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—
300 ～500 万円未満	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
500 ～700 万円未満	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
700 ～1,000 万円未満	3	100.0	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1,000 ～2,000 万円未満	3	66.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.3
2,000 万円以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問23 問21で「1. いる」に○をした人におききします。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「特にない」の割合が61.5%と最も高く、次いで「自分の時間が取れない」の割合が15.4%となっています。

回答者数 = 13

- 学校を休んでしまう
- 遅刻や早退をしてしまう
- 宿題など勉強をする時間がない
- 眠る時間が足りない
- 友だちと遊ぶことができない
- 習い事ができない
- 自分の時間が取れない
- その他
- 特にない
- 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	学校を休んでしま	遅刻や早退をしてしま	宿題など勉強をする時間がない	眠る時間が足りない	友だちと遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全 体	13	-	-	-	-	-	-	15.4	-	61.5	23.1
100 万円未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100 ～200 万円未満	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
200 ～300 万円未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
300 ～500 万円未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
500 ～700 万円未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
700 ～1,000 万円未満	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7	-
1,000 ～2,000 万円未満	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3
2,000 万円以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

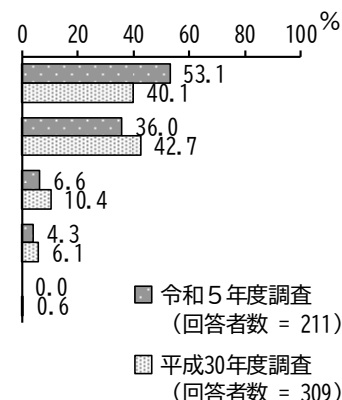
(4) あなたの考えについて

問 24 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

(1) 自分にはよいところがある

「そう思う」の割合が53.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が36.0%となっています。

そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない
 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	53.1	36.0	6.6	4.3	—
100万円未満	5	60.0	20.0	—	20.0	—
100～200万円未満	3	66.7	—	33.3	—	—
200～300万円未満	6	50.0	16.7	16.7	16.7	—
300～500万円未満	17	58.8	35.3	5.9	—	—
500～700万円未満	24	41.7	50.0	4.2	4.2	—
700～1,000万円未満	59	57.6	35.6	5.1	1.7	—
1,000～2,000万円未満	52	53.8	32.7	9.6	3.8	—
2,000万円以上	10	40.0	60.0	—	—	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

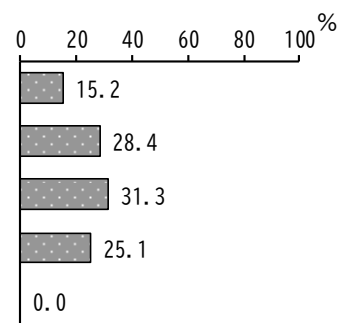
区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	53.1	36.0	6.6	4.3	—
芦屋市立	127	52.0	34.6	10.2	3.1	—
兵庫県立	5	60.0	40.0	—	—	—
国立	5	40.0	60.0	—	—	—
私立	72	55.6	36.1	1.4	6.9	—
その他	2	50.0	50.0	—	—	—

(2) 失敗すると前に進めないと思う

「どちらかといえばそう思わない」の割合が31.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が28.4%、「そう思わない」の割合が25.1%となっています。

回答者数 = 211

そう思う
 どちらかといえばそう思う
 どちらかといえばそう思わない
 そう思わない
 無回答



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、500～700万円未満で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	15.2	28.4	31.3	25.1	—
100万円未満	5	40.0	—	20.0	40.0	—
100～200万円未満	3	—	100.0	—	—	—
200～300万円未満	6	33.3	50.0	16.7	—	—
300～500万円未満	17	5.9	41.2	17.6	35.3	—
500～700万円未満	24	12.5	41.7	37.5	8.3	—
700～1,000万円未満	59	13.6	22.0	40.7	23.7	—
1,000～2,000万円未満	52	17.3	25.0	28.8	28.8	—
2,000万円以上	10	20.0	30.0	40.0	10.0	—

【公立学校、私立学校別】

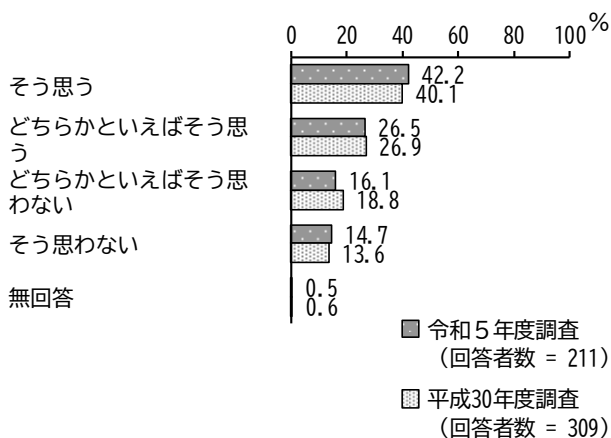
公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	15.2	28.4	31.3	25.1	—
芦屋市立	127	12.6	32.3	29.9	25.2	—
兵庫県立	5	40.0	—	40.0	20.0	—
国立	5	20.0	—	20.0	60.0	—
私立	72	18.1	23.6	34.7	23.6	—
その他	2	—	100.0	—	—	—

(3) 自分には将来の夢や目標がある

「そう思う」の割合が42.2%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が26.5%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が16.1%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、500～700万円未満で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	42.2	26.5	16.1	14.7	0.5
100万円未満	5	40.0	60.0	—	—	—
100～200万円未満	3	33.3	33.3	33.3	—	—
200～300万円未満	6	16.7	66.7	—	16.7	—
300～500万円未満	17	47.1	17.6	23.5	11.8	—
500～700万円未満	24	33.3	16.7	16.7	33.3	—
700～1,000万円未満	59	44.1	25.4	22.0	8.5	—
1,000～2,000万円未満	52	46.2	25.0	9.6	17.3	1.9
2,000万円以上	10	40.0	30.0	10.0	20.0	—

【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

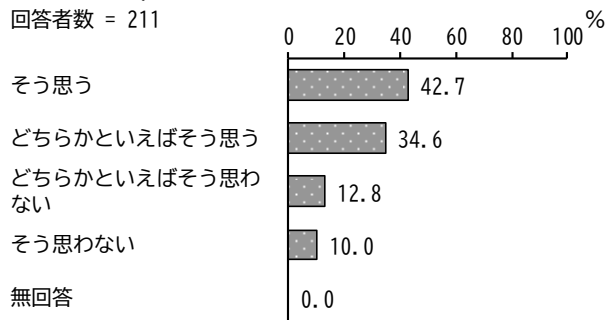
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	42.2	26.5	16.1	14.7	0.5
芦屋市立	127	40.2	27.6	15.0	16.5	0.8
兵庫県立	5	60.0	—	20.0	20.0	—
国立	5	60.0	20.0	20.0	—	—
私立	72	44.4	27.8	16.7	11.1	—
その他	2	—	—	50.0	50.0	—

(4) 何かをするときは、他の人からどのように見られるか気になる

「そう思う」の割合が42.7%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が34.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が12.8%となっています。

回答者数 = 211



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、500～700万円未満で「そう思わない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	42.7	34.6	12.8	10.0	—
100万円未満	5	60.0	20.0	—	20.0	—
100～200万円未満	3	33.3	66.7	—	—	—
200～300万円未満	6	33.3	33.3	16.7	16.7	—
300～500万円未満	17	47.1	35.3	11.8	5.9	—
500～700万円未満	24	29.2	41.7	8.3	20.8	—
700～1,000万円未満	59	44.1	30.5	16.9	8.5	—
1,000～2,000万円未満	52	48.1	40.4	5.8	5.8	—
2,000万円以上	10	50.0	40.0	10.0	—	—

【公立学校、私立学校別】

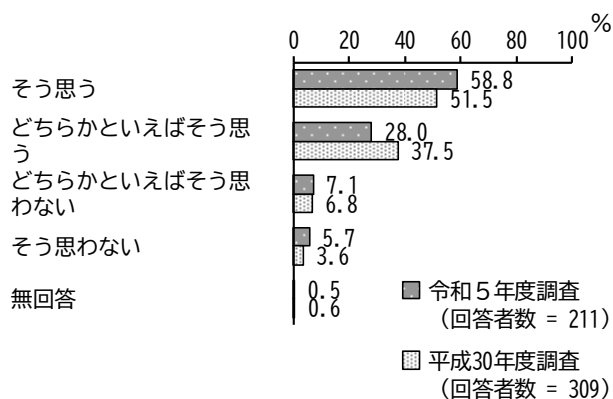
公立学校、私立学校別にみると、私立で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	42.7	34.6	12.8	10.0	—
芦屋市立	127	38.6	36.2	15.0	10.2	—
兵庫県立	5	40.0	20.0	40.0	—	—
国立	5	60.0	20.0	—	20.0	—
私立	72	50.0	33.3	8.3	8.3	—
その他	2	—	50.0	—	50.0	—

(5) 頑張れば、いいことがある

「そう思う」の割合が58.8%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が28.0%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、2,000万円以上で「そう思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	58.8	28.0	7.1	5.7	0.5
100万円未満	5	80.0	—	—	20.0	—
100～200万円未満	3	33.3	66.7	—	—	—
200～300万円未満	6	16.7	66.7	16.7	—	—
300～500万円未満	17	76.5	17.6	5.9	—	—
500～700万円未満	24	37.5	41.7	12.5	8.3	—
700～1,000万円未満	59	55.9	33.9	6.8	3.4	—
1,000～2,000万円未満	52	71.2	13.5	9.6	5.8	—
2,000万円以上	10	80.0	20.0	—	—	—

【公立学校、私立学校別】

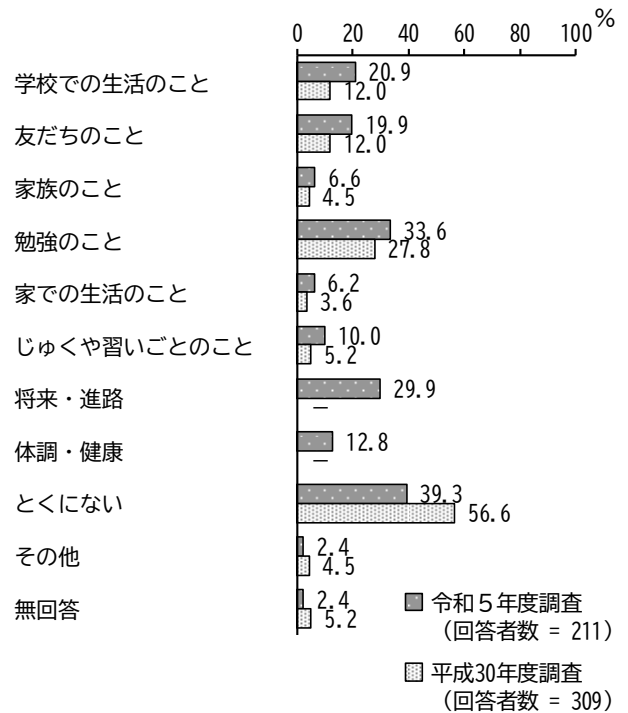
公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
全体	211	58.8	28.0	7.1	5.7	0.5
芦屋市立	127	57.5	28.3	10.2	3.9	—
兵庫県立	5	80.0	20.0	—	—	—
国立	5	60.0	20.0	—	—	20.0
私立	72	59.7	29.2	2.8	8.3	—
その他	2	50.0	—	—	50.0	—

問 25 あなたには、今なやんでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「とくにない」の割合が39.3%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が33.6%、「将来・進路」の割合が29.9%となっています。



【世帯の収入別】

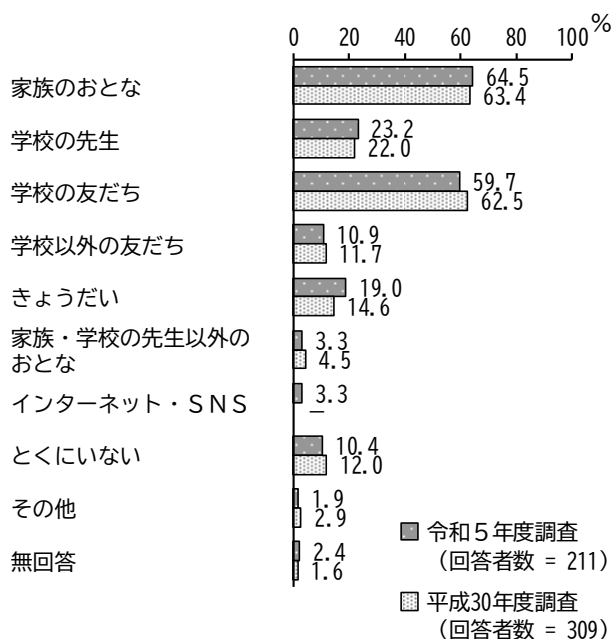
世帯の収入別にみると、500～700万円未満で「勉強のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校での生活のこと	友だちのこと	家族のこと	勉強のこと	家での生活のこと	じゅくや習いごとのこと	将来・進路	体調・健康	とくにない	その他	無回答
全 体	211	20.9	19.9	6.6	33.6	6.2	10.0	29.9	12.8	39.3	2.4	2.4
100万円未満	5	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	40.0	-	-
100～200万円未満	3	33.3	33.3	-	66.7	-	-	66.7	-	-	-	-
200～300万円未満	6	50.0	16.7	16.7	33.3	50.0	16.7	66.7	16.7	33.3	16.7	-
300～500万円未満	17	11.8	11.8	-	41.2	5.9	11.8	35.3	23.5	41.2	5.9	5.9
500～700万円未満	24	20.8	16.7	8.3	45.8	8.3	8.3	37.5	20.8	33.3	8.3	-
700～1,000万円未満	59	18.6	25.4	6.8	27.1	3.4	5.1	20.3	10.2	39.0	-	5.1
1,000～2,000万円未満	52	28.8	19.2	3.8	32.7	3.8	15.4	25.0	13.5	44.2	1.9	-
2,000万円以上	10	20.0	20.0	-	40.0	-	10.0	20.0	-	30.0	-	-

問 26 心配ごとやなやみがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の
中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「家族のおとな」の割合が 64.5%と最も高く、
次いで「学校の友だち」の割合が 59.7%、「学校の先生」の割合が 23.2%となっています。



【世帯の収入別】

世帯の収入別にみると、300～500万円未満で「学校の友だち」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族のおとな	学校の先生	学校の友だち	学校以外の友だち	きょうだい	家族・学校の先生以外のおとな	インターネット・SNS	とくにいない	その他	無回答
全 体	211	64.5	23.2	59.7	10.9	19.0	3.3	3.3	10.4	1.9	2.4
100万円未満	5	60.0	20.0	100.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	-
100～200万円未満	3	100.0	66.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-
200～300万円未満	6	83.3	33.3	33.3	-	33.3	16.7	-	-	16.7	-
300～500万円未満	17	70.6	29.4	88.2	23.5	5.9	-	5.9	-	5.9	-
500～700万円未満	24	75.0	29.2	54.2	4.2	12.5	-	-	12.5	4.2	-
700～1,000万円未満	59	57.6	20.3	61.0	6.8	22.0	-	1.7	10.2	-	5.1
1,000～2,000万円未満	52	65.4	19.2	55.8	7.7	17.3	1.9	3.8	9.6	-	1.9
2,000万円以上	10	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	10.0	-	-	-

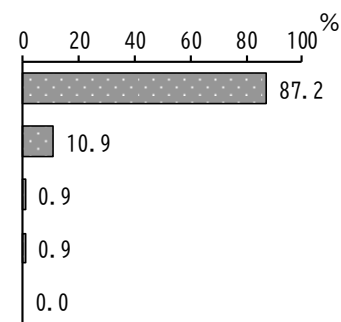
(5) こどもの権利について

問 27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(1つに○)

「そう思う」の割合が 87.2% と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 10.9% となっています。

回答者数 = 211

1. そう思う
2. どちらかといえば
そう思う
3. どちらかといえば
そう思わない
4. そう思わない
- 無回答



問 27-1 問 27 で「3. どちらかといえばそう思わない」～「4. そう思わない」に○をした人におききします。それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

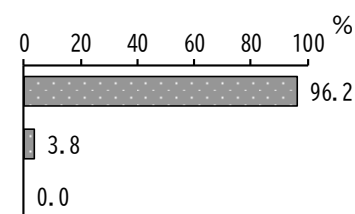
「いじめにあっているから」が 2 件となっています。「自分のことを自分で決められないから」が 1 件となっています。

問 28 あなたは、親や家族の人にあなたの意見を聞いてもらっていますか。(1つに○)

「はい」の割合が 96.2%、「いいえ」の割合が 3.8% となっています。

回答者数 = 211

- はい
- いいえ
- 無回答



問 28-1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「学校での生活のこと」の割合が71.4%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が60.6%、「友だちのこと」の割合が58.1%となっています。

回答者数 = 203

学校での生活のこと

友だちのこと

家族のこと

勉強のこと

家での生活のこと

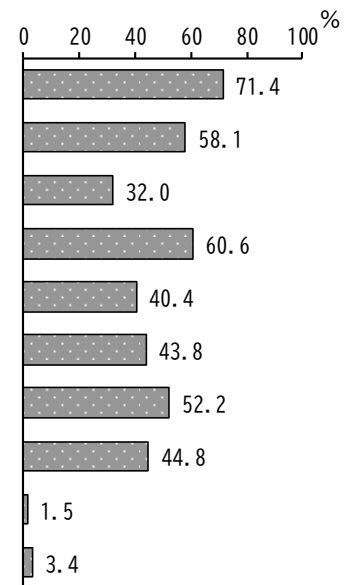
じゅくや習いごとのこと

将来・進路

体調・健康

その他

無回答



問 28-2 問 28 で「2. いいえ」に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○)

「あきらめた」が6件となっています。「引き続き意見を繰り返した」が1件となっています。

問 29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらえていますか。(1つに○)

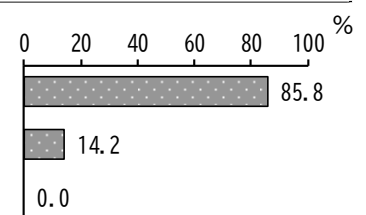
「はい」の割合が85.8%、「いいえ」の割合が14.2%となっています。

回答者数 = 211

はい

いいえ

無回答



問 29-1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

「学校での生活のこと」の割合が 62.4%と最も高く、次いで「勉強のこと」の割合が 60.2%、「友だちのこと」の割合が 33.7%となっています。

回答者数 = 181

学校での生活のこと

友だちのこと

家族のこと

勉強のこと

家での生活のこと

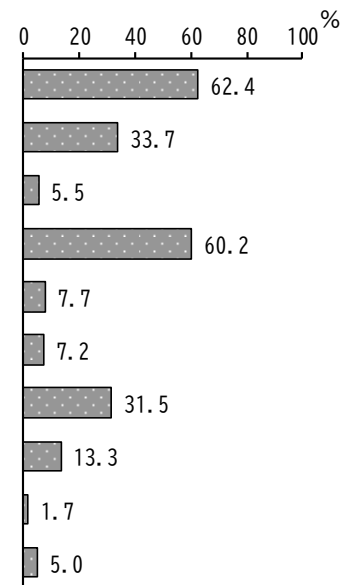
じゅくや習いごとのこと

将来・進路

体調・健康

その他

無回答



問 29-2 問 29 で「2. いいえ」に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○)

「あきらめた」の割合が 53.3%と最も高くなっています。

回答者数 = 30

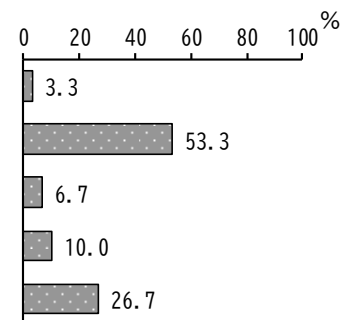
引き続き意見を繰り返した

あきらめた

他の人に意見を言った

その他

無回答

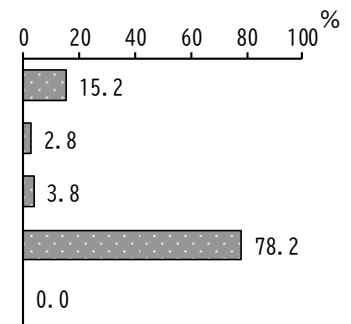


問 30 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

「どちらもない」の割合が78.2%と最も高く、次いで「差別や暴力、いじめを受けた」の割合が15.2%となっています。

回答者数 = 211

差別や暴力、いじめを受けた
 差別や暴力、いじめをした
 どちらもある
 どちらもない
 無回答



【公立学校、私立学校別】

公立学校、私立学校別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	差別や暴力、いじめを受けた	差別や暴力、いじめをした	どちらもある	どちらもない	無回答
全 体	211	15.2	2.8	3.8	78.2	—
芦屋市立	127	14.2	3.9	3.1	78.7	—
兵庫県立	5	60.0	—	—	40.0	—
国立	5	—	—	20.0	80.0	—
私立	72	12.5	1.4	4.2	81.9	—
その他	2	100.0	—	—	—	—

問 31 子どもの権利の中でより充実をしていく必要があると思うものはどれですか。
(最大3つまで選択してください)

「暴力や言葉で傷つけられないこと」の割合が51.2%と最も高く、次いで「自分の考えを自由に言えること」の割合が39.3%、「人種や性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと」の割合が37.9%となっています。

回答者数 = 211

人種や性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと

暴力や言葉で傷つけられないこと

家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと

自分の考えを自由に言えること

人と違う自分らしさが認められること

自分の秘密が守られること

自分のことは自分で決められること

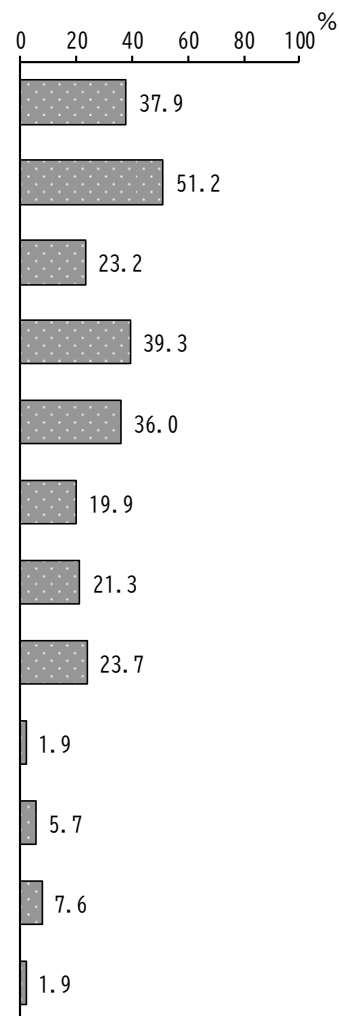
自由な時間をもつこと

自由な呼び掛けでグループを作り集まれること

必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること

保護者から世話を受けること（食事、洗濯など）

無回答

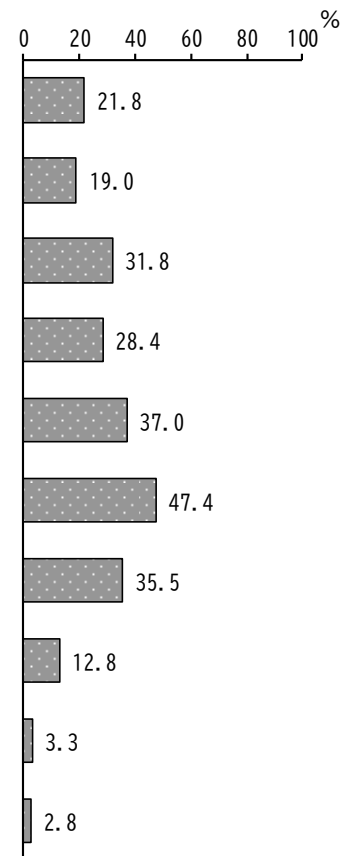


問 32 芦屋市の子ども・若者を支援する取組で期待すること・重要なことは何ですか。
 下の中からあてはまる3つまで選択してください。

「学費や教育費の負担を減らす」の割合が47.4%と最も高く、次いで「子どもの医療費がかからないようにする」の割合が37.0%、「いじめや児童虐待などを防止する」の割合が35.5%となっています。

回答者数 = 211

- 悩みを相談できる場所（メール、SNS などを含む）をつくる
- 子ども同士の交流の場をつくる
- 学校でも家でもない居場所をつくる
- いろいろな体験ができる機会を増やす
- 子どもの医療費がかからないようにする
- 学費や教育費の負担を減らす
- いじめや児童虐待などを防止する
- 性や妊娠・出産への正しい知識を身に付ける
- その他
- 無回答



Ⅲ 調査結果のまとめ

1 育ちをめぐる環境について

① 子育ての楽しさ

ご自身にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思うか（就学前：問8、小学生：問8、中学生：問8）については、「楽しいと感じることが多い」の割合が、就学前調査で71.8%、小学生調査で65.6%、中学生調査で65.9%となっており、楽しいと感じる割合が高くなっています。

② 子育てに関することで日常悩んでいること、あるいは気になること

子育てに関する不安や悩みはあるか（就学前：問9、小学生：問9、中学生：問9）については、「すごくある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が、就学前調査で80.0%、小学生調査で83.6%、中学生調査で79.2%と、ほぼ同様の割合となっています。子育てに関して日常悩んでいること、あるいは気になること（就学前：問10、小学生：問10、中学生：問10）について、子どもに関することでは、就学前調査で「こどもの教育・保育に関すること」の割合が61.6%と最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」の割合が54.2%、「病気や発育発達に関すること」の割合が37.6%となっています。また、小学生調査及び中学生調査では、「こどもの教育・保育に関すること」の割合が最も高く、次いで「こどものしつけに関すること」、「こどもの友だちづきあいに関すること」の割合が高くなっています。

次に、自身に関することでは、就学前調査で「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が45.6%と最も高く、次いで「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が44.7%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が42.1%となっています。

また、小学生調査では「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が46.7%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が29.2%、「子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと」の割合が21.0%となっています。

平成30年度調査（以下、前回調査という。）結果と比較すると、子どもに関することについて、「こどもの教育・保育に関すること」の割合が、就学前で16.3ポイント、小学生で21.1ポイント増加しています。

中学生調査では、「こどもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること」の割合が49.9%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が20.4%、「特にない」の割合が19.5%となっています。

2 保護者の就労状況について

母親の現在の就労状況（就学前：問 19）については、「フルタイム」の割合が 37.7%、「パート・アルバイト等」の割合が 22.0%、「未就労」の割合が 26.6%となっています。

前回調査結果と比較すると、「フルタイム」の割合が 9.2 ポイント、「パート・アルバイト等」の割合が 1.2 ポイント増加し、「未就労」の割合が 10.9 ポイント減少しています。

父親の現在の就労状況の傾向については、前回と大きな変化は見られません。

3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

① 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況（就学前：問 22）については、「利用している」の割合が 83.3%、「利用していない」の割合が 16.6%となっています。利用事業は、「認可保育所」の割合が 31.6%と最も高く、次いで「認定こども園（保育所部）」の割合が 27.0%となっています。

前回調査結果と比較すると、「定期的な教育・保育事業」を利用している割合が 12 ポイント増加しており、利用事業は、「幼稚園」の割合が 12.1 ポイント減少し、「認定こども園（保育所部）」の割合が 17.8 ポイント増加しています。

② 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

お子さんの平日の教育・保育事業として、定期的に利用したいと考える事業（就学前：問 23）については、「認可保育所」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が 39.9%となっています。また、子どもの年齢別でみると、0歳では「認可保育所」が6割近く、「幼稚園」が約4割となっており、1歳、2歳では「認可保育所」が約4割、「幼稚園」が4割近く、3～5歳では、「認可保育所」が3割超え、「幼稚園」が約4割となっています。

前回調査結果と比較すると、「認可保育所」の割合が 2.7 ポイント、「幼稚園」の割合が 14.1 ポイント減少しています。さらに、「認定こども園」の割合が、「認定こども園（幼稚園部）」と「認定こども園（保育所部）」を合わせると 60.8%であり、14.3 ポイント増加しています。

4 子どもの病気の際の対応について

この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはあるか（就学前：問 26）については、「あった」の割合が 85.0%、「なかった」の割合が 14.4%となっています。お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法（就学前：問 26-1）については、「母親が休んだ」の割合が 77.3%と最も高くなっています。子どもの年齢別でみると、年齢が低くなるにつれて「母親が休んだ」の割合が高くなる傾向がみられ、1歳で最も高くなっています。

前回調査結果と比較しても、対処方法について、「母親が休んだ」と「父親が休んだ」の割合が共に増加しているものの、母親が休む割合が高い傾向に大きな変化は見られません。

5 不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について

不定期に利用している事業はあるか（就学前：問 28）については、「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が 62.6%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が 15.5%となっています。

前回調査結果と比較すると、「現在利用していない、今後も利用意向はない」の割合が 18.7ポイント増加しています。

6 地域の子育て支援事業の利用状況について

現在、子育てのひろばを利用しているか（就学前：問 31）については、「利用している」の割合が 19.0%、「利用していない」の割合が 80.7%となっており、子どもの年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれて「利用していない」の割合が高くなる傾向がみられます。今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思うか（就学前：問 32）については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 71.1%と最も高くなっています。

前回調査結果と比較すると、「利用している」の割合が 1.7ポイント減少しており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 6.9ポイント増加しています。

7 放課後の過ごし方について

① 小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前：問 34、小学生：問 28）については、就学前調査（5歳児対象）では、「習い事」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 58.5%、「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 44.2%となっています。また、小学生調査では、「自宅」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 61.7%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 40.0%となっています。

前回調査結果と比較すると、就学前で「放課後児童クラブ（学童保育）」の割合が 15.8ポイント増加しており、ニーズが高まっています。

② 小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（就学前：問 35、小学生：問 29）については、就学前調査（5歳児対象）では、「習い事」の割合が 77.0%と最も高く、次いで「自宅」の割合が 74.2%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 25.8%となっています。

また、小学生調査では、「自宅」の割合が 76.1%と最も高く、次いで「習い事」の割合が 73.6%、「放課後子ども教室（キッズスクエア等）」の割合が 20.8%となっています。

前回調査結果と比較しても、就学前及び小学生の両方において、放課後過ごさせたい場所の割合に大きな変化は見られません。

③ 中学生の放課後の過ごし方

放課後どのような場所で過ごさせたいと思うか（中学生：問 23）については、「自宅」の割合が 75.5%と最も高く、次いで「学校（部活動等）」の割合が 64.0%、「習い事」の割合が 52.3%となっています。

8 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

お子さんが生まれた時、育児休業を取得したか（就学前：問 38）については、母親で「取得した（取得中である）」の割合が 57.8%となっており、取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が 20.3%と最も高くなっています。

一方で、父親は、「取得していない」の割合が 79.0%と最も高くなっており、取得していない理由については、「仕事が忙しかった」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した」等の多様な理由で取得できていないことから、企業も含めた仕事と子育ての両立支援の環境が必要であることがわかります。

前回調査結果と比較すると、母親の育児休業について、「働いていなかった」の割合が 10.1 ポイント減少する一方で、「取得した（取得中である）」の割合が 18.2 ポイント増加していることから、就労する母親が増加していることがうかがわれます。

9 芦屋市の今後の子育て施策について

① 芦屋市における子育ての環境や支援への満足度

芦屋市における子育ての環境や支援への満足度（就学前：問 42、小学生：問 36、中学生：問 29）（1：満足度が低い、5：満足度が高い）については、就学前調査では、「3」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「2」の割合が 23.2%、「4」の割合が 18.0%となっており、小学生調査、中学生調査においても、ほぼ同様の割合となっています。

前回調査結果と比較すると、中学生調査で「1：満足度が低い」の割合が 7.6 ポイント増加しています。

② 芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと

芦屋市の子育て支援施策に期待すること・重要なこと（就学前：問 45、小学生：問 39、中学生：問 32）については、就学前調査では、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が 45.0%と最も高く、次いで「こどもが主体的に行動できるよう学校教育・保育環境の充実」の割合が 39.4%、「地域におけるこどもの居場所の充実」の割合が 32.2%となっており、小学生調査、中学生調査においても、ほぼ同様の傾向となっています。

前回調査結果と比較すると、「教育・保育サービスの費用負担や学費など経済的支援の充実」の割合が、就学前調査で 11.7 ポイント、小学生調査で 14.7 ポイント、中学生調査で 16.7 ポイント増加しています。

10 子ども本人の回答について

本調査では、計画策定に関する調査と併せて、家庭の経済状況にかかわらず子育て施策を広く展開していけるよう、保護者への調査において世帯の収入額を問い、小学生高学年本人と中学生本人への調査において、基本的な生活習慣（食事、起床・就寝時間等）、他者との関わり、自己肯定感等について問いました。

① 食事の摂取の状況

朝ごはんを食べているか（小学生：問3、中学生：問3）については、「週6日以上食べる」の割合が、小学生で93.2%、中学生で86.7%となっています。また、「ほとんど食べない」の割合が、小学生で1.9%、中学生で4.7%となっており、「週4～5日は食べる」「週2～3日は食べる」と合わせた“朝ごはんを食べないときがある”の割合は、小学生で5%を超え、中学生で10%を超えています。

夕ごはんを子どもだけで食べることがあるか（小学生：問7、中学生：問7）については、「ほとんどない」の割合が、小学生で83.1%、中学生で66.4%となっています。また、「ほとんど毎日」の割合が、小学生で4.3%、中学生で6.6%となっており、「週に4～5日」「週に2～3日」「週に1日程度」と合わせると、小学生で2割未満、中学生で3割以上が夕ごはんを子どもだけで食べるとうかがわれます。

② 自分にはよいところがある

自分にはよいところがあると思うか（小学生：問24（1）、中学生：問24（1））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で87.5%、中学生で89.1%となっているものの、小学生、中学生ともに「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が1割を超えています。

③ 自分には将来の夢や目標がある

自分には将来の夢や目標があるか（小学生：問24（3）、中学生：問24（3））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で77.8%、中学生で68.7%となっており、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が、小学生で約2割、中学生で3割を超えています。小学生に比べ、中学生で“思わない”の傾向が強くなっています。

④ 頑張れば、いいことがある

頑張ればいいことがあると思うか（小学生：問24（5）、中学生：問24（5））については、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“思う”の割合が、小学生で93.8%、中学生で86.8%となっており、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた“思わない”の割合が、小学生で1割未満、中学生で1割を超えています。「自分には将来の夢や目標がある」と比べ、小学生と中学生で“思わない”の割合に大きな差は見られません。

⑤ 相談できる人がいるか

心配ごとや悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいるか（小学生：問 26、中学生：問 26）については、小学生では、「家族のおとな」の割合が 78.7%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 45.9%、「学校の先生」の割合が 30.0%となっています。

中学生では、「家族のおとな」の割合が 64.5%と最も高く、次いで「学校の友だち」の割合が 59.7%、「学校の先生」の割合が 23.2%となっています。

小学生に比べ、中学生の回答で、「学校の友だち」の割合が高くなっていることから、年齢を重ねるにつれて友だち付き合いが深まっていることがうかがわれます。

IV 自由意見

1 就学前保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	86
② 子育て家庭への経済的支援	250
③ ひとり親家庭の自立支援	4
④ 親と子の健康づくりの推進	9
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	37
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	99
② 小学校への円滑な接続	37
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	63
② 安全・安心なまちづくりの推進	50
③ 児童虐待防止対策の推進	5
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	38
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	21
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	6
(5) その他	39

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

※【 】内はお子さんの年齢です。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「こべっこらんど」みたいな子供が遊べる施設【3～5歳】 ・地域で遊べる場（むくむく、バンビなど）でとてもお世話になっています。産後の保健師さんの家庭訪問や、保健センターでの子育て相談、栄養相談などはいろいろ相談できてありがたかったです。【0歳】 ・箕面市から4月に引っ越してきたばかりなので詳しくは利用してません。2歳越えると、行ってみた子育てセンターは赤ちゃんばかりで利用しなくなりました。2歳は出来ることが増えるので、こども園ではなく公立潮見幼稚園の方が、レベルの高い先生や、環境、イベント提供してくれるため、3歳から入れたかったのですが…公立が2年は残念です。箕面だといろいろな幼稚園に連れて行ってたこともあり、芦屋市は私立幼稚園も少なく、正直選べないかなと。周りはこども園ばかりで、いろいろ見ましたが保育色が強いので正直うーん…と思ってしまいました。西宮浜にある私立いるか幼稚園か、東灘区の私立青い鳥幼稚園かで悩みましたが、最終的には、1年だけ近くのこども園にいれてその後公立幼稚園にする事に決めました。【不明】 ・近隣他市に比べ、子育て政策の優先度の低さを実感します。（特に理不尽な所得制限関連への対応や保育料の高さ）今後の芦屋市を担う若年層が子供を持つための金銭的なサポートに欠けるため、安心して子育てができません。周囲でも西宮市や明石市へ引っ越し友人が増えています。早急に改善を希望します。【3～5歳】 ・神戸市のような、色んな地域からでも行きたいと思えるような子育て広場ができたらいと思います。芦屋市在住の方限定にしないでいいとおもいます。公立中学や高校へ進学したいと思えるような教育内容を充実してほしい。ラポルテの駐輪場の数が少なすぎる。毎回待つので、子供を駅中の病院に連れて行くときに時間通り行けない事が多々あります。子連れで自転車を気軽に利用できるように駐輪場を増やして欲しい。翠ヶ丘町へ行く JR の踏切が開かずの踏切。踏切が開いた途端にすぐ閉まるので子供達がいつも急いで走って通っており危ない。踏切内の歩道も狭すぎる。街中がきれいで治安もよくとても過ごしやすいです。通わせている保育園の子供たちも攻撃的な子は少なく、先生や親の教育もしっかりしている印象です。【1～2歳】

項目	主な意見
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育やこども園については、特に不満なくありがたいと思っています。子ども医療費助成の所得制限をなくしてほしい。発熱したら毎回6000円ほどかかる。ギリギリで制限にひっかかる家庭なので、負担が大きすぎる。また、上の子が小学校に上がっても下の子の保育料半額を継続してほしい。下の子の入園のタイミングで上が小学校にあがり、対象外だった。3～5歳も保育料無料なのだから、同じようにしてほしい。小学校の給食が始まるのが遅く、終わるのが早い。特に1年生は4月末までなく、働きながらのお弁当作りが本当にしんどかった。隣の神戸市は1年も他学年と同時に始まるし、終業式の日まで給食がある。終業式前日までくらいまでしていただくと助かる。共働きが増えている中、神戸市などは保護者負担軽減のために学校が色々工夫してくださっている。子ども医療費もそうだが、住む場所によって不公平が生じるのは…とってしまう。以上の改善を早期にしていただけを切に望みます！！今後も住み続けられるように、よろしく願いいたします。【3～5歳】 ・高校からの学費を免除、一部負担にして欲しい【3～5歳】 ・保育料が高すぎて、何のために仕事をしているのかわからない。世帯収入があっても、月に5万も6万も保育料を取られるとそれだけで生活が苦しくなる。また、どうしても時短勤務をしないとイケない状態で収入も減ってしまい、預かりの時間も短い施設ばかりなので、キャリアを積み上げていけない。0～2歳児もぜひほいくを無償化してほしい【1～2歳】 ・改善してほしいこと小学校の給食は始業式から終業式まで提供してほしい。大阪市内では実施されている。大型の公園をに作ってほしい。公園は基本綺麗に整備されているのは良いが、たまに雑草等の手入れができていない公園も見かけるので、虫対策のために手入れしてほしい。【1～2歳】 ・西宮市のように18歳まで医療費がかからないように工夫してほしいです。うちは喘息児、アレルギー一般のトラブルが多く皮膚科や小児科、常用薬、発作が多ければ通院の他に入院もあります。時間外の診療など、医療費がかさみます。気軽に病院で見てもらえるように収入に関わらず、神戸市、西宮市のように無料とまではしなくても、400円まで、800円までと補助をしてほしい。切実です。【3～5歳】
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭にもっと充実した環境を整えて欲しいです【1～2歳】 ・中学生となると、部活用品や制服にお金がかかります。息子も1年で20cm背が伸びましたし、靴も3cm大きくなりました。陸上部ではスパイクが必要で、経年劣化やサイズアウトで3万近くするスパイクを頻繁に買い換えます。一人親世帯ではしんどいのでは？と思いました。ちなみに我が家もしんどいです。【3～5歳】 ・もっとひとり親に対して支援などをしてくれたら嬉しいです。子供の遊ぶ大きな公園などができたらもっといいとおもいます。【3～5歳】 ・母子家庭に対する支援を充実してほしいです。扶養手当をもらえる年収の設定が低いですし、保育園入園にあたって、点数が低いので基準の変更を検討してほしいです。ファミリーサポート、病児保育の利用料が安ければ、より気軽に預けられ、金銭的、体力的、精神的にも楽になります。検討宜しく願いいたします。【3～5歳】

項目	主な意見
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早急に、子供医療費の改善を求めます。無料か3割負担かなんて、おかしいです。共働き世帯が芦屋から離れる気持ちよくわかります。【0歳】 ・子供の健康には食事が何より大事だと思います。なので給食にオーガニックを取り入れたり、小麦は発がん性があるため控えるなどしていただきたいです。牛乳に含まれるカゼインは腸に悪いので毎日飲む必要はないと思います。昔と比べママ友同士の距離があるように感じるので、保育園でママ同士が交流できる場があればいいなあと思います。【1～2歳】 ・芦屋市の給食を一般の人でも夕食に食べれるような食堂がほしい。【1～2歳】 ・地域の集会所で行っている子ども食堂やイベントによく参加しており、低価格でおいしいごはんを食べさせることができ助かっている。人の目を気にしすぎずに親も子どものびのびと学び過ごせる環境で子育てできると良い。【1～2歳】 ・期限が過ぎてしまいましたが、協力できて嬉しく思います。公立の小中学校の教育、食育の充実を希望します。【1～2歳】
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市長が代わり、教育に力を入れてくださると期待しています。東京などとも比べても芦屋は子育てしやすいとは言えないと感じています。私立への進学補助など、公立に限らなくても良いと感じます。企業の就職でも、地域に由来のある人、という基準ではないですし、より良い人材を確保して、変革をしていただければいいと思います。【3～5歳】 ・まず家庭が大切だと思っておりますし、基本は家庭ですべきことではないかと思うことが多いです。そこを軸に様々な関係機関等を活用しながら、子どもの成長を見守っております。生活をしている中で、芦屋市（独自）の施策を感じることはあまりありません。私は他県出身で他市に住み結婚で芦屋市に来ましたが、だいたいどの市でも似たような取り組みかと思えます。明石市は突出しているようですが、聞いたことある話としては、芦屋市の給食はおいしいということぐらいです。現在の市長が教育に力を入れるとのことで楽しみにしております。私自身、福祉関係の管理職をさせていただいております、組織や団体が変わっていくことはとても大変と理解しております。市長が大切にされている通り真摯に対話をすれば理解されるされる方も増えることと思いますので、是非がんばっていただきたいと思えます。話が逸れましたが、取り組みなどは独自性かつ発信力がないと情報量の多さに気付かれないことも多いので、広報の工夫が必要かと思えます。【1～2歳】 ・赤ちゃんの頃に看護師さんが自宅訪問に来てくださったこと、保健師さんが自宅に来てくださった時は心強くてとてもありがたかった。子の年齢があがると悩むことも都度変わっていくのでできれば中学生まで相談できるなんらかの人が訪問してくださると子育ての不安が軽くなる人もいるのではと思う。特に自分のような人見知り激しく子育てグループに行くのは苦手だけど子育てについて話したいことがあるというような人にはありがたいです。子供医療費助成は収入額によらず全ての人が助成を受けられるようにしてほしい。他市では中学生・高校生まで医療費無料制度があると知ると、芦屋市は住民税高いのどうして収入によって有料なのかしらと思ってしまう。また、明石市が実施している第二子以降保育料無料はぜひ芦屋市でも実施していただきたい。芦屋市でも非課税世帯は第二子から無料だが、それでは第二子でお金がかかると感じた非課税世帯以外の世帯は第三子を作ること自体諦めてしまう。今現在を見て支援が必要かどうかで決めるのではなく、将来を見据えての支援というのをもっと増やしてほしい。毎週どこかでイベントがありチラシを受け取るので、芦屋市さんが助成してくださっているおかげで色んなイベントがあって子供と共に色んな経験ができるんだろうなと思った。ありがとうございます。【3～5歳】

項目	主な意見
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・出産ギリギリまで働いていて、いきなり世界が変わり、ママ友もおらず育休中は孤独を感じていました。子供の夜泣きも酷くフラフラな状態でしたが主人は帰りが遅く、近くに私の母親が住んでいなければ、ノイローゼになっていたと思います。子供が産まれるまで芦屋市のサポート機関がある事も全く知る機会がなかったので、もう少し市民にアプローチがあっても良いのかなと思います。これは芦屋市への不満ではないですが、子供を持ちながら働き続けるという事がどんなに大変な事が身に染みる毎日です。毎日葛藤しています。職場の若い世代が私の姿を見て、将来を夢見る事が出来るのか疑問です。熱が出て、しんどそうな子供の側に居てあげたいと思う事は贅沢な事なのかなと悩みます。第2子も出来れば産みたかったですが、経済状況等が不安できちんと学びの環境を整えてあげる事が出来ないなら産めないと思い諦めました。子供を産んでも大丈夫、国が市が手厚くサポートしてくれると思えたら兄弟も作ってあげたかったです。夫婦2人会社員共働きで子供1人ならどうにか衣食住に困らず、やっていけるかなという感じです。日本に未来なんてあるのでしょうか。こんな日本に産み落としてしまっただごめんねと思います。【3～5歳】
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・一時帰国の子供にも日本の幼稚園を体験させてあげたい【3～5歳】 ・近くの公立幼稚園は2年保育だったので、私立の幼稚園に入園しました。芦屋の公立幼稚園も3年保育であれば良いと思いました。私は3歳になった翌月から通える満3歳児保育のある幼稚園を探して入園させましたが、そういうものが公立幼稚園でもあれば良いと思います。未就園児を連れて遊びにいける場所が少ないように思います。園庭の開放も週に1日決まった時間のみなので、いつでも行ける場所がある他の市町村が羨ましかったように思います。例えば尼崎市にはJRの立花駅の近くにいつでも開いている子供の支援センターがあります。芦屋市の場合は私の場合、立地が合わず、時間も限られていたように思います。また、神戸市では温泉クーポンのようなものがあり芦屋市でもあれば良いのにな、と思います。また、子供の医療費無償化や子供手当について所得制限の撤廃を希望します。街全体で子供を育てられるような、それぞれの個人の強みを地域に還元できるような芦屋市であることを望みます。【0歳】 ・近くの保育園が2歳以上のため1歳児を預けられず、遠くのこども園に通っています。子どもを預けやすい保育園であってほしいです。土日のリフレッシュのために預けられるところがありません。費用の高い託児所しかなく、困っています。土日で就労目的以外で子どもを預けやすい施設、サービスを求めます、【3～5歳】 ・保育園について、希望する園に希望する時期に入れるような工夫をしてほしい。現在、最寄りの保育園から徒歩15分程度離れた園に通っており、駅とは逆方向のため通勤と併せての移動負担が大きい。小学校の学区制のように、原則市立施設は近隣住民を優先する等の制度がほしい。また、希望する時期(1歳以降)は徒歩圏内にある園全てが入園倍率が高い(4-5つ希望を出しても通らない可能性もある)と市役所で伺い、0歳で少し家から離れた園に入園したが、できることなら1歳まで自宅で過ごしたかったと感じている。市内には定員に満たない園もあるので、希望が多い園に保育士の配置転換もしくはヘルプ制度などを取り入れて、希望者の受け入れ拡大を図ってほしい。【1～2歳】

項目	主な意見
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・今小6、小2、保育園児1人、の3人子育てしています。国の政策でも話題になっていた、子供の人数のカウントの仕方は改善してほしい点です。我が家の場合、3人目が2歳児の時、我が家の保育園児が一名だったため、一年間は全額保育料となり、次女も学童代も一人目のカウントだったため家計がかなり辛い一年でした。産んだ年の差によって半額や免除になる方もいたり、逆に全額負担が3年にわたる方もいるかと思えます。産むにも環境や体調面など状況は十人十色のはずですが、2人目や3人目には変わらないので、その差が無いような施策を行っていただくと今後子育てされる方も有難いのではと思います。食育に関しては保育所には大変工夫しつついただいていると思い感謝しています。先生方もとても配慮があり、園庭で元気に駆け回れ安心して預けています。私立であっても市に認可されている、というのは親にとっては安心の一つかと思えます。その分、認可後も継続して監査はお願いいたします。 【3～5歳】
小学校への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校が自宅から徒歩40分なので涼風町近くに小学校建設してほしいです。【3～5歳】 ・学校での学習時間、内容の向上を希望します、塾に行くのが当たり前となる程公立の学習内容が乏しいと聞きます。まだ、直面していないため、詳しい話はできませんが、公立小学校の先生の負担が大きく、メンタル不全となる先生が多く、長女1年生の担任も結局半年以上不在でした。1年生の先生は親同然に子供が頼りにする存在。あってはならないと思っています。しかし、先生の負担は親の私から見ても、大きいと感じます。教員免許有無関わらず、たとえば元先生の方にアルバイトとして補助に入っていただき、先生を志す学生さんを担任補助として雇う。芦屋市はその程度の負担はできると考えております。【3～5歳】 ・公立の小学校に通う予定です。小学校の登校下校時の荷物がタブレットなどがある為、とても重たいそうです。少しでも、教室に置いて帰れるように指導を工夫してほしい。日本にはプールの授業がありますが、未だに伝統的に続けられています。本来の目的を考え、時代に合わせ、もう、なくしても、せめて選択制にしてもいいと思います。夏の暑さも、昔と比べ、気温が上がっています。9月でも暑い日もあるので、体育で運動場に出るのも、どうかと思います。時代、気候の変化にあった、カリキュラムに変えてどうでしょうか？公立でも、積極的に先生の人数を増やしてほしいです。公務員だけでなく、民間人も子供の面倒が見れるよう採用してほしいです。教育の質をあげるのは、ただ先生の人数を増やせばいいだけなのに、未だに増えないのは、何故なのか疑問です。どうぞ、ご検討宜しく申し上げます。【3～5歳】 ・西宮市で小学校教員をしています。全国的にも言えますが、子どもに関わる教職員が不足しています。子育てや教育へのニーズや要望がどんどん高くなる一方で、教員やスタッフ（特別支援の支援員やサポートスタッフ、事務をふくめ）の欠員が埋まらず、施設面でも予算がどんどん削られ、子どもに関わる人的物理的資源が乏しい現状が続いています。不登校支援など、新たな課題も大きくなってきています。芦屋市でも子どもに関わる人的物理的資源の拡充を切に願います。【1～2歳】

項目	主な意見
<p>小学校への円滑な接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、子供の小学校の進学先として神戸市のオルタナティブスクールか、または別の都道府県にある類似の学校を検討しています。その関連で、神戸市のオルタナティブスクールに通われている先輩方からは、芦屋市は神戸市と比べ、オルタナティブスクールに通いやすい枠組みになっていると伺っています。この点は芦屋市に引っ越して初めて知りまして、とてもありがたいと思いました。また、東京都から芦屋市に引っ越してきたので、その比較になりますが、これまで子供が病気になった際に、病院に関連する費用は全て無料だったので、芦屋市に来て自己負担分があることに驚きました。東京都とは得られる税収の大きさが異なるので理解はしていますが、面食らいました。また、こちらに引っ越した際、一時期保育所へお世話になっていたのですが、保育所の預かり時間が5時までであり、ほとんどの保護者の方がそれよりも早い時間帯にお迎えに来られることには、かなり驚きました。両親ともにフルタイムで働いている場合、職種によるのかもしれませんが、17時にお迎えに行くことはかなり難しいという先入観が私にありました。そのため母親、父親のどちらかが負担を強いられているのでは、という心配をしました。東京都では19時まで預けることが可能であったため、その点との比較でそう感じているのかもしれませんが。【3～5歳】
<p>基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備</p>	
<p>地域における子どもの居場所づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上の子が小学生ですが、児童が放課後過ごす場所としてはもっと選択肢があると良いと思っています。特に、学童保育の時間中に習い事や勉強の指導が受けられる場があると良いです。公立の学童保育と民間および地域の習い事との連携などがあってもよいと思います。実際、平日は保護者の引率が難しいため、土日に習い事をしています。ただ付き添いや送迎で土日が過ぎてしまうのがいささかもったいなく感じます。希望としては土日は旅行やキャンプなど家族の時間に充てたいものです。【3～5歳】 ・昔は地域のお年寄りともっと交流があったように思います。夏祭りで竹細工を教えてもらったり、竹籠編みを教えてもらったり。そんな交流が今もしてみたいです。上宮川文化センターを改装してあげてほしい。こないだ修善したわりに、変わってなくてびっくりです。綺麗にして欲しいし、もっと利用できるように宣伝してあげてほしい。【3～5歳】 ・低学年の子供が1人で図書館を利用できるようなサービスがあると嬉しい。時間やエリアを区切ってでも、利用サポートしてもらえるような人がいると安心していかせられると思う。不審者が多く、公共施設でも1人は不安があるので付き添う事になっている。【3～5歳】 ・仕事に行く時間と学校に行く時間が被っていて、小学校に入る時少し心配しています。土曜日とか夏休みの学童に行く時間を朝もう少し早くして欲しいと思いました。【1～2歳】

項目	主な意見
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20年ぶりの出産でした。色々考え方も変わってきてはいますが、意外と芦屋市は道路の舗装などが行き届いていなかったり、色んな施設のエレベーターが狭かったり…お年寄りがたくさんいる割には小さな子供を持つ人やベビーカーで行動するには不便だなと思います。また、保育料が高く働く意味がまったくないほどです。産前より残業もできない、子どもの体調不良で休まないといけないのに保育料の負担が大きすぎると感じます。離婚していないからといって決して楽ではないのに配偶者がいる、収入があるというだけで全く加味されないのは一度検討していただきたいです。東京や大阪は年齢関係なく保育料無償化の話が出ているのに芦屋市はまったく出てこないのが不思議です。またJR沿線に保育園がまったくなく、通勤するのに遠くまで送っていかないといけないのでその分また仕事の時間が削られてしまう。子供は大事ですし、仕事、仕事となるより、子供との時間を大事にしたいが、働かないと生活していけないのに保育料がたかく、負のループだなと感じています。新しい市長さんになって、お若いですし、お年寄りも大事ですけど、小さな子供たちがこれから将来活躍してってもらわないといけないと思うのにまた子供を産みたいという気持ちになれないのが残念です。お金持ちの方が多く、治安が良いのはとても安心して生活できますが、一般庶民な私達の家庭はなんとなく肩身が狭い思いがあります。また福祉施設が遠く、車を持っていないのにバスの本数も少なく健診なども指定された日に大変な思いをして1人でつれて行かなければならないのが辛いです。仕事も休まないといけないし、木曜日しか実施されていないことに驚きです。もう少し融通をきかしてほしいです。【3～5歳】 ・ 親が子育てを苦しむのびのびと子育てができるようになればいいと思います。共働き家庭としては、病児保育の手続きをもっと電子化してほしいです。毎回紙を書くのは大変です。また利用料ももう少し抑えて頂けると負担なく助かります。せっかく高島市長になったので、グローバル目線で子育ての施策を考えて頂けると嬉しいです。【1～2歳】 ・ 芦屋市は他の市町村に比べて公園が充実しており、子どもものびのび遊ぶ事ができ、ベビーカーを使わずにすむ状況が作りやすいため本人の運動能力も向上しやすいように感じます。また、他年代が公園を利用している様子を見て子が何か考えたら感じる事もあるようで、発育にも良い影響がありそうです。ありがたいので公園の充実は今後も継続してほしいと思います。図書館も利用しやすく大変助かります。私の蔵書だけでなく、さまざまな本に触れられる機会を子に提供できて助かっています。図書館内の子ども用ベンチも解放的で良いです(大人とゆるくエリア分けしてくださっているので、子が「これなに?」「よんで」と言ってきた時に対応しやすいので嬉しいです)【3～5歳】 ・ 子供たちが安心して登校、登園できるよう道路整備をお願いしたい。交通量が多いにもかかわらず歩道がなかったり、歩道が一部途切れていたり、歩道上に路上駐車する車があったりと、子供たちが安全に登校・登園できない場所が多いので、改善をお願いしたい。また、全ての子どもが平等に公的支援を受けられることが重要であると思う。財源の制限があることは理解するが、親の所得によって子どもへの支援が異なるのは、本人の合理的支配可能な事由を超えた差別的取り扱いではないか。一部の超高額所得者を除き、各種制度の所得制限にかかる保護者は税負担も大きく、物価高騰の影響もあり、将来の学費等に不安がないわけではない。それにも関わらず、子どもに関してほとんど支援を受けることもできず、不公平感が募る。それにもかかわらず、市議会はJR南側再開発事業ばかりで、子育て支援と口にするだけで全く期待が待てない。子育て支援の充実した地域への転居も検討している。【3～5歳】

項目	主な意見
児童虐待防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校等の学級崩壊についてよく聞くので改善してほしい。【0歳】 ・教育に関しては市長の個別の能力に応じた教育に期待しています。小学校でのいじめのニュースを見たのですが、いじめがあったにも関わらずその認定すらも遅い環境は改善してもらいたいです。被害者側が登校できなくなるのではなく、加害者側の本人、親との面談やカウンセリングを行い被害者との和解を目指すなどきちんと取り組んでもらいたいです。将来子どもが通うかもしれない小学校なので、教員、教育機関、市がいじめを認めて対応してもらえないと誰を頼ればいいのか不安に思います。【1～2歳】 ・小学校の先生のレベルが違う。いい先生もいれば、何か毎日ヒステリーに怒ってる先生もいて(先生もお忙しいのは理解しています)、先生達の環境な改善やリフレッシュも必要では?と思いました。【3～5歳】 ・公立小学校のいじめ、学級崩壊への適切な対応。【3～5歳】 ・いじめ防止に関する教育はしっかりしてほしい。暴力や仲間外れ等日常生活態度に関することはもちろんですが、特に SNS が身近な存在となっている昨今においては、スマホやタブレットなどの使い方、リスク面について、授業としてしっかり教えてほしい。放っておくと子供はスマホやタブレットをただの便利で楽しい遊び道具として認識してしまいます。誤った使い方をすると人命を奪ったり、犯罪に巻き込まれたりすることがあることを小学生のうちから認識させてほしい。また、小学校、中学校といった義務教育期間における携帯電話の所持利用について、芦屋市の明確なルールを設けてほしい(校内での利用禁止等)。子供を育てる上で、教育や医療にかかる補助や助成(制度や経済面)をより手厚くしてほしい。【3～5歳】
配慮が必要な子どもとその保護者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・2歳の発達障害の男の子を育てております。児童発達支援施設を利用しており、ぜひ改善いただきたい点が2つございます。1つ目は受給者証の利用日数について。芦屋では10～15日/月と聞いているのですが、神戸・西宮では20日ほど出るとのことで地域差が大きいように感じます。2つ目は保育園との併用について。児童発達支援施設を利用した後は保育園に登園することができないのはなぜでしょうか。共働きの立場としては保育園に預けられるようにしていただきたいです。芦屋市内の児童発達支援施設に見学へ行くと、午前中は空き枠がたくさんありました。午前療育→午後保育園というのが芦屋ではできないからではないかと思います。1つ目は予算の関係等で難しいのかもしれませんが、2つ目の制度においては早く改善いただけましたらと思います。様々な支援を受ける立場になり、市の支援には本当に感謝しております。自分の子どもが発達障害だとわかり、少しでもよりよい人生を送ってほしいと思いながら、保育園と児童発達支援施設を併用しています。発達障害の子の親という少数派の意見ではあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。【3～5歳】

項目	主な意見
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋市は小学校で、インクルーシブを取り入れていると聞いていますが、周りの評判からは、うまくできていない&インクルーシブはしない方がいいとできっこない、それは、インクルーシブをうまくするには、色んな経験豊富なスタッフが充実していないといけなく、上手く行われている所はない。今の芦屋の状況は人手不足な状況だから、周りの市のようにした方がいいと聞いていますが、まだインクルーシブをされるんですか？初め、インクルーシブの内容を聞いた時、すごい良いなと思いましたが、やはり、一人一人にあったというのは、厳しめに等しいと思います。ニュースの話題作りではなく、周りの市の様に普通に手厚く教育をして欲しいです。娘が発達障害なので、不安でしかありません。芦屋の市職員の方々はインクルーシブを誇りに思っています。娘が、専門家からは全くその評価を得てないのを、市長はご存知なんですか？インクルーシブが成功できたら素晴らしいですが、それは夢の目標です。もっと専門の先生方に意見を聞くべきです。一刻も早くやめてもらいたいと思います。でないと、心配でたまりません。小学校に行くのが嫌と言わないような学校作りをしてもらいたいと思います。娘の様な発達障害を知るまでは、学校に行くのが当たり前。なんで行かないのと思っていたが、発達障害の場合、学校に行くのも大変、行ったら行ったでその空間にいるのも大変。勉強するとすると、もっと大変。そんな状況なので、先生が足りなければ何も始まらない。まずは、先生を補充して、専門的な人も追加して下さい。芦屋市には、特別支援学校があると思われるかもしれませんが、そこに行かすともっと成長が遅くなる可能性があるため、普通の学校で、少しでも手を差し伸べて貰えたら普通の学校に行くのにといい親が多数いらっしやると聞いています。幼稚園保育園の加配審査の人数も、いつも以上に多いと聞いています。コロナで子供のコミュニケーション不足から、そういう子供も増えていると思います。なので、インクルーシブとうたっているのではなく、普通にスタッフを増やし対応してもらいたいです。【3～5歳】 ・ 2歳の発達障害の男の子を育てております。児童発達支援施設を利用して、ぜひ改善いただきたい点が2つございます。1つ目は受給者証の利用日数について。芦屋では10～15日/月と聞いているのですが、神戸・西宮では20日ほど出るとのこと地域差が大きいように感じます。2つ目は保育園との併用について。児童発達支援施設を利用した後は保育園に登園することができないのはなぜでしょうか。共働きの立場としては保育園に預けられるようにしていただきたいです。芦屋市内の児童発達支援施設に見学へ行くと、午前中は空き枠がたくさんありました。午前療育→午後保育園というのが芦屋ではできないからではないかと思えます。1つ目は予算の関係等で難しいかもしれませんが、2つ目の制度においては早く改善いただけましたらと思います。様々な支援を受ける立場になり、市の支援には本当に感謝しております。自分の子どもが発達障害だとわかり、少しでもよりよい人生を送ってほしいと思いながら、保育園と児童発達支援施設を併用しています。発達障害の子の親という少数派の意見ではあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。【3～5歳】 <p>上宮川児童センターの子育てフリー相談を、幼稚園に入園するまでに何度も利用した。発育の遅れや、トイレトレーニングで失敗した事、食事について等の相談をさせていただきました。ベテランの相談員の方からのアドバイスや励ましに安心できました。また、相談に来られていた方との情報交換もできたのが良かった。【0歳】</p>

項目	主な意見
基本目標4 仕事と子育ての両立の推進	
仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てというより、子育てしながらでも仕事をしやすい施策が必要だと思えます。時短勤務をしていて退社時に気まずい思いをしたり、残ったメンバーに負担をかけることがツライです。時短勤務をする社員がいる企業やその同僚に、人員や給与などの追加付与をするなどが一番良い。子育て支援をいくら充実させても周囲(特に職場)の理解がないと難しい。【3～5歳】 ・公立の幼稚園に通っています。給食だったらありがたいですがお弁当。保育時間が短い。12時までの日が週に2日もある。預かりでも16時まででは短い。働き出したくても働けない。芦屋市では働きながら子育ては出来ないなと思いました。母親が皆、主婦前提のサポートの仕組みなのかなと思います。他の市町村でもまだ難しいですが、芦屋が母親も働くことが選択できる地域になれば素敵だと思います。しかし、芦屋に来て預かり時間が短くなったせいか、子供が休みたいと言わなくなり、風邪も引きにくくなったように思います。何故半日の日があるのか、理由があるなら知りたいところです。本音を言えば毎日2時半まで預かってもらえて、給食だったらいいのと思います。【3～5歳】 ・保育所に入所する時に、今現在の会社から離職するように言われて、パートタイムになったが、保育所には正社員じゃないと入所できないと言われた。会社が決まっていなかったら保育所に入所できない、でも会社も保育園が決まっていなかったら働けない矛盾に悩みました。また、雇用保険に入りたいが、保育園の入所規定にも反しないように時間の調整するのが難しかったと記憶しています。また、国からの育児給付金などのお金が半年以上経っても届かなかったこともあり、復帰する前、子育て中に不安を感じる事が多くありました。そんな時に一時預かりや、子供とホテルに泊まるクーポン等があったり、助産師さんなど相談員さんが来てくれて相談に乗ってくれたり、少し子育ての手伝いをしてくれるシステムがあればいいなと思いました。子育てと仕事の両立は難しいと思いますが、復帰のタイミングの時期が1番ストレスが大きいです。その部分を解消してもらえたらずいぶんと助かると思えます。また、私の会社は、2人目を産みたいと思っても会社を辞めなければ難しい状態です。女性の上司からもそう言われています。現状中々辞められないですが、長期的に1人の担当に相談できるシステムがあればいいなと思います。また2人目を産む際、収入面からも不安があります。1人目の時は正社員だったので育児給付金は余裕があったが、パートタイムになると給付金も減るので収入面からも考えられません。そこの2人目の収入面のサポートも手厚くしてもらうことが必須だと思います。芦屋市は自然や公園が多く、芦屋市外の友人を招くと驚かれて羨ましがられます。今後も芦屋市に住んでいきたいので、子育て世代へのサポートの方よろしくお願い申し上げます。【1～2歳】 ・仕事を辞めなければこのまま育児をしていくのは困難と考えている。改善点としては病児保育が充実すること。南芦屋浜地区の子どもが通いやすい小学校ができる、または潮見小までのスクールバスができること。小学生の朝の預かり制度があるとなお、ありがたい。学童保育の充実。転居前は同じ年収で月々6万円の保育料だったため、現在芦屋市は9万円弱で、これから第二子も生まれるため経済的にとてもきつい。現在のPTAの活動を、シルバー人材センターやボランティア、外注にしてほしい(スクールバス運転手の確保なども含めて人を雇う補助金を出して欲しい)。良い点としては、ファミリーサポート制度がある。公園が充実している。【3～5歳】 ・子育てというより、子育てしながらでも仕事をしやすい施策が必要だと思えます。時短勤務をしていて退社時に気まずい思いをしたり、残ったメンバーに負担をかけることがツライです。時短勤務をする社員がいる企業やその同僚に、人員や給与などの追加付与をするなどが一番良い。子育て支援をいくら充実させても周囲(特に職場)の理解がないと難しい。【3～5歳】

項目	主な意見
産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・出産後1ヶ月の保健師さんの訪問は、1人目のときは特に色々教えてもらったので良かったです。またカンガルークラブも同じような月齢のお子さんがいる方と知り合えて良かったです。共働き家庭に対する支援(家事代行サービス、ベビーシッターサービスの割引等)があると嬉しいと思います。【0歳】 ・来年4月から下の子を預けて仕事をしようとしたが、保育園、こども園の定員がいっぱいで入れず幼稚園に入るようになった。最近では母親も働く人が多いため保育園、こども園を充実させて欲しい。子供の医療費が高い。収入が高いという理由で補助が受けられない。税金を支払っているのに補償されないのが不満に思ってしまう。他の市では子供は収入に関わらず一律だったりするのがすごく羨ましく思う。【3~5歳】 ・第三子出産を機にパートを退職し、再び働こうと思い面接を受けたくても一時保育に空きがなく祖母に来てもらいました。また仮に採用となってもすぐには預けられず、その間の期間だけは一時保育も。と考えましたが9時~しかなく9時~始業だったので厳しいと思いました。他にも、歯医者や自分の病院に行くのに預けられるところが南芦屋には、なかなかありません。なのでずっと身体に違和感を感じながら生活しています。子育ては楽しく子供と居られることに大変幸せを感じていますが、やはり自分の時間や何かチャレンジしたい!と思った時にすぐに預けられる場がほしいです。これでは、働こうと思っても働くことは厳しいと思いました。どうかよろしくお願いします【3~5歳】 ・来年4月から下の子を預けて仕事をしようとしたが、保育園、こども園の定員がいっぱいで入れず幼稚園に入るようになった。最近では母親も働く人が多いため保育園、こども園を充実させて欲しい。子供の医療費が高い。収入が高いという理由で補助が受けられない。税金を支払っているのに補償されないのが不満に思ってしまう。他の市では子供は収入に関わらず一律だったりするのがすごく羨ましく思う。【3~5歳】 ・出産後1ヶ月の保健師さんの訪問は、1人目のときは特に色々教えてもらったので良かったです。またカンガルークラブも同じような月齢のお子さんがいる方と知り合えて良かったです。共働き家庭に対する支援(家事代行サービス、ベビーシッターサービスの割引等)があると嬉しいと思います。【0歳】
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと利用者の声に耳を傾けてほしい。困ったときに相談しても、お役所仕事という感じで、親身になって対応してもらえなかった。あと、このアンケートは途中で一時保存できるようにしてもらいたいです。入力内容が細かすぎで時間がかかりすぎたので。【0歳】 ・少子高齢化の縮図のような市。全国に名のとおり芦屋市が、明石のような政策をし、子どもへの手厚さをみせることで、人口は増える。また使いきれていない公園はPFI?などで指定管理を結び市の魅力の一つとして発信。ポーネルンドを誘致し、大阪に出る必要をなくせば、市民のQOLはあがる。また市民があそびを通したまちづくりを行えるといい。洛西口のガタゴトのようなハブ的な役割の場を民間と行うと活性化すると思う。【0歳】

項目	主な意見
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについて設問が難しく、回答の入力に悩みました。と申しますのも、対象の子は現在、年長児であり、長かった保育園生活もほぼ終了であるため、今後の保育事業の利用希望についての設問は、実績を入力せざるを得ませんでした。また、勤務に関する設問も、平日5日間通勤1日8時間フルタイム勤務の被用者を想定しているのか、在宅勤務混在の勤務や、すべて在宅勤務の方にも答えにくかったと思います。私自身、コロナ禍以降は在宅勤務が増えましたが、在籍する公立幼稚園や認可外保育施設では、コロナ禍以降在宅勤務が増えた人、もともとすべて在宅勤務だった人、不定期な就労がある人、自営・事業主・士業などで労働時間について裁量はあるもの多忙な時期がある人など、多様な働き方をしている人が結構いらっしゃるように思います。このアンケートのみならず、多様な働き方に対応できるような保育を希望します。公立幼稚園について公立幼稚園に通い、芦屋市の公立幼稚園どの園も教育の質が非常に高いと感じました。(地域の人もかかわった豊かな経験ができる。主体性が育まれる良くてできたカリキュラム。人事ローテーションが適切なのか、どの先生も熱心。未就園児に対する地域の子育て支援施設として十分な機能を果たしている。)しかし、少子化も手伝って、園児が減少しています。もっと公立幼稚園の良さを知ってもらい、有効活用されればよいと思います。急に転勤が決まって芦屋市に転入されるご家庭、不定期に就労されているご家庭、海外に住む人の一時帰国の際の利用、支援の必要なお子さんなど、認可保育園に預けにくいご家庭のセーフティーネットの側面もありますので、認定こども園等へ移行すると困る人が増えると思います。 ・今後必要とされる人材が育つ教育改革を期待しています。新聞記事で知った教育委員の件は残念に思いました。芦屋市民でない現市長の当選こそが、外部の優秀な人材を望み、芦屋をより良く変えてほしいという民意の現れだと思います。【3～5歳】 ・自らもっと芦屋市の情報をとって、考えていきたいと思います。【3～5歳】

2 小学生保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	84
② 子育て家庭への経済的支援	186
③ ひとり親家庭の自立支援	7
④ 親と子の健康づくりの推進	2
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	9
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	22
② 小学校への円滑な接続	67
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	63
② 安全・安心なまちづくりの推進	33
③ 児童虐待防止対策の推進	1
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	46
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	24
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	78

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

※【 】内はお子さんの学年です。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・他市に比べ、子育てセンターやなかよしひろばなど、家庭外で遊ばせながら話を聞いてもらえ落ち着く場所が多いことは有難かった。コミスクで安価にスポーツなど体験できる。体育協会のスポーツ事業でさまざまな体験ができる。キッズスクエアと学童保育の併用でいろんなお友達と過ごせる。図書館の分室が多く、返却ポストもあるので利用しやすい(ない地域にはもう少し増やしてほしい。)改善してほしいこと。産後ケアサポートが少ない。子育てセンターは遠くて不便。開館がお昼寝時間が多く、間に合わないことが何度もあった。わくわく冒険ひろばは存在を知らなかった。学童保育の部屋が狭く密になりがち。【小学生低学年】 ・我家は子供が小学生になってから、他市から引っ越してきたので、乳幼児の子育てセンター等は全く利用したことがないのでわかりませんが、キッズスクエアについては、低学年が友達と放課後安全に遊べるのでとても良い取り組みだと思いました。ただ、芦屋の小学校は昔からこうだからと、ルール変更に柔軟ではないな、と感じます。(冬でも体操服は半ズボン、スパッツ不可等)【小学生低学年】 ・子供が小さい時は保健センターの室内遊びを利用できたことが有り難かったです。公園が充実しているので外遊びが活発にできています。学童の待機ゼロ施策は非常に有難いです。ただ保育園が7時からなのに学童が8時から、というところで1年生の壁を体験しました。給食がない時に学童にお弁当を毎日持たせるのが非常に負担です。お弁当宅配など何かしら利用できるようにしてほしい、というのは学童保護者大半の希望だと思います。【小学生低学年】 ・産後に保健師さんが自宅にきてくださるのは、とてもありがたかった。特に第一子の時は不安で孤独だったので。エリア毎に集える場所があると(公民館利用)ご近所の赤ちゃんを産んだお母さんたちと知り合えていいと思います。そのエリアのファミサポさんやエリア担当の保健婦さんもついていてくれると、相談しやすいし、知り合えてより安心してファミサポが利用できると思います。【小学生低学年】 ・習い事の送迎で阪神、阪急の駅前を利用することが多いが車を停める場所がなく送迎しにくく危険。潮芦屋地区に住んでいるが小学校が遠い。15年前に住む際には潮芦屋地区に小学校ができると聞いていた。小学校がないため新しい世代の参入がなく街が高齢化していつてしまう。【小学生高学年】 ・芦屋の給食、食育はとても充実していると思います。一方で、教職員の数が足りず、一年で三度も担任が変わるなど、子どもが安心して登校できる態勢が整っていないのが残念です。また、タブレットの活用も未だに十分ではありません。双方向の授業や学級閉鎖時のオンライン授業など全く試みられていないままです。大きな方向性としては、これからの時代にあった、グローバルな視点を持つ教育。公教育でも、最先端のカリキュラムや英語、プログラミングをどんどん採り入れて、個人の能力がいきる教育が実現されればいいなと思っています。【小学生高学年】
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと自治体の将来を見据え、子供達へのキャリア教育(進学ありきではなく、いつでも性別に関わらず仕事に就くことの社会的意義を教える場)を積極的に進めてはどうか。将来的に芦屋市での勤労者、税収のアップにもつながると考える。一方で、キャリア教育をせつかく推し進めても、一定収入以上の世帯が子育て制度において対象外となっていたり、低減措置をとられている現状では、芦屋に住む親世代が「働き損」「働かない方がお得」と考え、子供達へのキャリア阻害に繋がりがねない。そのため、世帯年収や個人収入による子育て制度の

項目	主な意見
	<p>不整合は早期に撤廃いただきたい。【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の無償化高校授業料の無償化習い事助成【小学生低学年】 ・うちは小学生と中学生だが、子どもの教育費がかなりかさむ。部活もすればなおさら。特に部活は、道具、服装、移動費などこれだけ個人に負担がかかるのは、家庭によってはやりたい事もできないのではとってしまう。【小学生低学年】 ・高校まで、医療費の無料化。私立学校通う人にも教育費の補助金制度。子供の数、習い事など子育てに費用がかかります。私立への学力があるのに、兄弟どちらかが受験をさせてあげれないと諦めるご家族もいると思います。増税課税もあり、子供の教育費のために旅行など諦めてます。所得に関係なく助成してほしい。【小学生高学年】 ・医療費がかかる。東京が高校の授業料の無償化がはじまるので足並みを早々に合わせてほしい。共働きや所得制限があっても子育てに関する施策は公平にしてほしい。【小学生高学年】 ・所得制限があるため、毎月高額な医療費を払っています。近隣では撤廃が進んでいるなか、全体的にいろんな事が遅く、不満がたくさんあります。議題にあげるだけではなく早く実現して欲しいと強く思います。【小学生高学年】
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市はひとり親家庭で育てるには暮らし辛い町です。相談に行った時も明石市への引越しを勧められました。市に期待する事は給食費の無料化。子供達は将来、芦屋を出ていくようなので何も期待しないし望まない。【小学生低学年】 ・ひとり親ではあるが、世帯収入の上限を超えているため、住民税等を収めているにも関わらず支援金など貰えていない、特段支援の必要性を問われたこともありません。でするので、国及び芦屋市の施策には特に期待することはありません。【小学生低学年】 ・ひとり親家庭への貸付 「話だけ聞きますが財源がありません」と断られた。ひとり親への就労支援 子供を放置するだけの就労案、病気があっても2、3つ仕事をするように生活援護課でアドバイスされたが、それでは持続不可でヤングケアラーの問題や子供の権利はどうなるのか。子ども家庭総合支援室で相談したが、話すだけで何も解決しない。自分が虐待してしまいそうで頼りたかったが、西宮家庭センターに連絡すると「会えなくなりますよ」と思いとどまらせられた。ショートステイも利用者がいっぱい、など断られるばかり。子どもが生きてて良かったと思いますが、いつまた自分に限界がくるか不安で仕方ない。頼れる場所がない。改善して欲しい。山の子会の学習室 子が騒いだため利用者の中で一番年齢が低いうちの子が誰もいないところでボランティアの高齢者に殴られた。安心して預けれる場がない。持病があるひとり親は肩身が狭い。社会的弱者になったことは承知していますが、家事子育てが限界の中無理に就労を追い立てないで欲しい。頼れるところが見つからないままで、追い詰められるだけです。【小学生高学年】
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今、近眼の子供が激増しております。芦屋市は、他市に比して学校の眼科検診が少ないと聞きます。現状年一回かと思いますが、例えば西宮市のように学期ごとに検診を設定しては如何でしょうか。我が子もそうなのですが、近眼は短期間のうちに急激に進行してしまうそうです。切に願っております。高島市長、応援しております！どうぞ芦屋市のこれからについて、お力を発揮して下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。【小学生高学年】 ・芦屋は治安が良いとは言いながら、子供たちだけで遊ばせるには心配があります。公園遊びが好きな子供ばかりではないですから、週に一度くらい、大人引率のウォーキングなどがあれば良いなあと思うことがあります。【不明】
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みに対しての相談窓口一覧を広報で出して欲しい。簡単でいいので、

項目	主な意見
	<p>ひきこもり、いじめ、DVはこの番号は電話して欲しい等。個人的にはタウンページ的なものが嬉しい。悩みが多い人が助け合える芦屋であって欲しい。『こどもまんなか』よりも、大人達が『こどもをまもる』『こどもを成長させる』ことがなにより大事だと思う。子どもが未来を見据えることができる芦屋であって欲しい。知識も大事ですが、それよりも生きて行くための知恵を身につけて欲しい。たくさんの経験をさせて欲しいと思います。高島市長には、英語はなにより喋ることが大事なので、保育園から英語のディスカッションができる授業を頻繁にして欲しい。子どもたちも抵抗感もなくなると思います。私自身は生活は苦しいですが、子どもの笑顔があり毎日充実しています。ありがたい事に、私の周りは皆、私や子どものことを成長させてくれる存在なので、芦屋は最高の街だと思っています。最後に障がい者にも是非目を向けて欲しい。ぜひ、障がい者でもできることがあるので、あしふく等の行事に参加させて欲しいと思います。よろしくお願いします。【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR を挟んで北に、子供に対する相談窓口や文化施設作ってもらえませんか？相談したい時は困っている時、困っている時は、距離が遠いとしんどいです！自身の経験から車のないうちでは、身なりを整えてバスで向かうパワーはありませんでした。是非北側に気軽に相談できるような場所作りをお願いします。【小学生低学年】 ・ 子育て相談に申し込んだ時、相談内容にある項目でしたが、あまり有益な相談ができませんでした。相談窓口がいくつかありましたが、どこが適しているの分かりにくかったです。カウンセラーさんの専門分野や資格や性格などが分かった上で申し込めたらと思いました。【小学生高学年】 ・ 小学校、中学校での困りごとを言えるような匿名の窓口みたいなものが欲しいです。ネットでもいいし、なんでも良いので。【小学生高学年】
<p>基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供</p>	
<p>就学前教育・保育の体制確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋市は他の市と比べて、フルタイムの共働き世帯は少ないと思います。もう既に子供も就学してしまいましたが、公立幼稚園の2年→3年への実施をもっと積極的に行なって欲しいです。公立幼稚園だからこそできる、幼稚園で過ごす親子やお友達との時間は、こども園では難しい内容だと思います。こども園ばかり新築拡充するのではなく、今ある施設でサービスを増やす方が効率的だったのではと思います。小学校では、担任の先生を選ぶ事はできませんが、高学年は科目毎で先生がついてます。これを、もっと低学年から進めてもいいのでは…と思います。2年生頃からの学級崩壊を、クラスだけではなく、学年や学校全体でカバーできる良い機会だと思います。【小学生低学年】 ・ 芦屋市は集会所や公園など公共の施設は数綺麗で素晴らしいと思います。しかし、こどもが未就学の時は0歳から毎年申し込んだにも関わらず、認可保育園には入れませんでした。一時保育も気軽には使えず、預かり時間が短いため利用できませんでした。市の病児保育は年に数回利用していて満足度は高いですが、定員がいっぱいで利用できないことがあり、困ります。【小学生低学年】 ・ 芦屋市に希望すること 乳幼児期は、ゆっくり子供に向き合える時間と場所の支援。【小学生高学年】 ・ 過去に保健センターを利用した事があるが、たらいまわしや、人により対応が良くないことがあったこども園一期生だったが、当時園長は預かりなど、対応が柔軟でなく、不満に思うことが多かった。今は定年退職されているが、現在は改善されている事を望む。幼稚園がこども園に集結されたが、やはり保育園色が強く、満足いかない一年だった。幼稚園が減る事は残念で、幼稚園、保育園を合併させる事は無理

項目	主な意見
	<p>があると思った。【不明】</p>
<p>小学校への円滑な接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小学校に通っていますが、2年生で1クラス 36 人います。欠席して抜けた授業内容や、授業でわからなかったことや聞きそびれたことなどあっても、担任が1人で多忙の様子で消極的な我が子は質問するタイミングがなく放置しています。低学年の間は補助の先生を補充していただきたいです。結局、学校教育だけでは不安になり公文に入りました。【小学生低学年】 ・高島さんが市長になられた事で、色々なところで良い方向に変化が起きて来ていると感じています。「最高の学びができる芦屋」という目標において、さいたま市の細田氏が参加して下さるのでは？と、とても大きな期待を持つことが出来ましたが、残念ながら反対派がいらっしやったようですね。細田氏の事は以前から興味があり、公立校での英語教育での実績など知りたい事だらけです。芦屋は小さい町です。その小さい町だからこそ良い意味で変化させるスピードは早くなるはず。つまらない理由で反対するのでは無く、本気で子供達の将来と向き合って下さる市議会であって欲しいと思います。子供が小学校に通っている間に大きな変化を期待します！【小学生高学年】 ・小学校からの IT 教育が、世界的にかなり遅れていると思います。昨年、今年と、プログラミング教室から WRO(worldrobotOlympiad)の国内大会に参加をし、チームメイトが国際大会へと出場した関係で国際大会も観戦しましたが、諸外国は学校の教育プログラムの中にプログラミングやロボティクスが取り入れられており、日本との大きな格差と危機感を感じました。是非芦屋市でなにか先進的な取り組みを始めたいと思います。【小学生高学年】
<p>基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備</p>	
<p>地域における子どもの居場所づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生になると、公園で鬼ごっこをする年齢では無くなり、放課後や休みの日に友達と集まれるところが無いようで、神戸や西宮のゲームセンターやカラオケ、あるいは USJ に出かけています。中高生が気兼ねなく集まれて楽しく過ごせる場所は、必要だと感じます。【小学生低学年】 ・ボール遊びができる公園整備もお願いしたい。岩園地区には広い公園がない。集会所にも自習室がほしいと高校生の長男が言っています。【小学生低学年】 ・子供の居場所が少ない中、キッズスクエアはとても助かっています。【小学生低学年】 ・私はもともと神戸で育ちました。神戸は学童も自由に行き来でき、遊び場も多く子どもの居場所が沢山ありましたが芦屋に来てとても少なく感じました。土地的なものも関係すると思いますが、寂しいなと思っていました。子どもが未就学の際は神戸まで遊びに行っていました。しあわせの村、遊具が沢山ある公園、見晴らしのいい公園等。神戸に遊びに行くのは近いのでいいですが、車が無ければ難しいと思います。【小学生高学年】 ・大阪市の小学校に比べて、1年生がキッズスクエアに参加できるのが遅い。長期休暇前後の給食の終わりと始まりが遅い。母親は専業主婦か時短勤務やパートの前提で組まれてる気がする。フルタイム、母子家庭にはスケジュール的に困難に感じた事が多かった。【小学生高学年】
<p>安全・安心なまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施策ではないですが、子供が安心して暮らせる安全な街になって欲しいです。特に子供の通学路には危険な箇所がたくさんあり、通学路そのものを見直して欲しい。ライト坂、開森橋の交差点の西側。信号が複雑で車が速度を緩めず直進して来ることが多数ある。タイムズ芦屋川駅前第三付近。横断歩道が無い。サンモール。狭い上に交通量が多い。【小学生低学年】 ・町内に子どもが少ないため、集団登校の人数も先細り傾向にあります。

項目	主な意見
	<p>通学路は事故が多いライト坂から芦有に向かう道路になっており、一部歩道のない箇所や歩道の狭い箇所があり、車道を歩かなくてはならないことが危険でとても心配です。公園は雑草が生い茂って遊べない期間も長いです。不審者情報も度々報告されており、防犯対策（街灯や防犯看板の拡充など）にも力を入れてほしいです。【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後、学校の空き教室で自習や習い事があれば、習い事の行き帰りの心配もなく、前後の時間で宿題をしたり、お友達と遊んだり出来る。ピアノ教室に行ってるが、騒音や置き場所の問題で小さな電子ピアノしか自宅に置けない。小学校で自由に練習出来たり、絵の具を使って絵画教室とかあればありがたい。【小学生高学年】 ・よかった:給食、楽しみに登校。親御さんが真面目な人が多くて安心、子どもも落ち着いてて安心。転勤してきたけど、私立幼稚園、とてもよかった。学校も落ちついてて、よかった。公立やのに子供の好奇心を応援してくれる感じが(小中学校とも)すごいと思う。今は行ってないけど、保健センターもお世話になってありがとう。【小学生高学年】
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児検診で、こどもが、保健師さんから「あなたは、女の子、男の子?」という質問を2度もされました。1度目に黙ってしまって答えられなかったのが理由だと推察しましたが、他の質問には答えられた3歳児が黙ってしまったのですから、さらに質問するのか、配慮は必要だったのではないかとも思います。担当された保健師さんのジェンダーに関する知識、認識に大いなる疑問を持ちました。親は、意識的に、性別を強調しない育てかたをしていたのに、芦屋市ではそれが叶わないのかな、と悲しく感じた出来事でした。その後も、公立幼稚園でも、先生にジェンダーバイアスを感じる出来事が複数回ありました。(怪我をしたら、「顔じゃなくてよかった、女の子だから」と言われたり。)【小学生低学年】 ・インクルーシブ教育に限界を感じます。長男は発達障害で超マイペース。クラスに合わせられず、みんなから責められて不登校気味です。次男は優等生タイプでなんでも器用にこなし、友達も多く人気があるようです。が、マイペースでクラスについて来られない子へのイライラがあるようで、優しく注意をしても無視されたり反発されたりが辛くなり、長男の影響もあってこちらも不登校気みです。(両者とも学校の先生には相談していてよく対処していただいています。が、制度の限界を感じます)高島市長が医療費助成と教育改革を掲げていらっしゃることに非常に希望を感じています!!!もう少し我慢しますので、頑張ってください!!!(教育改革は否決されたとならニュースで読みました)【小学生低学年】 ・いじめや不登校の対策として、学校の先生が主体となるのではなく、第三者的な存在(出来たら民間)の役割の人がいてくれたらいいと思います。保護者と先生の間に入り、中立の立場で話し合いや相談ができるといいと思う。そうすれば、先生の負担が減るだけでなく、先生と保護者との関係も悪くならずお互いに協力して物事を進められると思います。【小学生高学年】 ・不登校の子供にも教育を。各担任に対応がまかされている印象であるが担任の先生はやはり日常の仕事で手一杯である印象。一律な対応がむずかしいとはおもうが結局教育については各家庭に放任されている。また適応教室設置されているが、不登校のこどものうち実際適応教室につながるこどもは少ないとおもう。そもそも不登校の子供は決められた場所に行くことにハードルがある。オンライン授業の拡大を希望するが、学校の担任への負担がふえない範囲で芦屋市全体で不登校の子供の教育を真剣にかんがえてほしい。【小学生高学年】
<p>基本目標4 仕事と子育ての両立の推進</p>	
<p>仕事と子育ての両立を図るための環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私(母親)がフルタイム正社員のため、木曜日・日曜日しか休みがありません。サービス業のため、GW・お盆・お正月も休みがほぼ無く、小学校に上がると子供と過ごせる時間が更に無くなり、子供と休みの日

項目	主な意見
	<p>は食料品を買いに行くので精一杯で、まだ生まれてから一度も子供と旅行へ行ったことがありません。小学校は保育園の頃より、授業が遅れてしまうからという雰囲気で子供が平日休みにくく、もう少し家族休暇欠席という事で、年に数回でも良いので学校を欠席しても大丈夫な教育現場の雰囲気づくりをして頂けたら嬉しいです。【小学生低学年】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市は高所得世帯が多いため、自助努力で子育てをするという方針に見えます。これからの市税増加を考えると特に高所得子育て世帯の転入を増やす施策をすべきです。そのために、他市ではしていない高所得世帯が芦屋市で子育てしたいと思える施策をしてください。高所得世帯は、時間的にフルパワーで頑張ってる人が多いと思います。【小学生低学年】 ・給食について警報発令時は給食を食べずに帰宅するケースが多々ありました。共働きで日中親が不在、近くに協力者がいないので、お昼ごはんを食べさせずに帰宅させるのは困ります。(他市は給食を食べてから帰るところもあるそうです)私は他市の医療機関でフルで働いているので警報が発令されたからと言って仕事を抜けたり休むことはできません。学童保育も警報が出ると使えない…諸般の事情があることは理解できますが、働く母親にとっては勤務形態の変更や退職、キャリアアップを諦めることを考えなければならないのが現実です。どうか子育てと女性のキャリアアップが現実可能になる芦屋市になってほしいです。よろしくお願い致します。【小学生高学年】 ・神戸市から長女が3年の時に引越してきました。市の学童保育にまず入れず、民間の高額な学童保育を探しました。キッズスクエアもありましたが、不定期で夏休みは、お昼は一旦帰るという、子供の安全な場所ではありませんでした。病気になって休めない時は、神戸市の病児保育を利用しました。母親は働いていない前提での子育て支援と感じました。【小学生高学年】
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・先日学童の芦屋集会を開催しました。市長さん、議員さん、育成課の方とお話ができて大変ありがたかった。みなさんに真剣に考えてくださっていたので期待しています。よろしくお願い致します。【小学生低学年】 ・市長が教育改革に着手されたいとのこと、大変期待しております。教育は世界を変える最強の武器です。そして、私達家族は芦屋が大好きです。未来を支える子どもたちのためにも、まずは芦屋市から変わればと思います。わずかな力ではありますが、お力になればと思っています。【小学生低学年】 ・また、文化レベルについて冷えていると感じます。プロの演奏家のアウトリーチなど受け入れたりどんどん子供を芸術に触れさせて欲しいです。神戸市振興財団に所属していますが、神戸市の小学校を回っています。芦屋市の子ども達にもそんな機会があるといいなと思っています。未来に期待したいです。【小学生高学年】 ・市の案件ではないですが公立高校受験時の内申制度の見直し。(県の事ですみません、でもこれ本当におかしいと思う) いじめ対策。(対応が遅い、表面化させない対応の改善) 教育関係者の外部参入。(排他的な慣習の排除、教員等の負担減とレベル向上)【小学生高学年】

3 小学生本人

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
①多様な子育て支援サービス環境の整備	0
②子育て家庭への経済的支援	1
③ひとり親家庭の自立支援	0
④親と子の健康づくりの推進	0
⑤子育ての悩みや不安への支援	0
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
①就学前教育・保育の体制確保	0
②小学校への円滑な接続	9
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
①地域における子どもの居場所づくりの推進	1
②安全・安心なまちづくりの推進	3
③児童虐待防止対策の推進	4
④配慮が必要な子どもとその保護者への支援	0
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
①仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	0
②産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	11

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの医療費は全員無料にしてほしいです。
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
<p>小学校への円滑な接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校に通っていますが、先生はなぜ車通勤をするのですか。他の会社員は車通勤は禁止されていることが多いです。それは危ない、事故に巻き込まれるからです。電車やバスの公共交通機関をつかえば、お金が循環すると思います。昔はテストを自宅に持ち帰るため荷物が多く大変だったとききましたが、今は個人情報もちだしはしてはいけないと思うので、車はやめてほしい。なぜなら、遊ぶ場所が狭くなるのと、車を停めているところは屋根があって雨の日でも外で遊ぶことができるから、そこを空けてほしい。ポールを当ててはいけないとか気をつけなければいけないし、車通勤は事故にもあいやすいので危ないと思います。僕たちは歩いて坂道を登っていますが、先生は大変だったらバスを利用したらいいと思います。あとしんどくなった子を親が迎えに来る時、車を止める場所がありません。そういう時のため、救急車、消防車など緊急のときのためにも駐車場は何台も空けておいたほうがいいと思います。学校で救急車や消防車が必要な時は一度に何十台も必要な時があるかもしれない。やっぱり先生は大変になるけれど、車通勤はやめるべきだと思う。先生だけが得をして他が迷惑している、大きなことが起こった時にも大変な事になると思います。体操服は、学校別に分かる必要はないと思います。僕の幼稚園のお友達も他の小学校へ行っていて、小さくなったものをあげたりできない。1年ごとにサイズが変わっているので買っている。買う時も試着ができないから失敗することがある。学校マークはアイロンをすると解けるのでなぜこれをわざわざ手間をかけてつけて値を上げる必要があるのか、運動ができれば指定ではなく市販の体操服でもいいのではないか、柔軟ではない、市販体操服は安くてもいいものがたくさん売っている、ただ学校マークがついていないだけだから、使用したいと母はよく言っています。学校で使っている防災頭巾は座布団にすると斜めになっているので真っ直ぐになるように作ってほしいです。体がゆがまないか心配です。 ・今はないけどもし変な校則があったら上から押し付けしないで子供の意見を聞いて直して欲しい。学校で自由時間を増やしてほしい。 ・先生からの言葉が辛い。 ・みんなが授業に集中できるようにしてほしいです。 ・将来ピアニストになりたいと思いつつ日々練習を頑張っています。世界的に有名な演奏家の先生方に教えて頂いたり、素晴らしい演奏をお聞きできる機会が増えたらうれしいです。
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
<p>地域における子どもの居場所づくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・涼風だけのスクールバスが欲しいです。もしくはタブレットが重いので嫌です。
<p>安全・安心なまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の美化や、異臭を消すこと。 ・これからもいごこちが良い芦屋にしてほしい。 ・打出駅の近くの喫煙所に扉をつけて欲しいです。理由は、受動喫煙が怖いからです。

項目	主な意見
児童虐待防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 虐めや差別は絶対に起きてはならないことだと思う自分もいじめられた時まだ反抗できたから良かったけど反抗できない人もクラスにはいるしいじめは本当に良くないことだと思う。 ・ いじめはダメ。 ・ いじめの内容は、低学年の時にクラスの男子や女子3～4人に避けられていました。 ・ 僕は怒鳴られること。理不尽なことで怒られることが無理です。先生がみんなを怒ると自分が怒られた気持ちになる。2年生でいじめ(性的)受けたのに先生が遊びだったと言われてショックで学校に行けなくなった。いつも怒っている先生。今も退職して学校にいるけど全然変わらない高学年が意見を言っても受け入れない自分の言うことをきけばいいと子供の意見をきかない変わらない。
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限られたルールの中で好きなことをすること。 ・ このようなアンケートはこれまであまりなかったから、とてもいい機会になったと思った。自分も、社会や政治につながっているような気になった。 ・ このアンケートはめんどくさいけど実際これをすることによって、この世をもっとよく変えることができているのかなと思います。 ・ 自分のことは自分で決めたらいいと思う。 ・ よくテレビとかで『所得制限撤廃』とか言ってるけどそれって本当なんですか？親の収入で子供が差別されるのっておかしくないですか？未来の日本を創る子供のために所得制限撤廃が大切じゃないんですか？人はみんな平等に扱わないといけないと思います。だからこの意見を聞いて今後の政治に役立ててください。

4 中学生保護者

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	23
② 子育て家庭への経済的支援	81
③ ひとり親家庭の自立支援	3
④ 親と子の健康づくりの推進	4
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	5
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	4
② 小学校への円滑な接続	4
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	20
② 安全・安心なまちづくりの推進	15
③ 児童虐待防止対策の推進	0
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	27
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	3
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	65

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
多様な子育て支援サービス環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・息子が小さい時、東京に住んでいたのですが、地元ではなくて、頼る人がいませんでした。児童館が近くにあって、有料ですが、家庭の都合、自己都合にかかわらず、いつでも預かってくれていました。ちょっとした時に預けてリフレッシュしていました。児童館が充実していて、親子で参加する機会も沢山ありました。子供が大きくなって、色々利用しなくなったので、一概には言えませんが、ちょっと子育て支援に手薄な感じはしました。色々な地域に住んできたのですが、芦屋市は1番そうといったものが、手薄だと感じます。 ・様々な面で民間施設などを利用されてる方が多いと感じます。誰もが行きやすくオープンな施設があればいいと思います。あと、南芦屋浜はバスの本数が少なく自家用車で動かざるを得ない生活です。浜が孤立してるので、施設を利用するにも、もっと駅前に足を運びやすい環境を整えて欲しいです。 ・良かった点中学でもおいしくて栄養のある給食があり、本当に助かっています。成長期の子どもの健康に良いだけでなく、親の負担も大幅に軽減されました（上の子の時はお弁当作りで身体がしんどかったです）。そのために、芦屋市に在住して納税する意義がある！とすら感じています。改善してほしい点 1)学校での福祉的な課題発見と対応機能が弱すぎる点。スクールソーシャルワーカー（のような、何か社会福祉の視点のある専門職）が関われば、教員にとっても、親子にとってもメリットしかなく、様々な課題の予防になると思えばコストは充分ペイします。2)教育委員会についてニュースになっていた、いじめ事件の放置など大変気になっています。教育委員会を、より風通しの良い、透明性の高い組織にすることが、子どものため芦屋の教育（改革）のために必須だと考えます。若い世代、民間経験のある方、他自治体の知見のある方等が委員になることを望みます。 ・子供の就学後や、高学年になるにつれ利用できるサポートが一気になくなる。特に小学を卒業するとファミリーサポートも利用できなくなり、分断を感じる。保育だけが必要なサポートではないので、もっと柔軟なサービス（サポート）があれば、家庭が孤独でなくなると感じる。
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・のびのび学級はとても素晴らしいと思います。18歳まで子ども医療費の無償化、所得制限の撤廃を希望します。 ・高校や大学の費用、世帯収入に関係なく、補助が出ると良いとおもいます。塾の費用も多額にかかりますので、補助が出るといいです。学校の勉強だけで、受験に対応できるなら、それが1番ですが、現状は塾に通わなければ無理です。高校受験時の、内申点制度はこれでもいいんでしょうか？内申点のために中学生は自由にできていないと思います。 ・子どもにお金がかかるようになるのは高校生からです。お金持ち育ちの政治家の方たちはわかっていない。3人こどもがいる家庭とひとりのこどもがいる家庭ではお金のかかり方はぜんぜん違うのに助成がない。一時的に給付金があっても気休めでしかない。子ども全員大学に行かせるために親も自由になるお金も時間もない。習い事も庶民のこどもと富裕層の子どもとの格差が大きすぎる。才能があるこどもが親の収入の格差で伸びることができない。 ・大阪府や東京都のように高校無償化してほしいです。我が家は大阪府の私学高校に通っていますが、同じ教育を受けているのに住む地域で金額が変わるのは嫌です。子育てとは関係なかったらすみませんが、高校入試の第二希望制はやめてほしいです。本当に希望する高校に行きにくいと思います。

項目	主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供にかかる教育費が高騰しているにも関わらず、給料が増えないため子供を出産しようと思う人が少なくなっている。それに対して対策をとっているとしても効果が全く現れていない。子供にかかる費用全てを無料にすぐにするべきである。高齢者の医療費負担を増やした分を財源に当てる。
ひとり親家庭の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりおやで相手が監護を拒否している場合、養育費もしはらわない場合手当を一人目として預かってるあいだ支給してほしい。借りて生活をつないだりしても限度がある預かってるほうの体が病気や生活が破綻してからでは遅い。 ・ひとり親に対する経済的なサポートがない。高校無償化など、他の自治体と同じレベルの教育費用のサポートが欲しい。 ・他の地域に比べて、片親の子供に対する経済的支援や、医療保険料などの支援が低すぎると思います。
親と子の健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・うちはもう中学生なのでそんなに手がかからず行政のお世話になりたいと思うこともありませんがやはり小さい間は子育てがしんどいと思ったことがあるので親子で参加できる、親がほっと一息つける場がたくさんあれば助かると思う。 ・市民センターの部屋を安くお借りできたので幼児期に同世代の親子を集めて、先生を探してきてリトミックのサークルを作りました。口コミで広がりたくさんの親子が集まり過ぎて最終的に運営が大変でした。市の運営で子供の習い事が低価格でできるようになれば良いと思います。経験、知恵のある高齢者と子育て親子をつなぐ場がもっとたくさんあれば良いと思います。それらにみんなが気軽に参加できる仕組み作りや雰囲気作りが重要だと思います。 ・ひとり親家庭向けにイベントの案内など頂けて、親子で楽しめる時間を作って頂けたことが印象に残っております。本当に嬉しかったです。年に1度でもいいので、親子参加のイベントがあると人とのつながりも出来て精神面の支えが出来て良いと思います。 ・教育熱が高すぎると思います。特に小さいうちは自然に触れながらしっかり体を動かして元気に過ごす子どもたちが増えてほしいです。
子育ての悩みや不安への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て時期には、希望の保育園に入れず、無認可に通った後は姉妹で違う保育園を梯子したり、転園を繰り返されたり非常に苦労しました。今の方達にはそのような苦労して欲しくないと思います。 ・今は子供も中学生になり、助けて欲しいと思うことはほぼなくなったが、小さい時は保健師さんに電話や訪問で話を聞いてもらい、助けていただき、本当に助かりました。また、もう少し大きくなったときは保健センターのむくむくなどで、あそびせ、お友達も親子共々作れたり、相談に乗ってもらえるスタッフもいて、助けてもらいました。感謝しかありません。私にとっては助けを乞うハードルが低く、また、その際の対応が良くて、本当にありがたかったです。どうもありがとうございました。これからもよろしくお願いします。 ・子どもが小さい間は市の健診などで悩みを相談できる場があるが幼稚園に通う頃になると相談できる機会がなくなる。学校にカウンセラーの先生が来られるのでそこに相談することはできるが予約は学校の先生を通すことになり少しハードルが高く感じる。 ・幼稚園に行く前の、子育てサークルでは同じエリアでの友達が作りやすく、気の合う人と悩みを相談できた。高島市長が勧める教育施策を早急に実現して欲しい市議会議員に阻止されてほしくないです。まずはやってみないと変わりません。 ・マタニティから産後のママへのフォロー。体の事（骨盤矯正）や精神的（ママ子育て教室）なこと。ママが元気だと赤ちゃんや子供への接し方も笑顔で対応ができるから。まずはママへの育児のフォローをしてほしいです。

項目	主な意見
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
就学前教育・保育の体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ・東京 23 区内で、1 人目の出産から小学校入学頃まで子育てしました。実家もある芦屋市での子育てより、実家の遠い都内の子育ての方が、支援も教育も充実し不自由が少なかったように感じます。一例をあげると、芦屋市は、就園前児の一時預かりが市営保育園や幼稚園に併設されていない。23 区内区によっては、区立保育園に就園前児の一時預かりがあります。 ・要望公立幼稚園を 3 年保育。 ・公立幼稚園の存続を希望します。西山幼稚園の 3 年保育を実現させて頂きたいです。そして、生まれた時から利用出来る子育て支援の場として幼稚園を開放し、もっと身近に感じて貰って頂きたいです。色々なイベントでもっと存在をアピールして欲しいです。 ・乳幼児への子育ては充実していると思います。
小学校への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校は低学力層に合わせて学力が上の子は学校ではそれ以上伸ばせない。塾頼み。23 区内区によっては、小学校は低学年から算数の習熟度別クラスがあります。塾で勉強している子供も学校でも暇にならず学べます。 ・小学校のキッズスクエア放課後に学校で過ごせることがよかった(低学年のとき) ・小学校時の放課後や休み期間の預かりは有難かったです。 ・学童経験者だが民間に委託する前は非常によかった。

項目	主な意見
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
地域における子どもの居場所づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの、いい意味でのたまり場のような場所が少ないように感じます。児童センターが1つ？なのは少ないかと…国が教育を軽視している中で、このように次の世代への施策を検討していただけるのは素晴らしいと感じます。子育て世代への施策充実化は、明石市のように若い世代の流入につながるかとも思います、市長に期待しています！ ・総合運動公園にタータントラックを作って欲しい。砂のトラックは練習がしづらい。尼崎まで行かないとタータントラックで練習が出来ないしなかなか予約が取れない。(陸上部に中学3年間所属した息子の思い) ・駅前に子どもが気軽に集まれるような図書館があればいいとおもいます。勉強できるスペースもあればいいと思います。芦屋の子たちはスタバやマクド、ミスドなどたくさんありますが、そういう場所で集まるのではなく、やはりたくさん良い本に出会えるような綺麗な図書館があれば良いと思います。駅に近い大原図書館は年配の方が座って本や新聞を読んでいる姿しかほぼ見たことがありません。 ・子供の個性をのびのび伸ばせる環境作り、そのサポート、支援。塾に通わなくても、誰もが質の良い学びの受けれる場所。中央公園の芝生が気軽に使えるのでサッカーしている我が子にはとてもありがたいです。
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に駐輪場を作ってほしい。駅周辺の開発のために多くの駐輪場が無くなり、開発が終わった今も数が戻っていない。駐輪場の新規契約が止められているため、毎朝電車通学する子どもを駅まで車で送っている。実際に生活している市民の不便を解消する施策も考慮してほしい。 ・子どもが幼い時から、道路が広くて、車道と歩道の間に垣根があるなど、歩行者(子どもや年配者)が安心して歩ける街なのが、毎日感謝です。登下校の見守りもしっかりされていて安心です。小学校中学校共に、先生方が子どもに優しく、汚い言葉遣いや差別した扱いをしない、ハイクオリティな先生方が揃っているのも、芦屋市の素晴らしいところだと思っています。緑が多く、季節ごとに自然を楽しめるのも良いです。小中学校の給食も子どもに健康的でかつ人工的な味では無い手の込んだ多彩なメニューでした。素晴らしいです。海も山もあり、かと言って大都市ほど混雑しておらず、大変住み心地の良い街だと思っています。ただ近年、不審者の増加は子育てしていてとても怖かったです。その度に警察が犯人特定し解決するために動いてくださり、それも感謝しています。臨港線沿いに消防署が出来たので、子どもや主人が倒れた時には、救急車がすぐに駆けつけてくださり、近くに消防署がある安心感があります。消防士さん、救急隊の方々がとても親切で、それも本当に助かっています。芦屋市は、人がみなさん優しく、特に教育関係、警察や消防救急隊員、また公共施設の保健センターや図書館市役所病院で働くみなさんがとても親切で優しく笑顔で対応して下さいます。また、市長さんが積極的に子どもたちと交流を持ってくださり、子どもたちも喜んでます。いつも快適に暮らせるように考えてくださりありがとうございます。 ・芦屋に住んで約2年半ですが、大人のマナーが悪いが目立ちます。子供の前で平気に信号無視、道路横断、自転車の爆走、路上駐車など。大人が見本とならなければならない所が、まずできていない。生まれた時から芦屋に住んでる方が多いのでそれが普通になっているのだと感じています。危ないので子供達には自転車に乗らせていません。大人の意識を変えなければ何も変わらないと思います。

項目	主な意見
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3人中2人はすでに芦屋外の学校に通ってます。芦屋内に行きたい学校がないからです。恐らく3番目もそうなると思います。芦屋の子どもたちが行きたい！安心してお任せできる高校、大学があればと思います。若い方から見た芦屋は老人ばかりだそうです。若い人から見たら芦屋の魅力ってあるのかな？と感じてしまいます。
<p>配慮が必要な子どもとその保護者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ問題について、少し前にニュース記事で拝見しましたが、芦屋市の対応は不十分で非常に残念だと感じました。私の子ども達が小学生の頃も同級生のお子様がいじめに遭い、市に報告しましたが対応はしてもらえなかったとのことで転校されました。このような件で辛い思いをされるお子様がいなくなることを願います。 ・ 小中学校でのクラスの人数の少人数化。学校に関わる人の増員（地域のボランティア採用案）。不登校の子どもたちへの関わりを広げる（学校任せにしない）、居場所づくり（コミスク利用）。不登校、ヤングケアラー等、しんどい思いをしている子どもたちをサポートする専門チームを作る。ぜひ関わりたい。未来ある子どもたちを、1人もとり残すことのない、一人一人の目を見て丁寧に向き合える、子どもに優しい芦屋市にしたいです。 ・ こどもの不登校にまつわる問題についてですが、おそらく芦屋市でも年々増加の傾向にあると思います。ちなみに我が家は、本人は学校に行きたいのに、体調面で不安を抱えてしまって行けなくなったケースです。提案したいのは、子どもの精神面をケアできる専門機関を増やすことと、同じようなケースの家族同士が話し合える場を作ることです。子どもの精神面をケアできる専門機関を増やすことについては、子どものための心療内科、カウンセリングが芦屋市内に少なく、学校のカウンセラーは子どもにとって敷居の高い学校にしかおらず、しかも予約制で1～2ヶ月に1回ほどしかとれません。子どもの心身の不調を相談できる機関が少なすぎます。そもそもどんな医療機関にかかればいいのかかわからず、皆さん手探りです。他の市町村の医療機関は、人気のところだと予約すらとれない状況です。あまりに現状にそぐわないと思います。同じようなケースの家族同士が話し合える場を作ることについてですが、子どもに登校にまつわる問題が起こった場合、そのほとんどが家庭任せになります。担任の先生にもよると思いますが、学校からのケアはほぼ期待できず、家庭は孤立したような状態になります。こういったケースでは、子どもは少なからず外出時に体調の不安をかかえているので、外出しづらく家にもりがちです。そこで支える側の家族のケアが十分でないと、子どもを十分に支えてやることができなくなります。情報も少なく、また自身も自分の時間を削って子どもと向き合うため親はかなり疲弊します。親自身も経験したことがないため先の見通しも立たず、不安です。ぜひ親同士の交流ができる場を設けていただきたいと思います。引きこもりやニートといった年齢層が上の若者だけではなく、中学生、高校生の保護者の会があるといいと思います。 ・ 前述しましたが、そもそも「やれる方にはやって頂くことにしています」という表面的な事象しか見えていない姿勢で障害児を育てる家庭を見ている時点で全く期待は出来ないと思っています。健全な低所得者はハンデで、障害児を育てる家庭は、ハンデがないのでしょうか？所得制限を受ける収入を得るのは、何かを犠牲にして働いているからであって、与えられたものではありません。累進課税で、税金を多く払っているのに行政サービスを受けられなくなっていくというのは不平等です。障害児は約4%でそこに制限をかける必要があるのでしょうか？この何も期待出来ない仕組みが何か変わるのではないかと希望を持ち高島市長に投票しました。よろしく願います。 ・ 自分は聴覚に障がいがあるので、一般的に悩みも違うし、相談できる場がない。芦屋には自分と同じように聴覚に障がいを持ち子育てをしている人と出会える機会がないので、大阪まで行っていたため、地域で気軽に相談したりサポートできる関係の人が一人もいない。そういったマイノリティの人でも同じような立場の人と出会える場が欲し

項目	主な意見
	<p>かった。</p>
<p>基本目標4 仕事と子育ての両立の推進</p>	
<p>仕事と子育ての両立を図るための 環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢出産のため、子供が学生でお金がまだかかる時に退職を迎える事、戦争や、疫病などの社会情勢の影響で仕事も生涯安定ではなく、将来的に不安。元気であれば高齢者でもフルタイムで働ける環境になってほしい。晩婚化によって、このように、経済的に子育てに不安を感じる家庭も多いのではないかな？ ・市立小学校の教育は充実していると感じていました。全校生徒数が隣接する市に比べそれほど多くなく、のんびりとした雰囲気です。一人一人を大切にする教育がされていたと思います。ただ、他市に比べ、フルタイムで働く方が少ないのでしょうか？フルタイムで働く身にとっては、保護者の学校行事等への関わり方において、肩身狭く感じることもありました。また、学童保育は運営時間、運営内容の面で利用しにくく、民間の施設を利用しました。経済的には大変でしたが致し方ありませんでした。中学校に進学してからは市の子育て支援について特に実感することがなくなりました。今回のこのアンケートがなければ芦屋市の子育て施策について考えることもなかったと思います。小学～中学と放課後子どもが一人で過ごす時間が長いのですが、芦屋市という地域柄、子どもが悪いことを覚える環境、危険な目に遭う環境が少ないことは助かっています。 ・収入や家族構成によって逆差別のない市政を望みます。両親がそろっていても、夫婦の両方が高収入でも、片親でも、生活保護受給者でも、等しく平等に保育園を利用できる芦屋市であって欲しいです。「芦屋市なら血のにじむ努力で築いたキャリアを捨てなくても良い」そんな日本で唯一の場所になって欲しいです。

項目	主な意見
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公立中学、小学校の教師の方々の研修をお願いしたい。良い先生もいるが、明らかにバランスを欠いている人がいます。直接、学校に相談するには、中学では高校受験の内申点の影響を考えて、容易には出来ず、結果子供に我慢をさせている。教師の待遇面を改善して、より良い人材が集まる事が子供達の健やかな成長に繋がると考えます。 ・中学生になり部活動の顧問の先生の言葉遣いにごっかりしています。パワハラとも受け止められる言動、行動、これが子供を教え導く教師がすることなのか、ましてや公立の中学校なので、芦屋市がこれを良しとしているのかと思うと非常に残念です。公立の学校の教員の質の向上を願います。もしくは、子が真似るべきでない教師には反面教師であると宣言していただきたいと思います。 ・高島市長を応援しています。教育委員に経験豊富な外部人材を登用する人事の件は非常に残念でした。反対した市議会議員、団体には以後投票することのないよう情報を得たいと思います。子育て中の市民は子供達の最高の学びを期待していますので。また、兵庫県の公立高校の入試制度は大変おかしいです。それによってなのか解りませんが、芦屋市立中学校の副教科の成績評価もおかしいです（実技無視、筆記重視、また時代にあっていない授業内容など偏った傾向にあります）。子供達に物事を深く考えさせ、自分の意見を持たせる教育になっていません。無意味な暗記ばかりです。学ぶ子供達も面白くないでしょう。不登校も増えて当然。好奇心をくすぐる授業、それぞれの得意ややる気をどんどん伸ばせる環境や教育をお願いします。残念ながら我が子には間に合いませんが。 ・様々な環境で生きる人々と、フラットな目線で理解し合える機会がほしい。芦屋市以外、国内外、たくさんの人と触れ合い、話をする事で、自分が今生きている世界は社会のほんの一部であることを知って欲しい。恵まれた環境にある人は、社会に目を向けるところから始めて欲しい。周りは「学習塾至上主義」が多く、学校の先生よりも塾の先生の言葉に家族全員が影響されている家庭が少なくない。受験のその先に何かがあるのか、社会で生きる素晴らしさと難しさを考える時間を、子どもたちにもっと提供してほしい。 ・なお、中学受験は兵庫県の内申制度のある公立高校受験に納得がいかないため受験しました。広島県のような受験制度に兵庫県も変えるべき時代だと思います。コロナ禍で芦屋市の教育長の対応は大変残念、不適任だと思いました。スピーディーな対応のできる革新的な適任者に交代すべきかと思います。

5 中学生本人

分類回答	件数
(1) 家庭における子育てへの支援	
① 多様な子育て支援サービス環境の整備	0
② 子育て家庭への経済的支援	2
③ ひとり親家庭の自立支援	0
④ 親と子の健康づくりの推進	0
⑤ 子育ての悩みや不安への支援	0
(2) 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
① 就学前教育・保育の体制確保	0
② 小学校への円滑な接続	7
(3) すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
① 地域における子どもの居場所づくりの推進	0
② 安全・安心なまちづくりの推進	2
③ 児童虐待防止対策の推進	0
④ 配慮が必要な子どもとその保護者への支援	0
(4) 仕事と子育ての両立の推進	
① 仕事と子育ての両立を図るための環境の整備	0
② 産休・育休からの復帰が円滑にできる環境の整備	0
(5) その他	14

※頂いた意見は原文のまま使用しております。

項目	主な意見
基本目標1 家庭における子育てへの支援	
子育て家庭への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芦屋市民だからと言ってみんながお金持ちな訳では無いと思います。もし子供の医療費がかからないようにしたり、学費や教育費の負担を減らす事が出来れば家計の負担が減り、安定した毎日を過ごせることや、子供たちの将来の視野が広がるなどよりよい生活を送れると思います。 ・ 学費や医療費の負担が大きいので、皆平等に無償化や給付を行ってほしい。学校の先生の声が小さかったり、授業がわかりにくいことがある。
基本目標2 子どもの健やかな発達を保障する教育・保育の提供	
小学校への円滑な接続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を抜けなくてもカウンセリングを受けられるようにしてください。放課後や土曜でもいいです。少人数授業を受けたい。先生がいじめや差別言動をしたときはちゃんとした人から注意してほしい。保護者では効果がなかった。毎年の健康診断でうつ病などの検査もしてほしい。学級活動という授業をなくしてほしい。急に校則を変えないでほしい。自由席にしてほしい。「男子」「女子」という括りをやめてほしい、特に制服。「ズボン制服」「スカート制服」「私服」など。これ以上しんどくならないように、わたしを特定しないでください。 ・ 先生の質を上げることを最優先にしてほしいです。ある先生の発言や行動でたくさん傷つけられてきました。頑張りたいのに頑張れない、やりたいのにやれないそんな理不尽なことが続いた3年間でした。本当に子どものことを考えてくださるなら、まず子どもに関わる人を選ぶべきだと思います。

項目	主な意見
基本目標3 すべての子どもの育ちを支える環境の整備	
安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の歩道が狭くて危ないところが多いし、朝、大人の自転車のスピードが怖い。部活帰り、街灯が少なくて危なくて怖い。大通りだけが明るい。学校のロッカーが小さくて荷物が入りきらないです。 ・駅までの、通学で安全に使える自転車道を整備して欲しい（車との接触でドキッとすることがよくある）
その他	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・学歴あっても、人間力がないと働き続けることは不可能です。学歴に関係ない、居場所、ゆとり、働く場所があったら良い。 ・このアンケートで答えた「学校」というのは、僕が今通っているフリースクールの事です。前の中学校では、相談も意見も聞いてもらえず苦しかったです。市の相談場所も、ちゃんと聞いてもらえず「サボリ」みたいに言われて嫌でした。先生たちが忙しいのは理解出来たけど、僕の気持ちもわかって欲しかったです。今は、自分に最適な場所にいられるので救われました。フリースクールに毎日通えてるからって、戻そうとしないで欲しいです。

V 調査票

1 就学前保護者

就学前保護者用

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願い～

【ご協力をお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。戸栗市では、『子育て未来創造プラン「あしや」』（令和2～6年度）を策定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査にご参加いただく方は、市内にお住まいの就学前のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきました。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

令和5年11月

戸栗市長 高橋 健輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail: kosodate@city.ashiya.lg.jp

- ・ご回答は、できるかぎり判向の宛名のお子さんの保護者の方にお願ひしますが、ご家族の方や一様にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している段階でもありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数字に○で囲んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、2.4時間表記で記載してください。
(例) 9時30分～18時00分、17時30分まで
- ・ご記入いただいた調査票は、開封いたしました返信用封筒に入れて、**12月22日(金)まで**にご返送ください。(切手は不要です。)
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】 戸栗市子ども福祉課 ことも家庭室 ことも政策課
電話: 38-2045 (平日9:00～17:30 (12:00～12:45は除く))
FAX: 38-2190

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる町に○をつけてください。

地区		【参考】 小学校区			
1. 徳島町	2. 美治南町	3. 奥山	4. 大原町	5. 上志川町	山手小学校区
6. 新谷	7. 三幸町	8. 三草南町	9. 清水町	10. 月形町	※一部隣地区域あり
11. 真平町	12. 西戸原町	13. 西山町	14. 東戸原町	15. 扇戸町	
16. 前田町	17. 松ノ内町	18. 山崎南町	19. 山手町		
20. 岩瀬町	21. 輪岡	22. 鹿王原町	23. 薬ヶ丘町	24. 六蔵荘町	岩瀬小学校区
25. 朝日ヶ丘町	26. 東山町				朝日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大科町	29. 川西町	30. 公光町	31. 精選町	
32. 竹園町	33. 茶屋2町	34. 津知町	35. 武井屋町	36. 平田北町	精選小学校区
37. 平田町	38. 松爪町				
39. 打出小幡町	40. 河川町	41. 西堀町	42. 浜町	43. 岩川町	岩川小学校区
44. 志保町	45. 新宮町				
46. 日神町	47. 春日町	48. 大塚町	49. 南空町		打出浜小学校区
50. 海沢町	51. 黒見町	52. 赤根町	53. 緑町	54. 南浜町	黒見小学校区
55. 藤光町	56. 岩原町				※一部隣地区域あり
57. 高沢町	58. 新沢町	59. 苅原町			苅原小学校区

2. 新簡の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

(平成・令和) 年 月 生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか、お子さんをきめた人数をご記入ください。

きょうだい数 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか、お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)がいる 2. 配偶者(パートナー)はいない

問6 お子さんの子育てを主にやっているのはどなたですか、お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

就学前-1

問7 何人家族ですか。
 世帯主・同居・入院・入所の方など、要計を一纏にしたり、定期的に帰省する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数 (あなたを含めて) _____人

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てを楽しいと感じることは多いですか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 楽しいと感じることが多い
- 2. 楽しいと感じることが多いと感じることが少ない
- 3. 辛いと感じることが多い
- 4. わからぬ
- 5. その他 ()

問9 あなたは、子育てをしていて、不安や悩みなどはありますか。

- 1. 全くある
- 2. 少しある
- 3. ほとんどない

問10 問9で「1」または「2」を選択した場合は、**「2」を選択した方にうかがいます。**
 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) ことばに関すること
- 1. 言葉や発音に関すること
 - 2. 言葉や発音に関すること
 - 3. 子育て支援サービスのこと
 - 4. こどものしつけに関すること
 - 5. こどもと過ごす時間が十分に取れないこと
 - 6. こどもの精神・保育に関すること
 - 7. こどもの発達や成長に関すること
 - 8. こどもの健康・習い事など
 - 9. 特になし
 - 10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

- 1. 子育てに関して配偶者(パートナー)の協力が少ないこと
- 2. 配偶者(パートナー)と子育てに関して意見が合わないこと
- 3. 子育てが大変なこと、身近な人が理解してくれないこと
- 4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
- 5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
- 6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
- 7. 配偶者(パートナー)以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 8. 子育てのストレスなどからこどもにきつくあたってしまうこと
- 9. 子育てによる身体的疲れが大きいこと
- 10. こどもの教育にかかる経済的負担が大きくなっていること
- 11. 特になし
- 12. その他 ()

問11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の時には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3. 日常的にこどもを見てもらえる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の時にはこどもを見てもらえる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか、また、相談できる場所はありますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. いる/ある ---> 【問12-1へ】
- 2. ない -----> 【問13へ】

問12-1 **【12-1】に「いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。**
 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる方は、誰(どこ)ですか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父母等の親族
- 2. 友人・知人
- 3. 近所の人
- 4. 子育て支援施設(児童センター等)・NPO
- 5. 保健所・こども家庭・保護センター
- 6. 保育所(園)・幼稚園・認定こども園等
- 7. 民生委員・児童委員
- 8. かりつけの店舗
- 9. 自治体の子育て関連担当窓口
- 10. 社会福祉協議会(総合相談窓口)
- 11. 障がい児相談窓口(相談支援事業所等)
- 12. インターネット・SNS
- 13. その他 ()

問13 下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものを、お答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
① こども家庭・保護センター(こども家庭総合支援担当(妊娠・出産・育児へのサポート))	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
② こども家庭・保護センター(母子保健担当(赤ちゃんの健康に関すること))	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③ こども家庭・保護センター(子育てセンター(むくむく・バンド子育てひろば))	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④ 子育て支援センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

名声児童福祉事務所（児童保健所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
※児童センター（上宮川文化センター内）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
立牌が児相窓口（相談支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
※青少年支援センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
※その他（ ）		1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことがありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある 【問 13-2 へ】
2. ない 【問 14 へ】

問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの対応（態度、話し方がにくい等）
2. サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気になりぬい、汚れている、暑いなど）
4. 車の利用者（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
6. その他（ ）

問 14 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問 7 で答えていただいた方が全員のことでです。
※収入には、月給や賞金などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。
※児童手当や教育補助、生活保護などの公的な補助手当は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（ ）万円）<ら

問 15 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった
2. とさどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった
2. とさどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

就学前-4

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で支払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれも当てはまらぬ

問 18 問 17 で「1」に○をつけた方がいます。あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 日用品
8. その他（ ）

4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 19 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労、以下同様）で就労している 【(1)-1 へ】
2. フルタイムで就労しているが、専休・専休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、専休・専休・介護休業中である
5. （お子さんが生まれる前を求め）以前は就労していたが、現在は就労していない
6. （お子さんが生まれる前を求め）これまで就労したことがない 【(2) へ】

(1) - 1 (1) で「1」で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

1 週当たりの「就労日数」、1 日当たりの「就労時間（就業時間を指す）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。専休・専休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1 週当たり 日 1 日当たり 時間 分
家を出る時間 時 分 帰宅時間 時 分

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労、以下同様）で就労している 【(2)-1 へ】
2. フルタイムで就労しているが、専休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、専休・介護休業中である
5. （お子さんが生まれる前を求め）以前は就労していたが、現在は就労していない
6. （お子さんが生まれる前を求め）これまで就労したことがない 【問 22 へ】

就学前-5

(2) - 1 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。貴族・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____日 1日当たり ____時間 ____分

家を出る時間 ____時 ____分 帰宅時間 ____時 ____分

問 20 問 19の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 22へお進みください。
 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- (1) 母親
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 - フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい
- (2) 父親
- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 - フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 - パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 - パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 21 問 19の(1)または(2)で「5」以前は就労していたが、現在非就労している)または「6」これまで就労したことがない)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 23へお進みください。
 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する____には数字をご記入ください。

- (1) 母親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一層下のこともが ____歳になつたころに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態 { 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等 } →1週当たり ____日 1日当たり ____時間 ____分

- (2) 父親
- 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 - 1年より先、一層下のこともが ____歳になつたころに就労したい
 - すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望する就労形態 { 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等 } →1週当たり ____日 1日当たり ____時間 ____分

5. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況と意向についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業です。具体的には、幼稚園や保育園(園)など、問 22-1に示した番号1つに○をつけてください。

問 22 すべての方にうかがいます。お子さんは現在、幼稚園や保育園(園)などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 利用している ----> [問 22-1へ]
- 利用していない ----> [問 22-7へ]

問 22-1～問 22-6 は、「1. 利用している」に○をつけたい方、「2. 利用していない」に○をつけたい方、「3. 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。」

問 22-1 利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の幼稚園の利用）
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）
5. 認定こども園（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育
7. 認定こども園（保育所部）
8. 小規模保育事業
9. 家庭的保育事業
10. 事業所別保育事業
11. ベビーシッター
12. ファミリー・サポート・センター事業
13. 障がい児支援施設
14. その他（ ）

問 22-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。____に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在 1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間 (____ 時 ____ 分 ~ ____ 時 ____ 分)

(2) 希望 1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間 (____ 時 ____ 分 ~ ____ 時 ____ 分)

問 22-3 問 22-1 で「2. 幼稚園の預かり保育」または「6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育」に○をつけたい方は、「どのくらい利用していますか。____に具体的な数字でご記入ください。」

1 週当たり ____ 日 1 日当たり ____ 時間 (____ 時 ____ 分 ~ ____ 時 ____ 分)

問 22-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 戸塚市内
2. 戸塚市外（市）

問 22-5 現在、利用している教育・保育事業の実施場所へ通う主な手段についてうかがいます。主な手段を1つ選んで○をつけてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. 自転車
4. 通学バス
5. 徒歩バス
6. 電車
7. その他（ ）

問 22-6 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもの習得や発達のため
2. 子育てをしている方が預けたい
3. 子育てをしている方が預けたい（予定）である/求職中である
4. 子育てをしている方が家族・相談などを介している
5. 子育てをしている方が病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（ ）

問 22-7 問 22-2 で「2. 利用していない」に○をつけたい方にうかがいます。利用していない理由は何か。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子育てしている方が不在している
2. こどもの用父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. こどもが ____ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他（ ）

問 23 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する事業もあります。

1. 幼稚園
2. 幼稚園の預かり保育
3. 認可保育所
4. 認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）
5. 認定こども園（幼稚園部）
6. 認定こども園（幼稚園部）の預かり保育
7. 認定こども園（保育所部）
8. 小規模保育事業
9. 家庭的保育事業
10. 事業所別保育事業
11. ベビーシッター
12. ファミリー・サポート・センター事業
13. 障がい児支援施設
14. その他（ ）

問 23-1 **すべての方にかがいます。**教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 戸部市内 () 2. 戸部市外 () 3. どちらでもない

問 23-2 **問 23 で「1. 幼稚園」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3. 4. 7～14にも○をつけた方にかがいます。**特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合は含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい () 2. いいえ ()

問 23-3 **問 23 で「5. 認定こども園（幼稚園型）」または「6. 認定こども園（幼稚園型）の預かり保育」に○をつけ、かつ3. 4. 7～14にも○をつけた方にかがいます。**特に認定こども園（幼稚園型）（預かり保育をあわせて利用する場合は含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

1. はい () 2. いいえ ()

問 23-4 **すべての方にかがいます。**今後、新たに教育・保育事業を選ぶことを想定した場合、重視することのようなことですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 教育・保育の内容や方針が希望に合う ()
 2. 教育・保育者の質が高い ()
 3. 保育に伴うサービス（預かり時間・バス送迎・課外活動等）が充実している ()
 4. 施設や設備が充実している ()
 5. 食育及び給食の提供の考え方が合う ()
 6. 園庭が広い ()
 7. 保育時間が利用希望に合う ()
 8. 認可されている施設である ()
 9. 保育料が適正である ()
 10. 高い負担の程度が軽い ()
 11. 親が運営・行事などに関わる機会が少ない ()
 12. 自宅から距離が近い ()
 13. 利用する駅や徒歩からの距離が近い ()
 14. 家族や知り合いが通っている（通っていた） ()
 15. 近所や知人の評判が良い ()
 16. 公立である ()
 17. 私立である ()
 18. 特別な支援が必要なこどもの受け入れ態勢が充実している ()
 19. 小学校や地域と積極的に連携している ()
 20. その他 ()

6. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 24 **すべての方にかがいます。**お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

- (1) 土曜日
1. 利用する必要はない ()
 2. ほぼ毎週利用したい () 利用したい時間帯
 3. 月に1～2回は利用したい () 時__分から__時__分まで

- (2) 日曜日・祝日
1. 利用する必要はない ()
 2. ほぼ毎週利用したい () 利用したい時間帯
 3. 月に1～2回は利用したい () 時__分から__時__分まで

問 24-1 **問 24 の「1」または「2」で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にかがいます。**毎週ではなく、月に数回利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため () 2. 早日に済ませられない用事をまとめて済ませるため ()
 3. 親族の介護や手回しが必要のため () 4. リフレクソンのため ()
 5. その他 ()

問 25 **「幼稚園、または「認定こども園（幼稚園型）」を利用されている方にかがいます。**お子さんについて、夏休み・冬休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育事業の利用を希望しますか。該当する番号に○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

1. 利用する必要はない ()
 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい () 利用したい時間帯
 3. 休みの期間中、週に数回利用したい () 時__分から__時__分まで

問 25-1 **問 25 で、「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」に○をつけた方にかがいます。**毎日ではなく、週に数回利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため () 2. 長い期間の用事をまとめて済ませるため ()
 3. 親族の介護や手回しが必要のため () 4. リフレクソンのため ()
 5. その他 ()

7. お子さんの病気の療育の頻度についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 26 問 22 で選択した療育施設(園)などの「定期的な教育・保育事業」を「1. 利用している」に○をつけたい方がいます。
この1年間に、お子さんが病気やけがで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった →→→【問 28-1へ】
2. なかった →→→【問 27へ】

問 28-1 問 26 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字で記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

1. 年間の対応方法		日数
1. 母親が休んだ		日
2. 父親が休んだ		日
3. (同居者を含む) 祖父母・近親者に子どもをみてもらった		日
4. 母親または父親のうち取柄していない方が子どもをみた		日
5. 病児・病後児保育を利用した		日
6. ベビーシッターを利用した		日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた		日
9. その他()		日

→【問 27へ】

問 28-2 問 26-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児保育のための保育施設等を利用したい」と思われたか。当てはまる番号1つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用額にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → 年間 日
2. 利用したいとは思わない

問 27 すべての方にうかがいます。病児・病後児保育について、利用したことがある。なしに関わらず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どうしても仕事を休めないときに、子どもを預けられる
2. 安心して子どもを預けられる人(祖父母など)がいないときに利用できる
3. 1日だけでも利用できる
4. 看護師・保育士が常駐しているため安心して利用できる
5. 子どもの負担が大きい
6. 初めての通所で知らないスタッフの保育を任せせることに抵抗がある
7. 自宅近くにない
8. 利用料が高い
9. 申し込みや支払い方法等、利用手続きが煩雑
10. 申込みをしても定員がいっぱいで断られることが多い
11. 家族や親戚等で対応できる
12. その他 ()
13. 他になし ()

8. すべての方に、お子さんの不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用についてうかがいます。

問 28 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を記入ください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

事業名	利用している事業・日数(年間)	今後の利用意向
1. 一時預かり	日	ある ない
2. 幼稚園の預かり保育	日	ある ない
3. ファミリー・サポート・センター	日	ある ない
4. ベビーシッター	日	ある ない
5. 障がい児支援施設	日	ある ない
6. 産後ケア	日	ある ない
7. その他 ()	日	ある ない
8. 現在利用していない、今後も利用意向はない		

問 29 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい

ア 私用(療育、子ども(兄弟姉妹を含む)や祖父母、準祖父母、リフレッシュ目的)	日	計	日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院	日		日
ウ 不定期の就労	日		日
エ その他 ()	日		日

2. 利用する必要はない

問 30 病名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児、病や育児不安、病気など）により、泊りがけで有期貸し出しに預ける必要があると
思いますが、短期入所生活支援事業（ショートステイ）（児童福祉施設等で一定期間、こども
を保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な
活動をご記入ください（利用したい活動の会社と、目的別の内容の活動を数字でご記入くださ
い）。なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

利用したい	計	泊
ア 冠婚葬祭		泊
イ 保護者や家族の育児不安		泊
ウ 保護者や家族の病気		泊
エ その他（ ）		泊

2. 利用する必要はない

9. すべての方に、お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 31 お子さんは、現在、子育てのひろば[※]（むくむく・バンビ・ネオクラブ・ひとしお・もこもこ・プリアンジュ・小庭ひろば・西山ひろば）を利用していますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

1. 利用している 1 週当たり ___ 回 もしくは 1 か月当たり ___ 回程度

2. 利用していない

注：地域の子育て中の親子が集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所

問 32 問 31 の子育てのひろばについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり ___ 回 もしくは 1 か月当たり ___ 回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に ___ 回 もしくは 1 か月当たり 更に ___ 回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

【子育てのひろば一覧】

対象	名称	場所	所在地	開催日	時間
乳幼児	むくむく	子育てセンター	角川町 14-9	月～土曜日 (月曜日は休み) (水曜日は休み)	10:00～16:00 (12:00～13:00休み)
	バンビ	西園こども園	西園町 13-5	月～木曜日	10:00～16:00 (12:00～13:00休み)
	ネオクラブ	浜島あすのこども園	浜島町 1-2	月～木曜日	10:00～15:00
	ひとしお	しんがいにこども園	浜島町 5-2	月～金曜日	10:00～15:00
	もこもこ	児童センター (上野川北センター)	上野川町 10-5	金曜日	10:00～16:00 (12:00～13:00休み)
	プリアンジュ	都連幼稚園	都連町 24-3	土曜日	10:00～12:00
	西山ひろば	西山幼稚園	西山町 22-15	火曜日	13:00～15:00 15:30～17:30(11:30～12:30休み)
	小庭ひろば	小庭幼稚園	日出川町 15-7	木曜日	10:00～16:00 (12:00～13:00休み)

出典：令和 5 年 3 月現在の発行「子育てサポートブックがくわく子育て」26～29 ページより抜粋
「子育てサポートブックがくわく子育て」まご窓にのりかいた方は、こちらを参考にしてください。



問 33 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことのあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことのある	C 今後利用したい
①カンガルークラブ（子育てセンター等） 第 1 子（1 歳未満）のお子さんのいるママが集まって、親子の関わり方を学びながら たくさんの子と交流できる場			
②あそぼう会（子育てセンター） 保護者センターの活動室で、親子で体を動かして自由に遊ぶ場			
③あい・あいーむ（民生児童委員協議会が運営する子育てひろば） 市内の公民館などで親子が気軽に、仲間づくりや情報交換ができる場			
④児童センター（上野川文化センター）			
⑤子育て自主活動グループ 地域の親子がグループをつくり、幼稚園や子育てセンターで自主的に活動を行うもの			
⑥おさんさんひろば（幼稚園） 市立幼稚園で開催している 3 歳以上のこどもが対象の親子で遊ぶ場			
⑦立幼稚園で遊ぶうさぎ 東海郡が中心幼稚園で遊んだり、保護者と交流できる場			
⑧園庭開放（幼稚園・認可保育所・認定こども園） 園庭を地域の親子のために開放して遊んだり子育て相談したりできる場			
⑨子育て相談（幼稚園・認可保育所・認定こども園） こどもの保育に関するさまざまな相談について、保護者からの相談に応じ、情報提供や助言を行うもの			
⑩図書館（分室含む）			
⑪男女共同参画センター「ウィザースあしや」			
⑫市民センター・公民館			
⑬青少年センター・体育館			
⑭相談支援事業所等			
⑮特別支援教育センター（保護福祉センター） 障がいのあるこどもに対する教育的支援を行う施設			
⑯こども家庭・保護センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭 総合支援室） 令和 5 年 1 月 1 日までのこどもと家庭について、すべての相談・援助を行う。			
⑰産後ケア事業、育児支援家庭訪問事業（家事援助）等			

10.お子さんがら歳以上の保護者の方にかがいます。

問 34 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	週 () 日<5日
2. 祖父母や友人・知人宅	週 () 日<5日
3. 思い場（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 () 日<5日
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週 () 日<5日
5. 放課後こども教室（キッズスクエア ^{※1} 等）	週 () 日<5日
6. 放課後児童クラブ ^{※2} （学童保育）	週 () 日<5日 → 下校時から () 時 () 分まで
7. コミスク ^{※3}	週 () 日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	週 () 日<5日
9. 障がい児支援施設	週 () 日<5日
10. その他 ()	週 () 日<5日

注1：お泊りを利用して、地域の方の準備も兼ねながら、児童が習字や読書や絵画制作などを要約して過ごせる居場所の提供を行います。
 注2：保護者が利用により送迎が必要でない小学生に、授業の終了後に適切な送迎及び生活の場を提供するもの。
 注3：放課後の中で、文芸活動、スポーツ活動・施設活動・施設活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニケーションの創造・発展を図ることを目的に活動している団体

問 35 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったときの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	週 () 日<5日
2. 祖父母や友人・知人宅	週 () 日<5日
3. 思い場（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）	週 () 日<5日
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週 () 日<5日
5. 放課後こども教室（キッズスクエア等）	週 () 日<5日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 () 日<5日 → 下校時から () 時 () 分まで
7. コミスク	週 () 日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	週 () 日<5日
9. 障がい児支援施設	週 () 日<5日
10. その他 ()	週 () 日<5日

問 36 問 34 または問 35 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけたい方ががいます。該当しない方は、問 37 へお進みください。
 土曜日・祝日・夏休み等の三季休業中に利用したいですか。
 当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	時 分から 時 分まで
2. 日曜日・祝日に利用したい	時 分から 時 分まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	時 分から 時 分まで
4. 利用希望はない	

就学前-16

11.すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職員の働き方支援制度についてかがいます。

問 37 育児休業給付が支給される仕組みや期間（平成 29 年から延長 2 年間となっている）、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことを存じでしたが、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 38 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親	
1. 取得していません	2. 取得した（取得中である）
取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）	
1. 知識に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2. 仕事が終わらなかった
3.（産後）仕事に早く復帰したかった	4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	6. 収入減となり、経済的に難しくなる
7. 保育園（園）などに預けることができた	8. 配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した
9. 制度を利用する必要がなかった	10. 子育てや家事に専念するため返願した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産前産後の休暇（産前8週間、産後8週間）を取得できることを知らず、返願した	
15. その他 ()	

(2) 父親	
1. 取得していません	2. 取得した（取得中である）
取得していない理由（当てはまる番号すべてに○をつけてください）	
1. 知識に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2. 仕事が終わらなかった
3. 仕事に戻るのが難しそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
5. 収入減となり、経済的に難しくなる	6. 保育園（園）などに預けることができた
7. 配偶者（パートナー）が育児休業制度を利用した	8. 制度を利用する必要がなかった
9. 子育てや家事に専念するため返願した	
10. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）	
11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
12. 育児休業を取得できることを知らなかった	
13. その他 ()	

就学前-17

問 38-1 問 38 で母親または父親が、「2. 利用した（期待中である）」に○をつけた方がいます。なお、母親または父親のうち、どちらかが育児参加問題を長く数値した方についてお産育児休業取得後、職場に復帰しましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
 2. 現在も育児休業中である
 3. 育児休業中に復帰した
- 【問 38-8へ】
 【問 39へ】

問 38-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方がいます。

問 38-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）の入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか、当てはまる番号どちらかに○をつけてください。

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
 2. それ以外だった

※「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」には、次の内容も含まれます。
 ・年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育施設に入所した場合
 ・年度初めの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所（園）に入所できなかったという場合

問 38-3 育児休業からは、「業務」にお子さんが何歳何か月のおときに職場復帰しましたか、また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のおときまで取り戻したかったですか、該当するには数字をご記入ください。

実際の取得期間 歳 月 希望 歳 月

問 38-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のおときまで取り戻したかったですか、該当するには数字をご記入ください。

希望 歳 月

問 38-5 問 38-3で「業務」の期待と「希望」が両方とも○がついています。希望の期間に職場復帰しなかった理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) 「希望」より早く復帰した方
 1. 希望する保育所（園）に入らなため
 2. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった
 4. 人事異動や業務の目的の明期に合わせるため
 5. その他（ ）

- (2) 「希望」より遅く復帰した方
 1. 希望する保育所（園）に入らなかったため
 2. 自分や子どもなどの体調が悪化したため
 3. 配偶者（パートナー）や家族の希望があったため
 4. 職場の受け入れ態勢が悪化したため
 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
 6. その他（ ）

問 38-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたが、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用する必要がなかった
 2. 利用した
 3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

就学前-18

問 38-7 問 38-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に○をつけた方がいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何か、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
 2. 仕事が増えた
 3. 短時間勤務にするのが面倒なため、経済的に出しにくい
 4. 短時間勤務にするのが保育所（園）の入所申請の優先順位が下がる
 5. 配偶者（パートナー）が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
 6. 配偶者（パートナー）が休職、祖父母等の頼りにもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
 7. 子育てや家事に専念する必要がある
 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）
 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
 10. その他（ ）

問 38-8 問 38-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方がいます。お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますが、または、届けられる事業があっても1歳になる前に復帰したいですか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
 2. 1歳になる前に復帰したい

12. 子どもの権利についていかがですか。

問 39 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて4つの権利が定められています。
 ①生きる権利…住む場所や食べ物がある、医療を受けられる、命が守られる。
 ②育つ権利…教育を受けられる、持っている能力を伸ばす。
 ③守られる権利…虐待を受けない、労働を強要されない、幸せを奪われない。
 ④参加する権利…自分の意見を自由に言える、団体活動や選挙に関われる。

1. 名前も内容も知っている
 2. 名前は知っているが内容は知らなかった
 3. 知らなかった

問 40 このもの権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。（最大3つまで○をつけてください。）

1. 人権、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
 2. 暴力や虐待で傷つけないこと
 3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
 4. 自分の考えを自由に言えること
 5. 人と違う自分らしさが認められること
 6. 自分の秘密が守られること
 7. 自分からは自分で決められること
 8. 自由な時間をもつこと
 9. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
 10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
 11. 保護者から叱られること（褒め、応援性）

就学前-19

問 41 あなたは、子育てをしていて、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識をしたことはありませんか、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 常にしている	
2. ときどきしている	
3. あまりしていない	
4. まったくしたことがない	

13.すべての方に、戸栗市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 42 戸栗市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

問 43 地域の人に頼まれた場合に、お互いにサポートできると思うことはありますか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ちょっとした買い物	2. 子育ての相談
3. 短時間のこどもの預かり	4. 保育園（園）・幼稚園・認定こども園等の送迎
5. 楽しい事の送迎	6. 食事づくり
7. 相談をみる	8. 話し相手
9. 特になし	10. その他（ ）

問 44 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもと過ごす時間が短い	
2. 家事、育児の負担が大変	
3. こどもがいない時間帯で職場での理解不足	
4. こどもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない	
5. 保育園、幼児保育等の施設不足	
6. 配属者との関係性	
7. 希望する職種に就けない	
8. その他（ ）	
9. 特になし	

問 45 戸栗市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか、当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

1. 子育てに関する相談、情報提供の充実	
2. 親子・親同士の交流の場の充実	
3. 地域におけるこどもの居場所の充実	
4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実	
5. こどもの発達支援のための相談や訪問、ヘルパー派遣などの充実	
6. こどもが家庭やこどもの大切さを学ぶことができる場の充実	
7. こどもが主体的に行動できるよう学校訪問・保護者講座の充実	
8. 児童虐待やいじめなどに対する対策の充実	
9. 障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施設等の充実	
10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実	
11. 教育・保育サービスの費用負担や学習など経済的支援の充実	
12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の新設や内泊の充実	
13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発	
14. その他（ ）	

問 46 過去 1 年間に、次の手当てや奨励などを受けたことがありますか、①～③のそれぞれ当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
①児童扶養手当*	1	2	3
②生活保護	1	2	3
③療育費	1	2	3

注：ひとり親世帯等（父または母が重傷障がい等の場合を含む）で、18歳に達した年度末（年度以上の障がいのある児童は20歳）までの児童を養育している方に支給される手当です。

問 47 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか(留学を含む)。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------|--------------|-------------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 高校まで (海外) |
| 4. 短大・短大・専門・専門学校まで | 5. 大学またはそれ以上 | 6. 大学またはそれ以上 (海外) |
| 7. まだわからない | | |

問 48 問 47 で「1」～「6」に○をつけた方にうかがいます。
その理由は何か、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. お子さんが幸せになれると思うから |
| 3. 一般的な進路だと思うから | 4. お子さんの学力から考えて |
| 5. 家庭の経済的な状況から考えて | 6. その他 () |
| 7. 特に理由は無い | |

問 49 あなたが現在、または将来的に必要なこと、重要だと思う支援等はそのようなものですか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. このことや生活のことなど悩みごとを相談できること |
| 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること |
| 3. 知識の人から助けてもらえること |
| 4. 経済のことや履歴書のことなどについて法的な相談ができること |
| 5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること |
| 6. 住居を探したり住居費を軽減したりするための支援が受けられること |
| 7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること |
| 8. こどもの就学にかかる費用が軽減されること |
| 9. 一時的に必要な資金を借りられること |
| 10. 就学・就職のための支援が受けられること |
| 11. 特になし |
| 12. その他 () |

問 50 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1. 言葉も内容も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがある |
| 3. 知らない |

注: ヤングケアラーとは、障がいや病気、要介護などを抱えているケアを要する家族がおり、介護を担わざるを得ない状況で養育や家族の世帯などを担う18歳未満のことを指す言葉です。
ヤングケアラーは本人が思うべき、以下のようなケアを行っています。
障がいや要介護などを抱える家族の入院や介護をする。
係属で働けない職の代わりに労働を行う。

問 51 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 本人に様子を聞く | 2. 家族、知人、友人に相談する |
| 3. 先生や部活の顧問等に相談する | 4. 関係機関に相談する |
| 5. 何もしない | 6. わからない |
| 7. その他 () | |

問 52 最後に、声優市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか、あなたが子育てをされている中で、声優市が行っている施策で役に立ったこと・良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由に記入ください。



声優市の施策については、
こちらを参考にしてください。

声優市子育て未来応援プラン

検索

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日(金)までにご返送ください。
アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

子育てに困ることがあればご相談ください。



URL: <https://www.city.ashiya.lg.jp/yodomo/documents/148050datemikenariketogataareba.pdf>

2 小学生保護者

小学生保護者用

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願い～

【ご協力をお願い】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
芦屋市では、『子育て未来応援プラン「あしや」』（令和2～6年度）を決定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきます。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

令和5年11月

芦屋市長 高島 純輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail : kosolatesuisin@city.ashiya.lg.jp

- ・ご回答は、できるかぎり事前の宛名のお子さんの保護者の方にお届けしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の真数が多くありますが、回答していただく方を設定している段階もありますので、最終までご回答くださいますようしくお願いいたします。
- ・番号を選択するところでは、当てはまる項目の番号を、指定の教に□で囲んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、2.4時間表記で記載してください。
例) 9時30分～1.8時00分、1.7時30分まで
- ・ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
12月22日(金)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 芦屋市こども福祉部 こども家庭課

電話: 38-2045 (平日9:00～17:30 (12:00～12:45は除く))

FAX: 38-2190

1.お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる順に○をつけてください。

地区	【参考】小学校区
1. 桑畑町	5. 上田川町
2. 奥田南町	3. 奥山
7. 三条町	8. 三茶町
8. 三茶町	9. 清水町
10. 月形町	10. 月形町
11. 栗中町	12. 西戸屋町
13. 西山町	14. 東戸屋町
14. 東戸屋町	15. 新戸町
15. 新戸町	16. 北ノ原町
17. 北ノ原町	18. 山戸屋町
19. 山戸屋町	20. 西瀬町
20. 西瀬町	21. 樋切
22. 菅王渡町	23. 歌ヶ丘町
24. 六蔵荘町	25. 新白ヶ丘町
26. 東山町	27. 伊勢町
28. 大瀬町	29. 川西町
30. 公光町	31. 横濱町
32. 竹園町	33. 茶畑2町
34. 津知町	35. 浜戸屋町
36. 甲田北町	37. 甲田町
38. 松浜町	39. 打出小島町
40. 桑川町	41. 西瀬町
42. 浜町	43. 池川町
44. 宮津町	45. 若菜町
46. 打出町	47. 春日町
48. 大瀬町	49. 南田町
50. 海浜町	51. 朝陽町
52. 深風町	53. 緑町
54. 南浜町	55. 南光町
56. 若菜町	57. 高浜町
58. 新浜町	59. 浜尾町

2.新尚の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年 ____月生まれ

問3 お子さんのきょうだいはいくらいらっしゃいますか。お子さんをきめた人数をご記入ください。

きょうだい数 ____人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですが、お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)がいる 2. 配偶者(パートナー)はいない

問6 お子さんの子育てを主にやっているのはどなたですが、お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問7 個人家族ですか。
※単身赴任・入籍・入所の方など、家族を一緒にしたり、定期的に帰省する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数(おなだを含めて) ____人

小学生-1

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいことと早いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 ()

問9 あなたは、子育てをしていて、不要や悩みなどはありますか。

1. すごくある
 2. 少しある
 3. ほとんどない
- 【問10へ】
3. ほとんどない
- 【問11へ】

問10 問9で「1」または「2」を選択した場合は、お子さんの育ちに不安を感じていること、あるいは気になることは何ですか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- (1) ことにも関すること
1. 病気や発達遅延に関すること
 2. 食事や栄養に関すること
 3. 子育て支援サービスのこと
 4. 子どものしつけに関すること
 5. ことと進出す時期が十分に取れないこと
 6. 子どもの教育・保育に関すること
 7. 子どもの友だちづきあひに関すること
 8. 子どもの登所・登園拒否など
 9. 特にない
 10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して配偶者（パートナー）の協力が少ないこと
2. 配偶者（パートナー）と子育てに関して意見が合わないこと
3. 子育てが大変なことや、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がいらないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（パートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大きいこと
10. 子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特にない
12. その他 ()

問11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日頃から祖父祖母の別荘にのみもらえる
2. 緊急時もしくは行事の際には祖父祖母の別荘にのみもらえる
3. 日頃のことでもみてももらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは行事の際にはことごとみてももらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか、また、相談できる場所はありますか、当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある
 2. ない
- 【問12-1へ】
- 【問13へ】

問12-1 問12で「1」がある/あるに○をつけただけの方にうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、種（どこ）ですか、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父祖母の別荘
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO
5. 保健所・子ども家庭・保健センター
6. 学校教員
7. 民生委員・児童委員
8. かりつけの医師
9. 自治体の子育て関連担当窓口
10. 社会福祉協議会（総合相談窓口）
11. 障がい児相談窓口（相談支援事業所等）
12. インターネット・SNS
13. その他 ()

問 13 **すべての方にかがいます。**下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

施設・事業	A 知 っ て い る	B 利 用 し た こ と が あ る	C 今 後 利 用 し た い
①こども家庭・保健センター（こども室 障がい支援担当）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
②西宮こども発達センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③声質障害福祉事務所（声質保健所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④児童センター（上宮川文化センター）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑤障がいVR相談窓口（相談支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑥学校訪問課	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑦カファンセリングセンター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑧運動教室（のびのび学館）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑨青少年発達センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
※その他（ ）		1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

小学生-4

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことがあ
りますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある (問 13-2へ)
2. ない (問 14へ)

問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの対応（態度、話しがけにくい等）
2. サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気になじめない、汚れている、暗いなど）
4. 他の利用者（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
6. その他（ ）

問 14 **すべての方にかがいます。**ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年1年間（令和4年
1月～令和4年12月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保
険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご
記入ください。

※家族とは、問7で答えていただいた方全員のことです。
※収入には、月給や賞与などの他に得た収入だけでなく、株式配当や副収入を合計してください。
※児童手当や就学援助、生活保護などの公的収入は含めずにお答えください。

世帯の収入は年間（
万円）くらい

問 15 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないこ
とがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去1年間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないこ
とがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・奢侈品は含みません。当てはまる番号1つ
に○をつけてください。

1. よくあった 2. ときどきあった
3. まれにあった 4. まったくなかった

問 17 あなたの世帯では、過去1年間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったこ
とがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれもあてはまらぬ

問 18 **問 17 で1～3に○をつけた方にかがいます。**あなたの世帯で、節約するのであればどの分野
の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 遊園費
8. その他（ ）

小学生-5

問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑨の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
① 図書館（分室含む）			
② 市民センター・公民館			
③ 青少年センター・体育館			
④ 児童センター（上宮川文化センター）			
⑤ 相談支援事業所等			
⑥ 特別支援教育センター（保健福祉センター） 障がいのあることに対する教育的支援を行う施設			
⑦ スタディールム（こども家庭・保健センター）			
⑧ ミュージックスタジオ（こども家庭・保健センター）			
⑨ こども家庭・保健センター（子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室） 保健所から18歳までのこどもと家庭について、すべての相談・支援を行う。			

小学生-6

4. お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 20 お子さんの保護者の現在の就労状況（勤業業、専業主婦専業主夫）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している } 【(1)-1へ】
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. (お子さんが生まれる前を指す) 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. (お子さんが生まれる前を指す) これまで就労したことがない } 【(2)へ】

(1)-1 【1】で「1～4」(就労している)に○をつけただけ方がかまいません。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間 ____ 分
家を出る時間 ____ 時 ____ 分 帰宅時間 ____ 時 ____ 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様）で就労している } 【(2)-1へ】
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労、以下同様）で就労している
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である
5. (お子さんが生まれる前を指す) 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. (お子さんが生まれる前を指す) これまで就労したことがない } 【(2)へ】

(2)-1 【2】で「1～4」(就労している)に○をつけただけ方がかまいません。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間 ____ 分
家を出る時間 ____ 時 ____ 分 帰宅時間 ____ 時 ____ 分

小学生-7

問 21 問 20 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 22 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- (1) 母親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

- (2) 父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 22 問 20 の (1) または (2) で「5」以前は就労していたが、現在非就労している。または「6」これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

- (1) 母親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1 年より先、一番下のこともが__歳になったときに就労したい
 3. すぐでも、もしくは 1 年以内に就労したい
- 希望する就労形態
1. フルタイム
2. パート・アルバイト等
→1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分

- (2) 父親
1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1 年より先、一番下のこともが__歳になったときに就労したい
 3. すぐでも、もしくは 1 年以内に就労したい
- 希望する就労形態
1. フルタイム
2. パート・アルバイト等
→1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分

5. お子さんの病気の源の対応についてうかがいます。

問 23 すべての方にうかがいます。この 1 年間に、お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ----> 【問 23-1 へ】
2. なかった ----> 【問 24 へ】

問 23-1 問 23 で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかった場合に、この 1 年間に行った対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれのおおよその日数を数字で記入ください。(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください)

1 年間の対応方法		日数
1. 医師が休んだ		日
2. 父親が休んだ		日
3. (知りなを含む) 祖父母・知人にごをみてもらった		日
4. 母親または父親のうち就労していない方がごをみえた		日
5. 病院・病院外医療を利用した		日
6. ヘルパー・シッターを利用した		日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した		日
8. 仕方なくごをみただけで留守番をさせた		日
9. その他()		日

【問 24 へ】

問 23-2 問 23-1 で「1. 母親が休んだ」または「2. 父親が休んだ」のどちらかに○をつけた方にうかがいます。
その際、「できれば病院・病院外医療施設等を利用したい」と思われましたが、当てはまる番号 1 つに○をつけ、おおよその日数についてもご記入ください。
なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生し、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病院・病院外医療施設等を利用したい → 年間__日
2. 利用したいとは思わない

問 24 **すべての方にかがいがりませう。** 病院・病院後援者について、利用したことある、なしに問わず、感じていることを教えてください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. どうしても仕事を休めないときに、ごみを捨てられる	
2. 安心してごみを捨てられる人（ごみ回収業者）がいないときに利用できる	
3. 1日だけで利用できる	
4. 看護士・保育士が常駐しているため安心して利用できる	
5. ごとの負担が大きい	
6. 初めての場所では知らないスタッフの対応を受けさせることに抵抗がある	
7. 自宅近くでない	
8. 利用料が高い	
9. 申し込みや支払いの方法等、利用手続きが煩雑	
10. 申し込みをしても定数がいっぱいになって断られることが多い	
11. 家庭や親戚等で対応できる	
12. その他（ ）	
13. 特にない	

6. すべての方に、お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用にかがいがりませう。

問 25 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間のおおよその利用日数を記入してください。また、今後の利用意向についてもご記入ください。

事業名	利用している事業・日数(年間)	今後の利用意向
1. ファミリー・サポート・センター	日 有る ない	有る ない
2. ベビーシッター	日 有る ない	有る ない
3. 障がい児支援施設	日 有る ない	有る ない
4. その他（ ）	日 有る ない	有る ない
5. 現在利用していない、今後も利用意向はない		

問 26 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、1年間で何日くらい事業を利用する必要があるかと思いませんか。当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計	日
ア 利用(調剤、ごども(児童福祉法)や親の通院、車中泊、リフレッシュ目的)			日
イ 臨時預託、学校行事、ごども(児童福祉法)や親の通院など			日
ウ 不定期の就労			日
エ その他（ ）			日
2. 利用する必要はない			

問 27 発症のお子さんについて、保護者の病事(認知症、脳卒中、重症心身障害(児童福祉法)の児童福祉法や児童不登校、発達障害)により、泊りがけで年間何日くらい定住外出に預ける必要があるかと思いませんか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等)で一定期間、ごどもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数を記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を数字で記入ください)。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計	泊
ア 短期滞在			泊
イ 保護者や家族の育児疲れ・不安			泊
ウ 保護者や家族の病気			泊
エ その他（ ）			泊
2. 利用する必要はない			

7. お子さんの放課後の過ごし方にかがいがりませう。

問 28 **すべての方にかがいがりませう。** お子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所をご希望か、または、通じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	有 ()	日<5日
2. 祖父母や友人・知人宅	有 ()	日<5日
3. 塾(ピアノ教室、サッカークラブ、習字等)	有 ()	日<5日
4. 体育館や児童センターなど公共施設	有 ()	日<5日
5. 放課後ごども教室(キッズクラブ等)	有 ()	日<5日
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	有 ()	日<5日
7. コミュニティ	有 ()	日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	有 ()	日<5日
9. 障がい児支援施設	有 ()	日<5日
10. その他（ ）	有 ()	日<5日

注1: 小学校を利用して、地域のの方の参加も得ながら、児童が放課後や長期休業中などを安心して過ごせる居場所の提供を行う事業
 注2: 保護者が労働者により児童福祉法に定める小児に、保護者の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供するもの。
 注3: 地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニティの創造・発展を図ることを目的に活動している団体

問 29 **すべての方にかがいます。**お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうちの放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は（ ）もご記入ください。

1. 自宅	週 () 日<5日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日<5日
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラス、習字塾等）	週 () 日<5日
4. 体育館や福祉センターなど公共の施設	週 () 日<5日
5. 放課後子ども教室（キッズスクエア等）	週 () 日<5日
6. 放課後児童クラブ（学童保育）	週 () 日<5日 下校時から () 時 () 分まで
7. コミスク	週 () 日<5日
8. ファミリー・サポート・センター	週 () 日<5日
9. 障がい児支援施設	週 () 日<5日
10. その他 ()	週 () 日<5日

問 30 **問 28 または問 29 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけたい方にかがいます。**

該当しない方は、問 31へお読みください。
土曜日、日曜日、祝日、夏休み等の三季休業中に利用したいですか。
当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ利用したい時間帯をご記入ください。

1. 土曜日に利用したい	時 分から	時 分まで
2. 日曜日・祝日に利用したい	時 分から	時 分まで
3. 夏休み等の三季休業中に利用したい	時 分から	時 分まで
4. 利用希望はない		

問 31 **すべての方にかがいます。**家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの壊れが充ちていない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊び仲間がない
12. 特に感じることはない
13. その他 ()

小学生-12

問 32 **すべての方にかがいます。**身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもに遊びを誘えたり、しつけをしてくれる場
2. こどもが放課後などに集まって、こども同士で自主活動ができる場
3. こどもが土曜日・日曜日に活動ができる広さのある場
4. こども自身が企画を立案できる場
5. その他 ()

8.こどもの権利についてうかがいます。

問 33 あなたは、「こどもの権利」を知っていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ 「こどもの権利」とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて4つの権利が定められています。

- ①生まれる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
- ②育つ権利…教育を受けられる。持っている能力を伸ばす。
- ③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。命を奪われない。
- ④参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

1. 名前も何も知っていない
2. 名前は知っているが内容は知らなかった
3. 知らなかった

問 34 こどもの権利の中でより実感を図る必要があると思うものに○をつけてください。（最大3つまで○をつけてください。）

1. 人権、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
2. 豊かや品物で困らないこと
3. 家族が早く一緒に過ごす時間ももちつこと
4. 自分の考えを自由に言えること
5. 人と違う自分らしさが認められること
6. 自分の能力が守られること
7. 自分のことは自分で決められること
8. 自由な時間をもつこと
9. 自由な呼びかけでグループを作り集まれること
10. 必要な情報を得ることや、参加する手助けを受けられること
11. 保護者から叱責をされること（家事、洗濯他）

問 35 あなたは、子育てをしていて、こどもからの意見や要望を聞き、それを取り入れるように意識をしたことはありませんか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 常にしている
2. とまどきしている
3. あまりしていない
4. まったくしたことない

小学生-13

9.すべての方に、戸塚市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 36 戸塚市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。



問 37 地域の人に関わった場合に、お互いにサポートできると思うことはいくつありますか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1. ちよっとした買い物 | 2. 子育ての相談 |
| 3. 長時間のこどもの抱っこ | 4. 保育所（園）・幼稚園・認定こども園等の送迎 |
| 5. 食事づくり | 6. 問題をみる |
| 7. 話し相手 | 8. 近所のグループづくり |
| 9. 休まない | 10. その他（ ） |

問 38 子育てをしながら仕事を行う上での課題は何ですか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------------|
| 1. こどもと過ごす時間が短い | 2. 家事、育児の負担が大変 |
| 3. こどもがいない時間帯など職場での理解不足 | 4. こどもに十分な教育機会（習い事等）を提供できていない |
| 5. 保育園、幼児教育等の施設不足 | 6. 配偶者との関係性 |
| 7. 希望する職種に就けない | 8. その他（ ） |
| 9. 特になし | |

問 39 戸塚市の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか、当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 子育てに関する相談、情報提供の充実 |
| 2. 親子・親同士との交流の場の充実 |
| 3. 地域におけるこどもの居場所の充実 |
| 4. 家庭の教育が向上するための学習機会の充実 |
| 5. こどもの教育支援のための相談や訪問、ヘルパー派遣などの充実 |
| 6. こどもが家庭やこどもも大切なお遊びなどができる場の充実 |
| 7. こどもが主体的に行動できるよう学校教師・保育士等の充実 |
| 8. 児童虐待やいじめなどに対する対策の充実 |
| 9. 障がいのあるこどもが地域で安心して生活できるよう障がい児施設等の充実 |
| 10. ひとり親家庭に対する相談や生活支援の充実 |
| 11. 教育・保育サービスの費用負担や学習など経済的支援の充実 |
| 12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の増設や夜間の充実 |
| 13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間の改善等、企業や労働者に対する啓発 |
| 14. その他（ ） |

問 40 過去1年間に、次の手当てや奨励などを受けたことがありますか、①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
① 就学援助 ³¹⁾	1	2	3
② 児童扶養手当 ³²⁾	1	2	3
③ 生活保護	1	2	3
④ 奨学金	1	2	3

注1：学校給食費や学用品費等の支払いにお互いの保護者の方に対し、申請にもとづいて費用の一部を奨励する制度です。

注2：ひとり親世帯等（父または母が専業主婦がいない世帯の場合を含む）で、住居に選した年次率（申請以上の障がいのある児童は20歳）までの児童を養育している方に支給される手当です。

問 41 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか（国語を答む）、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|------------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 高校まで（海外） |
| 4. 短大・高等・専門学校まで | 5. 大学またはそれ以上 | 6. 大学またはそれ以上（海外） |
| 7. まだわからない | | |

問 42 問41で「1」～「6」に○をつけた方にうかがいます。その理由は何ですか、それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. お子さんが希望せられると思うから |
| 3. 一般的な進路だと思うから | 4. お子さんの学力から考えて |
| 5. 家庭の経済的な状況から考えて | 6. その他（ ） |
| 7. 特に理由はなし | |

問 43 あなたが現在、または将来的に必要としていること、重要だと思う支援等ほどのようなものですが、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. こどものことや生活のことなど悩みごとを相談できること 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること 3. 地域の人から助けてもらえること 4. 趣味のことや習い事のことなどについて法的な相談ができること 5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること 6. 住居を探したり住居費を軽減したりするための支援が受けられること 7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること 8. こどもの就学にかかる費用が軽減されること 9. 一時的に必要な資金を借りられること 10. 就職・転職のための支援が受けられること 11. 特になし 12. その他 ()

問 44 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 言葉も内容も知っている 2. 言葉は聞いたことがある 3. 知らない

注：ヤングケアラーとは、障がいや病気、要介護などを抱えていてケアを要する家族がおり、介護を担わざるを得ない状況で家事や家族の世話を代行する 18 歳未満の子どもを指す言葉です。
 ヤングケアラーは本来本人が困らすべき、以下のようなケアを行っています。
 障がいや要介護などを抱える家族の生活や介護を行う。
 病気で働けない親の代わりに労働を行う。

問 45 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 本人に様子を知り 2. 家族、友人、友人に相談する 3. 先生や相談の専門家に相談する 4. 関係機関に相談する 5. 何もしない 6. わからない 7. その他 ()
--

問 46 最後に、戸田市でどのような子育てができるようになると良いと思いますか。あなたが子育てをされている中で、戸田市が行っている施策で役に立ったこと・良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由に記入ください。



戸田市の施策については、[こちら](#)を参考にしてください。

戸田市子育て未来部直プラン

印刷

同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日(金)までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。



子育てに困ることがあればご相談ください。

URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/14kosodatemikomaruukotogaaraba.pdf>

3 小学生

小学生用

アンケート調査のお願い

このアンケートは、みなさんの生活の様子や、希望の学習内容などについて、ご意見をお聞かせください。アンケートは、みなさんの生活の様子や、希望の学習内容などについて、ご意見をお聞かせください。アンケートは、みなさんの生活の様子や、希望の学習内容などについて、ご意見をお聞かせください。

1. あなたのふだんの生活について

問1 あなた自身が思う住居をお答えください。(1つに○) 3に○をした時は、()の半に自分で考えた答えを書いてください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたは学校がある白はほしい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

1. 午前6時より前 2. 午前6時～6時29分
3. 午前6時30分～6時59分 4. 午前7時～7時29分
5. 午前7時30分～7時59分 6. 午前8時～8時29分
7. 午前8時30分以上

問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

1. 週6日以上食べる 2. 週4～5日は食べる
3. 週2～3日は食べる 4. ほとんど食べない

問4 問3で2～4に○をした人におきます。

あなたが、朝ごはんを食べないときがあるのはなぜですか。(1つに○) 6「その他」に○をした時は、()の半に自分で考えた答えを書いてください。

1. 食べる時間がないから 2. 食べたくないから (賞状がないから)
3. 足りたくないから 4. 朝ごはんの用意がないから
5. おろちの人も朝ごはんを食べたくないから 6. その他 ()

問5 あなたは湯かぎをどのくらいしますか。(1つに○)

1. 1日2回以上湯かぎがきをする 2. 1日1回湯かぎがきをする
3. 全く湯かぎがきしない白が週に1～4日ある 4. 全く湯かぎがきしない白が週に5日以上ある

問6 あなたは、次の白に学校がある白はほしい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

1. 午後9時より前 2. 午後9時～9時29分
3. 午後9時30分～9時59分 4. 午後10時～10時29分
5. 午後10時30分～10時59分 6. 午後11時～11時29分
7. 午後11時30分～11時59分 8. 午前0時～0時29分
9. 午前0時30分～0時59分 10. 午前1時以降

小学生-1

問7 あなたは、夕ごはんをこどもだけ(大人だけを除く)で食べることがありますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5日
3. 週に2～3日 4. 週に1日程度
5. ほとんどない

2. 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○) 5「その他」に○をした時は、()の半に自分で考えた答えを書いてください。

1. 市立 2. 区立
3. 国立 4. 私立
5. その他 ()

問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

問10 問9で3～4に○をした人におきます。

楽しくない理由は何か、半の中からはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の半に自分で考えた答えを書いてください。

1. 授業がわからないから 2. 友だちがいないから
3. いやな友だちがいるから 4. 先生が怒りや罰を働いてくれるから
5. 学校のきまり(校則)がきびしいから 6. なんでも自由にできないから
7. 家で心配なことがあって、集中できないから 8. 休み時間などで他の授業がつらいから
9. その他 ()
10. 知らない

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 高校まで (海外)
4. 短大・専門学校まで 5. 大学またはそれ以上 6. 大学またはそれ以上 (海外)
7. まだわからない

問12 問11で選択したその理由について、半の中からはまるものがあればすべてに○をしてください。8「その他」に○をした時は、()の半に自分で考えた答えを書いてください。

1. 希望する学校や業種があるから 2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友達にそうしているから 6. 家にお金がないから
7. 早く働く必要があるから 8. その他 ()
9. とくに理由はなし

小学生-2

問13 あなたは、野菜、驚きたいと思いますか。(1つに○)

1. 驚きたいと思う
2. 驚きたいと思わない
3. わからない

問14 問13で選択した番号の理由について、下の空に記入をしてください。

--

3.放課後の過ごし方について

問15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問16 問15で3～4に○をした空にお書きします。

楽しくない理由は何ですか。下の空からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
6 「その他」に○をした時は、() の空に自分で考えた答えを書いてください。

1. 一緒にいる友だちがいらないから
2. いやな友だちがいるから
3. 暇や道徳を聞いてくれる大人がいらないから
4. なんでも自由にできないから
5. 家で心配なことがあって、集中できないから
6. その他 ()
7. 知らない

問17 あなたは放課後に、だれと過ごすことが一番多いですか。(1つに○) 7 「その他」に○を

した時は、() の空に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな
2. 家族以外のおとな
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち
5. きょうだい
6. 1人でいる
7. その他 ()

問18 あなたは放課後に、どこで過ごすことが一番多いですか。(1つに○) 10 「その他」に○を

した時は、() の空に自分で考えた答えを書いてください。

1. 自分の家
2. 友だちの家
3. レックや習いごと
4. 学校
5. キッズスクエア
6. 学習塾等
7. 公民館等 (図書館・児童センター・体育館など)
8. 公園
9. お店
10. その他 ()

問19 あなたは自宅にいたときの時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
2. どちらかといえば楽しい
3. どちらかといえば楽しくない
4. 楽しくない

問20 問19で3～4に○をした空にお書きします。

楽しくない理由は何ですか。下の空からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の空に自分で考えた答えを書いてください。

1. いつもの一人だから
2. 家族にいやなことを言われるから
3. 家族に悪方をふるわれることがあるから
4. 暇や道徳を聞いてくれる大人がいらないから
5. 好きなことができないから
6. 家で心配なことがあって、集中できないから
7. 普段から読書や読書などの道徳をしていないから
8. その他 ()
9. 知らない

問21 家族の空にあなたがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。問22の題みの空を参考にしてください。)(1つに○)

1. いる
2. いない

問22 問21で1に○をした空にお書きします。

あなたはどのようなお世話をしていますか。下の空からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。11 「その他」に○をした時は、() の空に答えを書いてください。

1. 家事 (食卓の準備や洗い物、掃除、洗濯、買い物など)
2. きょうだいのお世話をしたり、お世話をしてくれる大人への送り迎え
3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど
4. 読書や買い物、散歩と一緒に行き、手助けをする
5. 困りごとを聞く、話し相手になる
6. 見守り (転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)
7. 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)
8. 家のお世話を手伝う (お金の使い方を考えたり、しほったりするなど)
9. 家の修理 (家を修繕したり確認したり、直したりするなど)
10. 算数のサポート (算数を覚えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)
11. その他 ()

問23 問21で1に○をした人におきます。お世話をしていることで、以下の様な経験をしたことはありますか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

- 8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。
- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 学校を休んでしまふ | 2. 差別や偏見をしてしまふ |
| 3. 習字など勉強をする時間が足りない | 4. 眠る時間が足りない |
| 5. 友だちと遊ぶことができない | 6. 思い事ができない |
| 7. 自分の得意が壊れない | 8. その他 () |
| 9. 損にない | |

4. あなたの考えについて

問24 あなたは、自分のことについてどう思いますか、(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかといえはそう思わない	そう思わない
(1) 自分にはよいところがある	1	2	3	4
(2) 失敗すると前に進めないと思う	1	2	3	4
(3) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4
(4) 何かをするときは、誰かからどのように身られるか気になる	1	2	3	4
(5) 悔いを感じれば、いいことがある	1	2	3	4

問25 あなたには、学ばなければならないことや心配なこと、困っていること、たれかに相談したいと思っていることがありますか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。

- 10 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。
- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 習字のこと | 5. 家での子供のこと | 6. じゅくや塾のこと |
| 7. 将来・進路 | 8. 体質・健康 | 9. とくにない |
| 10. その他 () | | |

問26 心配ことや悩みがあるとき、話ししたり、相談したりできる人がいますが、下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | | |
|-------------------|----------------|-----------|
| 1. 家族のおとな | 2. 学校の先生 | 3. 学校の友だち |
| 4. 学校以外の友だち | 5. きょうだい | |
| 6. 家族・学校の先生以外のおとな | 7. インターネット・SNS | 8. とくにいない |
| 9. その他 () | | |

5. こどもの権利について

※ 「こどもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。
 ①生きる権利…命が守られて、大切にされること。病気になったときや、けがをしたときには治療を受けられること。
 ②育つ権利…教育を受け、友達と遊んだりできること。考えや感じることを自由に守られ、自ららしく育つことができること。
 ③守られる権利…暴力や危険なことから守られること。自分のこと、家族のこと、人に知られたくないときはそれも守ることができること。
 ④参加する権利…自由に自分の考えや意見を言えること。集まってグループをつくらったり、自由な活動を行ったりできること

問27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると感じますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえはそう思う |
| 3. どちらかといえはそう思わない | 4. そう思わない |

問27-1 問27で3～4に○をした人におきます。

それはどんなことですか。下の枠からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いじめにあっているから | 2. 大人から暴力を振るわれているから |
| 3. 自分のことを自分で決められないから | 4. 大人から差別的な扱いをうけているから |
| 5. 自分自身の夢を続けられることがあるから | 6. 習字に連れて行ってもらえないから |
| 7. わからない | 8. その他 () |

前28 あなたは、親や家族の欠にあなたの意見を聞いてもらえますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

前28-1 それはどんなことですか。早の早からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
10「その他」に○をした時は、()の早に自分で考えた答えを書いてください。

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 勉強のこと | 5. 早での生活のこと | 6. じゅくや園いことのこと |
| 7. 将来・道路 | 8. 体質・健康 | |
| 9. その他 () | | |

前28-2 前28で2に○をした欠にお直します。意見を聞いてもらえなかった前28にどのよな対応をしましたか。(1つに○) 4「その他」に○をした時は、()の早に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 引き継ぎ意見を繰り返した | 2. あきらめた |
| 3. 他の欠に意見を言った | 4. その他 () |

前29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらえますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

前29-1 それはどんなことですか。早の早からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
10「その他」に○をした時は、()の早に自分で考えた答えを書いてください。

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1. 学校での生活のこと | 2. 友だちのこと | 3. 家族のこと |
| 4. 勉強のこと | 5. 早での生活のこと | 6. じゅくや園いことのこと |
| 7. 将来・道路 | 8. 体質・健康 | 9. とくにない |
| 10. その他 () | | |

前29-2 前29で2に○をした欠にお直します。意見を聞いてもらえなかった前29にどのよな対応をしましたか。(1つに○) 4「その他」に○をした時は、()の早に自分で考えた答えを書いてください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 引き継ぎ意見を繰り返した | 2. あきらめた |
| 3. 他の欠に意見を言った | 4. その他 () |

前30 あなたは、差別・暴分・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 差別や暴分、いじめを受けた | 2. 差別や暴分、いじめをした |
| 3. どちらもある | 4. どちらもない |

前31 こどもの権利の早でより充実をしていく必要があると思うものはどれですか。(最大3つまで○をつけてください。)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 欠種、性別、宗教、園がいの有無などで差別されないこと |
| 2. 暴力や言葉で罵つけられないこと |
| 3. 家族が前長く「後」に過ごす時間をもちつこと |
| 4. 自分の考えを自由に言えること |
| 5. 欠と運ち自分らしさが認められること |
| 6. 自分の秘密が守られること |
| 7. 自分のことは自分で決められること |
| 8. 自由な時間をもちつこと |
| 9. 自由な時間だけでグループを作り集まれること |
| 10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること |
| 11. 保護者から意見を聞けること(投票、発表など) |

前32 ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
なにか悩みことや、心配なことなどがあるときは、次のところで相談できます。

(1) 児童相談所全国共通ダイヤル 189 (無料) 本人の家族に暴力をふるわれる、

被害を作ってもらえない、
重い傷気になっても病院に連れて行ってもらえない、
無視される、

きょうだい間で差別をされる、
目の前で家族に対して暴力をふるうなど
このようなことをされたら、迷わず相談してください。

URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/keizemo/kosodate/dial_189.html



(2) 子どもの人権110番 0120-007-110 (無料)

友達から「いじめ」にあつて学校に行きたくない、

家の人はいやなことをされる、

部活動で暴言・暴力を受けているなど、

先生や頼りに話しくいけど、このままではどうしていいかわからない、

誰も気づいてくれない・・・

このような悩みがあったら、迷わず電話してください。

「まわりでこんなことで困っている人がいる」という相談でもいいです。

メールやLINEでも相談ができます。

URL : <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>



(3) 青葉市ヤングケアラー相談窓口

通常、本人が行う家事や家族のお世話している

家事や家族のお世話で学校を休んでしまふ、勉強ができない、

自分の自由な時間がないなどで悩んでいたら相談してください。

URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/yungkea.pdf>



小学生-9

4 中学生保護者

中学生保護者用

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力をお願いします～

【ご協力をお願いします】

皆さまには、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
芦屋市では、「子育て未来応援プラン「あしや」」（令和2～6年度）を決定し、子育て支援施策を推進しております。

次期計画の策定にあたり、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する各施策の今後の取り組みを検討するため、本調査を行います。

このアンケートは、令和7年度からの5か年の事業計画を決める大切なものですので、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

※ この調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの就学のお子さんのいらっしゃるご家庭の中から、無作為に選ばせていただきます。

※ ご回答は、すべて無記名で、個人が特定されることや、他の目的に使用することはございません。

令和5年11月

芦屋市長 高島 純輔

To those who require this survey in English

(英語の翻訳を必要とする方へ)

Answering this survey is optional. An English version of this survey is available. Therefore, if you would like to participate in this survey, please send an e-mail to the following address. Thank you for your cooperation. E-mail : kosofatesuisin@city.ashiya.lg.jp

- ・ご回答は、できるかぎり利便の宛名のお子さんの保護者の方にお届けしますが、ご家族の方や一階にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を決定している段階でもありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
- ・番号を選択するところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数字だけOで埋込んでください。
- ・時刻を記入するところでは、当てはまる時刻を、2.4時間表記で記載してください。
（例）9時30分～10時00分、17時30分まで
- ・ご記入いただいた調査票は、密封いたしました返信用封筒に入れて、
12月22日（金）までにご返送ください。（切手は不要です。）
- ・調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ】芦屋市こども福祉課 こども家庭課 ことば支援課

電話：38-2045（平日9：00～17：30（12：00～12：45は除く））

FAX：38-2190

1.お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる順に○をつけてください。

地区		【参考】小学校区			
1. 桑畑町	2. 奥田南町	3. 奥山	4. 大塚町	5. 上田川町	山手小学校区
6. 船付	7. 三条町	8. 三茶町	9. 清水町	10. 月形町	中一部地区あり
11. 東甲町	12. 西甲町	13. 西山町	14. 東戸塚町	15. 新戸町	
16. 前田町	17. 船ノ内町	18. 山戸塚町	19. 山岸町		
20. 西塚町	21. 樋切	22. 東王塚町	23. 歌ヶ丘町	24. 穴蔵辻町	石園小学校区
25. 新日ヶ丘町	26. 東山町				新日ヶ丘小学校区
27. 伊勢町	28. 大森町	29. 川西町	30. 公光町	31. 横濱町	
32. 竹園町	33. 茶畑2町	34. 津和町	35. 浜戸塚町	36. 甲田北町	精華小学校区
37. 甲田町	38. 船津町				
39. 打出小橋町	40. 舟川町	41. 西塚町	42. 浜町	43. 池川町	宮川小学校区
44. 宮津町	45. 若菜町				
46. 打出町	47. 春日町	48. 大塚町	49. 東田町		打出浜小学校区
50. 海浜町	51. 朝陽町	52. 深風町	53. 緑町	54. 南浜町	南沢小学校区
55. 南光町	56. 若葉町				中一部地区あり
57. 高浜町	58. 新浜町	59. 浜尾町			浜尾小学校区

2.新尚の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月月をご記入ください。

平成 ____年 ____月生まれ

問3 お子さんのきょうだいはいくらいらっしゃいますか。お子さんをきめた人数をご記入ください。

きょうだい数 ____人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですが、お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者（パートナー）がいる 2. 配偶者（パートナー）はいない

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですが、お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

問7 個人家族ですか。
※単身赴任・入養・入所の方など、家族を一緒にしたり、定期的に帰省する方は家族の人数に含めて回答してください。

家族の人数（おなだをきめて） ____人

中学生-1

3. 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 子育てを楽しんでいると感じることは多いですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 多いと感じることが多い
2. 多いと感じることが多い
3. 多いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 ()

問9 あなたは、子育てをしていて、不要や悩みなどはありますか。

1. 全くある
 2. 少しある
 3. ほとんどない
- 【問10へ】

問10 問9で「1. 全くある」「2. 少しある」に○をつけただけにうかがいます。子育てに関して、日常抱えていること、あるいは気になることはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) ことに関すること

1. 病気や発達遅延に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育て支援サービスのこと
4. 子どものしつけに関すること
5. ことごとくに適切な対応が取れないこと
6. 子どもの教育・保育に関すること
7. 子どもの友だちづきあひに関すること
8. 子どもの登所・登園拒否など
9. 特にない
10. その他 ()

(2) ご自身に関すること

1. 子育てに関して価値観（ハートナー）の相違がないこと
2. 配偶者（ハートナー）と子育てに関して価値観が合わないこと
3. 子育てが大変なことや、身近な人が理解してくれないこと
4. ご自身の子育てについて、身近な人の見る目が気になること
5. 子育てに関して話し相手や相談相手がないこと
6. 仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと
7. 配偶者（ハートナー）以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
8. 子育てのストレスなどから子どもにきつくあたってしまうこと
9. 子育てによる身体の疲れが大したこと
10. 子どもの教育にかかる経済的な不安が大きくなっていること
11. 特にない
12. その他 ()

問11 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日頃から祖父祖母の別荘にのみもらえる
2. 緊急時もしくは行事の際には祖父祖母の別荘にのみもらえる
3. 日頃のことでもおみてももらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは行事の際にはことごとくもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問12 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある
 2. ない
- 【問12-1へ】

問12-1 問12で「1. いる/ある」に○をつけただけにうかがいます。お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、種（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父祖母の別荘
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設（児童センター等）・NPO
5. 保健所・保健センター
6. 学校教員
7. 民生委員・児童委員
8. かりつけの医師
9. 自治体の子育て関連担当窓口
10. 社会福祉協議会（総合相談窓口）
11. 障がい児相談窓口（相談支援事業所等）
12. インターネット・SNS
13. その他 ()

問 13 **すべての方にかかります。**下記の相談機関で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

相談・事業	A 知 つ て い る	B 利 用 し た こ と が あ る	C 今 後 利 用 し た い
①こども家庭・保護センター（こども家庭 親名支援担当）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
②西宮こども家庭センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
③戸部健康福祉事務所（戸部保健所）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
④児童センター（上野川文化センター）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑤障がい児相談窓口（相談支援事業所等）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑥学校教職員	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑦カワフセンリંગセンター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑧通都教室（のびのび学級）	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑨青少年支援センター	1. はい 2. いいえ	1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ
⑩その他（ ）		1. ある 2. ない	1. はい 2. いいえ

問 13-1 あなたは問 13 で「利用したことがある」と答えた相談機関に対して、不満をもったことが
ありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. ある 【問 13-2 へ】
2. ない 【問 14 へ】

問 13-2 不満の理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. スタッフの対応（態度、話しかけにくい等）
2. サービスの内容（相談が解決しない、十分ではないなど）
3. 雰囲気（全体の雰囲気になじめない、汚れている、暗いなど）
4. 地の利用性（人が多すぎる、マナーが悪いなど）
5. 距離・アクセス（自宅から遠い、出かけるのに不便、駐車場がないなど）
6. その他（
）

中学生-4

問 14 **すべての方にかかります。**ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年 1 年間（令和 4 年 1 月～令和 4 年 12 月）の、家族全員の収入（所得税・住民税などの税金や健康保険料・介護保険料などを支払った後の手取り額）の合計額は、およそいくらでしたか。年間の世帯収入額をご記入ください。

※家族とは、問 7 で答えていただいた方全員のことで、
※収入には、月給や賞与などの働いて得た収入だけでなく、株式配当や別収入を合計してください。
※児童手当や就学奨励、生活保護などの公的支援手当は除いた額をお答えください。

世帯の収入は年間（
万円）くらい

問 15 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった
2. とまどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 16 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. よくあった
2. とまどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 17 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 電気料金 2. ガス料金 3. 水道料金 4. いずれもあてはまらない

問 18 **問 17 で 1～3 に○をつけた方にかかります。**あなたの世帯で、節約するのであればどの分野の費用を節約できますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 食費 2. 娯楽費 3. 教育費 4. 住居費
5. 光熱水費 6. 通信費 7. 遊園費
8. その他（
）

中学生-5

問 19 下記の施設や事業で知っているものや、利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、該当するところに○をつけてください。

施設・事業	A 知っている	B 利用したことがある	C 今後利用したい
①図書館(分室含む)			
②市民センター・公民館			
③青少年センター・体育館			
④児童センター(上宮川文化センター)			
⑤相談支援事業所等			
⑥特別支援教育センター(保護福祉センター) 障がいのあることに対する教育的支援を行う施設			
⑦スタディールーム(こども家庭・保護センター)			
⑧ミュージックスタジオ(こども家庭・保護センター)			
⑨こども家庭・保護センター(子育て世代包括支援センター・こども家庭総合支援室) 好成績から18歳までのこどもと家庭について、すべての相談・相談を行う。			

4.お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 20 お子さんの保護者の現在の就労状況(勤業業、専業主婦専業主夫)をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様)で就労している } 【(1)-1へ】

2.フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である

3.パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労、以下同様)で就労している

4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である

5.(お子さんが生まれる前を指す)以前は就労していたが、現在は就労していない

6.(お子さんが生まれる前を指す)これまで就労したことがない } 【(2)へ】

(1)-1 【1】で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間 ____ 分

家を出る時間 ____ 時 ____ 分 帰宅時間 ____ 時 ____ 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労、以下同様)で就労している } 【(2)-1へ】

2.フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である

3.パート・アルバイト等(フルタイム以外の就労、以下同様)で就労している

4.パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である

5.(お子さんが生まれる前を指す)以前は就労していたが、現在は就労していない

6.(お子さんが生まれる前を指す)これまで就労したことがない } 【(2)へ】

(2)-1 【2】で「1～4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。

就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり ____ 日 1日当たり ____ 時間 ____ 分

家を出る時間 ____ 時 ____ 分 帰宅時間 ____ 時 ____ 分

問 21 問 20 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
 4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 22 問 20 の (1) または (2) で「5」以前に就労していたが、現在非就労していない、または「6」これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 23 へお進みください。
就労しないという希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する__には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1 年より先、一番下のことが__歳になったら就労したい
 3. すぐでも、もしくは 1 年以内に就労したい
 →希望する就労形態 { 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等
 →1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分 }

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1 年より先、一番下のことが__歳になったら就労したい
 3. すぐでも、もしくは 1 年以内に就労したい
 →希望する就労形態 { 1. フルタイム
 2. パート・アルバイト等
 →1 週当たり__日 1 日当たり__時間__分 }

5. すべての方に、お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 23 お子さんについて、放課後の過ごし方について、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、通じていますが、当てはまる番号すべてに○をつけ、利用したい場合は()もご記入ください。

1. 自宅	選 () 日くらい
2. 祖父母や叔人・知人宅	選 () 日くらい
3. 学校 (部活動等)	選 () 日くらい
4. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、習字塾等)	選 () 日くらい
5. 体育館や福祉センターなど公共施設	選 () 日くらい
6. コミスタ ¹⁾	選 () 日くらい
7. 障がい児支援施設 ²⁾	選 () 日くらい
8. その他 ()	選 () 日くらい

注 1: 地域社会の中で、文化活動・スポーツ活動・福祉活動・地域活動等を通じて、よりよいコミュニティの創造・発展を促すことを目的に活動している団体
 注 2: 児童と関係、その他要保護など必要な支援を受けたり、心身の発達に支援を寄与する児童が、通所により放課後を過ごしたりする施設

問 24 家の近くのこどもの遊び場について、日ごろ感じていることはありますか。当てはまる番号 3 つまで○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	選 ()
2. 雨の日に遊べる場所がない	選 ()
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない	選 ()
4. 遊具 (常設のバスケットゴール等) などの機能が充実していない	選 ()
5. 不衛生である	選 ()
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする	選 ()
7. 緑などの自然が少ない	選 ()
8. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	選 ()
9. 遊び場周辺の道路が危険である	選 ()
10. 特に感じることはない	選 ()
11. その他 ()	選 ()

問 25 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場ができた場合、どのようなものが望ましいとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもに遊びを教えたり、しつけをしつづける場	選 ()
2. こどもが放課後などに集まって、こども同士で自主活動などができる場	選 ()
3. こどもが土曜日・日曜日に活動ができたり遊べる場	選 ()
4. こども自身が悩みを相談できる場	選 ()
5. その他 ()	選 ()

6.子どもの権利についてうかがいます。

問 26 あなたは、「子どもの権利」を知っていますか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- ※ 「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に大きく分けて4つの権利が定められています。
- ①生きる権利…住む場所や食べ物がある。医療が受けられる。命が守られる。
 - ②育つ権利…教育が受けられる。持っている能力を伸ばす。
 - ③守られる権利…虐待を受けない。労働を強要されない。虐待を受けられない。
 - ④参加する権利…自分の意見を自由に言える。団体活動や集会を開ける。

1. 名前も内番も知っている
 2. 名前知っているが内番は知らなかった
 3. 知らなかった

問 27 この目の権利の中でより充実を図る必要があると思うものに○をつけてください。(最大3つまで○をつけてください)

1. 人権、性別、宗教、障がいの有無などで差別されないこと
 2. 暴力や言葉で傷つけられないこと
 3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもつこと
 4. 自分の考えを自由に言えること
 5. 人と違う自分らしさが認められること
 6. 自分の秘密が守られること
 7. 自分のことは自分で決められること
 8. 自由な時間をもちつこと
 9. 自由な呼び掛けでグループを作り集まれること
 10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
 11. 保護者から世話をされること。(家事、洗濯等)

問 28 あなたは、子育てをしながら、子どもからの意見や要望を聞き、それらを取り入れるように意識しましたか。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

1. 常にしている
 2. ときどきしている
 3. あまりしていない
 4. まったくしたことがない

7.すべての方に、芦屋市の今後の子育て施策についてうかがいます。

問 29 芦屋市における子育ての理解や支援への満足度について、当てはまる番号 1つに○をつけてください。



問 30 地域の人が集まれた場合に、お互いにサポートできると思うことはありますか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ちよっとしは面白い
 2. 子育ての相談
 3. 短時間のこともの預かり
 4. 保育園(園)・幼稚園・認定こども園等の送迎
 5. 食事づくり
 6. 他施設をみる
 7. 話し相手
 8. 近所のグループづくり
 9. 特にな
 10. その他()

注：幼稚園と保育園の機能や役割を合わせず、地域の子育て支援も行う施設

問 31 子育てをしながら仕事をしようよでの課題は何か。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. こどもと第二時給が足りない
 2. 家事、育児の負担が大きい
 3. こどもがいない時間帯など意識での意識不足
 4. こどもに十分な教育機会(習い事等)を提供できていない
 5. 保育園、幼稚園等の施設不足
 6. 配偶者との関係性
 7. 希望する園別に就けない
 8. その他()
 9. 特になし

問 32 貴府の子育て支援施策に期待すること・重要なことは何ですか。当てはまる番号3つまで○をつけてください。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 子育てに関する相談、情報提供の充実 | | | |
| 2. 親子・親同士の交流の場の充実 | | | |
| 3. 地域におけることばの広場の充実 | | | |
| 4. 家庭の教育力向上のための学習機会の充実 | | | |
| 5. こどもの発達支援のための健診や訪問、ヘルパー派遣などの充実 | | | |
| 6. こどもが家庭やこどもの入込先を学ぶことが出来る場の充実 | | | |
| 7. こども主体的に行動出来るよう学校教育・保育指導の充実 | | | |
| 8. 児童虐待やいじめなどに對する対応の充実 | | | |
| 9. 障がいのあるこどもが知覚で安心して生活出来るよう障がい児施設等の充実 | | | |
| 10. ひとり親家庭に對する相談や生活支援の充実 | | | |
| 11. 教育・保育サービスの費用負担や学習など経済的支援の充実 | | | |
| 12. 仕事と子育てが両立できるよう就学前施設の新設や保育の充実 | | | |
| 13. 仕事と子育てが両立できるよう労働時間等の改善等、企業や労働者に對する啓発 | | | |
| 14. その他 () | | | |

問 33 過去1年間に、次の手当てや補助などを受けたことがありますか。①～④のそれぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

	受けている	受けたことがある	受けたことがない
①就学援助 ¹⁾	1	2	3
②児童扶養手当 ²⁾	1	2	3
③生活保護	1	2	3
④養育費	1	2	3

注1：学校給食費や学用品費等の支払いにお滞りの保護者の方に対し、申請にもとづいて費用の一部を援助する制度です。

注2：ひとり親世帯等（父または母が重傷障がい者の場合を含む）で、18歳に達した若年層（中学以上の障がいのある若者は20歳）までの児童を養育している別に支給される手当てです。

問 34 お子さんに、将来、どの学校まで進学してほしいと思いますか（留学を含む）。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|------------------|
| 1. 中学まで | 2. 高校まで | 3. 高校まで（海外） |
| 4. 短大・高专・専門学校まで | 5. 大学またはそれ以上 | 6. 大学またはそれ以上（海外） |
| 7. まだわからない | | |

問 35 問34で「1」～「6」に○を2つ以上つけた場合は、その理由は何かを教えてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. お子さんが希望されると思うから |
| 3. 一般的な進路だと思うから | 4. お子さんの学力から考えて |
| 5. 家庭の経済的状況から考えて | 6. その他 () |
| 7. 特に理由はない | |

問 36 あなたが現在、または将来的に必要なこととして、重要だと思う支援等はどのようなものですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. こどものことや生活のことなど悩みことを相談できること | |
| 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること | |
| 3. 地域の人から助けてもらえること | |
| 4. 結婚のことや養育費のことなどについて法的な相談ができること | |
| 5. 病気や障がいのことなどについて専門的な相談が受けられること | |
| 6. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること | |
| 7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的にこどもを預けられること | |
| 8. こどもの習字にかかる費用が軽減されること | |
| 9. 一時的に必要な資金を借りられること | |
| 10. 就職・転職のための支援が受けられること | |
| 11. 特にない | |
| 12. その他 () | |

問 37 あなたはヤングケアラーという言葉を聞いていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1. 言葉も内容も知っている |
| 2. 言葉は聞いたことがある |
| 3. 知らない |

注：ヤングケアラーとは、障がいや病気、要介護などを抱えていてケアを要する家族がおり、介護を担わざるを得ない状況で家事や家族の世話などをこなす18歳未満のこどもを指す言葉です。ヤングケアラーは本人本人が担うべき、以下のようなケアを行っています。障がいや要介護などを抱える家族の入院や通院をする。病気で働けない親の代わりに労働を行う。

問 38 あなたは定期的にヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 本人に様子を確認 | 2. 家族、知人、友人に相談する |
| 3. 先生や部活の顧問等に相談する | 4. 関係機関に相談する |
| 5. 何もしない | 6. わからない |
| 7. その他 () | |

問 39 最後に、声優市でどのような子育てができるようになると思いか、あなたが子育てをされている中で、声優市が行っている施策で役に立ったこと・良かったと感じていることや改善または充実してほしいと感じることについて、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

声優市の施策については、
こちらを参考にしてください。



声優市子育て未来応援プラン

検索



同封の封筒に入れて、切手は貼らずに12月22日（金）までにご返送ください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

子育てに困ることがあればご相談ください。

URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/14kosodaten/kosarukotogatareha.pdf>



中学生用

アンケート調査のお願い このアンケートは中学生のみ、ご本人がお答えください。

このアンケートは、みんなのひたひたの生活などを知り、兵庫県の子育て政策をどのようにすればよいかを考えるために必要な調査です。あなたの名前を置く必要はありませんので、自由にお答えください。

1. あなたのひたひたの生活について

問1 あなた自身が思う住居をお答えください。(1つに○) 3に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 男性 2. 女性 3. ()

問2 あなたは学校がある日はたいたい朝何時ごろに起きますか。(1つに○)

1. 午前6時より前 2. 午前6時～6時29分
 3. 午前6時30分～6時59分 4. 午前7時～7時29分
 5. 午前7時30分～7時59分 6. 午前8時～8時29分
 7. 午前8時30分以降

問3 あなたは朝ごはんを食べていますか。(1つに○)

1. 週6日以上食べる 2. 週4～5日は食べる
 3. 週2～3日は食べる 4. ほとんど食べない

問4 問3で2～4に○をした人におきます。あなたが、朝ごはんを食わないときがあるのはなぜですか。(1つに○) 6「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 食べる時間がないから 2. 食べたくないから (食欲がないから)
 3. 太りたくないから 4. 朝ごはんの用意がないから
 5. おうちの人も朝ごはんを食べていないから 6. その他 ()

問5 あなたは休みがきをどのくらいしますか。(1つに○)

1. 1日2回以上休みがきをする 2. 1日1回休みがきをする
 3. 全く休みがきをしなない日が週に1～4日ある 4. 全く休みがきをしなない日が週に5日以上ある

問6 あなたは、次の日に学校がある日はほしい、何時ごろに寝ますか。(1つに○)

1. 午後9時より前 2. 午後9時～9時29分
 3. 午後9時30分～9時59分 4. 午後10時～10時29分
 5. 午後10時30分～10時59分 6. 午後11時～11時29分
 7. 午後11時30分～11時59分 8. 午前0時～0時29分
 9. 午前0時30分～0時59分 10. 午前1時以降

問7 あなたは、夕ごはんをこどもだけ(一人だけを食む)で食べることがありますか。(1つに○)

1. ほとんど毎日 2. 週に4～5日
 3. 週に2～3日 4. 週に1日程度
 5. ほとんどない

中学生-1

2. 学校について

問8 あなたは、どの学校に通っていますか。(1つに○) 5「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 芦屋市立 2. 兵庫国立
 3. 国立 4. 私立
 5. その他 ()

問9 あなたは学校にいる時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい 2. どちらかといえば楽しい
 3. どちらかといえば楽しくない 4. 楽しくない

問10 問9で3～4に○をした人におきます。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 授業がわからないから 2. 友だちがいないから
 3. いやな友だちがいるから 4. 先生が怒みや罵詈雑言を聞いてくれないから
 5. 学校のきまり(校則)がきびしいから 6. なんでも自由にできないから
 7. 家で心配なことがあって、集中できないから 8. 夜ふかしなどで早く学校の授業がつらいから
 9. その他 ()
 10. 特になし

問11 あなたは、将来、どの学校まで進学したいですか。(1つに○)

1. 中学まで 2. 高校まで 3. 高校まで (海外)
 4. 短大・専門学校まで 5. 大学またはそれ以上 6. 大学またはそれ以上 (海外)
 7. まだわからない

問12 問11で選択したその理由について、下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて
 3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
 5. まわりの先輩や友達にそうしているから 6. 家にお金がないと思うから
 7. 早く働く必要があるから 8. その他 ()
 9. とくに理由はない

問13 あなたは、将来、働きたいと思えますか。(1つに○)

1. 働きたいと思う 2. 働きたいと思わない
 3. わからない

中学生-2

問 14 問 13 で選択した番号の理由について、下の中に記入をしてください。

3.放課後の過ごし方について

問 15 あなたは放課後の時間が楽しいですか。(1つに○)

- 1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない

問 16 問 15 で3～4に○をした人におきます。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
6 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 一緒にいる友だちがいないから 2. いやな友だちがいるから

3. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから 4. なんでも自由にできないから

5. 家で心配なことがあって、集中できないから 6. その他 ()

7. 特にない

問 17 あなたは放課後に、だれとすごすことが多いですか。(1つに○)
5 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな 2. 家族以外のおとな

3. 学校の友だち 4. 学校以外の友だち

5. その他 ()

問 18 あなたは放課後に、どこですごすことが多いですか。(1つに○)
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 自分の家 2. 友だちの家

3. じゃくや習いごと 4. 学校

5. 公共施設 (図書館・児童センター・体育館など)

6. 公園 7. お店

8. その他 ()

問 19 あなたは自宅にいるときの時間が楽しいですか。(1つに○)

1. 楽しい
- 2. どちらかといえば楽しい
- 3. どちらかといえば楽しくない
- 4. 楽しくない

問 20 問 19 で3～4に○をした人におきます。楽しくない理由は何ですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. いつも一人だから 2. 家族にいやなことを言われるから

3. 家族に助力をふられることがあるから 4. 悩みや意見を聞いてくれる大人がいないから

5. 家事や自毛のことで自由がないから 6. 家で心配なことがあって、集中できないから

7. 普段から家事や洗濯などの世話をしてくれないから

8. その他 () 9. 特にない

問 21 家族の中にあなたがお世話している人はいいますか。(ここで「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話を指します。問 22 の囲みの中を参考してください。)(1つに○)

1. いる 2. いない

問 22 問 21 で1に○をした人におきます。あなたはどのようなお世話をしていますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。11「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家事 (食事の準備や後片付け、掃除、洗濯、買い物など)

2. きょうだいのお世話やお世話をしている人の送り迎え

3. 着替えや入浴、トイレの手伝いなど

4. 病状や重い物、散歩に一緒に行き、手助けをする

5. 困りごとを聞く、話し相手になる

6. 見守り (転んだり、危ないことをしたりしないか見守るなど)

7. 通訳 (日本語の通訳や手話での通訳など)

8. 車のお金の管理 (お金の使い道を考えたり、しらべたりするなど)

9. 車の管理 (車を教んだか確認したり、戻したりするなど)

10. 家計のサポート (家計を支えるためにアルバイトをしたり、働いたりすること)

11. その他 ()

問 23 問 21 で1に○をした人におきます。お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
8 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校を休んでしまう 2. 遅刻や早退をしよう

3. 宿題など勉強をする時間が足りない 4. 眠る時間が足りない

5. 友だちと遊ぶことができない 6. 習い事ができない

7. 自分の時間が取れない 8. その他 ()

9. 特にない

4.あなたの考えについて

問 24 あなたは、自分のことについてどう思いますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまるものに○をしてください。

	そう思う	どちらかといえはそう思う	どちらかと思わない	そう思わない
(1) 自分にはよいところがある	1	2	3	4
(2) 失敗すると前に進めないと思う	1	2	3	4
(3) 自分には将来の夢や目標がある	1	2	3	4
(4) 何かをするときは、他の人からどのように見られるが気になる	1	2	3	4
(5) 頑張れば、いいことがある	1	2	3	4

問 25 あなたには、今やんやんでいることや心配なこと、困っていること、だれかに相談したいと思っていることがありますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。10「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校の生活のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと
6. じゅくや習いごとのこと
7. 将来・進路
8. 体調・健康
9. とくにない
10. その他 ()

問 26 心配ことや悩みがあるとき、話したり、相談したりできる人がいますか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 家族のおとな
2. 学校の先生
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち
5. きょうだい
6. 家族・学校の先生以外のおとな
7. インターネット・SNS
8. とくにいない
9. その他 ()

中学生-5

5.子どもの権利について

※ 「子どもの権利」とは、「子どもの権利条約」に定められている次の4つの権利があります。

- ① 生きる権利…命が守られて、大切にされること。病気になったときや、けがをしたときには治療を受けられること。
- ② 育つ権利…教育を受け、体んだり遊んだりできること。考えや感じるものの自由が守られ、自分らしく育つことができること。
- ③ 守られる権利…暴行や虐待などから守られること。自分のこと、家族のこと、人に関われないことを守ることができること。
- ④ 参加する権利…自由に自分の考えや意見を言えること。集まってグループをつくらったり、自由な活動を行ったりできること。

問 27 あなたは、自分の命が守られ安心して暮らしていると思いますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえはそう思う
3. どちらかと思わない
4. そう思わない

問 27-1 問 27 で3～4に○をした人におきまして。

それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。8「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. いじめにあっているから
2. 大人から暴力を振られているから
3. 自分のことを自分で決められないから
4. 大人から差別的な扱いを受けているから
5. 自分自身の体を触られることがあるから
6. 病院に連れて行ってもらえないから
7. わからない
8. その他 ()

問 28 あなたは、親や家族の人にあなただの意見を聞いてもらえていますか。(1つに○)

1. はい
2. いいえ

問 28-1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。9「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校での生活のこと
2. 友だちのこと
3. 家族のこと
4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと
6. じゅくや習いごとのこと
7. 将来・進路
8. 体調・健康
9. その他 ()

問 28-2 問 28 で2に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○) 4「その他」に○をした時は、()の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 引き続き意見を繰り返した
2. あきらめた
3. 他の人に意見を言った
4. その他 ()

中学生-6

問 29 あなたは、学校の先生にあなたの意見を聞いてもらっていますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

問 29-1 それはどんなことですか。下の中からあてはまるものがあればすべてに○をしてください。
9 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 学校の生活のこと 2. 友だちのこと
3. 家族のこと 4. 勉強のこと
5. 家での生活のこと 6. しゃべりや遊びのこと
7. 将来・進路 8. 体調・健康
9. その他 ()

問 29-2 問 29 で2に○をした人にお聞きします。意見を聞いてもらえなかった際にどのような対応をしましたか。(1つに○) 4 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 引き続き意見を繰り返した 2. あきらめた
3. 他の人に意見を言った 4. その他 ()

問 30 あなたは、差別・暴力・いじめを受けたことがありますか。また、したことがありますか。(1つに○)

1. 差別や暴力、いじめを受けた 2. 差別や暴力、いじめをした
3. どちらもある 4. どちらもない

問 31 こどもの権利の中でより充実をしていく必要があると思うものはどれですか。(最大3つまで○をつけてください)

1. 人権や性別、宗教、障がりの有無などで差別されないこと
2. 暴力や言葉で傷つけられないこと
3. 家族が仲良く一緒に過ごす時間をもちこと
4. 自分の考えを自由に言えること
5. 人と違う自分らしさが認められること
6. 自分の秘密が守られること
7. 自分のことは自分で決められること
8. 自由な時間をもつこと
9. 自由な呼びかけでグループを作り集まれること
10. 必要な情報を知ることや、参加する手助けを受けられること
11. 保護者から世話を受けること(食事、洗濯など)

問 32 芦屋市のごち、若者を支援する取組で期待すること・重要なことは何ですか。下の中からあてはまる3つまで○をつけてください。9 「その他」に○をした時は、() の中に自分で考えた答えを書いてください。

1. 悩みを相談できる場所(メール、SNSなどを含む)をつくる
2. こども同士の交流の場をつくる
3. 学校でも家でもない居場所をつくる
4. いろいろな体験ができる機会を増やす
5. こどもの感嘆費がからならないようにする
6. 学費や教育費の負担を減らす
7. いじめやいじめ虐待などを防止する
8. 性別や性差・出身への正しい知識を身に付ける
9. その他 ()

問 33 ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
なにか悩みごとや、心配なことなどは、次のところで相談できま
す。

(1) 児童相談所全国共通ダイヤル 189 (無料)

大人の家族に暴力をふるわれる、
食事を作ってもらえない、
重い病気になるっても病院に連れて行ってもらえない、
無視される、
きょうだい間で差別をされる、
目の前で家族に対して暴力をふるうなど
このようなことをされたら、迷わず相談してください。



URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/dia_189.html

(2) 子どもの人権110番 0120-007-110 (無料)

友達から「いじめ」にあつて学校に行きたくない、
家の人にいやなことやされる、
部活動で暴言・暴力を受けているなど、
先生や親には話しくいけど、このままではどうしていいかわからない、
誰も気づいてくれない・・・。

このような悩みがあったら、迷わず電話してください。
「まわりでこんなことで困っている人がいる」という相談でもいいです。



URL : <https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>

(3) 芦屋市ヤングケアラー相談窓口

通費、大人が行う家事や家族のお世話している
家事や家族のお世話で学校を休んでしまふ、勉強ができない、
自分の自由な時間がないなどで悩んでいるいたら相談してください。



URL : <https://www.city.ashiya.lg.jp/kodomo/documents/yungkea.pdf>

子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書
令和6年3月

発行：芦屋市こども福祉部 こども家庭室こども政策課
兵庫県芦屋市精道町7番6号
電話：0797-38-2045
FAX：0797-38-2190